

青森県埋蔵文化財調査報告書 第577集

# 川原平（1）遺跡Ⅴ

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

東捨場地区・北東捨場地区

2017年3月

青森県教育委員会





巻頭写真1 調査区全景（北から）



巻頭写真2 調査区全景（合成）





後期後葉の土器（北東捨場地区）



晩期前葉の土器（北東捨場地区）



晩期中葉の土器（北東捨場地区）



晩期中葉の土器（東捨場地区）



晩期中葉の土器（東捨場延長地区）



獣面・人面付き土器（東捨場地区・北東捨場地区）



土製品（東捨場地区・東捨場延長地区）



土製品（北東捨場地区・北東捨場延長地区）

## 序

青森県埋蔵文化財調査センターでは、平成15年度から平成27年度にかけて津軽ダム建設事業予定地内に所在する遺跡の発掘調査を実施しました。そのうち、川原平(1)遺跡では、平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施しました。

調査の結果、縄文時代中期から晩期にかけての建物跡・土坑・土器埋設遺構・配石遺構・焼土遺構・盛土遺構・捨場等が確認され、縄文時代の集落が営まれていたことがわかりました。遺物は土器・土製品、石器・石製品、漆製品、木製品、骨角器、動植物遺存体等が出土しました。特に縄文時代後期後葉～晩期にかけての遺物は、この地域では稀少な出土例として注目され、晩期の亀ヶ岡文化を考える上で貴重な発見となりました。

本報告書は、平成25～27年度に実施した川原平(1)遺跡発掘調査事業のうち、東捨場地区と北東捨場地区の調査成果をまとめたものです。この成果が、埋蔵文化財の保護に広く活用され、また、地域の歴史を理解する一助となることを期待します。

最後に、日頃から埋蔵文化財の保護と活用に対してご理解をいただいている国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所に厚くお礼申し上げますとともに、発掘調査の実施と調査報告書の作成にあたり、ご指導、ご協力をいただきました関係各位に対し、心より感謝いたします。

平成29年3月

青森県埋蔵文化財調査センター

所長 田村博美

## 例言・凡例

1 本書は、国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所による津軽ダム建設事業に伴い、青森県埋蔵文化財調査センターが平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施した西目屋村川原平(1)遺跡のうち、平成25～27年度に行った東捨場地区と北東捨場地区の発掘調査報告書である。なお、平成26年度(2014年)に川原平(4)遺跡として発掘調査した東捨場延長地区・北東捨場延長地区の遺物報告も含む(図①・②参照)。

2 川原平(1)遺跡の所在地は中津軽郡西目屋村大字川原平字福岡地内、青森県遺跡番号は343009である。

3 川原平(1)遺跡の発掘調査報告書は、既に以下3冊が刊行されている。

- ・『川原平(1)・(4)遺跡・大川添(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第564集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第565集

また、本書と同時期に、以下の4冊の刊行も予定されている。

- ・『川原平(1)遺跡Ⅳ(平場地区・クラック地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第576集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅵ(北捨場地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第578集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅶ(西捨場地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第579集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅷ(自然科学分析・補遺・総括)』青森県埋蔵文化財調査報告書第580集

4 発掘調査と整理・報告書作成の経費は、発掘調査を委託した国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所が負担した。

5 発掘調査から整理・報告書作成までの期間は、以下のとおりである。

発掘調査期間	平成25年5月7日～平成25年11月14日
	平成26年5月1日～平成26年11月14日
	平成27年4月20日～平成27年8月28日
整理・報告書作成期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
	平成28年4月1日～平成29年3月31日

6 本書は、青森県埋蔵文化財調査センターが編集し、青森県教育委員会が作成した。執筆と編集は、報告書抄録記載の編著者が担当し、執筆者名は文末に記した。なお、発掘調査成果の一部は、現地見学会、発掘調査報告会等において公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合においては本書が優先する。

7 発掘調査から整理・報告書作成にあたり、以下の業務については委託により実施した。なお、自然科学分析の委託者については、『川原平(1)遺跡Ⅷ』にまとめて掲載した。

基準点・水準点測量	株式会社キタコン
空中写真撮影	株式会社シン技術コンサル
土器・小型土器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング
	株式会社シン技術コンサル
石器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング

土器の復元の一部	株式会社文化財ユニオン、株式会社吉田生物研究所
漆製品の保存処理	株式会社吉田生物研究所
遺物の写真撮影	シルバーフォト、フォトショップいなみ、有限会社無限
洗浄・注記作業の一部	ナカシャクリエイテブ株式会社、第一合成株式会社
	株式会社イビソク
写真の切り抜き作業の一部	ワタナベサービス株式会社

- 8 石器の石質鑑定は調査員の柴正敏氏・島口天氏に依頼した。
- 9 地形図（遺跡位置図等）は、国土地理院発行の地図を合成・加工して使用した。
- 10 測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第X系による。挿図中の方位は、すべて世界測地系の座標北を示している。
- 11 遺構については、その種類を示すアルファベットの略号と算用数字を組合せた番号を付した。基本的な略号は、以下のとおりである。  
 S Q－配石遺構    S R－土器埋設遺構    S N－焼土遺構    P i t－柱穴
- 12 遺物については、取り上げ順に種別ごとの略号と番号を付した。略号は、以下のとおりである。  
 P－土器    S－石器    C－炭化材    特－漆製品など特殊なもの
- 13 土層の色調表記には、『新版標準土色帖2005年度版』（小山正忠・竹原秀雄）を用い、遺跡の基本土層にはローマ数字、遺構内堆積土層には算用数字を使用した。土層断面図には、水準点を基にした海拔標高を付した。
- 14 図版中で使用した網掛けの説明は以下の通りであるが、一部は図に記したものもある。

焼土範囲



- 15 遺物実測図で使用したスクリーントーンは以下の通りであるが、一部については図に記したものもある。

土器・土製品

漆容器などの  
漆塗膜



土器アスファルト  
・黒色付着物



土器付着炭化物



石器アスファルト  
・黒色付着物



石器磨面



石器光沢



敲打痕



赤色顔料・赤彩



16 遺構実測図および遺物実測図の各図版にはスケールを付している。

17 実測図の掲載を省き、写真のみで報告した遺物もあるため、土器及び石器・石製品の実測図には遺物写真の個別番号、土製品・小型土器の実測図には遺物写真の通し番号を付した。また、写真の掲載を省き、実測図のみで報告した遺物については、実測図に個別番号を付した。なお、本文中で遺物実測図あるいは遺物写真を引用する場合は、以下のように記した。

例1) 写真19の1の場合 → 写19-1

例2) 『川原平(1)遺跡Ⅲ』の図11の1の場合 → 報告書Ⅲ-図11-1

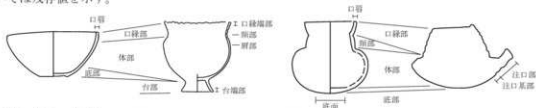
18 遺物の実測図及び写真の縮尺は、原則として土器は1/4、土製品は1/2あるいは1/3、剥片石器・石製品は1/2、礫石器は1/3である。この原則からはずれるものについては、個別に縮尺を示した。なお、遺物写真の縮尺は目安であるため、実物との間には多少の誤差がある。

19 調査経過等について

今回の報告範囲における調査に至る経緯、調査体制(調査体制及び整理・報告書作成体制)、作業経過(発掘作業の経過及び整理・報告書作成作業の経過)については、今回報告範囲以外の地区のものとなわせ、『川原平(1)遺跡Ⅳ』(576集)に掲載した。

20 土器の整理・分類について

口縁から底部まで接合した土器は原則として図化した。写真掲載のみとしたものもある。区分・分類基準などについては、『川原平(1)遺跡Ⅵ』(578集)の土器の整理・分類を準用した。また、口径あるいは器高が10cm以下の容器については小型土器・ミニチュア土器として扱った(詳細については『川原平(1)遺跡Ⅶ』(580集)参照)。土器観察表における( )内計測値は、口径・底径については推定値(残存1/2未満)、器高については残存値を示す。



21 石器の整理・分類について

石器の整理・分類については、『川原平(1)遺跡Ⅲ』(青埋報565集: pp. 9-10)を準用した。なお、石製円盤については、集合写真を併用し、「円1(円盤集合写真1)」、「円2(円盤集合写真2)」…と名称を付した(『川原平(1)遺跡Ⅳ』例言参照)。右の写真の順に円盤集合写真観察表に出土地点等を記載している。





## 22 時期区分

本報告書で触れる遺構・遺物の時期は、『川原平(1)遺跡Ⅱ』(564集)を準用した(表①参照)。

表① 本書の時期区分

				本報告	青森県史 (開校2013)	型式等	備考	
後期		後葉	彌付土器	7-3期	7期3段階	十腰内V群 (十腰内V群に 欠落する時期)	本文中で7-3期以前を 彌付土器前葉とした	
				7-4期	7期4段階			
		末葉		8期	8期	(十腰内VI群)	彌付土器第IV段階 (小林2008)	
晩期	前半	初葉 前葉	亀ヶ岡式土器	1期	1a期	1a期	大洞B	大洞B1
					1b期	1b期		大洞B2
		2期		2期	大洞BC			
		3期		3期	大洞C1			
	後半	中葉		4期	4期	大洞C2		
				5期	5期	大洞A		
		後葉 末葉		6期	6期	大洞A'		

## 23 古代以降の遺物について

今回の報告範囲において、古代以降の土器・陶磁器等が僅かに出土しているが、今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平(1)遺跡Ⅷ』(580集)に掲載する。

## 24 自然科学分析

今回の報告範囲出土遺物等について、放射性炭素年代測定や樹種同定、漆製品・土器の塗膜分析などの自然科学分析を外部委託しているが、これらの成果については今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平(1)遺跡Ⅷ』(580集)に掲載する。ただし、本報告における遺構・遺物の記載にあたり、それらの結果を部分的に引用した箇所がある。分析に使用した資料は、観察表の備考欄に下記のように資料番号を記載した。

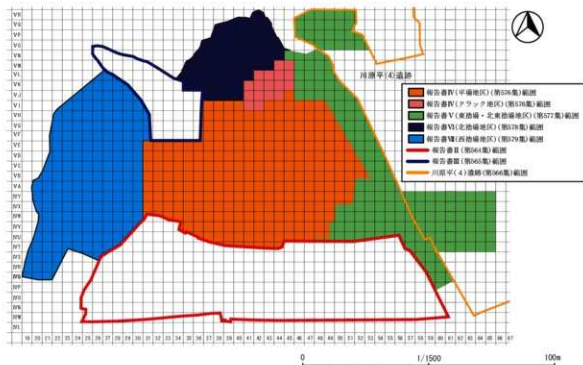
- Ⅷ第1編第5章第1～7節 放射性炭素年代測定→「年代測定KAWA(1)一●」
- Ⅷ第1編第6章第5節 漆関連遺物の塗膜分析→「塗膜分析No.●」
- Ⅷ第1編第7章第5節 炭素・窒素安定同位体比分析→「安定同位体比分析資料●」
- Ⅷ第1編第8章第2節 胎土分析→「胎土分析●」

25 引用文献については巻末(p.211)に掲載したが、参考文献については『川原平(1)遺跡Ⅷ』(580集)に掲載した。

26 発掘調査及び整理・報告書作成における出土品・実測図・写真等は現在、青森県埋蔵文化財調査センターが保管している。



図① 川原平(1)遺跡の地形



図② 本書の報告範囲

# 目次

巻頭写真	
序	
例言・凡例	
目次	
図版目次	
表目次	
写真図版目次	

## 第1編 東捨場地区

第1章 調査方法	2
第1節 調査方法	2
1 発掘作業の方法	2
2 整理・報告書作成作業の方法	2
第2節 基本層序	7
第2章 東捨場地区の検出遺構と出土遺物	10
第1節 遺構	10
1 配石遺構	10
2 土器埋設遺構	15
3 焼土遺構	25
4 ビット	28
第2節 東捨場	33
1 概要	33
2 土器集中範囲（ブロック）	36
3 土器	44
4 土製品	57
5 石器	65
6 石製品	66
7 その他の遺物	68
第3章 まとめ	83

## 第2編 北東捨場地区

第1章 調査方法	88
第1節 発掘作業の方法	88
第2節 整理・報告書作成作業の方法	90
第2章 北東捨場地区の概要	92
第3章 検出遺構と出土遺物	95
1 配石遺構	95
2 焼土遺構	95

第4章 北東捨場	97
第1節 調査の方法	97
第2節 捨場堆積層（遺物包含層）	101
第3節 土器集中域（ブロック）	107
第4節 出土遺物	142
1 土器	142
2 土製品	159
3 石器	163
4 石製品	165
5 その他の遺物	166
第5章 まとめ	182

### 第3編 東捨場延長地区・北東捨場延長地区

第1章 調査方法	188
第1節 調査方法	188
1 東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲	188
2 発掘作業の方法	188
3 整理・報告書作成作業の方法	189
第2章 東捨場延長地区	190
第1節 東捨場延長地区の堆積層について	190
1 東捨場延長の調査方法	190
2 堆積層について	190
第2節 出土遺物	193
1 土器	193
2 土製品	194
3 石器・石製品	195
第3章 北東捨場延長地区	202
第1節 北東捨場延長地区の堆積層について	202
1 北東捨場延長の調査方法	202
2 堆積層について	202
第2節 出土遺物	205
1 土器	205
2 土製品	205
3 石器・石製品	207
第4章 まとめ	210

引用文献	211
遺構計測表	212
遺物観察表	213
写真図版	287
報告書抄録	485

# 図版目次

図1 東捨場地区全体図並びにセクション配置図	3	図52 北東捨場地区の位置と周辺の地形	89
図2 東捨場地区 遺構配置図	4	図53 北東捨場地区・北東捨場延長地区・クラック地区等の位置関係	93
図3 東捨場地区 セクション図(1)	5	図54 北東捨場地区 遺構配置図・遺物等分布状況図	94
図4 東捨場地区 セクション図(2)	8	図55 北東捨場地区 配石遺構・焼土遺構	96
図5 東捨場地区 セクション図(3)	9	図56 北東捨場地区 グリッド・トレンチ・ベルトの位置	99
図6 東捨場地区 配石遺構(1)	12	図57 北東捨場地区 トレンチ1～3土層断面図と土層番号・各土層の形成時期	103
図7 東捨場地区 配石遺構(2)	13	図58 北東捨場地区 トレンチ1土層断面図	104
図8 東捨場地区 土器埋設遺構(1)	20	図59 北東捨場地区 トレンチ2土層断面図	105
図9 東捨場地区 土器埋設遺構(2)	21	図60 北東捨場地区 トレンチ3・トレンチ5土層断面図	106
図10 東捨場地区 土器埋設遺構(3)	22	図61-1 北東捨場地区 土器集中城(ブロック)配置図	109
図11 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(1)	23	図61-2 北東捨場地区 土器集中城(ブロック)の変遷図	110
図12 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(2)	24	図62 北東捨場地区 ブロック4007・4008・4016 (TR1-a層～TR1-b層・TR1-1層)	121
図13 東捨場地区 焼土遺構(1)	29	図63 北東捨場地区 ブロック16・4002・4023・4038 (TR1-2層・TR1-C層)	122
図14 東捨場地区 焼土遺構(2)	30	図64 北東捨場地区 ブロック4037 (TR1-d層)・4019 (TR1-4層)	123
図15 東捨場地区 焼土遺構(3)	31	図65 北東捨場地区 ブロック15 (TR1-4層)	124
図16 東捨場地区 焼土遺構出土遺物	32	図66 北東捨場地区 ブロック4020・4024 (TR1-4層)	125
図17 東捨場地区 土器の重量分布	35	図67 北東捨場地区 ブロック4030・4032 (TR1-4層)	126
図18 東捨場地区 ブロック(1)	41	図68 北東捨場地区 ブロック4039・4052 (TR1-4層)	127
図19 東捨場地区 ブロック(2)	42	図69 北東捨場地区 ブロック4009・4034・4036・4045・4071・4080 (TR1-4層～TR1-5層)	128
図20 東捨場地区 土器の出土位置	43	図70 北東捨場地区 ブロック4062・4066 (TR1-4層)	129
図21 東捨場地区 土器(1) ブロック1・2・3・4・5	47	図71 北東捨場地区 ブロック4013・4014・4031 (TR1-5層)	130
図22 東捨場地区 土器(2) ブロック6・10	48	図72 北東捨場地区 ブロック4053 (TR1-5層)	131
図23 東捨場地区 土器(3) ブロック17・18	49	図73 北東捨場地区 ブロック4054・4070・4072 (TR1-5層)	132
図24 東捨場地区 土器(4) ブロック19・20・21・22	50	図74 北東捨場地区 ブロック4022・4029・4042・4069・4073・4075 (TR1-6層～TR1-7層)	133
図25 東捨場地区 土器(5) ブロック22・23・24・1層	51	図75 北東捨場地区 ブロック4021・4028 (TR2-1層)・4003・4004・4015・4046 (TR2-a層・TR2-c層)	134
図26 東捨場地区 土器(6) KIII1層(1)	52	図76 北東捨場地区 ブロック4001・4006・4057・4058・4059・4061・4063・4065・4067・4074・4076・4078 (TR2-2層・TR2-エ層)	135
図27 東捨場地区 土器(7) KIII1層(2)	53	図77 北東捨場地区 ブロック4005・4010・4043・4050 (TR2-b層)・4018・4026 (TR2-y層・TR3-c層)	136
図28 東捨場地区 土器(8) KIII1層(3)	54	図78 北東捨場地区 ブロック4017・4025 (TR3-a層・TR3-ア～TR3-イ層)・4049・4055・4064・4077 (TR3-d層～TR3-e層)	137
図29 東捨場地区 土器(9) KIII1d層・KIII1dイ層・KIII1下層・KIII2層	55	図79 北東捨場地区 ブロック4011・4012・4027・4040・4044 (TR3-b層～TR3-c層)	138
図30 東捨場地区 土器(10) KIII2上層・KIII下層・KIII層	56	図80 北東捨場地区 ブロック4051・4056・4068・4079・4081・4082・4083・4084 (TR3-e層～TR3-f層)	139
図31 東捨場地区 土製品(1)	58	図81 北東捨場地区 ブロック4041・4047・4060 (TR3-2層)・4033 (TR6-2層～TR6-3層)	140
図32 東捨場地区 土製品(2)	59	図82 北東捨場地区 ブロック4035 (確認面)	141
図33 東捨場地区 土製品(3)	60	図83 北東捨場地区 土器の重量分布	145
図34 東捨場地区 土製品(4)	61	図84 北東捨場地区 土器(1) ブロック15・16・4001・4003・4004	146
図35 東捨場地区 土製品(5)	62		
図36 東捨場地区 土製品(6)	63		
図37 東捨場地区 土製品(7)	64		
図38 東捨場地区 石器・石製品(1)	69		
図39 東捨場地区 石器・石製品(2)	70		
図40 東捨場地区 石器・石製品(3)	71		
図41 東捨場地区 石器・石製品(4)	72		
図42 東捨場地区 石器・石製品(5)	73		
図43 東捨場地区 石器・石製品(6)	74		
図44 東捨場地区 石器・石製品(7)	75		
図45 東捨場地区 石器・石製品(8)	76		
図46 東捨場地区 石器・石製品(9)	77		
図47 東捨場地区 石器・石製品(10)	78		
図48 東捨場地区 石器・石製品(11)	79		
図49 東捨場地区 石器・石製品(12)	80		
図50 東捨場地区 石器・石製品(13)	81		
図51 東捨場地区 石器・石製品(14)	82		



写真21	東捨場地区	土器埋設遺構出土遺物	307
写真22	東捨場地区	焼土遺構出土遺物	308
写真23	東捨場地区	土器(1)ブロック2・3・4・5	309
写真24	東捨場地区	土器(2)ブロック6	310
写真25	東捨場地区	土器(3)ブロック10・17	311
写真26	東捨場地区	土器(4)ブロック18・19・20	312
写真27	東捨場地区	土器(5)ブロック21・22	313
写真28	東捨場地区	土器(6)ブロック23・24・1層	314
写真29	東捨場地区	土器(7)KⅢ1層	315
写真30	東捨場地区	土器(8)KⅢ1層	316
写真31	東捨場地区	土器(9)KⅢ1層	317
写真32	東捨場地区	土器(10)KⅢ1層	318
写真33	東捨場地区	土器(11)KⅢ1層	319
写真34	東捨場地区	土器(12)KⅢ1層	320
写真35	東捨場地区	土器(13)KⅢ1層	321
写真36	東捨場地区	土器(14)KⅢ1層・KⅢ1d層・KⅢ1段イ層	322
写真37	東捨場地区	土器(15)KⅢ1下層・KⅢ2層	323
写真38	東捨場地区	土器(16)KⅢ2上層	324
写真39	東捨場地区	土器(17)KⅢ上層・KⅢ下層	325
写真40	東捨場地区	土器(18)KⅢ層	326
写真41	東捨場地区	土製品(1)	327
写真42	東捨場地区	土製品(2)	328
写真43	東捨場地区	土製品(3)	329
写真44	東捨場地区	土製品(4)	330
写真45	東捨場地区	石器・石製品(1)	331
写真46	東捨場地区	石器・石製品(2)	332
写真47	東捨場地区	石器・石製品(3)	333
写真48	東捨場地区	石器・石製品(4)	334
写真49	東捨場地区	石器・石製品(5)	335
写真50	東捨場地区	石器・石製品(6)	336
写真51	東捨場地区	石器・石製品(7)	337
写真52	東捨場地区	石器・石製品(8)	338
写真53	東捨場地区	石器・石製品(9)	339
写真54	東捨場地区	石器・石製品(10)	340
写真55	東捨場地区	石器・石製品(11)	341
写真56	東捨場地区	石器・石製品(12)	342
写真57	東捨場地区	石器・石製品(13)	343
写真58	東捨場地区	石器・石製品(14)	344
写真59	東捨場地区	石器・石製品(15)	345
写真60	東捨場地区	石器・石製品(16)	346
写真61	東捨場地区	石器・石製品(17)	347
写真62	東捨場地区	石器・石製品(18)	348
写真63	東捨場地区	石器・石製品(19)	349
写真64	東捨場地区	石器・石製品(20)	350
写真65	東捨場地区	石器・石製品(21)	351
写真66	東捨場地区	石器・石製品(22)	352
写真67	東捨場地区	石器・石製品(23)	353
写真68	東捨場地区	石器・石製品(24)	354
写真69	東捨場地区	石器・石製品(25)	355
写真70	東捨場地区	石器・石製品(26)・アスファルト	356
写真71	北東捨場地区	航空写真	357
写真72	北東捨場地区	調査区全景・調査風景	358
写真73	北東捨場地区	北東部斜面捨場	359
写真74	北東捨場地区	トレンチ1(1)	360
写真75	北東捨場地区	トレンチ1(2)	361
写真76	北東捨場地区	トレンチ1(3)	362
写真77	北東捨場地区	トレンチ2(1)	363

写真78	北東捨場地区	トレンチ2(2)	364
写真79	北東捨場地区	トレンチ2(3)	365
写真80	北東捨場地区	トレンチ3(1)	366
写真81	北東捨場地区	トレンチ3(2)	367
写真82	北東捨場地区	トレンチ3・トレンチ5	368
写真83	北東捨場地区	配石遺構	369
写真84	北東捨場地区	ブロック(1)	370
写真85	北東捨場地区	ブロック(2)	371
写真86	北東捨場地区	ブロック(3)	372
写真87	北東捨場地区	ブロック(4)	373
写真88	北東捨場地区	ブロック(5)	374
写真89	北東捨場地区	ブロック(6)	375
写真90	北東捨場地区	ブロック(7)	376
写真91	北東捨場地区	ブロック(8)	377
写真92	北東捨場地区	ブロック(9)	378
写真93	北東捨場地区	ブロック(10)	379
写真94	北東捨場地区	ブロック(11)	380
写真95	北東捨場地区	ブロック(12)	381
写真96	北東捨場地区	ブロック(13)	382
写真97	北東捨場地区	遺物出土状況(1)	383
写真98	北東捨場地区	遺物出土状況(2)	384
写真99	北東捨場地区	遺物出土状況(3)	385
写真100	北東捨場地区	遺物出土状況(4)	386
写真101	北東捨場地区	遺物出土状況(5)	387
写真102	北東捨場地区	完器(1)	388
写真103	北東捨場地区	完器(2)	389
写真104	北東捨場地区	配石遺構出土遺物・土器(1)ブロック15・16・4001	390
写真105	北東捨場地区	土器(2)ブロック4002・4003・4004・4005	391
写真106	北東捨場地区	土器(3)ブロック4007・4010・4011・4013	392
写真107	北東捨場地区	土器(4)ブロック4018・4019・4020	393
写真108	北東捨場地区	土器(5)ブロック4022・4023・4024-1・4024-2	394
写真109	北東捨場地区	土器(6)ブロック4024-2・4025	395
写真110	北東捨場地区	土器(7)ブロック4026・4029・4030	396
写真111	北東捨場地区	土器(8)ブロック4031-1・4031-2・4032-1	397
写真112	北東捨場地区	土器(9)ブロック4032-2・4032-3・4032-5・4032-6	398
写真113	北東捨場地区	土器(10)ブロック4033・4034・4036・4037	399
写真114	北東捨場地区	土器(11)ブロック4038・4039・4040・4041・4042・4047	400
写真115	北東捨場地区	土器(12)ブロック4043上層A・4043下層A・4043下層B	401
写真116	北東捨場地区	土器(13)ブロック4044・4045・4049・4051	402
写真117	北東捨場地区	土器(14)ブロック4052-1	403
写真118	北東捨場地区	土器(15)ブロック4052-1・4052-2	404
写真119	北東捨場地区	土器(16)ブロック4052-4・4053-1	405
写真120	北東捨場地区	土器(17)ブロック4053-2	406
写真121	北東捨場地区	土器(18)ブロック4053-2・4054-1・4054-2	407

写真122	北東捨場地区	土器 (19) ブロック4055・4056・4057	408
写真123	北東捨場地区	土器 (20) ブロック4058・4060・4061	409
写真124	北東捨場地区	土器 (21) ブロック4062-1・4062-2	410
写真125	北東捨場地区	土器 (22) ブロック4062-2・4063	411
写真126	北東捨場地区	土器 (23) ブロック4066・4067	412
写真127	北東捨場地区	土器 (24) ブロック4069・4070・4071	413
写真128	北東捨場地区	土器 (25) ブロック4072・4074・4075・4076	414
写真129	北東捨場地区	土器 (26) ブロック4078・4080・4081	415
写真130	北東捨場地区	土器 (27) ブロック4082	416
写真131	北東捨場地区	土器 (28) ブロック4083・4084	417
写真132	北東捨場地区	土器 (29) トレンチ1	418
写真133	北東捨場地区	土器 (30) トレンチ1	419
写真134	北東捨場地区	土器 (31) トレンチ1～3	420
写真135	北東捨場地区	土器 (32) トレンチ3	421
写真136	北東捨場地区	土器 (33) トレンチ5・その他	422
写真137	北東捨場地区	土製品 (1)	423
写真138	北東捨場地区	土製品 (2)	424
写真139	北東捨場地区	石器・石製品 (1)	425
写真140	北東捨場地区	石器・石製品 (2)	426
写真141	北東捨場地区	石器・石製品 (3)	427
写真142	北東捨場地区	石器・石製品 (4)	428
写真143	北東捨場地区	石器・石製品 (5)	429
写真144	北東捨場地区	石器・石製品 (6)	430
写真145	北東捨場地区	石器・石製品 (7)	431
写真146	北東捨場地区	石器・石製品 (8)	432
写真147	北東捨場地区	石器・石製品 (9)	433
写真148	北東捨場地区	石器・石製品 (10)	434
写真149	北東捨場地区	石器・石製品 (11)	435
写真150	北東捨場地区	石器・石製品 (12)	436
写真151	北東捨場地区	石器・石製品 (13)	437
写真152	北東捨場地区	石器・石製品 (14)	438
写真153	北東捨場地区	石器・石製品 (15)	439
写真154	北東捨場地区	石器・石製品 (16)	440
写真155	北東捨場地区	石器・石製品 (17)	441

写真156	北東捨場地区	石器・石製品 (18)	442
写真157	北東捨場地区	石器・石製品 (19)	443
写真158	北東捨場地区	石器・石製品 (20)	444
写真159	北東捨場地区	石器・石製品 (21)	445
写真160	北東捨場地区	石器・石製品 (22)	446
写真161	北東捨場地区	石器・石製品 (23)	447
写真162	北東捨場地区	石器・石製品 (24)	448
写真163	北東捨場地区	石器・石製品 (25)	449
写真164	北東捨場地区	石器・石製品 (26)	450
写真165	北東捨場地区	石器・石製品 (27)	451
写真166	北東捨場地区	石器・石製品 (28)	452
写真167	北東捨場地区	石器・石製品 (29)	453
写真168	北東捨場地区	石器・石製品 (30)	454
写真169	北東捨場地区	石器・石製品 (31)	455
写真170	北東捨場地区	石器・石製品 (32)	456
写真171	北東捨場地区	石器・石製品 (33)	457
写真172	北東捨場地区	石器・石製品 (34)	458
写真173	北東捨場地区	石器・石製品 (35)	459
写真174	北東捨場地区	その他の遺物 (漆製品・アスファルト)	460
写真175	東捨場延長地区	土層	461
写真176	東捨場延長地区	遺物出土状況 (1)	462
写真177	東捨場延長地区	遺物出土状況 (2)	463
写真178	東捨場延長地区	遺物出土状況 (3)	464
写真179	東捨場延長地区	土器・土製品 (1)	465
写真180	東捨場延長地区	土器・土製品 (2)	466
写真181	東捨場延長地区	土器・土製品 (3)	467
写真182	東捨場延長地区	土器・土製品 (4)	468
写真183	東捨場延長地区	土器・土製品 (5)	469
写真184	東捨場延長地区	石器・石製品 (1)	470
写真185	東捨場延長地区	石器・石製品 (2)	471
写真186	東捨場延長地区	石器・石製品 (3)	472
写真187	東捨場延長地区	石器・石製品 (4)	473
写真188	東捨場延長地区	石器・石製品 (5)	474
写真189	東捨場延長地区	石器・石製品 (6)	475
写真190	東捨場延長地区	石器・石製品 (7)	476
写真191	北東捨場延長地区	土層	477
写真192	北東捨場延長地区	土器・土製品	478
写真193	北東捨場延長地区	石器・石製品 (1)	479
写真194	北東捨場延長地区	石器・石製品 (2)	480
写真195	北東捨場延長地区	石器・石製品 (3)	481
写真196	北東捨場延長地区	石器・石製品 (4)	482
写真197	北東捨場延長地区	石器・石製品 (5)	483
写真198	北東捨場延長地区	石器・石製品 (6)	484



## 第1編 東捨場地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 調査方法

### 1 発掘作業の方法

本遺跡の発掘作業に関わる基本事項は、報告書Ⅱで示している。

本編の報告範囲は川原平(1)遺跡の東端に位置し、図1に示すように東捨場地区と村道地区に区分される。南西は南捨場、西は平場、北西は北東捨場の各地区に接する。遺跡登録上、村道までが川原平(1)遺跡で、その東が川原平(4)遺跡である。村道は大沢川の西に位置する大川添への道路として大正時代に開削されたもので、IVW列以北については東捨場の一部を切り土して北東捨場方面へ下がっていき、西捨場付近から大沢川を渡って大川添に至る。路面は未舗装で、昭和30年代に現在の県道が開通した後は、水田や畑への通路として使用されていたようである。発掘調査開始時は、IVW列以北で元の路面が水の通り道となつてえぐれ、両側の斜面に雑木が生え、沢のような状態であった。

グリッドの配置は図2に示した。捨場の範囲は直線的にくることができるものではなく、この区分は調査にあつての便宜的なものである。東側の区分が階段状であるのは、縄文時代の遺物包含層が東側では削平により失われているためである。また、セクションベルト(Sec4)の位置を本地区に含めたため南側では細長く延びている。

2011年(平成23)調査において、南捨場の土器出土重量は調査区の東側ではおおむね少なかったが、調査区の北東隅IVT-56、IVU-55・56ではグリッドあたりの出土土器重量が約8kgと、隣接グリッドの0.5～5.5kgと比べてやや多く、その時点では沢と認識していた村道の切り土部分にかけて遺物量が増えるのではないかと想定された。

2013年(平成25)はSec4以北Sec6までの間を調査し、多数の遺構・遺物を確認した。

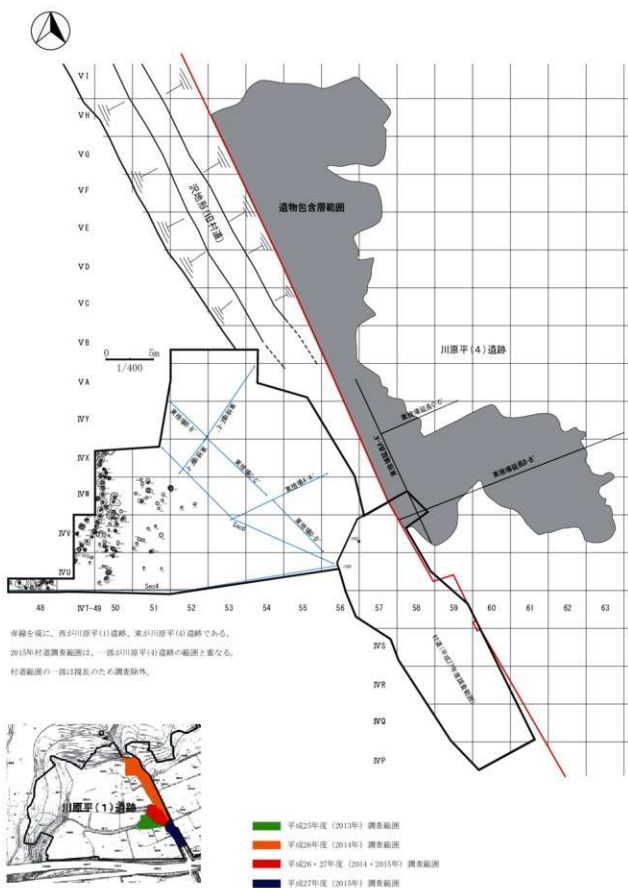
2014年(平成26)は本地区が遺跡の東端にあたることから東捨場と呼称し、Sec6以北を調査した。また、沢のような状態であった村道地区の北半(IVW列以北)を調査し、この部分が道路開削時に切り土されており、本来は沢ではないことが判明した。

2015年(平成27)は前年度に完了できなかったセクションベルトB・EおよびSN64～66を精査し、村道地区の南半を調査した。(岡本)

### 2 整理・報告書作成作業の方法

本遺跡の整理作業に関わる基本事項は、報告書Ⅱで示している。整理期間は2015・2016両年度である。

土器はグリッドごとに仕分けし、重量計測した。重量を計測した目的は、図17のようにグリッドごとの出土重量を示し、捨場への遺物土集中度を明らかにしたかったためである。接合はグリッドごとに下層から行い、層ごとにどの時期の土器が含まれているかの把握に努めた(本編末尾に表を掲載)。復元実測可能なものはできるだけ抽出するとともに、変わった特徴のあるものは小片でも抽出した。整理期間の都合で、掲載するすべての土器を実測することができなかったため、写真掲載にとどめたものが多い。石器・製品類は土器とは別に、単体ごとに資料化の要不要を判断した。(岡本)



赤線を境に、西が川原平(1)遺跡、東が川原平(4)遺跡である。  
2015年村道調査範囲は、一部が川原平(4)遺跡の範囲と重なる。  
村道範囲の一部は復旧のため調査除外。

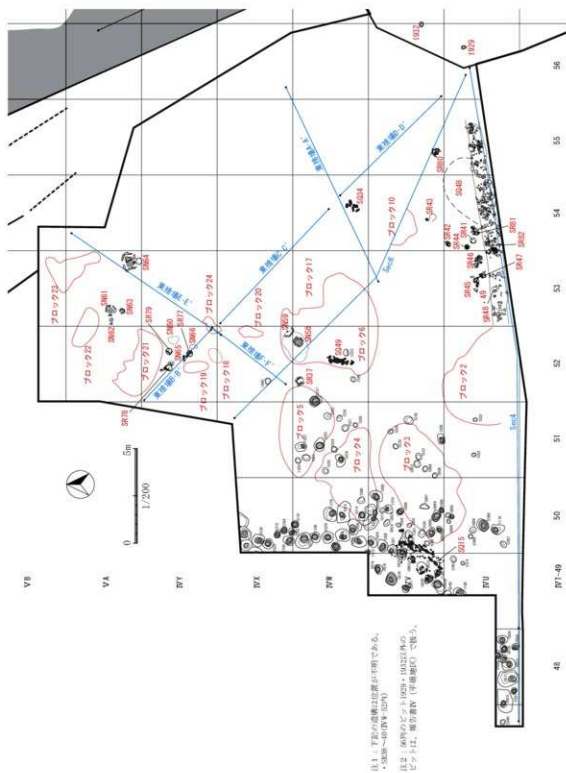


図2 東谷場地区 遺構配置図

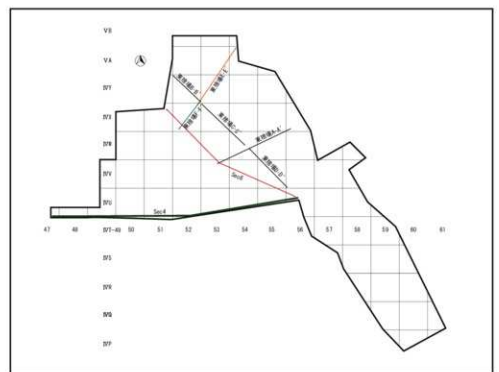
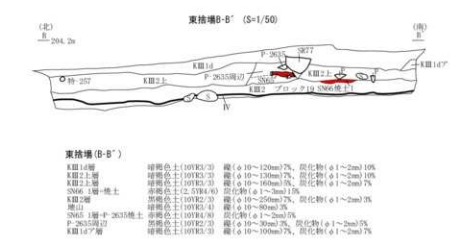
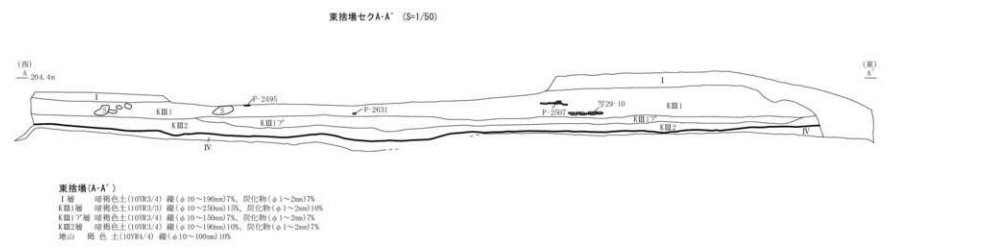
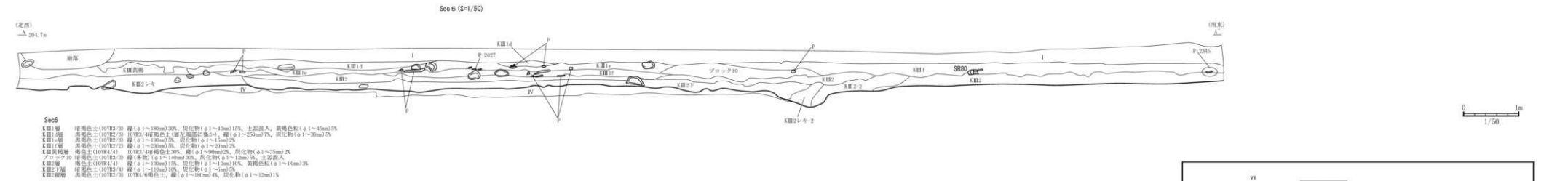
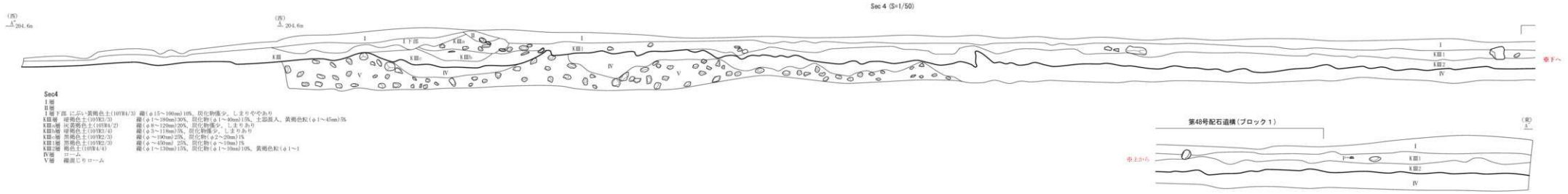


図3 東捨場地区 セクション図(1)



## 第2節 基本層序

本遺跡における基本土層とその解釈は次のとおりである。Ⅰ層：表土。Ⅱ層：本来はⅢ層であったが、耕地や道路の造成時に攪乱を受けた部分。Ⅲ層：耕作等による新しい時代の攪乱を受けていない縄文時代の堆積層。漸移層：Ⅲ層とⅣ層の間にある、遺物を含まない自然堆積土。Ⅳ層：段丘堆積物。いわゆる地山（無遺物層）。地山については深掘りを行った地点が少なく、また地点ごとに様相が異なるため、地山内の堆積順序あるいは年代については情報が不足している。このため、地山は基本的にⅣ層と表記し、必要に応じて「Ⅳ層（ローム）」のように（ ）内に土質を記した。ただし、東捨場においてはSec4の記録でⅣ層をローム、Ⅴ層を礫混じりロームとしており、図3ではⅤ層という表記を残した。

2011年調査の所見では、調査区（現南捨場）の東端辺りではⅢ層の遺物が少なくなり、色調も黒または黒褐色であったものが、灰褐色に近くなっていた。このため、調査区東端付近の遺物包含層をⅢ層として連続させるか新しい層名を付すかという問題が生じたものの、決着がつかないまま2013年の調査を迎えたため、当面の措置として仮Ⅲ層とすることにして調査を開始した。最終的に遺跡内の他の地点においても2011年調査区Ⅲ層との連続が確認できない遺物包含層が発見され、これらをすべてⅢ層としたことにより仮という文字は意味を失ったが、遺物への注記をKⅢ層としたため、以下の記述はKⅢ層で統一する。包含層は大きくは上下に分かれる見通しを得たため、上部をKⅢ1層、下部をKⅢ2層に区分した。両層は地点により細分されるため、数字の後に記号を付してKⅢ1d層のように表記した。KⅢ1・KⅢ2の两大別層とも晩期3期を含んでおり、層ごとの密な堆積時期を確定することはできなかった。土層図作成前の取り上げ遺物は、1・2と区分せず、KⅢ層とした場合がある。また、取り上げ層位で下層というのは、下位という意味で用いている。つまりKⅢ下層はKⅢ層下位という意味で、土層図には表れていないことがある。

本地区におけるⅠ・Ⅱ層は薄い部分が多く、地表下20cmほどで包含層に達する。包含層（KⅢ層）は50～90cmの堆積がある。包含層の形成は縄文時代後期後葉に開始され、それ以前の遺物・遺構はなく土地利用の痕跡は確認できない。包含層の下部は地山で、土質は黄褐色ロームである。包含層と地山との境に明瞭な漸移層は確認できない。一部に包含層形成前の風倒木痕が確認される。

地山の標高は、Sec4で203.7m、Sec6で203.8m、Aラインで203.6mとほぼ平坦だが、Eラインでは西端が203.5m、東端が203.1mである。川原平(4)遺跡の東捨場延長地区ではBライン西端が203.6m、東端が203.2mである。以上から、東捨場地区周辺の旧地形はおおむね平坦であるが、南西がやや高く、北西が低い。50～90cmの厚さをもつ包含層は各所でほぼ水平に堆積しており、最高所はSec4の204.4m、AおよびEラインで204.2mである。川原平(4)遺跡の東捨場延長地区では包含層の層厚が最大でも50cm、最高所は同Bラインで203.9mと、(1)遺跡の方が(4)遺跡より高い。包含層は居住域から離れるに従って厚さを減じているといえる。東捨場から東捨場延長地区にかけての地山のエレベーションは図5に示した。

(岡本)

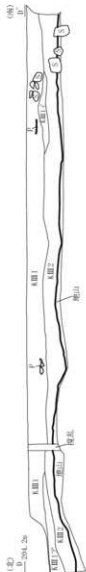
東捨場C-C' (S=1/50)



東捨場(C-C')

- 1層 黒褐色土(10)K2(2) 厚(φ)10~50cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)2%
- カクラン 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~100cm)7%, 炭化物(φ)1~2cm)2%
- K101層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~120cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)7%
- K101下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~50cm)8%, 炭化物(φ)1~2cm)7%
- K1017層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~110cm)15%, 炭化物(φ)1~2cm)10%
- K1017下層 黒色土(10)K2(7) 厚(φ)10~100cm)7%, 炭化物(φ)1~2cm)2%
- K1017下層 黒色土(10)K2(7) 厚(φ)10~100cm)8%, 炭化物(φ)1~2cm)1%
- K1017下層 黒褐色土(10)K3(4) 厚(φ)10~100cm)5%, 炭化物(φ)1~2cm)7%
- K102上層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~100cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)10%
- K102下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~100cm)7%, 炭化物(φ)1~2cm)7%
- 埋山 黒色土(10)K1(4) 厚(φ)10~50cm)7%

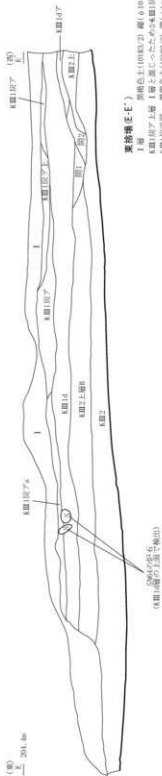
東捨場セクD-D' (S=1/50)



東捨場(D-D')

- K101層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~110cm)13%, 炭化物(φ)1~2cm)10%
- K101下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~80cm)8%, 炭化物(φ)1~2cm)8%
- K101下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~20cm)3%, 炭化物(φ)1~2cm)3%
- K102層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~200cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)7%
- 埋山 褐色土(10)K1(4) 厚(φ)10~50cm)7%

東捨場セクE-E' (S=1/50)



東捨場(E-E')

- 1層 黒褐色土(10)K2(2) 厚(φ)10~50cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)5%
- K1017上層 1層と異なったためK1017より土色がやや黄褐色、
- K1017下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)1~150cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)2%
- K1017下層 K1017上層と同土層と見られるが、厚が多し、やや黄褐色、
- K1014層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~100cm)8%, 炭化物(φ)1~2cm)7%
- K1014下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~80cm)7%, 炭化物(φ)1~2cm)10%
- 埋山 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)1~100cm)10%, 炭化物(φ)1~10cm)7%
- 埋山 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)1~100cm)10%, 炭化物(φ)1~10cm)7%
- K102上層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~100cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)10%
- K102下層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~100cm)20%, 炭化物(φ)1~2cm)1%
- K102層 黒褐色土(10)K2(3) 厚(φ)10~200cm)10%, 炭化物(φ)1~2cm)7%

図4 東捨場地区 セクシヨソ図(2)



東捨場セグーフ (S=1/50)



東捨場子丁

- K田1 赤土 (10182/2) 礫径 10~50mm 15%
- K田2 赤土 (10182/3) 礫径 5~10mm 7%
- K田3 赤土 (10182/4) 礫径 5~10mm 7%
- K田4 赤土 (10182/5) 礫径 5~10mm 7%
- K田5 赤土 (10182/6) 礫径 5~10mm 7%
- K田6 赤土 (10182/7) 礫径 5~10mm 7%
- K田7 赤土 (10182/8) 礫径 5~10mm 7%
- K田8 赤土 (10182/9) 礫径 5~10mm 7%
- K田9 赤土 (10182/10) 礫径 5~10mm 7%
- K田10 赤土 (10182/11) 礫径 5~10mm 7%
- K田11 赤土 (10182/12) 礫径 5~10mm 7%
- K田12 赤土 (10182/13) 礫径 5~10mm 7%
- K田13 赤土 (10182/14) 礫径 5~10mm 7%
- K田14 赤土 (10182/15) 礫径 5~10mm 7%
- K田15 赤土 (10182/16) 礫径 5~10mm 7%
- K田16 赤土 (10182/17) 礫径 5~10mm 7%
- K田17 赤土 (10182/18) 礫径 5~10mm 7%
- K田18 赤土 (10182/19) 礫径 5~10mm 7%
- K田19 赤土 (10182/20) 礫径 5~10mm 7%



地山エレベーション (S=1/200)



地山エレベーションの位置  
(左図参照：S=1/400)



図5 東捨場地区 セクション図(3)

## 第2章 東捨場地区の検出遺構と出土遺物

### 第1節 遺構

本編で報告する遺構は、配石遺構4基、土器埋設遺構19基、焼土遺構9基、ピット2基である。欠番はない。遺構番号は遺跡全体での通し番号であり、本編にない番号の遺構は別地区で検出されたものである。整理過程で新たに遺構番号を付したものは、各項で個別に示した。

#### 1 配石遺構

**第15号配石遺構** (SQ15 遺構：図6、写真9 遺物：図6、写真19)

【位置・確認・重複】IVV-49・50グリッドに位置し、KIII層掘削中に確認した。第108a号建物跡(SI108a)に切られているため、配石の西側は原形をとどめていないと思われる。なお、包含層を地山まで掘り下げた後にピットを確認しており、Pit0490・1003のように配石下部において単独で検出された柱穴には本遺構より古いものがあることは確かだが、本遺構と周辺ピットとの先後関係は明瞭でない。

【規模・形状】3.01×0.98mで、南北に長い。頭大の石で方形に組んである。東側は、扁平な礫を立てた状態でほぼ一直線に配置している。列状に配置された礫をおおむね東限として、周囲および西側に礫が散漫に確認される。

【堆積土】遺構を短軸方向に断ち割ったが、明瞭な礫掘方や下部の掘り込みは確認できない。1層は礫下部にある。2・3層は東捨場の堆積土であり、本遺構に直接の関係はもたない。遺物は覆土として取り上げているが、掘り込みをもたない遺構なので、遺構確認または配石の下部で出土したものである。

【出土遺物】土器はすべて破片で、出土量は500gほどである。写19-1は十腰内IV群で、報告書II-図118-17と同一個体のようなが接合しない。写19-2は晩期4～5期の鉢である。このほか時期が分かる遺物としては後期7-4期・8期、晩期1b期・2期・3期の有文土器が少量ずつ出土している。写19-12は粗粒玄武岩製の磨製石斧で、刃部と基部が欠損している。

【小結】写19-2から、晩期4～5期に構築された可能性があるが、晩期中葉以降と考えられる第108a号建物跡(SI108a)以前の配石遺構である。 (高橋)

**第34号配石遺構** (SQ34 遺構：図6、写真9 遺物：図6、写真19)

【位置・確認】IVW-54グリッドに位置し、KIII1層掘削開始直後に確認した。

【規模・形状】長軸10～30cmの礫6個が、80×40cmの範囲に検出された。遺構周辺には礫が少ないことから人為的に配置されたものと考えられるが、何らかの形状を意図した配置には見えない。S4以外は扁平な礫で構成される。S-5は石皿を転用したものである。

【堆積土】礫を設置した掘方は確認できない。礫の接地面が崩っており、KIII1層の中の平坦な場所に礫を置いたと考えられる。

【出土遺物】遺構に直接伴う遺物はなく、配石の下から出土したP-2456は非掲載である。周辺では礫設置レベルの下位から晩期3期の土器が出土している。写真19-13は配石S-5として使われた石皿である。

【小結】 検出層および周辺遺物から晩期3期の遺構と考えられる。 (岡本)

#### 第48号配石遺構 (SQ48 (旧ブロック1) 遺構: 図7、写真10・11 遺物: 図7、写真20)

【位置・確認・重複】 IVU-54・55グリッドに位置する。表土を除去したところ、KIII1層で遺物と礫の集中を確認した。調査中は、遺物の集中からブロック1としたが、礫がまとまって分布していることから、整理過程で配石遺構に変更した。西側に第82号土器埋設遺構が重複する。周辺に土器埋設遺構や、潰れた状態の深鉢形土器などが複数確認されている。

【規模・形状】 3.92×2.46mの楕円形である。セクション4には、配石が見られないうえ、平成23年度調査の所見で一帯に遺構・遺物は希薄であるので、南限はセクション4のベルトまでと考えられる。拳大から頭大の礫によって構成されている。

【堆積土】 掘り込みなどは確認できなかった。

【出土遺物】 ブロック1として取り上げた遺構周囲の土器は、重量0.7kgである。ほとんどが晩期3期に属する。ブロック1は上下に分けて取り上げられているが、ともに晩期3期の土器が出土しており時期差は認められない。晩期3期の一括資料であるが、完形にならないものが多い。

【小結】 周辺から出土した土器により、晩期3期頃に構築されたと考えられる。 (高橋)

#### 第49号配石遺構 (SQ49 遺構: 図6、写真9)

【位置・確認・重複】 IVW-52グリッドに位置する。ブロック6の範囲内にあり、その検出面で確認された。

【規模・形状】 1.45×0.42mで、一列に礫が並んでいる。

【堆積土】 掘り込みはもたず、KIII1f層の中に礫が並ぶ。

【出土遺物】 遺構に直接伴う遺物はない。

【小結】 ブロック6の出土遺物から、晩期前葉以前に構築されたと考えられる。 (高橋)

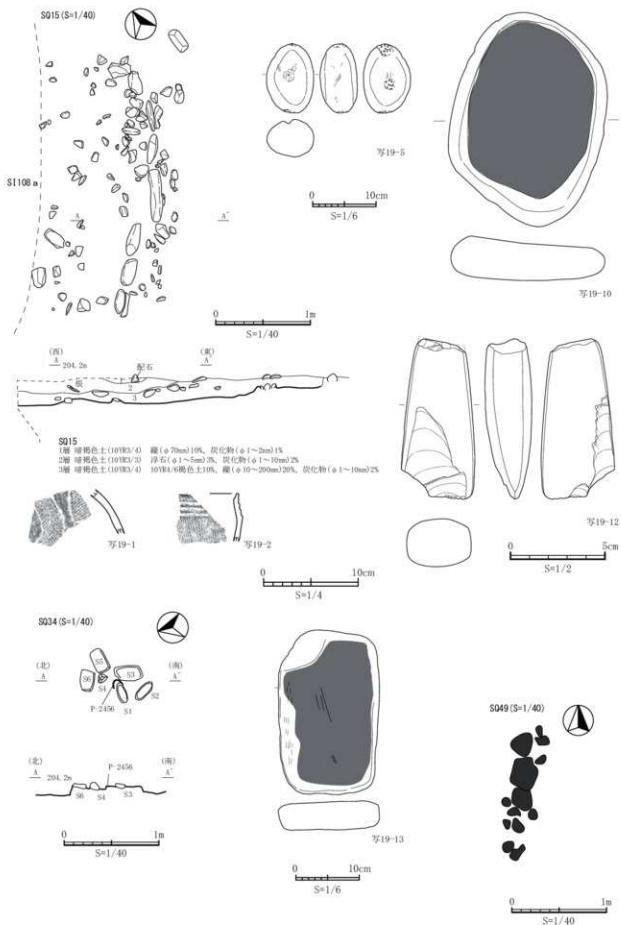


図6 東捨場地区 配石遺構(1)

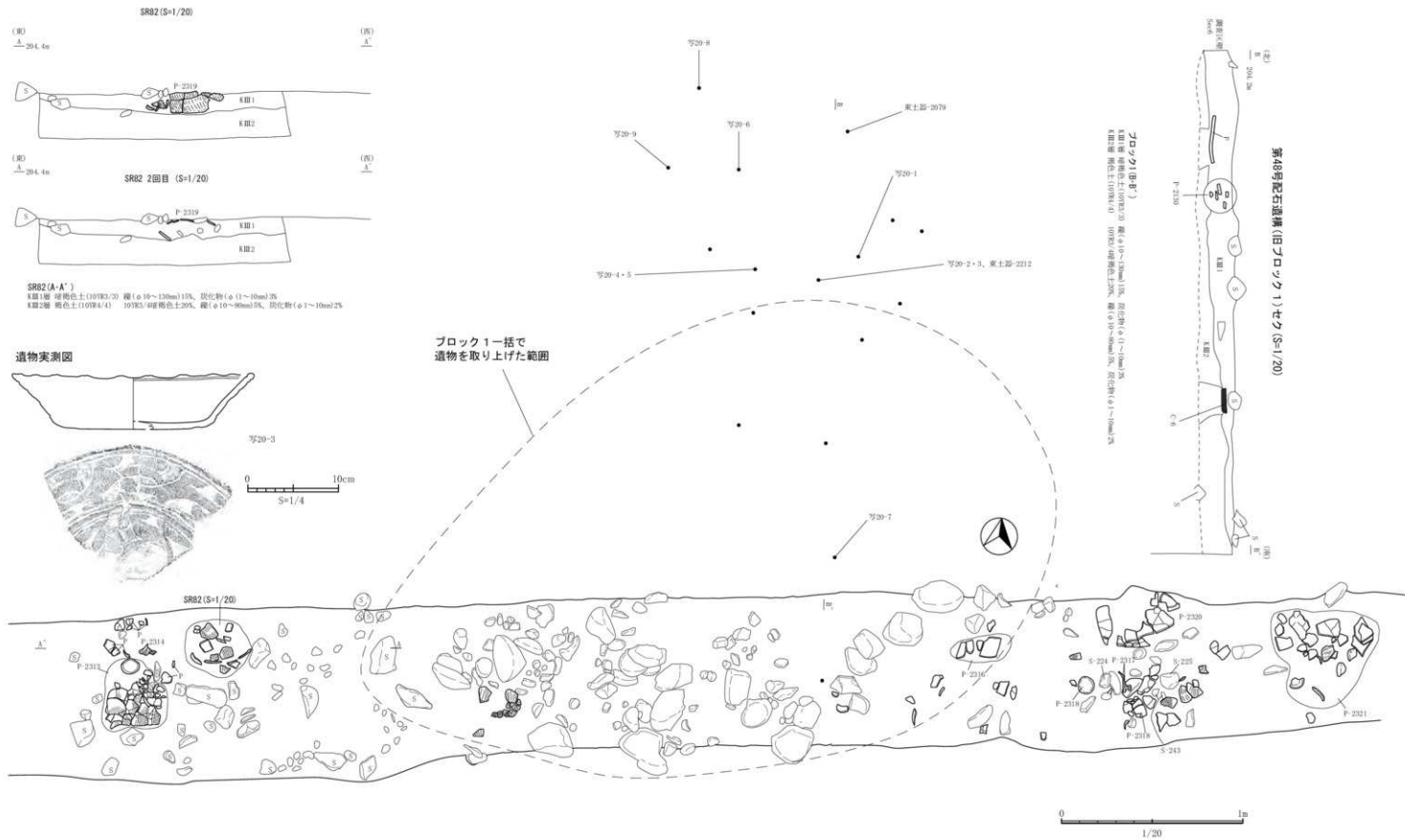


図7 東捨場地区 配石遺構(2)



## 2 土器埋設遺構

第48号配石遺構の周辺で多数確認できた。すべて倒立状態で設置されているが、セクションを観察する限り、堀方が確認できなかった。第49号土器埋設遺構に長いトレンチを入れ、堆積状況を確認したところ(図10)、旧地表面と思われる層(KⅢ2層)の境に口縁部が乗せて設置してあることが判明した。先行して調査した他の土器埋設遺構についても、写真で確認したところ、すべて同じような状態であった。また同時期の土器の多くが、土器埋設遺構と同じレベルで確認できた。これらの特徴を鑑みて、東捨場で確認できた土器埋設遺構は、土坑を構築し、その中に設置したのではなく、地面に逆さまの状態を設置したと推定される。

これ以外に、近くで押しつぶされた様に出土した深鉢形土器も、埋設土器と認定しなかったが、本来は倒立状態で設置していたかもしれない。ただ、倒立状態であることを積極的に言えるだけの情報はなかったため、以下、調査時に倒立状態で確認できた資料を土器埋設遺構として報告する。

類例は、岩手県北上市九年橋遺跡第8次調査、1号埋設土器である(藤村1985)。深鉢形土器を逆さまの状態で地山面上に置いたものである。土器周辺には掘り込み面等は確認されないため、同報告書では、意図的に置かれたものかどうかは不明であると報告している。また、川原平(1)遺跡に隣接する川原平(4)遺跡においても、第27号土器埋設遺構が同じ特徴を有しており、東捨場一帯にこのような遺構がまとまって検出されたと言えよう。(高橋)

### 第37号土器埋設遺構 (SR37 遺構:図8、写真14)

【位置・確認】IVW-52グリッドに位置する。KⅢ1d層で確認された。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は、KⅢ層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】土器内は褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】ブロック6の近辺なので晩期前葉以前の可能性もあるが、このような埋設状態の土器は、晩期中葉に比定されるものが多いので、時期は新しくなる可能性もある。(高橋)

### 第38号～第40号土器埋設遺構 (SR38・SR39・SR40 遺構:写真14 遺物:図11、写真21)

IVW-52グリッドに位置する。半載したところ、掘方が確認できなかった点と、土器が断片だったので、現場では土器埋設遺構と認定せず、SR番号をつけて取り上げた。図面などの記録は取らなかった。

その前で調査したSR37については、掘方が見えなかったが、土器が逆さまに置かれた状態であったので、掘方が確認できないのは、土の影響と考えた。しかし、その後SR41など、掘方が不明確なものが、多数確認でき、SR38～40も類似した遺構の可能性もあると判断し、土器埋設遺構の所に掲載した。ただ、土器の時期が晩期前葉や、正位の状態を確認できたものもあるなど、SR37、SR41以降と様相が異なる。そのため、土器埋設遺構でない可能性は高い。

(高橋)

**第41号土器埋設遺構** (SR41 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。土器は口唇部に突起を持つ深鉢形土器である。

【堆積土】土器内は黄褐色・褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第42号土器埋設遺構** (SR42 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】深鉢形土器の内側に、台付鉢形土器(写21-4)が確認できた。石鏝(写21-5)が粗製深鉢の下で出土しているが、構築場所が捨場であることから積極的に埋納したものかどうかは疑問がある。

【小結】土器内部から出土した台付鉢形土器から、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第43号土器埋設遺構** (SR43 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】IVV-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の北側に位置する。KⅢ層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く鉢形土器が逆さまに置かれている。その南に土器(写21-6)が散らばるような状態で出土した。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。土器は口縁部に平行沈線を持つ。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】出土土器が晩期2～3期であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第44号土器埋設遺構** (SR44 遺構：図8、写真15)

【位置】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。



【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

#### 第45号土器埋設遺構 (SR45 遺構：図8、写真15 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。複数個体の深鉢形土器(図11-2~5・写21-7)がまとまって出土している。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 土器は後期後葉から晩期前葉であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

#### 第46号土器埋設遺構 (SR46 遺構：図9、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。2個体の深鉢形土器(写21-8・9)で構成されている。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。晩期2・3期の土器片と剥片が少量出土しているが、図化していない。

【小結】 晩期中葉の埋設土器と考えられる。(高橋)

#### 第47号土器埋設遺構 (SR47 遺構：図9、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。深鉢形土器であるが、本体の接合・復元ができなかったので、底部(写21-10)のみ資料化した。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 出土土器が晩期2～3期であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

#### 第48号土器埋設遺構 (SR48 遺構：図10、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置・確認】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。土器は口唇部に突起を持つ深鉢形土器である(写21-11)。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

#### 第49号土器埋設遺構 (SR49 遺構：図10 遺物：図12、写真21)

【位置・確認】IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。KⅢ1層で確認した。

【重複】第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。深鉢形土器(図12-1)と台付鉢形土器(写21-13)であるが、本体の接合・復元ができなかったので、底部のみ資料化した。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

#### 第77号土器埋設遺構 (SR77 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KⅢ2上層を掘り込んで埋設されている。P-2634として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が正位で出土した。土器は資料化していない。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

#### 第78号土器埋設遺構 (SR78 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KⅢ2上層を掘り込んで埋設されている。P-2675として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が逆位で出土した。土器は資料化していない。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

#### 第79号土器埋設遺構 (SR79 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KⅢ2上層を掘り込んで埋設されている。P-2676として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が正位で出土した。土器は資料化していない。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

**第80号土器埋設遺構** (SR80 遺構:図9 遺物:図12、写真21)

【位置】 IVV-55グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。土器は口縁部に羊歯状文と突起を持つ鉢形土器である(写21-14)。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 土器の特徴から、晩期3期と考えられる。(高橋)

**第81号土器埋設遺構** (SR81 遺構:図9)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったの  
で、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第82号土器埋設遺構** (SR82 図7)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったの  
で、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

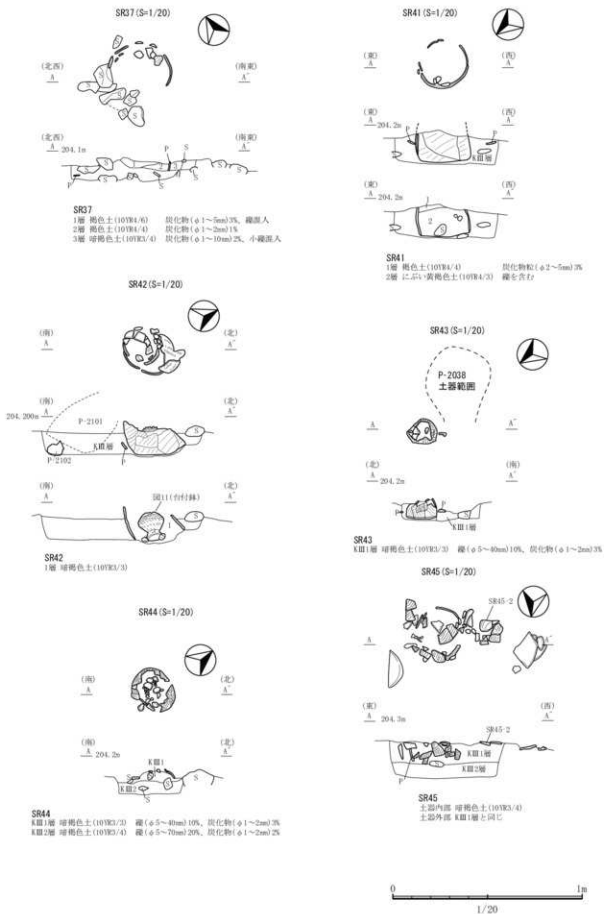


図8 東捨場地区 土器埋設遺構(1)

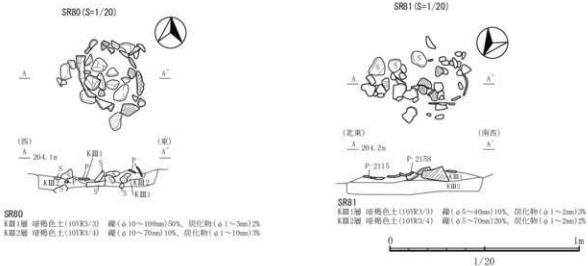
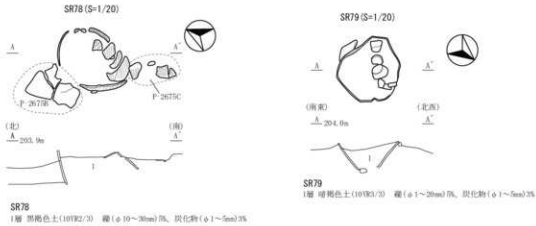
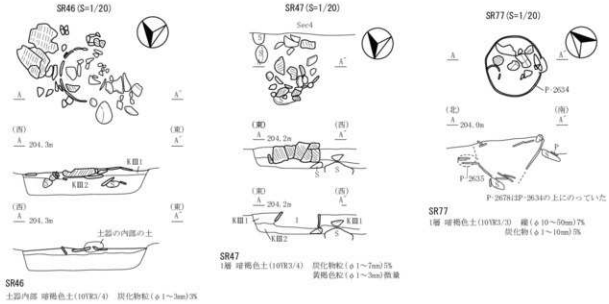
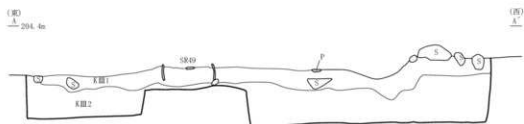
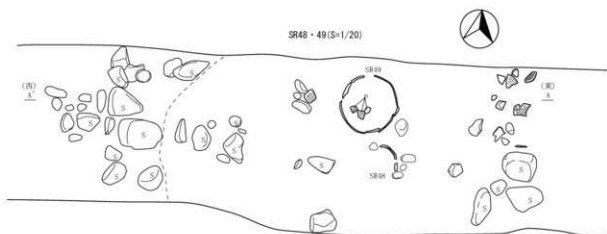


図9 東捨場地区 土器埋設遺構(2)



**SR48-49**

K層1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)1%, 炭化物(φ1~10mm)2%  
 K層2層 褐色土(10YR4/4) 10YR3/4暗褐色土20%, 礫(φ10~90mm)1%, 炭化物(φ1~10mm)2%  
 土器内面 暗褐色土(10YR3/3) 礫1%含む, 炭化物2%

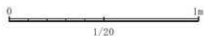


図10 東捨場地区 土器埋設遺構(3)

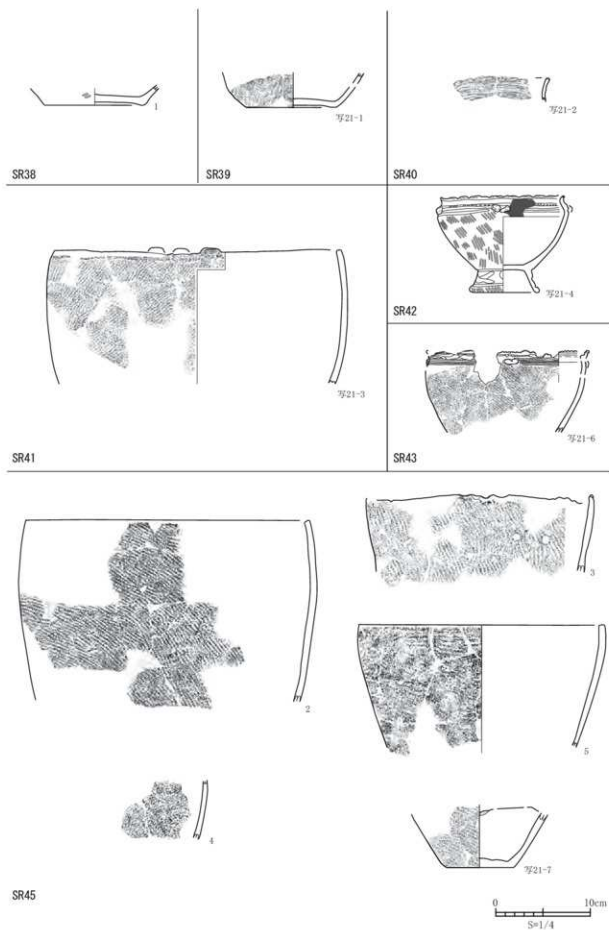


図11 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(1)

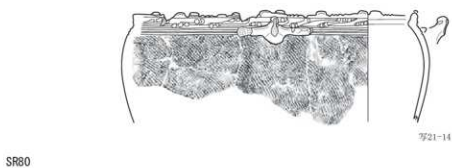
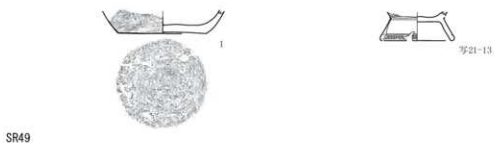
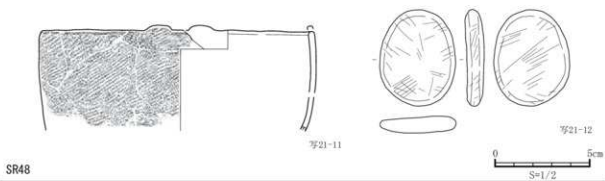
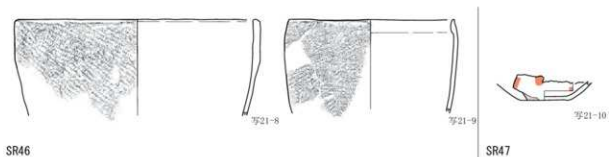


図12 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(2)



### 3 焼土遺構

#### 第58号焼土遺構 (SN58 遺構：図13、写真6 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】IVW-52グリッドのKⅢ1d層で確認された。検出面では炉外にも炭化物や焼土の散布が確認できる。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN59に隣接し同一面で検出されたが、直接の切り合いはなく、先後関係は不明である。ブロック17と重複し、本遺構が新しい。

【規模・形状】石囲炉で、炉石は完存している。長径10～25cmの石9個を外径50cmほどの円形に配置しており、その内部を炉外よりも5cmほど掘り窪めて火床面としている。火床面は直径30cmの円形で、炉石には明瞭な被熱痕跡はない。

【堆積土】断面図の※層は、炉外に広がる炭化物を含む焼土層で、取り上げ層位は周辺焼土である。1層は遺構廃絶後の堆積土で、焼土や炭化物、土器を含む。2層は遺構の構築に伴う攪乱を受けていないKⅢ1d層で、上面が被熱している。被熱の深さは3cmである。

【出土遺物】土器は小片のみで、遺構に伴うというより当時の地表に散らばっていたものではないかと考えている。写22-1は1層で出土しており、晩期1a期の可能性がある。写22-2・3は周辺焼土で出土した。2は晩期前葉に属す。周辺出土炭化材C-1はクリと同定され（樹種同定No.170）、炭素年代測定結果は2910±20yrBP（KAWA(1)-69）である。また、1層出土土獣骨（種は同定できず）の炭素年代測定結果は、2850±20yrBP（KAWA(1)-164）であった。

【小結】出土土器から晩期前葉以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期と晩期1b期の土器が出土しており、矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、出土土器や炭素年代測定結果から考えて、晩期前葉の遺構と判断しておきたい。

#### 第59号焼土遺構 (SN59 遺構：図13、写真6 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】IVX-52グリッドのKⅢ1d層で確認した。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN58に隣接し同一面で検出されたが、直接の切り合いはなく、先後関係は不明である。ブロック17と重複し、本遺構が新しい。

【規模・形状】石囲炉である。北半の石は抜き取られたようで、3個の炉石が残存している。確認できる最大外径は65cmである。明瞭な火床面は確認できず、炉石も被熱していない。

【堆積土】堆積土中に焼土は確認できない。炉石内外に同質の土が認められ、KⅢ1d層を10cmほど掘り窪めて構築している可能性がある。セクションラインでは炉石の掘方は確認できない。炉石の内側を1層（炉内）、外側を2層とした。平面図の炭化物位置は炉底面の可能性がある高さである。

【出土遺物】土器は小片のみで、遺構に伴うというより当時の地表に散らばっていたものではないかと考えている。写22-5・6は炉内出土で、いずれも晩期1b期と考えられる。写22-4は炉外出土で、晩期の粗製土器である。1層出土炭化材はクリと同定され（樹種同定No.171）、年代測定結果は2850±20yrBP（KAWA(1)-70）である。平面図に出土位置を示した炉底面出土炭化材の年代測定結果は2830±20yrBP（KAWA(1)-71）である。

【小結】出土土器から晩期1b期以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期2期の土器が出土しており、矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土している

ため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、出土土器や炭素年代測定結果から考えて、晩期前葉の遺構と判断しておきたい。

#### 第60号焼土遺構 (SN60 遺構：図13、写真7・8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】IVY-52グリッドのKⅢ1d層で確認した。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN65・66とは直接重複しないが、両者より上位の層準で検出されており、本遺構が新しい。

【規模・形状】地床炉で、掘り込みは伴わない。火床面は55×40cmの楕円形である。

【堆積土】掘り込みをもたないため、炉に伴う堆積層はない。KⅢ1d層が被熱しており、1層は被熱部分で、被熱の深さは5cmである。2層はKⅢ1d層である。

【出土遺物】焼土胎で写22-7が出土しており、後期後葉～晩期前葉の台付鉢の台部である。遺構に伴うものではなく、機能時の地表面にあったものであろう。このほかに時期の分かる破片は出土していない。

【小結】出土土器から晩期前葉以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、直近の出土土器から、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第61号焼土遺構 (SN61 遺構：図14、写真7・8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN62と同一平面であるが、直接重複しないため新旧関係は不明である。SN63より検出標高が高いため、本遺構が新しい可能性がある。

【規模・形状】石囲炉である。炉石は6個確認でき、全周していない。明瞭な抜き取り痕が確認できないので、当初から全周していなかった可能性もある。現存する炉石の掘方も確認できなかった。炉の外径は直径60cm、火床面は40×30cmの楕円形である。

【堆積土】1・2層は廃絶後の堆積土である。2層の厚さから考えて、炉内は周囲よりやや掘り窪めていた可能性が高い。3層はKⅢ1d層が被熱したもので、被熱の深さは7cmである。

【出土遺物】2・3層から土器片が少量出土したが、時期の分かるものはない。写22-10・11は1層で出土しており、炉の廃絶後の土器と思われる。10は晩期、11は晩期～中葉の粗製深鉢である。2層出土焼獣骨(種は同定できず)の炭素年代測定結果は、2630±20yrBP (KAWA(1)-166)である。写22-8・9は炉石に転用された礫石器である。

【小結】本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、遺構の構築はそれ以後と判断できる。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、周囲の焼土遺構との関係から、晩期前葉の遺構と判断する。焼獣骨の年代測定結果は、遺構の推定時期に対してやや新しい年代を示す。

#### 第62号焼土遺構 (SN62 遺構：図14、写真7・8)

【位置・確認・重複】VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN61と同一平面であるが、直接重複しないため新旧関係は不明である。SN63より検出標高が高いため、本遺構が新しい可能性がある。

【規模・形状】火床面の西側に2点の石が確認できるが、炉石とするには小ぶりで、火床面を囲むよ

うにも見えないため、本遺構は地床炉と判断する。火床面は直径25cmの円形である。

【堆積土】 炉に伴う堆積層はなく、構築にあたって掘り窪めた痕跡もない。1層はKⅢ1d層が被熱したもので、被熱の深さは5cmである。

【出土遺物】 なし。

【小結】 本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、遺構の構築はそれ以後と判断できる。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、周囲の焼土遺構との関係から、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第63号焼土遺構 (SN63 遺構：図14、写真8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】 VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN61・62よりも下位に位置する。

【規模・形状・土器埋設状況】 土器埋設炉で、煮沸痕跡のある粗製深鉢を転用し、正位に埋設している。土器の周囲にも焼土が確認された。埋設された写22-12は晩期の深鉢である。底部が完全な平底であることから、晩期前葉以降と判断される。口縁は確認されないが、埋設時に打ち欠かれたものか、埋設後に欠損したものかは不明である。

【堆積土】 炉体土器よりも一回り大きな掘方を持ち、炉体土器の底部は掘方底面には接していない。炉内堆積土は3細分され、焼土は土器の中位で確認された。

【出土遺物】 炉内堆積土から後期8期と晩期2期の土器片が少量出土した。機能時の混入である。

【小結】 炉内出土土器から晩期2期以降と判断でき、炉体土器の底部形状が平底を呈することと調和的である。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、これと矛盾しない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当たらないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第64号焼土遺構 (SN64 遺構：図15、写真9 遺物：図16、写真22)

【位置・確認】 VA-53グリッドに位置する。2014年にセクションベルト内で確認し、2015年に精査した。KⅢ1d層上面に作られている。

【規模・形状】 大小の炉石が1m×70cmの楕円形、あるいは隅丸方形に配置される。南側に位置する直径30cmほどの丸石は、炉石ではない可能性がある。炉石の配置には隙間がある。炉石には掘方を伴うが、隙間の部分では掘方が検出できないので、当初から密に配置されてはいなかったと考えられる。火床面は50×40cmの楕円形である。火床面の中央がやや窪んでおり、炉内がやや掘り窪められていた可能性がある。

【堆積土】 炉に伴う堆積土は確認されず、KⅢ1d層が被熱している。被熱の深さは8cmである。

【出土遺物】 1層から少量の土器片が出土している。焼土に伴うというよりも、当時の地表面にあった土器ではないかと考えられる。有文土器の時期は、後期8期と晩期1b期で、写22-13は晩期1b期の鉢である。写22-14は石皿で、火床面より上位で出土したため、本遺構に直接伴うものではないかもしれない。

【小結】 出土土器から晩期1b期以降の遺構である。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土している。晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当た

らないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第65号焼土遺構 (SN65 遺構：図15、写真9 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】2014年に確認し、2015年に精査した。IVY-52グリッドに位置し、KIII2上層を掘り込んで作られている。SN66・ブロック19より上位に位置しており、本遺構が新しい。

【規模・形状・土器埋設状況】火床面の周囲で土器が出土しており、土器埋設炉の可能性が高い。西半分は掘りすぎたため全容がつかめないが、火床面は20×15cmの楕円形に広がるようである。底部を欠く粗製深鉢を倒立状態で埋設している。埋設された土器の下端（口縁）まで焼土が確認される。写22-15は埋設された土器本体である。煮沸痕跡のある粗製深鉢を転用している。

【堆積土】土器の周囲に土層の乱れがあり、土器に対してやや大きな掘方が想定できる。土器内に焼土があることが確認できる。

【出土遺物】埋設された土器以外の遺物は確認できない。

【小結】晩期1期までが出土しているブロック19より新しいことから、晩期前葉以降の遺構である。本グリッドのKIII2上層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土している。晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当たらないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第66号焼土遺構 (SN66 遺構：図15、写真9)

【位置・確認・重複】2015年に精査した。IVY-52グリッドに位置し、KIII2層の上面に作られている。SN65より下位、ブロック19の上位に位置する。

【規模・形状】地床炉である。40×20cmの楕円形に火床面が広がる。

【土器埋設状況】底部を欠く粗製深鉢を倒立状態で埋設している。掘方は確認できなかった。埋設された土器の下端（口縁）まで焼土が確認される。

【堆積土】掘り込みはもたず、KIII2層が被熱している。被熱の深さは5cmである。

【出土遺物】なし。

【小結】晩期1期の廃棄単位であるブロック19の上位に位置するため、晩期前葉以降の遺構である。本グリッドのKIII2層では晩期3期までが出土しているため、遺構の帰属時期は晩期1期から晩期3期までで考える必要があるものの、周辺焼土の帰属時期から積極的に晩期中葉に下げる理由は見当たらない。ここでは晩期前葉の遺構と判断しておく。

(岡本)

## 4 ビット

報告範囲内の柱穴は、建物跡を構成するものを含め、多くは包含層掘削終了後に地山面で確認したものである。ただし、それはKIII層中での確認が困難であったためであり、柱穴の構築が包含層形成以前に遡るわけではない。なお、東捨場地区で検出されたものは報告書IVの平場地区で報告することとし、本項では村道地区で検出された2基について記載する。

Pit1929はIVU-56、Pit1932はIVV-56に位置し、地山面で確認した。詳細は遺構一覧表に記載した。

(岡本)

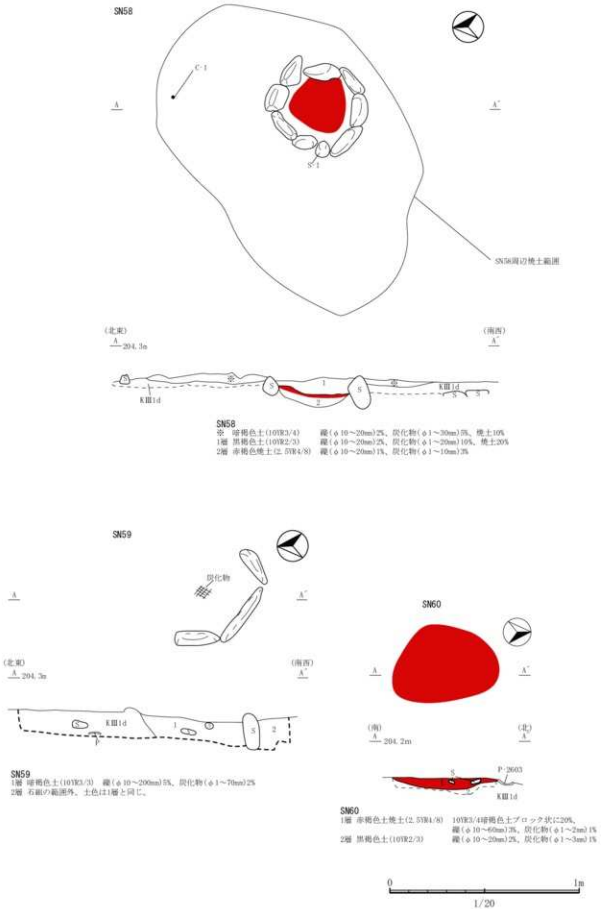


図13 東拾場地区 焼土遺構(1)

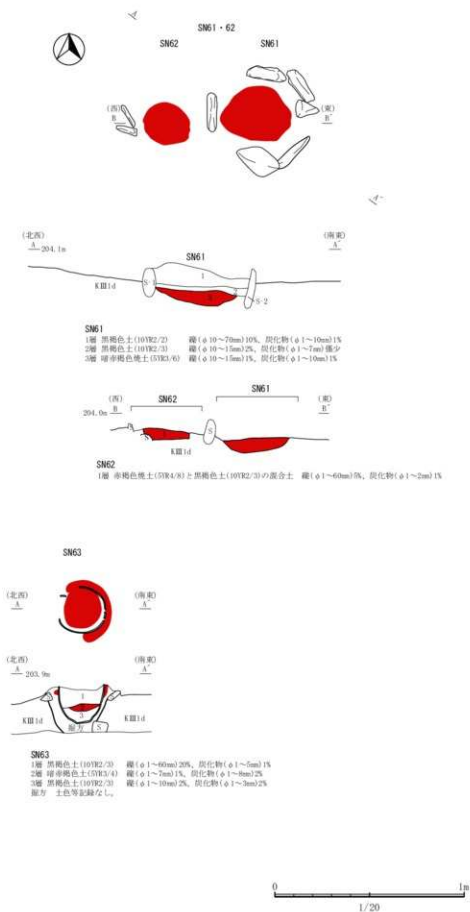
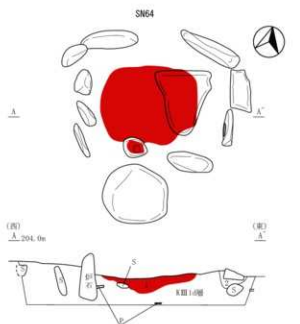
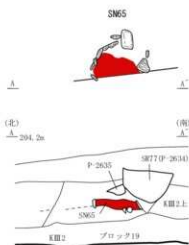


図14 東拾場地区 焼土遺構(2)



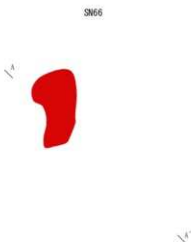
SN64

1層 褐色土(7.5YR4/6) 7.5YK3/6暗褐色土10% 炭化物(φ1~70mm)7%  
2層 暗褐色土(10YK3/4) 炭化物(φ1~3mm)1%



SN65

SN65 1層-P-2635焼土(赤褐色土(10YR4/8) 炭化物(φ1~2mm)5%



SN66

1層 赤褐色土(7.5YR4/6) 炭化物(φ1~3mm)10%

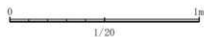
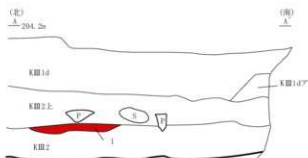


図15 東捨場地区 焼土遺構(3)

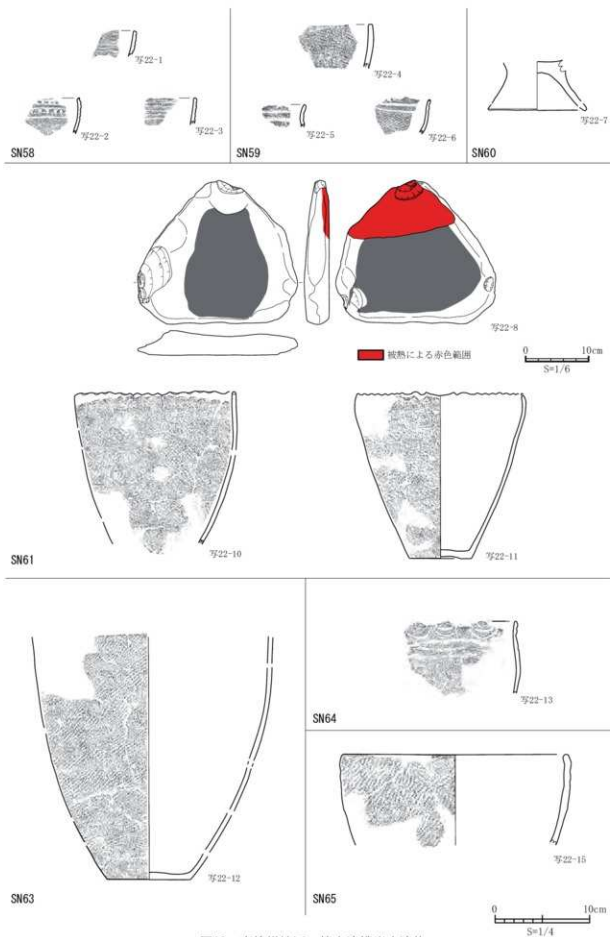


図16 東捨場地区 焼土遺構出土遺物



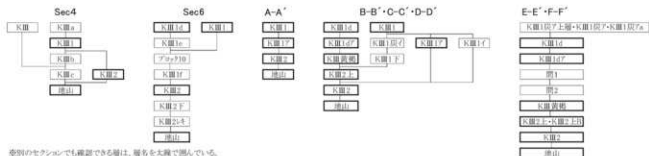
## 第2節 東捨場

### 1 概要

東捨場は平坦地に形成された捨場である。捨場に堆積した土（遺物包含層）は、遺構掘削残土、廃棄された遺物および有機物、あるいは廃棄物の腐臭を覆うためにかけられた人為堆積土である。もちろん、人為堆積の窪みに溜った水成や風成による自然堆積土の存在は否定しないが、盛土と呼称されることもある人為堆積が基本であることを押さえておく必要がある。地山の上に堆積した土の厚さは柱穴が検出されている区域よりも厚いので、縄文時代集落の集落機能時には写真5-7のように周囲よりは若干の高まりがあったと推定されるが、細別各層がおおむね水平に堆積していることから、土まんじゅう状の盛土がこの地区に形成されていたわけではなさそうである。この意味では平場地区の盛土遺構とは異なる廃棄域であり、時期的な差によるものであろう。捨場内に焼土遺構や配石遺構、土器埋設遺構がみられることから、土地利用のあり方は南捨場との共通性が高い。なお、土層の区分は主に色調によってなされており、1回の廃棄単位を認定できるような細かな線引きはしていない。堆積土中に焼獣骨の碎片が多数含まれることは、ほかの捨場とも共通する。

遺物の出土状況を観察すると、一回の廃棄で多数の土器が捨てられた事を見出すことはできなかった。捨場は小さな廃棄単位の積み重ねで成り立っていると考えられる。廃棄後に移動した土器があることを確実に示すことはできず、離れた場所出土した破片同士が接合する事も比較的少ないので、廃棄後に土を均したりする行為が頻繁に行われていたようには思えない。そうであれば、捨場内には多数の凹凸があったはずである。ある窪みに別の時期に土器を捨てたとすれば、我々が調査したときには同一レベルで別型式の土器が出土する現象として捉えられる。亀ヶ岡文化の捨場を我々が調査するときは、今回がそうであったように必ず時間との戦いになる。土器や石器など遺物がざくざく出て潮干狩りのような話、時期の古いものも新しいものも混在して出土するので層の上下で時期差は出せないという話など、亀ヶ岡文化の捨場調査の印象論はこのような中で成立するのではないだろうか。

下表はセクションごとの細別層を整理したものである。上部をKⅢ1層、下部をKⅢ2層として大別できるが、いずれにおいても晩期3期の土器が出土しており、層の上下から時間的な差（土器型式の差）を導くことを困難にしている。



各別のセクションでも確認できる層は、層名を太線で囲んでいる。

主要な層の概要および出土した土器の時期は、下記の通りである。

KIII 1層：色調は暗褐色で、礫も多数含まれる。東捨場の地山はロームが基本なので、礫は別の場所から持ち込まれたと考えられる。東捨場の南半に広がりをもつ。後期7-4期～晩期2期の土器は少ない。主体は晩期3期で、復元個体も多い。確実な晩期4期は含まれず、晩期5期が少量出土する。セクションA-A' (図3) では、写29-10の土器とP-2507がどちらも水平に出土している。一時的な地表面に対応する可能性があり、本層の堆積が何段階かに区分できることを示唆する。

KIII 1d層：KIII 1d層はKIII 1層とは直接上下を確認できる場所はなく、東捨場の北半に広がりをもつ。色調は黒褐色で、後期7-4期～晩期1b期が多い。晩期2期は少なく、復元率も低い。2013・2014年いずれの調査でも晩期3期の土器が少量出土している。晩期4期以降の土器は含まれない。

KIII 1炭A層：炭化物主体の層で、焼土は含まれない。時期は異なるが、北捨場などでも類似した層が確認されている。出土炭化材の放射性炭素年代測定値は $2760 \pm 20$ yrBPである。

KIII 1炭I層：炭化物主体の層で、焼土は含まれない。写36-7の土器は本層に据え置かれたような状態で、逆位で出土したもののだが(写真17-3)、土器埋設遺構とはしなかった。本層出土炭化材の放射性炭素年代測定値は $2920 \pm 20$ yrBPである。

KIII 1下層：KIII 1炭I層の下部にある。後期7-4期～晩期3期が出土している。

KIII 黄褐色層：KIII 1d層とKIII 2上層の間にある。地山ロームに由来すると考えられ、遺構の掘りあげ土の可能性もある。遺物は少なく、後期後葉～晩期前葉の土器が少量出土している。

KIII 2上層：KIII 2層より礫を多く含み、色調も濃いことから区分される。KIII 1d層とKIII 2層の間にある。後期7-4期～晩期3期の土器が出土している。出土漆塗膜(特274)の放射性炭素年代測定値は $3060 \pm 20$ yrBPである。

KIII 2層：KIII 1層・KIII 1d層の下部にある。両層よりも色調は淡い。KIII 2層では後期7-4期～晩期1b期の土器が多く、晩期2期は少ない。また、2013・2014年いずれの調査でも晩期3期の土器が少量出土している。晩期4期以降の土器は含まれない。出土漆塗膜の放射性炭素年代測定値は $3050 \pm 20$ yrBPである。写37-8の土器は台部を欠くもの大きな破損箇所のない状態で、逆位で出土した(写真17-2)。周囲ではあまり土器が出土しておらず、単体で確認した。掘方は確認できず、土器埋設遺構とはしなかった。

KIII 層：Sec4にKIII層という区分を設けているが、その場所以外でも土層図作成前には多くをKIII層として取り上げている。

KIII 上層：KIII層の上位という意味で相対的に用いており、土層図には表れていない。

KIII 下層：KIII層の下位という意味で相対的に用いており、土層図には表れていない。

図17は東捨場および川原平(4)遺跡東捨場延長部分で出土した土器の重量分布である。報告書Ⅱ第5章図④と連続させると、南捨場の区域Fよりもグリッドあたりの出土量が多く、南捨場とは区分される捨場と考えてよい。村道を挟んで遺物量は減るものの、捨場としては川原平(4)遺跡に連続している。1グリッドで出土した土器重量の最大はIVY-52の168.2kgと、南捨場の最大値とほぼ同じで、西、北、北東捨場の最大値の三分の一程度である。平地に形成された捨場ということで堆積量自体が斜面捨場より少なかったことに起因するのだろうか。(岡本)

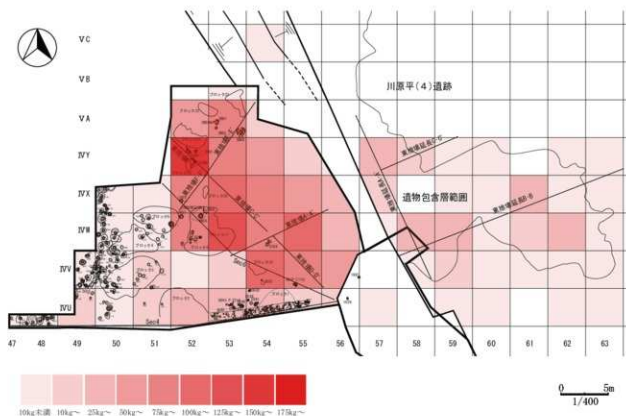


図17 土器の重量分布

表1 グリッド別土器出土重量 (数字はkg)

VC																			0.9
VB								8.1											
VA						67.9	86.9	23.3											
IVY						168.2	91.5	70.3	14.6	3.1	31.3	10.9	2.6	1.0			0.4	0.1	
IVX		0.2		0	0.6	86.6	116.4	95.9	56.4	42.0	24.7		3.8	2.9	48.7	8.7	0.1		
IVW	0.1	0	0.1	0.7	5.7	76.5	131.2	96.9	112.4	43.6	4.8	36.9	25.6	6.1	10.5	27.7	1.8		
IVV		0	1.1	7.9	15.6	7.7	15.5	105.7	86.6	64.0		7.0	10.4	2.1	3.1	3.1	2.9		
IVU	1.6	1.2	12.1	9.8	18.2	28.7	29.5	43.3	24.6	14.1	1.5		0.2	0.3		0.2	0.1		
	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63		

0は0.1kg未満。  
ブロッタは数量に含めた。  
遺構および埋蔵グリッドが不明のものは除外。

## 2 土器集中範囲（ブロック）

現地調査中に土器が集中して出土した範囲に対して「ブロック」という名称を与えて遺物を取り上げた。見かけの上で土器が集中していることを認定基準としており、集中の度合いは相対的なものである。ブロックの認定基準は南捨場とほぼ同じである。調査過程で一括廃棄をとらえたわけではなく、型式としてのまとまりを抽出できるのではないかと考えたためにグリッドより小さい遺物取り上げ単位を設けたものである。このため本項の検討対象は土器に限定し、「土器集中域」として報告する。ブロック番号は遺跡全体での通し番号であり、空白の番号は本編以外に掲載されている。ブロック1は配石遺構（SQ48）に振り替えた。

図18・19の●印は、取り上げ番号を付した土器の出土位置である。同図では各ブロックの範囲を示しているが、これは取り上げ番号を付さなかった遺物でもその範囲内はブロックとして一括したことを示す。取り上げ番号を付したものは、その範囲外にも存在する場合がある。ブロックとして取り上げた土器以外の遺物は必要に応じて触れるにとどめ、石器は遺物観察表の出土位置の項目にブロック番号を記した。

### ブロック2（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVU-51・52グリッドのKⅢ1層で確認した。遺物は4×5mの範囲に半円状に広がっている。

【堆積土】掘り込みはなく、KⅢ1層の中に遺物や自然石が高低差をもたず散在する。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土としている。

【出土遺物】土器はすべて破片で、出土重量は8kgである。後期7-4期、晩期1期、晩期3期が出土している。写23-1は晩期1a期、写23-2は晩期1b期、写23-4・5は晩期3期である。写23-6は香炉頂部で後期に属す。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、復元される土器もないことから、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

### ブロック3（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVU・V-50・51グリッドのKⅢ層で確認した。6.4×3mの楕円形に広がる。ブロック4に隣接し、同一面にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、0.8kg出土した。後期7-4期、晩期1期、晩期3期が出土している。写23-7は後期7-4期、写23-9は晩期1a～1b期、写23-10は晩期3期である。写23-8は後期後葉～晩期前葉の粗製土器である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック4** (遺構: 図18、写真12 遺物: 図21、写真23)

【位置・確認状況・規模・形状】IVV・W-50・51グリッドのKⅢ層で確認した。5×3mの不整形に広がる。ブロック3・5に隣接し、同一面にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、2.5kg出土した。後期7-4期、晩期1a期、晩期2～3期が出土している。写23-11は後期7-4期、写23-12は晩期1a期、写23-13は晩期2～3期である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック5** (遺構: 図18 遺物: 図21、写真23)

【位置・確認状況・規模・形状】IVV・X-51・52グリッドのKⅢ層で確認した。4.8×2.8mの楕円形に広がる。ブロック4に隣接し、同一平面上にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、1.8kg出土した。後期7-4期、後期8～晩期1a期、晩期3期、晩期4期が出土している。写23-14は後期7-4期、写23-15・17は後期8期～晩期1a期、写23-16は晩期4期である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期4期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック6・ブロック17** (遺構: 図19、写真12・13 遺物: 図22・23、写真25)

【位置・確認状況・規模・形状】ブロック6は2013年、ブロック17は2014年に調査した。両者は一体のものと考えられ、IVV・W・X-52・53グリッドに5.4×5mの不整形に広がる。検出層は、Sec6よりKⅢ1d層である。SQ49はブロック6の範囲内に位置しており、同時期の遺構と考えられる。

【堆積土】遺物取り上げ層位は、ブロック6がKⅢ層または覆土、ブロック17がKⅢ1d層であるが、一部の遺物は層が混乱しKⅢ1d～f層となっている。写真12-下段左はブロック17の全景だが、遺物の多いところは周囲と比べて礫が多く、土色の黒味が強い場合もある。また、写真13-上段左はブロック17の遺物取り上げ後の状態であるが、掘り込みをもたず、整然と並べられたわけでもない、大小の混在した礫からなる集石が確認できる。このようなあり方は、遺物を捨てるだけでなく、礫を含めて遺構の掘削残土を捨場に廃棄したという人間行動の一端を示していると考えられる。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1a期、晩期1b期、晩期2期、晩期2～3期の土器が出土している。ブロック6は、写24-1が後期8期、写24-2・3・8が晩期1b期、写24-4が晩期1a～1b期、写24-6が晩期2～3期、写24-5・7が後期後葉～晩期である。ブロック17は、写25-3～4・6・10～13が晩期1b期、写25-5が晩期1b～2期、写真25-7・9・14が晩期2期、8が晩期である。このほか、写44-87が晩期2

～3期である。

【小結】晩期3期に下る可能性がある復元個体を含むものの、主体は晩期1b～2期であり、晩期前葉のまとまった資料と考えられる。接合が進まない土器が多く、破損したものを廃棄した可能性がある。

#### ブロック10 (遺構：図19、写真13 遺物：図22、写真25)

【位置・確認状況・規模・形状】IVV-54グリッドに位置し、径2mの半円状に広がる。Sec6の北側を2014年に調査した際には顕著な遺物の広がり確認できなかった。

【堆積土】掘り込みはもたず、Sec6においてKIII1e層とKIII1f層に挟まれて確認された。遺物取り上げ層位は覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、晩期2期、3期の土器が出土している。写25-2が晩期3期、写25-1は晩期前葉の可能性はある。

【小結】小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

(ブロック17はブロック6と連続しているため、ブロック6と合わせて記載している)

#### ブロック18 (遺構：図19、写真13 遺物：図23、写真26)

【位置・確認状況・規模・形状】IVX・Y-52グリッドに位置し、KIII2層で確認された。ブロック19に隣接し、直径約1.5mの範囲に広がる。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器や礫が小規模な山状にまとまっている。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1a期、晩期3期の土器が出土している。写26-1は後期7-4期、写26-2は後期8期、写26-4は後期後葉、写26-6は後期8期、写26-3は晩期1a期、写26-5は晩期3期である。

【小結】晩期3期の土器は破片であり、このブロックにおいては混入と考えられる。後期末葉～晩期初頭の小規模な廃棄単位ではないかと考えられる。

#### ブロック19 (遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真26)

【位置・確認状況・規模・形状】IVY-52グリッドのKIII2層で確認した。1.3m×50cmの楕円形に広がっている。ブロック18に隣接し、SN65・66より下に位置する。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器や礫が小規模な山状にまとまっている。ブロックの中央にはロームが認められる。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1期が出土している。写26-7・10は後期7-4期、写26-11は後期8期、写26-9は後期後葉～晩期、写26-8は晩期1b期の可能性がある。

【小結】土器や礫を含む土が小さな山のように検出された。土器の時期が混在していることや、復元率が低いこと、また土壌化していないロームが含まれていることなどから、遺構掘削残土などを廃棄した可能性がある。時期は下限となる土器型式から晩期前葉と考えられる。

**ブロック20**（遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真26）

【位置・確認状況・規模・形状】IVX-52グリッドのKIII2層で確認した。1.3m×50cmの不整な楕円形に広がっている。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器が密集している。顕著な礫は含まれない。

【出土遺物】後期8期～晩期1a期が出土している。写26-12は後期8期、写26-14は後期8期～晩期1a期、写26-13は後期後葉～晩期で、写26-15は後期後葉と考えられる。

【小結】後期末葉～晩期初頭の廃棄単位の可能性がある。

**ブロック21**（遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真27）

【位置・確認状況・規模・形状】IVY・VA-52グリッドのKIII2上層で確認した。2.4×1.5mの不整な楕円形に広がる。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器が平坦な面を作るように密集している。顕著な礫は含まれない。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期～晩期1a期、晩期3期が出土している。写27-1が後期7-4期、写27-3が後期8期、写27-6が後期後葉、写27-2が晩期前葉、写27-4・5が晩期3期である。

【小結】出土状況からは二次的な堆積には見えず、後期末葉～晩期初頭の小規模な廃棄単位ではないかと考えられる。新しい時期の遺物、特に晩期3期のものは破片であり、本ブロック形成後に上部を覆ったKIII2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック22**（遺構：図19、写真13 遺物：図24・25、写真27）

【位置・確認状況・規模・形状】VA-52・53グリッドのKIII2上層で確認した。2.1×1mの楕円形に広がる。近接する焼土遺構より下位で検出され、ブロック23と同一面である。

【堆積土】掘り込みはもたず、遺物と礫が密集している。

【出土遺物】遺物が重なっていたため上下に分けて取り上げたが、一体のものと考えられる。後期7-4期、晩期1a期、晩期1b期が出土しており、下部で出土した有文土器は後期7-4期に限られる。写27-12が後期7-4期、写27-7が後期8期、写27-13が後期後葉、写27-9が晩期1a期、写27-8・14・15が後期後葉～晩期、写27-10が晩期前葉、写27-11が後期後葉～晩期前葉である。写67-3の線刻礫を伴う。また、ブロック内で出土した炭化材を分析し、樹種はニシキギ属と同定され（樹種同定Na190）、年代測定結果は3110±20yrBP（KAWA(1)-166）である。

【小結】土器の復元率は低いが、後期7-4期の小規模な廃棄単位と考えられる。炭化物の年代値も本遺跡で測定したものでは比較的古い値が出ており、後期7-4期の年代を示している可能性が高い。新しい時期のものは、本ブロック形成後に上部を覆ったKIII2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック23**（遺構：図19、写真13 遺物：図25、写真28）

【位置・確認状況・規模・形状】VA・B-52グリッドのKIII2上層、ブロック22と同一面で確認した。最大幅2.5、長さ2mの帯状に広がる。近接する焼土遺構より下位で検出され、ブロック22と同一面である。

【堆積土】掘り込みはもたず、周囲に比べ礫が集中しており、その中に遺物が含まれる。

【出土遺物】有文土器は晩期1a期、1b期、2期が出土している。写28-2は晩期1a期、写28-4は晩期1b期、写28-3は晩期2期、写28-1は後期後葉～晩期である。

【小結】土器の復元率は低い、晩期1a～1b期の小規模な廃棄単位と考えられる。晩期2期の土器は破片であり、本ブロック形成後に上部を覆ったKⅢ2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック24**（遺構：図19、写真13 遺物：図25、写真28）

【位置・確認状況・規模・形状】2015年調査において、セクションベルトE内、IVY-52グリッドのKⅢ2上層で確認した。前年度調査における周辺部の掘り下げの際には顕著な遺物のまともは確認していない。

【堆積土】掘り込みはもたず、KⅢ2上層の中に少量の遺物がまとまる。

【出土遺物】本ブロックとして取り上げた遺物は少量で、完形に復元できるものはない。有文土器は晩期1a期に限られる。写28-5のみ掲載している。

【小結】晩期1a期の小規模な廃棄単位と考えられる。

（岡本）



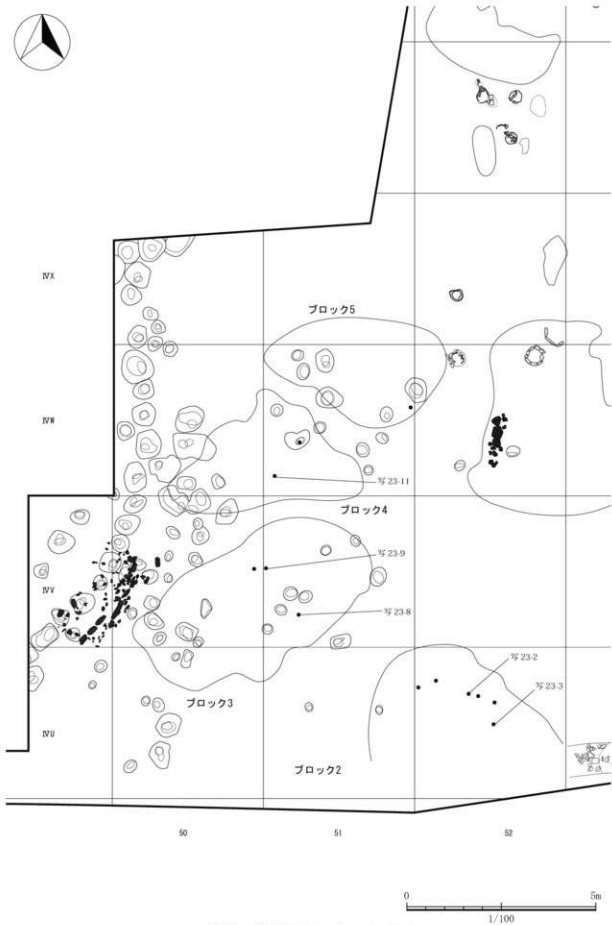


図18 東捨場地区 ブロック(1)

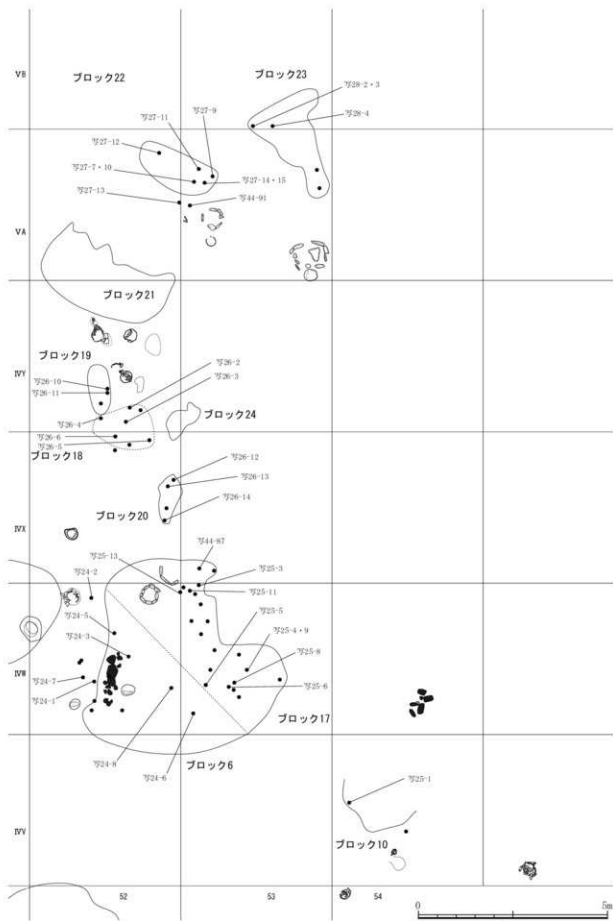
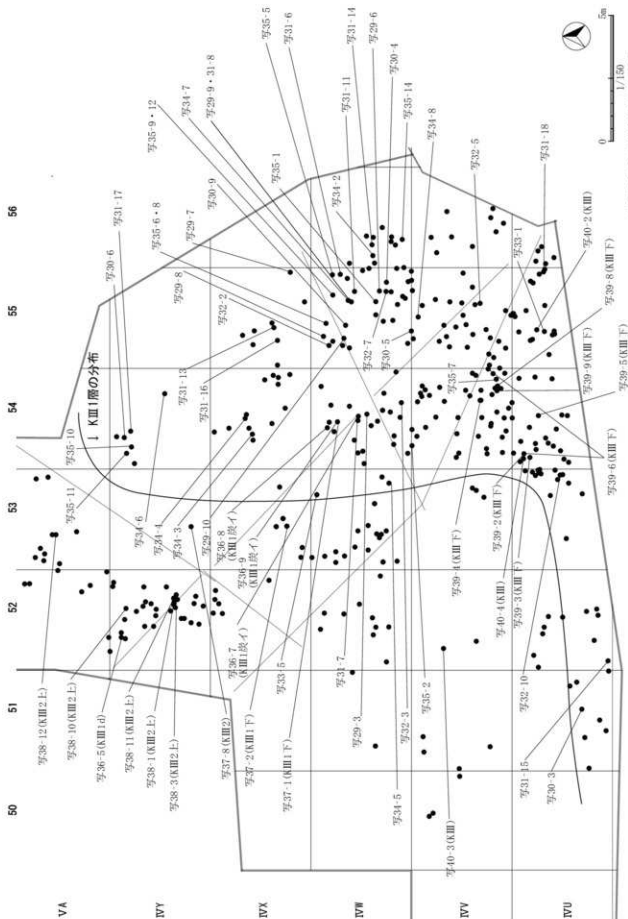


図19 東捨場地区 ブロック (2)



注:写数字の後の( )内は出土層位である。  
( )のないものは出土層位は不明である。  
黒点の付いた写数字は、モザイク化を示す。

図20 東捨場地区 土器の出土位置

### 3 土器

東捨場地区出土土器の総重量は約1900kgである(図17・表1)。IVW~IVY-52~54グリッドで出土量が100kgを超える。後期後葉から晩期後葉の深鉢・鉢・台付鉢・片口鉢・浅鉢・皿・台付皿・壺・注口がみられ、KⅢ1層からまとまって出土した(図25~30、写真28~40、表7)。

#### I層

晩期1b期の浅鉢(写28-6)、晩期前葉の壺(写28-8)、晩期4~5期の壺(写28-7)が出土した。

#### KⅢ1層

後期後葉から晩期後葉の深鉢・鉢・台付鉢・片口鉢・浅鉢・皿・台付皿・壺・注口が出土した。後期後葉の土器は調査区北東部のIVU-53・IVW-53~IVY-53・IVX-54~55グリッドに分布し、晩期前葉から後葉の土器は調査区全域に分布する。後期後葉の土器は晩期以降と比べて少ない。

深鉢は晩期のものが出土した(写29-6、写30-2、8、9)。三叉状の抉りにより装飾的な口縁をもつもの(写29-6)、小波状口縁のもの(写30-9)、平口縁で体部上半に条痕のあるもの(写30-2)がある。

鉢は後期7-4期から晩期中葉のものが出土した(写29-1~5、7~9、写30-1、3~7、10、写31-1~3、5~8)。後期後葉のものは刻目を充填した入組文のある鉢(写29-1・2)がある。晩期前葉・中葉の深鉢は口唇にB突起をもつもの、刻目をもつもの、三叉状の抉りにより装飾的な口縁をもつものなどがある。

片口鉢は晩期2期から4期のものが出土した(写31-9~12)。口唇にB突起を配置し、口縁直下に横走沈線を施したものが多い(写31-10~12)。

台付深鉢は晩期3期のものがある(写31-13)。写31-13は外面に横位沈線4条がみられ、沈線間に退化した羊歯状文がみられ、その下には沈線による雲形文が施されている。内面に漆液が付着していることから漆液を保管・貯蔵した容器と推定される。

台付鉢は晩期1a期から3期のものが出土した(写31-14~16、18、35-8)。

台付浅鉢は晩期3期から4期のものが出土した(写31-17、写32-1)。写31-17は口縁直下に横位沈線が3条みられ、その下に2個一組の突起がある。写32-1は外面に彫去による雲形文が施されている。

浅鉢は晩期3期のものを主体とし、晩期1b期から晩期3期のものがある(写32-2~11、写33-2~4)。晩期1b期の写33-2は沈線間に入組文が施されたものである。晩期3期のものは体部に沈線あるいは彫去による雲形文を施したものが多い。

皿は晩期3期のものがある。写33-1は装飾的な口縁をもち、外面に彫去による雲形文が施されている。写33-8は口唇に連続するB突起があり、口縁部には粗雑な沈線がみられる。

台付皿は晩期3期のものがある(写33-5~7)。写33-5は連続した三叉状の抉りと斜位の刻目によりB突起状の装飾的な口縁を作出したものである。台内部が黒色光沢であり、塗膜分析の結果、透明漆が1層みられることが判明している。写33-7は台で、外面に彫去による雲形文がみられる。

壺は短頸及び長頸がある(写34-2~12、写35-1~7、9、12)。晩期3期を主体とする。体部に雲形文を施したものと、頸部に隆帯をめぐらしたものがある。写35-12は端部に突起がみられ、外面に刺突列が施された長頸の壺である。写35-15は壺と推定される破片で、沈線・隆帯・突起で人面を表現

している。

注口は後期後葉から晩期前葉のものがある。写34-1・写36-3は円形あるいは縦長の貼瘤をもつ注口である。写36-3は二山状を呈した香炉の頂部で、一方に獣面、もう一方に人面が表現されている。

### KⅢ1d層

IVW-52・IVY-52・IVX-52グリッドに広がる。後期8期の鉢が出土した。写36-4は刻目列による入組文と推定される文様を施した鉢である。写36-5は台形突起と二山状台形突起を2種類交互に配し、入組文の空隙と口縁突起下に三叉文を施した鉢である。写36-6は木葉痕のある底部である。

### KⅢ1炭イ層

晩期3期に相当する台付鉢・壺が出土した。写36-7は連続した三叉状の袂により装飾的な口縁のある台付鉢、写36-8は彫去による雲形文のある壺、写36-9は沈線による雲形文のある壺である。

### KⅢ1下層

IVW-53及びIVX-53グリッドで晩期1b期に相当する土器が出土した。写37-1・4は入組三叉文、写37-2は入組文と三叉文、写37-3は入組文と袂による三叉文のある鉢である。

### KⅢ2層

VA-52～53及びIVY-52・53グリッドで後期後葉から晩期前葉（後期7-4期～晩期1b期）の土器が出土した。深鉢・鉢・壺・注口・香炉がある。写37-5は口縁直下に刻目列と貼瘤をもつ鉢である。写37-6は入組文の空隙に三叉文のある鉢で後期8期に相当する。写37-7は口唇に沿って刻目列をもつ深鉢である。写37-8は小波状口縁の鉢で、崩れた入組三叉文がみられる。写37-9は沈線文のある台付鉢である。写37-10は口縁直下に刻目列と横位沈線を施した浅鉢と推定される破片、写37-11は沈線と突起で人面を表現し、頭部上方に透かし孔をもつ香炉と推定される土器片である。写37-12・13は高台付きの壺である。写37-13は頸部に隆帯をもち、その上に突起がある。写37-14は高台をもつ注口で、頸部と肩部の境目に円形の貼瘤に円形刺突を施す。

### KⅢ2上層

IVY-52・53及びIVX-53グリッドで後期7-4期から晩期1b期を中心とする土器が出土している。深鉢・鉢・台付鉢・壺・注口がある。写38-1は口縁突起に三叉文、体部に入組文のある台付鉢である。写38-2は短沈線と刺突を交互に配した鉢、写38-3は粗製の台付鉢である。写38-4は山突起と二山突起を交互に配置した台付皿である。写38-6は波状口縁の深鉢である。写38-7は台である。写38-8は壺で内面に赤色顔料がみられ、赤色顔料容器の可能性がある。注口は後期7-4期から後期8期のものが認められる（写38-5・9～12）。注口部が欠損しているものが多いが、基部に二袋状の膨らみのあるもの（写38-11）、一袋状の膨らみのあるもの（写38-12）がある。

### KⅢ2上層B

IVY-53及びVA-53グリッドで後期8期から晩期1b期の土器が出土した。写38-13は2条の沈線間に入組文のある台付鉢、写38-14は沈線文を施した鉢、写38-15は透かし孔を伴う台である。

### KⅢ上層

晩期中葉と推定される短頭の壺（写39-1）が出土した。体部から底部にLR縄文が施される。

### KⅢ下層

IVU-54及びIVV-55グリッドで晩期前葉から中葉の土器が出土した。台付鉢、浅鉢、壺、皿がある。写39-2は沈線間に刺突列を施した台付鉢、写39-3・4は彫去による雲形文のある皿、写39-5は2条の沈線間に彫去による雲形文のある台付き皿、写39-6は雲形文のある壺、写39-7は内外面に赤彩のある壺の底部、写39-8・9は短頭の壺である。

### KⅢ層

口縁に円柱状の突起をもち、入組三叉文を施した鉢（写40-1）、口縁に連続するB突起のある鉢（写40-2）、入組文・三叉文のある台付浅鉢（写40-3）、短頭で寸胴の壺（写40-4）を掲載した。

### 自然科学分析

#### 【炭素・窒素安定同位体比分析】

晩期中葉に相当する片口鉢2点に付着した炭化物の炭素・窒素安定同位体比分析を実施した。分析の結果、写31-9（試料⑪）の内面付着炭化物は主にC<sub>3</sub>植物の堅果類に由来する炭化物、写31-11（試料⑫）の外面粉着炭化物は、C<sub>3</sub>植物に由来する炭化物と推定されている（報告書Ⅷ第7章第5節）。

#### 【土器付着黒色塗膜の分析】

晩期3期の皿類に付着した黒色塗膜の薄片分析及び赤外分光分析を実施した。写33-5（塗膜分析No.16）の台付皿は台内面に黒色塗膜が付着し、光沢を有する。分析の結果、透明漆層が1層塗布されていることが判明した。写35-13（塗膜分析No.17）の皿は外面に黒色塗膜が付着している。分析の結果、黒色漆層1層が確認され、煤など有機系黒色顔料と推定されている（報告書Ⅷ第7章第2節参照）。

（中澤）



ブロック2



ブロック3



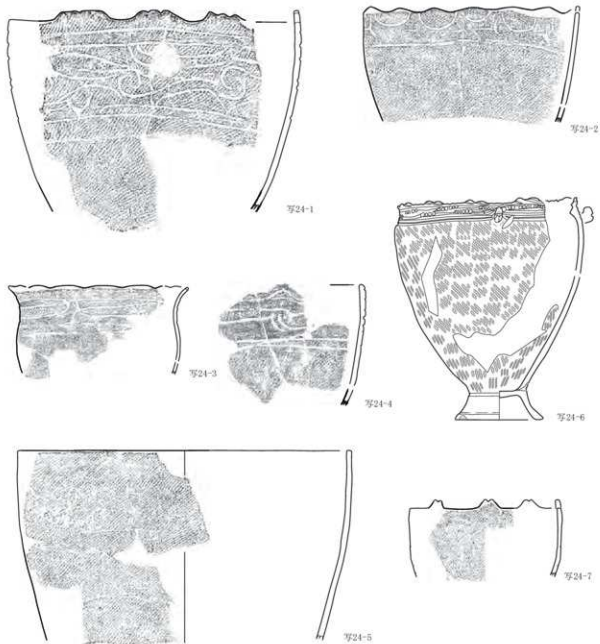
ブロック4



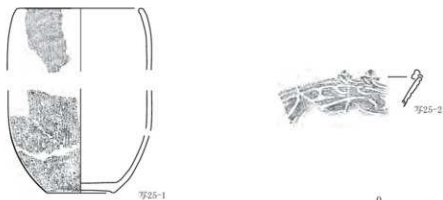
ブロック5



図21 東捨場地区 土器(1) ブロック1・2・3・4・5



ブロック6

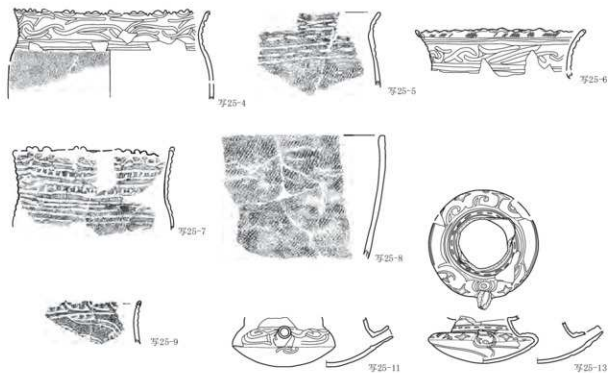


ブロック10

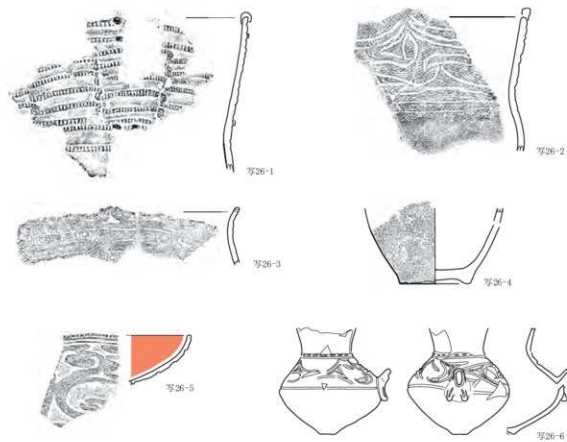


図22 東捨場地区 土器(2) ブロック6・10





ブロック17



ブロック18



図23 東捨場地区 土器(3) ブロック17・18

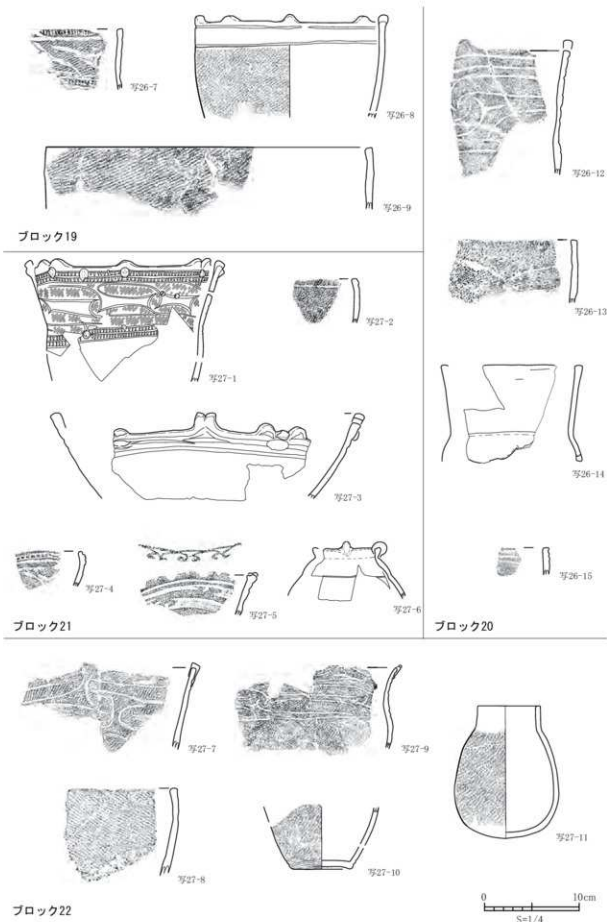


図24 東捨場地区 土器(4) ブロック19・20・21・22

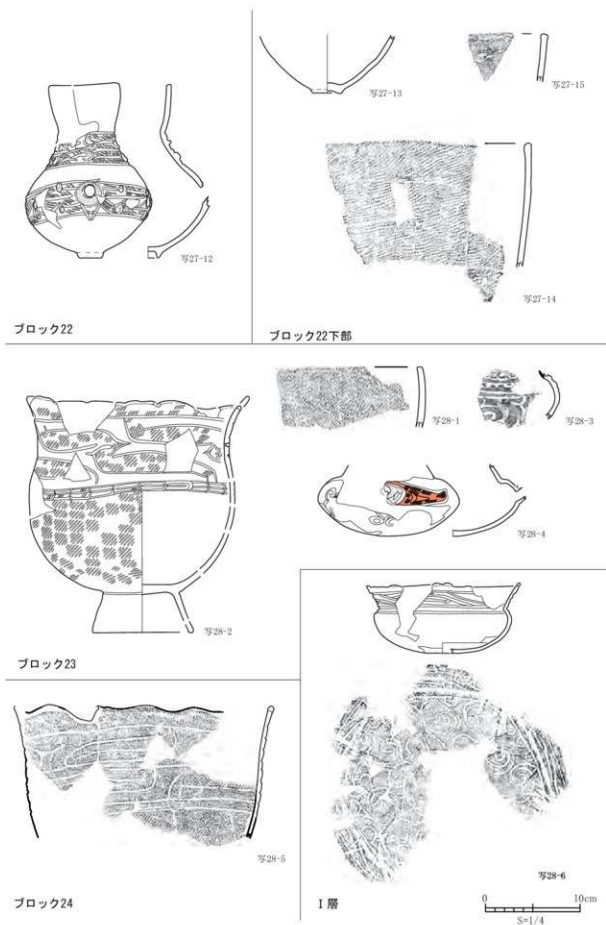


図25 東捨場地区 土器(5) ブロック22・23・24・1層

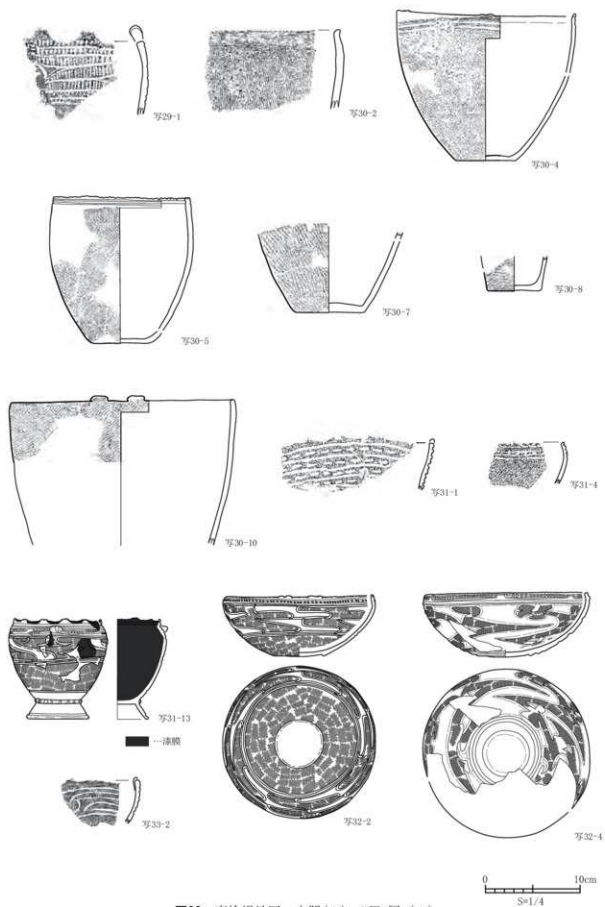


図26 東捨場地区 土器(6) KⅢ1層(1)

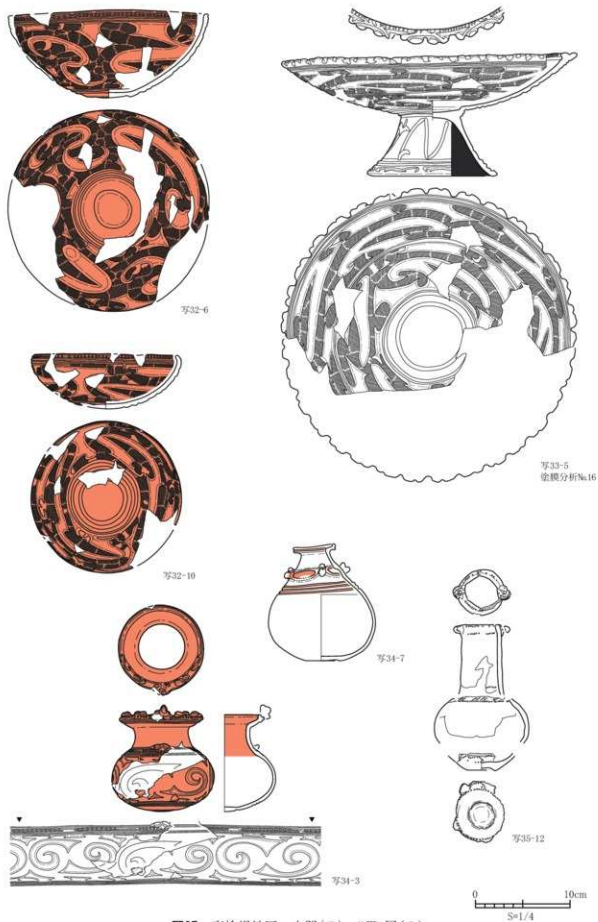


図27 東捨場地区 土器(7) KIII1層(2)

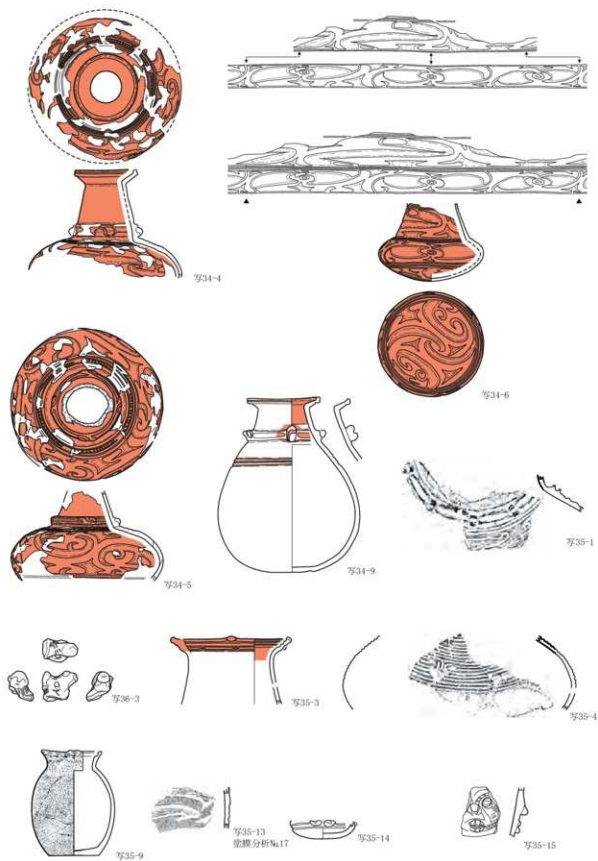
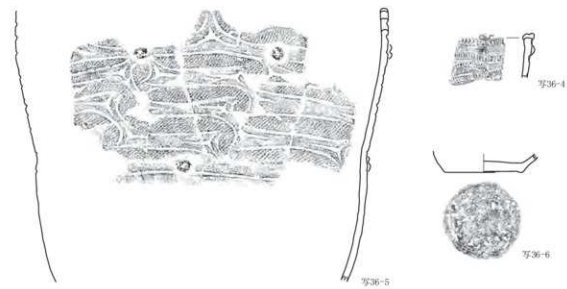


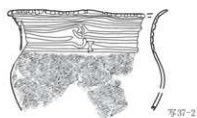
图28 東捨場地区 土器(8) KIII1層(3)



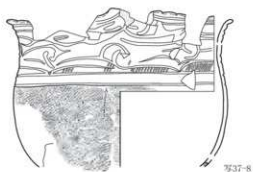
KIII1d層



KIII1炭イ層



KIII1下層



KIII2層



図29 東捨場地区 土器(9) KIII1d層・KIII1炭イ層・KIII1下層・KIII2層

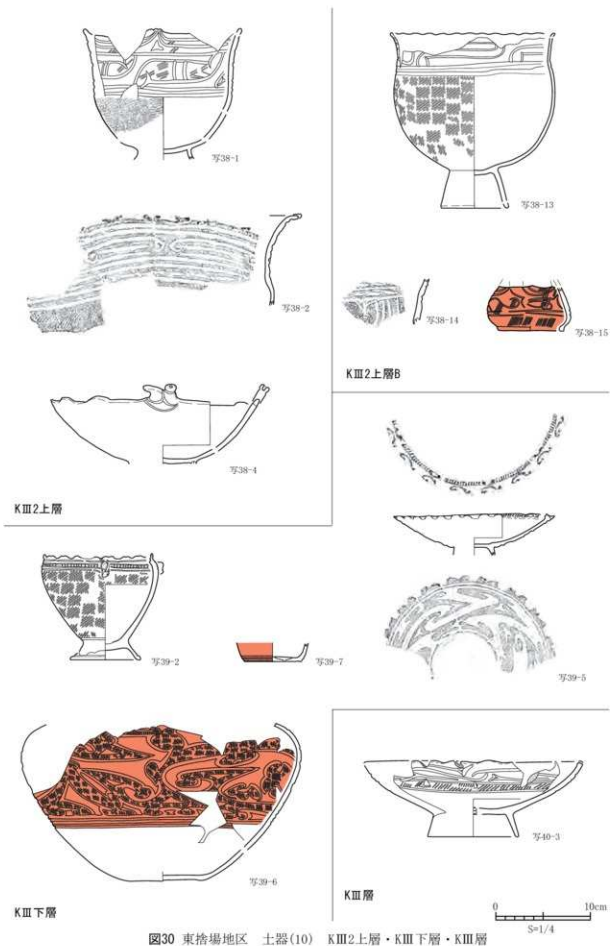


図30 東捨場地区 土器(10) KIII2上層・KIII下層・KIII層



#### 4 土製品

東捨場からは、土偶24点、亀形土偶3点、耳飾り7点、土版1点、スプーン形土製品2点・粘土塊2点、円盤状土製品12点、ミニチュア・小型土器36点の計87点が出土した（図31～37、写真41～44、表8・9）。

**土偶**（図31-1～9、図32-10～18、図33-19～24、写真41・42）

全体の形状は、いかり肩（図31-1）・なで肩（図31-5）で、ウエストがくびれ、腰部がはる形状である。顔面は目を楕円形文様の中心に横一文字の沈線を施す遮光器表現のものと、目・口・鼻孔を刺突で眉・鼻を粘土で貼り付けて表現しているもの（図31-2）もある。15は目を表していない。2は顔の輪郭が円形を呈している。また、耳部が極端に大きく羊の耳のような形態であるが、馬淵川流域にみられる土偶と類似面をもつ。乳房は粘土を用いて貼り付けている。12は内面に輪積み痕跡が確認される。1・5は腹部がふくらんでおり妊婦を表しているものと思われる。16は穿孔がみられる。足部は平坦で自立できるもの（図33-19）と自立できないもの（図31-5）がみられる。文様は、乳房の間に縦位の粘土紐を貼り付け正中線とし、1は左右に渦巻文を施文している。2は顔の周縁にきざみ、ほほに沈線を施文しており土面の技法と類似している。2は首部にアスファルトが付着している。21は中実の蹲踞土偶であり、正面・背面に赤色顔料を塗布している。脚部の間に粘土を用いて男性性器を貼り付けている珍しい例である。

**亀形土偶**（図33-33、図34-35～36）は、すべて破片である。35は先端部にX字状の文様を施文している。36は粘土紐を用いており部位は側縁部と考えられる。

**土製品**（図33-25～31、図34-34、図34-39～51、図35-52～55、写真42・43）

**耳飾り**（図33-25～31、図34-34）の形態は滑車形と耳栓（図33-31）の二種がみられる。文様は34が玉抱三叉文、29が表裏面の側縁に連続刺突、30は中心部に向かって放射状に施文、34は透かし彫りで表現し、耳飾りの中では優品である。

**土版**（図34-39）は、中央部分のみである。残存部から推定すると台形を呈し無文である。

**スプーン形土製品**（図34-40・41）は、把手部が欠損している。文様は縦位方向の短沈線を施文している。

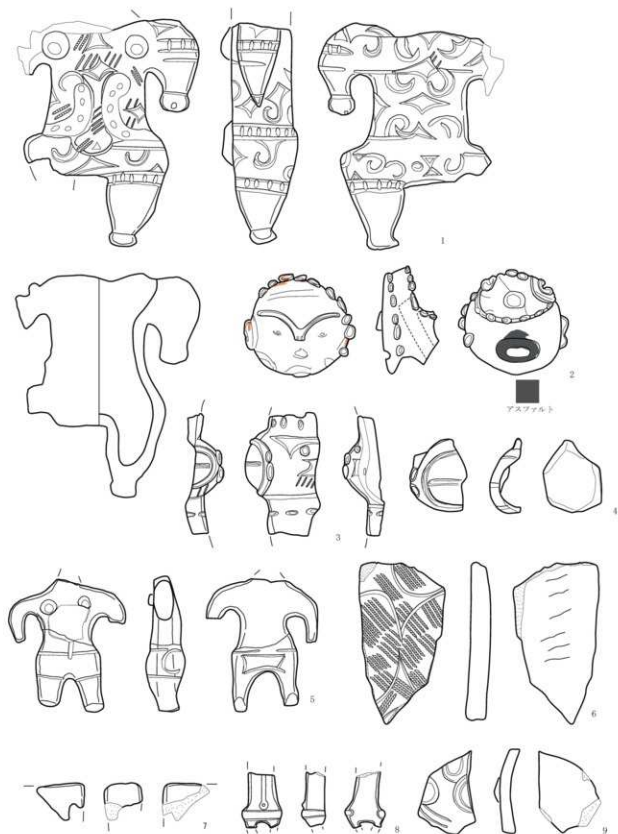
**粘土塊**（図34-42・43）は、直径2.5cmを測り表面が凹凸している。

**円盤状土製品**（図34-44～51、図35-52～55）は、鉢形の胴部破片を用い周縁を打ち欠いて円形に整形している。周縁部は、打ち欠き後に一部擦っているものもみられる。52は底部を用いており、スス状炭化物の付着が多い。直径は3～4cmになるものが多いが、7～8cmと大形なもの（図35-52・53）もみられる。51は中心部に二次穿孔のみられるものである。

**ミニチュア・小型土器**（図35-57～73、図36-74～84、図37-85～91、写真43・44）

鉢は底部から口縁部にかけて外反する形状が多い。66は内面にスス状炭化物の付着がみられる。台付鉢（図35-71・図36-76・77）はスス状炭化物の付着がみられる。壺は体部下半が張り出し頸部が長い長頸壺と頸部が短い短頸壺があり、赤色顔料塗布が多い。80は内面に黒色付着物がみられる。87・90は四足土器であり、90は人面を表現しているものと思われる。図37-91の注口は断面形が箕盤形を呈する。

（成田）



0 5cm  
S=1/2

図31 東捨場地区 土製品(1)

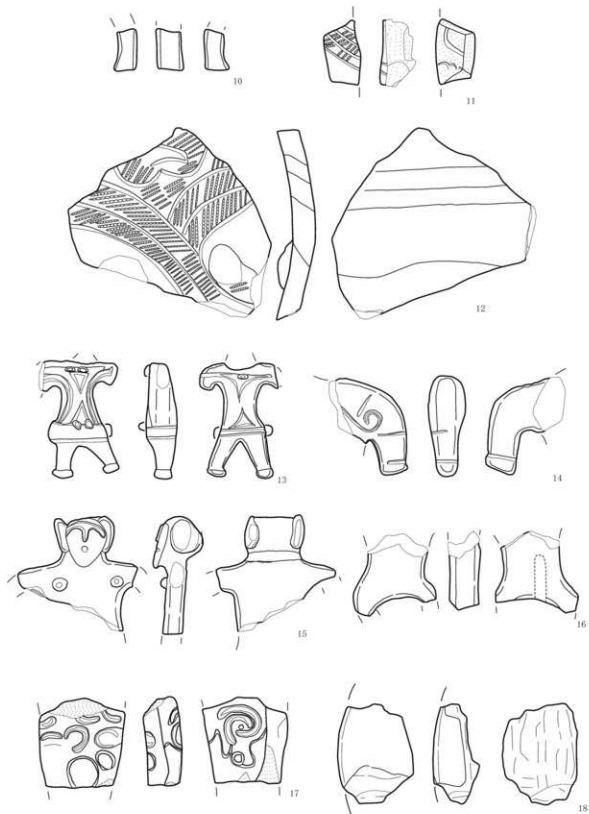


図32 東捨場地区 土製品(2)

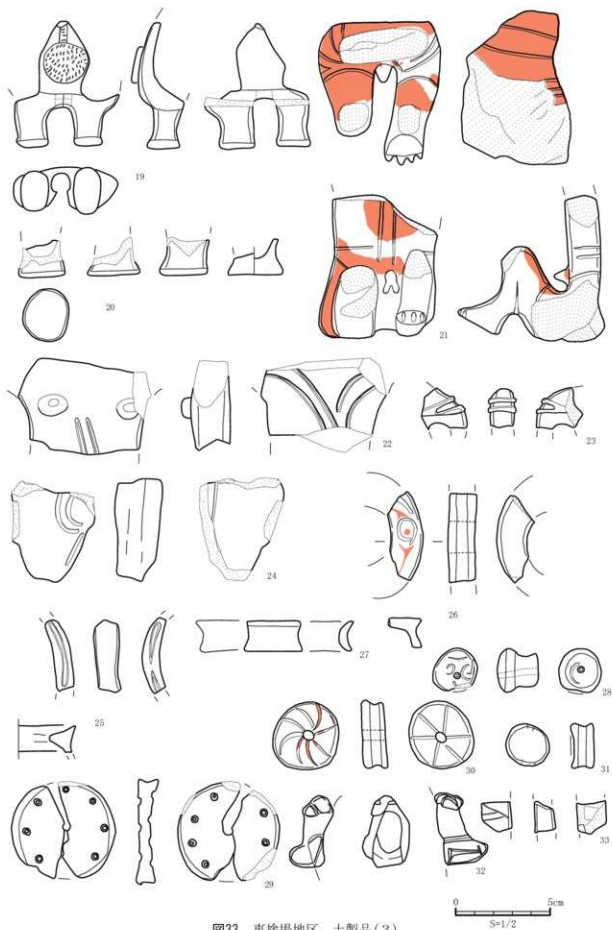


図33 東捨場地区 土製品(3)

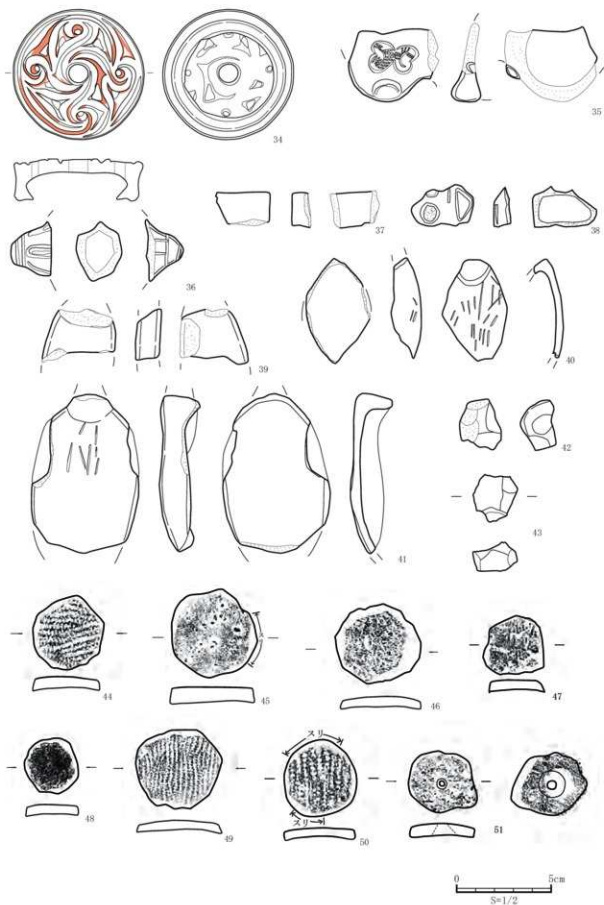


図34 東捨場地区 土製品(4)

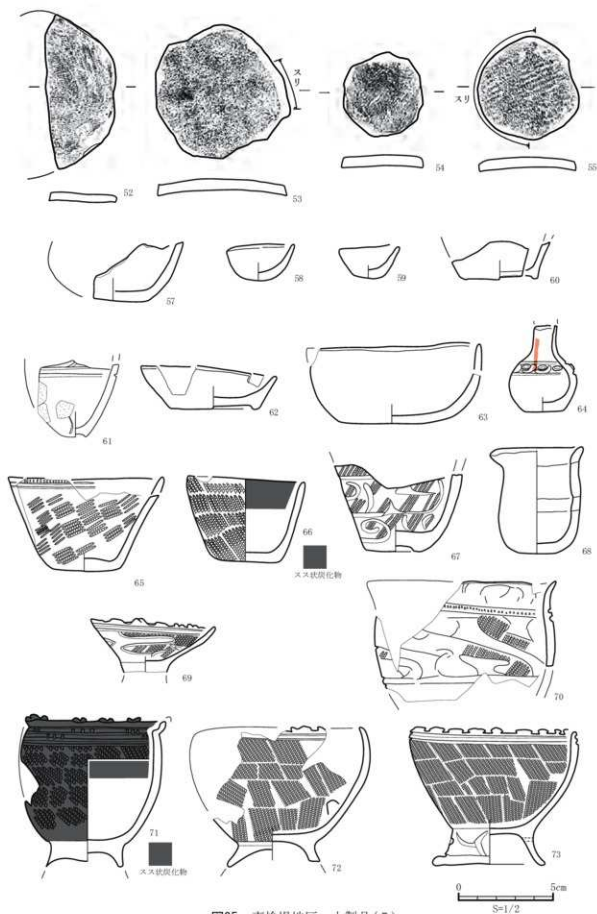


図35 東捨場地区 土製品(5)

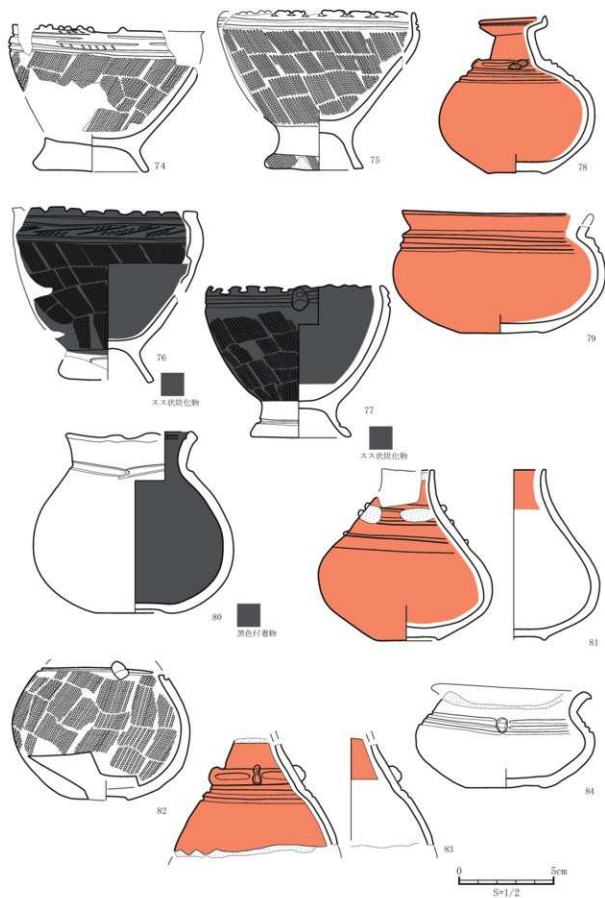


図36 東捨場地区 土製品(6)

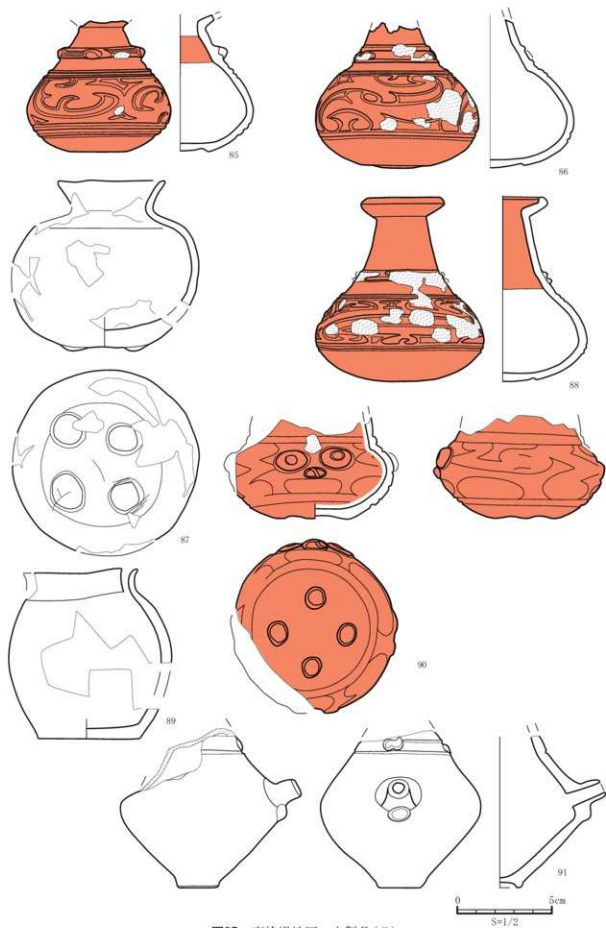


図37 東捨場地区 土製品(7)



## 5 石器

剥片石器や礫石器は出土量が多く、写真掲載を基本とした(図38~42、写真45~58・70、表10)。そのため、石器は写真図版を優先して事実記載する。写真・図ともに、上層から下層に向かって掲載することを基本とした。その他報告に関する考え方や石器出土点数及び組成については、報告書Ⅷに掲載する。東捨場延長部分と北東捨場及びその延長部分も同様である。

### 剥片石器

石鏃は写45-1~40・写48-17に掲載した。ほとんどが珪質頁岩製であるが硬く良質な石質のものが多い。有茎凸基鏃が多くを占める。形状と大きさは変異があるが丁寧な加工で整った左右対称の形のものが多い。そのため写45-37・39・40など左右非対称の物は未製品の可能性がある。写45-41~80と写46-2・3は石錐である。棒状の物と、棒状の錐の一端に基部を付けた物が多い。写45-76のように剥片の一端に錐先を作り出した物もある。

写46-1・4~9は石篋である。4にはアスファルトが付着する。

写46-10~48-8は石匙である。写46-15~26のように下辺が刃部にあたる横型石匙が丁寧な加工で作られる。つまみ部分にアスファルトが付着するものは刃部に光沢が確認できるものが多い。縦型石匙は加工部分の少ない物が多い。写47-7は、小さく欠失しやすい大きさのつまみ部のみ作り出したものである。同15・22は、つまみ部のほかに、つまみに類した突起を作り出している。明瞭ではないものの、側縁での凸の作り出しは写47-29~31にもみられる。

写48-9~49-4は削器や異形石器などである。写48-12~16は削器とした。石鏃未製品の可能性のあるものを含むが、この形状の物には一側縁にアスファルトが付着するものがある。同17・18・20は黒曜石製で、17は異形石器破片よりも石鏃破片の可能性が高く、18は削器、20は小形で円形の削器である。32は二次加工剥片であるが、裏面のほぼ全面にアスファルトが付着している。

写49-1~3は黒曜石製の異形石器である。4は鉄石英製で、赤色である。同5~23は石核・石核転用蔽石及び剥片の接合資料(写49-9)である。(齋藤)

### 磨製石斧

磨製石斧は写真50(図39・40)に掲載した。石材は緑色凝灰岩、凝灰岩、粗粒玄武岩、角閃岩、緑色岩である。

大半が破損している。整形は、研磨と敲打によってなされている。写50-11は裏面に擦切痕が見られる。

写50-6は、扁平な形状であるので、他の磨製石斧と比較して形状が異なる。整形加工の剥離痕が明瞭に残されている。石材は緑色凝灰岩である。

写50-9は刃部が潰れている。蔽石へ転用されたと思われる。

小形磨製石斧(写50-2、12)が2点出土している。緑色凝灰岩と緑色岩製である。

欠損面に再加工の痕跡がある磨製石斧がある。写50-4は刃部破損面に敲打痕が見られる。写50-8、7は基部欠損面に剥離が見られる。写50-1は、基部断片資料であり、折れ面を打面として剥離、折れ面には敲打痕が見られる。基部にも敲打の集中がみられる。蔽石に転用された可能性がある。またア

スファルトと思われる黒色の付着物が見られる。

(高橋)

### 礫石器

磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順に写50-13～写真58にまとめた。磨石は花崗岩などの硬質の石を含み、大きさも大形から小形まで変異がある。凹石は凝灰岩など軟質の石材が中心である。写54-1・2のように大きな窪みを持つものは、石製品に近い印象を受ける。写52-15は底面が平坦に面取りされ、正面の中央部から側面にかけて敲打による窪みが回り込む。礫石器とするよりも、独鈷石等の石製品の製作途中品の可能性がある。写55-16は擦切具である。同17は石皿で片方の面が縁付きで、もう一方が中高の石皿となっているものである。

写真58-1～6は自然礫である。有孔のもの、棒状、くびれのあるものを掲載した。写真58-9は被熱により赤黒色に変化した部分の中に、被熱の弱い部分が白く紐状に浮かびあがった自然礫である。

(齋藤)

## 6 石製品 (図45～51、写真59～70、表10・11)

石器と同様に写真番号をもとに記述する。

### 石棒類

石棒類は写真59・60 (図43・44) に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写59-11は、真二つに割れた破損面にアスファルトと思われる黒色の付着物が見られる。欠損後、修理したものと思われる。柄頭には工字文風の沈線文が施文されている。写59-3は石刀である。柄頭には沈線文が見られ、沈線と沈線の間の側面に敲打痕が見られる。明確な刃関が作出されていないが、残存部の中央から、柄部と刃部の境が見られ、断面形状が異なる。同一個体と思われる切っ先が出土している。写59-5は柄頭に三叉文崩れの沈線文が施文されている。写59-6は凝灰岩製であり、正面に深い溝がある。柄頭は円盤状であり、側面に沿って沈線が1条巡る。写59-2・10は柄頭の断片資料である。2は沈線文が柄頭をらせん状に巡る。写59-13は両端が尖頭状で、中央がくぼむ、独鈷石状の形態である。

写59-8は点紋粘板岩製である。敲打による凹帯が見られる。写70-14は凝灰岩製、石刀の刃先断片である。刃先に刻みが見られる。写59-9は点紋粘板岩製で素文の蛇頭形の柄頭を有する。写59-4は点紋粘板岩製、先端部資料である。写59-12は隣接グリッドの上下層から出土した破片同士が接合した。欠損品を再加工したものと思われる。写59-7は柄部資料であり、柄頭には突起、沈線文、柄頭の境に近い部分には2条の隆帯が巡っている。写59-11は柄頭断片資料であり、扁平な形状である。X状の沈線文が施文されている。

写真のみ掲載した石棒類は、胴部や先端部などの断片である (写真50-11、59、60)。

(高橋)

## 岩版

岩版は14点出土した。

形態は、端部が丸みをもつ楕円形(写60-10)と端部が平坦で全体の形状が方形(写60-3・9)、下部に向かって広がる形(写60-2)の三形態が確認できる。

文様は中心部に垂直な直線の正中線を施文し、その端部に円形の孔を施文しているものがある(写60-5・6・10)。写60-5は上部に対の楕円形文を施文しており、顔面の目を表現している。写60-3・9・10、写62-1・4は渦巻文様の間に三角形文を充填しており、写60-2・5は両端渦巻文様を施文している。写60-4・61-3は表裏面に擦痕を有している。(成田)

## その他の石製品

写61-4～6は岩版の形に整えられているが、文様が刻まれていない。岩版未製品の可能性と共に、このままで完結する可能性がある。擦痕等がみられることから、線刻礫と同じ扱ひとした。写真61-7は半球状の石製品であり、裏面に内側に向かって窪みを持つ。

写62-3・5～66-4は石製円盤である。石材は花崗岩、安山岩、デイサイト、凝灰岩など遺跡周辺で獲得できる石材が用いられ、写63-7のように珪質頁岩製のものもある。写62-3・5・9、63-2・8、65-21のように、軟質の凝灰岩やシルト岩では側面を含めて丁寧に研磨したものがある。また、剥離のみで側面の敲打痕等が無く、整形しないものが多い。剥離加工も1～2打撃で終わる物がある。写62-22のように板状の楕円礫の縁面に敲打痕のある石製円盤は敲石との区分が難しい。製作に両極打法が多用されるため、剥離が向かい合う抉りとなったものは、石鍾との区分が難しい。石製円盤は性格を異にする複数の物が含まれていると考えられ、今後の課題が多い。写64-2～5、11～13のように、中央部にアスファルトの付着した物もある。完成品の詳細な定義ができないため、1～2打撃の加工品についても未製品と述べることができない。そのことから、今後の再検討のために可能な限り、掲載することとした。そのため石製円盤を集合写真にして写真68～69に掲載した。集合写真毎に円1～11までの番号を付した。写真には東捨場と東捨場延長部分をあわせて掲載した。大きさの変化が大きく、円11にまとめた物は、長軸が2cm強から～4cm弱の小形品である。円12は石製円盤と類似した形状の礫である。明確な加工がみられず、素材礫あるいは、そのまま石製円盤として使用された可能性もある。円12の次には東捨場地区の南端の平成27年度調査の村道部分の出土品を主体とした円24を掲載した。

石製品では特筆されるのが、写66-13である。珪質頁岩のノジュールを素材としている。礫皮に近い外側の灰白色の部分に敲打により女性の乳房の形に作り出している。乳輪にあたる部分には、線刻を巡らせて乳首の盛り上がりについても削り出している。内側については、自然の窪みがあり、縦長の穴がある。その周辺の珪質の部分は敲打により形を整えて、全体として女性の性象徴を表現しているように見える。写真67には線刻礫等を置いた。写67-12については正面中央の横線から下に向かって線が刻まれている。両側縁の対向する剥離についても人体を意識して加工された可能性がある。同13は線状の欠損部の下に線刻が残る。通常の凹石に形成される物としては違和感があり、線刻礫とした。写67-10についても凹痕はあるが、裏面の窪みの長さ幅共に大きく、半球状で底面に窪みを持つ写61-7のような石製品の未製品の可能性がある。

### 赤色顔料塊

写真69の右下に赤色顔料塊の一部を置いた。赤鉄鉱により鉱染された泥岩であり、周辺に産する(柴2016)。東捨場及び延長部分の出土量等は、北東捨場を含めた他の捨場のものとともに、報告書Ⅶで記述する。(齋藤)

## 7 その他の遺物

アスファルト・漆製品(櫛・漆塗膜)が出土した(写真70、表12)。

### アスファルト(写真70、表12)

I層・KⅢ1層・KⅢ2上層からアスファルトが3点出土した。

### 漆製品(表12)

KⅢ1層から漆塗膜片が1点、KⅢ2上層から櫛と推定される漆塗膜片、KⅢ2層から赤色漆塗りの櫛が出土した。いずれも小破片であるため、観察表のみ掲載した。なお、櫛2点については放射性炭素年代測定を実施し、 $3060 \pm 20\text{yrBP}$ (KAWA(1)-158)、 $3050 \pm 20\text{yrBP}$ (KAWA(1)-159)の年代値が得られている(報告書Ⅶ第5章第6節参照)。(中澤)

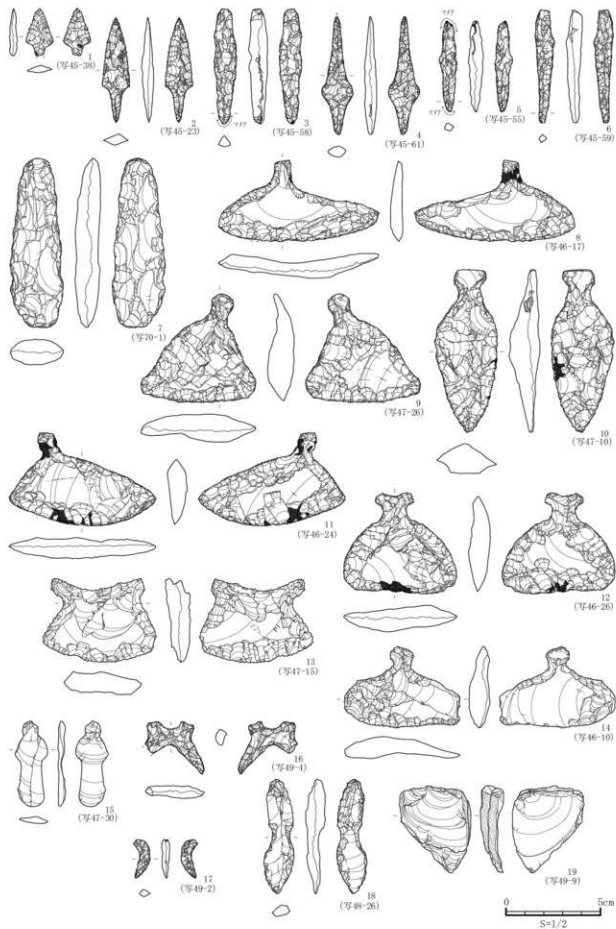


図38 東拾場地区 石器・石製品(1)

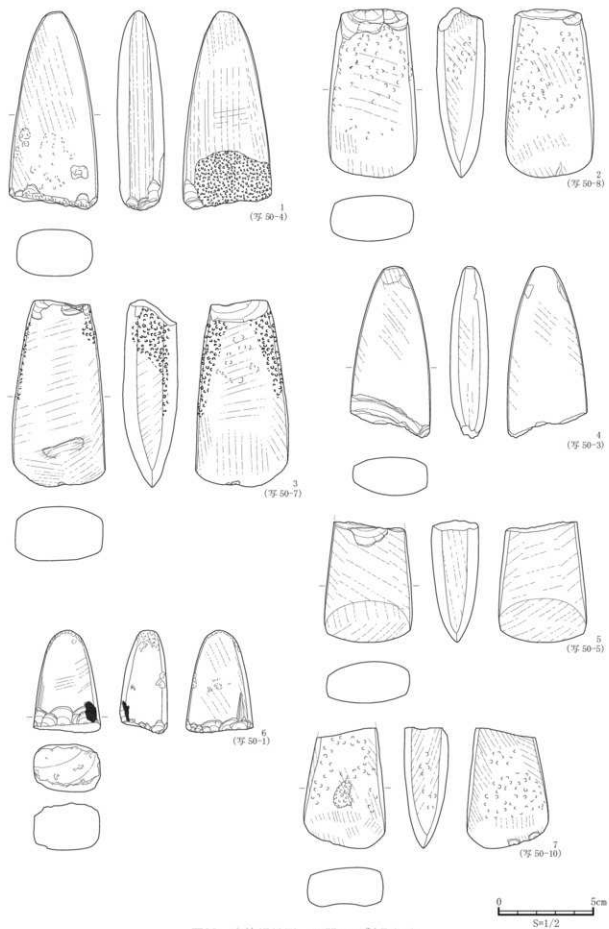


図39 東捨場地区 石器・石製品(2)

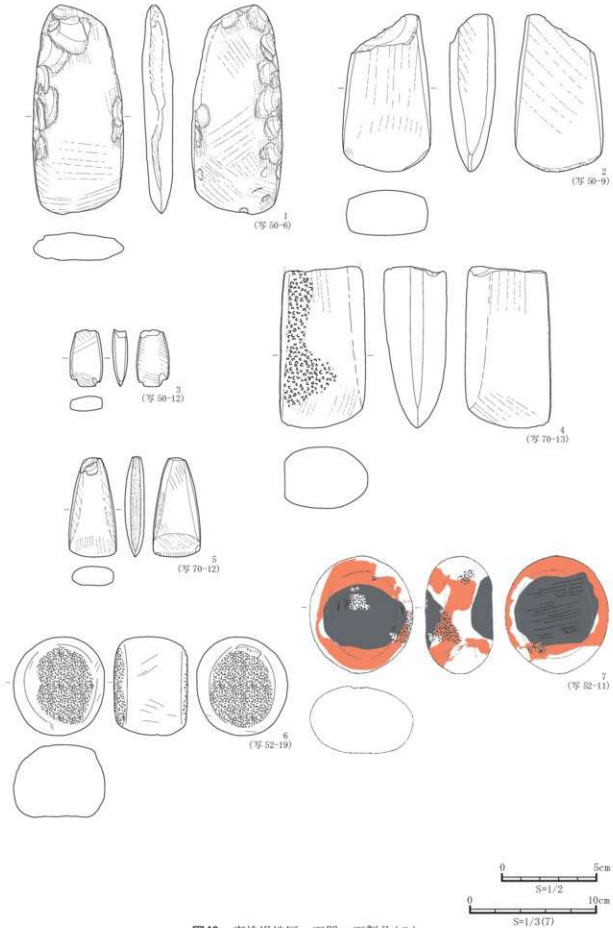


図40 東捨場地区 石器・石製品(3)

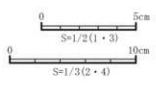
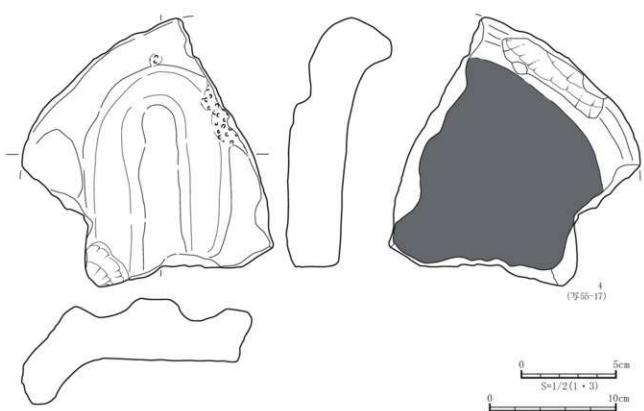
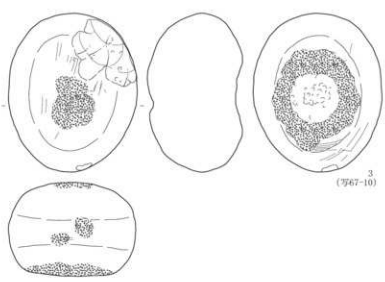
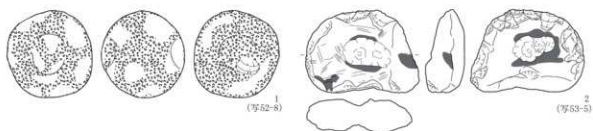


図41 東捨場地区 石器・石製品(4)



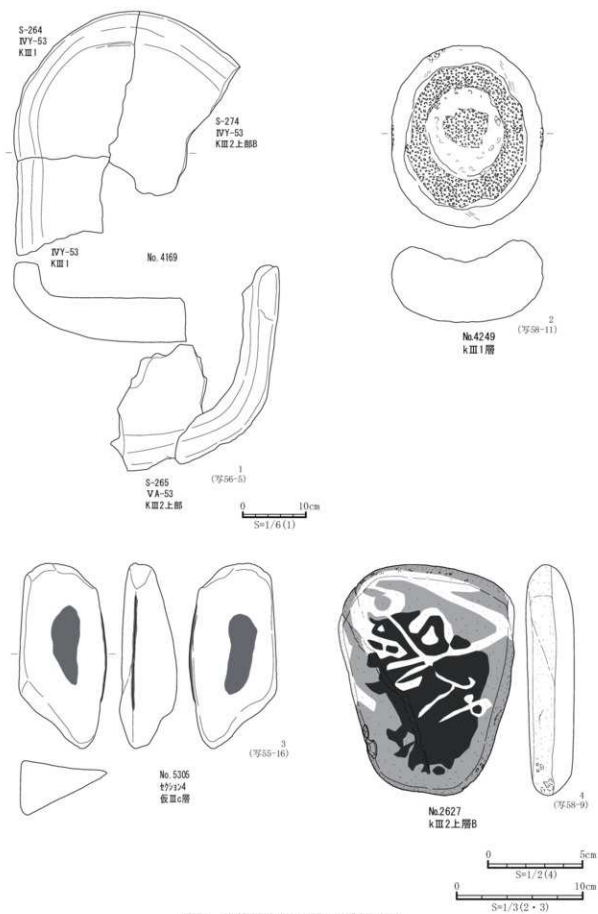


図42 東捨場地区 石器・石製品(5)

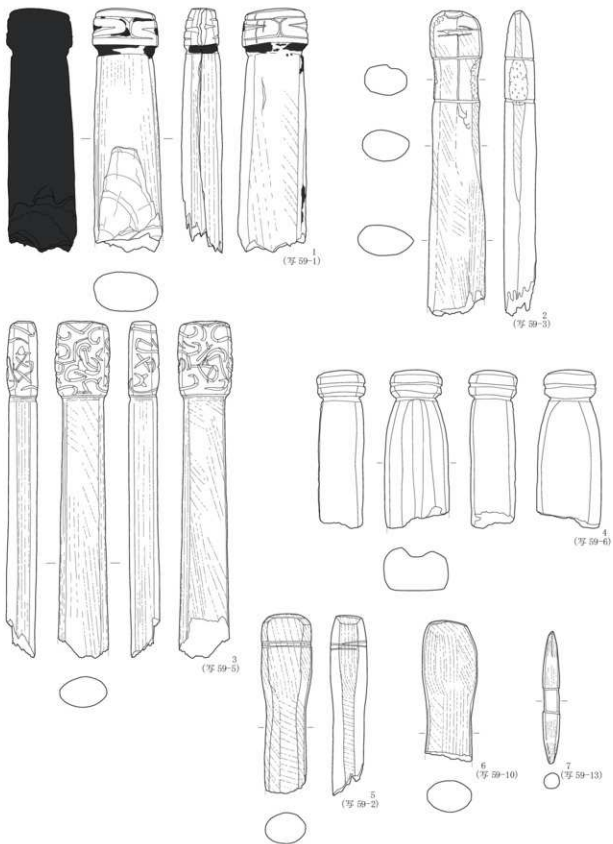


図43 東捨場地区 石器・石製品(6)

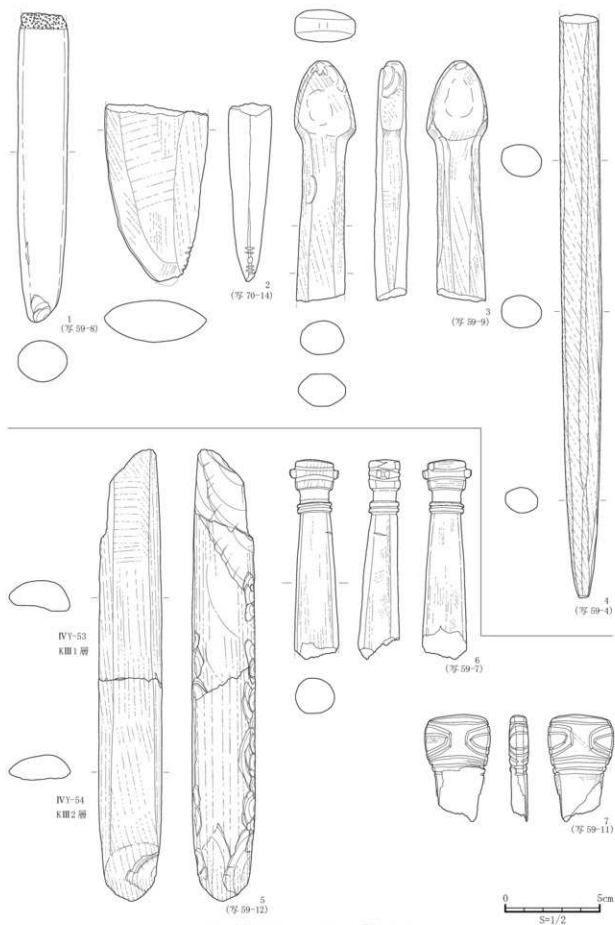


図44 東捨場地区 石器・石製品(7)

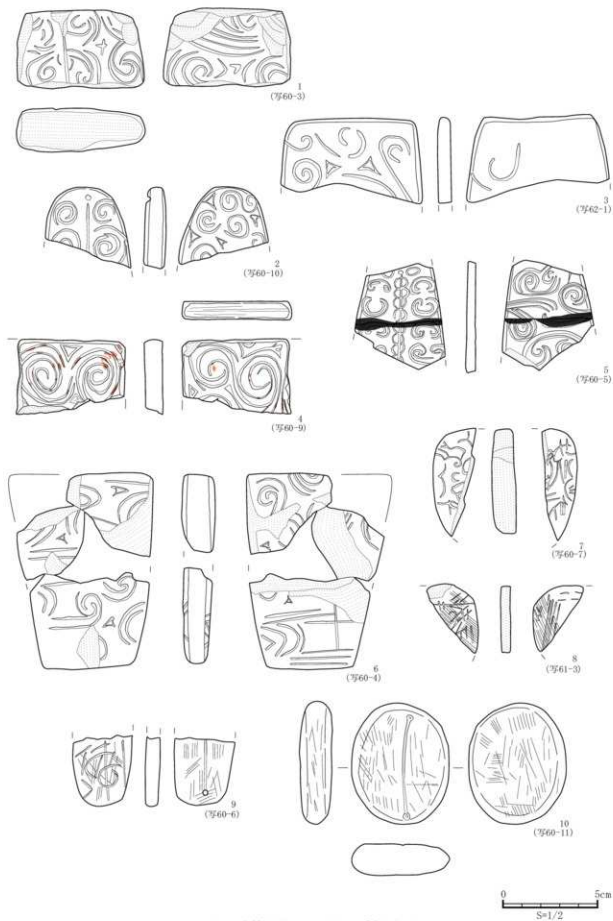


図45 東捨場地区 石器・石製品(8)



図46 東捨場地区 石器・石製品(9)

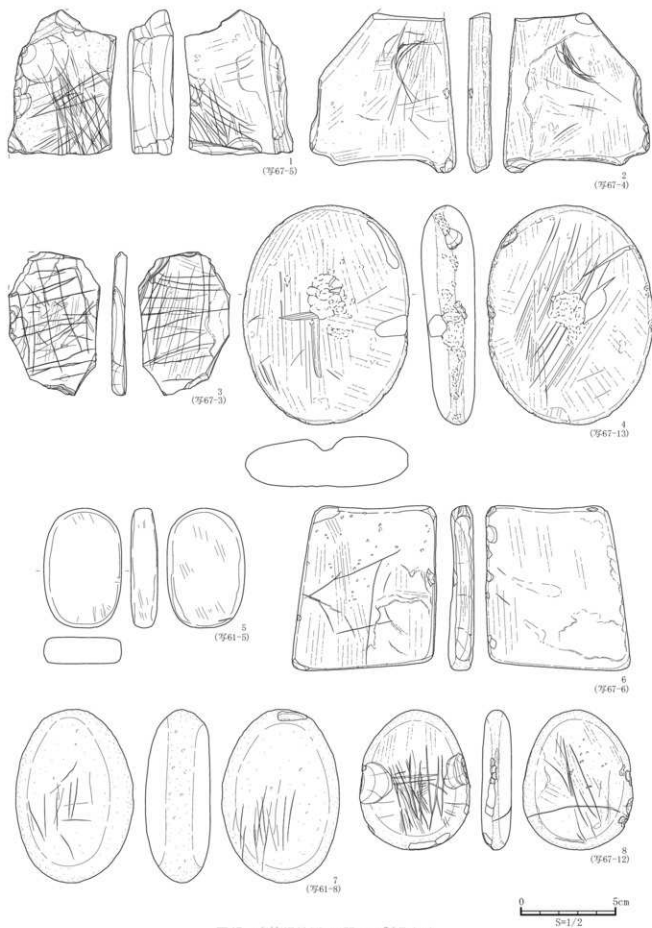


図47 東捨場地区 石器・石製品(10)

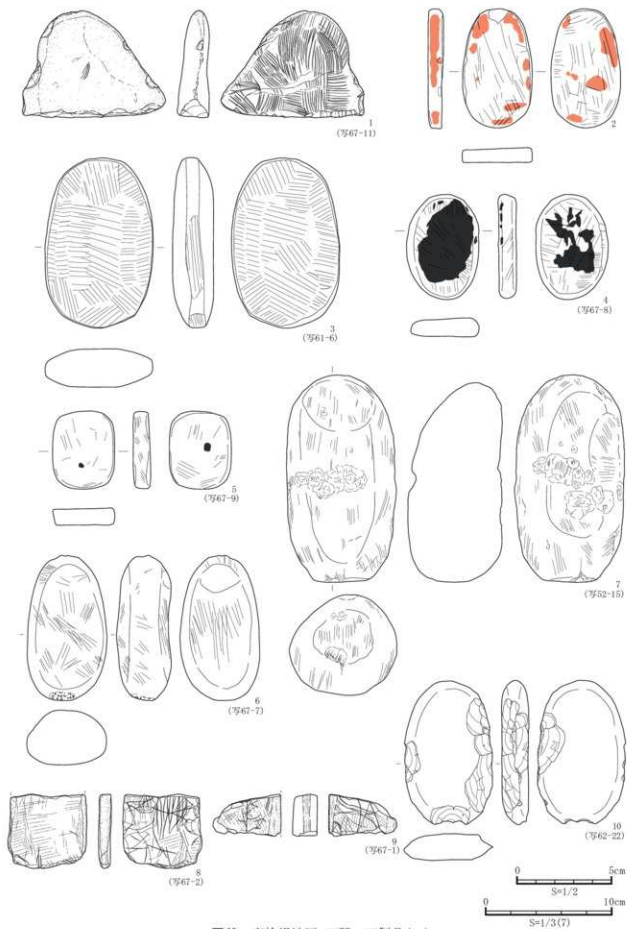


図48 東捨場地区 石器・石製品(11)

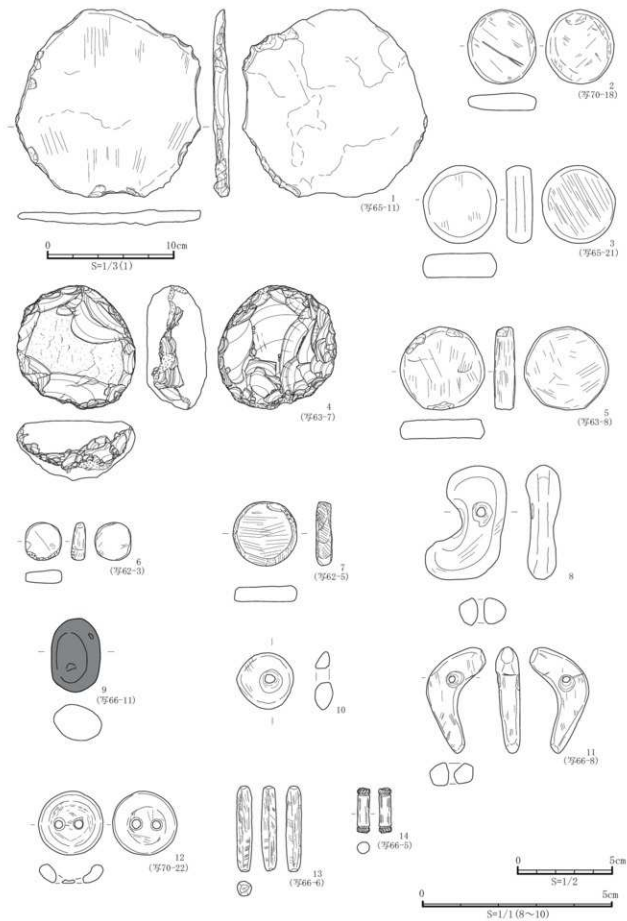


図49 東捨場地区 石器・石製品(12)



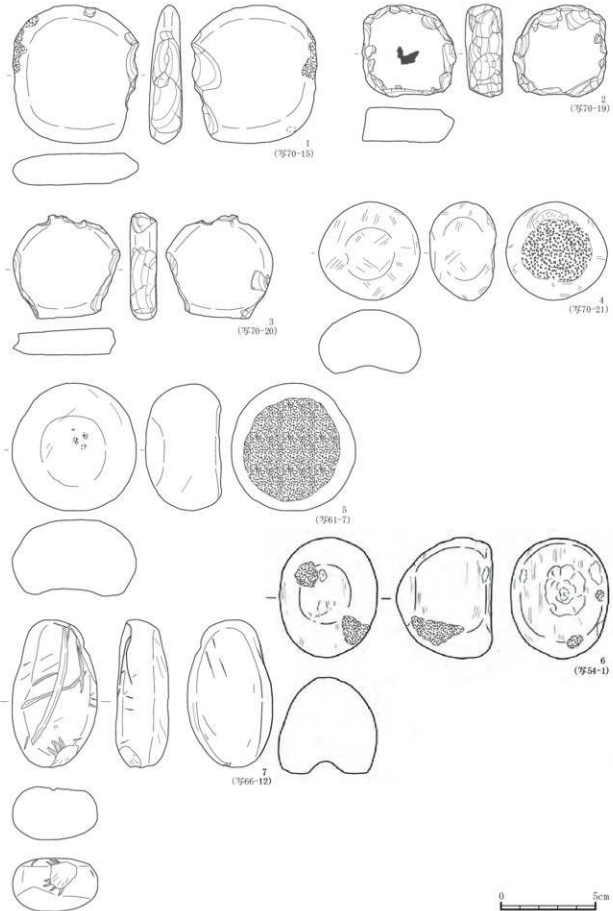


図50 東捨場地区 石器・石製品(13)

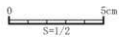
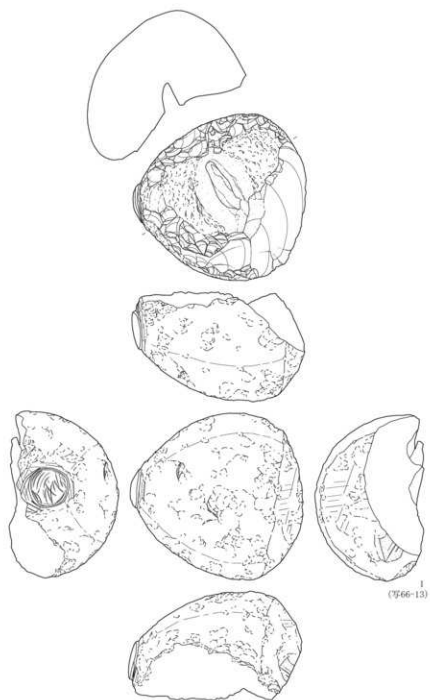


図51 東捨場地区 石器・石製品(14)

## 第3章 まとめ

東捨場地区は、主要な居住域と考えられる平場地区の外側に位置する平坦地である。堅穴建物跡に伴わない焼土遺構が検出されること、墓域が確認されずいくつかの群に分かれた土器埋設遺構が存在すること、小規模な配石遺構が散在すること、断続的に廃棄域となることなど、土地利用のあり方は平場地区に対して同様の位置にあり地形も類似する南捨場との共通性が高い。なお、東捨場と南捨場では相互に接合する遺物は知られていない。東捨場で検出された遺構は、配石遺構4基、土器埋設遺構19基、焼土遺構9基、ピット2基である。このほか、土器集中域であるブロックが14箇所確認された。下表はそれらの時期と検出層位の関係をまとめたものである。また、文末には出土土器の時期を層単位でグリッド別に示した。これは土器接合時の時期判定であり、その後若干の変更はあるものの、出土傾向の大枠を知ることができる。

遺構の時期と確認層位

層位 \ 時期	後期7-4期	後期末～ 晩期初頭	晩期前葉	晩期3期	晩期4～ 5期	不明
KⅢ (不明含む)			SR38・39・40	ブロック3・4	SQ15 <sup>※</sup> ブロック5	P1(1929・ 1932)
KⅢ1				SQ34・48 SR11・42・43・44・45・46・ 47・48・49・80・81・82 ブロック2		
KⅢ1d			SQ49 SN58・59・60・61・62・63・64 ブロック6 (17含む)・10 (KⅢe ～f)	SR37		
KⅢ2上	ブロック22	ブロック21・24	SR77・78・79 SN65・66 ブロック23			
KⅢ2		ブロック18・20	ブロック19			

※SQ15は晩期5期の建物跡に隣接しており、それ以前。

後期中葉以前の遺構・遺物は確認されておらず、地区内の土地利用は後期後葉に始まる。後期後葉～晩期初頭においては、地区の北側に小規模な廃棄単位（ブロック）が形成される。

晩期前葉の土地利用は前の時期よりも広がるが、主体は地区の北側である。ブロックの形成が続くほか、土器埋設遺構・焼土遺構が構築される。焼土遺構には確実に伴う遺物が少なく時期の決定は難しいが、検出層位および周辺で出土している土器から晩期前葉と判断した。前葉の中でも2期の遺物は少ないため、1b期に属する可能性が高い。隣接して晩期3期の捨場があり、出土炭化物の放射性炭素年代測定値は3期の土器付着物の測定値とも重なるため、3期に属す焼土遺構がある可能性は否定できないが、焼土遺構およびその直下、また焼土遺構が属すグリッドのKⅢ1d・KⅢ2上層では3期の土器は出土していない。検出層位は最も古いSN66がKⅢ2上面、SN65がKⅢ2上層の中、SN61・62・63がKⅢ1層の中、最も新しいSN58・59・60・64がKⅢ1d上面と多岐にわたり、同一層内でも上下差をもつ場合があることから晩期前葉の段階で地表面が次第にかき上げされていく様子が窺える。

晩期3期には地区の南側が廃棄域として利用され、晩期前葉の遺構の上部には広がらない。この時期の土器は良好な一括資料であるが、比較的広い範囲に遺物が連続して出土し、ブロックのような廃

棄単位をつかむことはできなかった。廃棄域の中には配石遺構や土器埋設遺構が確認される。

晩期4期以降の遺物はごく少量が出土するのみだが、SQ15・ブロック5は該期に属する可能性がある。SQ15は晩期5期の建物跡に壊されているため、それ以前としかいえない。

焼土遺構は地床炉、石囲炉、土器埋設炉と形態が多様である。焼土周辺では硬化面や柱穴が確認されず、一般に屋外炉として扱われるものである。武藤康弘は秋田県平鹿遺跡を例に、炉の周辺から明確な床面が検出されない焼土遺構は平地式住居に伴う可能性が高いことを指摘している（武藤2016）が、今回の調査ではそれらを明らかにすることはできていない。

土器埋設遺構は晩期3期に属すると考えられるものが多い。墓域に伴うものではなく、いくつかの集中地点に分かれる。埋設された土器にはいずれも使用痕跡が認められ、内外面に炭化物が付着している。晩期3期のものはいずれも明瞭な掘方が観察されず、包含層中に伏せ置かれたように出土した。包含層中に置き去りにされたものであるとすれば、「埋設」という語は適さないが、青森県内で検出された晩期の土器埋設遺構は本遺跡が最多であり、比較対象が不足しているため本編では注意喚起の意味を含めてこれらを遺構として扱った。なお、掘方が確認できない逆位の埋設土器は、南捨場SR06・30（報告書Ⅱ）のほか第2章で触れたように岩手県九年橋遺跡でも検出されている（藤村1985）。

配石遺構はいずれも包含層中に礫を並べたもので、整った形状を意識したものではなさそうである。また、礫の掘方や土坑などの下部施設は検出されなかった。配石に確実に伴う、供献されたような遺物の出土状態も認められない。

東捨場に関連する放射性炭素年代測定値は下記の通りである。なお、比較対象である時期別の土器附着物の放射性炭素年代測定値は報告書Ⅷの第1分冊第10章に掲載した。

#### 本編に関連する放射性炭素年代測定結果

出土地点	試料	測定値 (yrBP)	測定番号	出土遺物等による推定時期	土器附着物の測定値との比較
SN58周辺焼土	炭化材	2910±20	KAWA(1)-069	晩期前葉	後期8～晩期3期に相当
SN58・1層	焼獣骨	2850±20	KAWA(1)-164	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN59	炭化材	2850±20	KAWA(1)-070	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN59	炭化材	2830±20	KAWA(1)-071	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SM61・2層	焼獣骨	2630±20	KAWA(1)-166	晩期前葉	晩期4期に相当
ブロック22	炭化材	3110±20	KAWA(1)-126	晩期7-4期	後期7-4期より古い
KⅢ2上層・IVY-52	漆塗機	3060±20	KAWA(1)-158	晩期3期以前	後期7-4～8期に相当
KⅢ2層・IVY-53	漆塗機	3050±20	KAWA(1)-159	晩期15期以前	後期7-4～8期・晩期2期に相当
KⅢ1灰ア層	炭化材	2760±20	KAWA(1)-125	晩期3期以前	晩期4期に相当
KⅢ1灰イ層	炭化材	2920±20	KAWA(1)-124	晩期2期以前	後期8～晩期3期に相当

後期後葉～晩期前葉の土器は数箇所のブロックとして出土状況を把握できたが、器種・文様の組み合わせを論じることができるほどの出土量は得られなかった。また、KⅢ1層出土土器は晩期3期の一括資料であるが、3期の中での新旧を出土状況から明らかにするには至っていない。

特殊な遺物としては、人面・獣面付の土器が4個体出土している。写36-3は両者が一個体の中に共存する例である。写42-21は股間に突起がみられ、男性を表現した土偶の可能性が高い。KⅢ1層で出土した晩期前葉の耳飾り（写42-34）は、直径7cmの大型品で、透かし孔等が入念に施されている。類例は少なく、県内では階上町滝端遺跡出土品に限られる（階上町教委2000）。石製品ではアスファルトで補修された岩版（写60-5）や石棒（写59-1）、同一個体に乳房と女性器を表現したとみられるもの（写66-13）が目される。

（岡本）





## 第2編 北東捨場地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 発掘作業の方法

「北東捨場」と呼称したこの地区は、川原平(1)遺跡における北東縁辺部の滑落崖に位置し、居住域の外周に形成された捨場群（「西捨場」・「北捨場」・「本捨場」・「東捨場」・「南捨場」）の一部である。

北東捨場における発掘作業の方法について以下に述べるが、測量基準点・水準点の設置・グリッド設定、基本土層、表土等の調査、遺構の調査、写真撮影などの基本的事項については、既刊『川原平(1)遺跡Ⅱ』における記載とほぼ変わるところはない。よって、ここではそれらについての記載を省き、北東捨場が確認されるまでの経緯や、北東捨場に特化した調査方法を時系列で記し、調査経過の記載を兼ねることとする。なお、発掘調査方法に関する詳細については、第4章第1節に記した。

### 【捨場として認識されるまでの経緯】

当初この地区は、2013年に行われた確認調査において、広範囲に分布する黒褐色系土壌の存在と、この中から出土する多くの遺物のあり方から、多数の堅穴建物跡が重複したエリアであると想定されていた。

2014年の調査では、黒褐色系土壌の土質と、礫を含めた遺物の分布状況とを入念に観察することで、堅穴建物跡の重複状況の把握と、それら堅穴建物跡を切る柱穴の有無確認を同時に行うこととした。結果、黒褐色系土壌と地山との境界は、大きな弧状のラインを呈し、礫は、そのラインに平行するように筋状に分布し、個々の礫は、東～北東方向にやや傾いている傾向が認められた。

これらのことから、広範囲に分布する黒褐色系土壌は、堅穴建物跡が重複した結果等ではなく、地形に関係する大型の落ち込みであることが判明した。筋状に分布する礫の状況と多量の礫が傾斜している状況に加え、面的に分布する炭化物層の存在等も考えあわせ、この黒褐色系土壌は、斜面に形成された捨場堆積層（遺物包含層）であろうとの予測を持つに至った。

### 【北東捨場地区の調査方法（調査経過：詳細は、第4章第1節参照）】

- ・柱穴の有無確認を行う（調査終了まで継続）。最終的に、北東捨場地区内に柱穴の検出は無し。
- ・黒褐色系土壌に、小型トレンチ（図56・写真73参照：斜面トレンチ1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-2、5、西端トレンチ）を設定、地点毎の深さを把握。
- ・地山が大きく落ち込んでいる状況を把握、黒褐色系土壌は予想以上に厚く、遺物も多量であることも判明。調査手順を見直す。
- ・「大正時代に開削された道路」<sup>1)</sup>に繁茂する樹木や表土を全て剥がして精査し、崩落土壌に含まれる遺物の回収および、「道路」の法面に現れた黒褐色系土壌（写真72-5）の断面図化を行い、予想遺物量と排土量を概算。「道路」部分を排土置き場として利用することとする。
- ・安全対策として、崖付近を階段状に水平カットし（図57参照）、手すりや歩み板などを設置（写真73-1参照）。
- ・小型トレンチの両側壁に現れた土層を分層し、土壌の傾斜方向を推定。



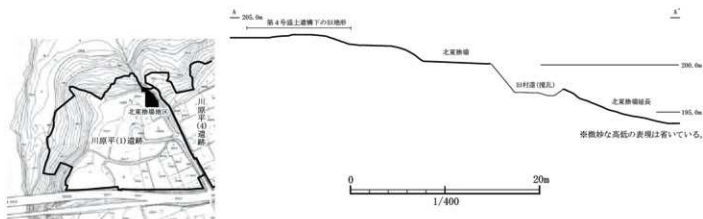
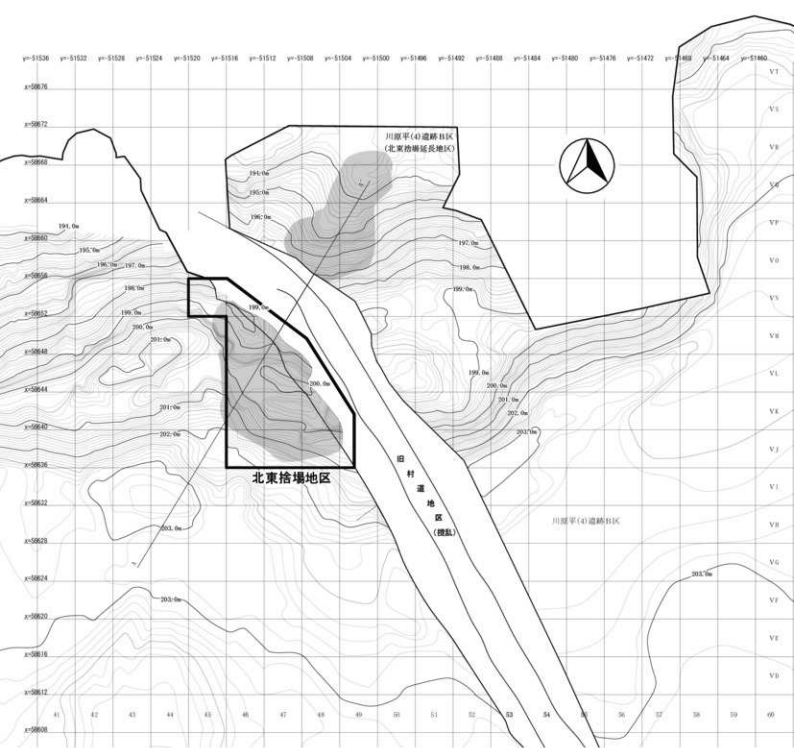


図 52 北東捨場地区の位置と周辺の地形 (1 : 400)  
 (網かけ内は捨場堆積層 (遺物包含層) の範囲)

- ・土壌の傾斜方向に合わせ、大型トレンチを3条(図56参照:トレンチ1~3)設定。
- ・トレンチ内に検出された土器の集中域を「ブロック」と称し、ブロック単位で遺物を取り上げる。集中範囲内に出土した石器など土器以外の遺物も、ブロック範囲内の遺物として取り上げる。
- ・トレンチに沿わせ、5本のベルトを設定。トレンチ1~3の各北壁面にベルト1~3、トレンチ1の南壁面にベルト1.5、トレンチ2の南壁面にベルト2.5を設定(図56)。
- ・トレンチへベルト間の掘り下げは、同一土層の面的な広がりを確認しながら行い、ここにおいても、土器の集中域を「ブロック」とした。
- ・「調査区西端トレンチ」(図56参照)以西の区域が調査可能になって以降、4本目の大型トレンチ(トレンチ5)を追加設定。このトレンチの南西端にみられる溝状の凹みに小型のトレンチ(トレンチ6・7)を設定(トレンチ6・7の部分は、『川原平(1)遺跡IV』の中で、「クラック地区」として報告している)。(木村)

## 註

1)第564集『川原平(1)遺跡II』【第1分冊 本文・観察表編】のP18(註3)および第566集『川原平(4)遺跡IV』のP15を参照。

## 第2節 整理・報告書作成作業の方法

北東捨場地区では、1箇所の捨場および配石遺構1基、焼土遺構2基が検出され、出土遺物は634箱(段ボールで土器400箱、石器等234箱)にのぼる。整理作業は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで実施した。遺構図面および出土遺物の整理・報告書作成作業の方法は以下の通りである。

【図面類の整理】トータルステーションを用いて作成した遺構平面図を原則として縮尺20分の1で図面化し、簡易造方測量で作成した土層断面図等との調整を行った。また、遺構台帳・遺構一覧表・遺物台帳等を作成し、発掘作業時の所見等を整理した。

【写真類の整理】写真等の記録類については、写真台帳を作成するとともに、35mmモノクロームフィルムは、撮影順にネガアルバムに収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは、発掘作業状況や遺構毎に整理して、スライドファイルに収納した。デジタルカメラのデータについては、遺構毎にフォルダに整理し、ポータブルハードディスクドライブおよびDVD-Rに保存した。

【遺物の洗浄・注記】遺物の注記は、遺物取り上げ時のカードをもとに、調査年度、遺跡名、出土地区・グリッド名、遺構名、出土層位、取上番号等を全て記し、剥片石器などの直接注記できない遺物については、チャック付の収納袋に注記した。土器細片(4cm×2cm, 3.3cm×2.4cm程度以下)については、出土地点と層位を優先し、遺跡名と捨場名は右表のように省略した。注記後、ブロック、トレンチ、ベルト、グリッド、層位といった属性で分類し、「トロ函」(内寸:約58×36×16cm)へ収納、トロ函へは函管理番号を付け、内容物をリストにまとめた。

ブロック番号有		ブロック番号無		
ブロック番号有	ブロック番号無	ブロック番号有	ブロック番号無	
プロ4030	プロ4030	P-4312	トレンチ名有	ベルト名有
P-4312 TR1-4層	P-X TR1-4層	TR1-4層	トレンチ名 ベルト名無	トレンチ名 ベルト名無
			トレ1-6~7 TR1-4層	ベルト2-4 VM-4.5 TR1-4層
				VM-4.5 TR1-4層

【土器の接合・復元】接合・復元にあたっては、出土地点や出土層名等を入念に点検しながら行った。遺物量が膨大であったため、作業に優先順位をつけた。ブロック出土のものを最重視し、ブロック内での接合→ブロック間（周辺・直下・直上）の接合→ブロック付近から出土したブロック以外との接合、ブロック以外の土器をグリッド毎に接合、という手順で進めた。

#### 【土器の時期別分類・抽出・収納】

接合・復元作業と並行しながら、北東捨場の様相把握に有効と思われる破片類の抽出・収納を行った。トロ函から、口縁部、底部、主要文様の観察できる破片、縄文のみの大型胴部破片、「土器製作体制」を考える上で注意したいもの、土器片利用円盤、赤彩土器…などを抽出し、時期別に分類し、目視による数量比をカルテ（右図）に記録した後、時期区分単位でメモ写真を撮影、セパレートボックスに収納した。抽出されなかった破片は再びトロ函に収納した。

品名	数量	備考
2019-01	1	口縁部
2019-02	1	口縁部
2019-03	1	口縁部
2019-04	1	口縁部
2019-05	1	口縁部
2019-06	1	口縁部
2019-07	1	口縁部
2019-08	1	口縁部
2019-09	1	口縁部
2019-10	1	口縁部
2019-11	1	口縁部
2019-12	1	口縁部
2019-13	1	口縁部
2019-14	1	口縁部
2019-15	1	口縁部
2019-16	1	口縁部
2019-17	1	口縁部
2019-18	1	口縁部
2019-19	1	口縁部
2019-20	1	口縁部
2019-21	1	口縁部
2019-22	1	口縁部
2019-23	1	口縁部
2019-24	1	口縁部
2019-25	1	口縁部
2019-26	1	口縁部
2019-27	1	口縁部
2019-28	1	口縁部
2019-29	1	口縁部
2019-30	1	口縁部
2019-31	1	口縁部
2019-32	1	口縁部
2019-33	1	口縁部
2019-34	1	口縁部
2019-35	1	口縁部
2019-36	1	口縁部
2019-37	1	口縁部
2019-38	1	口縁部
2019-39	1	口縁部
2019-40	1	口縁部
2019-41	1	口縁部
2019-42	1	口縁部
2019-43	1	口縁部
2019-44	1	口縁部
2019-45	1	口縁部
2019-46	1	口縁部
2019-47	1	口縁部
2019-48	1	口縁部
2019-49	1	口縁部
2019-50	1	口縁部
2019-51	1	口縁部
2019-52	1	口縁部
2019-53	1	口縁部
2019-54	1	口縁部
2019-55	1	口縁部
2019-56	1	口縁部
2019-57	1	口縁部
2019-58	1	口縁部
2019-59	1	口縁部
2019-60	1	口縁部
2019-61	1	口縁部
2019-62	1	口縁部
2019-63	1	口縁部
2019-64	1	口縁部
2019-65	1	口縁部
2019-66	1	口縁部
2019-67	1	口縁部
2019-68	1	口縁部
2019-69	1	口縁部
2019-70	1	口縁部
2019-71	1	口縁部
2019-72	1	口縁部
2019-73	1	口縁部
2019-74	1	口縁部
2019-75	1	口縁部
2019-76	1	口縁部
2019-77	1	口縁部
2019-78	1	口縁部
2019-79	1	口縁部
2019-80	1	口縁部
2019-81	1	口縁部
2019-82	1	口縁部
2019-83	1	口縁部
2019-84	1	口縁部
2019-85	1	口縁部
2019-86	1	口縁部
2019-87	1	口縁部
2019-88	1	口縁部
2019-89	1	口縁部
2019-90	1	口縁部
2019-91	1	口縁部
2019-92	1	口縁部
2019-93	1	口縁部
2019-94	1	口縁部
2019-95	1	口縁部
2019-96	1	口縁部
2019-97	1	口縁部
2019-98	1	口縁部
2019-99	1	口縁部
2019-100	1	口縁部

なお、これらの抽出遺物は報告書掲載外ではあるが、再検討しやすい収納・保管としている。

【報告書掲載遺物の選別】掲載候補となった遺物には、整理番号を付し、台帳に登録した。選別にあたっては、美術工芸的な価値に感わされることなく、ブロック出土資料を主体に掲載した。漆やアスファルト等が付着した希少資料、特殊資料についても可能な限り掲載した。

【遺物の観察・図化】遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するよう図化した。拓本では表現しきれない凹凸のある遺物については、実測図を作成するように心がけた。掲載遺物については、種類毎に法量・特徴等を記載した遺物台帳（観察表・計測表）を作成した。なお、整理期間の都合上、大部分の遺物は写真掲載のみとし、遺存状態がよく時期・型式等がわかる代表的資料のみを図化した。

【トレース・版下作成】トレース・版下作成では、株式会社CUBIC製「遺構実測支援システム」および「トレースくん」、アドビシステムズ㈱製「Adobe Illustrator CS4・CS6」および「Adobe InDesign CS4・CS6」を用いた。写真図版についても、デジタルデータを主に用いた。

【遺物の写真撮影】実測図では表現しがたい質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。なお、写真撮影は業者に委託して行った。

【遺物の分類・整理・検討】遺物を種別、出土状態毎に整理し、全体的な様相について検討した。ブロック出土遺物は、今後の研究に資するよう、表2には、ブロックの観察結果を掲載した。また、各ブロックの層位と、主体となる土器型式に基づく推定時期や、ブロック出土でありながら掲載外となった土器の整理番号等については表3に掲載した。これらブロック出土の資料は、報告書掲載外も含め、再検討しやすい収納・保管としている。

【自然科学分析】本地区の変遷を知るために、炭化物等の放射性炭素年代測定、土器の製作体制を明らかにするために胎土分析、漆製品の製作技術を明らかにするために漆塗膜分析を行った。

【保存処理】漆塗り堅櫛・漆塗膜の保存処理を外部に委託した。

【報告書刊行】全てデジタルデータで入稿し、3回の校正を経て報告書を刊行した。

(木村・中澤)

## 第2章 北東捨場地区の概要

北東捨場は、北東縁辺部の滑落崖に形成されており、居住域の外周に巡る捨場群（西捨場・北捨場・〔本捨場〕・東捨場・南捨場）の一部を構成するものである。北側には岩木川が流れ、東方は、「大正時代に開削された道路」<sup>1)</sup>を挟んで川原平(4)遺跡B区に隣接している<sup>2)</sup>。

本捨場もいわゆる「斜面捨場」の類に属し、南西から北東にかけて下る斜面に、多量の土壌と礫、遺物が廃棄されていたものであるが、この斜面は滑落崖の一部分に相当するもので、西捨場や北捨場ほど規模の大きなものではない。斜面の存在は、確認時において全く認められず、上端が弧状を呈す大規模な凹みが、多量の黒褐色系の土壌（捨場の堆積層＝遺物包含層）で埋没していた状態であった。

検出位置は、グリッドで示すところのおおむねVL-47杭が本捨場の中心あたりに相当する（『川原平(1)遺跡Ⅷ』付図参照）。上述のように、北東方向には、「川原平(4)遺跡B区北西端」が隣接し、本捨場の西方には、本捨場とは様相の異なる土壌で埋没した「溝状の落ち込み（崩壊地形）」が続いている。これら「川原平(4)遺跡B区北西端」と「溝状の落ち込み（崩壊地形）」については、「北東捨場延長地区」と「クラック地区」として別途報告している<sup>3)</sup>。両地区からは、本捨場の遺物と時期的に並行するものが出土しており、廃棄活動の様相を広く考察する上で、両地区との比較は必須と言える。

捨場堆積層（遺物包含層）からの出土遺物は、段ボール箱で634箱（土器400箱、石器等234箱）を数える。多量の遺物の中から100単位の土器集中域（ブロック：第4章第3節参照）を抽出し、廃棄時における土器のセット関係を推定できる可能性がある。土器からみた捨場堆積層の形成期間（遺物の廃棄期間）は、縄文時代後期後葉から晩期5期までであり、長期にわたって利用され続けた捨場であることが判明している。

捨場堆積層（遺物包含層）の中からは、わずかながら遺構の検出もみられた。配石遺構1基、焼土遺構2基である。配石遺構は、晩期中葉における構築、焼土遺構も晩期中葉の形成と考えられる。少なくとも本捨場は、ある時期において、物質廃棄だけの空間ではなかったことが分かる。

（木村）

### 註

- 1)第564集『川原平(1)遺跡Ⅱ』【第1分冊 本文・観察表編】のP18（註3）および第566集『川原平(4)遺跡Ⅳ』のP15を参照。
  - 2)川原平(4)遺跡B区北西端は、巻頭写真1や写真72上段の航空写真などでも分かるしており、地形的に本捨場と連続している上に、出土遺物も多くが時期的に並行することから、「大正時代に開削された道路」の構築以前においては、本捨場と連続していたことが明らかである。このようなことから、川原平(4)遺跡B区の北西端の成果については、本報告書の第3編において「北東捨場延長地区」として報告している。グリッドで示すところの、V0～VR-46～53がその報告範囲である。
  - また、本捨場の西側に位置する「溝状の落ち込み（崩壊地形）」は、本捨場とは様相の異なる土壌で埋没していた部分である。この範囲は、2014年調査の終盤段階において、本捨場の連続部分として調査していたが、様々な時期の小破片が混在して出土する状況が認められ、土壌のみならず、遺物も本捨場の様相とは異なることが分かった。この地区における様相の把握には相当に困難を極め、後述する「トレンチ6、7」を新設し、「トレンチ1」および「トレンチ3」の南西端の土層、「トレンチ6、7」の土層を比較検討した結果、本捨場とは異なる廃棄空間であることが判明した。
- 以上のような状況から、「溝状の落ち込み（崩壊地形）」範囲の成果については、『川原平(1)遺跡Ⅳ』において、「クラック地区」として報告している。「クラック地区」の報告範囲は、本報告書の図53（次ページ）に掲載しているとおり、機械的にグリッドで区切っているが、「クラック地区」の範囲内に相当する、2014年調査分（調査区西端トレンチ（図56参照）のラインよりも東側：北東捨場と同時に調査）に関しては、本編の報告対象としている。グリッドを用いず、地形的に本捨場と「クラック地区」を分けるとすれば、図54・56に示した赤い線がその境界となろう。

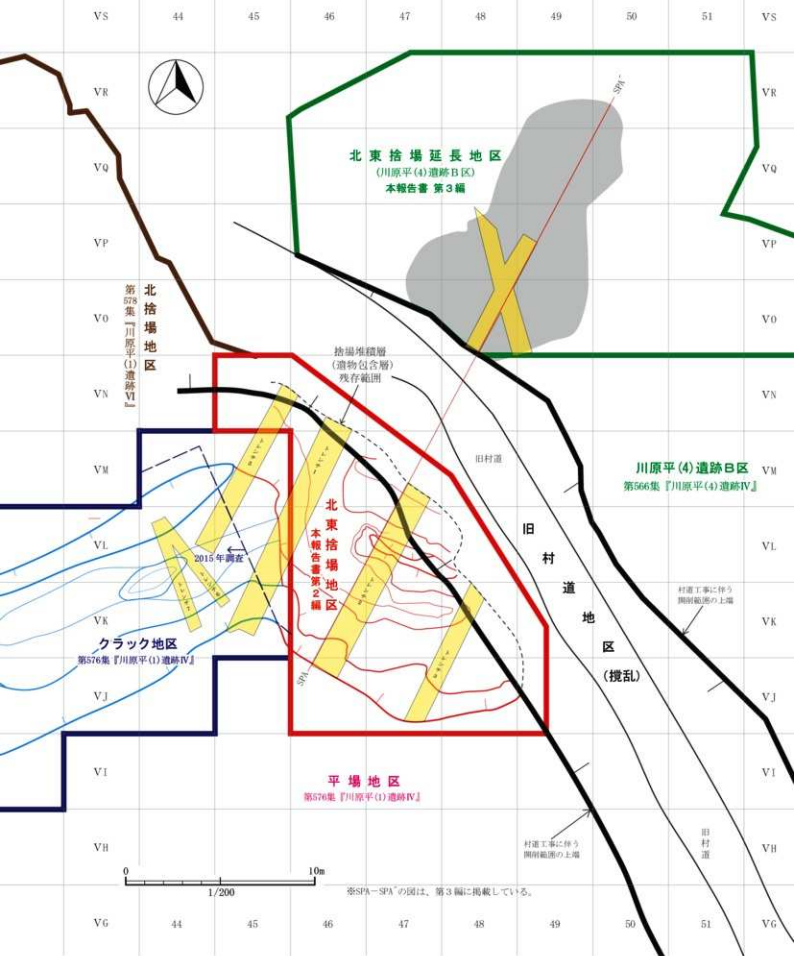


図53 北東捨場地区・北東捨場延長地区・クラック地区等の位置関係 (1:200)

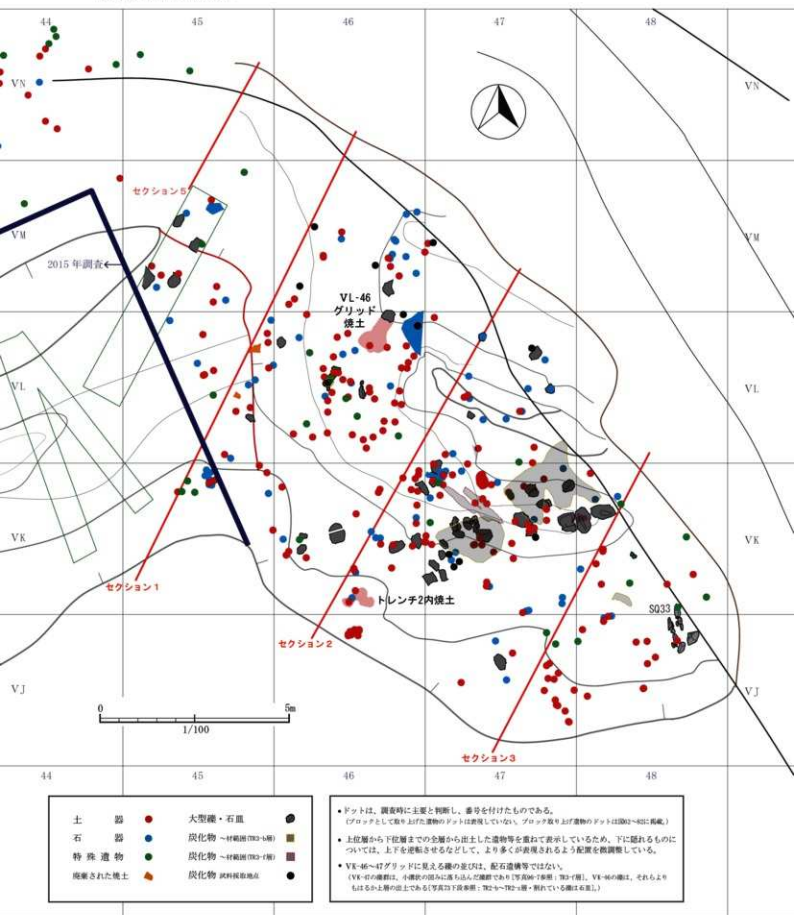


図 54 北東捨場地区 遺構配置図・遺物等分布状況図 (1:100)

## 第3章 検出遺構と出土遺物

配石遺構1基、焼土遺構2基が検出された。全て北東捨場の包含層中における検出である。

### 1 配石遺構

第33号配石遺構 (SQ33 図55、写真83・104)

【位置・確認・重複】 VJ～VK-48グリッドに位置し、TR3-I層の中に確認した。重複なし。

【規模・形状】 TR3-I層の中に礫が配置されている。平面的には、長軸を南北にとる2列の配石（西列＝S-3～9、東列＝S-10～14）に見えるものであり、各列の南端にはやや大型の礫（S-1、2）が、軸線からわずかにずれて配置されている。断面図や写真でも分かるとおり、西列、東列の各礫は、面積の広い面を側にして、立てるように配置されている。顕著なのは、西列北端の板状礫（S-7）であり、その東側に沿うS-8、9は、S-7の補強のために加えられたようにも見える（写真参照）。

礫設置のための掘方を入念に探したが、確認されなかった。また、土坑等の掘り込み等も伴わない。

【堆積土】 TR3-I層の掘り下げ過程で確認したことから、覆土は同層であった可能性がある。

【出土遺物】 列内から土器片が数点出土し、4点ほどを図示したが、これらはTR3-I層に含まれていたもので、本遺構に伴うものではないと考えられる。

【小 結】 TR3-I層の形成途中（晩期中葉）における構築と考えられる。

（木村）

### 2 焼土遺構

2基とも本地区が捨場として機能していた（遺物包含層が形成されていた）ある段階で遺された被熱痕である。赤化範囲は非常にぼんやりしており、本遺跡において焼土遺構と一般的に称しているものとは異なることから、ここではSN番号を付さず、調査時の呼称をそのまま用いた。

なお、これら以外にも、付近にはいくつかの焼土が認められているが、全て廃棄された焼土であり、現地性のものではない。

VL-46グリッド焼土 (図55、写真76)

【位置・確認・重複】 VL-46グリッドに位置する。TR1-4.5層の掘り下げ過程で確認した。重複なし。

【規模・形状】 赤化範囲は、113×77cmを測り、平面形は不整形を呈する。

【堆積土】 TR1-4.5層が被熱しているもので、掘り込み等は特に認められない。赤化の深さは17cmと深い。赤化度合いは全般に弱い。この焼土を覆うTR1-4.5層が堆積土に相当する。

【出土遺物】 本焼土に伴う遺物はなし。

【小 結】 TR1-4.5層の堆積過程（晩期中葉）における形成と考えられる。

（木村）

トレンチ2内焼土 (図55、写真79)

【位置・確認・重複】VK-46グリッド(トレンチ2-1~2)に位置する。TR2-z層の除去後、TR2-1層上面で確認した。重複なし。

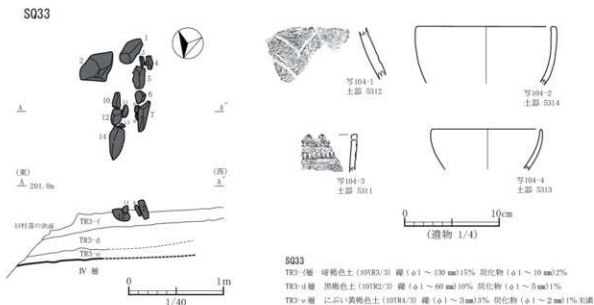
【規模・形状】赤化範囲は、81×65cmを測り、平面形は不整形を呈す。

【堆積土】TR2-1層が被熱したもので、掘り込みは認められない。赤化の深さは8cmで、赤化の度合いは弱い。この焼土を覆うTR2-zが堆積土に相当する。

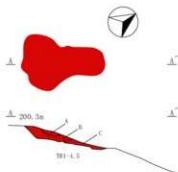
【出土遺物】本焼土に伴う遺物はなし。

【小 結】時期は、TR2-1層の堆積完了後、TR2-z層堆積以前(おおむね晩期中葉)の形成と考えられる。

(木村)



VL-46グリッド焼土

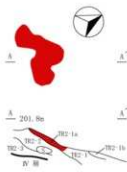


VL-46 グリッド焼土

- A層 TR1-4.5層の赤化
- B層 TR1-4.5層の赤化
- C層 TR1-4.5層の赤化



トレンチ2内焼土



トレンチ2内焼土

- TR2-1a層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~80mm)10% 炭化物(φ1~3mm)15%
- TR2-1b層 暗褐色土(10YR3/4) 礫(φ10~60mm)5% 炭化物(φ1~3mm)15%
- TR2-1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~50mm)5% 炭化物(φ1~13mm)25%
- TR2-2層 黒褐色土(10YR2/3) 礫(φ10~220mm)40% 炭化物(φ1~4mm)15%
- TR2-3層 黒褐色土(10YR2/2) 礫(φ10~60mm)25% 炭化物(φ1~4mm)15%

土層断面図における礫の表現は右に示している(礫の状況については、写真図版参照)。

図55 北東捨場地区 配石遺構・焼土遺構



## 第4章 北東捨場

### 第1節 調査の方法

調査では、土壌と礫と遺物にみられる人為的痕跡と自然作用の関与度合いについて、常に思考しながら、遺物の層位的な取り上げ、土器集中域（ブロック：本章第3節）の認定、各種遺物と土器との共存関係の有無、包含層中における遺構の有無等に最大限の注意を払って作業を進めた。

図54の遺構配置図でも分かるとおり、北東捨場地区の付近には、堅穴建物跡が構築されており、居住域が付近に存在することが明確であったことから、まずは捨場堆積層（遺物包含層）の上面を移植ベラで丁寧に削り落とし、遺構確認作業を複数回にわたって行った。

結果、北東捨場地区における捨場堆積層（遺物包含層）の内部に柱穴等は存在しないことを確認した。

ただし、この段階での捨場堆積層（遺物包含層）の上面には、東～北東方向にやや傾きながら筋状に分布する礫群や、傾斜しながら面的に分布する炭化物などが認められたことから、捨場堆積層（遺物包含層）の掘り下げ途中で堅穴建物跡の柱穴などが検出される可能性はあり得ると考え、層位的な掘り下げと断面の削り作業においては、常に土壌の色調が明瞭になるように心がけた。この作業姿勢は、北東捨場を完掘するまで、一貫して継続した。以下、調査の方法について述べる。

**【小型トレンチの設定】**捨場堆積層（遺物包含層）に、小型トレンチ（斜面トレンチ1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-2、5、調査区西端トレンチ）を設定し、地点毎の深さと遺物の包含量、土層の堆積状況の把握を試みた（図56・写真73）。結果的に、捨場堆積層（遺物包含層）は予想以上に厚く（深く）、遺物と礫が相当に含まれていることを把握した。

**【大型トレンチの設定】**土壌の傾斜方向にあわせ、幅1mないし1.5m、長さ7.5～12mの大型トレンチを4条（トレンチ1～3、5）設定した。土層の比較検討をスムーズに行えるよう、各トレンチ間の距離は、2～4mと狭く設定した。（土壌の傾斜方向の削り出しは、小型トレンチの両側壁に現れた土層の観察に基づく）

**【中型トレンチの設定】**「調査区西端トレンチ」以西の区域が調査可能になって以降、調査面積を拡大したが、トレンチ5の南西端には、北東捨場とは様相の異なる土壌で埋没した溝状の落ち込み（崩壊地形）が認められたことから、この部分に中型トレンチ（トレンチ6・7）を設定した（図56）。この溝状の落ち込み部分は、『川原平(1)遺跡Ⅳ』の中で、「クラック地区」として報告されている。

**【大型トレンチの土層断面（ベルト）】**大型トレンチの土層断面に沿わせ、5本のベルトを設定した。トレンチ1～3の各北壁面にベルト1～3、トレンチ1の南壁面にベルト1.5、トレンチ2の南壁面にベルト2.5を設定した。これにより、北東捨場の土層観察面は、トレンチ4条（トレンチ1、2、3、5）とベルト6条（ベルト1、1.5、2、2.5、3、5）の側面（合計13面：トレンチの断面でありベルトの断面でもある箇所が6面）で行うことで、土層を比較しやすい状態を構築した（図56）。固化対象とした土層断面は、トレンチ1～3の各北壁面である。なお、これらベルト1～3は、地表面から底面までの深さが130～200cmという大型のものであり、北東捨場の生命線とも言うべき重要な断面であったことから、部分的な欠損や崩壊を防ぐため、断面を垂直にすることは避け、微妙な勾配をつけた。従って、土層断面の下端が、上端よりも手前にせり出す状況が生じたために、平面におけるセクションポイントは、トレンチの

上端ラインから若干ずれたものとなっている。ただし、土層断面図はトータルステーションで作成しているため、縦方向の長さの増幅などはない。

壁面の劣化防止策として、要所に保湿剤としての土糞や土糞袋等を断面の天端に設置し、乾燥気味の箇所には常に加湿し、終業前にはシートで壁面を覆うなど、恒常的な保守作業を行った。

なお、ベルト1, 2, 3, 5の右端(北東側)は、安全対策のために施した水平カットの名残で、階段状になっている(図57および後述の【安全対策】参照)。

【トレンチ内小グリッド・ベルト内小グリッドの設定】大型トレンチおよびこれに沿うベルトは、いずれも南西-北東に軸線をとるもので、グリッドの軸線とは60°ほどずれる。よって、グリッド単位での遺物取り上げが煩雑になることから、各トレンチおよびベルトの内部を1mごとに分割し、「トレンチ1-3」、「トレンチ2-5」、「ベルト1-3」、「ベルト2-5」のように、「トレンチ内小グリッド」と「ベルト内小グリッド」を設け(図56)、トレンチとベルトに関しては、これらの小グリッドで遺物取り上げを進めた。(結果的に土器の接合作業も効率的に行うことができた。)グリッド、トレンチ、ベルトの関係は、下表の通りである。

大型トレンチ			中型トレンチ																																																																																																																			
ベルト1	トレンチ1	トレンチ2	トレンチ6	トレンチ7																																																																																																																		
<table border="1"> <tr><td>ベルト1</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VL-45・VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td>VM-45・VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td></td></tr> </table>	ベルト1	-1			-2	VL-45		-3			-4			-5	VL-45・VM-45		-6	VM-45		-7	VM-45・VM-46		-8	VM-46		-9			-10	VM-46		-11		<table border="1"> <tr><td>トレンチ1</td><td>-1</td><td>VM-45・VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VL-45・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-46・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-46・VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VM-46</td></tr> </table>	トレンチ1	-1	VM-45・VL-45		-2			-3	VL-45		-4			-5	VL-45・VL-46		-6	VM-46・VL-46		-7			-8	VM-46		-9			-10	VM-46・VM-46		-11	VM-46	<table border="1"> <tr><td>ベルト2</td><td>-1</td><td>VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VL-45・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VM-46</td></tr> </table>	ベルト2	-1	VM-45		-2	VL-45		-3	VL-45・VL-46		-4			-5	VL-46		-6			-7			-8			-9	VM-46		-10			-11	VM-46	<table border="1"> <tr><td>トレンチ6</td><td>VL-44</td></tr> <tr><td></td><td>VM-44・VM-45</td></tr> </table>	トレンチ6	VL-44		VM-44・VM-45	<table border="1"> <tr><td>トレンチ7</td><td>VL-44・VM-44</td></tr> </table>	トレンチ7	VL-44・VM-44									
ベルト1	-1																																																																																																																					
	-2	VL-45																																																																																																																				
	-3																																																																																																																					
	-4																																																																																																																					
	-5	VL-45・VM-45																																																																																																																				
	-6	VM-45																																																																																																																				
	-7	VM-45・VM-46																																																																																																																				
	-8	VM-46																																																																																																																				
	-9																																																																																																																					
	-10	VM-46																																																																																																																				
	-11																																																																																																																					
トレンチ1	-1	VM-45・VL-45																																																																																																																				
	-2																																																																																																																					
	-3	VL-45																																																																																																																				
	-4																																																																																																																					
	-5	VL-45・VL-46																																																																																																																				
	-6	VM-46・VL-46																																																																																																																				
	-7																																																																																																																					
	-8	VM-46																																																																																																																				
	-9																																																																																																																					
	-10	VM-46・VM-46																																																																																																																				
	-11	VM-46																																																																																																																				
ベルト2	-1	VM-45																																																																																																																				
	-2	VL-45																																																																																																																				
	-3	VL-45・VL-46																																																																																																																				
	-4																																																																																																																					
	-5	VL-46																																																																																																																				
	-6																																																																																																																					
	-7																																																																																																																					
	-8																																																																																																																					
	-9	VM-46																																																																																																																				
	-10																																																																																																																					
	-11	VM-46																																																																																																																				
トレンチ6	VL-44																																																																																																																					
	VM-44・VM-45																																																																																																																					
トレンチ7	VL-44・VM-44																																																																																																																					
ベルト2	トレンチ2	トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5	トレンチ8																																																																																																																	
<table border="1"> <tr><td>ベルト2</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-46・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td></td></tr> </table>	ベルト2	-1			-2	VM-46		-3			-4			-5	VM-46・VL-46		-6	VL-46		-7			-8	VL-47		-9			-10	VM-47		-11		<table border="1"> <tr><td>トレンチ2</td><td>-1</td><td>VM-46・VJ-46</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-46・VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VL-46・VL-47・VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VM-47</td></tr> </table>	トレンチ2	-1	VM-46・VJ-46		-2			-3	VM-46		-4			-5	VM-46・VM-47		-6	VL-46・VL-47・VM-47		-7			-8			-9	VL-47		-10			-11	VM-47	<table border="1"> <tr><td>トレンチ3</td><td>-1</td><td>VJ-46</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VJ-46・VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VM-46・VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VL-47・VM-47</td></tr> </table>	トレンチ3	-1	VJ-46		-2	VJ-46・VM-46		-3	VM-46・VM-47		-4			-5	VM-47		-6			-7			-8			-9	VL-47		-10			-11	VL-47・VM-47	<table border="1"> <tr><td>トレンチ4</td><td>VM-47</td></tr> </table>	トレンチ4	VM-47	<table border="1"> <tr><td>トレンチ5</td><td>VM-47</td></tr> </table>	トレンチ5	VM-47	<table border="1"> <tr><td>トレンチ8</td><td>VM-47</td></tr> </table>	トレンチ8	VM-47								
ベルト2	-1																																																																																																																					
	-2	VM-46																																																																																																																				
	-3																																																																																																																					
	-4																																																																																																																					
	-5	VM-46・VL-46																																																																																																																				
	-6	VL-46																																																																																																																				
	-7																																																																																																																					
	-8	VL-47																																																																																																																				
	-9																																																																																																																					
	-10	VM-47																																																																																																																				
	-11																																																																																																																					
トレンチ2	-1	VM-46・VJ-46																																																																																																																				
	-2																																																																																																																					
	-3	VM-46																																																																																																																				
	-4																																																																																																																					
	-5	VM-46・VM-47																																																																																																																				
	-6	VL-46・VL-47・VM-47																																																																																																																				
	-7																																																																																																																					
	-8																																																																																																																					
	-9	VL-47																																																																																																																				
	-10																																																																																																																					
	-11	VM-47																																																																																																																				
トレンチ3	-1	VJ-46																																																																																																																				
	-2	VJ-46・VM-46																																																																																																																				
	-3	VM-46・VM-47																																																																																																																				
	-4																																																																																																																					
	-5	VM-47																																																																																																																				
	-6																																																																																																																					
	-7																																																																																																																					
	-8																																																																																																																					
	-9	VL-47																																																																																																																				
	-10																																																																																																																					
	-11	VL-47・VM-47																																																																																																																				
トレンチ4	VM-47																																																																																																																					
トレンチ5	VM-47																																																																																																																					
トレンチ8	VM-47																																																																																																																					
ベルト3	トレンチ3	トレンチ4	トレンチ9	トレンチ10	トレンチ11																																																																																																																	
<table border="1"> <tr><td>ベルト3</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VJ-47</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-47・VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> </table>	ベルト3	-1			-2	VJ-47		-3			-4	VM-47		-5			-6	VM-47・VM-48		-7	VM-48		-8		<table border="1"> <tr><td>トレンチ3</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VJ-47</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td>VJ-47・VJ-48・VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VM-48・VL-48</td></tr> </table>	トレンチ3	-1			-2	VJ-47		-3			-4	VJ-47・VJ-48・VM-48		-5			-6	VM-48		-7			-8			-9	VM-48・VL-48	<table border="1"> <tr><td>トレンチ4</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VM-48・VL-48</td></tr> </table>	トレンチ4	-1			-2			-3			-4	VM-48		-5			-6			-7			-8			-9	VM-48・VL-48	<table border="1"> <tr><td>トレンチ9</td><td>-1</td><td>VL-44・VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VL-45・VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VM-45</td></tr> </table>	トレンチ9	-1	VL-44・VL-45		-2			-3	VL-45・VM-45		-4			-5			-6	VM-45		-7			-8			-9	VM-45	<table border="1"> <tr><td>トレンチ10</td><td>VM-44</td></tr> <tr><td></td><td>トレンチ</td><td>VL-45</td></tr> </table>	トレンチ10	VM-44		トレンチ	VL-45	<table border="1"> <tr><td>トレンチ11</td><td>VL-47</td></tr> </table>	トレンチ11	VL-47	
ベルト3	-1																																																																																																																					
	-2	VJ-47																																																																																																																				
	-3																																																																																																																					
	-4	VM-47																																																																																																																				
	-5																																																																																																																					
	-6	VM-47・VM-48																																																																																																																				
	-7	VM-48																																																																																																																				
	-8																																																																																																																					
トレンチ3	-1																																																																																																																					
	-2	VJ-47																																																																																																																				
	-3																																																																																																																					
	-4	VJ-47・VJ-48・VM-48																																																																																																																				
	-5																																																																																																																					
	-6	VM-48																																																																																																																				
	-7																																																																																																																					
	-8																																																																																																																					
	-9	VM-48・VL-48																																																																																																																				
トレンチ4	-1																																																																																																																					
	-2																																																																																																																					
	-3																																																																																																																					
	-4	VM-48																																																																																																																				
	-5																																																																																																																					
	-6																																																																																																																					
	-7																																																																																																																					
	-8																																																																																																																					
	-9	VM-48・VL-48																																																																																																																				
トレンチ9	-1	VL-44・VL-45																																																																																																																				
	-2																																																																																																																					
	-3	VL-45・VM-45																																																																																																																				
	-4																																																																																																																					
	-5																																																																																																																					
	-6	VM-45																																																																																																																				
	-7																																																																																																																					
	-8																																																																																																																					
	-9	VM-45																																																																																																																				
トレンチ10	VM-44																																																																																																																					
	トレンチ	VL-45																																																																																																																				
トレンチ11	VL-47																																																																																																																					

【各トレンチの掘り下げ】土層の堆積状況や地山面までの深さ等を早期に把握する一斉掘り下げの方式は採らず、各層の特徴と遺物の出土傾向を詳細に確認しながら、層位毎に慎重に掘り下げ、細かな作業を必要とする層と、簡略に掘り進めることが可能な層との見極めを行った。掘り下げ途中における遺構の有無確認は、恒常的な基本作業とした。

【トレンチ～ベルト間の掘り下げ】同一土層の面的な広がりや常に観察しながら掘り下げた。ここにおいても掘り下げ途中における遺構の有無確認は、恒常的な基本作業とした。各層には、多くの遺物が含まれていたことから、基本的には移植ペラとねじり鎌を用いて掘削したが、トレンチ調査で把握された、簡略に掘り進めることが可能な層については、部分的にジョレンを用い、作業の省力化をはかった。

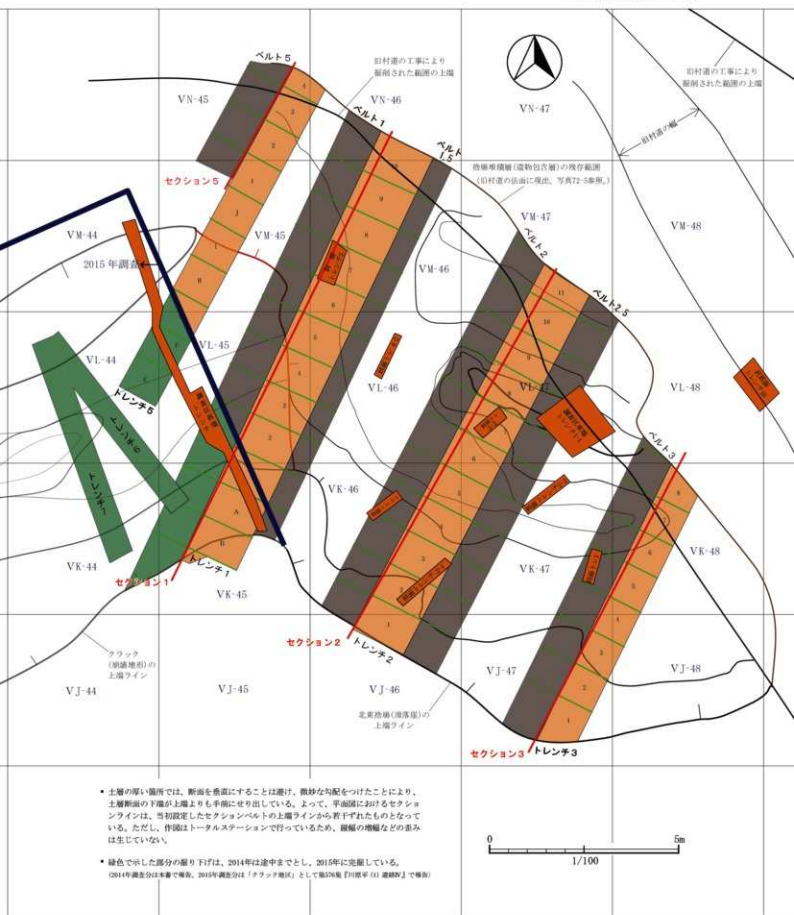


図 56 北東捨場地区 グリッド・トレンチ・ベルトの位置 (1 : 100)

【土層番号】大型トレンチの土層名は、トレンチ1にTR1系統、トレンチ2にTR2系統のように、トレンチごとにつけた。これらの頭番号に、枝番号として小文字アルファベット系（a～），数字系（1～），カタカナ系（ア～）を加え、「TR1-a」、「TR2-1」、「TR3-ア」のように表記した。これは、近距離であっても、日照の状況や土層断面の乾湿の状態などにより、同一層の認定は決して容易ではなかったため、層番号を意図的に増やしたものである。

各トレンチとも10m前後の長さをもつため、南西側（上方：左側）から付けた層番と北東側（下方：右側）から付けた層番とがあり、同一層に対して2つの層番が付されているものがわずかにある（TR1-4=TR1-e、TR2-2=TR2-エなど）。ただし、特徴的な土層で、ある程度広い範囲で同一と認定できる層については、トレンチ2でありながら、「TR3-e」を付けるなど、一部はトレンチ間で共有する層番号もある。なお、TR2-γ層は、図57以降の土層断面図に表記されていないが、これはTR2-b層とTR3-a層の中間的な層である。

北東捨場の調査で用いた層番号

	TR1系	TR2系	TR3系	TR5系	TR6系
横断面	TR1-1 TR1-2 TR1-3 TR1-4 TR1-4.6 TR1-5 TR1-6 TR1-7 TR1-8	TR2-1 TR2-2 TR2-3 TR2-4		TR5-1 TR5-2 TR5-3	TR6-1 TR6-2 TR6-3 クラック （地穴と 連続）
小文字 アルファ ベット系	TR1-a TR1-b TR1-c TR1-d TR1-e	TR2-a TR2-b TR2-c TR2-x TR2-y TR2-z	TR3-a (6); TR3-a1) TR3-a 2 TR3-b TR3-c TR3-d TR3-d (6); TR3-d1) TR3-d 2 TR3-e TR3-f TR3-g TR3-z		
カタ カナ系		TR2-ア TR2-イ TR2-ウ	TR3-ア TR3-イ		

※トレンチ4はTR1-2、トレンチ7はTR2-3が存在するが、TR7系の層番号の認定に使用

【土器集中域（ブロック）の認定】土器の集中域が検出された場合、これを「ブロック」と称し、ブロック単位での遺物取り上げを行った。良好な復元個体になり得ると思われる2個体以上が近接（上面からの目視で2点間距離が60cm前後）して出土し、同時廃棄されているように見えるものを認定対象としている。

ブロックの土器として認定した個体土器（良好な復元個体になり得ると思われる個体）については、主要な破片をドットマップ化し、ブロックの範囲の輪郭については、ラインとして作図した。北東捨場のブロック番号は4000番台を用いたが、調査の初期段階では、遺跡全体で用いたブロック番号（ブロック15、16）を使用している。

【遺物の図化】ブロック出土遺物や重要遺物、特殊遺物については、写真撮影の後、遺物番号（P-4001～、S-4001～、特4001～）を付して図化した（北東捨場の遺物番号は4000番台と5000番台）。図化は、基本的にはドット、状況によって微細図とした。全面的に出土する土器破片や不定形な剥片類は、一括番号（P-X、S-X）を付し、写真撮影や図化は行わなかった。

【遺物の取り上げ】ブロック出土遺物や重要遺物、特殊遺物については、遺物番号毎にビニール袋に入れ、カードを付して取り上げた。ただし、ブロックの範囲に含まれる、小型の土器片類は、取りよりその場に存在していたものが含まれていると考えられることから、これらについてはブロックのP-Xとして取りあげた。石器などの小型の遺物はチャック付き袋に入れた。写真撮影や図化を行わずに一括番号（P-X、S-X）を付した土器破片や不定形な剥片類は、グリッドと層番号でまとめ、カードを付して一袋にまとめた。なお、本捨場の北東側にある「大正時代に開削された道路」は、調査段階では「沢」と呼称し、遺物の取り上げも「沢」で取り上げている。

【排土置き場】（小型トレンチによる調査により、排土置き場が相当に不足することが分かったことから、）荒地状態にあった「大正時代に開削された道路」を精査し、法面に現れた捨場堆積層（遺物包含層：写真72-5）の断面図化を行い、予想排土量を概算し、「大正時代に開削された道路」部分を排土置き場として利用した。（結果的に、排土はほぼ計算通りに収まり、調査の初期段階で心配された危険な状態もこの排土によって日々改善された。）

【安全対策】捨場堆積層（遺物包含層）と「大正時代に開削された道路」との境は、落差4.5m前後（法面長約6m）の崖（写真72-5）であり危険だったため、安全対策として、崖付近を階段状に水平カットし（図57参照）、手すりや歩み板などを設置した（写真73上段参照：設置途中の状況）。また、この部分における過乾燥と過湿の反復による捨場堆積層（遺物包含層）の劣化・崩壊を防ぐため、シートによる法面保護を施した。トレンチ3の土層断面は相当な深さになることが精査の途中で分かったため、地表面から下方へ約1mまでの土層断面を図化・記録し、その深さまで掘り下げてから残り底面までを掘り下げた（写真80～81上段参照）。

（木村）

## 第2節 捨場堆積層<sup>1)</sup>(遺物包含層) (図57～60・写真71～82)

以下ではトレンチ1～3の土層断面をセクション1～3と読み替えて記述する。土層番号の付け方については、本章第1節(左ページ)を参照。

**【遺存状況】**多量の遺物が出土した本捨場は、遺存状況という面で見ると、それほど良好なものではない。前述のように、大正時代における道路構築のために大幅に開削されており、捨場堆積層(遺物包含層)の北東側は大規模に失われている。また、本捨場の確認面は極めて平坦であるが、これは、この地区が水田造成に伴う削平を受けているためである。よって、本捨場の確認面における、弧状を呈す落ち込みのラインは、本来の捨場の最上端(滑落崖の上端)から数十cm(20～30cm)か)下位に相当しているものと考えられる。

**【微地形】**滑落崖の一部利用によって形成された本捨場は、残存範囲で見れば、南北(北西-南東)約20m、東西(南西-北東)約12m(北東捨場延長地区までを含めると約33m)、確認面から底面までの深さは約3mを測る。また、本捨場から北東捨場延長地区までの傾斜(完掘状態)を巨視的に見れば、まさに「緩傾斜」と言うべき状況ではあるが、後期後葉や晩期前葉頃の、土壌の堆積が少ない時期を想定して、微視的に地点間を比較すると、トレンチ1などは緩い傾斜であるが、トレンチ2や3は、かなり“きつい傾斜”となっている。傾斜がきついか緩いかという漠然とした区分は、あくまでも傾斜に対する人間の身体的な限界(寒に降りられるか、登れるか)に基づく感覚的表現ではあるが、傾斜の角度は、遺物の廃棄方法(姿勢、体勢、構え)に大きく関与し、また、廃棄された土壌や礫、遺物の自然移動の度合いにも深く関連するものと考えられる<sup>2)</sup>。このようなことを踏まえて、以下に捨場堆積層(遺物包含層)について述べていく。

**【色調】**色調については、日照量の少ない日や曇天下で慎重に観察した。巨視的には、セクション1～3の間に、露だった色調差は認められず、全般に黒褐色系の土壌を主体とするが、微視的にみると、セクション1は、黒褐色土が主体を占め、セクション2は、暗褐色土が主体、セクション3は、黒褐色土～暗褐色土が主体を占めつつも、褐色土(TR3-a=TR3-ア)が特徴的に堆積するというように、地点毎の色調には特性が認められる。つまり、同一時期の土層であっても、広範囲に同系色の土層が堆積することはないことが分かる。これは、初回の廃棄土壌(A)が、次回の廃棄土壌(B)と混和して(C)が形成され、3回目の廃棄土壌は、(A)～(C)の土壌の上に新たな廃棄土壌を重ね、混和した分は(D)となる、といったサイクルにより、地点毎に色調差が生じたのではないかと考えられる<sup>3)</sup>。

**【土層ライン】**セクション1, 2, 3を比較すると、セクション1はやや複雑なラインを呈しているが、セクション2、セクション3と、南東側に近づくほど、土層ラインは単調なものとなっている。これは、トレンチ2, 3のあたりにおいては、時間経過に伴って、安定的な堆積が進行していった状況とみられ、一方でセクション1のTR1-d、TR1-2=TR1-cの下端ラインをみると、それまでの堆積土が流れたか、あるいは土壌堆積のパターンが変化したのか、いずれにしても何らかの変化があったことを推測させる(地山の傾斜方向と、断面ラインが斜めに交差している状況も関係している可能性がある)。

また、セクション1のTR1-5層は、途中で土層が途切れている(図中の矢印)が、これは多量の礫の集積により、その下方には同層が広がらなかった状況を示す(写真75:土層断面⑤左側)。人間活動が土壌の自然な堆積を常に変えていることをよく示している。そのような意味で、セクション2, 3は、人間活動に伴う廃棄土壌であっても、きわめて自然に層序が形成されていった状況とみることができそうである。

**【遺物の包含状況】**全ての層に遺物は包含されているが、層ごとに多寡が認められる。極端な2例を示すと、土量に対する遺物量が明らかに多い層として、TR1-4層が挙げられる(晩期3期～4期を多

量に包含)。逆に、明らかに少ない層としては、TR3-アが挙げられ、この層からは、ごく希に小破片が出土するに過ぎない。このように、土器類が多量に廃棄された層、土壌が多量に廃棄された層とがある。

**【礫の包含状況】**各土層は全体的に礫を多く含んでいる。興味深いのは、先に述べたTR1-4層（土器類が明らかに多い）や、TR3-ア層（土器類が明らかに少ない）などにみられる礫の多さである。つまり、土器の包含が極端に多い場合と、極端に少ない場合に限って、礫の包含率が高い傾向がある。土器が多ければ礫も多く、土壌が多い場合も礫が多い。このことは、TR1-4層にみられる状況は、ある段階において、遺物の廃棄と礫の廃棄は同じ場所が選ばれていた可能性、そして、TR3-ア層にみられる状況は、多量の土壌の廃棄とともに、地山<sup>4)</sup>に含まれていた礫も自然に混じった、このような状況があったことを推測させる。TR3-ア層は、本捨場では希と言うべき褐色を呈す土壌であることも考え合わせると、この層は、堅穴建物の構築などに伴う、一括性の高い掘削土であると推定される。

**【各層の特徴（「層」の表記を省略）】セクション1** TR1-bは、赤茶色がかかり、植物などの影響を受けている可能性がある。TR1-cは、礫と土器が多い。TR1-eは、TR1-4を途切れさせる層だが、これは何か有機質の痕跡であろうか。TR1-4は、暗褐色土で、明らかに周囲の層よりも明るい。礫も土器も多量に出土した。TR1-4.5も上層と同様、周囲より明るい暗褐色土。TR1-5は、礫100%の箇所により、土層ラインが途切れる（図中矢印部分）。TR1-6は、明るい暗褐色土で、焼土粒を多く含み、特徴的である。

**セクション2** TR3-Zは、特徴的な粘土質土。TR3-bは、炭化物層で、ほぼ純礫の箇所もある。炭化材が主で、茅状のものも微量に混じる。消失家屋等の廃棄部材の可能性もある。遺物は微量であるが大洞A式を含む。TR2-1、TR2-b、TR2-Z、TR2-ア、TR2-イ、TR2-ウは大洞C1式を包含し、TR2-bは多量の大洞C1式を含み、TR2-Zには礫が多い。TR2-X（TR2-イ）はしまり無く、ボソボソしている。TR2-2、TR2-エ、TR3-d2は、大洞B式を包含し、TR2-エは、礫多く、TR3-d2は、焼土粒やローム粒により赤みがかって見える。TR3-eは、礫多く、TR3-fは、混入物僅少で、地山と3-gとの混合土を主体に褐色を呈す。これらTR2-3、TR3-e、TR3-fは、後期後葉～後期末を包含する。TR2-4には、中期の土器がわずかに含まれている。なお、セクション2は、下方の下層において、TR3系の土層（TR3-Z、TR3-b、TR3-d2、TR3-e、TR3-f）が分布する。

**セクション3** TR3-cは、一括廃棄の可能性のある地山起源土壌と推定され、礫が多く、遺物は少ないが、ごく希に大洞C2式の略完形が出土する。TR3-アは、粘性の強い粘土質土で、礫多く、大洞C1式をわずかに包含し、特徴的な褐色を呈す。これも上層と同じく、一括廃棄の可能性のある地山起源土壌と推定される。TR3-イも粘性の強い粘土質土で、大洞C1式を包含する。TR3-d、TR3-d2は、ともにシルト質で、焼土粒やローム粒により赤みがかかり、大洞B式を含む。TR3-eは、シルト質であるがややしまりに欠け、柔らかい。TR3-fは褐色を呈す。これらTR3-eとTR3-fの境に後期後葉～後期末が出土する。TR3-gには中期が微量に含まれる。

**【クラック地区との関係】**P92の註2において、本捨場の西側に隣接する「クラック地区」について触れたが、クラック地区Aベルトの土層断面（『川原平(1)遺跡IV 図171』）における堆積土と同一と考えられる層がいくつか認められる。同一ラインで連続した土層ではなく、互いに土壌のカット方向が異なることから、完全な同一層とは言えない面もあるが、右に推定される土層の対応関係を記しておく。

北東捨場	クラックAベルト
TR6-1、TR6-2層	1b層
TR1-5層	3a、3b層
TR1-6層	5a層
TR1-7層	8a、8b、8c層

(木村)

## 註

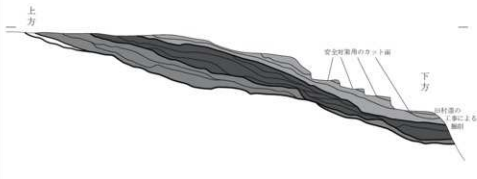
- 1) トレンチ5の土層断面（セクション5）については、包含層の形成が他の地点に比べて十分ではない（地山の傾斜がきつこと）から、常に土壌が流出していた可能性がある）範囲の図示である上、TR1-a、TR1-bと時間的に並行すると思われる薄い層が3層ほど堆積するにすぎないことから、ここではトレンチ1～3（セクション1～3）を主体に述べる。

捨場堆積層(遺物包含層)の分層線は、多孔質な土壌と多量の糞のために、思い通りに引くことは困難であった。線は釘を使っても引いたが、軟質な部分に釘先が引き込まれることが多く、一度引いた線を消そうとしても、断面は決れるばかりで、線の修正は極めて難しかった。よって、図示した土層ラインと、写真中のラインとは、若干の誤りが生じているが、あくまでも線画で図示したラインが正式なものである。

- 遺物観察表には、TR2-γ層などの、トレンチ1～5のいずれにも登場しない土層が記されているが、この層などは、トレンチ2と3の間の層で、セクション1～3のライン上には存在しなかった層である。(TR2-γ層は、TR2-β層とTR3-α層の中間的な層)
- 2) 土層の堆積が進行することによって、本捨場は徐々に平坦化していったものと考えられる。ある程度の土層堆積が進んだ晩期中葉頃においては、トレンチ3のセクションポイントA付近から下方に降りていく行為は可能だったと推定される。
  - 3) 廃棄された土壌内の混入物や、廃棄された有機物の腐食過程、そこに繁茂した植物の種類、土中生物の活動や化学変化など、多様な原因が考えられる。
  - 4) 図中における「漸移層」と「IV層」は、既報告の内容と同様である。即ち、漸移層は「遺物を含まない明褐色～黒褐色土」、IV層は、既報告の「IV層」・「地山」に相当し、「磯やローム、両者の混合層など地点によって多様」な状態を呈す土壌である。

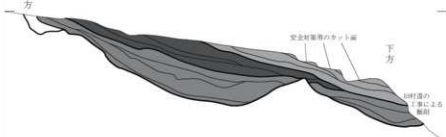
## トレンチ1(セクション1:TR1系のみ表記 図58参照)

上方層名⇄下方層名	土層の形成時期
TR1-a	晩期 4期～5期
TR1-1=TR1-b	
TR1-2=TR1-c	
TR1-d	晩期 3期～4期
TR1-3	
TR1-4=TR1-e TR1-d,5	
TR1-5	晩期2期(後半) 後期7-4期 ～晩期1b期
TR1-6	
TR1-7	
TR1-8	



## トレンチ2(セクション2:TR2系のみ表記 図59参照)

上方層名⇄下方層名	土層の形成時期
TR2-A	晩期 4期～5期
TR2-X=TR2-イ	
TR2-a=TR2-ウ	
TR2-b	晩期 3期～4期
TR2-Z	
TR2-1	
TR2-2=TR2-エ	晩期2期(後半) 後期7-4期 ～晩期1b期
TR2-3	
TR2-4	



トレンチ2は、下方および下層において、TR3系の土層(TR3-Z, TR3-b, TR3-d2, TR3-e, TR3-f, TR3-g)が堆積する。

## トレンチ3(セクション3:TR3系のみ表記 図60参照)

上方層名⇄下方層名	土層の形成時期
TR3-Z	晩期 4期～5期
TR3-b	
TR3-c	
TR3-a=TR3-A	晩期 3期～4期
TR3-a2=TR3-イ	
TR3-d	
TR3-d2	晩期2期(後半) 後期7-4期 ～晩期1b期
TR3-e	
TR3-f	
TR3-g	捨場としての利用なし

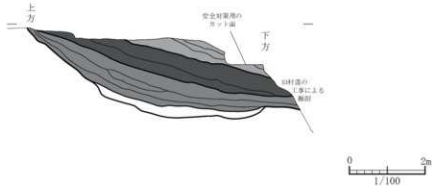
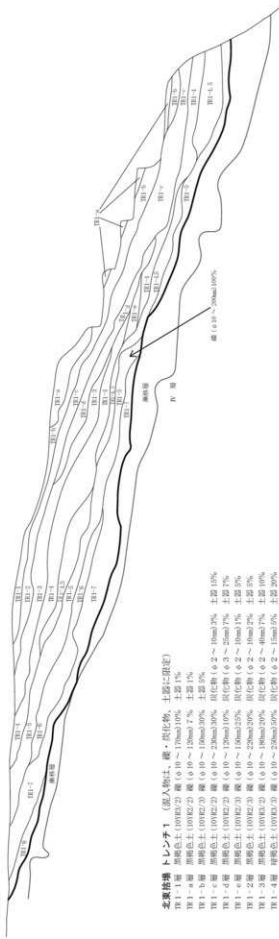


図57 北東捨場地区 トレンチ1～3土層断面図と土層番号・各土層の形成時期

トレンチ1  
(セクション1)

(横尺)  
0 200.0m

(縦尺)  
0 1.0m



北東捨場 トレンチ1 (記入物は、腐・炭化物、土器に限定)

TH1-1 腐	厚 (0.10 ~ 10mm) 10%	土器に限定	土器 1%
TH1-a 腐	厚 (0.10 ~ 120mm) 7%	土器 1%	土器 1%
TH1-b 腐	厚 (0.10 ~ 100mm) 3%	土器 1%	土器 1%
TH1-c 腐	厚 (0.10 ~ 230mm) 30%	炭化物 (0.2 ~ 10mm) 3%	土器 10%
TH1-d 腐	厚 (0.10 ~ 120mm) 10%	炭化物 (0.2 ~ 25mm) 7%	土器 1%
TH1-e 腐	厚 (0.10 ~ 100mm) 25%	炭化物 (0.2 ~ 10mm) 1%	土器 1%
TH1-f 腐	厚 (0.10 ~ 250mm) 20%	炭化物 (0.2 ~ 10mm) 2%	土器 1%
TH1-g 腐	厚 (0.10 ~ 190mm) 17%	炭化物 (0.2 ~ 40mm) 1%	土器 10%
TH1-h 腐	厚 (0.10 ~ 290mm) 30%	炭化物 (0.2 ~ 15mm) 5%	土器 20%
TH1-i 腐	厚 (0.10 ~ 200mm) 20%	炭化物 (0.2 ~ 30mm) 10%	土器 10%
TH1-j 腐	厚 (0.10 ~ 200mm) 20%	炭化物 (0.10 ~ 60mm) 7%	土器 10%
TH1-k 腐	厚 (0.10 ~ 120mm) 11%	炭化物 (0.1 ~ 20mm) 2%	土器 7%
TH1-l 腐	厚 (0.10 ~ 100mm) 8%	炭化物 (0.1 ~ 30mm) 2%	土器 3%

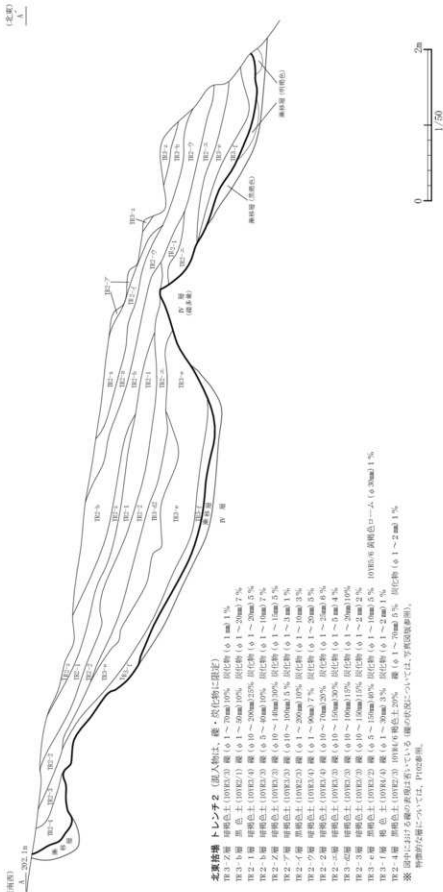
※ 図中に付した層の厚さは示している(層の状況については、写真調査参照)。  
横軸の分層については、P105参照。



図 58 北東捨場地区 トレンチ1 土層断面図



トレンチ2  
(セクション2)



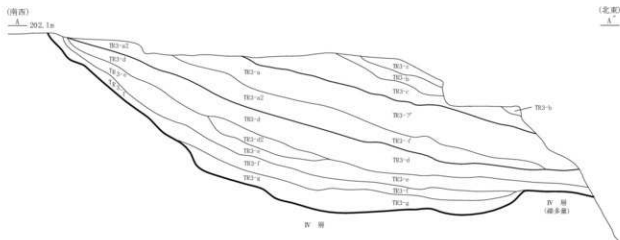
土壌分析 トレンチ2 (土壌分析は、酸・炭化物に限定)

- TR3-2層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.1 ~ 70mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 100mg/1%)
- TR3-b層 黒色土 (00RE2.1) 炭 (0.1 ~ 50mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/7%)
- TR2-1層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.10 ~ 200mg/25%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/5%)
- TR2-b層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.3 ~ 60mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 10mg/7%)
- TR2-Z層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.10 ~ 100mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 10mg/3%)
- TR2-F層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.10 ~ 100mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 10mg/3%)
- TR2-I層 暗褐色土 (00RE2.0) 炭 (0.1 ~ 200mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/3%)
- TR2-U層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.1 ~ 90mg/7%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/3%)
- TR2-S層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.10 ~ 70mg/25%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/6%)
- TR3-G層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.10 ~ 100mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/10%)
- TR2-S層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.10 ~ 100mg/10%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/10%)
- TR3-1層 暗褐色土 (00RE3.0) 炭 (0.1 ~ 30mg/3%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/5%)
- TR2-4層 暗褐色土 (00RE2.0) 00RE3.0 暗褐色土 20% 炭 (0.1 ~ 70mg/15%) 炭化層 (0.1 ~ 20mg/1%)

※ 図中における層の名称は示している層の状況については、写真図表参照。  
 土壌分析層については、P105参照。

図 59 北東塔場地区 トレンチ2土層断面図

トレンチ3  
(セクション3)



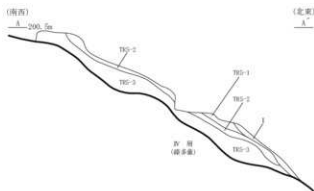
北東捨場 トレンチ3 (混入物は、礫・炭化物に限定)

- TR3-a層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~35mm) 3% 炭化物 (φ1~15mm) 1%
- TR3-b層 暗褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ1~135mm) 20% 炭化物 (φ1~20mm) 5%
- TR3-c層 暗褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ1~145mm) 30% 炭化物 (φ1~17mm) 1%
- TR3-d層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~130mm) 20% 炭化物 (φ1~12mm) 1%
- TR3-a2層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ1~190mm) 10% 炭化物 (φ1~8mm) 1%
- TR3-a層 暗褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ1~190mm) 50% 炭化物 (φ1~20mm) 1%
- TR3-e層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~160mm) 20% 炭化物 (φ1~13mm) 1%
- TR3-d層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ1~360mm) 20% 炭化物 (φ1~10mm) 1%
- TR3-d2層 暗褐色土 (10YR3/4) 礫 (φ1~120mm) 5% 炭化物 (φ1~30mm) 2%
- TR3-e層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~300mm) 10% 炭化物 (φ1~40mm) 3%
- TR3-f層 暗褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ1~70mm) 1% 炭化物 (φ1mm) 1%
- TR3-g層 暗褐色土 (10YR2/2) 礫 (φ10~30mm) 2% 炭化物 (φ1~5mm) 1%

※ 図中における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。

特徴的な層については、P102参照。

トレンチ5  
(セクション5)



北東捨場 トレンチ5

- TR5-1層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ10~100mm) 3%
- TR5-2層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ10~250mm) 5%
- TR5-3層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ10~250mm) 30%

※ 図中における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。



図 60 北東捨場地区 トレンチ3・トレンチ5土層断面図

### 第3節 土器集中域(ブロック)(図61～82・84～94、表2・3、写真84～96・104～131)

発掘調査では、良好な復元個体になり得ると思われる2個体以上が近接(上面からの目視で2点間距離が60cm前後)して出土し、同時廃棄<sup>1)</sup>されているように見えるものを「ブロック」として取り上げた<sup>2)</sup>。開放的な空間への廃棄に見えるものであることから、土坑内の一括資料のような、閉鎖的かつ安定的なまとまりは保証されず、偶然的な近接した出土である可能性<sup>3)</sup>は否定できない。しかしそもそも、同時廃棄であるか否かの判断以前に、近接した出土が偶然であるかどうかさえも、厳密には判断できない。このようなことから、同一層の中で平面的に近接して出土した状況を「ブロック」として機械的に捉え、事例数を増やすことにより、本捨場における廃棄行為の特質やある段階における土器の同時存在を推定する一助とした。勿論、ある瞬間における同時廃棄(一括廃棄)、短期間内における追加廃棄(下記)という「まとまり」を示しているものは、決して少なくないと考えている。

**【ブロックの重複】** 垂直方向での重複関係は当然あるものとしてここでは触れないが、平面的にもあったことはほぼ確実と言える。それは、地表面に露出している、過去に廃棄されていた個体A・Bの近くに、個体C・Dを廃棄し、そしてまた時間が経った後に、個体A～Dの付近に個体Eを廃棄するといった状況は十分に想定できるからである。以下に述べるブロックの中にも、新旧関係にある2単位のブロックが、1単位として取り上げられているものが含まれているものと思われるが、このような、取り上げ時における把握の不確かさが原因で、既存の編年観と一致しない状態を含んでいる可能性はある。しかし一方で、既存の編年観の再検討も行われる必要がある。

**【ブロックの認定数と報告数】** 発掘調査では、83単位のブロックを認定した。うち、8単位の大型ブロック(4024, 4031, 4032, 4043, 4052, 4053, 4054, 4062)については、範囲内を分割(細分)することにより、枝番号を付けたブロックが17単位生じた。この17単位のブロックを単独のものとして捉えれば、全体で100単位のブロックを調査中に認定したことになる。しかし、接合作業の結果、2個体ととらえていたものが1個体にまとまった等の例があり、ブロックとして認定すべきではないものも生じた。図示および写真報告に耐えうる良好な2個体以上が組み合わせられたブロックは最終的に45単位となった。以下、これら45単位のブロックについて述べる<sup>4)</sup>。

**【各ブロックの主体的な時期と多寡】** **【後期後葉～晩期前葉】** ブロック4055, 4069, 4081, 4082, 4084の5単位が認定された。**【晩期1a期(大洞B1式期)】** ブロック4074の1単位のみの認定となったが、該期は、前段階(後期後葉～晩期前葉)の時間幅にも含まれていることから、晩期1a期が極端に少ない訳ではない。**【晩期1b期(大洞B2式期)】** ブロック4031-1, 4033, 4051, 4053-2, 4057, 4058, 4061, 4072, 4075, 4080, 4083の11単位が認定され、割合に活発な廃棄活動のあったことがうかがわれる。**【晩期2期(大洞BC式期)】** ブロック4013の1単位のみの認定となった。ブロック以外の該期の遺物も、他の時期に比べると極端に少なく、他の捨場との比較が必要である。**【晩期3期(大洞C1式期)】** ブロック15, 4004, 4005, 4024-1, 4025, 4030, 4032-1, 4032-3, 4032-5, 4036, 4037, 4038, 4053-1, 4066の14単位が認定された。この時期に属すブロックが最多で、活発な廃棄活動期、あるいはこの時期の絶対年代幅が他の時期よりも長い等、様々な要因が推察される。**【晩期4期(大洞2式期)】** ブロック4011, 4019, 4032-6, 4043下層A, 4043下層B, 4045, 4052-1, 4052-4の8単位が認定された。**【晩期5期(大洞A式期)】** ブロック16, 4044の2単位が認定された。この時期の土層は、削平を受けているため、ブ

ロック数の少なさは、集落の縮小云々の議論と安易に直結させることはできない。**晩期2期～4期・晩期中葉～後葉** これらのほか、晩期2期～4期と幅広く捉えたブロック4024-2、4062-2、同じく幅広く捉えた晩期中葉～後葉のブロック4010がある。

**【時期毎の分布傾向 (図61-2)】** 時期毎の分布状況について概略を記す。**後期後葉～晩期前葉** V K-47・48グリッドのTR3-e層が中心的である。**晩期1a期(大洞B1式期)** 1単位のみであるが、VL-46グリッドのTR2-2層において認定された。**晩期1b期(大洞B2式期)** VL-45・46グリッドのTR1-5層が中心的である。**晩期2期(大洞B3式期)** 1単位のみであるが、VL-45グリッドのTR1-5層において認定された。**晩期3期(大洞C1式期)** VL-46、VM-46グリッドのTR1-4層が中心的である。**晩期4期(大洞C2式期)** VK-47グリッドのTR2-b層、VM-46グリッドのTR1-4層が中心的である。**晩期5期(大洞A1式期)** ブロック2単位のみであるが、VM-46グリッドのTR1-c層とVM-47グリッドのTR3-b層に認定された。

以上の分布傾向をまとめると、概ね後期後葉は本捨場の南東域、トレンチ3の中心あたりが廃棄の中心地、そして晩期前葉は北西に移動し、トレンチ1の上方から中心あたりが廃棄の中心地、晩期中葉はそこからごくわずかに北東に移動し、トレンチ1の中心から北東域が廃棄の中心地、そして晩期後葉は、トレンチ1と2の間の北東域に廃棄、というように、廃棄場所が移り変わる経過と経路が分かる。即ち、南東→北西(「クラック地区」方向へ)→北東(「北東捨場延長地区」へ)という動きが浮かび上がる。「北東捨場延長地区」方向への移動の背景には、廃棄土壌の堆積が進んだことによる、可動範囲の拡大があると考えられるとともに、「川原平(4)遺跡B区北西端」との連絡の活発化もあると考えられる。

**【重視されるブロック】** 図80に示した4081、4082、4083、4084の各ブロックは、TR3-e層～TR3-f層において認識されたものである。これらは層位的に大きな上下差をもって出土したものではなく、型式的にも後期後葉～晩期前葉と幅広く捉えておくのが現時点では最良と思われるが、ブロック間で新古を推定する試みはなされても良い資料群と思われる。ブロック4084(写真96左下)は、上方から転がってきた礫と、放り投げられた(?)土器と炭化材の組み合わせとみられる。小溝状の凹みに多くの遺物が集まっており、自然作用の関与がうかがわれるブロックである。図72のブロック4053-2は、晩期1b期の注口3個体と台付鉢、壺、深鉢などで構成され、多くの器種がまとまっており、組成を考える際の良いセットになるものと考えられるが、注口がまとまって3点出土している状況は、器種組成比としては違和感のあるもの、即ち、何か儀礼的な活動に伴ったものかと推定される。一方、図70に示したブロック4062-2は、半精製と粗製の土器がまとまって出土しており、精製土器の伴出が無いために、晩期2期～4期と幅広い時間幅で把握せざるを得ないが、逆にこのブロックこそ、短寿命の煮沸系日常品で構成されたものであることからすれば、むしろ時間幅を狭めて捉えてみることも必要かと思われる。このような意味で、精製土器と粗製土器の両方が出土している他のブロックなどは、粗製土器の編年を整備していく上で、今後重要度が高まるものと考えられる。

(木村)

#### 註

- 1)「廃棄」ではなく「送り」である云々の議論は常に重要であるが、当時の社会における観念についてまで考察することはできないことから、ここで用いる「廃棄」という用語は、「送り」的な観念を含めた幅広い概念として用いるものとする。
- 2) ブロックとして取り上げた遺物の中には、石器・その他もあるが、これらについては、土器とは別に報告している。
- 3) ブロックは、次世代に覆乱(壊られたり、退かされたり)されたり、あるいは自然現象で風化が進んだり、様々な環境にき

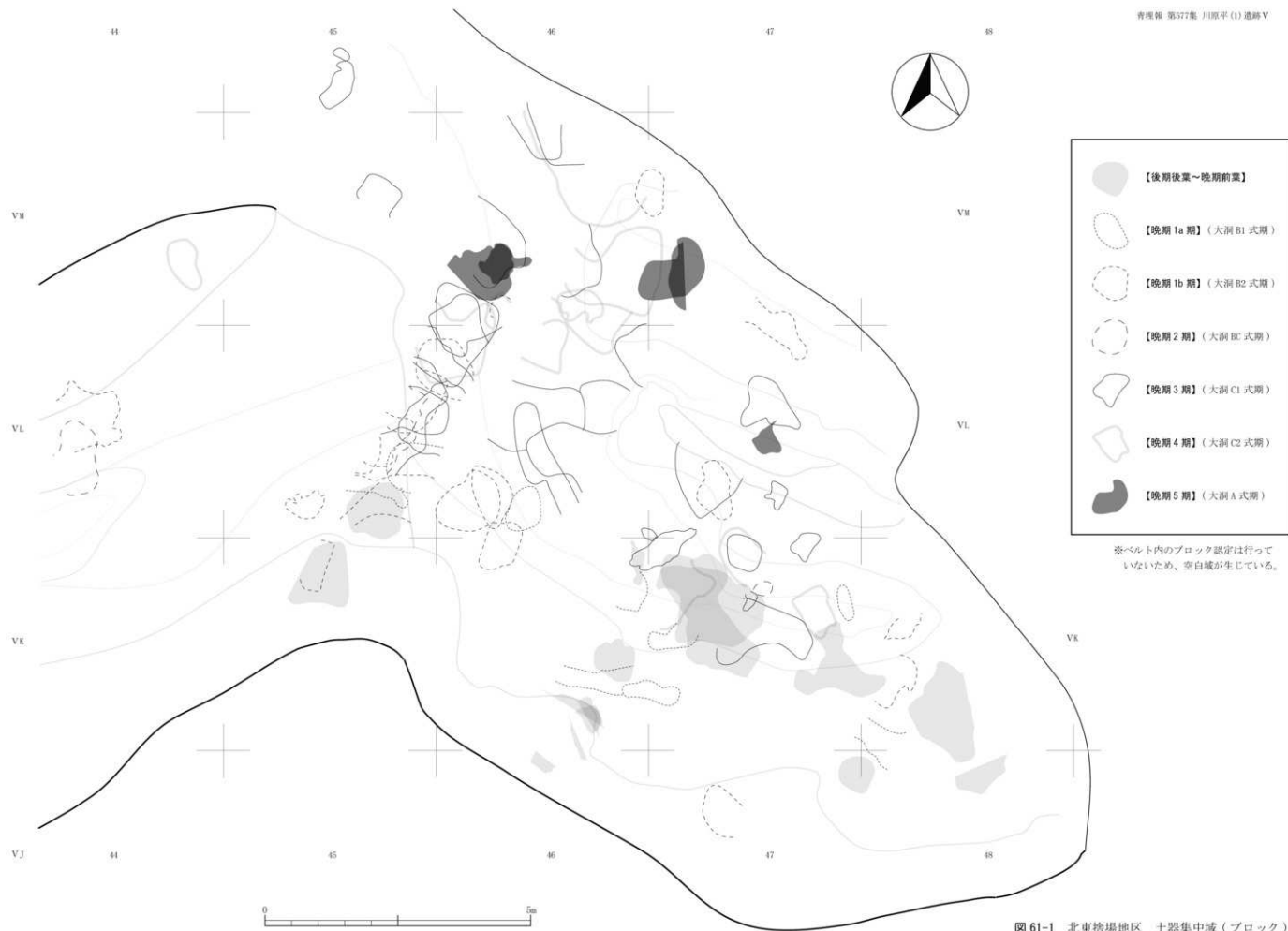


図 61-1 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)配置図

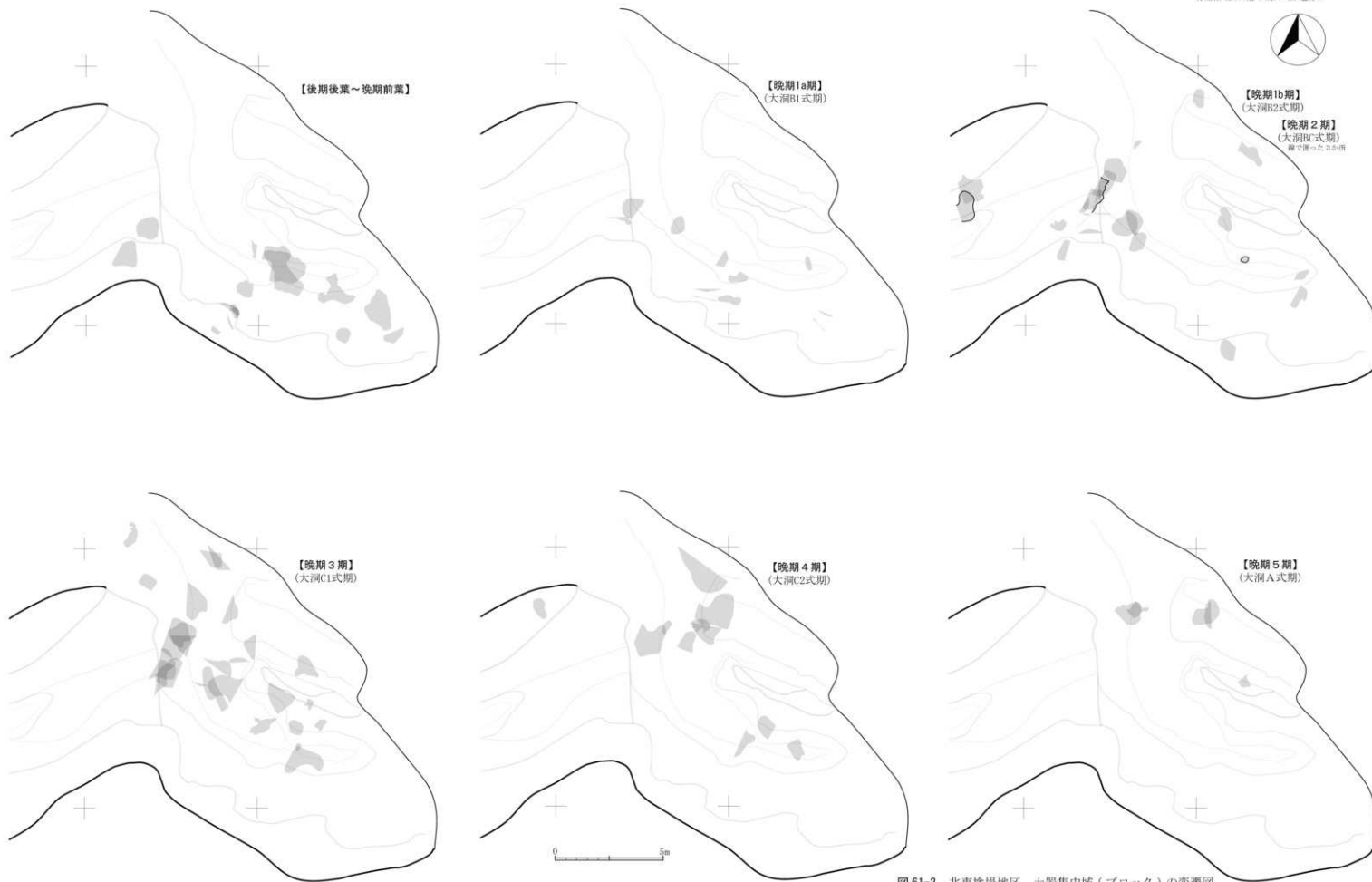


図 61-2 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)の変遷図

らされ続け、後の土壌にバックされるまでの間に移動した可能性は当然想定される。また、植物の根、特に樹木類の根の成長による移動や根腐れ根への落下なども考慮すれば、新しい物が下へ移動する可能性も十分考えられる。

4) 各ブロックの平面図は、紙数の都合上、同一層位ごとではなく、複数のブロックが検出された地点毎に掲載している。

情報の整理後に、いくつかのブロックについては、取り上げ層番号の認識ではないかと思われるものが含まれていることが判明したが、層番号の変更などはあえて一切行っていない。矛盾する状況があれば、それは取り上げ時における認識そのもの、また逆に、型式学と層位学との致間存在する不整合である可能性もあり得る。

ブロック範囲内に存在したP-X番号の土器片等との今後の検討等に混乱無く対応できるように、ブロック番号の抹消や変更はあえて行っていない。

ブロック間で接合したものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東捨場地区 ブロック観察表(1)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その他出土土器整理No.(※3※4)	主体となる遺物の時期	挿入番号
ブロック15	VL-45	TR1-4	4038, 4039, 4041, 4044, 4045, 4046, 4054, 土4053	4040, 4042, 4043, 4053, 4104, 4106, 4107, 4108, 4109, 5145	晩期3	図65
ブロック16	VM-46	TR1-c	4051, 4052	4047, 4048, 4049, 4050, 4105, 4112	晩期5	図63
ブロック4001	VJ-46・VK-46	TR2-2	5156	4055, 4056, 4057, 5123	後期後葉～晩期	図76
ブロック4002	VM-46	TR1-c	4063	4058, 4059, 4060, 4061, 4062, 4113	晩期5	図63
ブロック4003	VL-47	TR2-ウ	4064		晩期後葉	図75
ブロック4004	VL-47	TR2-ウ	4066, 4068, 4070, 4079, 5290	4065, 4067, 4069, 4111	晩期3	図75
ブロック4005	VK-46・47	TR2-b	4078, 4080	4076, 4077, 4119, 4120	晩期3	図77
ブロック4006	VK-46	TR2-2		4071, 4072, 4073, 4074, 4075, 4115, 4116, 4117, 4118	後期後葉～晩期 前葉	図76
ブロック4007	VN-45	TR1-a～TR1-b	4082	4081	晩期3	図62
ブロック4008	VM-45	TR1-a～TR1-b		4083, 4084, 4085	晩期3	図62
ブロック4009	VL-45・46	TR1-4～TR1-5		4012, 4086, 4087, 4088, 4089, 4090, 4091, 4092, 4093, 4121, 4122, 4123, 4124	晩期3	図69
ブロック4010	VL-47・VK-47	TR2-b	4094, 4096, 4097	4095	晩期中葉～後葉	図77
ブロック4011	VK-47	TR3-b～TR3-c	4099, 4100, 4101	4098, 4114	晩期4	図79
ブロック4012	VK-47	TR3-c		4102, 4103	晩期3	図79
ブロック4013	VL-45	TR1-5	4126, 4139	4125, 4127, 4128, 4129, 4130, 4131, 4132, 4133, 4134, 4135, 4136, 4137, 4138	晩期2	図71
ブロック4014	VL-45	TR1-5		4148, 4149	晩期1	図71
ブロック4015	VL-47	TR2-ウ	土4058	4141, 4142, 4143, 4144, 4145, 4146, 4147	晩期3	図75
ブロック4016	VL-45	TR1-1		4150, 4151, 4152, 4153, 4154	晩1b	図62
ブロック4017	VK-48	TR3-ア～TR3-イ		4157, 4158, 4159, 4160	後期後葉～晩期	図78
ブロック4018	VK-47	TR2-γ・TR3-c	4161	4155, 4156	晩期	図77
ブロック4019	VL-47	TR1-4	4162, 4166, 4167, 4170, 4171, 4172, 5309	4163, 4164, 4165, 4168, 4169	晩期4	図64
ブロック4020	VL-45	TR1-4	4173	4174, 4175, 4176, 4177, 4178, 4179, 4180, 4181, 4182	晩期1a	図66
ブロック4021	VK-46	TR2-1		4183, 4184, 4185, 4186, 4187, 4188, 4189	晩1a	図73
ブロック4022	VK-45	TR1-6	4193	4190, 4191, 4192, 4194, 4195, 4196, 4197, 4198, 4199, 4200, 4201, 4202, 4203, 4204	後期末葉～晩期 初期	図74
ブロック4023	VM-46・VL-46	TR1-c・f	4225	4205, 4206, 4207, 4208, 4209, 4210, 4211, 4212, 4213, 4214, 4215, 4216, 4217, 4218, 4219, 4220, 4221, 4222, 4223, 4224	晩3	図63
ブロック4024-1	VL-46	TR1-4	4234, 4260, 4261, 4264, 4270	4249, 4250, 4263, 4264, 4265	晩3	図66
ブロック4024-2	VL-46	TR1-4	4229, 4231, 4233, 4236, 4237, 4241, 4252, 4259, 4270	4228, 4230, 4232, 4238, 4239, 4240, 4242, 4243, 4244, 4245, 4246, 4247, 4248, 4251, 4253, 4254, 4255, 4256, 4262, 4266, 4267, 4268, 4269	晩2～4	図66
ブロック4024-3	VL-46	TR1-4		4235	—	図66
ブロック4024-4	VL-46	TR1-4			—	図66
ブロック4025	VK-47・VL-47	TR3-a	4226, 4227		晩3	図78
ブロック4026	VK-47	TR2-γ	4281	4271, 4272, 4273, 4274, 4275, 4276, 4277, 4278, 4279, 4280	晩3	図77
ブロック4027	VM-47	TR3-c		4282, 4283	晩2～3	図79
ブロック4028	VK-46	TR2-1		4284, 4285	後期後葉～晩期 前葉	図73
ブロック4029	VK-45	TR1-7	4290	4286, 4287, 4288, 4289, 4291, 4292	晩期1b	図74

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東捨場地区 ブロック観察表(2)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その検出土器整理No.(頁308頁)	主体となる遺物の時期	採戻番号
ブロック4030	VM-46・VL-46	TR1-4	4293, 4294, 4299, 4301, 4310, 4311, 4313, 4315 土4055, 土4059	4295, 4296, 4297, 4298, 4300, 4302, 4303, 4304, 4305, 4306, 4307, 4308, 4309, 4312	晩3	図67
ブロック4031-1	VL-45	TR1-5	4316, 4317	4324, 4327, 4328, 4329, 4330, 4331	期1b	図71
ブロック4031-2	VL-45	TR1-5	4325	4318, 4319, 4320, 4321, 4322, 4323, 4326	晩期1b	図71
ブロック4032-1	VL-46	TR1-4	4364, 4395, 4399	4361, 4362, 4363, 4365, 4366, 4392, 4396, 4397, 4398, 4399	晩期3	図67
ブロック4032-2	VL-46	TR1-4	4375	4367, 4368, 4369, 4370, 4371, 4372, 4373, 4374, 4691	晩期3	図67
ブロック4032-3	VL-46	TR1-4	4384, 4385	4376, 4377, 4378, 4379, 4380, 4381, 4382, 4383, 4386, 4387, 4388, 4389, 4390, 4391	晩期3	図67
ブロック4032-4	VL-46	TR1-4		4332, 4333, 4334, 4335	晩期4	図67
ブロック4032-5	VL-46	TR1-4	4336, 4337	4338, 4339, 4340, 4341, 4401, 4402, 4403, 4404	晩期3	図67
ブロック4032-6	VL-46・VM-46	TR1-4	4346, 4355	4342, 4343, 4344, 4345, 4347, 4348, 4349, 4350, 4351, 4352, 4353, 4354, 4356, 4357, 4358, 4539, 4360	晩期4	図67
ブロック4033	VL-44	TR6-2～TR6-3	4405, 4407, 4412, 4717, 4724	4406, 4408, 4409, 4410, 4411, 4413, 4414, 4415, 4416, 4417, 4418, 4419, 4445, 4446, 4714, 4715, 4716, 4718, 4719, 4720, 4721, 4722, 4723	晩期1b	図81
ブロック4034	VL-46	TR1-4, 5	4422	4420, 4421, 4423	晩期2～3	図69
ブロック4035	VM-44	確認面		4447, 4448, 4449, 4450, 4451, 4452, 4453, 4454, 4455, 4456, 4457	晩4	図82
ブロック4036	VM-46・VL-46	TR1-4～TR1-4.5	4431, 4432	4424, 4425, 4426, 4428, 4430, 4433, 4434, 4435, 4436, 4437, 4438, 4439, 4440, 4441, 4442, 4443	晩期3	図69
ブロック4037	VM-46	TR1-d	4460, 4461, 4466, 4475	4458, 4459, 4462, 4463, 4464, 4465, 4467, 4468, 4469, 4470, 4471, 4473, 4474, 5335	晩期3	図64
ブロック4038	VM-46	TR1-c	4483, 4500	4476, 4477, 4478, 4479, 4480, 4481, 4482, 4484	晩期3	図63
ブロック4039	VM-46	TR1-4	4487	4485, 4486, 4488, 4489, 4490, 4491, 4492, 4493, 4494, 4495, 4496, 4497, 4498, 4499	晩4	図68
ブロック4040	VL-47	TR3-c	4511	4507, 4508, 4509, 4510	晩期3～4	図79
ブロック4041	VM-45	TR5-2	4556	4501, 4502, 4503, 4504, 4505, 4506	晩2～3	図81
ブロック4042	VL-44	TR6-3～TR1-6	4635	4522, 4523, 4524, 4525, 4526, 4527, 4528, 4529, 4530, 4531, 4532, 4533, 4534, 4535, 4536, 4537, 4538, 4539, 4540, 4541, 4542, 4543, 4544	晩期2	図74
ブロック4043上層A	VK-47	TR2-b	4747	4568, 4569, 4570, 4571, 4573, 4575, 4576, 4746	晩期	図77
ブロック4043下層A	VK-47	TR2-b	4574, 4578, 4579, 4749	4577, 4750, 4751, 4752	晩期4	図77
ブロック4043下層B	VK-47	TR2-b	4634, 4567	4562, 4563, 4565, 4572	晩期4	図77
ブロック4044	VM-47	TR3-b	4516, 4517, 5192	4512, 4513, 4514, 4515, 4518, 4519, 4520, 4521	晩期5	図79
ブロック4045	VM-46	TR1-4.5	4756, 4757	4758, 4759, 4760, 4761, 4762, 4763, 4764, 4765, 4766, 4767	晩期4	図69
ブロック4046	VL-47	TR2-ウ		4768, 4769, 4770, 4771	晩期3	図75
ブロック4047	VM-45	TR5-2	4556	4545, 4546, 4547, 4548, 4549, 4550, 4551, 4552, 4553, 4554, 4555	晩期3	図81
ブロック4049	VJ-47・48	TR3-d	4773	4772, 4774, 4775	晩期後葉～晩期前葉	図78
ブロック4050	TK-47	TR3-d		4776, 4777, 4778, 4779	晩期3	図77
ブロック4051	VK-48	TR3-e	4603, 4628	4557, 4558, 4559, 4560, 4561	晩期1b	図90
ブロック4052-1	VM-46・47	TR1-4	4580, 4582, 4596, 4597, 4602, 4610, 4614, 4615, 4626, 4627, 4727, 4728, 4731, 4732, 4735, 土4057	4581, 4583, 4584, 4587, 4588, 4589, 4590, 4591, 4593, 4594, 4598, 4601, 4603, 4604, 4605, 4606, 4608, 4609, 4611, 4612, 4613, 4725, 4729, 4730, 4734	晩期4	図68
ブロック4052-2	VM-47	TR1-4	4624	4616, 4617, 4618, 4620, 4621, 4622, 4623, 4625	晩期5	図68
ブロック4052-3	VM-47	TR1-4		4619, 4633, 4634	晩期	図68
ブロック4052-4	VM-46	TR1-4	4636, 4641, 4739, 4740, 4744, 4745, 土4060	4635, 4636, 4637, 4638, 4639, 4640, 4642, 4643, 4736, 4737, 4738, 4741, 4742, 4753, 4754	晩期4	図68

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。



表2 北東捨場地区 ブロック観察表(3)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その検出土器整理No.(頁3参照)	主体となる遺物の時期	採戻番号
ブロック4053-1	VL-45・46	TR1-5	4650, 4655	4657, 4658, 4659, 4660, 4661, 4662, 4663, 4664, 4665, 4666, 4667, 4668, 4669, 4670	晩期3	図72
ブロック4053-2	VL-45・46	TR1-5		4646, 4648, 4651, 4652, 4653, 4654, 4694, 4695, 4696, 4697, 4698, 4700, 4701, 4703, 4704, 4705, 4707, 4708, 4709, 4710, 4712	晩期1b	図72
ブロック4054-1	VK-46・VL-46	TR1-5	4686	4680, 4681, 4687, 4688, 4690	晩期1b	図73
ブロック4054-2	VL-46	TR1-5	4685	4673, 4674, 4675, 4676, 4677, 4678, 4679, 4682	晩期1b	図73
ブロック4055	VJ-48	TR3-d～TR3-e	4792, 4793, 4794, 4799	4795, 4796, 4797, 4798	後7-4～晩1a	図78
ブロック4056	VJ-48・VK-48	TR3-e	4802	4780, 4781, 4782, 4783, 4784, 4785	晩期1a	図80
ブロック4057	VL-47	TR2-エ	4786, 4787, 4790, 4791	4788, 4789	晩期1b	図76
ブロック4058	VJ-47	TR2-2	4807, 4801	4800, 4802, 4803, 4804, 4805, 4806	晩期1b	図76
ブロック4059					—	図76
ブロック4060	VN-45	TR5-2	4809	4807, 4808	晩期3	図81
ブロック4061	VN-47・VM-47	TR2-エ	4810, 4822, 4823, 4825	4811, 4812, 4813, 4814, 4815, 4816, 4817, 4818, 4819, 4820, 4821, 4824, 4826	晩期1b	図76
ブロック4062-1	VM-46	TR1-4	4835	4837, 4827, 4828, 4829, 4830, 4831, 4832, 4833, 4834, 4836, 4837, 4838, 4839	晩期3	図70
ブロック4062-2	VM-46・47	TR1-4		4907, 4908, 4909, 4910, 4911, 4912, 4917, 4918, 4919, 4920, 4922, 4924, 4925, 4927, 4930, 4931, 4933, 4934, 4935, 4936, 4937, 4939, 4942, 4943, 4947, 4949	晩期2～4	図70
ブロック4063	VK-46	TR2-2	4840	4841, 4842	後期後葉～晩期	図76
ブロック4064	VK-47	TR3-d～TR3-e	土4061	4844, 4845	晩期1a	図78
ブロック4065	VK-46	TR2-2		4846, 4847, 4848, 4849	晩期1a	図76
ブロック4066	VM-46	TR1-4		4880, 4883, 4884, 4886, 4887, 4898, 4903, 4906, 4906, 土4054	晩期3	図70
ブロック4067	VK-46・47	TR2-2	4856	4850, 4851, 4852, 4853, 4854, 4855	晩期1a	図76
ブロック4068	VK-48	TR3-f		4858	—	図80
ブロック4069	VL-45	TR1-7上層	4950, 4954	4951, 4953	後期後葉～晩期	図74
ブロック4070	VL-45	TR1-5	4983	4982, 4984, 4985	晩期1b	図73
ブロック4071	VM-46・47	TR1-4, 5	4906	4966, 4967, 4968, 4969, 4970, 4971, 4972, 4973, 4974, 4975, 4976	晩期1b	図69
ブロック4072	VL-45	TR1-5	4960, 4962, 4963	4955, 4956, 4957, 4958, 4959, 4961	晩期1b	図73
ブロック4073	VL-45	TR1-6～TR1-7		4986, 4987, 4988, 4989, 4990, 4991, 4992, 4993, 4994, 4995, 4997, 4998, 4999, 5000	晩期1a	図74
ブロック4074	VL-46	TR2-2	4964, 4980	4965, 4977, 4978, 4979, 4981	晩期1a	図76
ブロック4075	VL-46	TR1-6～TR1-7	5032, 5035	5018, 5019, 5020, 5021, 5022, 5024, 5025, 5026, 5027, 5029, 5030, 5031, 5033, 5034	晩期1b	図74
ブロック4076	VK-47	TR2-2～TR3-d2	5001	5002, 5003	晩期1a	図76
ブロック4077	VK-47	TR3-d2	土4062	5004	晩期前葉～中葉	図78
ブロック4078	VK-47	TR2-エとTR3-eの境	4920	5006, 5007, 5017	晩期2	図76
ブロック4079	VK-46	TR3-e		5008, 5009, 5011, 5012, 5013	後期後葉～晩期 前葉	図80
ブロック4080	VM-46	TR1-4, 5～TR1-5	4905, 4908		晩期1b	図69
ブロック4081	VK-47・48	TR3-eとfの境	4018, 5040, 5042, 5053, 5334	4014, 5036, 5037, 5038, 5039, 5041, 5043, 5044, 5045, 5046, 5049, 5050, 5051	後期後葉～晩期 前葉	図80
ブロック4082	VK-47	TR3-e	5056, 5057, 5058, 5065, 5073, 5074, 5075, 5091	5023, 5054, 5055, 5059, 5060, 5061, 5062, 5063, 5064, 5066, 5067, 5068, 5069, 5070, 5071, 5072, 5076, 5077, 5078, 5079, 5080, 5081, 5082, 5090	後期後葉～晩期 前葉	図80
ブロック4083	VK-48	TR3-eとTR3-fの境	5084, 5089	5083, 5085, 5086, 5087	晩期1b	図80
ブロック4084	VK-47	TR3-eとTR3-fの境	4022, 5016	5014, 5015	後期後葉～晩期 前葉	図80

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(1)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考	
15	4040	P8023	平筒製	鉢		晩3か	台部	
15	4042	P8014	平筒製	鉢	II Bc11	後期後葉～晩期		
15	4043	P8018	平筒製	鉢	I Aa2	晩2		
15	4053	P8025	粗製	深鉢	I Aa2	後期後葉～晩期		
15	4104	P8019	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし	
15	4106	P8028	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし	
15	4107	P8021	平筒製	鉢	I Aa2	晩3		
15	4108	P8020	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
15	4109	P8016	粗製	深鉢			口縁なし	
15	5145	P8016	粗製	深鉢			底部(平底)	
16	4047	P8039	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
16	4048	P8043	平筒製	深鉢	I Aa2	晩5		
16	4049	P8038	平筒製	深鉢	I Aa1	晩4～5	口縁平行沈線	
16	4050	P8044	平筒製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線	
16	4105	P8040	粗製	深鉢			口縁なし	
16	4112	P8042	平筒製	鉢小		晩3か	赤彩, 平行沈線	
8001	4005	P8064	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
8001	4006	P8061	精製	蓋				
8001	4057	P8061	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	高台	
8001	5123	P8062	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
8002	4008	P8075	平筒製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線	
8002	4009	P8075	平筒製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線	
8002	4060	P8074	平筒製	鉢		晩3か	台部	
8002	4061	P8077	平筒製	鉢	II Bc11	晩4～5		
8002	4062	P8072	粗製	深鉢	I Aa3	後期後葉～晩期		
8002	4113	P8076	粗製	深鉢			口縁なし	
8004	4065	P8083	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
8004	4067	P8083	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
8004	4069	P8086	粗製	鉢	I Bb1	晩期前半	片口	
8004	4111	P8084	粗製	深鉢			口縁なし	
8005	4076	P8089	粗製	深鉢			底部(平底)	
8005	4077	P8091	平筒製	鉢		晩3か	台部	
8005	4119	P8097	粗製	深鉢			底部	
8005	4120	P8092	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	口縁なし
8006	4071	P8095	精製	深鉢	II A11	晩4		
8006	4072	P8094	精製	深鉢	I Aa11	晩2-4		
8006	4073	P8094	精製	深鉢		晩5か		
8006	4074	P8096	精製	注口		晩1～8		
8006	4075	P8096	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
8006	4115	P8099	粗製	蓋小				
8006	4116	P8099	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)	
8006	4117	P8099	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)	
8006	4118	P8097	精製	台付浅鉢			口縁なし	
8007	4081	P4101	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
8008	4083	P4103	平筒製	鉢	I Aa5	晩3		
8008	4084	P4103	平筒製	鉢	II Bc5	晩3		
8008	4085	P4104	粗製	深鉢	I Aa11	晩期		
8009	4012	P4106	精製	台付鉢小			台部のみ	
8009	4086	P4109	粗製	鉢	II Bc4	晩1b		
8009	4087	P4109	平筒製	鉢	II Bc1	晩2～3		
8009	4088	P4109	平筒製	台付鉢小			台部のみ	
8009	4089	P8010	精製	蓋		晩2～3	赤彩	
8009	4090	P4114	平筒製	鉢	II Bc2	晩2		
8009	4091	P4112	平筒製	鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁平行沈線	
8009	4092	P4113	精製	浅鉢		晩3	底部	
8009	4093	P4113	精製	浅鉢	I A1	晩2～3		
8009	4121	P4111					口縁なし	
8009	4122	P4111	粗製	蓋				
8009	4123	P4110	平筒製	鉢	II Bc	晩2		
8009	4124	P4110					台部	
8010	4095	P4121	平筒製	鉢			台部	
8011	4098	P4125	平筒製	鉢	I Bb2	晩4か		

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考	
4011	4114	P4150	粗製	深鉢			底部	
4012	4102	P4127	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4012	4103	P4128	平筒製	鉢	I Aa2	晩2		
4013	4125	P4133	精製	鉢	II A4	晩1b		
4013	4127	P4137	粗製	深鉢	II A4	後期後葉～晩期		
4013	4128	P4137	精製	鉢	II A4	晩1b		
4013	4129	P4136	精製	鉢	II Bc4	晩1b		
4013	4130	P4136	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期		
4013	4131	P4136	精製	鉢	II A4	晩1b		
4013	4132	P4132	精製	鉢	II Bb6	晩1b		
4013	4133	P4132	精製	鉢	II A4	晩1b		
4013	4134	P4134	精製	深鉢		晩1b		
4013	4135	P4139	精製	鉢	II A4	晩1b		
4013	4136	P4138	精製	鉢	II Bc4	晩1b		
4013	4137	P4131	精製	注口か			口縁なし	
4013	4138	P4131	粗製	深鉢	II A4	晩1b		
4014	4148	P4129	粗製	深鉢	II Bb6	晩1b		
4014	4149	P4130	精製	注口		晩1	口縁なし	
4015	4141	P4161	粗製	深鉢			底部(平底)	
4015	4142	P4164	平筒製	鉢			底部(平底)	
4015	4143	P4165	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4015	4144	P4163	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし	
4015	4145	P4162	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4015	4146	P4160	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	口縁なし
4015	4147	P4139	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4016	4100	P4173	精製	鉢	II Aa1	晩1a～1b	口縁なし	
4016	4151	P4171	精製	注口				
4016	4152	P4173	不明	鉢			後期後葉～晩期初期	台部
4016	4153	P4172	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	底部(平底)
4016	4154	P4172	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期		
4017	4157	P4176	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	口縁なし
4017	4158	P4175	粗製	深鉢			後期	底部(平底)
4017	4159	P4174	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	赤彩文
4017	4160	P4174	粗製	深鉢			後期	底部(平底)
4018	4155	P4180	平筒製	鉢	II Bb1	後期後葉～晩期	底部	
4018	4156	P4180	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4019	4163	P4188	精製	浅鉢	I Bb	晩3	赤彩	
4019	4164	P4188	精製	浅鉢	I Bb	晩3	赤彩	
4019	4165	P4188	平筒製	鉢	I Aa1	晩期	口縁平行沈線	
4019	4168	P4194	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	口縁なし
4019	4169	P4195	平筒製	鉢	II Bc21	晩2	半環状文	
4020	4174	P4203	不明				後期未葉～晩期初期	台部
4020	4175	P4203	不明				後期未葉～晩期初期	台部
4020	4176	P4210	不明	深鉢			晩期	底部(平底)
4020	4177	P4209	精製	鉢		晩1a	口縁なし	
4020	4178	P4209	不明	鉢小			後期	底部(平底)
4020	4179	P4206	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	口縁なし
4020	4180	P4204	粗製	深鉢	I c1	後期後葉～晩期		
4020	4181	P4205	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4020	4182	P4205	精製	深鉢	II Bb4	晩1a		
4021	4183	P4211	粗製	蓋				
4021	4184	P4211	精製	鉢	II Bb4	晩1a		
4021	4185	P4214	粗製	深鉢		晩1-4	口縁なし	
4021	4186	P4212	精製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期		
4021	4187	P4213	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4021	4188	P4215	粗製	深鉢			後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4189	P4215	不明	不明			後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4190	P4239	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(2)

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4022	4191	P4243	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台)
4022	4192	P4243	粗製	台付鉢		後期後葉～晩期	台部
4022	4194	P4237	不明	鉢		後期後葉～晩期	台部
4022	4195	P4240	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4196	P4236	不明	鉢		後期後葉～晩期	台部
4022	4197	P4238	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4198	P4232	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4199	P4235	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4200	P4341	粗製	壺		後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4201	P4242	不明	不明		後期後葉～晩期	台部
4022	4202	P4242	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4203	P4234	精製	深鉢	B	晩2-4	口縁なし
4022	4204	P4233	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4023	4205	P4223	半精製	鉢	B Bc21	晩3	無文
4023	4206	P4222	精製	深鉢	I A1	晩期	無文
4023	4207	P4218	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4023	4208	P4225	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4209	P4225	精製	深鉢		晩3	口縁なし
4023	4210	P4218	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4211	P4214	精製	壺		晩3	墨形文
4023	4212	P4226	精製	深鉢	I A1	晩3	口縁なし
4023	4213	P4227	精製	深鉢	B Bc21	晩2	半唐杖文
4023	4214	P4219	精製	深鉢	B Bc21	晩2	半唐杖文
4023	4215	P4230	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4216	P4229	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4217	P4229	粗製	深鉢	I Aa11	晩期	台部
4023	4218	P4212	粗製	深鉢		晩期	台部
4023	4219	P4217	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4220	P4216	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	口縁なし
4023	4221	P4220	精製	深鉢		晩1a～1b	口縁なし(無文)
4023	4222	P4228	精製	壺		晩3	
4023	4223	P4228	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	口縁なし
4023	4224	P4228	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	口縁なし
4024	4249	P4250	半精製	鉢	B Bc21	晩3	口縁なし
4024	4250	P4250	精製	鉢		晩1b	口縁なし
4024	4251	P4255	粗製	鉢	B Bc21	晩3	
4024	4254	P4255	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4255	P4255	粗製	壺		晩期	口縁なし
4024	4258	P4278	半精製	鉢	B Bc21	晩3	口縁なし
4024	4260	P4261	半精製	鉢	B Bc21	晩3	
4024	4262	P4261	精製	注口か		晩3	口縁・注口なし。墨形部。
4024	4263	P4276	粗製	深鉢	I Aa11	晩期	
4024	4269	P4275	粗製	深鉢	I Aa11	晩期	
4024	4249	P4257	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4024	4242	P4273	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4243	P4267	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4244	P4262	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4245	P4259	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4246	P4265	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4247	P4268	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4024	4248	P4266	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4251	P4263	半精製	鉢		晩3か	台部
4024	4253	P4280	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4254	P4256	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4255	P4271	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4256	P4270	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4262	P4249	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	繕修孔あり
4024	4266	P4269	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4267	P4269	半精製	鉢	B Bc2	晩3	口縁なし
4024	4268	P4257	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4024	4269	P4274	粗製	深鉢	I Aa11	晩期	口縁なし

ブロック	整理番号	取上番号	精粗	器種	器形	時期	備考
4024	4270	P4277	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4026	4271	P4287	半精製	鉢	B Bc21	晩3	口縁なし。ケズリ
4026	4272	P4289	粗製	深鉢		晩期	口縁平行沈溝。赤点。
4026	4273	P4285	精製	深鉢	I A3	晩3	口縁平行沈溝。赤点。
4026	4274	P4285	粗製	深鉢	I Bc1	後期後葉～晩期	口縁なし
4026	4275	P4293	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	無文
4026	4276	P4290	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	繕修孔あり
4026	4277	P4290	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4026	4278	P4288	精製	深鉢	I A1	後期後葉～晩期	無文
4026	4279	P4283	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4027	4282	P4297	精製	鉢		晩2～3	台部
4027	4283	P4296	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台)
4026	4280	P4286	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4028	4284	P4298	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台)
4028	4285	P4299	半精製	鉢	B Bb1	後期後葉～晩期	口縁なし
4029	4286	P4300	精製	注口		晩3	注口部
4029	4287	P4305	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし。赤点。
4029	4288	P4305	精製	鉢		晩3	口縁なし(無文)
4029	4289	P4303	精製	深鉢	I Aa1	晩3か	
4029	4291	P4306	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台)
4029	4292	P4304	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4030	4295	P4320	精製	鉢		晩3	口縁なし。墨形文。
4030	4296	P4322	精製	深鉢		晩3	口縁なし。墨形文。
4030	4297	P4322	精製	深鉢	I A1	晩3	
4030	4298	P4314	精製	深鉢	B Bc21	晩3	
4030	4300	P4316	半精製	鉢		晩2	半唐杖文
4030	4302	P4307	粗製	深鉢	I Bb1	晩期	口縁なし(無文)
4030	4303	P4317	粗製	壺		晩期	口縁なし
4030	4304	P4321	精製	深鉢		晩期	口縁なし(無文)
4030	4305	P4310	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4030	4306	P4310	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4030	4307	P4319	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4030	4308	P4319	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4030	4312	P4313	不明	鉢		晩1a～1bか	台部
4031	4324	4328	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4031	4327	P4299(330+433)	精製	鉢		晩1a～1b	口縁なし
4031	4328	P4327	精製	鉢	B A4	晩1b	
4031	4329	P4325	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4031	4330	P4333	粗製	深鉢か		晩期	口縁なし
4031	4331	P4333	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4031	4318	P4335	精製	鉢	B Bc2	晩1bか	
4031	4319	P4335	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台)
4031	4320	P4335	半精製	深鉢	I Aa2	晩1bか	
4031	4321	P4335	精製	鉢	B Bc2	晩1b	
4031	4322	P4335	精製	鉢	B Bc21	晩1b	
4031	4323	P4336	精製	壺		晩1b	口縁なし。三叉文。
4031	4326	P4334	精製	鉢	B Bb11	晩1bか	
4032	4361	P4352	精製	鉢	B Bc3	晩3	
4032	4362	P4350	半精製	鉢		晩2	口縁なし。半唐杖文。
4032	4363	P4350	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032	4365	P4353	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032	4366	P4340	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4032	4392	P4391(362)	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)



表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(4)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4038	4484	P4420	半精製	鉢		晩3か	沈没文あり、赤鉄
4039	4485	P4427	粗製	深鉢	I B02	晩期	
4039	4486	P4427	半精製	鉢		晩3か	
4039	4488	P4430	半精製	鉢		晩3か	
4039	4489	P4430	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4039	4490	P4428	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4039	4491	P429-4C3	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4039	4492	P4429	半精製	鉢	II Bc2	晩3	キザミ
4039	4493	P4429	半精製	鉢	II Bc5	晩3	キザミ
4039	4494	P4429	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	ケズリ
4039	4495	P4429	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4039	4496	P4429	半精製	鉢	I B02	晩4	平行沈没
4039	4497	P4429	半精製	鉢		晩3～4	口縁平行沈没
4039	4498	P4429	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4039	4499	P4429	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4040	4507	P4452	粗製	深鉢		晩3～4	
4040	4508	P4450	半精製	鉢		晩3～4	
4040	4509	P4450	半精製	鉢	I B02	晩4	
4040	4510	P4454	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4041	4501	P4455	精製	浅鉢	浅鉢	晩期	
4041	4502	P4455	精製	深鉢	I A5	晩2～3	
4041	4503	P4456	粗製	鉢	II Bb4	晩1b	
4041	4504	P4456	半精製	鉢	II Bc2	晩2	
4041	4505	P4456	半精製	鉢	II Bc1	晩2	
4041	4506	P4456	半精製	深鉢	I B0	晩2	か
4042	4522	P4461	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4523	P4461	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4524	P4462	粗製	深鉢	晩7-4～晩2		
4042	4525	P4462	不明	深鉢	晩8～晩1		
4042	4526	P4458	不明	深鉢	晩7～晩1		
4042	4527	P4458	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4042	4528	P4458	不明	壺		晩期	
4042	4529	P4458	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4530	P4458	精製	鉢		後期後葉～晩期	
4042	4531	P4458	粗製	壺	I		後期後葉～晩期
4042	4532	P4463	精製	深鉢	II Aa	晩1a	
4042	4533	P4463	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4534	P4463	粗製	深鉢	I B01	後期後葉～晩期	
4042	4535	P4463	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4042	4536	P4459	粗製	深鉢	II Ba1	後期後葉～晩期	
4042	4537	P4459	精製	注口		晩1a	か
4042	4538	P4460	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4042	4539	P4458	粗製	浅鉢	I A1	晩3	
4042	4540	P4458	粗製	深鉢	I A1	晩3	か
4042	4541	P4458	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4542	P4458	精製	深鉢	晩1a		
4042	4544	P4458	精製	深鉢	晩1a		
4042	4544	P4458	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	
4042	4568	P4469	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4042	4569	P4469	粗製	深鉢	I Bc4	晩期	
4042	4570	P4469	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4042	4571	P4469	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4042	4573	P4468	粗製	壺	I A5		遺物支
4042	4575	P4467	半精製	浅鉢	I Aa1	晩期	横文
4042	4576	P4467	粗製	深鉢	I	後期後葉～晩期	
4042	4746	P4470	粗製	深鉢	I B01	後期後葉～晩期	
4047	4562	P4488	粗製	深鉢	II	後期後葉～晩期	口縁なし
4047	4563	P4488	半精製	鉢	II Bc1	晩4	か
4047	4565	P4487	粗製	深鉢		中期	か
							口縁なし、本厚い底面、横文あり。L.F. 546、47777ブロック4050と同。

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4047	4572	P4487	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4047	4577	P4490	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4047	4750	P4491	精製	鉢		晩3か	口縁なし、遺物支
4047	4751	P4491	精製	鉢		晩4	か
4047	4752	P4489	粗製	壺		晩期	口縁なし、外面赤色顔料付着
4044	4512	P4471	粗製	壺		晩3	
4044	4513	P4471	粗製	壺		晩期	
4044	4514	P4471	半精製	鉢		晩期	行部
4044	4515	P4471	精製	浅鉢		晩3	口縁なし、遺物支、赤鉄
4044	4518	P4473	精製	壺		晩5	体厚、横文あり、工字状文
4044	4519	P4473	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4044	4520	P452-4C2			I Aa1	後期後葉～晩期	
4044	4521	P4475	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4045	4758	P4480	半精製	鉢	II Bc5	晩2	半面沈没
4045	4759	P4480	半精製	鉢	II Bc21	晩3	
4045	4760	P4480	半精製	鉢	II Bc21	晩3	
4045	4761	P4480	半精製	鉢	II Bc31	晩3	
4045	4762	P4480	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4045	4765	P4480	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4045	4764	P4483	半精製	鉢		晩3	か
4045	4765	P4479	精製	浅鉢	I A1	晩3	
4045	4766	P4479	精製	深鉢		晩期	底部(平底)
4045	4767	P4479	精製	鉢		晩3～4	口縁なし、遺物支
4046	4768	P4477	半精製	鉢		晩3	か
4046	4769	P4476	粗製	深鉢		晩期	行部
4046	4770	P4476	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4046	4771	P4476	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4047	4545	P4497	粗製	付付鉢		晩期	口縁なし
4047	4546	P4497	半精製	鉢	I Aa2	晩3	
4047	4547	P4498	精製	鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4548	P4498	精製	鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4549	P4498	精製	鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4550	P4498	粗製	深鉢	I Aa21	晩期	
4047	4551	P4498	粗製	深鉢	浅鉢		後期後葉～晩期
4047	4552	P4498	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台状)
4047	4553	P4498	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4047	4555	P4498	不明	鉢		晩期	行部
4047	4554	P4498	精製	鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4555	P4498	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4049	4772	P4500	精製	注口		晩8	か
4049	4774	P4501	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4049	4775	P4503	精製	注口		晩8	か
4050	4776	P4508	精製	浅鉢		晩3	か
							付付浅鉢、行部、赤鉄
4050	4777	P4510	粗製	深鉢		口縁なし、L.F. 546、47777ブロック4043と同。	
4050	4778	P4509	精製	浅鉢	I Aa1	晩3	赤鉄
4050	4779	P4507	半精製	付付鉢	II Bc21	晩3	
4051	4557	P4512	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4051	4558	P4513	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4051	4559	P4513	粗製	深鉢	II A1	晩7-4	口縁なし
4051	4560	P4514	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	
4051	4561	P4515	不明	深鉢		後期後葉～晩期	底部(高台状)
4052	4581	P4523	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4052	4583	P4524	半精製	鉢	I Aa5	晩3	
4052	4584	P4528	精製	壺		晩2～3	外面赤鉄
4052	4587	P4525	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4052	4588	P4525	半精製	壺		晩期	口縁なし
4052	4589	P4525	半精製	鉢	II Bc5	晩3	
4052	4590	P4540	粗製	壺		晩期	
4052	4591	P4529	半精製	鉢	II Bc1	晩3	か
4052	4593	P4529	半精製	鉢	II Bc21	晩3	か
4052	4594	P4529	半精製	鉢		晩3	か
4052	4598	P4531	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇浅取

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(5)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4052-1	4601	P4530	半精製	鉢	晩3カ	台部	
4052-1	4603	P4531	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3カ～4	4720と同一
4052-1	4604	P4529	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩期	
4052-1	4605	P4521	半精製	鉢	Ⅱ	晩3カ	台部
4052-1	4606	P4522	粗製	鉢	ⅡBc2	晩3カ	
4052-1	4608	P4522	粗製	鉢	Ⅰc3	晩3カ	
4052-1	4609	P4522	粗製	部		晩期	口縁なし
4052-1	4611	P4524	粗製	深鉢		晩期	底部(平造)
4052-1	4612	P4524	粗製	深鉢		晩期	底部(平造)
4052-1	4613	P4524	半精製	深鉢		晩期	底面(内底面)
4052-1	4725	P4530-4532	半精製	鉢	ⅡBc2a	晩3	
4052-1	4729	P4525	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	
4052-1	4730	P4532	半精製	鉢		晩3カ	口縁なし
4052-1	4734	P4529	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩期	
4052-2	4616	P4545	精製	注口	Ⅱ	晩1bカ	口縁なし
4052-2	4617	P4545	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4618	P4541	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平造)
4052-2	4620	P4543	粗製	深鉢		晩期	底部(平造)
4052-2	4621	P4543	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4622	P4541-4543	粗製	深鉢	ⅠAa2	晩期	高台, 底部直上(土)
4052-2	4623	P4541-4545	粗製	部		晩期	口縁なし
4052-2	4625	P4542	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇内そぎ
4052-2	4619	P4546	粗製	深鉢	ⅠAa2	晩期	
4052-2	4633	P4547	粗製	深鉢		晩期	口縁なし, ケズリ
4052-2	4634	P4548	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4052-2	4628	P4553	粗製	部		晩期	口縁なし
4052-2	4629	P4553	半精製	鉢	ⅠAa1	晩3	
4052-2	4630	P4553	精製	深鉢	ⅠB5	晩3	雲形文
4052-2	4631	P4553	半精製	鉢		晩3カ	台部のみ
4052-2	4632	P4553	精製	鉢		晩5	台部, 上字カ
4052-2	4635	P4556	半精製	鉢	ⅠBc2	晩3～4	口縁直造2条
4052-2	4636	P4556	粗製	深鉢		晩期	底部(平造)
4052-2	4637	P4556	精製	深鉢	ⅠA1	晩3	雲形文編文土
4052-2	4638	P4555	半精製	鉢	ⅡBc1	晩3	
4052-2	4639	P4551	半精製	鉢		晩3カ	台部のみ
4052-2	4640	P4551	粗製	深鉢	ⅠAa2	晩期	
4052-2	4642	P4559	半精製	鉢		晩3カ	台部のみ
4052-2	4643	P4554	半精製	鉢		晩3カ	台部のみ
4052-2	4736	P4551	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	
4052-2	4737	P4559	精製	深鉢	ⅠB1	晩3	内外赤彩全面(土)
4052-2	4738	P4550	精製	深鉢	ⅠBa1	晩5	上字文
4052-2	4741	P4552	精製	深鉢	ⅠB5	晩3	
4052-2	4742	P4557	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	内面北造
4052-2	4753	P4551	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩期	口唇面取なし
4052-2	4754	P4551	粗製	深鉢		晩期	底部(平造)
4052-2	4657	P4573	精製	深鉢	Ⅱ	晩1b	
4052-2	4658	P4572	精製	深鉢	ⅡBc4	晩1b	
4052-1	4659	P4573	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-1	4660	P4573	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-1	4661	P4571	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取兼取支
4052-1	4662	P4571	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取兼取支
4052-1	4663	P4571	半精製	深鉢		晩期	底面, 底部付着(土)
4052-1	4664	P4571	精製	部カ		晩3カ	赤彩
4052-1	4665	P4571	半精製	深鉢	ⅠAa1	晩2	手裏紅文
4052-1	4666	P4571	半精製	深鉢	ⅡBc1	晩3	
4052-1	4667	P4571	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(低口高台)
4052-1	4668	P4571	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし, 口縁面曲する
4052-1	4669	P4571	粗製	部	Ⅱ	晩1bカ	
4052-1	4670	P4573	精製	注口	Ⅱ	晩1bカ	
4052-2	4646	P4581	精製	注口	Ⅱ	晩1bカ	4693と同一
4052-2	4648	P4577	粗製	深鉢	ⅡBc2	晩1b	多量平行北造
4052-2	4651	P4576	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4652	P4576	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4052-2	4653	P4576	精製	深鉢		晩1bカ	口縁なし, 4699+4422(馬車)・P454034と同一
4052-2	4654	P4576	粗製	深鉢	ⅡBc1		
4052-2	4694	P4581	精製	鉢	ⅡBc4	晩1b	
4052-2	4695	P4581	粗製	深鉢	Ⅱ	晩1b	
4052-2	4696	P4581	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4052-2	4697	P4577	精製	注口		晩1カ	
4052-2	4698	P4579	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4700	P4579	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4052-2	4701	P4578	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4703	P4582	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4052-2	4704	P4582	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4705	P4582	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4707	P4582	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4052-2	4708	P4582	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4052-2	4709	P4582	不明			後期後葉～晩期	台部
4052-2	4710	P4582	粗製	部		晩期	
4052-2	4712	P4583	精製	鉢		晩1カ	台部
4052-1	4680	P4568	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(凹底)
4052-1	4681	P4562	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	胴部, 底部
4052-1	4688	P4561	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4052-1	4690	P4562	精製	鉢		晩1b	口縁なし
4052-2	4673	P4565	精製	鉢	ⅡBa1	晩1a～1b	
4052-2	4674	P4565	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4052-2	4675	P4565	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	
4052-2	4676	P4563	精製	鉢	ⅡBa1	晩1a	
4052-2	4677	P4563	精製	鉢	ⅡBa1	晩1a	
4052-2	4678	P4566	精製	鉢		晩1b	
4052-2	4679	P4566	半精製	深鉢	ⅠAa1	晩1a	注溝前に連続する短直溝
4052-2	4682	P4569	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取, ケズリ顯著, 4683と同。
4052-2	4705	P4590	半精製	深鉢		晩2-4	口縁なし
4052-2	4706	P4590	精製	注口	Ⅰ15a	晩2-4	口縁なし
4052-2	4707	P4597	精製	深鉢		晩2-4	台部
4052-2	4708	P4597	精製	深鉢		晩2-4	台部
4052-2	4709	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4052-2	4781	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4052-2	4782	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4783	P4593	粗製	深鉢		晩1a	口縁なし
4052-2	4784	P4593	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4785	P4594	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4788	P4597	精製	注口カ		晩3～晩1a	無文
4052-2	4789	P4596	精製	鉢		晩1a	口縁なし
4052-2	4800	P4625	精製	部		晩期前葉	口縁なし, 外底直造
4052-2	4802	P4601	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4803	P4626	精製	深鉢		晩2-4	底部(高台)
4052-2	4804	P4627	精製	深鉢	ⅠA1	晩2-4	無文
4052-2	4805	P4627	精製	深鉢		晩3カ	口縁なし
4052-2	4806	P4627	精製	深鉢		晩3カ	
4052-2	4807	P4602	粗製	深鉢	ⅠA5	晩3	
4052-2	4808	P4602	粗製	深鉢	ⅡBc2	晩2	
4052-2	4811	P4603	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4812	P4603	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4813	P4606	半精製	深鉢	ⅡBc1	後期後葉～晩期	



表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(6)

ブロック 整理 番号	取上 番号	種類	器種	器形	時期	備考
4061	4814	P4606	精製 鉢	晩1a-1b	台部	
4061	4815	P4606	精製 鉢	ⅡB4	晩1b	
4061	4816	P4605	精製 鉢	ⅡB	晩1b	台部
4061	4817	P4605	精製 深鉢	ⅡB2	晩1b	
4061	4818	P4604	精製 口付	Ⅱ	晩1a	口縁なし
4061	4819	P4604	精製 深鉢	ⅡA5	晩8	
4061	4820	P4604	精製 鉢	ⅡB4	晩1b/c	
4061	4821	P4604	精製 深鉢	Ⅱ	晩8	
4061	4824	P4601	精製 鉢	ⅡA	晩1a	口縁なし
4061	4826	P4605	精製 注口	Ⅱ	晩1b	
4062	14837	P4609	精製 蓋	ⅡB1	晩3	
4062	14827	P4608	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	14828	P4608	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	14829	P4610	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4062	14830	P4610	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4062	14831	P4610	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	14832	P4608	精製 深鉢	ⅡB	晩期	口縁なし
4062	14833	P4610	精製 深鉢	ⅡA1	晩3/c	内外赤彩
4062	14834	P4610	精製 深鉢	ⅡA5	晩3	
4062	14836	P4610	精製 深鉢	ⅡA1	晩2/c～8	無文
4062	14837	P4608	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取。 平底。
4062	14838	P4608	粗製 深鉢	ⅡA2	晩期	
4062	14839	P4607	半精製 鉢	Ⅱ	台部	
4062	24967	P4611	半精製 鉢	Ⅱ	台部	
4062	24908	P4611	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4062	24909	P4611	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4062	24910	P4611	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4062	24911	P4611	粗製 深鉢	Ⅱ	口縁なし	
4062	24912	P4611	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24917	P4618	精製 鉢	Ⅱ	晩1b/c	台部
4062	24918	P4618	精製 深鉢	ⅡA2	晩3	
4062	24919	P4615	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4062	24920	P4615	半精製 鉢	Ⅱ	台部	
4062	24922	P4614	粗製 鉢	Ⅱ	晩3	台座、湯かき乳。 940土器一。
4062	24924	P4616	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24925	P4616	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24927	P4616	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24930	P4622	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24931	P4622	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24933	P4621	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4062	24934	P4620	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4062	24935	P4619	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24936	P4619	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24937	P4619	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24939	P4614	半精製 鉢	ⅡB5	晩3	
4062	24942	P4617	半精製 鉢	Ⅱ	台部	
4062	24943	P4617	精製 深鉢	ⅡB	晩期	口縁なし(無文)
4062	24947	P4612	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4062	24949	P4612	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4063	4841	P4624	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4063	4842	P4624	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4064	4844	P4631	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	
4064	4845	P4631	粗製 深鉢	ⅡB4	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4065	4846	P4633	精製 鉢	ⅡB4	晩1a	
4065	4847	P4633	精製 鉢	不明	晩2-4	
4065	4848	P4633	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4065	4849	P4634	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4066	4859	P4638	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4066	4860	P4638	精製 蓋	Ⅱ	口縁なし、 雲形文。	
4066	4861	P4638	精製 蓋	Ⅱ	晩2～3	外面赤彩
4066	4862	P4638	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4863	P4638	半精製 鉢	ⅡA2	晩3	
4066	4864	P4638	半精製 鉢	Ⅱ	晩3	
4066	4865	P4638	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	

ブロック 整理 番号	取上 番号	種類	器種	器形	時期	備考
4066	4866	P4638	精製 蓋	Ⅱ	晩3/c	
4066	4867	P4638	精製 深鉢	ⅡB5	晩3	雲形文
4066	4868	P4638	精製 深鉢	ⅡB5	晩3	雲形文
4066	4871	P4638	半精製 鉢	Ⅱ	晩3/c	台部
4066	4872	P4636	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4873	P4636	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4874	P4636	精製 深鉢	ⅡA5	晩3	雲形文
4066	4875	P4636	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4876	P4636	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4878	P4636	半精製 鉢	Ⅱ	晩3/c	台部
4066	4879	P4636	粗製 深鉢	Ⅱ	晩期	底部(平底)
4066	4881	P4636	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4066	4882	P4636	粗製 深鉢	ⅡA11	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4066	4885	P4636	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4066	4888	P4637	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4889	P4637	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4066	4890	P4637	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4891	P4637	半精製 鉢	Ⅱ	晩3	
4066	4892	P4637	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4066	4893	P4637	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	ケズリ
4066	4894	P4639	半精製 鉢	ⅡA5	晩3	
4066	4895	P4639	不明 鉢	Ⅱ	晩1a～1b/c	台部
4066	4896	P4639	精製 鉢	Ⅱ	晩3	口縁なし
4066	4897	P4639	半精製 鉢	Ⅱ	晩3/c	台部
4066	4899	P4640	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4900	P4640	半精製 鉢	ⅡA1	晩3	
4066	4901	P4640	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4902	P4640	半精製 鉢	ⅡA1	晩3	
4066	4904	P4635	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4066	4905	P4635	半精製 鉢	ⅡB21	晩3	
4067	4840	P4643	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	底部(凹底)
4067	4853	P4643	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4067	4852	P4643	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4067	4853	P4643	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4067	4854	P4642	精製 深鉢	ⅡB11	晩3	
4067	4855	P4642	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4067	4853	P4643	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4067	4854	P4642	精製 深鉢	ⅡB11	晩3	
4067	4855	P4642	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4068	4858	P4644	精製 深鉢	不明	晩1a/c	
4069	4851	P4646	精製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取。 945土器一。
4069	4953	P4645	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4070	4982	P4650	精製 鉢	ⅡB4b	晩1b/c	
4070	4984	P4648	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4070	4985	P4648	精製 深鉢	Ⅱ	晩1a/c	口縁なし
4071	4966	P4652	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4071	4967	P4652	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4071	4968	P4652	不明 深鉢	Ⅱ	中期～後期	底部(平底)、 底面に漉文か。
4071	4969	P4652	不明 深鉢	Ⅱ	晩期	台部
4071	4970	P4652	深鉢	Ⅱ	中期後葉	
4071	4971	P4652	粗製 蓋	Ⅱ	晩期	
4071	4972	P4652	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	底部(平底)
4071	4973	P4652	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4071	4974	P4652	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4071	4975	P4652	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4071	4976	P4652	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	口唇面取
4072	4955	P4655	粗製 深鉢	Ⅱ	晩期	底部(平底)
4072	4956	P4655	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4072	4957	P4655	粗製 深鉢	ⅡA1	後期後葉～ 晩期	
4072	4958	P4656	精製 鉢	ⅡA4	晩1a	
4072	4959	P4656	精製 鉢	ⅡA4	晩1a	
4072	4961	P4656	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4072	4962	P4656	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4073	4966	P4660	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4073	4967	P4660	粗製 深鉢	Ⅱ	後期後葉～ 晩期	口縁なし

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(7)

ブロック	整理番号	取上番号	素材	器種	器形	時期	備考
4073	4908	P#660	精製	深鉢	後8カ	口縁なし	
4073	4989	P#660	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	口縁なし	
4073	4990	P#657	精製	鉢	後8カ		
4073	4991	P#657	精製	深鉢	後8カ	口縁なし	
4073	4992	P#657	粗製	深鉢	IIAa1 後7-4～8	口縁なし	
4073	4993	P#657	精製	注口	後7-4～8	口縁なし	
4073	4994	P#657	粗製	深鉢	IIAa2 後8		
4073	4995	P#659	精製	香印	後8カ	内面灰化跡、 P#661と同。	
4073	4997	P#658	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4073	4998	P#658	精製	鉢	後8カ	口縁なし	
4073	4999	P#658	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4073	5000	P#658	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4074	4965	P#662	精製	鉢	IIIBa1 後8		
4074	4977	P#663	不明	不明	不明	台部	
4074	4978	P#663	精製	深鉢	B 後7-4		
4074	4979	P#663	不明	不明	不明	台部	
4074	4981	P#664	精製	壺	後8カ	口縁なし	
4075	5018	P#668	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	底部(平底)	
4075	5019	P#668	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4075	5020	P#668	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	口縁なし	
4075	5021	P#668	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4075	5022	P#666					
4075	5024	P#666	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4075	5025	P#666	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4075	5026	P#666- 668- 669	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取、 5028と同一。	
4075	5027	P#669	精製	鉢	IIIBa1 後8		
4075	5029	P#669	粗製	鉢	IIIBa4 後8		
4075	5030	P#666- 669	精製	鉢	IAa1 晩期前葉小	無文、 5052と同一。	
4075	5031	P#669	精製	鉢	IIIBa1 後8		
4075	5033	P#665	不明	不明	不明	台部	
4075	5034	P#665	精製	鉢	後8カ	口縁なし	
4076	5002	P#672	精製	鉢	IIA4 後8		
4076	5003	P#672	粗製	壺小	晩期	口縁なし	
4077	5004	P#674	粗製	深鉢	後7-4	口縁なし	
4078	5006	P#676	精製	浅鉢	晩期	無文	
4078	5007	P#676	不明	鉢	後期後葉～ 晩期前葉	台部	
4078	5017	P#676	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	口縁なし	
4079	5008	P#677	不明	鉢	後期後葉～ 晩期前葉	台部	
4079	5009	P#678- 679	不明	台付鉢	後期後葉～ 晩期前葉	台部、 5010と同一。	
4079	5011	P#679	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期		
4079	5012	P#679	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	口縁突起	
4079	5013	P#679	精製	深鉢	後8カ	口縁なし	
4081	4914	P#684	不明	鉢	不明	台部	
4081	5036	P#691	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4081	5037	P#685	平結器	浅鉢	後7-4カ	口縁無文	
4081	5038	P#691	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	口縁なし	
4081	5039	P#685	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4081	5041	P#686	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4081	5043	P#686	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4081	5044	P#686	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4081	5045	P#691	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4081	5046	P#689	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取、5047- 5048と同一。	
4081	5049	P#689	平結器	壺	晩期前葉	口縁なし	
4081	5050	P#689	精製	注口	後7-4～8	口縁なし	

ブロック	整理番号	取上番号	素材	器種	器形	時期	備考
4081	5051	P#691	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4082	5023	P#701	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)、 底部に白色顔料付着	
4082	5054	P#701	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4082	5055	P#703	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4082	5059	P#698	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4082	5060	P#698	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4082	5061	P#698	粗製	壺	晩期	口縁なし	
4082	5062	P#698	不明	深鉢	不明	底部(高台)	
4082	5063	P#698	精製	深鉢	IIIBa1 後8		
4082	5064	P#698	精製	注口	後7-4～8	口縁なし	
4082	5066	P#699	不明	深鉢	不明	底部(高台)	
4082	5067	P#699	精製	鉢	IAa1 後8		
4082	5068	P#699	精製	注口	後7-4～8		
4082	5069	P#699	精製	深鉢	IIIBa1 後7-4		
4082	5070	P#699	精製	深鉢	IIIBa1 後7-4		
4082	5072	P#699	粗製	深鉢	IAa1 後8カ	口縁なし	
4082	5076	P#700	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4082	5077	P#700	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	底部(高台)	
4082	5078	P#700	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4082	5079	P#695	精製	深鉢	後8カ	口縁なし	
4082	5080	P#695	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4082	5081	P#697	精製	壺小	後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)	
4082	5082	P#697	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期	口唇面取	
4083	5083	P#706	不明	深鉢	不明	底部(高台)	
4083	5085	P-×	粗製	壺	晩期	口縁なし	
4083	5086	P-×	粗製	深鉢	IAa1 後期後葉～ 晩期		
4083	5087	P-×					5040ブロック 6981複製)と同一
4084	5014	P#709	粗製	深鉢	後期後葉～ 晩期	口縁なし	
4084	5015	P#711	不明	深鉢	不明	底部(高台)	



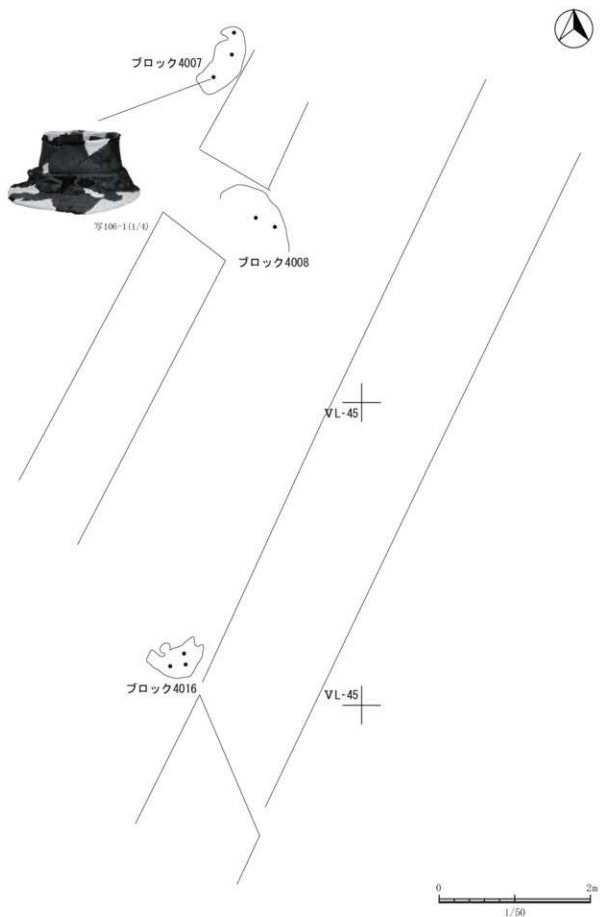


図62 北東捨場地区 ブロック4007・4008・4016 (TR1-a層～TR1-b層・TR1-1層)

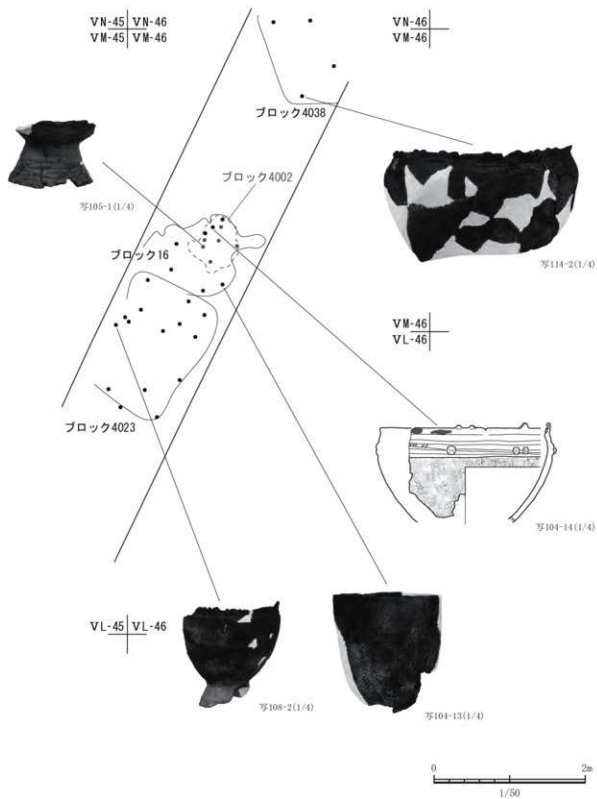
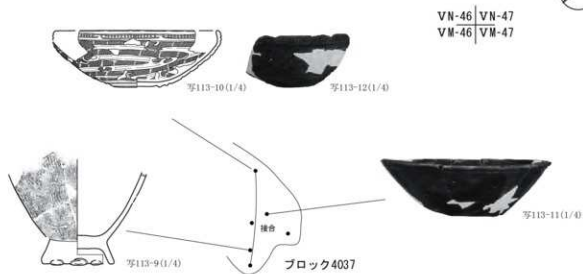
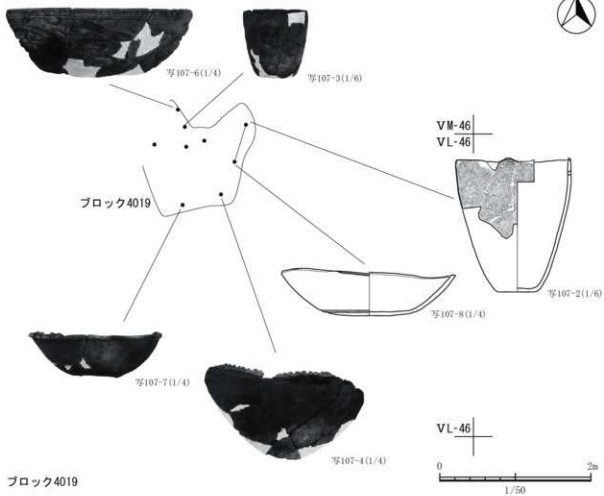


図63 北東捨場地区 ブロック16・4002・4023・4038 (TR1-2層・TR1-C層)



VM-45	VM-46
VL-45	VL-46

ブロック4037



ブロック4019

図64 北東捨場地区 ブロック4037 (TR1-d層)・4019 (TR1-4層)



図65 北東捨場地区 ブロック15 (TR1-4層)

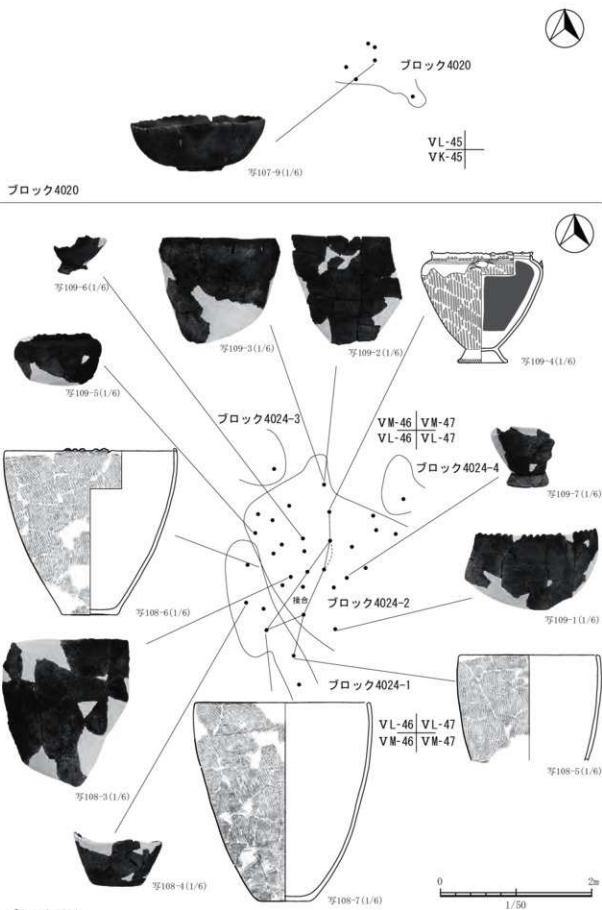
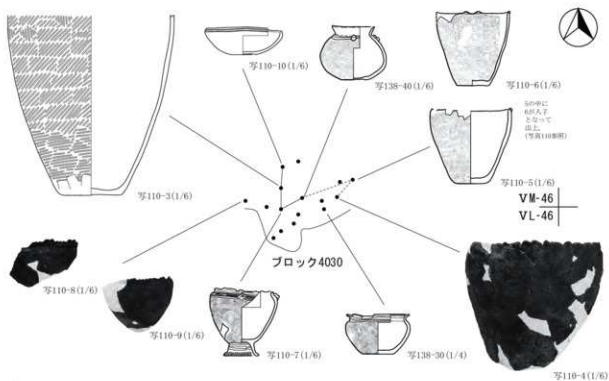
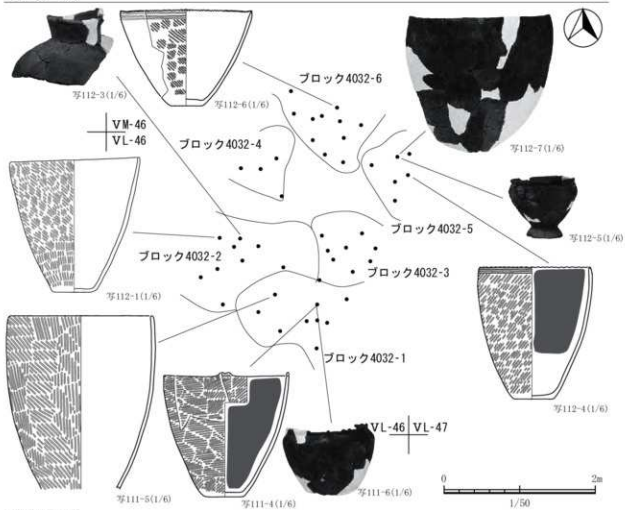


図66 北東捨場地区 ブロック4020・4024 (TR1-4層)



ブロック4030



ブロック4032

図67 北東捨場地区 ブロック4030・4032 (TR1-4層)

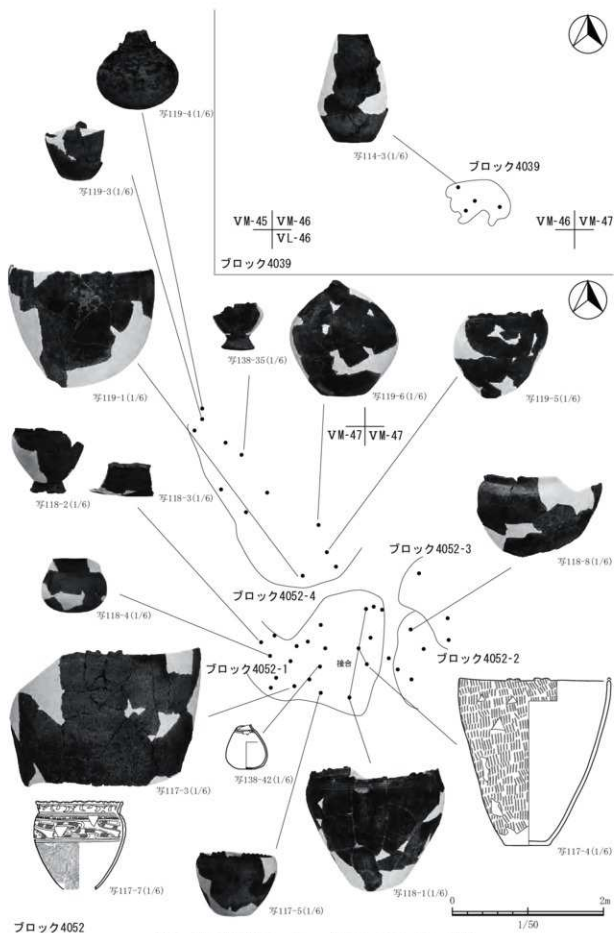
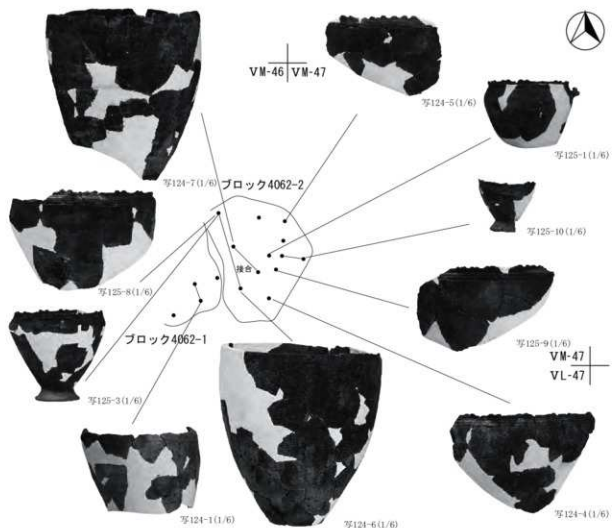


図68 北東捨場地区 ブロック4039・4052 (TR1-4層)

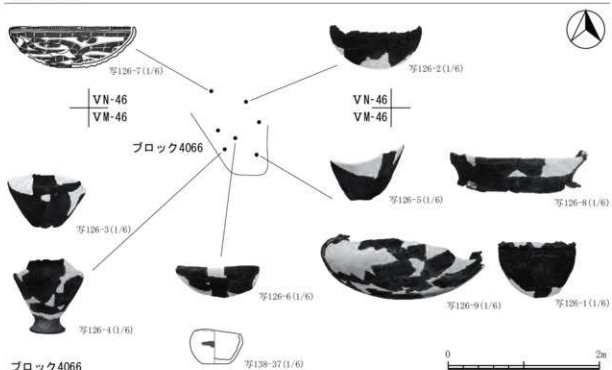


図69 北東捨場地区 ブロック4009・4034・4036・4045・4071・4080 (TR1-4層~TR1-5層)



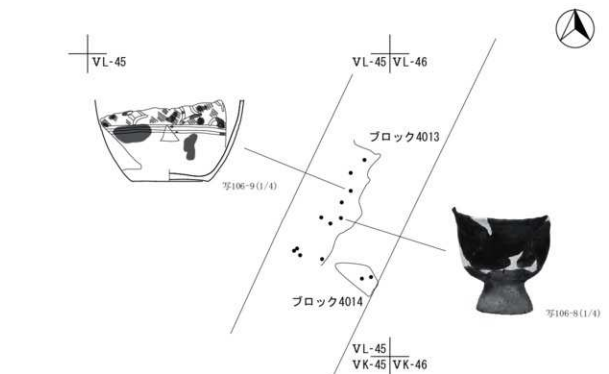


ブロック4062

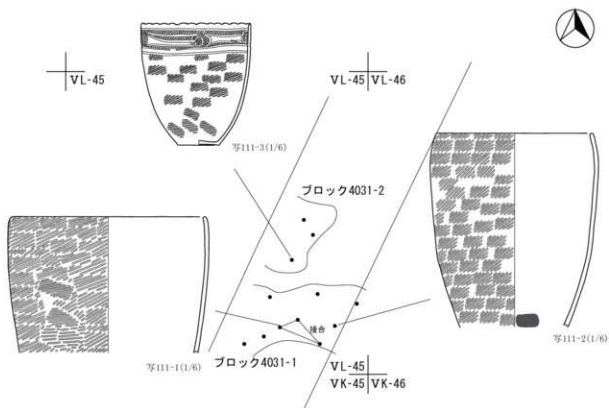


ブロック4066

図70 北東捨場地区 ブロック4062・4066 (TR1-4層)



ブロック4013・4014



ブロック4031



図71 北東捨場地区 ブロック4013・4014・4031 (TR1-5層)

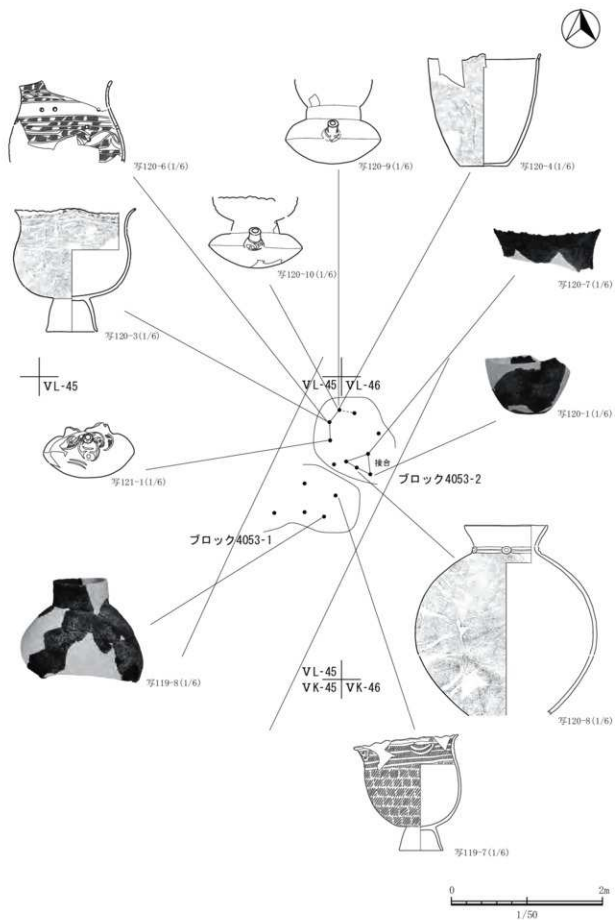
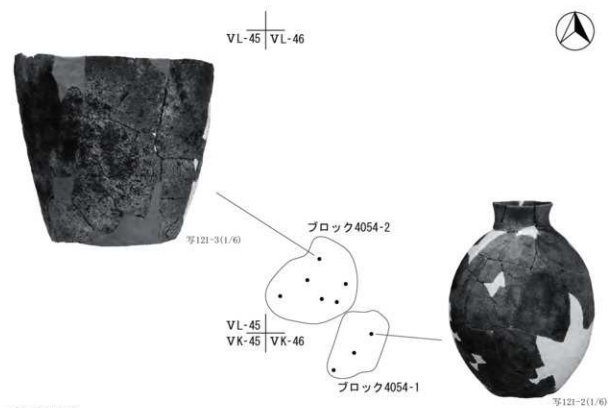
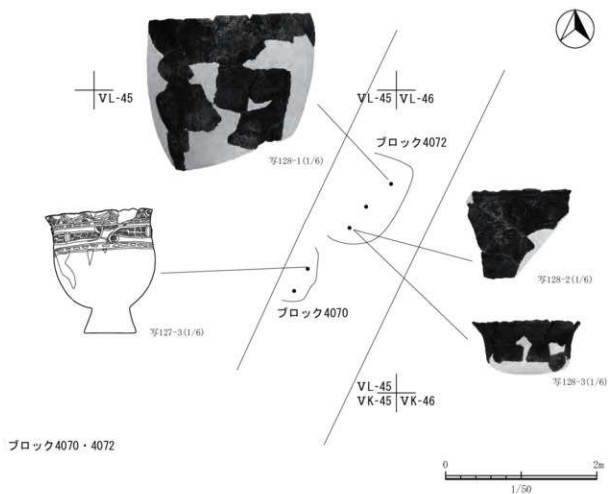


図72 北東捨場地区 ブロック4053 (TR1-5層)



ブロック4054



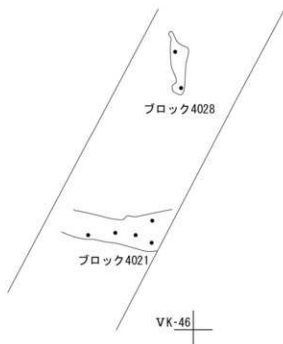
ブロック4070・4072

図73 北東捨場地区 ブロック4054・4070・4072 (TR1-5層)



図74 北東捨場地区 ブロック4022・4029・4042・4069・4073・4075 (TR1-6層～TR1-7層)

VK-46

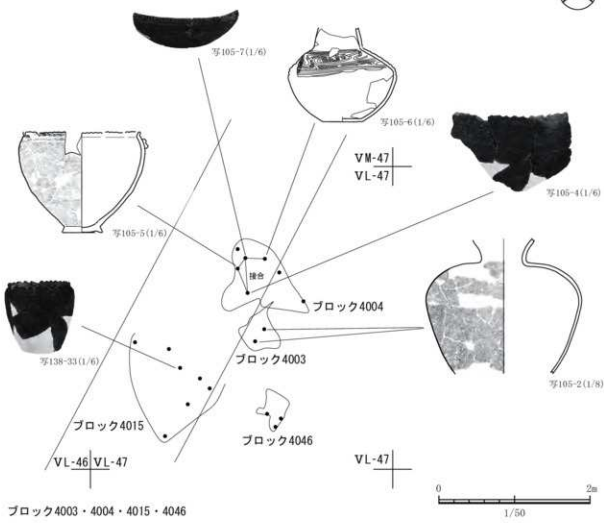


ブロック4028

ブロック4021

VK-46

ブロック4021・4028



写105-7(1/6)

写105-6(1/6)

写105-4(1/6)

写105-5(1/6)

写138-33(1/6)

写105-2(1/6)

VM-47  
VL-47

ブロック4004

ブロック4003

ブロック4015

ブロック4046

VL-46 VL-47

VL-47

ブロック4003・4004・4015・4046

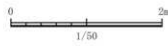


図75 北東捨場地区 ブロック4021・4028 (TR2-1層)・4003・4004・4015・4046 (TR2-a層・TR2-ウ層)

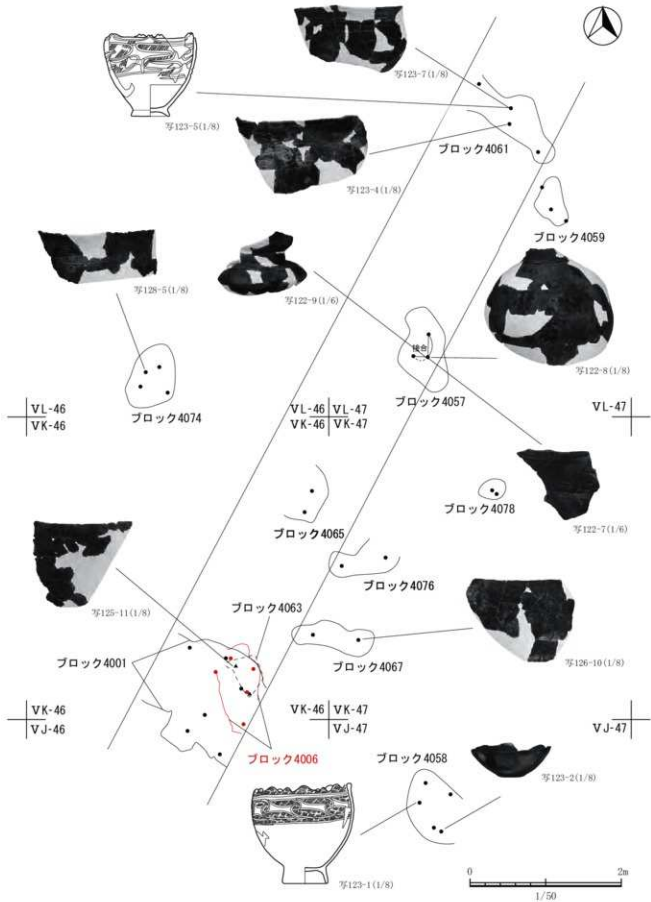


図76 北東捨場地区 ブロック4001・4006・4057・4058・4059・4061・4063・  
4065・4067・4074・4076・4078 (TR2-2層・TR2-エ層)

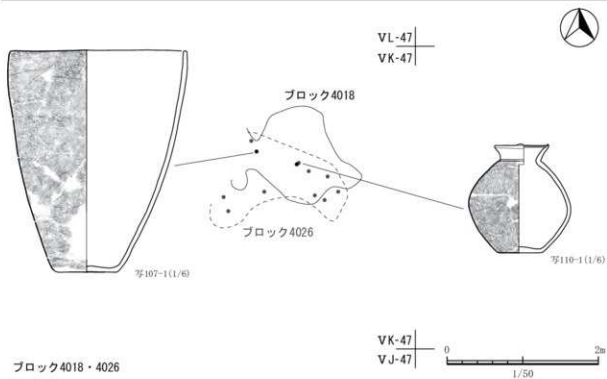
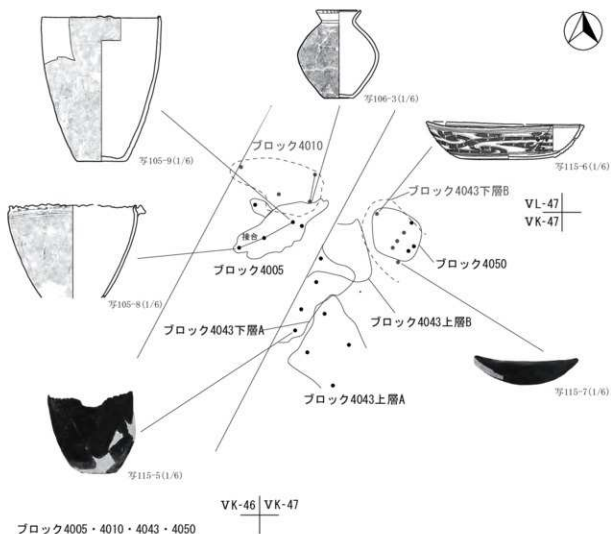
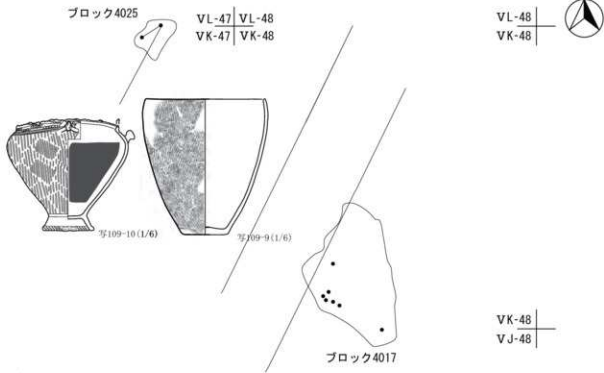
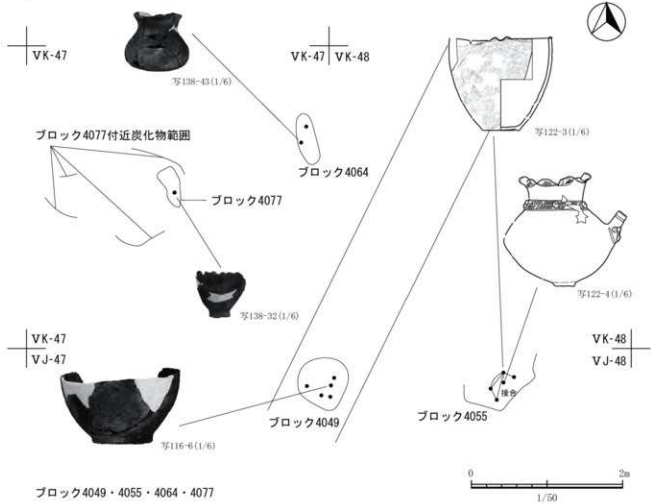


図77 北東捨場地区 ブロック4005・4010・4043・4050 (TR2-b層)・4018・4026 (TR2-y層・TR3-c層)





ブロック4017・4025



ブロック4049・4055・4064・4077

図78 北東捨場地区 ブロック4017・4025 (TR3-a層・TR3-ア～TR3-イ層)  
・4049・4055・4064・4077 (TR3-d層～TR3-e層)

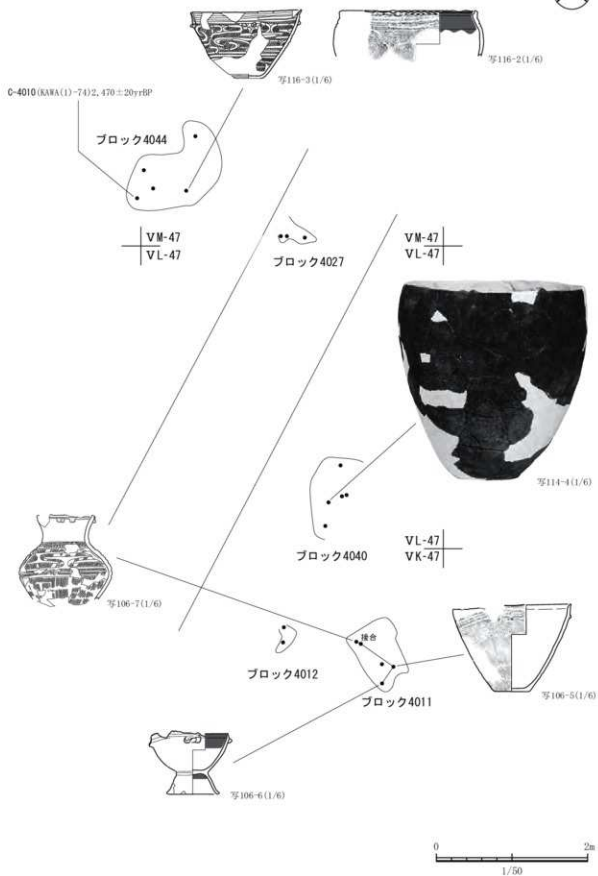


図79 北東捨場地区 ブロック4011・4012・4027・4040・4044 (TR3-b層～TR3-c層)

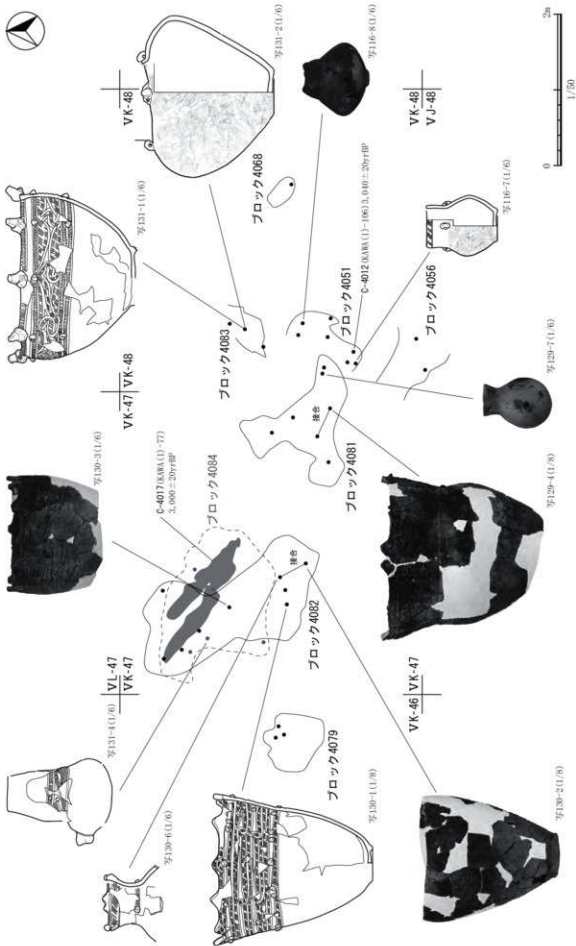


図80 北東落場地区 ブロック4051・4056・4068・4079・4081・4082・4083・4084 (TR3-e層~TR3-f層)

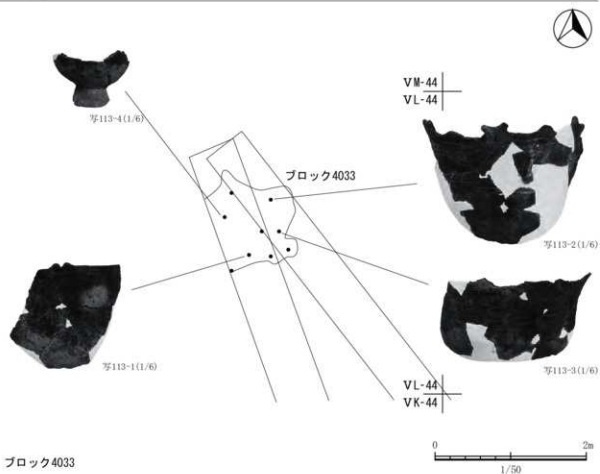
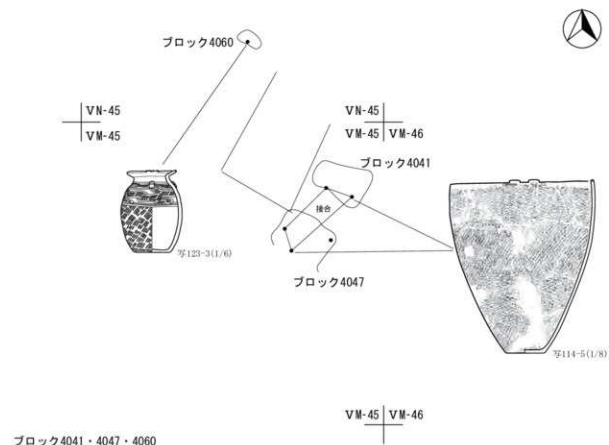


図81 北東捨場地区 ブロック4041・4047・4060 (TR5-2層) ・4033 (TR6-2層～TR6-3層)

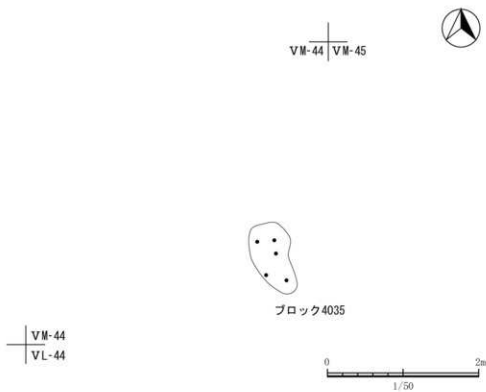


図82 北東捨場地区 ブロック4035 (確認面)

## 第4節 出土遺物

### 1 土器

北東捨場地区出土土器は総重量約3300kgである(図83・表4)。その分布は、出土量が500kgを超えるVL-46・47グリッドを中心とし、その周囲のVM-46・VL-45・VK-47グリッドで300～400kgとなり、周縁に向かうにつれて出土量が減少する。器種は深鉢(粗製・半精製)・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・壺・注口がある。時期は縄文時代後期7-4期から晩期5期を主体とし、縄文時代中期の土器もわずかに出土した。本地区出土土器については、遺構内・外あわせて281点について、図化あるいは写真掲載した(図84～96、写真104～136、表13)。

#### トレンチ1

上層のTR1-1層～TR1-2層及びTR1-a～TR1-d層からは晩期中葉から後葉(晩期3～5期)の土器を主体とする。器種は深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・壺である。TR1-a層から晩期中葉～後葉の粗製深鉢(写132-1)・浅鉢底部(写132-2)、TR1-1層から晩期1a～1b期の長頸の壺(写132-3)、TR1-c層から晩期中葉～後葉に比定される壺(写132-4)、TR1-2～2-a層から粗製深鉢(写132-5)・短頸の壺(写132-6)が出土した。

中層のTR1-4～TR1-4.5層では晩期前葉から中葉の土器がみられ、晩期3期の土器を主体とする。器種は深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・台付皿・注口・壺である。写132-7は入組三叉文と推定される文様のある浅鉢、写132-8は透かし孔の台部をもつ台付皿、写132-9は雲形文のある皿である。TR1-4.5層からは沈線と刻目による羊歯状文を施した半精製の鉢(写132-10)が出土し、内外面が白色を呈するのが特徴的である。このタイプの台付鉢は本遺跡でも一定量出土しているが、その多くが黄褐色あるいは褐色の色調であり、白色を呈するものは稀である。

下層のTR1-5～TR1-8層では、後期7-4期から晩期1b期にかけての土器がみられる。器種は深鉢・鉢・台付鉢・注口・壺である。TR1-4.5～5層出土の写133-1は晩期1bの注口である。TR1-4.5～7層出土の写133-2は後期7-4に比定される注口であり、外面に粘土紐を貼付し、その結節点に扁平な貼瘤を施す。頭部付近に赤色顔料が付着する。また、写133-3は晩期1a～1b期の注口であり、基部に三叉文が施されている。TR1-5層では晩期1b期の注口(写133-4)、TR1-5～3-e層からは晩期1a～1b期の注口(写真133-5)と晩期1b期(写133-6)、TR1-5～8層からは晩期1a～1b期の注口(写133-7、8)が出土している。また、TR1-6～7層からは後期後葉～晩期に比定される粗製深鉢(写133-9)、TR1-7層から後期後葉の注口(写134-1)が出土している。

#### トレンチ2

上層のTR2-イ層～TR2-ウ層は晩期中葉から後葉(晩期3～4期)の土器を主体とする。TR2-イ層からは口縁部に横位沈線、2個一組の突起のある晩期4期の台付鉢(写134-2)、その下のTR2-ウ層からは晩期3～4期の深鉢・台付鉢・浅鉢・壺がまとまって出土した。

中層のTR2-b層からTR2-1層では晩期前葉から中葉(晩期3期)の土器を主体とする。TR2-1層からは晩期前葉の壺(写134-3)が出土した。TR2-b層からは晩期3～4期の深鉢・片口鉢・浅鉢・鉢・皿・

壺が出土した。写134-4は内外面に赤色顔料が施された鉢である。TR2-y層から晩期前葉から中葉の深鉢（写134-6, 7）・台付鉢（写134-8）・浅鉢（写134-9）が出土した。このほか、TR2-z層から十字型・ハート型の透かしを持つ器種不明の土器（写134-5）が出土した。

下層のTR2-2層からTR2-4層では後期後葉から晩期前葉（後期7-4期から晩期1b期）の土器を主体とする。最下層であるTR2-3層及びTR2-4層からは出土遺物が少ない。その上位にあるTR2-2層からは深鉢・台付鉢・浅鉢が出土した。後期7-4期から晩期1b期の土器が多い。ブロック4001及び4074からは波状口縁で外面に入組文配置した鉢（写104-15・128-5）が出土した。同一層であるTR2-エ層からは、後期8期から晩期1b期の深鉢・台付鉢・鉢・注口・壺が出土した。TR2-エ層とTR3-e層の境からは晩期1b～2期の土器が出土した。

### トレンチ3

上層のTR3-z層からTR3-i層では晩期3～4期の土器を主体とする。最上層であるTR3-z層では土器は少ない。その下位のTR3-b層～TR3-c層では晩期3～4期の深鉢・台付鉢・鉢・壺が出土している（写134-12・13, 136-1, 2）。さらに下位のTR3-a層からも晩期3～4期の深鉢（写134-10）・台付鉢（写134-11）が出土している。また、TR3-a層と同一層であるTR3-a層、その下のTR3-a2層・TR3-i層からは遺物は少ない。

下層のTR3-d層～TR3-f層では後期後葉から晩期前葉（後期7-4期～晩期1b期）の土器が出土した。器種は深鉢・台付鉢・壺・注口がある。TR3-g層からは遺物少ない。TR3-d層・TR3-d2層から香炉（写135-1, 2）、TR3-e層からは後期後葉の注口（写135-3, 4）、TR3-e層とTR3-f層の境から後期後葉から晩期の深鉢（写135-6）・鉢（写135-5）、後期7-4期の台付深鉢（写135-8）・鉢（写135-7）が出土している。

### トレンチ5

TR5-1層からTR5-3層において晩期1a～3期の深鉢・鉢・壺・台付鉢が出土している（写136-3・4）。

### トレンチ6

TR6-2層からTR6-3層において後期後葉から晩期前葉の深鉢・鉢・壺・台付鉢が出土している。

### その他特筆される土器

**赤色顔料の塗られた土器**：ブロック4081で内外面に赤色顔料が施された土器が出土した（写129-6）。器種は壺と推定される。胎土は粗く、頸部と体部の境に横位沈線と突起があり、RL縄文が施されている。内面にも付着していることから、赤色顔料容器の可能性もある。

**発泡土器**：土器表面が被熱により変形・変質した状態の土器を「発泡土器」とした。重量が軽く、器面に多数の気泡が認められ、色調は青灰色あるいは黄褐色を呈する。北東捨場ではVL～VN-45・46グリッド、TR1-a層からTR1-4.5層から5点出土した。いずれも粗製深鉢と思われる。写136-6は粗製深鉢の口縁部破片で、歪んで変形している。体部上半に補修孔が1箇所認められることから、焼成後の加熱により変形したことを示唆する。写136-7・9・10は青灰色・暗褐色を呈し、器面に多数の

気泡が認められ、変形している。写136-8は粗製深鉢の口縁部破片で、筒状に変形し、青灰色を呈する。器表面には一部縄文が認められるが、発泡により摩滅している。二次焼成による焼けひずみのある土器については、南捨場地区でも出土し、晩期前半の粗製深鉢（報告書Ⅱ-図77-3）が報告されている。このほか、青森県内では三内丸山遺跡で縄文時代中期の発泡土器が出土している。県外では、栃木県藤岡町藤岡神社遺跡（栃木県埋文1999）や千葉県市原市能満上小貝塚（市原市文化財センター1995）・西広貝塚（市原市教委2007）など、関東・甲信越の縄文時代晩期の遺跡で確認されているが、出土例・報告例は多くはない。

## 自然科学分析

### 【土器付着赤色塗膜分析】

TR2-γ層出土の晩期3期の浅鉢（写134-9）に付着した赤色塗膜の薄片分析及び赤外分光分析を実施した（試料No.12）。赤彩は土器内外面に施されている。外面の赤色塗膜の分析の結果、赤色漆と推定される漆層が2層確認され、赤色顔料はベンガラと推定されている（報告書Ⅶ第7章第2節参照）。

### 【胎土分析】

北東捨場出土土器の一部について胎土分析を実施した（報告書Ⅶ第8章第1節）。胎土分析の評価については、第3節を参照されたい。

### 【土器付着炭化物の放射性炭素年代測定】

放射性炭素年代測定については、ブロック4041・4047出土の深鉢（写114-5）の外面付着炭化物を測定した。この土器は口縁直下から体部半ばにかけて短軸絡条体5類とLR縄文が交互に施されている。測定の結果、2930±20 yrBP（KAWA(1)-143）の年代値が得られている（報告書Ⅶ第5章参照）。

（中澤）



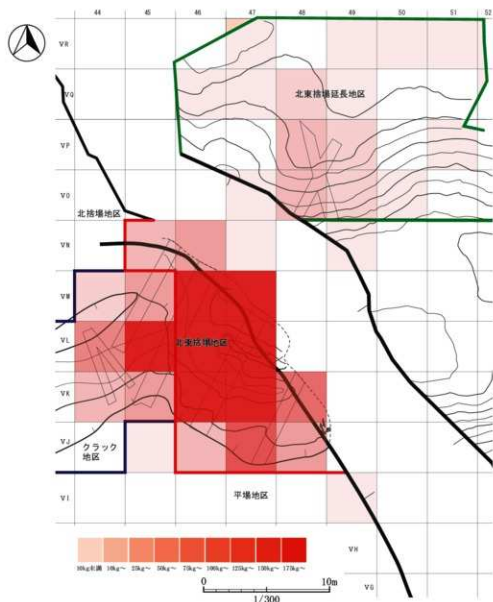


図83 北東捨場地区 土器の重量分布

表4 北東捨場地区 グリッド別土器出土重量

	44	45	46	47	48	49	50	51	52	総計
VR				0.6		0.1	0.4		0.1	1.3
VQ			0.4	0.1	18.9	8.3			0.1	27.8
VP					42.7	19.7		0.1		62.5
V0				4.2	32.8	23.9	0.2			61.1
VN		44.9	53.0	2.4		0.7				101.1
VM	23.4	53.3	324.2	193.7						594.7
VL	86.7	403.5	309.9	517.3						1517.2
VK	49.9	67.4	270.9	382.6	107.9					858.7
VJ		2.3	37.5	135.8	59.4					234.9
VI						3.0				3.0
総計	160.0	571.4	1195.8	1216.7	261.7	55.7	0.6	0.2	0.2	3462.2

単位はkg

【凡例】  175kg以上 300kg以上 500kg以上

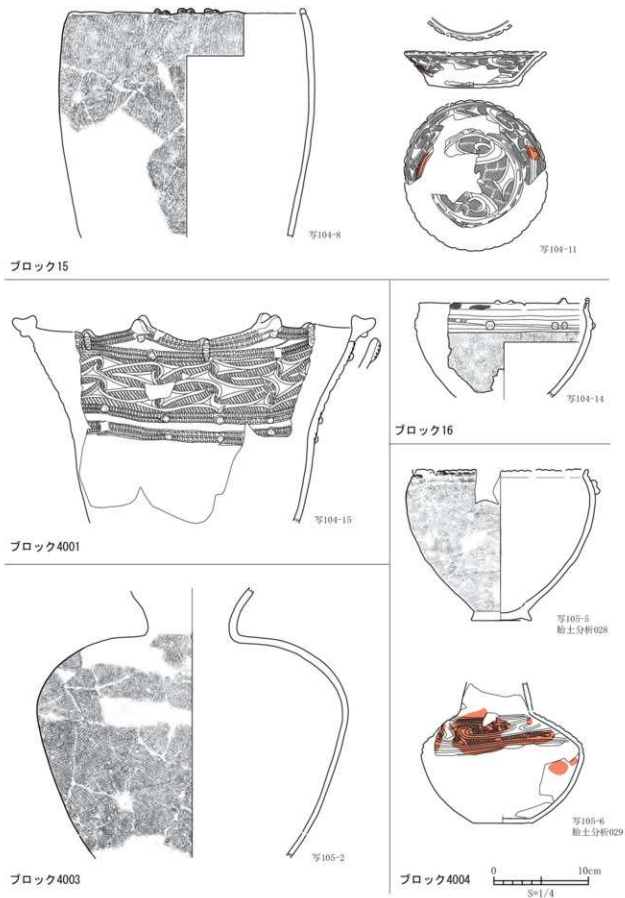
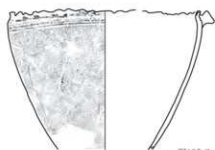
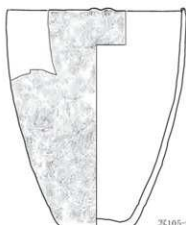


図84 北東捨場地区 土器(1) ブロック15・16・4001・4003・4004



写105-8  
胎土分析023



写105-9  
胎土分析024

ブロック4005



写106-3

ブロック4010

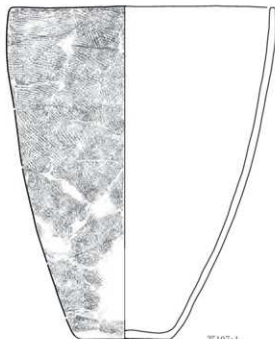


写106-5  
胎土分析027

ブロック4011



写106-6  
胎土分析026



写107-1

ブロック4018



写106-7  
胎土分析025

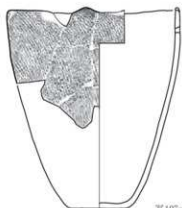


写106-9

ブロック4013



図85 北東捨場地区 土器(2) ブロック4005・4010・4011・4013・4018



写107-2  
粘土分析021

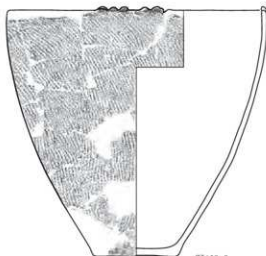


ブロック 4019

写107-8  
粘土分析022

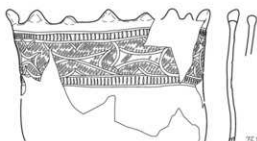


写108-5



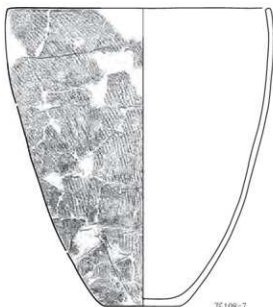
ブロック 4024-1

写108-6



写108-1

ブロック 4022



写108-7

ブロック 4024-1, 4024-2

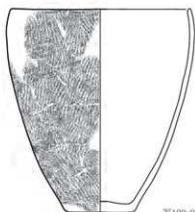


写109-4  
粘土分析019

ブロック 4024-2



図86 北東捨場地区 土器(3) ブロック 4019・4022・4024-1・4024-2



写109-9

ブロック 4025



写109-10



写110-1

ブロック 4026



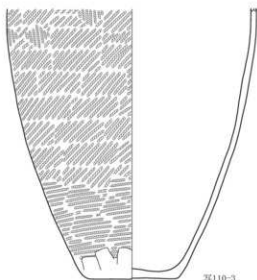
写110-5  
胎土分析014



写110-6  
胎土分析015



写110-7  
胎土分析016



写110-3

ブロック 4030



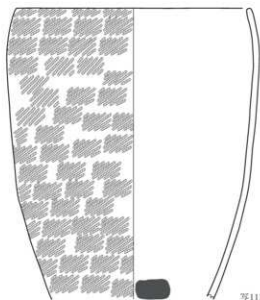
写110-10  
胎土分析017



図87 北東捨場地区 土器(4) ブロック 4025・4026・4030

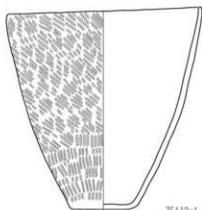


写111-1



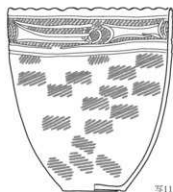
写111-2

ブロック 4031-1



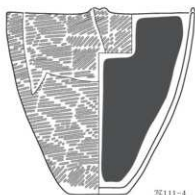
写112-1

ブロック 4032-2

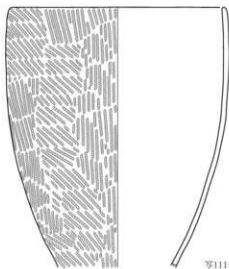


写111-3

ブロック 4031-2



写111-4



写111-5

ブロック 4032-1

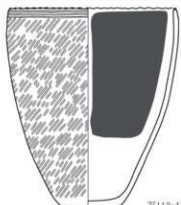


図88 北東捨場地区 土器(5) ブロック 4031-2・4032-1・4032-2



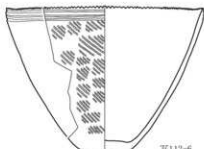
写112-2(赤彩)

ブロック 4032-3



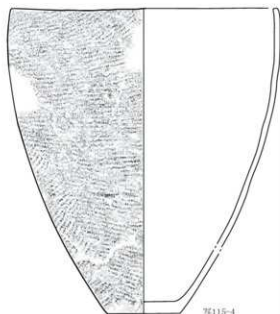
写112-4

ブロック 4032-5



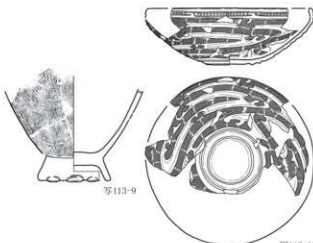
写112-6

ブロック 4032-6



写115-4

ブロック 4043下層A



写113-9

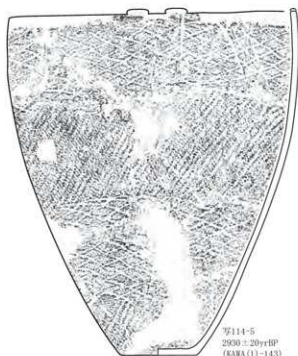
写113-10

ブロック 4037



写114-1

ブロック 4038

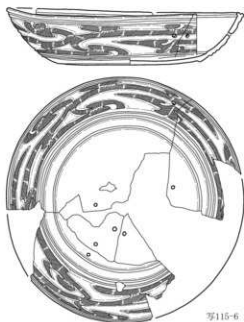


写114-5  
2930 ± 20yr BP  
(KAWA(1)-143)  
粒土分析030



ブロック 4041, 4047

図89 北東捨場地区 土器(6) ブロック 4032-3・4032-5・4032-6・4037・4038・4041, 4047・4043下層A



写115-6

ブロック 4043下層B



写116-1

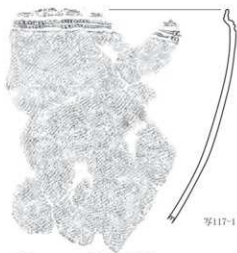
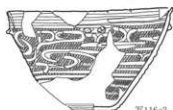


写116-2

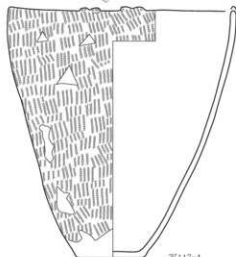


写116-3

ブロック 4044



写117-1



写117-4



写117-6



写117-7



写117-8



写116-7

ブロック 4051 (赤影)



写118-5

ブロック 4052-1

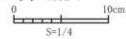
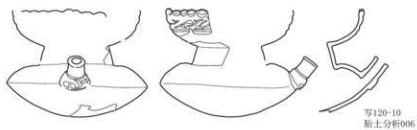
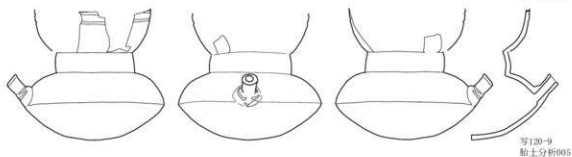
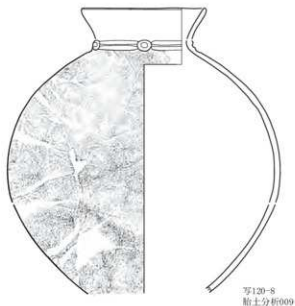


図90 北東捨場地区 土器(7) ブロック 4043下層B・4044・4051・4052-1





ブロック 4053-1



ブロック 4053-2

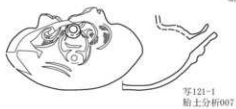


図91 北東捨場地区 土器(8) ブロック 4053-1・4053-2

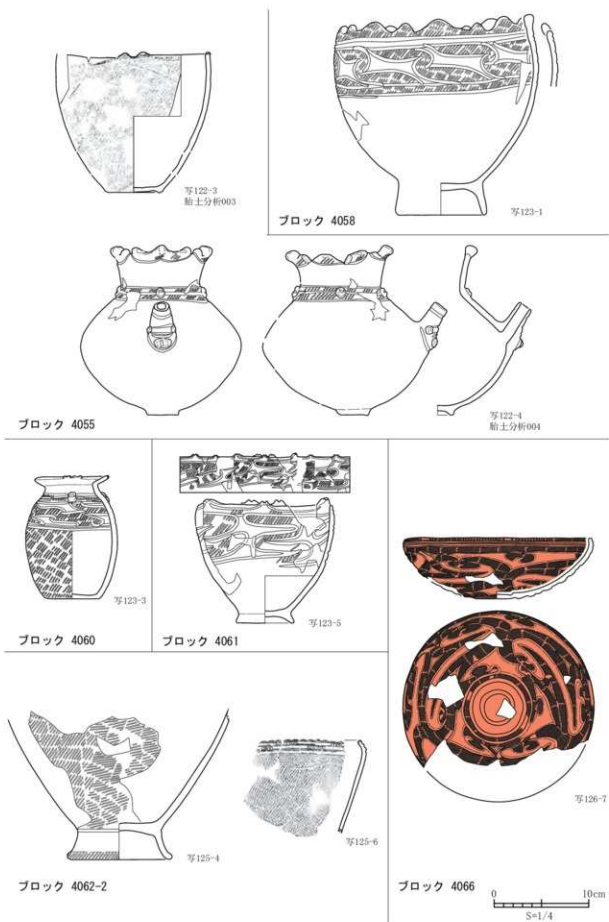
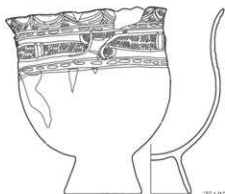
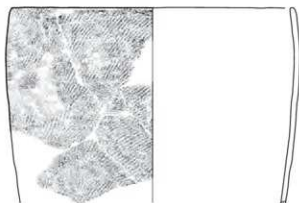


図92 北東捨場地区 土器(9) ブロック 4055・4058・4060・4061・4062-2・4066



写127-3

ブロック 4070

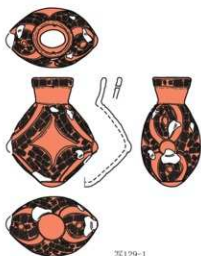


写128-6



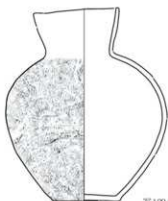
写128-7

ブロック 4075

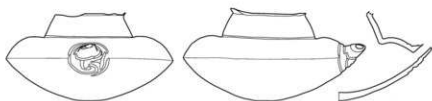


写129-1

ブロック 4078



写129-2  
粘土分析012



写129-3  
粘土分析011

ブロック 4080

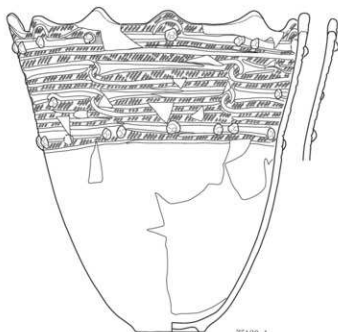


図93 北東捨場地区 土器(10) ブロック 4070・4075・4078・4080



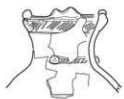
写129-6  
(赤彩)

ブロック 4081

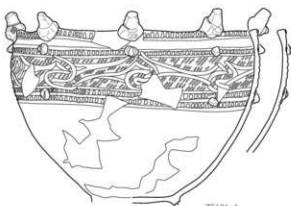


写130-1

ブロック 4082



写130-6

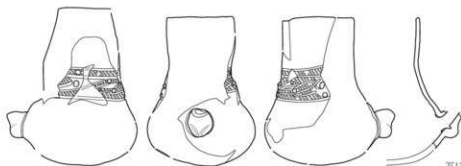


写131-1  
胎土分析001

ブロック 4083



写131-2  
胎土分析002



写131-4

ブロック 4084



図94 北東捨場地区 土器(11) ブロック 4081・4082・4083・4084

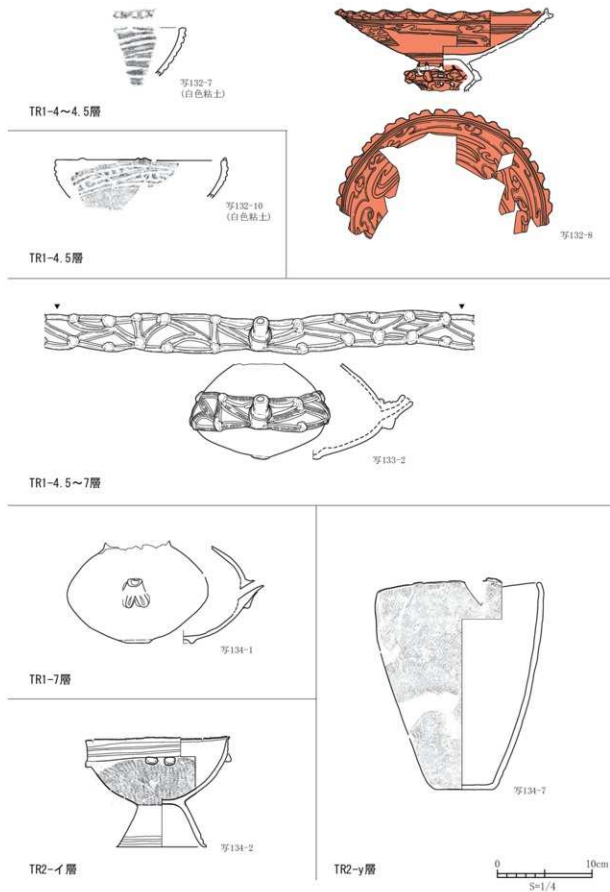


図95 北東捨場地区 土器(12) トレンチ1・トレンチ2

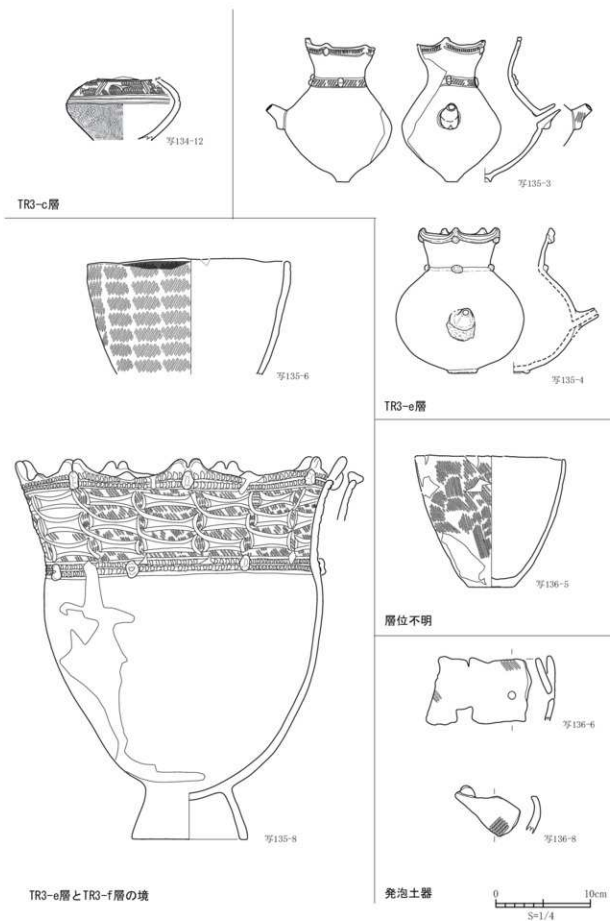


図96 北東捨場地区 土器(13) トレンチ3・その他

## 2 土製品

北東捨場地区からは、土偶10点、ケムシ形土製品1点、土製勾玉1点、耳飾り3点、有孔土製品2点、棒状土製品1点、粘土塊4点、円盤状土製品6点、ミニチュア・小型土器16点の計44点が出土した(図97~99、写真137~138、表12)。

**土偶** (図97-1~6・10・11、図98-18、写真137、写138-44)

土偶は10点出土した。土偶は中実と中空とに分かれて土偶を製作している。5の中実は頭頂部が平坦で皿状に顔面を施文せず、いかり肩を呈する。2は中実の手づくね土偶で体部の中央部に凹みをもつ。5は腕部が張る小形土偶である。4はアスファルトが付着、3は漆(?), 11は赤色顔料が付着し、18は赤色顔料と白色付着物がみられる。

**土製品** (図97-12・13、図98-14~32、図99-33~43、写真137~138)

**ケムシ形土製品** (図97-13) は1点出土した。当初は香炉形土器の一部とも考えられたが、断面が湾曲し、先端部(頭)及び側縁部に貼り出し(手・足)を表現しており土製品に分類した。正面は無文・背面に渦巻文・三角形文を施文し、背面のみに赤色顔料を塗布している。青森県では類例を知らず東京都東村山市下宅部遺跡の「ケムシ形土製品」と類似しているのでケムシ形土製品と名称を付した。

**土製勾玉** (図97-7) は1点出土した。無文で端部に穿孔があり欠損している。

**耳飾り** (図97-12・図98-14・15) は3点出土した。15は断面形が漏斗状を呈し、14は滑車形で赤色顔料が付着し、12は中央部に穿孔がみられる。

**有孔土製品** (図97-8・9) は2点出土した。中央部に穿孔があり側縁部に斜位の刻みがあり赤色顔料の付着がみられる。断面形は8が方形・9が槽円形を呈する。

**棒状土製品** (図98-16) は1点出土した。幅0.6cmで細長く両端が欠損している。

**焼成粘土塊** (図98-17・19~21) は4点出土した。直径2.0cmの小形なものと21から、6.5cmの大形なもの19があり表面は凹凸している。

**円盤状土製品** (図98-22~27) は6点出土した。深鉢・鉢の胴部破片で、すべて縄文を施文し、スス状炭化物の付着がみられる粗製土器である。25は周縁部を全体に擦っており、23・24は一部を擦っている。形態は円形が主体であるが、27は方形を呈する。

**ミニチュア・小型土器** (図98-28~32、図99-33~43、写真138) は16点出土した。29は全体に傾いており、37・42は赤色顔料を塗布している。33~35の鉢・台付鉢にはスス状炭化物が付着している。壺は形態が胴部が張り出すものと張り出さない二種の形態がみられる。28・43は注口土器、28は胴部が算盤状、43は壺に注口がつけられており、普通の器種にはみられないものである。

(成田)

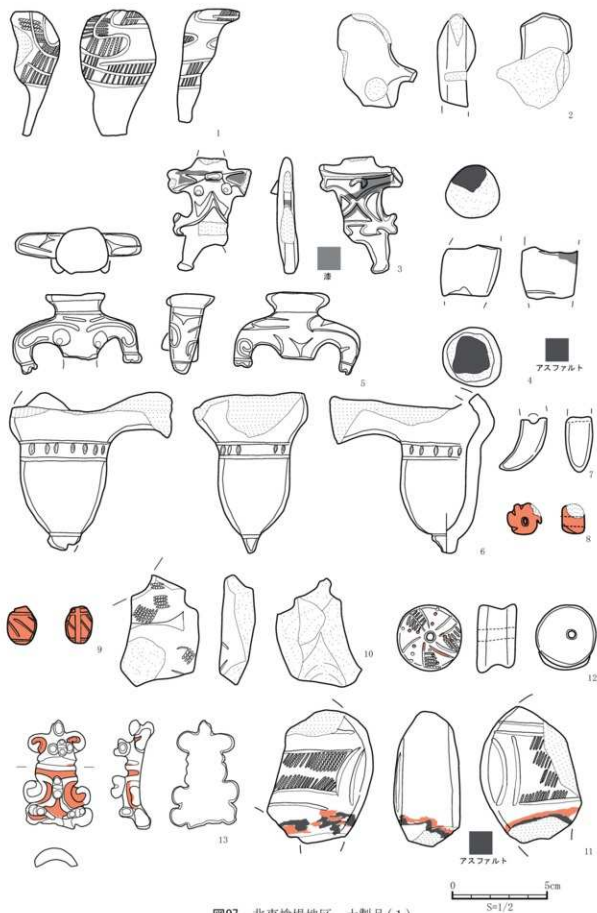
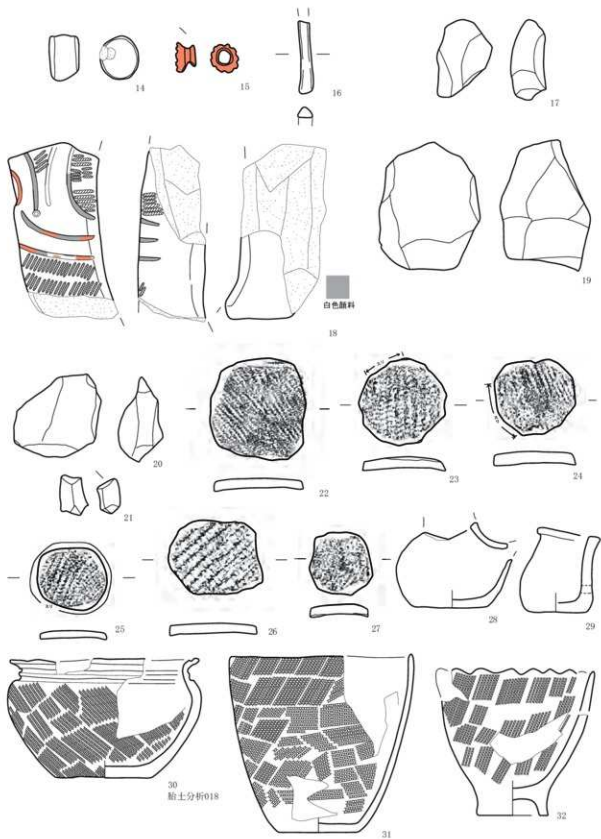


図97 北東捨場地区 土製品(1)





0 5cm  
S=1/2

図98 北東捨場地区 土製品(2)

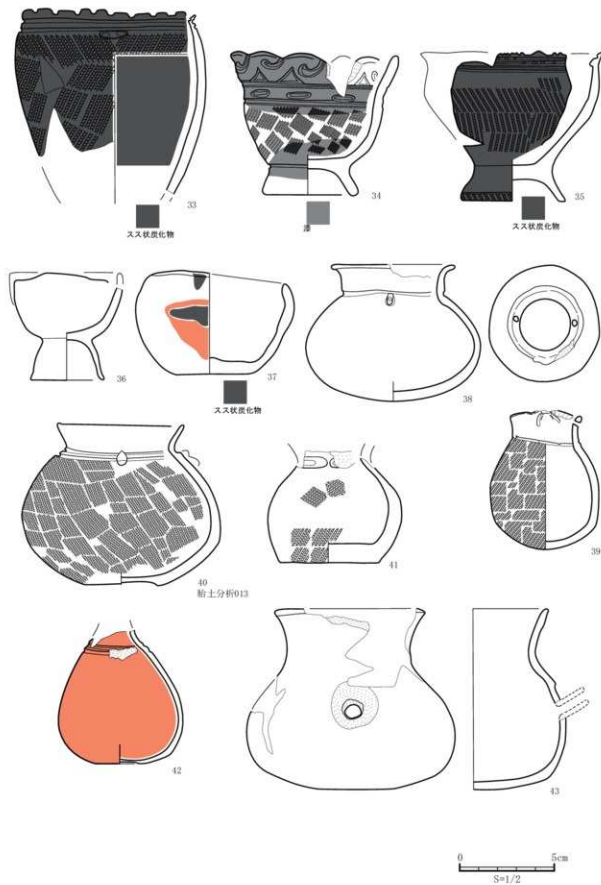


図99 北東捨場地区 土製品(3)

### 3 石器

東捨場と同様に、北東捨場でも写真掲載を基本とした。より細かく細分されている北東捨場の土層に対応させて、同種の石器においても若干離れて掲載したものがあがる(図100~108、写真139~162、表16)。

#### 剥片石器

一括出土品を除き写139-1~143-19、写143-23に掲載した。石鏃は有茎凸基鏃が多くを占め、丁寧な加工で整った左右対称のものが多い。写139-41の基部は二つの突起にわかれる異形の石鏃である。51~70は石錐である。石錐はほとんどが珪質頁岩であり、黒曜石製のものを含まない。68は、石鏃転用の可能性のある石錐であり、尖端部が摩耗している。同71~75は、石篋である。石篋には珪質頁岩のみ使用されている。写140-1~141-17は石匙である。東捨場と同様に、横型が主体である。丁寧な加工でアスファルトの付着率が高い。縦型石匙はつまみ部のみ加工したものが多く、つまみ部と対になる左上の部分に抉りを加工して突起を作り出している。このような突起には写140-10のように両側に抉りが設けられることが多いが、片側のみである。写141-18~22・25は石錐未製品の可能性が高いが削り器とした。写141-23・27・29・31及び写142-11・19・20は異形石器である。写141-23は黒曜石、同31・142-11は鉄石英、142-20は玉髓と石材及び色は多様である。

写141-30は大形の石核で、縁辺から求心的に剥片を剥離している。写142-6は、求心的な剥片剥離が両面で行われている。同5は、縁辺の剥離面を打面として、さらに剥離を進行させたものであり、端部が尖った形状に近づいている。写143-19は三稜状で両端が尖る状態まで剥離が進行したものである。中央部で最後の剥離と敲打を行い、抉りが作りだされている。上下と左右が線対称に近づくため、異形石器に形状が類似する。写142-1は上面の打面から縦長の剥片が剥離されている。写141-24・32~34・142-8・143-8・9・10・13・16は石核転用敲石である。敲打の際の衝撃が小さく制御しやすい小形品が中心である。石核の変形という意味から石核とあわせて掲載した。写142-23は玉髓の原石を用いた敲石であるが、同様に扱った。写143-7・15・23は黒曜石製石核である。

(齋藤)

#### 一括出土石器(特4005)

北東捨場地区の中でVL-46グリッドのTR2-b~TR1-4層から特4005(剥片集中)として、剥片を中心に84点取り上げられている。石器の色や質をもとに母岩別に分類し、10のグループに分類できた。その中で、最も多い母岩1については、接合作業を行い、9個体の接合資料が得られた。川原平(1)遺跡から出土する珪質頁岩の中でも珪酸分が弱い部類にはいるが、同様な質のものも石器として加工されている。

図101~103に主要な物であるA~Dを図化した。接合資料は図よりもカラー写真の方が理解しやすい。図示しなかった資料も紹介できる。そのため、写真144~147をもとに記載する。

写144-1は石核、二次加工剥片、剥片による接合資料で、9点接合した。個体A(重量849.9g)として記載する。A-1・3~8が剥片、A-2が二次加工剥片、A-9が石核である。1'にはA-1~4を除いて正面からみた写真を置いた。正面に節理面、上面に礫面が残る。途中で打面調整等を行った痕跡はみられ

ない。剥片剥離工程としては、初めに下方向から剥片を2枚剥離する(A-1・2)。次に打面を180°転移し、剥片を1枚剥離する(A-3)。その後、打面を90°転移し、同方向から連続して5枚の剥片を剥離する(A-4～8)。ここまでで得られた剥片は、A-1が縦型の石匙や削器、A-3・4が石鏃になり得る素材である。また、それ以外は比較的厚手の剥片である。珪化の弱いこともあり、廃棄されることが多いものと考えられるが、厚形の削器になり得る素材である。

写145-1の接合資料は、個体B(重量244.6g)として記載する。正確にはB-1～5の5点の接合品と、B-6・7の2点の接合品に分かれ、B-3とB-6の間の剥片が1枚欠失しているために接合しない。しかし、ほぼ位置が特定できるため、あわせて図化し個体Bとした。写真及び図では、B-3とB-6の間隔を1mm程度としたが、1cm程度離れる可能性もある。正面に礫面が残る。剥離工程は、初めに上方向から6枚剥離する(①～⑥)。この時、③においては打面に数回打撃を行った痕跡がみられる。また、B-5は折損しており、剥片剥離時はB-1～4及びB-6と同じ打面から剥離したと考えられる。その後、打面を90°転移し、1枚剥離する(⑦)。⑦を剥離する際に、数回の打撃により打点の稜が潰れていることから、頭部調整を行った可能性がある。これらの剥片はB-1・6が石鏃、B-3が石匙や削器になり得る素材である。

写145-2の接合資料は、剥片3点の接合品である。個体C(重量118.5g)として記載する。正面に個体Bと類似した礫面が残る。接合はしないが両者は本来は近い位置にあったものと考えられる。頭部調整等を行った痕跡はみられない。全て上方向からの打撃により剥離されている(①～③)。これらの剥片は全て石匙や削器になり得る素材である。

写146-1は剥片3点の接合資料であり、個体D(重量107.8g)として記載する。正面と右側面に節理面、上面に礫面が残る。頭部調整等を行った痕跡はみられない。個体Cと同様に全て上方向からの打撃により剥離されている(①～③)。①においては数回打撃を行った痕跡がみられる。これらの剥片は、D-3が石鏃や削器、D-1・2がそれに加えて石匙や石筥になり得る素材である。

以上の個体A～Dは石材の質や混入物、色調等から同一母岩であるが個体としても同一の可能性はある。写真147には、その他の接合資料と主要な剥片を記載する。

写147-1～5は2点の剥片が接合したものである。礫面を残すものがみられるのは個体A～Dと同様であるが、接合しなかった。6以下は、未接合の剥片である。6と11が削器素材となり得る縦長剥片である。これらも礫面や節理面が残るものがみられる。

今回紹介した接合資料は、個体Aの礫面の外郭からみて、分割される以前は大形の礫であったと推測され、そのような大形原石を採取後、分割し、石器製作に利用していることが分かる事例である。また、これらの資料は、頁岩の中でも珪質分が少ないように見受けられる。

一方、川原平(1)遺跡で出土した頁岩製の剥片石器は珪質分の少ない頁岩も利用してはいるものの、良質な珪質頁岩が大半を占める。このことから、これらの接合資料は、石器製作に利用するための剥片を剥離しようとしたものの、中核部分でも珪質分の少ないものしか獲得できず、一部を除いて捨場に廃棄したと考えられる。石鏃や削器、石匙の素材となり得る形状の剥片も利用しなかった。

また、写真146の2には母岩1の、他の剥片24点を掲載した。小形削器の素材になりそうな物は1～2点である。他に写真から漏れた剥片が1点あるが、石器素材とはならない。母岩2は、砂岩であり剥片石器には質的に不向きである。同時に出土した18点の剥片は母岩3～10と8種類に分類できる

が、礫皮付近の灰白色の軟質部の割合が高いものや、被熱により表面等が変質しているものがある。石器素材となりうるものはない。母岩1に由来するものを含め、最終的に利用されなかった石器素材等を捨場に一括廃棄したものと考えられる。(久保・齋藤)

#### 磨製石斧

磨製石斧は写真143(図104)に掲載した。石材は安山岩、緑色岩、緑色片岩である。

写143-20は、緑色片岩製であり、扁平な形状である。刃部などは剥離されている。写143-22は、緑色岩製で、基部が欠損し、破損面を中心に敲打痕が見られる。

(高橋)

#### 礫石器

写真148～162、171-5に掲載した。磨石類は磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順で掲載した。磨石では花崗岩が多いが凹石は凝灰岩が多い。写151-2は真円に近い形状の円盤状の礫を素材としている。側面使用の敲石としたが、石製円盤の可能性もある。

写155-1は、隅丸方形の板状礫の両面中央に浅い凹痕が形成される凹石である。軟質の緑色凝灰岩製であり、素材礫が方形に近く、石製品を思わせる形状である。同7は二次加工のある礫で礫器とした。

石皿は石材や縁ありと縁なしと形状の多様性がある。写156-7・8は中高の石皿である。8は正面の下部に石皿の縁が低い部分がある。裏面には脚部と考えられる二つの突起を上部に作り出している。裏面にも磨面が形成され、写真で中央に白く見える部分の下側に、敲打痕がある。また、裏面の中央部左側から下部左側には、器形に沿って溝状に敲打痕が連続する。その延長上の下部右側にも敲打痕があり、当初の意匠としては溝を下部に半周させようとした可能性がある。写162-10は両側縁に剥離があり、大型の石錘の可能性もある。

礫についても本項で述べる。写170-4は石皿に類した窪みを持つ自然礫である。同9は有孔の自然礫である。同10～12は緑色凝灰岩の玉素材であり、12は器表面に光沢を持つ。

(齋藤)

## 4 石製品(図109～114、写真163～173、表16・17)

石器と同様に写真番号をもとに記述するが図化の進んだ岩板は図番号で記述する。

#### 石棒類

石棒類は写真163、164(図109・110)に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写163-1は、内反りの石刀である。柄頭と先端が欠損している。柄部付近に2条の沈線が巡る。また、峰にそって沈線が1条走る。柄部は北東捨場から、刀身は川原平(4)遺跡の北東捨場延長地区から出土している。写163-2は、点紋粘板岩製の石剣である。柄部が欠損している。写163-3は、大形品である。

同一グリッド・層から出土したものの同士が接合した。柄部は破損している。写163-4は、大形品の胴部資料であり、表土とTR3-e層とが接合した。写163-5は、断片資料であるが、一片が西捨場から出土している。写163-6は、凝灰岩製である。写163-7は、柄頭と胴部の境に2条の沈線が巡る。写163-8は、蛇頭形の柄頭を持ち、柄頭部にX状の沈線文が施され、沈線内に赤色顔料が残されている。柄部には敲打痕が残されている。写163-9は、点紋粘板岩製石剣である。柄頭と胴部の境に1条の沈線が巡る。写163-10は、柄頭と胴部の境に2条の沈線が巡る。写164-4は、3分割された石棒断片である。中心の破片が東捨場のIVX-52グリッドから出土している。写164-5は、安山岩製であり、敲打で整形されている。

写真のみの掲載は、胴部や先端部などの断片である(写164-1~3)。

(高橋)

#### 岩版(図111)

形態は端部が丸みを有する楕円形(図111-5・7・9)と端部が平坦なもの(図111-1・6)の二種の形態が存在する。

図111-1は、中心部に正中線を施文し、左右に三角形文を充填しており、浮彫的技法を用いて施文している。同3・5・7は眉・目・口を表現する。3・5は左右に弧状文、7は渦巻文のC字文を施文している。3は裏面に渦巻文を施文している。9は正中線の左右に弧状文と山形状文を施文している。4は方形文を施文している。

(成田)

#### その他の石製品

線刻礫を写171等に、石製円盤を写166-1~170-3・18に掲載した。写170-18は、器表面に線刻を持つ石製円盤である。石製円盤は形や加工状況、大小の大きさ、石材は多様性がある。写真172~173に集合写真としても掲載した。集合写真毎に円13~22までの番号で北東捨場と北東捨場延長部分をあわせて掲載した。石材毎に撮影することはできなかったが円13は花崗岩、円14は相馬安山岩、円15はデイサイトと安山岩、円16は凝灰岩、円17・18は(緑色)凝灰岩を主体としたものである。円16及び円21には観察表に示したように計5点、西捨場のものが入ってしまったが、西捨場の点数として報告書Ⅶで修正する。円23は石製円盤に形状の類似する礫である。石材と大きさは共通している。

(齋藤)

## 5 その他の遺物(写真174、表18)

漆製品3点、アスファルト3点が出土した。

漆製品は漆塗膜と堅櫛が出土した(写174-1・2)。写174-1は漆塗膜であり、藍胎漆器と思われる。写174-2は結歯式堅櫛の棟部で、平面台形状を呈し、上端に三角形の突起をもつ。体部に数個の瘤状突起が認められる。櫛歯は残存しないが、歯の痕跡が9箇所認められる。西捨場地区でも同形態の堅櫛が出土している(報告書Ⅶ-写280-7~10参照)。

(中澤)

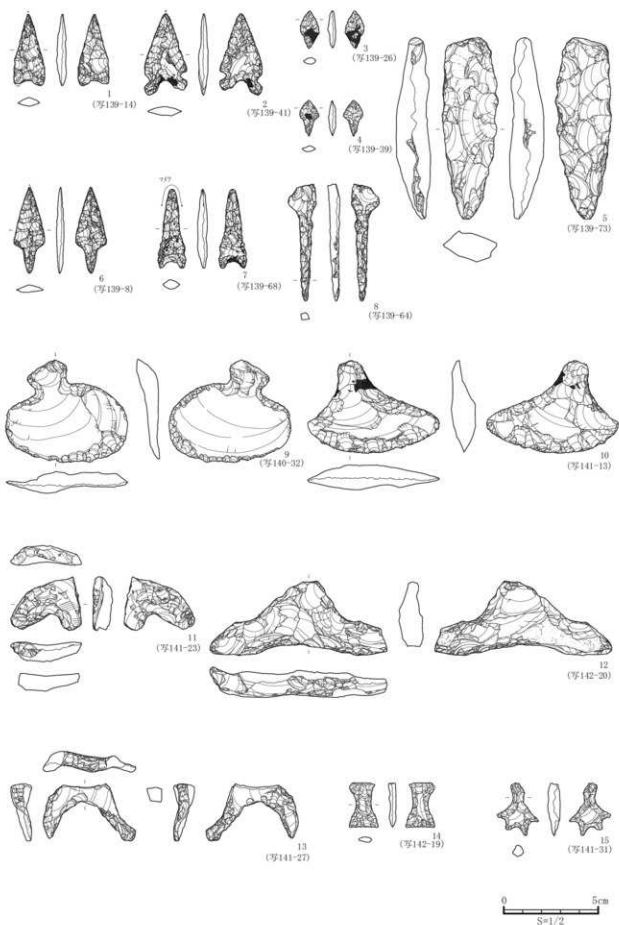


図100 北東捨場地区 石器・石製品(1)

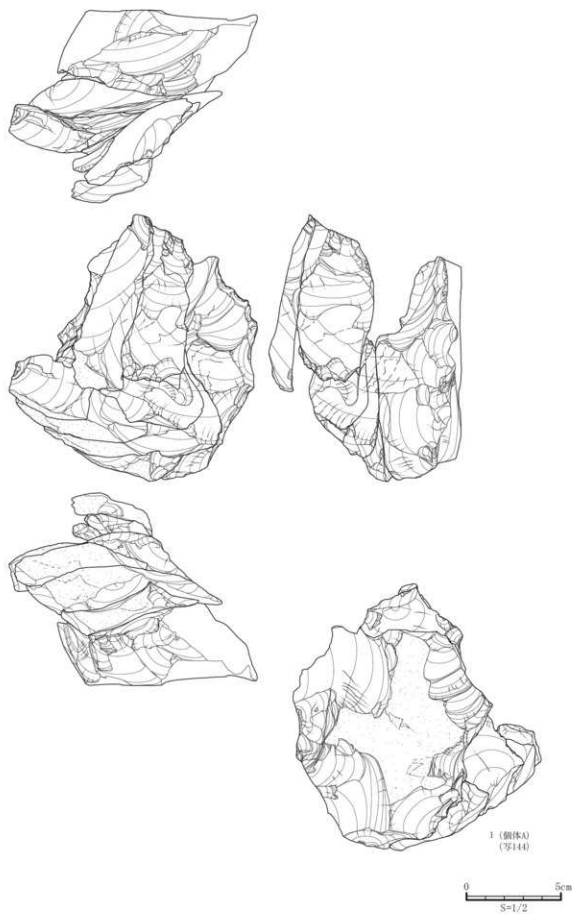


图101 北東捨場地区 石器・石製品(2)



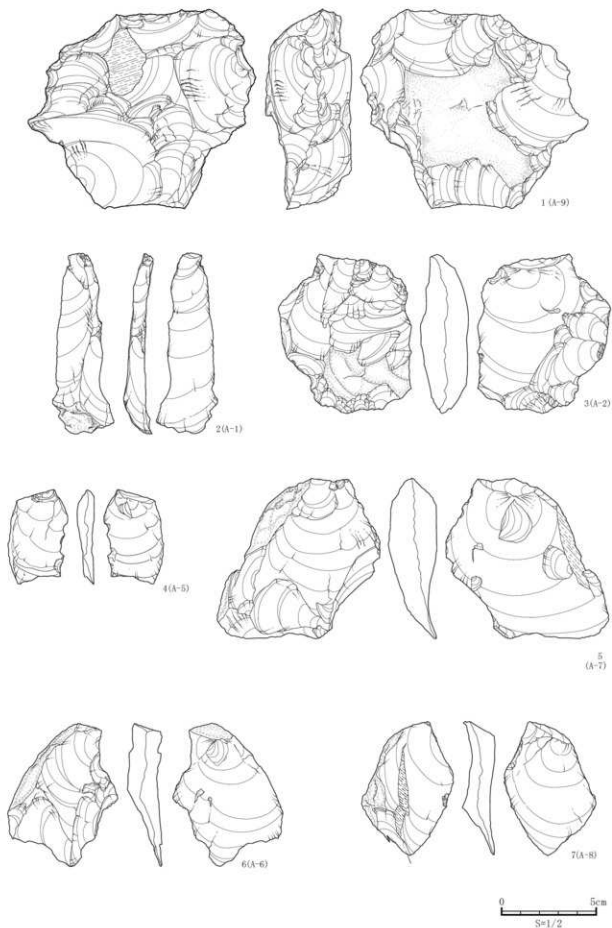


図102 北東捨場地区 石器・石製品(3)

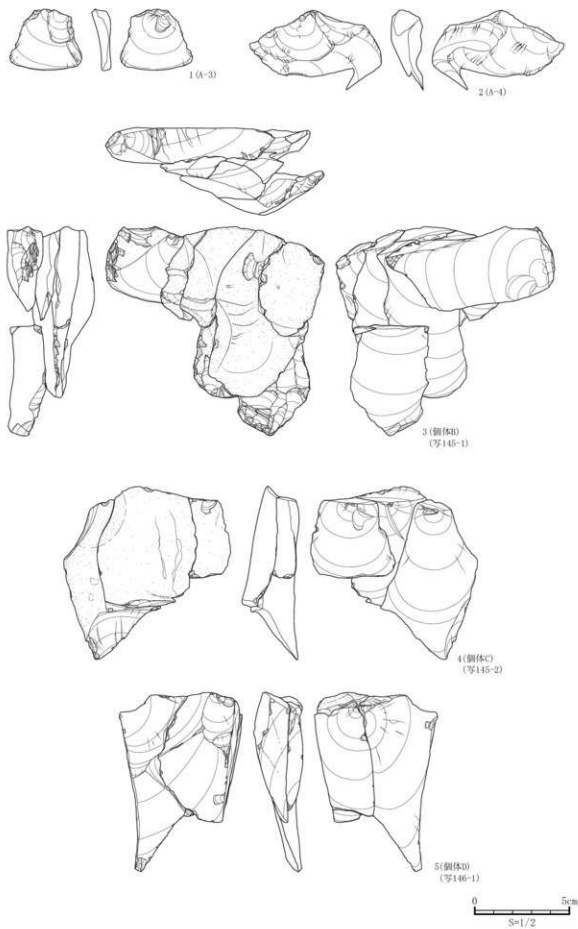


図103 北東捨場地区 石器・石製品(4)



図104 北東捨場地区 石器・石製品(5)

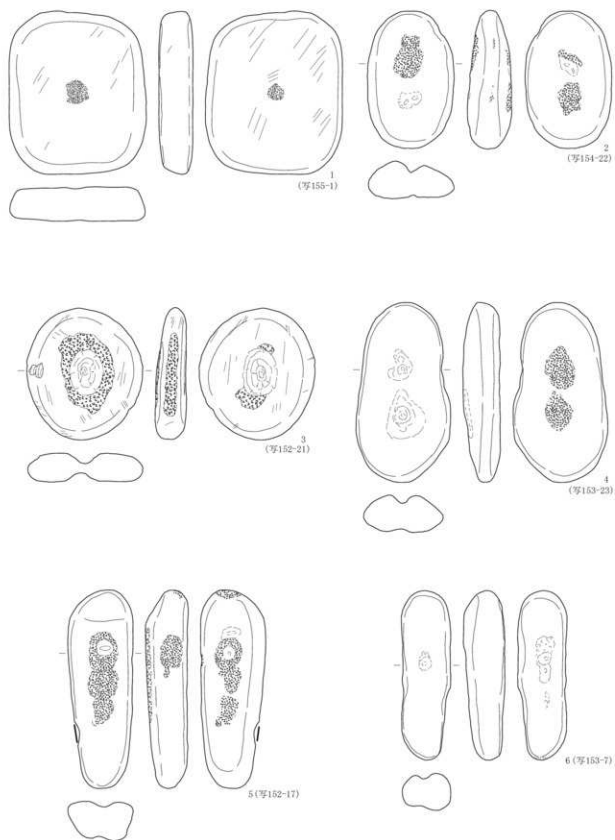


図105 北東捨場地区 石器・石製品(6)

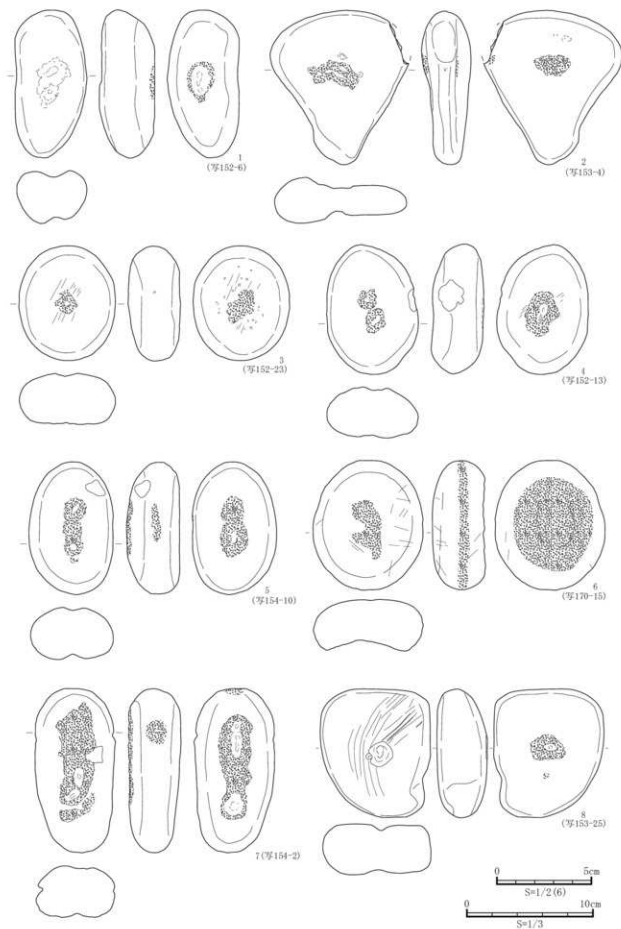


図106 北東捨場地区 石器・石製品(7)

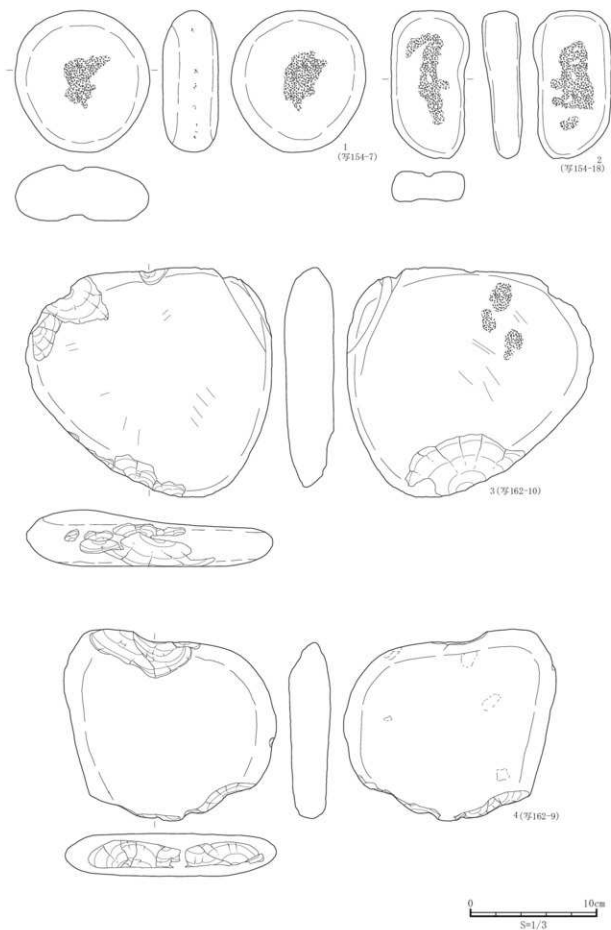


図107 北東捨場地区 石器・石製品(8)

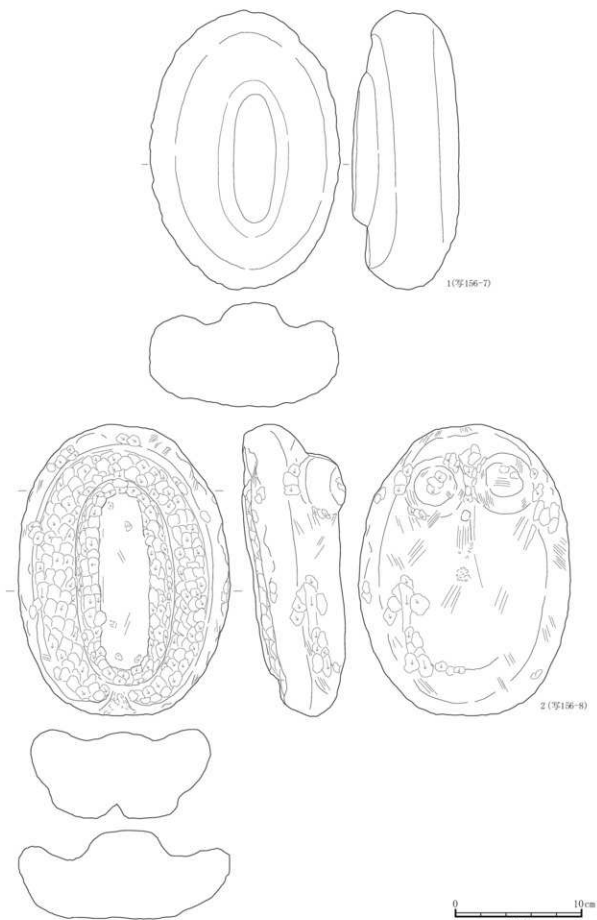


图108 北東捨場地区 石器・石製品(9)

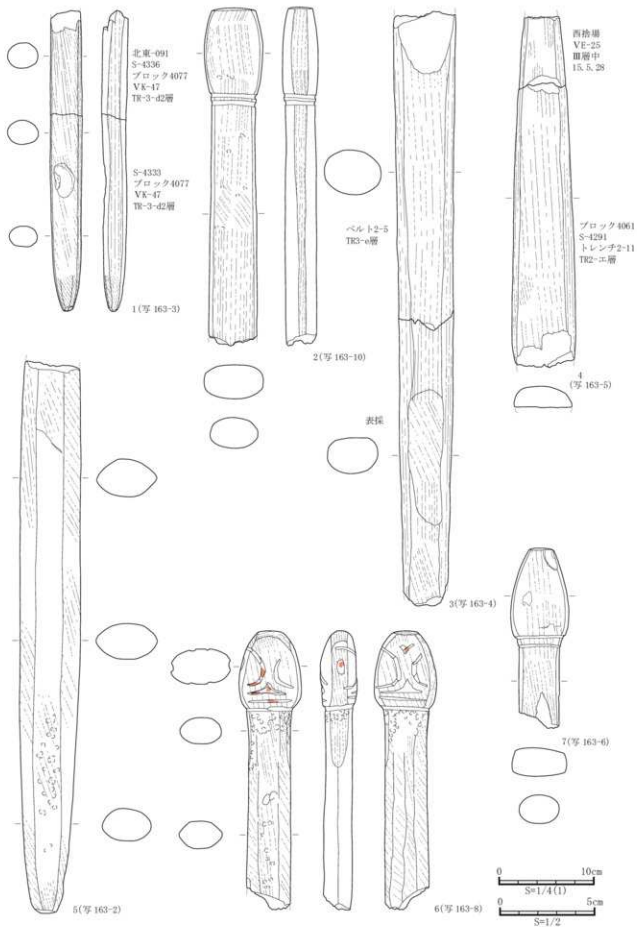


図109 北東捨場地区 石器・石製品(10)



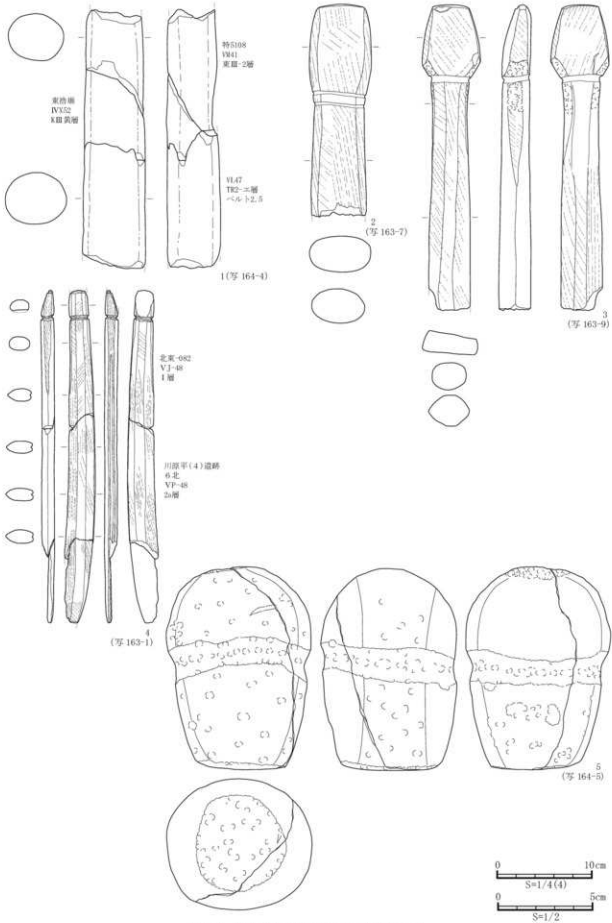


図110 北東拾場地区 石器・石製品(11)

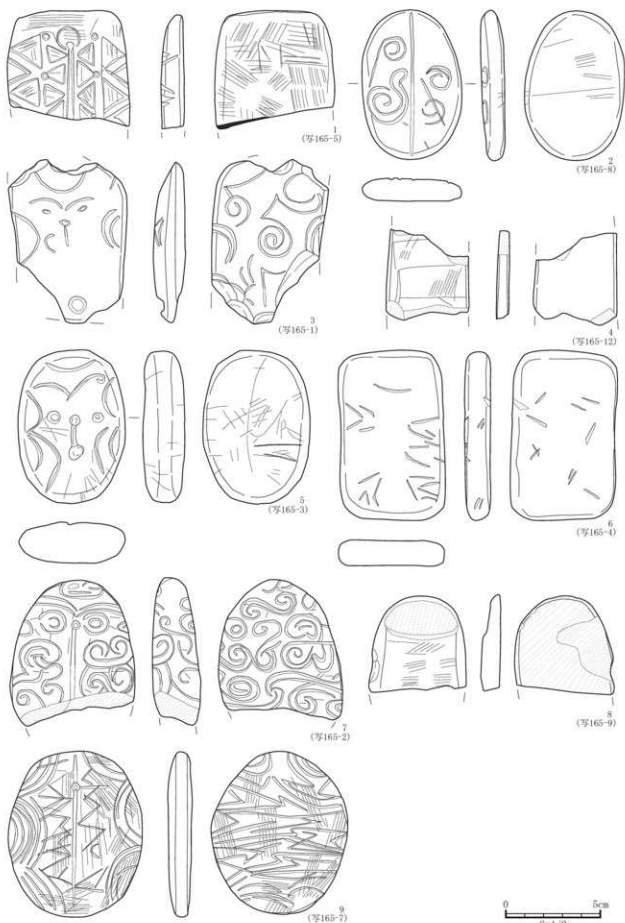


图111 北東捨場地区 石器・石製品(12)

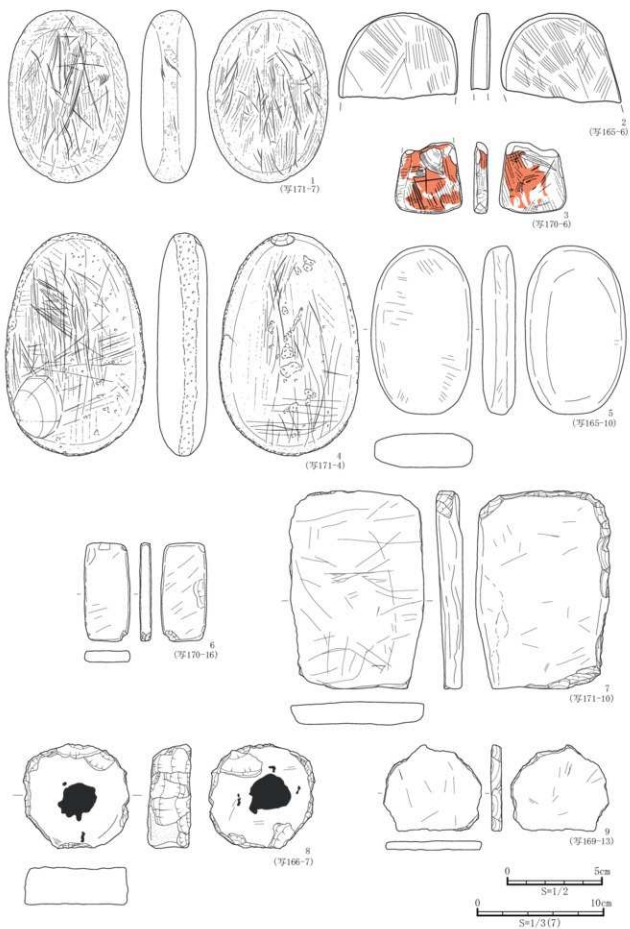


図112 北東捨場地区 石器・石製品(13)

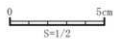


図113 北東捨場地区 石器・石製品(14)

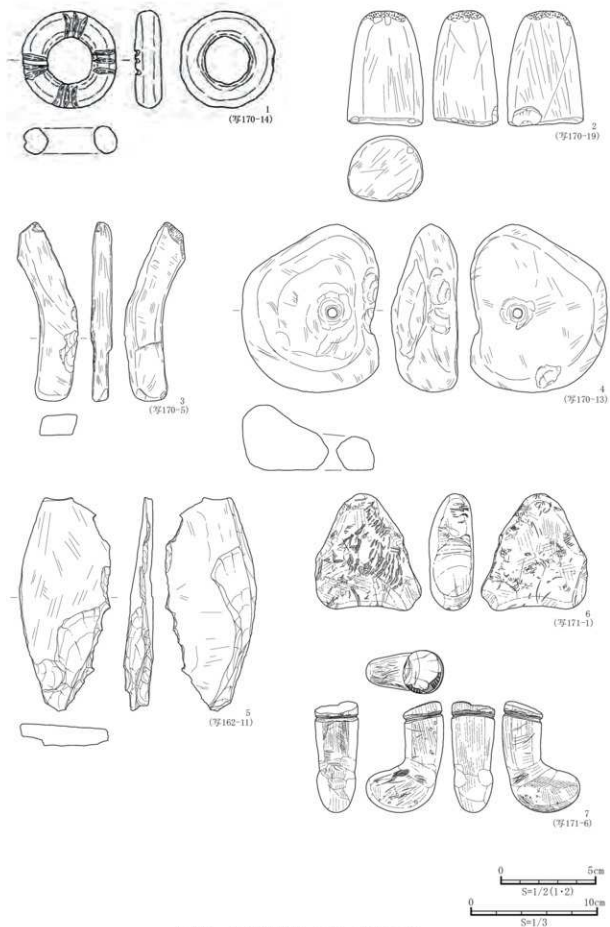


図114 北東捨場地区 石器・石製品(15)

## 第5章 まとめ

北東捨場は、北東縁辺部の滑落崖に形成されており、居住城の外周に巡る捨場群（西捨場・北捨場・[本捨場]・東捨場・南捨場）の一部を構成するものである。いわゆる「斜面捨場」の類に属し、南西から北東にかけて下る斜面に、多量の土壌と礫、遺物が廃棄されていたものである。

遺物は、縄文時代後期後葉から晩期後葉のもので占められ、型的には、瘤付土器Ⅲ段階（小林2008）～大洞A式までの各型式が出土しており、量的には、段ボール箱にして634箱（土器400、石器等234）を数える。

後期後葉から晩期後葉というこの時間幅は、土壌（礫含む）や遺物の長期にわたる廃棄活動の継続を示し、634箱という遺物量は、無数の廃棄単位が累積した結果そのものである。このように、本捨場はその名のとおり、捨場として機能した部分が大いことは当然としても、堆積層（遺物包含層）の中に検出された配石遺構（1基：晩期中葉）と焼土遺構（2基：ともに晩期中葉）は、短時間ながらも、ここが廃棄の場所ではない別機能をもっていた可能性を示唆している。

捨場という空間がもつ性格を多面的に捉えるためには、廃棄という行為の中に「送り」的な観念を含めた、複層的な分析視点が必要であることは言うまでもないが、ここでは紙幅の都合もあることから、調査で得られたいくつかの事項を簡単にふり返る中で、そこから見いだされる課題等にも若干言及し、北東捨場に関するまとめとしたい。

**【捨場堆積層（遺物包含層）】**特徴的な層についていくつか前述したが、特にTR3-A層とTR3-c層、TR3-b層の3つの層は、小規模ながらも本捨場においては独特であり、重視される（第4章第2節）。

層位	特徴	出土遺物の時期	備考
TR3-A層	堅穴建物などの構築に伴う一括性の高い副産土か	大洞C1式わずかに包含	遺物少 堆積時期はC2式期の古段階か
TR3-c層	一括廃棄の可能性がある地山起源土壌	大洞C2式の略完形が希に出土	遺物少 堆積時期はC2式期の新段階か
TR3-b層	炭化物層 消火家屋等の廃棄部材の可能性はある	大洞A式を含む	遺物少

**【炭素年代測定】**土層の形成時期と遺物との時間的関係を推定するため、上位層から5点、中位層から5点、下位層から4点を分析した（下表：分析の原報は第580集『川原平(1)遺跡Ⅱ』に掲載）。

層の位置	土層番号	主体となる土器の時期	yrBP (全て±2σ)	備考
上位	TR3-b層	晩期後葉	2470 2490 2530 2620	
	TR3-2層	晩期後葉	2520	
	TR2-b～1-4層	晩期中葉	2890	
中位	TR2-エ層(=TR2-2層)	晩期前葉	2880 (種実)	TR2-エ層は種多く空層あり 種実は上層からの混入か
	TR2-2層(=TR2-エ層)	晩期前葉	2960 2960 2980	
下位	TR3-e層	後期後葉	3000 (種子)	3040
	TR3-f層	後期後葉	3000 3150	

**【土器集中域（ブロック）】**捨場堆積層の中に100単位の土器集中域を認定し、うち、45単位の土器集中域（ブロック）に関する時期と多寡、時期毎の分布傾向について述べた（第4章第3節 0661-1, 2）。

土器集中域（ブロック）の分布中心 (平面：グリッド、垂直：層位)	土層の推定 形成時期	本書の 時期区分	備考
TR1-c層 VM-46 TR2-b層 VM-47	大洞A式期	晩期5期	認定数僅少
TR1-4層 VM-46 TR2-b層 VK-47	大洞2式期	晩期4期	
TR1-5層 VL-45	大洞C1式期	晩期3期	活発な廃棄活動期か 大洞C1式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR2-2層 VL-45・46	大洞C2式期	晩期2期	認定数僅少 大洞C2式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR2-2層 VL-46	大洞B1式期	晩期1a期	活発な廃棄活動期か 大洞B2式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR3-c層 VK-47・48	瘤付土器Ⅲ段階 ～大洞2式期	後期7-4期 ～晩期1b期	「瘤付土器Ⅲ段階」は小林(2008) 「～大洞B2式期」にはB1式とB2式が含まれる(上の2行と一部並行)

**【北東捨場の推移】**捨場堆積層、炭素年代測定、土器集中域の結果を総合させ、北東捨場の推移を時系列で整理すると、概ね下記のようにまとめられる。なお、隣接するクラック地区や北東捨場延長地区との比較検討は、今後の課題として保留し、ここでは簡単に触れる程度とする。

**【後期7-4期～晩期2期 (図115-左)】**北東捨場における土壌や遺物類の廃棄行為は、後期後葉(後期7-4期)から開始される。この頃の廃棄行為は、滑落崖の冠頂部分(土畑付近)からの投棄が多かったようで(図61-2)、斜面の途中で静止したもの(写真97-7)や、斜面を転がり落ちていったもの(VK-47グリッド辺り)も少なくなかったようである。こうした廃棄行為の連続により、晩期前葉の段階に至っては、ほぼ半分位の深さにまで埋没する<sup>1)</sup>。この状態に達するまでの時間は、意外に短かったようで、AMSの年代値を参考にすれば、およそ100年間程度<sup>2)</sup>であったと推定される。この背景には、集落形成の早い段階における、掘削土などの頻繁な廃棄行為があったものと考えられる<sup>3)</sup>。勿論、後期後葉～晩期前葉にかけては、日常的に用いた土器の廃棄活動も継続的に行われ、時には儀礼的行為に伴う廃棄活動もあった可能性が推察される<sup>4)</sup>。

晩期前葉段階における本捨場は、土壌の堆積がかなり進行したことによって、“きつい傾斜(第4章第2節参照)”では既になくなっており、広く歩行できる緩い傾斜地になっていたようである。このことは、図61-2に示した土器集中域(ブロック)の変遷図にもよく表れている。ただし、「晩期前葉」という時間幅の中において、本捨場における晩期2期(大洞B2式期)の土器は、他の時期に比べて極端に少なく、それまで安定的だった廃棄活動が、この段階で一気に低調になったかのようにみえる<sup>5)</sup>。

**【晩期3期 (図115-右)】**大洞C1式期に至って、廃棄行為は再び安定的となる。下図および図61-2で分かる通り、広く満遍なく廃棄されていった様子が見て取れる。ただし、廃棄場所の中心的な部分は、先の晩期1b期(大洞B2式期)と同じVL-46グリッドであり、時間的な隔たりがあったはずではあるものの、なぜか同じ場所が選択されている点は留意される<sup>6)</sup>。この晩期3期(大洞C1式期)における遺物廃棄量は、他の時期に比べ最多である<sup>7)</sup>。この現象は、北東捨場に限ったことではなく、川原平(1)遺跡の各地区に概ね共通する傾向と思われる。なお、この頃は配石遺構(SQ33)の構築や焼土遺構(VL-46グリッド焼土・トレンチ2内焼土)の形成がみられる。配石遺構とトレンチ2内焼土は、本捨場の傾斜変換点から下ってまもなくの場所が選ばれ、遺物廃棄の範囲とは重ならない位置に構築されている点に注意したい(図115右)。

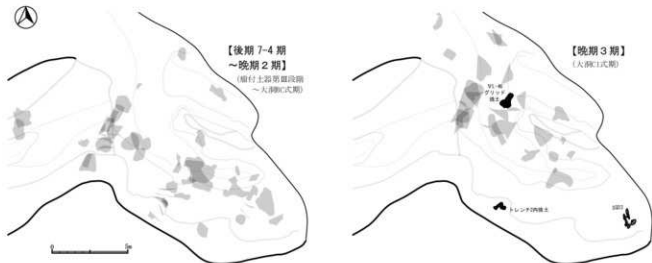


図115 後期7-4期～晩期2期・晩期3期の様相

**晩期4期** (図116-左) 大洞C2式期に至り、これまでとは状況が異なりはじめる。トレンチ3を中心に分布するTR3-ア層とTR3-c層は、一括性の高い掘削土であり、一斉廃棄されたものとみられる。掘削時期は晩期4期(大洞C2式期)頃と推定される。竪穴建物などの構築に伴ったかどうかは別としても、相当な土量であることから、これまでとは異なる、規模の大きい土木作業のあったことが推察される。これによって、3期の配石遺構などは完全に埋まりきり、当時は、「黄褐色を呈す土壌=排土」が少し盛り上がるような景観を呈していた可能性がうかがわれる。遺物の廃棄場所は、トレンチ1と2の間の辺りが主に選ばれるようになるが、これはトレンチ3のあたりに廃棄したこの「排土」が影響した可能性が高い。

**晩期5期** (図116-右) 最後の段階である大洞A式期になると、土器集中域はかなり少なくなるが、先の晩期4期(大洞C2式期)における廃棄の中心は引き継がれる。この地点は、北東捨場延長地区にかなり接近しており、巨視的には、廃棄場所が徐々に川原平(4)遺跡に近づいていった状況とみることもできる。この段階で注目される土層は、炭化物を顕著に含むTR3-b層である。茅状のものも微量に混入することから、消失家屋等の廃棄部材が主体である可能性がある<sup>9)</sup>。この炭化材も一斉廃棄されたような状況であり、先の晩期4期(大洞C2式期)におけるTR3-ア層の一斉廃棄を彷彿とさせる<sup>9)</sup>。これらの炭化物のAMSによる年代値は、2500年頃(yrBP)<sup>10)</sup>とみられることから、本捨場が利用開始され、完全に埋没するまでに要した期間は、約580年間くらいであったようである<sup>11)</sup>。

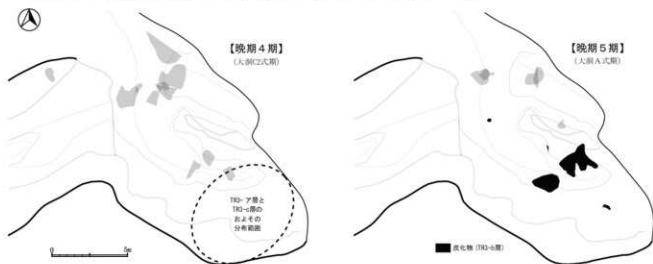


図116 晩期4期・晩期5期の様相

**【その他】** 特記しておきたい遺物について、いくつか触れておく。

**外来系土器** 図89(写114-5 ブロック4041・4047)の深鉢は、胎土分析(Na030)により、在地生産と推定されたものであるが、これに施されている網目状燃糸文(短軸絡条体5類)は、福島県城周辺資料との比較を促すものである。AMSによる推定時期は2930±20 yrBP(KAWA(1)-143)であり、晩期前葉頃の可能性があるが、同ブロック内の土器との対比では、晩期2期～3期頃と推定される。土器そのものの搬入ではないにせよ、外部情報の発信源を適度に暗示する好資料と言える。なお、外来系とすべきかどうかは検討が必要だが、聖山式も数点出土しており、これらについては他の地区の資料とまとめて今後の検討対象としたい。



**発泡土器** 写136-6~10に示したこれら発泡土器の成因については、未だ明らかにはなっていない。近畿地方における弥生時代遺跡の事例によれば、焼成遺構等の土器生産に関わる施設の付近に出土する傾向があるようである。本資料は二次焼成による発泡であるが、相当な高温被熱とみられることから、偶然的産物として片付けることなく、今後も継続的に注視したい資料である。なお、写136-11の粘土塊や図98-16の棒状の土製品、数点出土した焼成粘土塊なども、土器生産関連の遺物として積極的に捉え、総合的に観てこれらをまとめて重視したい。

**縦走気味の縄文** 本捨場の土器破片の分類中に気づいた事であるが、大洞C1式期の台付鉢に施される縄文は、縦走気味に施されているものが安定的に認められる。他の器種では同時期の中～小型の鉢・壺にも認められ、斜行縄文がまだ主体的なこの時期において、極めて特徴的な傾向と言える。これらは、炭化物の付着や著しい摩滅の影響により、施文単位の不明確なものが多いが、1回あたりの施文は縦方向にある程度長く、縄文の重複をなるべく避ける配慮もうかがわれることから、少なくともこれら縦走気味の縄文は、以前にはなかった効率的技術の開始を示している可能性がある。

縦走気味で長い縄文は、器体に対して原体を斜めに配置し、配置角度を保持したまま指圧の位置をスライドさせながら、器体に対し垂直に長く回転させる必要がある。このような施文は、峰山巖が「帯縄文」の説明中で述べている(峰山 1968)が、ここでの指圧の幅は、峰山が示したような指1本くらいの狭い幅ではなく、指2~3本くらいの幅で回転させているものと観察される<sup>12)</sup>。

本県域出土の中期弥生土器にみられる縦走縄文に比べれば、まだ幾分は斜めに施されており、垂直な縦走までには至っていないが、大洞C1式以降の資料にこの縄文が継続・増加していくことからすれば、後の弥生土器で主体となる技術の祖形は、この時期に遡る可能性は十分に考えられよう<sup>13)</sup>。

(木村)

## 註

- 1) 後期後葉～前期前葉までの約100年間は、植林状の洞み(上半部よりも容積が小さい)に対する産物であることから、半分レベルまで埋没するために置いた期間として、約100年の間は概ね妥当かともいえない。
- 2)  $(3009 \pm 3130) / 2 = 2909 \pm 2960 \pm 2960(3) = 2075$ 年(後期後葉TR3-1層の平均年代) -  $2967$ 年(後期前葉TR2-2層の平均年代) = 108年。
- 3) 図9に、3150年(後期後葉TR3-1層の最古年代) - 2960年(後期前葉TR2-2層の最古年代) = 190年。
- 4) 後期前葉の遺物がまとまって出土するのは、TR3-1層とTR3-1層の層であり、捨場としての機能開始期に相当するTR3-1層に含まれる遺物は僅少である。即ち、TR3-1層は、1層のTR3-1層と産物土層との混合土が主体と想定され、この層の形成期間内における遺物の発見はほとんどなかったと考えられる。よって、①土層の発露(TR3-1層の形成) - ②遺物の発露(混合土の形成)という流れが想定され、①は、集落形成初期の建物構築による土層等が含まれている可能性がある。
- 5) 出土土器3点を含む土器集中域(CT764-403-2 後期16期：大洞C2式期 写真76-12)などがその典型と考えられる。
- 6) 単に、大洞C2式期の産物場所以北発露が認められなかった可能性はあるが、隣接するクラック地区から検出されている大洞C2式期の壁状建物群の存在がこの現象と関連している可能性をうかがわせる。あえて関連するならば、複数の成員によって共同利用されていた本捨場の近辺(洞内)に、整った遺構が埋ったに、それまでの利用者は、この捨場として利用しなくなった(してはいなくなった)など、単純ではあるがこうした一時的な事情の変化はあってもおかしくない。しかし一方で、土器編年の問題として、川原平(1)遺跡においては、半葉式期の典型的な大洞C2式期の存在の期間が短く、大洞C2式の新相や大洞C2式の古相との並行期間が長かった等の想定も必要かもしれない。いずれにしても、本捨場において大洞C2式が限定的に少ない現象は、捨場としての利用状況の変化、他の捨場における大洞C2式の出土状況、大洞C2式をめぐる編年上の問題等を含めて、多面的に考察する必要がある。(全ての地区から得られたC1値を見る限り、本捨場は後期後葉～後期前葉まで、ほぼ連続的な連続したと考えられる。第50集「川原平(1)遺跡Ⅷ」参照)。
- 7) 小林謙一(2008)と小川幸一(2010)は、土器付着炭化物のδ13C年代より、大洞C2式の存続期間を概ね100年間と考えているが、本捨場において、後期16期(大洞C2式期)の後、100年間の発露期間の低炭素域はほとんど、後期3期(大洞C1式期)の段階で、後期16期(大洞C2式期)の発露中心部が再び覆われる可能性は低いように考えられる。
- 8) ここで留意したいのは、後期3期(大洞C1式期)の存続期間の問題である。仮にこの時期が他の型式の存続期間よりも長期であった場合、土器の絶対数が多くなることから、見かけ上、非常に活発な発露活動、と誤ってしまう。活発かどうかについては、大洞C1式期の実年代における存続期間が明確になった段階ではじめて判断が可能になる。
- 9) 本書に掲載した分布図は、書影の大部分であり、現場ではもっと広い分布を示していた。
- 10) このような一帯の活動は、川原平(1)遺跡における洞内(集落の分布/川原平(4)遺跡(1) - 一部詳細)の構成要素である可能性がある。また、縄文文化が大きく発露する時期に相当しているとも考え得ない。
- 11) 年代が大きく小く離れた2020年を例として、2470年、2490年、2530年の3点の年代値の平均(2497年)。(3009 ± 3150) / 2 後期後葉TR3-1層の平均年代 - (2470 ± 2490 ± 2530) / 3 後期後葉TR3-1層の平均年代 = 3075年 - 2497年 = 578年。図9に、TR3-1層の最古年代 - TR3-1層の最古年代 = 3150年 - 2470年 = 680年。
- 12) 実例における縄文施文単位の特徴は、「[川原平(1)遺跡Ⅷ]」に準じており、本来の施文単位ではない点に注意いただきたい。なお、この縄文について山内慎男(1979[1961])は、「[神井谷の晩期新石器] [大洞C2式、A式等]には部面を越える糸を有する縄文が見られる。」と述べている。
- 13) この縄文技術・発想は、多くの地域からあり、同時多発的に生ずるのではなく、どこか特定の地域から始まり、拡張していった技術である可能性が高い。縦走縄文は、北海道がその主体的な地域であるとイメージされがたであり、現に晩期中期の北海道出土資料にも認められるものであるが、本県域の縄文の時間的前後関係の追究は今後の重要課題とされる。



図 117 北東捨場 胎土分析実施資料 (S=1/6)

### 第3編 東捨場延長地区・北東捨場延長地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 調査方法

### 1 東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲

本編で扱う「東捨場延長地区」・「北東捨場延長地区」は、本遺跡と隣接する「川原平(4)遺跡B区西端の一部範囲」を指す。そのため、本項では、川原平(4)遺跡B区の一部を東捨場延長地区・北東捨場延長地区として報告するに至った経緯、報告の範囲、取り扱う内容等について触れる。なお、本遺跡と川原平(4)遺跡B区の境界は、旧村道により開削されているものの、基本的には地形の連続性が認められ、また、遺構・遺物の時期も重なる部分が多いことから、両遺跡を一つの集落として考えつつ発掘調査を行った。

#### 【報告の経緯】

本遺跡と川原平(4)遺跡の発掘調査は、ともに津軽ダム建設事業に伴い、ほぼ同年度に実施されてきた。中でも、東捨場地区、北東捨場地区、川原平(4)遺跡B区西端部については、平成26年度に発掘調査が実施された。この調査の結果、東捨場および北東捨場の範囲は、川原平(4)遺跡B区側に広がることが確認された。そのため、東捨場および北東捨場の形成過程や性格、出土遺物の内容等を検討する上では、延長地区を含めて総合的に把握することが不可欠であり、本編を設けるに至った。

#### 【報告の範囲・内容】

東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲は、便宜的にグリッドに沿って区分した。地区区分は、川原平(4)遺跡B区内、東捨場延長地区がIVT~IVY-56~65グリッド、北東捨場延長地区がV0~VR-46~53グリッドである(図②)。区分に際しては、東捨場・北東捨場に類する堆積土の分布状況や遺物の出土状況等から判断した。報告の内容については、各延長地区から出土した遺物のみを扱うこととする。なお、延長地区内に分布する遺構については、東捨場延長地区で土器埋設遺構1基、ビット9基が検出されているが、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)で報告済みである。

### 2 発掘作業の方法

東捨場延長・北東捨場延長地区では、既に発掘作業に着手していた東捨場および北東捨場の発掘作業も踏まえ、遺物包含層の堆積状況や遺構の有無等を確認するためのトレンチ調査を先行させ、特に遺物の層位的な取り上げに留意しながら調査を進めた。なお、調査の経過、測量基準点・水準点の設置、写真撮影の方法等については、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)を参照されたい。

#### 【グリッドの設定】

グリッドの設定方法および名称については、本遺跡と共通しており、『川原平(1)遺跡II』(青森県教委2016)に詳しい。

#### 【基本層序】

基本層序については、表土から順にローマ数字を付して呼称した。ただし、本遺跡と川原平(4)遺

跡における基本層序は、層名が同じであっても、指し示す層が異なる点で留意される。

#### 【表土等の調査】

表土の除去は、遺物包含層の広がりを確認した上で、部分的に重機を用いて掘削の省力化を図った。出土遺物は、グリッド単位で取り上げた。

#### 【遺物包含層の調査】

遺物包含層は、層位毎に人力で掘削した。出土遺物は、グリッド・層位毎の取り上げを基本とした。また、必要に応じて、出土状況の写真撮影やドットマップ図の作成を行った。

(最上)

### 3 整理・報告書作成作業の方法

東捨場延長地区並びに北東捨場延長地区の整理作業は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで実施した。

【図面類の整理】発掘作業の過程で作成した平面図は主にトータルステーションを用いて作成したため、整理作業時に簡易測り方測量で作成した堆積土層断面図等との図面調整を行い、発掘作業時の所見等を整理した。

【写真類の整理】写真等の記録類については、写真台帳を作成するとともに、35mmモノクロームフィルムは撮影順にネガアルバムに整理収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは発掘作業状況や遺構毎に整理してスライドファイルに収納した。デジタルカメラのデータについては、遺構毎のフォルダに整理し、ポータブルハードディスクドライブおよびDVD-Rに保存した。

【遺物の洗浄・注記・接合・復元】遺物の洗浄後、接合・復元作業を進めた。遺物の注記は、遺物取り上げ時の遺物カードをもとに、調査年度、遺跡名、出土地区・グリッド名、遺構名、出土層位、取上番号等を略記した。出土地区の注記は川原平(4)遺跡の調査地点名(「5」：東捨場延長、「6」：北東捨場延長)とした。土器細片や剥片石器等、直接注記できない遺物については、収納袋に注記した。

【報告書掲載遺物の選別】出土遺物は台帳を作成して登録し、遺存状態がよく時期・型式等がわかる資料を報告書に掲載した。

【遺物の観察・図化】個々の遺物を目視及びルーペで観察し、遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するように図化した。掲載遺物については、種類毎に法量・特徴等を記載した遺物台帳・観察表・計測表を作成した。

【遺構と遺物のトレース・版下作成】遺構・遺物の実測図やその他の挿図のトレース作業は、(株)CUBIC製「遺構実測支援システム」及び同「トレースくん」、Adobe社製 illustrator CS4・CS6を用いてデジタルトレースを行った。

【遺物の写真撮影】実測図では表現しがたい、質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。写真撮影は業者に委託して行った。

【調査成果の検討】遺物の検討結果を踏まえ、過去の調査成果や周辺地域の状況等も考慮しながら、遺跡の時期・構造・変遷等について検討・整理した。

(中澤)

## 第2章 東捨場延長地区

### 第1節 東捨場延長の調査方法と堆積層について

#### 1 東捨場延長の調査方法

東捨場延長地区は、川原平(4)遺跡B区の西端部、IVT~IVY-56~65グリッドの範囲に相当する(図②)。東捨場延長地区の地形は、旧村道を挟んで東捨場と同一の段丘平坦面が広がり、標高203.5m~203.2mの地点に位置する。

平成26年7月中旬、川原平(4)遺跡B区西端部においてトレンチ調査を開始した。トレンチは、東西方向に長く設け、約8m間隔で5ヶ所に設定した。トレンチ調査の結果、表土直下で遺物を多く包含する堆積層を検出し、その分布は、特に、東捨場の範囲と接するIVYライン以南で明瞭に確認されたことから、当該範囲が東捨場の連続部分に相当するものと判断した。トレンチ間には、適宜、土層観察用ベルトを残しながら掘り進め、東西ベルトをB-B'とC-C'、これに直行する南北ベルトをA-A'とした(図1)。出土遺物は、グリッド・層位毎の取り上げを基本とした。また、遺存状態が良好な遺物や、特徴的な遺物が出土した場合は、適宜、出土状況の写真撮影やドットマップ図の作成を行った。

#### 2 堆積層について

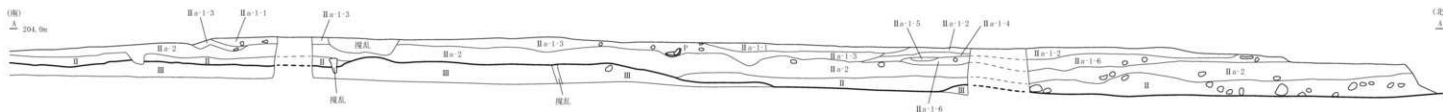
東捨場延長は、IVYライン以南において、遺物を多く包含する黒色ないし黒褐色土の広がりとして確認された。この堆積層は、南北約15m、旧村道から東方向へ約25mの範囲で広がり、基本的には東捨場から連続するものと考えられる。ただし、東捨場延長と東捨場の層位については、明確な対比はできなかった。また、同様の堆積層は、VAライン以北においても分布が認められたが、旧村道の縁に沿って比較的薄く堆積しており、東捨場延長の堆積層と確実な連続性を捉えることができなかった。VAライン以北の基本層序および出土遺物、東捨場延長地区内で検出された遺構については、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)で報告済みである。

東捨場延長地区の土層断面図は、図118に示した。図は表土除去後の土層断面である。第IIa層と第II層が遺物包含層、第III層が地山に相当する。この内、第IIa層が東捨場の堆積層と類似し、遺物出土量も多い。

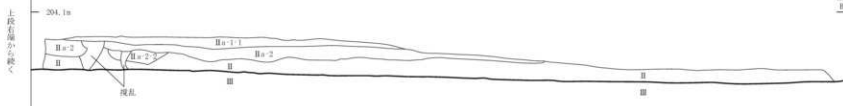
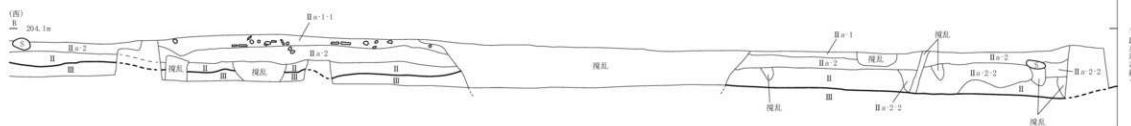
第IIa層は、上位層の第IIa-1層と下位層の第IIa-2層に二大別できる。また、土色や混入物の違いにより、さらに細別される。第IIa層の堆積状況としては、概ね東側に向かうほど、層下面が緩やかに低く傾斜しており、層厚も薄くなる傾向がある。B-B'土層断面では、第IIa-2層の下面の標高値が、西端で203.8m、東端で203.4mを示す。第IIa-1層は厚さ20cm前後で、黒色ないし黒褐色シルトを主体とし、小礫が比較的多く混入する。中でも、第IIa-1層では炭化物、第IIa-1-5層では焼土粒の混入が目立つ。第IIa-2層は厚さ約30cmで、暗褐色シルトを主体とし、比較的均質である。第II層は厚さ20cm前後で、暗褐色シルトを主体とし、遺物量は第IIa層と比較して極めて少ない。

遺物の出土状況としては、同一層中でも遺物量に多寡が認められ、特に第IIa-1層下位から第IIa-2

東捨場延長A-A'



東捨場延長B-B'



東捨場延長C-C'



- 東捨場延長(A-A', B-B', C-C')
- IIa-1-1層 黄 色 土(09E2/3) 炭化約多量
  - IIa-1-2層 赤褐色土(09E2/2)
  - IIa-1-3層 赤 土(09E2/1)
  - IIa-1-4層 赤褐色土(09E3/1)
  - IIa-1-5層 埋藏土(2, 3)(09E4)
  - IIa-1-6層 黄 色 土(09E2/1)
  - IIa-2層 埋藏土(1)(09E2/2)
  - IIa-2-1層 埋藏土(1)(09E2/2)
  - IIa-2-2層 埋藏土(1)(09E2/2)
  - IIa層 黄 色 土(09E4/4) 川原平(1)遺跡におけるIV層相当



図118 東捨場延長地区 セクション図





層上面にかけての遺物量が多い。土器については多くが破碎しており、完形で出土が極めて少ない点で、東捨場の主体部と様相をやや異にする。また、第Ⅱa層中からは、主に縄文時代晩期中葉から晩期後葉の遺物が出土しており、東捨場の出土遺物と概ね呼応するが、縄文時代後期後葉から晩期前葉のものが少ない点で異なり、東捨場の東端部における特徴を示すものと思われる。

(最上)

## 第2節 出土遺物

### 1 土器 (図119～121、写真179～183、表19)

東捨場延長地区出土土器の総重量は約280kgである。晩期中葉から後葉の土器がみられ、東捨場の堆積層と類似するⅡa層では晩期4～5期の土器がまとまって出土した。

#### I層

晩期中葉の鉢・ミニチュアの台付鉢が出土した (写179-1・2)。

#### Ⅱa-1下層

晩期中葉から後葉の深鉢・鉢・台付鉢・台付片口鉢・浅鉢・皿・壺・ミニチュア土器が出土した。写179-3は正面にB突起をもつ鉢である。写179-4・5の鉢は口縁直下に3条の横位沈線がある。写179-6・10は外面に3条の横位沈線が施され、2個一組の突起をもつ深鉢である。写179-7は口縁直下に3条の横位沈線を施した鉢である。写179-8の深鉢の口縁端部には粘土紐接合痕が残存する。写179-9は体部から底部にかけてLR/RL非結束羽状縄文を施した鉢、写179-11は沈線による雲形文のある鉢である。写179-12は台付鉢で、肩部から立ち上がる大突起があり、上部は欠損する。写179-13は口唇部に一山突起と二山突起を交互に配置した台付鉢である。写179-14は台付片口鉢である。写180-1は彫去による雲形文が施された浅鉢である。写180-2は沈線による雲形文が施された浅鉢である。外面体部下半に赤彩が施され、内底面に褐色～黒色膜状付着物、外底面に黒色膜状付着物が認められる。写180-3は口縁にB突起を持つ皿である。写180-4は正面に一山突起1単位、二山突起3単位のある壺である。写180-6は晩期4期に相当する壺である。正面に突起を1単位もち、口唇は隆帯の添付により外側に肥厚する。外面に黒斑が認められる。

#### Ⅱa-1層

晩期中葉から後葉の深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・壺が出土した。

写181-1～4は口縁部直下に横位沈線をもつ深鉢・鉢である。写181-5・7は粗製深鉢である。写181-6は口縁部から体部にかけて条痕文を施した深鉢である。写181-8・9は口唇に刻み目を有し、口縁直下あるいは体部に横位沈線を巡らせた鉢である。写181-10は沈線による雲形文のある鉢である。写181-11は口縁部に沈線を施した鉢で、内外面には炭化物が付着する。写181-12は口縁直下に沈線文のある鉢で、口縁付近に赤色顔料が付着している。写181-14・15・17は台付鉢、写181-16・写182-1～2は台付浅鉢である。写181-14・182-11は口縁直下あるいは体部に横位沈線をもち、体部に2個一組の突起をもつ。写181-13・182-4は外面に横位沈線を4～5条ある浅鉢である。写182-5は内外面に赤

彩された皿である。写182-6は口唇に三叉状の刻目を連続的に入れ、外面に沈線による雲形文のある皿である。写182-7～10は晩期4～5期の壺である。写182-11は台形状の摘みをもち、外面に沈線文・隆帯を伴う蓋である。

## II a-2上層

晩期中葉の深鉢・台付鉢・皿が出土した。

写182-13は半精製の鉢であり、体部に2個一組の楕円形状の突起をもつ。写182-14は装飾的な口縁を呈し、外面に横位沈線と沈線間に刻目・突起を伴う台付鉢である。写182-15は台付鉢である。台内面は炭化している。写182-16は外面に横位沈線と沈線文を施した鉢で、内外面が赤彩されている。写182-17は彫去による雲形文のある浅鉢で、内外面に褐色膜状付着物が認められる。

## II a-2層

晩期中葉から後葉の鉢・台付鉢・浅鉢・壺が出土した。

写183-1は口縁にB突起、外面に刺突・短沈線列・横位沈線・入組文を施した鉢である。写183-2は口縁にB突起と二山突起が交互に配置され、外面に工字文のある台付鉢である。写183-3は口縁部にB突起、外面に沈線による雲形文のある浅鉢である。写183-4は正面に二山状台形突起をもつ壺である。外面の口縁部～肩部と体部下半に少量の赤色顔料が付着し、内面は全面に赤色顔料が付着しているため、赤色顔料の貯蔵・保管容器と推定される。写183-5は正面に5個の一山突起（残存4個）のある壺である。内面がヘラミガキ後に黒色処理され、光沢を有する。写183-6は注口と推定され、外面に刺突を充填した入組文がみられる。

## 炭素・窒素安定同位体比分析

II a-1層から出土した晩期4期と推定される鉢（写181-11、試料⑧）の外面付着炭化物を分析し、主にC<sub>3</sub>植物の堅果類に由来する炭化物と推定されている（報告書Ⅶ第7章第5節）。

（中澤）

## 2 土製品（図119～121、写真179～183、表20・21）

土偶2点、亀形土偶1点、円盤状土製品7点、ミニチュア・小型土器5点の計15点が出土した。

**土偶**（写183-10・11） 写183-10は中空土偶の右足部で、指先部を沈線で表現している。膝には縄文施文後に入組み文を施文している。写183-11は左足部が欠損している中実土偶である。顔面は横長の円形で目は横楕円の中央部に横位の沈線を施文し遮光器を、鼻部は二孔で鼻孔を表現している。口部の両脇は弧状文を施文している。体部の中央には縦位の沈線で区画し、区画内部に刺突を充填している。文様は全体的に簡略した施文である。

**亀形土偶**（写183-12）は、側縁の突起部であり、突起部の下位に縦位に沈線を施している。

**円盤状土製品**（図121-1、写183-13～18） 写183-13～18は粗製の鉢の体部破片を用いており、写183-13は周縁の一部に擦りがみられる。図121-1は鉢の底部破片を整形している。

**ミニチュア・小型土器**（写179-2・180-5・182-12・183-7・8） 写179-2は台付浅鉢、写180-5は鉢、

写182-12は平口縁の鉢である。写183-7は香炉と推定される土器片である。写183-8は平口縁の皿で無文である。

(成田)

### 3 石器・石製品 (図122～124、写真184～190、表22)

#### 剥片石器

写185-31は黒曜石製の異形の石鏃といえるが、石偶のような形状のため、異形石器とした。写185-8の黒曜石製石鏃とともに青森県の木造出来島群である。写185-9～23は削器としたが小形のもは、石鏃未製品の可能性がある。写185-11・12は、一側縁にアスファルトが付着しており、その側を上方とした。

(齋藤)

#### 磨製石斧

磨製石斧は図122-15に掲載した。石材は緑色凝灰岩の完形品である。刃部に微小剥離痕が見られる。基部には敲打痕が見られる。

#### 石棒類

石棒類は写真188 (図122、123) に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写188-14は、石刀の刃先部分である。擦切技法で折り取ったと思われる。石材は粘板岩である。

写188-12は、男根状の形状をした自然礫である。

石棒1点のみ写真で掲載した(26)。

図123-1は、長大な石棒である。柄部が欠損している。X字状と平行沈線文と敲打帯が見られる。

(高橋)

#### 岩版

図123-3はパンツ状文様があり、土偶のパンツ文様と類似性が強い。図123-5には正中線が表現されている。

(成田)

#### その他の石製品等

写189は石製円盤である。6は裏面側からの打撃により上下に抉りを持ち、紐ずれ等の痕跡がない。通常の石錘のように両面に剥離がはいらず、石製円盤とした。24は上面にのみ正面側と裏面側からの挟み打ちで、剥離加工が行われている。石製円盤の観察表では、このような表裏からの両極打法等による加工を「縦剥離」、23のように側面からの剥離加工を「横剥離」としたので留意されたい。26は、左上と右下に打撃による窪まりを持つが剥離方向は対向しない。27は珪質頁岩製であるが、剥離加工は円形の形状を意図して施されており、本類においた。写188-8は、両面の中央に凹があるが、通常の凹痕と異なり、敲打痕の上に、磨面が形成されている石製品である。同10・11は有孔の自然礫である。写188-17は素材が整形されず写190-1・13は素材が整形されているが刻線が細く線刻礫とした。

(齋藤)

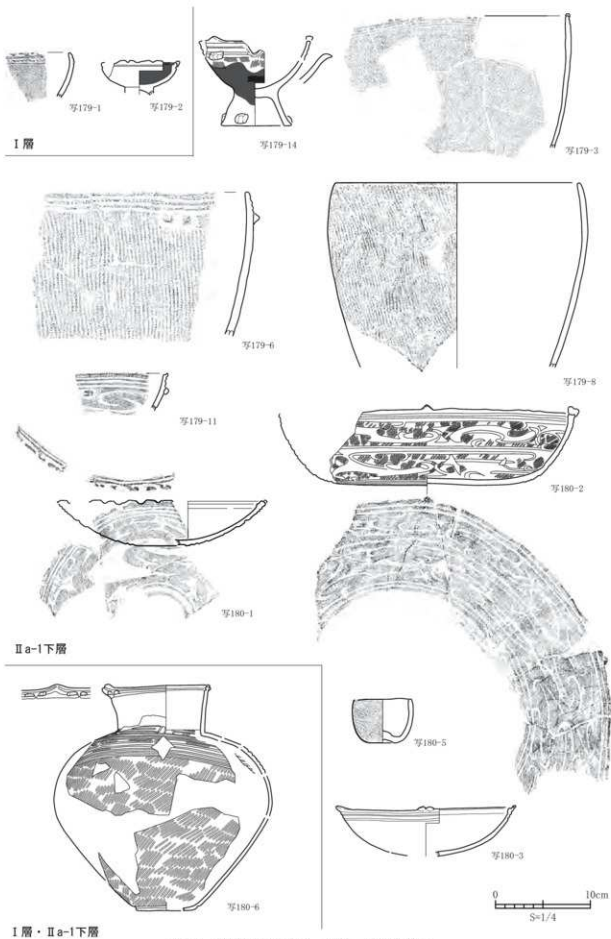
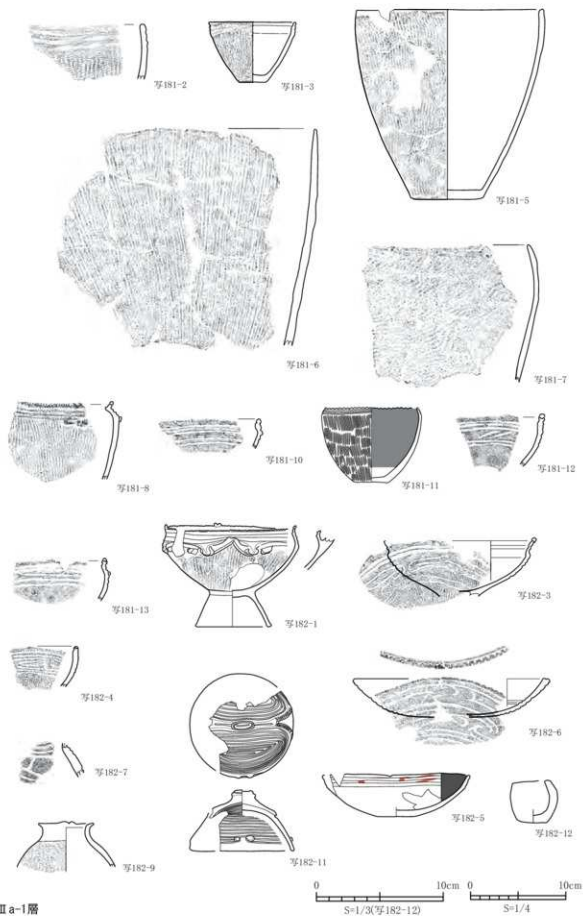


図119 東捨場延長地区 土器・土製品(1)



Ia-1層

図120 東捨場延長地区 土器・土製品(2)



写182-15



写182-16



写182-17

II a-2上層



写183-1



写183-3



写183-4



写183-5



写183-6



II a-2層



写183-7

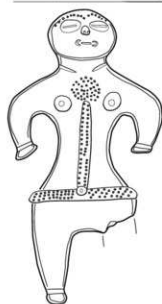


写183-8

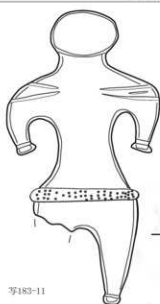


S=1/4

II層



写183-11



写183-13



写183-14



写183-15



写183-16



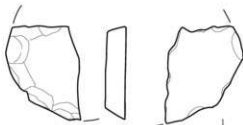
写183-17



写183-18



写183-10



1



S=1/2(写183-11, 13~18)



S=1/3(写183-10, 图121-1)

图121 東捨場延長地区 土器・土製品(3)

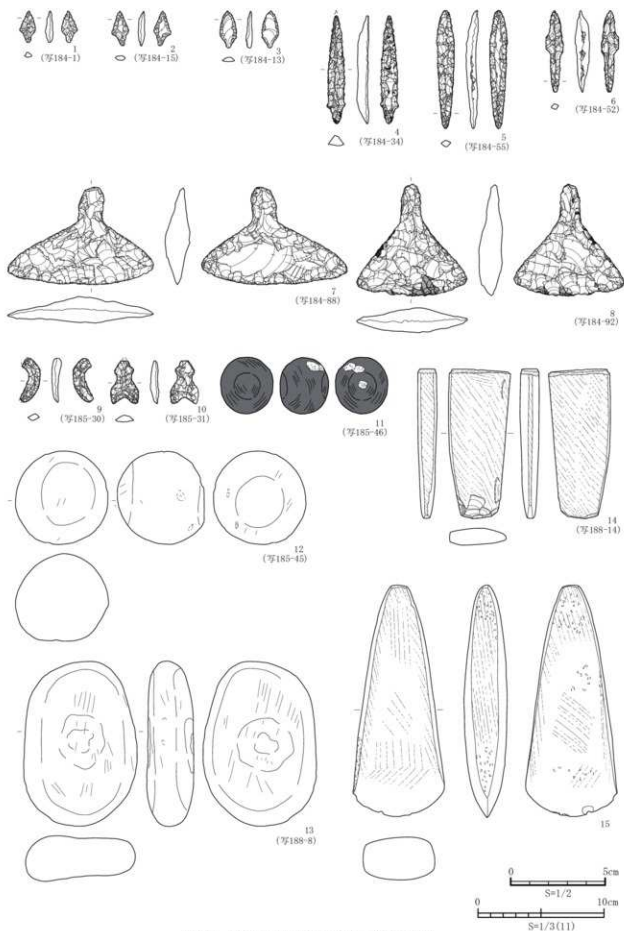


図122 東捨場延長地区 石器・石製品(1)

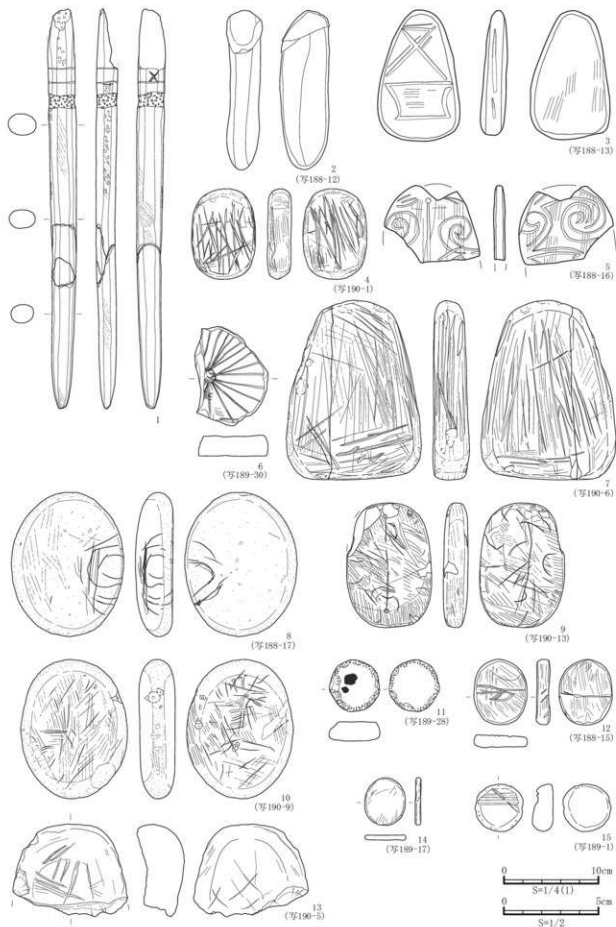


図123 東捨場延長地区 石器・石製品(2)



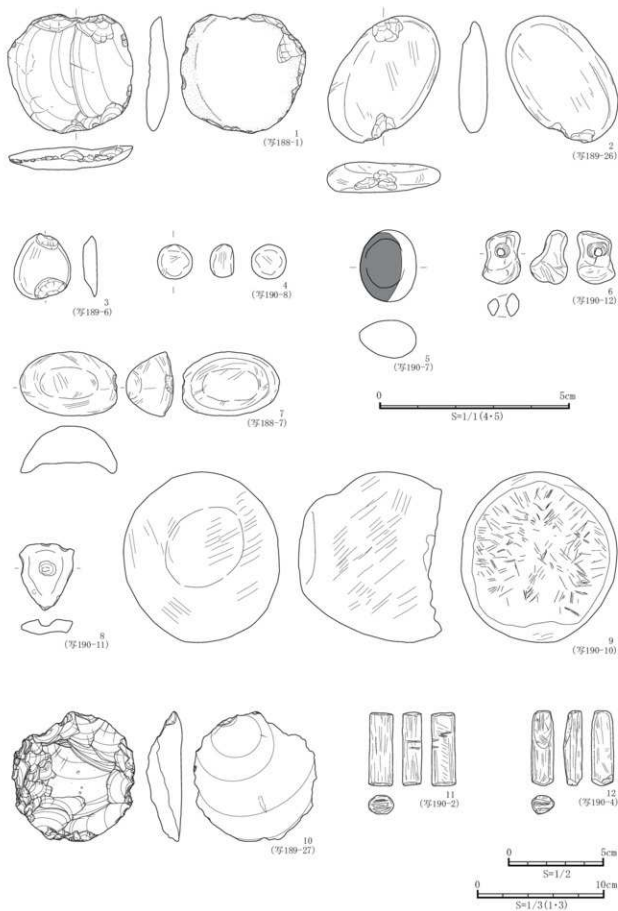


図124 東捨場延長地区 石器・石製品(3)

## 第3章 北東捨場延長地区

### 第1節 北東捨場延長の調査方法と堆積層について

#### 1 北東捨場延長の調査方法

北東捨場延長地区は、川原平(4)遺跡B区の北西部、V0～VR-46～53グリッドの範囲に相当する(図②)。一体の地形は、旧村道を挟んで北東捨場地区から連続する斜面が認められる。北東捨場地区における斜面の傾斜変換点は地山標高202m付近で、そこから北東捨場延長地区の194m付近まで北東方向へ傾斜が続く。なお、川原平(4)遺跡B区の北西部においても、標高202m付近から北西方向へ下る斜面がみられるが、この地点での捨場の形成は認められない。

平成26年9月下旬にトレンチ調査を開始し、同年10月の重機による表土除去後、発掘調査を本格化させた。トレンチは、北東捨場地区トレンチ2の延長上に設定した(図53)。トレンチ調査の結果、表土直下で遺物を多く包含する堆積層を検出し、その分布は、地形的に北東捨場地区との連続性が高いV0ライン以北で確認されたことから、当該範囲が北東捨場の連続部分に相当するものと判断した。トレンチに沿って土層観察用ベルトを残しながら掘り進め、出土した遺物は、基本的にグリッド・層位毎に取り上げた。なお、調査期間の時間的制約により、トータルステーションでの出土位置の記録、写真撮影等は必要最小限に留めている。

#### 2 堆積層について

北東捨場延長は、V0ライン以北において、遺物を多く包含する黒褐色ないし暗褐色土の広がりとして確認された。この堆積層は南北約15m、東西約10mの範囲に分布し、北東末端部は傾斜が緩やかになる地点で終息する。北東捨場延長の堆積層については、基本的には北東捨場から連続するものと考えられるが、北東捨場の層位との明確な対比はできなかった。

北東捨場延長の堆積層は、大きく3層に分層した(図125)。第1層は厚さ約30cmで、黒褐色シルトを主体とし、北東端に小礫の混入がみられる。第2層は厚さ約50cmで、他層と比較して礫や炭化物の混入が目立ち、遺物量も多い。また、土色や混入物の違いから細分され、黒色・黒褐色シルトと暗褐色シルトとが概ね互層状に堆積する状況が認められた。第3層は厚さ20cm前後で、暗褐色シルトを主体とし、第1層と同様に北東端ほど礫の混入がみられる。地山の大部分は黄褐色粘質土と砂礫であるが、VP・Q-46グリッド付近では、一部に岩盤の露出が確認された(写真191-7)。堆積土中からは、縄文時代後期後葉から晩期中葉の遺物が出土しており、北東捨場から出土した遺物の時期と概ね対応する。

(最上)

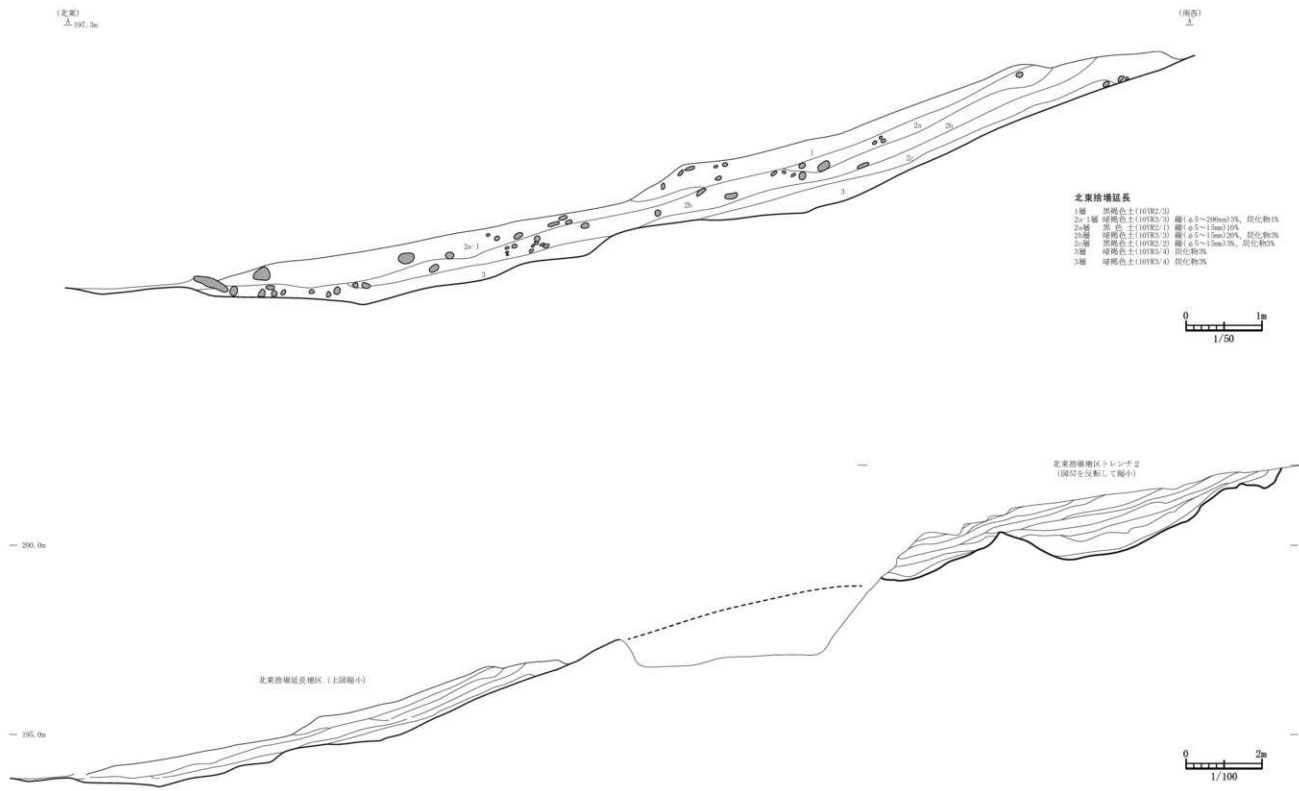


図125 北東拾場延長地区 セクション図



## 第2節 出土遺物

### 1 土器 (図126、写真192、表23)

北東捨場延長地区出土土器の総重量は約150kgである。トレンチが設定されたV0～VQ-48～49グリッドで30kgを超えるが、それ以外のグリッドでは10kg未満となる。1～2a層では晩期3～4期、2b～3層で後期後葉から晩期前葉の土器がみられる。

#### I層

写192-1は口縁直下2条の沈線間に刻目列を伴い、体部に彫去による雲形文のある皿である。外面に赤色顔料が付着する。晩期3期に相当する。

#### 1～2a層

写192-2は丸底の浅鉢で、外面に沈線文がみられる。晩期4期に相当する。

#### 2a層

浅鉢・台付皿・壺・注口土器が出土した。雲形文のある浅鉢(写192-3)・台付皿(写192-4)・壺(写192-7)がある。写192-3は内外面に赤彩を施し、内面に黒色付着物がみられる。写192-4は内外面に赤彩されている。写192-6は頸部に沈線文のある壺、写192-8は沈線文のある注口である。外面にわずかに赤色顔料が付着する。

#### 2b～2c層

後期後葉～晩期前葉の壺形のミニチュア土器が出土した(写192-9)。

#### 2～3層

写192-10は頸部と肩部の境目の隆帯上に短沈線、円形の突起をもつ壺である。晩期1a～1b期のものと思われる。

#### 3層

写192-11は沈線文の壺である。外面に赤色顔料が付着する。晩期1b～2期に相当する。

(中澤)

### 2 土製品 (図126、写真192、表24・25)

土偶2点、ミニチュア土器2点が出土した。

土偶(写192-12・13)は、中空の頭部破片で、頭頂部は王冠状を呈する。2点共に目部は弧状と横位の沈線により遮光器を表現している。写192-12は鼻部を粘土、写192-13は刺突で表現した小形の遮光器土偶である。

ミニチュア土器(写192-5・9) 写192-5・9は体部が張りだす壺である。

(成田)

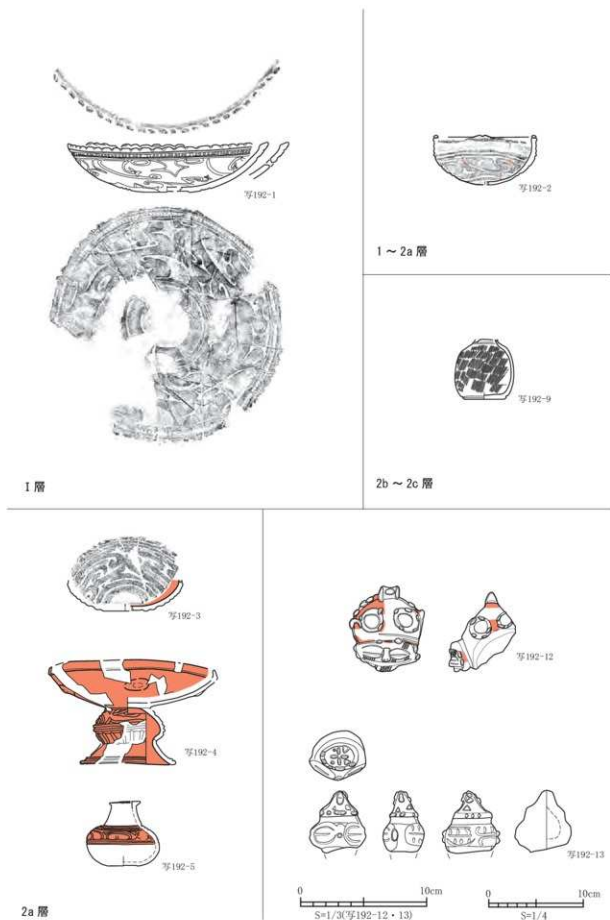


図126 北東捨場延長地区 土器・土製品

### 3 石器・石製品 (図127~128、写真193~198、表26)

報告書Ⅴの地区毎の石器組成の表に記載したように、出土数量は比較的少ない。

#### 剥片石器

写193~194-3は剥片石器である。石鎌・石錘・石匙の出土点数が多いが、写193-9~21に形状変化のある石匙を多く掲載した。同22~24は、その形状から、一側縁にアスファルトが付着することの多い削器と考えられる。同26は異形石器である。同27以降は珪質頁岩製の石核であり大きさや形状の変化、敲石への転用などの変形を示すものを掲載した。

#### 磨製石斧

磨製石斧は写真194 (図127) に掲載した。石材は緑色岩、凝灰岩である。

写194-4は刃部欠損、他の2点は基部欠損である。

#### 礫石器

写194-7~197-13に掲載した。写194-22、195-7・8は、端部に平坦な敲打痕が形成されている。写197-12は石錘とした。

#### 石製品

写197-14は、半球状の石製品の裏面が窪みを持つものの変異と考えられる。正面から側面にかけて、段差と線刻を設けている。写198-1は小形の皿状の石製品で、裏面には弧状の線刻がある。同21は研磨加工が加えられた半球状の石製品の変異として考えられる。裏面に窪みの作り出しは無い。

(齋藤)

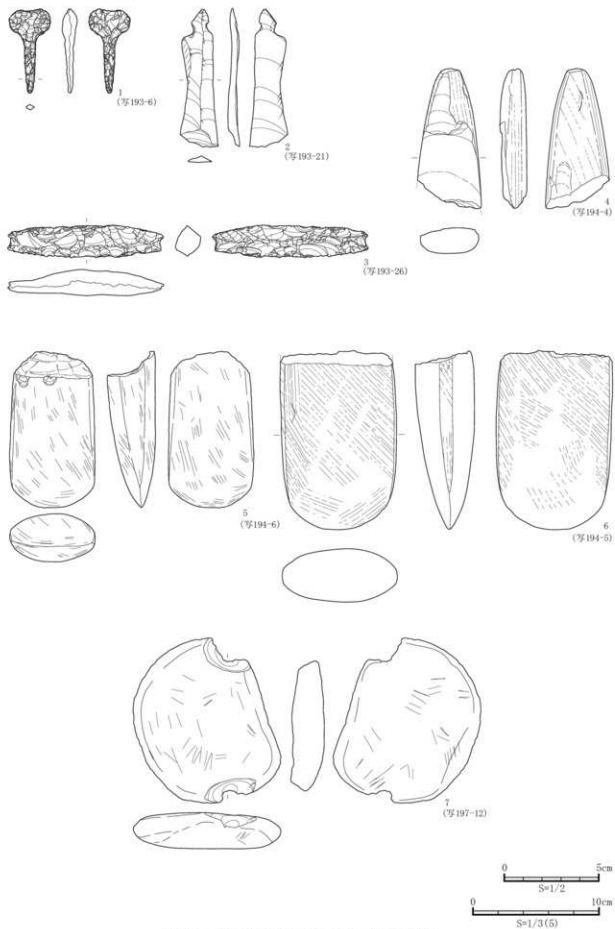


図127 北東捨場延長地区 石器・石製品(1)



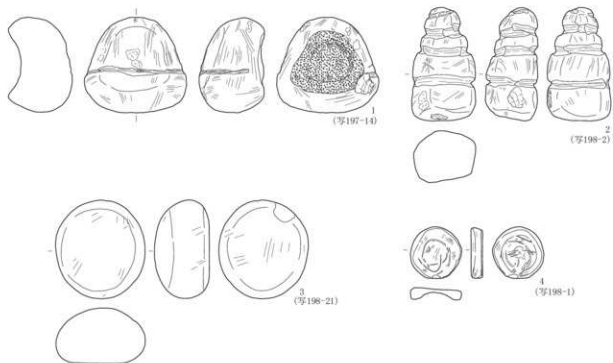
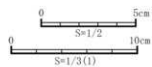


図128 北東捨場延長地区 石器・石製品(2)



## 第4章 まとめ

東捨場延長地区、北東捨場延長地区は、本遺跡の東側に接する川原平(4)遺跡の一部範囲を指す。本遺跡と川原平(4)遺跡は、旧村道を挟んで基本的に地形の連続性が認められ、さらには遺構・遺物の時期も重なる部分が多い。川原平(4)遺跡では、縄文時代晩期中葉から一部晩期後葉にかけての墓域が確認されており、本遺跡の集落構造・変遷を考える上でも重要な遺跡である。

この両遺跡の境界付近における発掘調査の結果、本遺跡の東捨場と北東捨場の範囲は、川原平(4)遺跡側に広がることが確認された。そのため、川原平(4)遺跡側に連続する捨場堆積層とその出土遺物について、「東捨場延長地区」、「北東捨場延長地区」として今回報告した次第である。なお、東捨場は段丘平坦面、北東捨場は斜面部に形成されている。

遺構は、東捨場延長地区の範囲内に土器埋設遺構1基、ビット9基が確認されている(青森県教委2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』)。ビットはいずれも小規模なもので、規則的な配列は認められない。土器埋設遺構については、第27号土器埋設遺構として報告されたもので、粗製深鉢が倒立状態で認められ、口縁部はⅡa-2層上面に接する。遺構周囲が掘り下がっていたため、掘方は確認されていない。本遺跡でも掘方を伴わずに倒立状態に土器を設置した事例が、東捨場で多数確認されている。また、土器の口縁部が堆積層の境界に接する点についても、共通する特徴として留意され、このような遺構が東捨場地区を中心に一部延長地区まで広がっていたことがわかる。

遺物は、東捨場延長地区で縄文時代晩期中葉から晩期後葉、北東捨場延長地区で縄文時代後期後葉から晩期中葉のものが出土している。

東捨場延長地区については、出土土器の多くが押し潰れた状態もしくは破片で出土し、完形個体での出土例が極めて少ない点で、東捨場の主体部とは様相がやや異なる。この様相の違いには、捨場縁辺部としての性格が反映されている可能性がある。また、東捨場の堆積層に含まれる後期後葉から晩期前葉の遺物は、東捨場延長地区ではほとんど出土していない。よって、後期後葉から形成され始めた東捨場は、晩期中葉以降にその範囲を東捨場延長地区まで拡大したと考えられる。

北東捨場延長地区は、本遺跡の北東斜面末端部に相当し、川原平(4)遺跡側からの廃棄行為は認められない。遺物は斜面上方からの流れ込みによって時期的に新旧が混在するものと予想されたが、上層と下層の出土遺物にはある程度の時期差が認められた。上層からは主に晩期中葉、下層からは後期後葉から晩期前葉の遺物が出土している。北東捨場でも同様に、堆積層による出土遺物の時期差が確認されているが、最も上位の堆積層を中心に北東捨場延長地区には含まれない晩期5期の土器が出土している。このことから、北東捨場延長地区は北東捨場の形成に合わせて後期後葉から晩期中葉まで廃棄域として使用され、その後、晩期後葉の晩期5期には北東捨場の廃棄域が縮小したものと考えられる。

(最上)

## 引用文献

- 青森県教育委員会 2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集。
- 市原市教育委員会 2007『市原市西広貝塚Ⅲ』市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集。
- 市原市文化財センター 1995『能満上小貝塚』財団法人市原市文化財センター調査報告書第55集。
- 大八木規夫 1982「地すべりの構造」『URBAN KUBOTA No.20(特集=地すべり)』(株)クボタ
- 小林圭一 2010『亀ヶ岡式土器成立期の研究—東北地方における縄文時代晩期前葉の土器型式—』早稲田大学総合研究機構 先史考古学研究所。
- 小林謙一 2008『縄文時代の暦年代』『縄文時代の考古学2 歴史のものさし—縄文時代研究の編年体系—』同成社。
- 柴 正敏 2016「第4節 地形と地質」青森県教育委員会 2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集。
- 栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1999『藤岡神社遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告書第197集。
- 陸上町教育委員会 2000『滝端遺跡発掘調査報告書』
- 藤村東男 1985『九年橋遺跡第8次調査報告書』北上市文化財調査報告書第39集。
- 峰山 巖 1968「恵山式土器」『北海道考古学』第4輯 北海道考古学会。
- 武藤康弘 2016「民族事例からみる多様な住居の様相—平地式住居の実態—」『縄文時代の食と住まい』ものが語る歴史32 同成社。
- 山内清男 1979[1961]『日本先史土器の縄紋』先史考古学会、pp.44～45。

表5 東捨場地区 遺構計測表

遺構名	グリッド	遺構時期	遺構名変更	備考	平面形	図収番号	写真図収番号	開口部/長さ×幅(直径)	底/長さ×幅(主柱/穴)	深さ
SQ15	IV-49-50	晩期中葉～後葉		版方なし		6	9	3.01×0.98m	—	—
SQ21	IV-54	晩期Ⅲ				6	9	0.76×0.66m	—	—
SQ48	IV-54-55	晩期Ⅲ	旧ブロック1		不整形	7	10-11	3.92×2.96m	—	—
SQ49	IV-52	晩期前葉～後葉		ブロック6の範囲に位置		6	9	1.45×0.42m	—	—
SK37	IV-52	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	8	14	版方なし	版方なし	—
SK38	IV-52	後期後葉～晩期前葉		土器埋設遺構?	版方なし	—	—	版方なし	版方なし	—
SK39	IV-52	後期後葉～晩期前葉		土器埋設遺構?	版方なし	—	14	版方なし	版方なし	—
SK40	IV-52	晩期1b		土器埋設遺構?	版方なし	—	14	版方なし	版方なし	—
SK41	IV-54	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	8	14	版方なし	版方なし	—
SK42	IV-54	晩期Ⅲ		伏せ置かれた状態	版方なし	8	14	版方なし	版方なし	—
SK43	IV-54	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	8	14	版方なし	版方なし	—
SK44	IV-54	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	8	15	版方なし	版方なし	—
SK45	IV-53	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	8	15	版方なし	版方なし	—
SK46	IV-53	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	9	15	版方なし	版方なし	—
SK47	IV-53	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	9	15	版方なし	版方なし	—
SK48	IV-53	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	10	15	版方なし	版方なし	—
SK49	IV-53	晩期中葉小		伏せ置かれた状態	版方なし	10	—	版方なし	版方なし	—
SK77	IV-52	晩期前葉	P-263a・P-263b	版方なし	9	—	—	版方なし	版方なし	—
SK78	IV-52	晩期前葉	P-267a	伏せ置かれた状態	版方なし	9	—	版方なし	版方なし	—
SK79	IV-52	晩期前葉	P-267b	版方なし	9	—	—	版方なし	版方なし	—
SK80	IV-55	晩期Ⅲ	SK伊-2112)	伏せ置かれた状態	版方なし	9	—	版方なし	版方なし	—
SK81	IV-54	晩期中葉小	SK伊-2107、P-210a、P-210b)	伏せ置かれた状態	版方なし	9	—	版方なし	版方なし	—
SK82	IV-54	晩期中葉小	P-231a、P-231A、P-231b)	伏せ置かれた状態	版方なし	7	—	版方なし	版方なし	—
SK58	IV-52	晩期前葉		年代測定あり	13	6	1.75×1.12m	—	15.7cm	
SK59	IV-52	晩期前葉		年代測定あり	13	6	0.63m	—	15.1cm	
SK60	IV-52	晩期前葉		年代測定あり	13	9	0.55×0.41m	—	8.4	
SK61	VA-53	晩期前葉		年代測定あり	14	7-8	0.59×0.56m	—	22.7	
SK62	VA-53	晩期前葉		年代測定あり	14	7-8	0.54×0.25m	—	9cm	
SK63	VA-53	晩期前葉			14	8	0.31m	—	35.5cm	
SK64	VA-53	晩期前葉			15	9	1.05×1.65m	—	10.7cm	
SK65	IV-52	晩期前葉			15	9	0.32m	—	—	
SK66	IV-52	晩期前葉			15	9	0.39×0.24m	—	—	
PI1029	IV-56	不明			2	—	26×18	柱版なし	版方 底面絶対標高203.072m	
PI1032	IV-26-57	不明			2	—	28×20	柱版なし	版方 底面絶対標高203.736m	

表6 北東捨場地区 遺構計測表

遺構名	グリッド	遺構時期	遺構名変更	備考	平面形	図収番号	写真図収番号	開口部/長さ×幅(直径)	底/長さ×幅(主柱/穴)	深さ
SQ23	VJ-VK-1B	後期後葉～晩期前葉				55	83	1.30×0.76m	—	—
VI-46	VI-46	晩期中葉				55	76	1.13×0.77m	—	—
VI-47	VI-46	晩期中葉				55	79	0.81×0.65m	—	—

表7 東捨場地区 土器観察表(1)

器種 番号	器種 属性	器種 番号	器種 属性	器種 番号	器種 属性	時期	形状・外装文様など	内装特徴	付属物	備考	口径 (㎜)	高さ (㎜)	器種 番号
6	19	1	厚土	IV19 P-X 5015	底面6~7 底面4~5	底面6~7 底面4~5	外側：浅溝文、底土面粗末の縄文文様。 平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝3条、文様帯文。内側：面取溝2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1015 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2510
6	19	2	厚土	IV19 P-X 5016	底面4~5	底面4~5	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1016 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2550
—	20	1	厚土	IV21 P-X 5018	底面中層	底面中層	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1018 口唇に浅溝1条	11.0	—	東土器 2211
—	20	2	厚土	IV21 P-X 5019	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1019 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2210
7	20	3	厚土	IV24 P-X 5018	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1024 口唇に浅溝1条	106.0	6.0	東土器 2212
—	20	4	厚土	IV24 P-X 5019	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1025 口唇に浅溝1条	106.0	—	東土器 2098
—	20	5	厚土	IV24 P-X 5020	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1026 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2103
—	20	6	厚土	IV24 P-X 5021	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1027 口唇に浅溝1条	(24.0)	—	東土器 2091
—	20	7	厚土	IV24 P-X 5022	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1028 口唇に浅溝1条	13.0	6.2	東土器 2213
—	20	8	厚土	IV24 P-X 5023	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1029 口唇に浅溝1条	(9.0)	6.0	東土器 2094
—	20	9	厚土	IV24 P-X 5024	底面	底面	平口縁、口唇：面取文。外側：面取溝2条、底面2条、底面3条、底面4条、底面5条。口唇：面取文、口唇に浅溝1条。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1030 口唇に浅溝1条	11.0	—	東土器 2084
11	21	—	厚土	P-X 5028	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1031 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2532
11	21	1	厚土	P-X 5029	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1032 口唇に浅溝1条	—	9.4	東土器 2534
11	21	2	厚土	P-X 5030	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1033 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2536
11	21	3	厚土	P-X 5031	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1034 口唇に浅溝1条	32.6	—	東土器 2027
11	21	4	厚土	P-X 5032	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1035 口唇に浅溝1条	13.0	7.5	東土器 2376
11	21	6	厚土	IV34 S-03	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1036 口唇に浅溝1条	16.4	—	東土器 2066
11	21	7	厚土	IV34 S-04	底面	底面	外側：浅溝文、底面：面取文。	平口、口唇に浅溝1条。	底面、外側	遺物番号1037 口唇に浅溝1条	—	—	東土器 2582



表7 東捨場地区 土器観察表(3)

調査 番号	調査 区画	調査 番号	土器 種類 (出土層)	原形	器種	時期	形状・外装文様など	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
16	22	12	Ⅱ-X Ⅱ-3	9体	灰鉢	前期	横文(1)底面(1)は横文(横文なし)、直筋(平直)	十字	灰化物(内装)		—	8.8	—	東-土器 2054
16	22	13	Ⅱ-X Ⅱ-4	1個	鉢	前期	小窓状口縁、口管(高めに取付)、外面(直線文(直筋直下)に之字の横筋)、 内面(直線文(直筋直下)に之字の横筋)、横文(横文なし)	十字	灰化物(外)		(15.0)	—	—	東-土器 2317
16	22	15	Ⅱ-3 Ⅱ-5	2個	底面直線文一 面	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(直線文)	十字	灰化物(外)		24.0	—	—	東-土器 2100
21	23	1	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	鉢	前期	平口縁、内面(直線文(外面に三叉状の横筋)と一山突起(内面)、外面に直線文の 直線文(直線文なし))、直筋(直筋直下)、外面(直線文(直筋直下)に之字の横筋) 横文(横文なし)	十字	灰化物(外)		—	—	—	東-土器 2330
21	23	2	Ⅱ-3 Ⅱ-2	2個	灰鉢	前期	平口縁、突起(直筋)1個、外面(直線文(直筋直下)に直線文、三叉文、入組文、 直線文(直線文なし))、直筋(直筋直下)、外面(直線文(直筋直下)に直線文、 三叉文、入組文、直線文(直線文なし))	十字	灰化物(内装)		—	—	—	東-土器 2335
21	23	3	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	灰鉢	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(口管直下)に直線文、	十字	灰化物(外)		34.0	—	—	東-土器 2246
21	23	4	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	鉢	前期	外面(直線文、横筋(直線文なし)、直線文)	十字	直筋(内・外面)		—	—	—	東-土器 2273
21	23	5	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	灰鉢	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(直線文(直筋直下)、外面(横線文) 直筋、直筋(直筋直下)に直線文、直筋(直線文)	十字			—	—	—	東-土器 2313
—	23	6	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	灰鉢	前期	外面(直筋(直線文)に直線文、直筋(直線文)	十字			—	—	—	東-土器 2309
21	23	7	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	鉢	前期	外面(直筋(直線文)に直線文、直筋(直線文)	十字	灰化物(外)		—	—	—	東-土器 2238
21	23	8	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	灰鉢	前期	外面(直筋(直線文)に直線文、直筋(直線文)	十字	灰化物(外)	紐土・小縄	—	—	—	東-土器 2235
21	23	9	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	灰鉢	前期	平口縁、突起(直線文)、口管(直線文なし)、外面(横線文)1条、口縁直筋 十字、直線文	十字	灰化物(外)		—	—	—	東-土器 2240
21	23	10	Ⅱ-3 Ⅱ-2	1個	鉢	前期	平口縁、口管(直線文なし)、外面(直線文、横筋直下)に直線文、	十字			—	—	—	東-土器 2245
—	23	11	Ⅱ-3 Ⅱ-4	1個	灰鉢	前期	平口縁、口管(直線文なし)、外面(直線文、横筋直下)に直線文、	十字	灰化物(内・外面)		—	—	—	東-土器 2246
21	23	12	Ⅱ-3 Ⅱ-4	1個	鉢	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(直線文(直筋直下)に直線文、横筋直下) 直筋、直筋(直線文)	十字	灰化物(外)		(26.0)	—	—	東-土器 2233
21	23	13	Ⅱ-3 Ⅱ-4	1個	鉢	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(直線文(直筋直下)に直線文、横筋直下) 直筋、直筋(直線文)	十字	灰化物(内・外面)		(16.2)	—	—	東-土器 2231
21	23	14	Ⅱ-3 Ⅱ-5	1個	鉢	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(直線文(直筋直下)に直線文、横筋直下) 直筋、直筋(直線文)	十字	灰化物(外)		—	—	—	東-土器 2311
21	23	15	Ⅱ-3 Ⅱ-5	1個	鉢	前期	平口縁、口管(直筋)、外面(直線文(直筋直下)に直線文、横筋直下) 直筋、直筋(直線文)	十字	灰化物(内)		—	—	—	東-土器 2308

表7 東拾遺地区 土器観察表(4)

器種 番号	器種 名称	器種 番号	器種 名称	時期	形状・外観等の特徴	内装特徴	付属物	備考	口径 (㎜)	高さ (㎜)	器底 (㎜)	器厚 (㎜)
21	23	16	ハ・X フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		—	—	—	—
21	23	17	IV42 フロッタ5	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		—	—	—	—
22	24	1	IV32 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		32.0	—	—	—
22	24	2	V2028 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		32.8	—	—	—
22	24	3	IV42 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		18.0	—	—	—
22	24	4	IV42 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		—	—	—	—
22	24	5	IV42 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		30.0	—	—	—
22	24	6	IV35 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		18.4	22.9	—	—
22	24	7	V2028 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		16.7	—	—	—
—	24	8	IV42 フロッタ6	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		—	—	—	—
22	25	1	IV35 フロッタ10	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)	胎土：粘質	—	—	—	—
22	25	2	IV44 フロッタ10	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		—	—	—	—
—	25	3	V2028 フロッタ11	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		20.0	—	—	—
23	25	4	V2028 フロッタ17	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		20.6	—	—	—
23	25	5	IV43 フロッタ17	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		—	—	—	—
23	25	6	IV43 フロッタ17	Ⅱ	平口縁。口唇厚肉。外面：磨面。底面：交互し、條紋。口平に凹溝文。	ナギ 口縁に浅溝1条	灰化物(内・外面)		18.2	—	—	—



表7 東揚馬地区 土器観察表(5)

器種 番号	器種 名称	器種 番号	器種 名称	時期	形状・外観的特徴など	内面特徴	付着物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	器種 番号
23	25	7	IVK3 フロンタ17	他器2	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	17.0	—	東土器 2117
23	25	8	IVK3 フロンタ17	他器	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	13.0	—	東土器 2091
23	25	9	IVK8 フロンタ17	他器2	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	—	—	東土器 2153
—	25	10	IVK3 フロンタ17	付付量	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	13.0	—	東土器 2121
23	25	11	IVK3 フロンタ17	他器1b	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	—	—	東土器 2107
—	25	12	IVK3 フロンタ17	付付量	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	14.0	—	東土器 2317
23	25	13	IVK3 フロンタ17	他器1b	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	—	—	東土器 2117
—	25	14	IVK3 フロンタ17	他器2	4器16器	4器16器	4器16器	4器16器	—	—	東土器 2258
23	26	1	IVK2 フロンタ18	他器7~4	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	—	—	東土器 2162
23	26	2	IVK2 フロンタ18	他器8	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	—	—	東土器 2208
23	26	3	IVK2 フロンタ18	他器1a	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	18.0	—	東土器 2109
23	26	4	IVK2 フロンタ18	他器1a	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	—	—	東土器 2163
23	26	5	IVK2 フロンタ18	他器3	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	18.0	—	東土器 2208
23	26	6	IVK2 フロンタ18	他器3	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	—	—	東土器 2070
24	26	7	IVK2 フロンタ19	他器7~4	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	—	—	東土器 2297
24	26	8	IVK2 フロンタ19	他器1a	4器2器	4器2器	4器2器	4器2器	18.0	—	東土器 2111

表7 東拾場地区 土器観察表(6)

調査番号	瓦葺 遺跡	瓦葺 遺跡	瓦葺 遺跡	土器 種類 (出土品等)	層名	遺種	時期	形制・外観と特徴など	内面特徴	付着物	備考	口径 (㎜)	底径 (㎜)	高さ (㎜)	調査 番号
23	26	3	IV32 F952 F953	Ⅷ22層 F952層 F953層	Ⅷ22層 Ⅷ22層 Ⅷ22層	林 付付体 付付体	後製後遺一帯 後製 後製4	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口縁文。 平口鉢、大小の二山突起を交互に配置(18突起)。口唇1面直なし。外面1口縁部上まで口縁文。突起高下方向の配置(直、屈折、直、屈折、直、屈折)。体部上まで口縁文。口唇1面直なし。	平口	炭化物(内・外面)		30(φ)	—	—	東土器 2228
—	26	10	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林 付付体	後製4	平口鉢、口唇1面直。外面1口縁一部と体部上まで口唇文。口唇1面直なし。外面1口縁部と体部上まで口縁文。	平口	外鉄系土	胎土:砂産	11.0	—	12.2	東土器 2030
—	26	11	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林 付付体	後製4	平口鉢、口唇1面直。外面1口縁一部と体部上まで口唇文。口唇1面直なし。外面1口縁部と体部上まで口縁文。	口縁部と体部上まで口縁文	外鉄系土	胎土:砂産	9.0	3.2	8.1	東土器 2021
24	26	12	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林	後製4	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内・外面)		—	—	—	東土器 2229
24	26	13	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林	後製後遺一帯	平口鉢、口唇1面直、外面1口縁文。	平口	炭化物(内・外面)	胎土:小磯	—	—	—	東土器 2203
24	26	14	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製8～ 後製16	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	外鉄系土		16(φ)	—	—	東土器 2282
24	26	15	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	不明	後製後遺一帯	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	外鉄系土		—	—	—	東土器 2290
24	27	1	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林	後製4	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内外)	胎土:北谷原1層	18(φ)	—	—	東土器 2092
24	27	2	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林	後製後遺一帯	平口鉢、口唇1面直。外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内・外面)		—	—	—	東土器 2252
24	27	3	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製8	平口鉢、三山突起(中心は短く、傾斜)、右面直(口縁部直)、胎土直(口唇部直)。口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。胎土直(口唇部直)。	平口	外鉄系土		—	—	—	東土器 2195
24	27	4	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製4	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。口唇1面直なし。外面1口縁部と体部上まで口唇文。胎土直(口唇部直)。	平口	外鉄系土		18(φ)	—	—	東土器 2200
24	27	5	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製3	胎土直(口唇部直)。口唇1面直、外面1口縁部と体部上まで口唇文。胎土直(口唇部直)。	平口	胎土直(内外)		21(φ)	—	—	東土器 2231
24	27	6	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製後遺一帯	平口鉢、胎土直(口唇部直)。口唇1面直、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内外)		8(φ)	—	—	東土器 2257
24	27	7	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林	後製8	平口鉢、胎土直(口唇部直)。口唇1面直、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内外)	胎土:信濃後井	—	—	—	東土器 2105
24	27	8	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	林	後製後遺一帯	平口鉢、口唇1面直(平直)、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内・外面)	胎土:小磯	—	—	—	東土器 2194
24	27	9	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製4	平口鉢、胎土直(口唇部直)。口唇1面直、外面1口縁部と体部上まで口唇文。胎土直(口唇部直)。	平口	炭化物(内外)		—	—	—	東土器 2099
24	27	10	IV32 F952	Ⅷ22層 F952層	Ⅷ22層 Ⅷ22層	付付体	後製後遺一帯	胎土直(口唇部直)。口唇1面直、外面1口縁部と体部上まで口唇文。	平口	炭化物(内外)		—	6.2	—	東土器 2041



表7 東揚馬地区 土器観察表(8)

調査番号	宮城地区	宮城遺跡	発見層	層名	器種	時期	形制・外観的特徴	内装特徴	付随物	備考	口径 (mm)	底径 (mm)	高さ (mm)	調査番号
—	29	6	IV-65 P262	ⅢB層	深鉢	Ⅱ期2	三式式地物による丸底物の口縁部。外側：横位瓦葺1条。内側面：黒目付1条。肩周りに1条が彫刻。支脚部用瓦文。肩周りに1条。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	11.8	3.0	13.7	東-土器 1090
—	29	7	IV-65 P263	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2～3	平口縁。肩周りに1条。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	26.6	—	(17.5)	東-土器 2065
—	29	8	IV-65 P264	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2～3	平口縁。肩周りに1条。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	19.4	—	—	東-土器 2071
—	29	9	IV-65 P265	ⅢB層	鉢小	Ⅱ期2～3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	23.8	—	—	東-土器 2092
—	29	10	IV-65 P266	ⅢB層	深鉢	Ⅱ期2	三式式地物による丸底物の口縁部。外側：横位瓦葺1条。内側面：黒目付1条。肩周りに1条が彫刻。支脚部用瓦文。肩周りに1条。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	28.2	—	—	東-土器 2092
—	30	1	IV-64 P267	ⅢB層	鉢	Ⅱ期3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	19.6	18.0	18.2	東-土器 2073
26	30	2	IV-64 P268	ⅢB層	深鉢	Ⅱ期4～5	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	—	—	—	東-土器 2108
—	30	3	IV-63 P269	ⅢB層	鉢	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	(16.0)	(5.0)	8.9	東-土器 2117
26	30	4	IV-63 P270	ⅢB層	鉢	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	19.0	6.4	15.8	東-土器 2109
—	30	5	IV-65 P269	ⅢB層	鉢	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	18.0	6.0	15.3	東-土器 2110
—	30	6	IV-64 P268	ⅢB層	鉢小	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	18.0	—	—	東-土器 2078
26	30	7	IV-64 P268	ⅢB層	鉢小	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	—	7.2	—	東-土器 2132
26	30	8	IV-65 P269	ⅢB層	深鉢	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	—	6.0	—	東-土器 2053
—	30	9	IV-65 P269	ⅢB層	深鉢	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	—	—	—	東-土器 2168
26	30	10	IV-65 P269	ⅢB層	鉢	Ⅱ期4	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	13.0	—	—	東-土器 2172
26	31	1	IV-63 P268	ⅢB層	鉢	Ⅱ期1～2	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	23.4	—	—	東-土器 2053
—	31	2	IV-64 P267	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	13.0	6.0	5.1	東-土器 2232
—	31	3	IV-64 P267	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2～3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	18.0	—	—	東-土器 2071
26	31	4	IV-62 P267	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	—	—	—	東-土器 2070
—	31	5	IV-64 P268	ⅢB層	鉢	Ⅱ期3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	12.7	—	—	東-土器 2136
—	31	6	IV-65 P269	ⅢB層	鉢	Ⅱ期3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	11.2	—	—	東-土器 2222
—	31	7	IV-65 P267	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2～3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	14.0	—	—	東-土器 2085
—	31	8	IV-65 P267	ⅢB層	鉢	Ⅱ期2～3	平口縁。口唇：黒目。外側：横位瓦葺1条。上段と下段の区別が不明。肩周りに2条の黒目。支脚部用瓦文。体上半部は平口縁。底面：平瓦。	外装物(内・外側)	炭化物(内・外側)	—	11.6	—	—	東-土器 2114

表7 東揚場地区 土器観察表(9)

調査番号	宮城遺跡	宮城遺跡	出土品番号(出土品番号)	原形	器種	時期	形制・外装文様など	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	調査番号	
—	31	9	IV33 P-8	片山鉢	片山鉢	晩葉2~4	片山、口唇に波状文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(内・外周)	底文:波状文+山線文	126.6	—	—	東土器 1106	
—	31	10	IV39 P-8	片山鉢	片山鉢	晩葉3~4	片山、口唇波状文+山線文、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、底文に山線部+波状文+山線文、	ナブ	山内側に灰濁	—	17.4	13.0	3090	東土器 1090	
—	31	11	IV42 P-8	片山鉢	片山鉢	晩葉3~4	片山、口唇波状文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(内・外周)	—	10.6	8.5	2141	東土器 1141	
—	31	12	IV44 P-8	片山鉢	片山鉢	晩葉3~4	片山、口唇波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(内・外周)	—	(17.6)	—	—	東土器 1226	
26	31	13	IV55 P-8	付付鉢鉢	付付鉢鉢	晩葉3	片山鉢、山内側に山線文、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、底文に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(内・外周)	—	8.6	6.7	11.0	2042	東土器 2042
—	31	14	IV56 P-8	付付鉢	付付鉢	晩葉2~3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	5字年	外周に山線部+波状文+山線文、	外周に山線部+波状文+山線文	—	7.0	6.0	1013	東土器 1013
—	31	15	IV51 P-8	付付鉢	付付鉢	晩葉1a	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(内・外周)	—	122.5	7.0	19.5	2111	東土器 2111
—	31	16	IV52 P-8	付付鉢小	付付鉢小	晩葉2~3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	外周に山線部+波状文+山線文	—	7.4	(8.0)	—	東土器 1028	
—	31	17	IV54 P-8	付付鉢鉢	付付鉢鉢	晩葉4	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	5字年、以降に山線部+波状文+山線文	炭化物(内・外周)	—	14.8	9.3	19.4	1109	東土器 1109
—	31	18	IV58 P-8	付付鉢	付付鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	5字年	炭化物(外周)	—	6.0	3.0	—	2072	東土器 2072
—	32	1	IV63 P-8	付付鉢鉢	付付鉢鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	5字年	炭化物(外周)	—	(26.6)	—	—	—	東土器 1122
26	32	2	IV65 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	外周に山線部+波状文+山線文	外周に山線部+波状文+山線文	—	15.8	5.2	6.4	3022	東土器 3022
—	32	3	IV64 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	外周に山線部+波状文+山線文	外周に山線部+波状文+山線文	—	15.6	5.0	6.4	—	東土器 1113
26	32	4	IV65 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	5字年	炭化物(外周)	—	17.0	5.2	6.5	—	東土器 1115
—	32	5	IV55 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(外周)	—	15.0	5.0	5.7	—	東土器 1117
27	32	6	IV58 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	外周に波状文	—	24.0	4.2	8.7	2134	東土器 2134
—	32	7	IV62 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(外周)	—	17.2	4.2	5.8	—	東土器 1127
—	32	8	IV55 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	外周に山線部+波状文+山線文	—	15.0	5.0	5.0	3022	東土器 3022
—	32	9	IV55 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	5字年	炭化物(外周)	—	(18.6)	—	—	—	東土器 2142
27	32	10	IV53 P-8	片鉢	片鉢	晩葉3	片山鉢、口唇に波状文+山線文、外周に山線部+波状文+山線文、	ナブ	炭化物(外周)	—	15.2	5.2	5.4	—	東土器 1119

表7 東揚場地区 土器観察表(10)

器種番号	器種	器種	時期	形状・外観等	形状・外観等	内面特徴	付着物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	器種番号
—	22	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	東土器 2221
—	23	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	東土器 2155
26	23	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	—	東土器 2135
—	23	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	Ⅴ	東土器 2120
—	23	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	Ⅵ	東土器 2236
27	23	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	Ⅶ	東土器 2032
—	23	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	東土器 2137
—	23	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	Ⅸ	東土器 2217
—	23	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	Ⅹ	東土器 2064
—	24	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	Ⅺ	東土器 2063
27	24	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅻ	東土器 2018
29	24	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	Ⅼ	東土器 2022
29	24	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	Ⅽ	東土器 2028
29	24	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	Ⅾ	東土器 2039
—	24	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	Ⅿ	東土器 2007
—	24	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	ⅰ	東土器 2043

表7 東揚馬地区 土器観察表(11)

器種番号	器種	器名	器種	時期	形制・外形・文様・色	内装特徴	付随物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	器種番号
28	34	9	IV534 P-9	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。口管・面取なし。口縁に内縁。外面・面取に内縁。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	7.5	4.0	18.0	東土器 2035
—	34	10	IV535 P-9	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	8.5	—	(18.3)	東土器 2107
—	34	11	IV537 P-9	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	—	—	—	東土器 2125
—	34	12	IV534 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	9.4	—	—	東土器 2118
29	35	1	IV535 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	—	—	—	東土器 2338
—	35	2	IV544 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	7.2	4.1	18.2	東土器 2110
29	35	3	IV544 P-8	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	(14.0)	—	—	東土器 2346-2
29	35	4	IV544 P-8	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	—	—	—	東土器 2346-3
—	35	5	IV535 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	7.3	—	(6.7)	東土器 2043
—	35	6	IV555 P-9	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	(16.0)	6.8	12.2	東土器 2094
—	35	7	IV544 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	10.0	—	(16.0)	東土器 2127
—	35	8	IV535 P-9	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	10.5	—	15.5	東土器 2008
29	35	9	IV535 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	6.2	11.1	5.4	東土器 2041
—	35	10	IV544 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	(9.0)	—	—	東土器 2041
—	35	11	IV535 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	平口縁。器底1単位(直径4.8単位)。口管・面取なし。外面・口縁部は面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	23.5	—	—	東土器 2108
27	35	12	IV533 P-8	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	3.6	2.8	—	東土器 2201
29	35	13	IV533 P-8	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	—	—	—	東土器 2130
29	35	14	IV536 P-10	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	—	—	—	東土器 2126
29	35	15	IV533 P-8	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	—	—	—	東土器 2124
—	36	1	IV533 P-8	ⅡB1期	Ⅱ	外縁部取しによる器蓋支。器蓋取しに面取なし。器蓋上は面取なし。器蓋の片側長と交互に差渡り(4.8単位)。器底径3.0cm。ヒケナ。器蓋の縁部は、器底と同径。	ヒケナ	赤土(赤・内面) 赤黒(外縁)	(7.0)	2.0	16.2	東土器 2148





表7 東拾場地区 土器観察表(13)

器種番号	器種	器名	出土状況(出土層等)	器種	時期	形状・外観的特徴など	内面特徴	付着物	備考	口径 (mm)	底径 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)
—	32	Ⅴ13 p-x	Ⅴ2層	底	須恵焼	外面:口縁部分ナシ。体部口縁文。器面無取巻。底面:滑石。	ナシ	無	胎土:小糠	—	4.0	18.0	—
—	37	Ⅴ42 p-x	Ⅴ2層	底	須恵焼	平口縁。口管:面取(平取)。外面:面取口縁部。器面上に器底4刺孔。取巻文。体部口縁部文(横線取巻)。口縁部口管ナシ。底面:高直。	ナシ	外面取巻	胎土:小糠	4.0	3.4	11.3	—
—	37	Ⅴ12 P208	Ⅴ2層	底	須恵焼	外面:口縁部ナシ。口管取巻(凹形取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	外面に高直	口管内径0.5cm	—	2.6	13.2	—
—	38	Ⅴ1 P208	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管取巻(底面口管取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	高直部(内外)	—	16.0	—	—	1105・D-2
—	38	Ⅴ33 p-x	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管取巻(底面口管取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	高直部(内外)	—	12.0	—	—	1114
—	38	Ⅴ12 P209	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管:口管部分の二面取。外面:口管取巻(体部口縁部文)。底面:高直。	ナシ	外面取巻	胎土:小糠	10.8	4.2	8.9	—
—	38	Ⅴ12 P206	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管取巻(口管取巻)取巻部取巻(取巻部取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	外面取巻	—	22.0	—	—	1160
—	38	Ⅴ12 P206	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管取巻(口管取巻)取巻部取巻(取巻部取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	外面取巻	—	6.6	2.5	13.3	—
—	38	Ⅴ12 P210	Ⅴ2層	器鉢	須恵焼	底面口縁部取巻(取巻部取巻)。口管:面取(平取)。外面:体部口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	胎土:小糠	—	5.0	—	—	1164
—	38	Ⅴ43 P207	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管:口管部分の二面取。外面:口管取巻(体部口縁部文)。底面:高直。	ナシ	外面取巻	胎土:小糠	—	12.0	—	—
—	38	Ⅴ13 p-x	Ⅴ2層	底	須恵焼	外面:体部下半口縁部文。器面:口管取巻。底面:口管取巻。	ナシ	外面取巻部取巻	胎土:小糠	—	3.8	17.9	—
—	38	Ⅴ13 P208	Ⅴ2層	底	須恵焼	平口縁。口管:面取。外面:口管取巻(取巻部取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	外面に高直	口管内径5.7cm	7.8	—	(14.7)	—
—	38	Ⅴ12 P208	Ⅴ2層	底	須恵焼	外面:口縁部ナシ。口管取巻(底面口管取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	胎土:小糠	—	—	3.2	(14.2)	—
—	38	Ⅴ20 P208	Ⅴ2層	底	須恵焼	平口縁。口管:面取(平取)。外面:面取口縁部。器面上に器底4刺孔。取巻文。体部口縁部(区画)ナリ。底面:高直。	ナシ	胎土:小糠	胎土:小糠	7.0	2.0	10.7	—
—	38	Ⅴ12 P211	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管:面取(平取)。外面:面取口縁部。器面上に器底4刺孔。取巻文。体部口縁部(区画)ナリ。底面:高直。	ナシ	高直部(内外)	胎土:小糠	(5.0)	2.0	13.1	—
—	38	Ⅴ12 P210	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管:口管部分の二面取。外面:口管取巻(体部口縁部文)。底面:高直。	ナシ	高直部(内外)	胎土:小糠	16.6	2.0	10.0	—
—	38	Ⅴ13 p-x	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	外面:口管取巻(口管取巻)取巻部取巻(取巻部取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	外面取巻	胎土:小糠	—	—	—	1165
—	38	Ⅴ12 P212	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	外面:口管取巻(口管取巻)取巻部取巻(取巻部取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	外面取巻	胎土:小糠	—	—	—	1165
—	38	Ⅴ11 P211	Ⅴ2層	付付体	須恵焼	平口縁。口管取巻(口管取巻)取巻部取巻(取巻部取巻)。器面口縁部ナシ。ナリ。底面:高直。	ナシ	高直部(内外)	胎土:小糠	—	—	—	1167
—	38	Ⅴ14 P210	Ⅴ2層	底	須恵焼	平口縁。口管:面取(平取)。外面:面取口縁部。器面上に器底4刺孔。取巻文。体部口縁部(区画)ナリ。底面:高直。	ナシ	高直部(内外)	胎土:小糠	11.4	(8.0)	11.1	—
—	38	Ⅴ14 P210	Ⅴ2層	底	須恵焼	平口縁。口管:面取(平取)。外面:面取口縁部。器面上に器底4刺孔。取巻文。体部口縁部(区画)ナリ。底面:高直。	ナシ	胎土:小糠	胎土:小糠	(18.0)	(8.0)	—	—

表7 東捨場地区 土器観察表(14)

調査 番号	発掘 深度 (cm)	深層 層位	層名	器種	時期	形制・外装文様など	内装特徴	付着物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	器種 番号
—	30	4	IV54 P201	皿	他器3	平口縁。以臂・面取なし。外周・裏方に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		21.0	5.1	東土器 1152
30	30	5	IV54 P203	付付皿	他器3	口縁区縁突起を器底の突起と一致して器底に区縁1条。以臂・面取なし。外周・裏方に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		17.0	(4.6)	東土器 2008
30	30	6	IV55 P211+P407	皿	他器3	外周・裏方に土系雲形文。文様部下面に横位区縁3条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		—	16.0	東土器 2014
30	30	7	IV54 P220	皿	他器3	外周・裏面に土系雲形文。底取1区取。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		—	6.0	—
—	30	8	IV54	皿	他器3	外周・裏面に土系雲形文。底取1区取。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。	皿上・印縁	6.8	5.3	東土器 2022
—	30	9	P2120	皿	他器3	外周・裏面に土系雲形文。底取1区取。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		8.3	7.0	東土器 2375
—	80	1	IV52 P-X	鉢	他器1a	平口縁。口縁区縁突起を器底の突起と一致して器底に区縁1条。以臂・面取なし。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		16.0	—	東土器 2199
—	90	2	IV52 P2107	鉢	他器3	平口縁。口縁区縁突起を器底の突起と一致して器底に区縁1条。以臂・面取なし。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		20.0	—	東土器 2044
30	90	3	IV52 P203	付付鉢	他器1a+他 器3	小取付口縁。口縁区縁突起を器底の突起と一致して器底に区縁1条。以臂・面取なし。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		20.0	9.4	東土器 1158
—	90	4	IV54 P202	皿	他器3	外周・裏面に土系雲形文。底取1区取。外周・裏面に土系雲形文。横位区縁2条。腹面1区。ヒラキ。底取1区取。	ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。口縁に区縁1条。ヒラキ。	内・外周に土系雲形文。ヒラキ。ヒラキ。		5.8	4.0	東土器 2010

表8 東捨場地区 土製品観察表(1)

図面番号	写真 図版	分類	出土 層位	数量 部数	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理番号
33-1	41-3	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-251	(118)	(96)	5	126.6	底面土塊。中央部陥没。縦線、尻部に凸出。口縁直文。	東-12022
33-2	41-2	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-250	(153)	(60)	5	57.2	中央部陥没から片断に於いて左有り。横面に赤色顔料付着。横面にノズル状の付着。	東-12020
33-3	41-5	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-252	(62)	(30)	5	10.2	底面4角部一隅の陥没に於いて左有り。底面に土塊。左面に縦線。横線、口縁直文。	東-12018
33-4	—	土塊	IV653	土瓶下層 特-265	(38)	(30)	5	7.7	底面1/3上部一隅の陥没に於いて左有り。底面に土塊。右面に縦線。	東-12008
33-5	41-5	土塊(中層)	IV656	土瓶下層 特-265	(67)	62	15	24.1	口縁?中央。下部凹ノズル状底面。	東-12004
33-6	—	土塊	IV653	土瓶下層 特-265	(82)	(27)	9	31.9	中央。底面に陥没。縦線、横線、口縁直文。	東-12006
33-7	41-7	土塊	IV653	土瓶下層 特-265	(130)	(125)	20	66.6	中央。底面に陥没。縦線、横線、口縁直文。	東-12072
33-8	41-8	土塊(中層)	IV652	土瓶下層 特-265	(120)	(127)	10	61.8	中央。底面に陥没の跡に土塊。赤色顔料付着。	東-12062
33-9	41-9	土塊	IV652	土瓶下層 特-265	(45)	(30)	5	10.4	中央。底面に陥没の跡。赤色顔料付着。	東-12072
33-10	41-10	土塊	IV653	土瓶下層 特-265	(27)	13	10	11.3	中央。底面に陥没。縦文。	東-12060
33-11	41-11	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-265	(50)	(30)	(13)	11.3	中央。底面に陥没。縦文。	東-12070
33-12	41-11	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-265	(50)	(30)	(13)	11.3	中央。底面に陥没。縦文。	東-12070
33-13	41-12	土塊(中層)	IV654	土瓶下層 特-255	(62)	38	15	28.4	中央。底面に陥没。縦文、口縁直文。	東-12062
33-14	41-14	土塊(中層)	IV652	土瓶下層 特-250	(50)	(30)	20	20.8	中央。底面に陥没。横線等。	東-12014
33-15	41-15	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-250	62	61	10	30.5	中央。口・底面に陥没。口縁直文。底面の上下2方。	東-12061
33-16	41-16	土塊(中層)	IV654	土瓶下層 特-253	(42)	(50)	15	25.6	中央。底面に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12016
33-17	42-17	土塊	IV654	土瓶下層 特-253	(41)	(60)	18	34.8	中央。底面に陥没の跡。	東-12052
33-18	42-18	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-253	52	40	(25)	20.2	中央。底面に陥没の跡。	東-12052
33-19	42-19	土塊(中層)	IV652	土瓶下層 特-253	(66)	(56)	6	30.5	口縁。中央。底面に陥没の跡。	東-12010 東-12017 東-12072
33-20	42-20	土塊	IV652	土瓶下層 特-253	(20)	26	3	9.4	中央。右面に陥没。縦文。	東-12081
33-21	42-21	土塊(中層)	IV652	土瓶下層 特-204	(77)	(62)	(18)	101.6	側面に陥没。底面に土塊。底面に赤色顔料付着。	東-12112
33-22	42-22	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-252	(50)	(62)	22	82.1	中央。底面に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12071
33-23	42-23	土塊	IV654	土瓶下層 特-252	(23)	(23)	12	4.2	左面に陥没。2条の縦線。底面に赤色顔料付着。	東-12053
33-24	42-24	土塊(中層)	IV652	土瓶下層 特-252	(50)	(30)	24	47.8	中央。底面に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12070
33-25	42-25	土塊	IV652	土瓶下層 特-252	(50)	(30)	24	47.8	中央。底面に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12070
33-26	42-26	土瓶(中層)	IV656	土瓶下層 特-252	(183)	(183)	15	5.9	側面に陥没の跡。入眼直文。底面に赤色顔料付着。	東-12054
33-27	42-27	土瓶(中層)	IV650	土瓶下層 特-252	17	(60)	4	3.0	口縁。底面。	東-12016
33-28	42-28	土瓶(中層)	IV653	土瓶下層 特-276	22	23	23	7.8	側面に陥没。中央部に縦線付着。	東-12054
33-29	42-29	土瓶(中層)	V654	土瓶下層 特-276	59	53	8	25.7	側面に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12084
33-30	42-30	土瓶(中層)	V653	土瓶下層 特-269	26	25	13	10.1	中央部に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12008
33-31	42-31	土瓶(中層)	V653	土瓶下層 特-269	23	22	12	9.2	側面に陥没。底面に赤色顔料付着。	東-12017
33-32	42-32	土瓶(中層)	IV652	土瓶下層 特-270	(11)	(17)	11	3.0	中央。底面に陥没。	東-12076
33-34	42-34	土瓶(中層)	IV652	土瓶下層 特-270	70	67	16	69.8	中央。底面に陥没。底面に赤色顔料付着。底面に赤色顔料付着。	東-12011
33-35	42-35	土瓶(中層)	V653	土瓶下層 特-270	(37)	(27)	7	19.8	側面に陥没。底面に赤色顔料付着。底面に赤色顔料付着。	東-12082
33-36	42-36	土瓶(中層)	V653	土瓶下層 特-270	(37)	(27)	7	19.8	側面に陥没。底面に赤色顔料付着。底面に赤色顔料付着。	東-12082
33-39	43-20	土塊	IV654	土瓶下層 特-269	(28)	(40)	13	12.4	側面に陥没の跡。	東-12061
33-40	43-20	土塊	IV654	土瓶下層 特-269	(28)	(40)	13	12.4	側面に陥没の跡。	東-12061
33-41	43-21	土塊(中層)	IV652	土瓶下層 特-269	(52)	(30)	5	9.8	側面に陥没の跡。	東-12013
33-42	43-22	土塊(中層)	IV653	土瓶下層 特-269	(52)	(30)	5	9.8	側面に陥没の跡。	東-12013
33-43	43-42	土瓶(中層)	IV653	土瓶下層 特-269	24	23	17	7.2	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12062
33-44	43-43	土瓶(中層)	IV653	土瓶下層 特-269	24	23	17	7.2	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12062
33-45	43-45	土瓶(中層)	IV653	土瓶下層 特-269	40	7	30	9.5	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12067
33-46	43-46	土瓶(中層)	IV653	土瓶下層 特-269	42	45	8	23.5	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12084
33-47	43-47	土瓶(中層)	IV653	土瓶下層 特-269	42	45	5	13.3	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12034
33-48	43-48	土瓶(中層)	IV659	土瓶下層 特-269	30	22	5	5.6	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12012
33-48	43-48	土瓶(中層)	V653	土瓶下層 特-269	30	28	4	5.5	側面に陥没の跡。底面に赤色顔料付着。	東-12059

表8 東拾場地区 土製品観察表(2)

図形番号	写真 図版	分類	出土 位置	単位	出土 部分	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	備考
34-49	43-49	白磁土製品	IV148	A磁層		42	45	5	13.6	粘土土器片の破片。紅褐色。
34-50	43-50	白磁土製品	IV153	A磁層上層		40	38	4	12.2	粘土土器片の破片。紅褐色。文字あり。スス灰化層付着。
34-51	43-51	白磁土製品(有孔)	IV154	A磁層		34	26	6	7.8	粘土土器片の破片。中央に有孔。一次穿孔孔の小。黒文。
35-52	43-52	白磁土製品	IV155	A磁層		82	100	3	20.9	同形土器の破片。欠型。
35-53	43-53	白磁土製品	IV152	A磁層		72	71	5	40.3	同形土器の破片。黒文。文字あり。スス灰化層付着。
35-54	43-54	白磁土製品	IV152 ゾロゾロ目	A磁層		46	42	5	11.8	同形土器の破片。黒文。スス灰化層付着。
35-55	43-55	白磁土製品	IV154	A磁層		54	55	5	17.4	同形土器片。紅褐色。器表面にスス灰化層付着。

表9 東拾場地区 ニチュア・小型土器観察表(1)

図形番号	写真 図版	器種	出土位置	単位	出土 部分	長さ (mm)	直径 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	時期	備考
35-57	43-57	鉢	IV166	A磁層		—	9.6	13.0	4.0	焼製後 〜磁層 〜磁層	外面：鉄釘〜磁器片。黒文。底部：丸底。内面：十字。
35-58	43-58	鉢	IV153	A磁層下層		3.6	9.6	2.9	2.8	焼製後 〜磁層	外面：鉄釘〜磁器片。黒文。底部：丸底。内面：十字。
35-59	43-59	鉢	IV154	A磁層		3.3	1.2	1.7	1.7	焼製後 〜磁層	外面：口縁部〜磁器片。丸底。黒文。底部：丸底。内面：十字。
35-60	43-60	盆 <small>small</small>	IV152	A磁層		—	(4.1)	(2.2)	—	焼製後 〜磁層	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：凹底。内面：十字。
35-61	43-61	皿	IV153	A磁層上層		—	1.4	13.8	0.8	焼製後 〜磁層	外面：縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-62	43-62	鉢	IV153	A磁層上層	IV259	7.2	6.9	2.5	4.8	4.3	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：凹底。内面：十字。
35-63	43-63	鉢	IV153 ゾロゾロ目	A磁層下層	IV259	7.8	7.8	3.7	6.8	4.1	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：凹底。内面：底平。
35-64	43-64	鉢	IV154	A磁層	IV259	4.6	(4.5)	—	—	—	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-65	43-65	鉢	IV154	I層		9.2	4.0	1.7	2.9	2.9	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-66	43-66	鉢	IV153	A磁層下層		6.3	3.6	1.4	1.4	1.4	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-67	—	鉢	IV152	A磁層		—	3.1	(4.2)	—	—	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：凹底。内面：底平。
35-68	—	鉢	IV153	A磁層		—	3.9	2.0	1.0	1.0	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-69	43-69	付随品	IV154	A磁層		6.6	—	(3.8)	—	—	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-70	44-20	鉢	IV154	A磁層下層	IV216	7.5	—	(7.8)	—	—	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。
35-72	43-72	付随品	IV154 ゾロゾロ目	A磁層下層	IV219	(8.7)	(5.4)	(7.2)	—	—	外面：口縁部〜磁器片。黒文。底部：底平。内面：底平。

表9 東揚場地区 ニニチュア・小型土器観察表(2)

図番号	写真 図版	図様	出土位置	部位	出土 番号	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	時期	備考
35-73	41-72	付164	IV-033	口縁部	P-2873	8.9	6.0	7.2	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
36-74	41-74	付164	IV-033	口縁部	P-2873	(10.2)	6.2	7.7	晩期2~3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-75	41-75	付164	IV-035	口縁部	P-X	(10.2)	5.4	8.4	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-76	41-76	付164	IV-034	口縁部	P-2166	(9.8)	(5.1)	9.2	晩期2~3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-77	41-77	付164	IV-034	口縁部	P-2166	8.2	5.4	6.0	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-78	41-78	図	IV-035	口縁部	P-2873	3.6	3.0	8.3	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-79	41-79	図164	IV-033	口縁部	P-2311	(10.2)	4.3	6.5	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-80	41-80	図	IV-033	口縁部	P-2317	6.9	4.4	8.6	晩期3小	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-81	41-81	図	IV-036	口縁部	P-2389	(2.9)	3.0	9.2	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-82	41-82	図	IV-034 フロッグ1	口縁部	P-2114	-	(3.5)	(2.2)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-83	41-83	図	IV-034	口縁部	P-2066	-	-	(6.0)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
26-84	41-84	図164	IV-036	口縁部	P-2389	(8.0)	4.6	(3.1)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-85	41-85	図	IV-036	口縁部	P-2350	-	3.0	(6.8)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-86	41-86	図	IV-034	口縁部	P-2166	-	3.6	(7.6)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-87	41-87	図	IV-033 フロッグ1	口縁部	P-2322	5.7	5.3	9.0	晩期2	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-88	41-88	図	IV-035	口縁部	P-2660	4.0	3.6	8.8	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-89	41-89	図	IV-034	口縁部	P-2125	(6.5)	5.5	8.0	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-90	41-90	図	IV-034	口縁部	P-2030	-	4.1	(3.2)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
27-91	41-91	図	IV-035 フロッグ2	口縁部	P-2669	-	2.2	(8.3)	晩期3	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。
-	43-92	図	IV-036	口縁部	-	-	-	-	晩期中葉 ~最晩期	外面に濃褐色土に白く染められた斑を伴出。外面に褐色の斑を伴。底部に黒褐色。付録ニミヤウ。底部にナウ(内・外側)。

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(1)

探検 層番号	番号	国産 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図様	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
19	3		2652	東捨場	9Q15	礫土	5-X	圓石	117.0	71.7	33.0	272.3	凝灰岩	
19	4		2652	東捨場	9Q15	礫土	5-X	圓石	91.2	71.0	47.4	405.3	凝灰岩	
19	5	6	2660	東捨場	9Q15	礫土	5-X	圓石	110.0	75.0	36.9	324.0	火山岩	
19	6		2051	東捨場	BV30 9Q15	礫土	5-X	圓石	131.2	56.4	43.8	382.0	凝灰岩	
19	7		2651	東捨場	9Q15	礫土	5-X	凝石	66.4	60.1	24.1	152.8	凝灰岩	
19	8		2656	東捨場	9Q15	礫土	5-X	凝石	70.7	53.2	32.8	254.0	火山岩	
19	9		2658	東捨場	BV30 9Q15	礫土	5-X	圓石	93.1	79.5	36.9	329.4	凝灰岩	
19	10	6	4321	東捨場	BV49 9Q15	礫土	5-X	石製	331.0	217.0	710.0	6600.0	凝灰質砂岩	磨面が溝状の窪まり
19	11		1284	東捨場	9Q15	礫土	5-X	石製円錐	89.0	72.4	33.6	309.4	アモサイト	
19	12	6	8719	東捨場	9Q15	礫土	5-X	磨製石棒	84.0	66.2	35.7	192.0	黒知玄武岩	
19	13	6	4255	14 東捨場	BV54 9Q21	灰層1層	5-5	石製	262.0	161.0	86.0	2700.0	凝灰岩	素材縁の欠け・表面に磨面
21	5		9455	東捨場	98429*	灰層下層	5-X	石製	37.0	18.4	8.9	5.6	粘質頁岩	右側が石製?
21	12	12	7279	東捨場	BV53 98469*	礫土	5-X	石製円錐	51.0	46.0	16.0	25.8	凝灰岩	凝石?
22	8	26	4749	14 東捨場	3M61	砂石	5-2	石製	225.0	248.0	280.0	2360.0	緑色凝灰岩	
22	9		4252	14 東捨場	3M61	砂石	5-1	石製	208.0	200.0	64.0	4700.0	緑色凝灰岩	扁平細面材。質熟。表面磨面
22	14		4350	15 東捨場	3M64	砂石	5-1	石製	337.0	320.0	60.0	4820.0	北流岩	
43	1		1344	14 東捨場	BV35	1層	5-X	石製	27.8	15.1	6.4	2.5	粘質頁岩	
43	2		1346	14 東捨場	BV35	1層	5-X	石製	129.71	15.3	5.9	12.43	粘質頁岩	
43	3		0940	14 東捨場	不明	1層	5-X	石製	26.9	12.3	4.6	1.5	粘質頁岩	磨面加工部分少
43	4		0944	14 東捨場	不明	1層	5-X	石製	23.9	15.4	4.7	2.4	粘質頁岩	アスファルト?
43	5		1897	14 東捨場	BV35	1層	5-X	石製	43.1	22.8	8.3	7.2	粘質頁岩	本製法? 表面からの欠面
43	6		1896	14 東捨場	BV36	1層	5-X	石製	51.1	16.2	6.0	2.6	粘質頁岩	
43	7		4703	14 東捨場	BV36	1層	5-X	石製	96.1	15.3	7.4	5.5	粘質頁岩	
43	8		4748	13 東捨場	BV34	磨面	5-X	石製	69.4	13.4	6.7	2.9	粘質頁岩	粘質頁岩
43	9		5471	13 東捨場	BV39	灰層	5-X	石製	19.9	8.9	5.3	0.7	粘質頁岩	
43	10		3288	14 東捨場	BV32	灰層	5-X	石製	32.8	15.8	8.7	0.7	粘質頁岩	アスファルト?
43	11		1044	14 東捨場	BV35	灰層1層	5-X	石製	26.9	12.5	5.3	1.6	粘質頁岩	
43	12		1236	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	26.0	11.0	3.2	0.7	粘質頁岩	アスファルト?
43	13		4723	14 東捨場	BV36	灰層1層	5-X	石製	33.4	8.1	3.2	0.8	粘質頁岩	
43	14		1047	14 東捨場	V433	灰層1層	5-X	石製	37.0	13.1	5.4	1.8	粘質頁岩	
43	15		1339	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	24.7	14.9	4.2	1.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	16		1345	14 東捨場	BV35	灰層1層	5-X	石製	36.8	13.9	3.9	1.5	粘質頁岩	
43	17		1717	14 東捨場	BV36	灰層1層	5-X	石製	42.1	12.9	4.4	1.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	18		1962	14 東捨場	BV35	灰層1層	5-X	石製	48.0	12.9	4.8	2.9	粘質頁岩	
43	19		4343	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	43.0	14.8	6.8	2.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	20		5466	14 東捨場	BV35	灰層1層	5-X	石製	44.2	12.8	5.1	3.0	粘質頁岩	表面磨面。不磨面欠面
43	21		1241	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	142.03	13.0	5.1	12.73	粘質頁岩	表面からの欠面欠面
43	22		1862	14 東捨場	BV35	灰層1層	5-X	石製	36.2	16.9	10.2	5.2	粘質頁岩	
43	23	2	1050	14 東捨場	BV33	灰層1層	5-X	石製	55.5	14.7	6.7	3.2	粘質頁岩	
43	24		4746	14 東捨場	BV35	灰層1層	5-X	石製	41.9	16.0	4.9	2.7	粘質頁岩	アスファルト?
43	25		1043	14 東捨場	BV32	灰層1層	5-X	石製	28.9	10.7	2.8	0.6	粘質頁岩	
43	26		1180	15 東捨場	V432	灰層1層	5-X	石製	22.0	12.4	5.3	0.7	粘質頁岩	本製法?
43	27		4892	14 東捨場	V434	灰層1層	5-X	石製	30.5	12.6	3.9	1.1	粘質頁岩	アスファルト?
43	28		1340	14 東捨場	BV33	灰層1層	5-X	石製	36.0	11.8	5.7	1.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	29		1335	14 東捨場	BV32	灰層1層	5-X	石製	40.4	14.7	5.6	3.0	粘質頁岩	アスファルト?
43	30		5460	14 東捨場	BV33 アモサイト 1層14へ1層	アモサイト	P-2526	石製	33.6	18.1	5.8	1.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	31		1042	14 東捨場	BV33	灰層1層	5-X	石製	20.4	9.6	3.0	0.6	粘質頁岩	
43	32		1342	14 東捨場	V432	灰層1層	5-X	石製	27.4	9.1	3.3	0.6	粘質頁岩	
43	33		4891	14 東捨場	V432	灰層1層	5-X	石製	25.9	14.6	3.9	1.0	粘質頁岩	アスファルト?
43	34		5468	14 東捨場	BV36	灰層1層	5-X	石製	29.4	14.0	4.7	1.6	粘質頁岩	表面磨面
43	35		1337	14 東捨場	V432	灰層1層	5-X	石製	27.5	16.0	3.0	0.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	36		1894	14 東捨場	V433	灰層1層	5-X	石製	35.8	15.5	4.3	1.7	粘質頁岩	アスファルト?
43	37		1181	15 東捨場	V434	灰層1層	5-X	石製	33.4	18.1	6.5	2.7	粘質頁岩	本製法?
43	38	2	7025	東捨場	不明	不明	5-X	石製	23.0	12.0	4.0	0.9	粘質頁岩	アスファルト?
43	39		2326	14 東捨場	不明	不明	5-X	石製	33.6	15.5	6.8	2.5	粘質頁岩	
43	40		2751	15 東捨場	BV55 モソツツ4	1層	5-X	石製	53.6	28.1	12.6	15.8	粘質頁岩	本製法?
43	41		1891	14 東捨場	BV35	1層	5-X	石製	25.3	9.0	3.3	0.6	粘質頁岩	本製法?
43	42		1896	14 東捨場	BV34	1層	5-X	石製	27.9	6.2	3.3	1.0	粘質頁岩	表面磨面
43	43		9969	14 東捨場	BV35	1層	5-X	石製	26.1	10.6	6.5	2.7	粘質頁岩	
43	44		1071	14 東捨場	BV33	1層	5-X	石製	24.4	12.0	4.0	2.7	粘質頁岩	
43	45		9969	14 東捨場	BV35	1層	5-X	石製	41.9	26.5	12.2	9.7	粘質頁岩	
43	46		4892	14 東捨場	V432	1層	5-X	石製	31.2	32.3	8.6	9.5	粘質頁岩	
43	47		4883	14 東捨場	BV34	1層	5-X	石製	56.5	19.4	10.6	7.7	粘質頁岩	表面加工
43	48		995	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	27.2	8.5	6.3	1.3	粘質頁岩	表面磨面
43	49		994	14 東捨場	BV32	不明	5-X	石製	30.3	7.1	5.2	1.2	粘質頁岩	表面磨面
43	50		995	14 東捨場	BV32	不明	5-X	石製	38.3	8.9	6.3	2.3	粘質頁岩	
43	51		1013	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	27.6	8.0	5.7	1.2	粘質頁岩	
43	52		2547	13 東捨場	BV32	灰層1層	5-X	石製	23.1	11.0	13.2	4.9	粘質頁岩	右側?
43	53		1048	14 東捨場	BV36	灰層1層	5-X	石製	36.8	13.0	6.1	1.9	粘質頁岩	
43	54		5452	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	37.3	6.2	5.1	1.4	粘質頁岩	表面磨面
43	55	2	1862	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	46.0	9.6	7.8	3.0	粘質頁岩	
43	56		1872	14 東捨場	BV33	灰層1層	5-X	石製	47.7	10.9	6.0	2.7	粘質頁岩	
43	57		1430	14 東捨場	BV34	灰層1層	5-X	石製	58.7	11.1	8.9	4.0	粘質頁岩	

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(2)

国庫 発掘 番号	番号	国庫 発掘 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5面・特番	部類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考		
	56	38	3	1978	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	61.0	12.1	10.2	7.2	粘質頁岩		
	57	38	6	998	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	59.8	10.5	8.6	4.1	粘質頁岩		
	58	38	4	4716	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	58.1	15.7	10.4	9.7	粘質頁岩		
	59	41	38	4	1051	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	62.3	16.7	6.3	4.1	粘質頁岩	
	60	42		5456	14 東拾場	IV353	B層1層	S-X	石製	62.2	18.2	4.9	2.1	片麻岩		
	61	63		1973	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	53.4	16.0	8.9	5.1	粘質頁岩		
	62	64		1971	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	125.7	24.3	5.3	12.5	同層頁岩		
	63	65		1975	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	51.7	22.8	6.7	5.3	粘質頁岩		
	64	66		2325	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	41.2	27.8	14.7	8.4	粘質頁岩	矢野産物	
	65	67		1889	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	56.6	42.1	9.3	13.0	粘質頁岩		
	66	68		1876	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	49.1	14.6	9.1	3.8	粘質頁岩		
	67	69		1864	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	58.4	17.2	10.5	5.2	粘質頁岩		
	68	70		1888	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	131.7	29.3	12.1	19.9	粘質頁岩		
	69	71		1886	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	54.1	25.3	14.1	10.9	粘質頁岩	アスファルト	
	70	72		1887	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	67.9	28.9	15.8	19.1	粘質頁岩		
	71	73		4754	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	134.2	18.3	6.2	12.8	粘質頁岩	アスファルト、矢野から割れ	
	72	74		4721	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	96.9	16.2	7.0	2.8	粘質頁岩		
	73	75		996	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	51.5	21.9	9.1	6.9	粘質頁岩	石製?石製?製品?9	
	74	76		1090	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	64.0	34.2	10.2	11.8	粘質頁岩		
	75	77		1074	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	42.9	19.6	10.6	6.3	粘質頁岩		
	76	78		1077	14 東拾場	IV352	A層1層	S-X	石製	53.6	44.9	8.6	7.0	粘質頁岩		
	77	79		1070	14 東拾場	IV353	A層1層	S-X	石製	68.3	21.6	6.4	2.9	粘質頁岩		
	78	80		1084	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	149.0	26.6	12.7	11.0	粘質頁岩		
	79	81		1452	14 東拾場	IV352	A層1層	S-X	石製	63.7	23.7	13.7	17.7	粘質頁岩	未製品?	
	80	1		1319	14 東拾場	IV353	A層1層	S-X	石製	39.4	33.5	16.1	13.6	粘質頁岩	表面再加工	
	81	2		1885	14 東拾場	不明	不明	S-X	石製	147.8	12.5	7.1	13.4	粘質頁岩		
	82	3		1885	14 東拾場	IV353	A層1層	S-X	石製	54.7	29.3	14.7	16.1	粘質頁岩		
	83	4		2324	14 東拾場	V454	1層	S-X	石製	56.2	31.6	13.3	20.4	粘質頁岩	アスファルト	
	84	5		2516	13 東拾場	東西セク ション	A層下層	S-X	石製	66.2	41.9	14.0	30.1	粘質頁岩		
	85	6		4747	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	39.5	36.5	14.0	24.9	粘質頁岩		
	86	7		4740	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	94.2	66.3	36.8	237.9	粘質頁岩	お杉利用崩石?	
	87	8		4738	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	90.4	49.2	12.9	54.4	粘質頁岩	下層刃部未形成?	
	88	9		4706	13 東拾場	IV354	A層1層	S-200	石製	97.0	49.2	14.6	63.0	粘質頁岩		
	89	10	38	14	2591	13 東拾場	IV352 ブロック	障土	S-X	石製	63.6	61.0	31.0	68.6	粘質頁岩	
	90	11		2464	14 東拾場	IV353	1層	S-X	石製	54.8	46.6	11.2	27.8	粘質頁岩		
	91	12		4710	14 東拾場	不明	1層	S-X	石製	75.1	36.7	13.8	34.2	粘質頁岩		
	92	13		5067	14 東拾場	IV355	1層	S-X	石製	36.5	54.9	13.0	15.2	粘質頁岩	アスファルト	
	93	14		4714	14 東拾場	IV354	1層	S-X	石製	38.2	20.0	9.0	4.2	粘質頁岩	正確な下部アスファルト	
	94	15		1325	14 東拾場	IV355	1層	S-X	石製	63.2	69.4	13.5	32.9	粘質頁岩	アスファルト、刃部光沢	
	95	16		4715	14 東拾場	IV356	1層	S-X	石製	47.9	70.9	14.7	31.6	粘質頁岩		
	96	17	38	8	1321	14 東拾場	IV355	1層	S-X	石製	63.2	65.1	13.4	25.1	粘質頁岩	アスファルト
	97	18		991	14 東拾場	IV356	1層	S-X	石製	39.4	63.2	12.5	20.9	粘質頁岩	アスファルト	
	98	19		2519	13 東拾場	東西セク ション	A層下層	S-X	石製	27.5	32.6	7.2	4.8	粘質頁岩		
	99	20		4719	13 東拾場	IV355 P2142内 出土	A層1層	S-X	石製	60.4	66.5	8.5	49.7	粘質頁岩	アスファルト、刃部光沢	
	100	21		5476	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	39.5	50.8	5.0	9.2	粘質頁岩		
	101	22		1453	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	90.4	61.2	10.1	20.7	粘質頁岩	アスファルト	
	102	23		4712	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	43.3	73.1	8.1	19.7	粘質頁岩	アスファルト	
	103	24	38	11	6551	東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	49.3	77.7	11.2	32.2	粘質頁岩	
	104	25		4757	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	47.7	62.4	12.6	26.7	粘質頁岩	アスファルト、刃部光沢	
	105	26	38	12	6514	東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	53.5	60.0	14.0	32.5	粘質頁岩	
	106	27		2310	13 東拾場	IV352 セクション4	1層	S-X	石製	66.8	15.5	6.7	5.2	粘質頁岩		
	107	1		1322	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	43.2	56.7	8.9	17.9	粘質頁岩	アスファルト、刃部光沢	
	108	2		1323	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	52.5	77.2	17.1	29.6	粘質頁岩		
	109	3		1315	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	54.2	72.2	11.0	35.6	粘質頁岩	アスファルト	
	110	4		1321	14 東拾場	IV352	A層1層	S-X	石製	29.5	65.2	11.8	22.0	粘質頁岩	アスファルト	
	111	5		5062	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	49.2	52.9	10.5	11.4	粘質頁岩		
	112	6		1432	14 東拾場	IV356	A層1層	S-X	石製	43.1	49.6	11.2	17.9	粘質頁岩	アスファルト	
	113	7		4718	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	45.0	15.9	5.7	2.0	粘質頁岩		
	114	8		4736	13 東拾場	IV352 セクション4	A層1層	S-X	石製	55.3	17.6	9.8	3.8	粘質頁岩		
	115	9		5065	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	62.7	33.8	9.9	29.4	粘質頁岩	刃部光沢	
	116	10	38	10	5066	14 東拾場	IV355	A層1層	S-X	石製	86.1	33.5	16.3	32.7	粘質頁岩	
	117	11		1326	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	99.5	33.2	15.3	39.6	粘質頁岩		
	118	12		2683	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	58.0	26.6	4.2	8.5	粘質頁岩		
	119	13		2520	13 東拾場	東西セク ション	A層1層	S-X	石製	77.9	80.9	22.0	60.9	粘質頁岩	石製?製品?9	
	120	14		5477	14 東拾場	IV354	A層1層	S-X	石製	68.1	33.1	9.0	18.4	粘質頁岩	アスファルト	
	121	15	38	13	7042	東拾場	IV356	A層1層	石製	44.0	60.0	18.0	27.1	粘質頁岩		

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(3)

採集 順番号	番号	図録 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5面・特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考		
46	989	14	東捨場	RV154	8層1層	5-X	石製	石製	38.2	40.4	8.6	9.1	石英質頁岩			
47	17	1041	14	東捨場	RV154	8層1層	5-X	石製	56.6	21.6	4.4	4.6	石英質頁岩			
47	19	4444	14	東捨場	RV152	8層16層	5-X	石製	54.4	52.2	16.1	30.4	石英質頁岩	アスファルト		
47	19	992	14	東捨場	RV153	8層16層	5-X	石製	54.2	50.8	14.1	29.5	石英質頁岩			
47	20	4705	14	東捨場	RV153	8層1層	5-X	石製	47.7	63.2	16.4	28.7	石英質頁岩	刃部欠損		
47	21	4704	14	東捨場	RV152	8層1層	5-X	石製	66.0	55.9	8.3	36.0	石英質頁岩	刃部欠損		
47	22	4721	13	東捨場	RV152	8層1層	5-X	石製	22.2	33.3	5.0	3.9	石英質頁岩	刃部欠損		
47	23	4745	13	東捨場	RV152	8層1層	5-X	石製	47.3	40.4	13.5	21.8	石英質頁岩			
47	24	4744	13	東捨場	RV155	8層下層	5-X	石製	69.7	72.4	11.7	34.7	石英質頁岩	刃部欠損		
47	25	4702	13	東捨場	RV150	8層1層	5-X	石製	66.1	66.3	14.3	34.7	石英質頁岩	アスファルトより別取		
47	26	38	9	6513	東捨場	RV155	1層	石製	37.5	61.0	14.9	36.9	石英質頁岩			
47	27	5790	14	東捨場	RV154	8層1層	5-X	石製	50.5	78.5	11.1	29.4	石英質頁岩	アスファルト。刃部欠損→再加工		
47	28	4043	14	東捨場	RV155	8層1層	5-X	石製	45.1	68.3	11.0	22.2	石英質頁岩			
47	28	4709	14	東捨場	RV155	8層1層	5-X	石製	29.9	13.3	2.0	0.9	石英質頁岩			
47	30	38	15	1433	14	東捨場	RV153	8層1下層	5-X	石製	45.0	18.0	4.0	3.0	石英質頁岩	
47	31	4749	13	東捨場	RV151	8層1層	5-X	石製	63.5	22.0	7.3	6.6	黒輝石質頁岩			
47	32	996	14	東捨場	不明	不明	5-X	石製	47.6	27.3	8.4	13.2	石英質頁岩			
47	33	5580	東捨場	RV154 エッジナド	1層	5-X	石製	37.7	26.2	11.3	12.0	石英質頁岩				
48	1	4720	13	東捨場	RV152 プロット6	層上	5-X	石製	59.5	55.5	16.5	35.1	石英質頁岩			
48	2	4726	13	東捨場	RV156 エッジナド	8層2層	5-X	石製	48.1	84.8	13.7	32.0	石英質頁岩			
48	3	4750	14	東捨場	VA151	8層1層	5-X	石製	53.3	83.1	14.1	46.2	石英質頁岩			
48	4	4701	14	東捨場	VA153	8層2層	5-X	石製	52.5	40.3	10.2	23.3	微晶石			
48	5	4753	14	東捨場	RV152	8層1層	5-X	石製	31.4	62.1	8.8	8.3	石英質頁岩			
48	6	5589	14	東捨場	RV152	8層1層	5-X	石製	68.8	73.4	11.7	31.7	石英質頁岩	アスファルト		
48	7	4743	14	東捨場	RV153	8層1層	5-X	石製	67.4	18.4	5.5	5.4	石英質頁岩			
48	8	2336	14	東捨場	RV154 エッジナド	不明	5-X	石製	58.1	25.7	8.5	8.5	石英質頁岩			
48	9	2609	14	東捨場	不明	1層	5-X	燧石	85.0	75.4	26.7	134.2	燧石			
48	10	2455	14	東捨場	VA152	1層	5-X	燧石	73.8	36.4	18.4	47.6	燧石			
48	11	2961	13	東捨場	不明	1層	5-X	燧石	65.1	44.9	18.0	60.0	燧石			
48	12	2453	14	東捨場	不明	1層	5-X	燧石	47.4	37.3	14.1	24.3	燧石			
48	13	2450	14	東捨場	不明	1層	5-X	燧石	47.6	28.9	10.5	14.3	燧石			
48	14	1347	14	東捨場	RV153	1層	5-X	燧石	66.5	25.7	8.9	11.4	燧石	石製未製品?		
48	15	1949	14	東捨場	RV153	1層	5-X	燧石	41.6	18.9	7.5	3.5	燧石	石製未製品?		
48	16	4708	13	東捨場	RV152	8層1層	5-X	燧石	53.1	28.1	12.1	12.6	燧石	厚みのある燧石製にアスファルト。		
48	17	4764	13	東捨場	RV153	8層1下層	5-X	燧石	121.43	12.2	5.2	11.43	燧石			
48	18	6040	13	東捨場	RV151 エッジナド	8層1層	5-X	燧石	19.8	20.8	6.1	2.3	燧石	付帯燧石製に刃部欠損。本品出土後磨製。		
48	19	5464	14	東捨場	RV155	8層1層	5-X	燧石	127.91	13.33	6.3	11.81	黒輝石質頁岩	下部磨製で欠損		
48	20	6077	東捨場	VA152	8層1層	5-X	燧石	25.5	22.1	8.7	5.4	燧石	本品出土後磨製			
48	21	2451	14	東捨場	RV156	8層1層	5-X	燧石	47.6	30.5	10.9	13.3	燧石			
48	22	2449	14	東捨場	RV155	8層1層	5-X	燧石	61.6	30.7	11.9	21.7	燧石			
48	23	2454	14	東捨場	RV154	8層1層	5-X	燧石	69.3	40.9	12.3	32.4	燧石			
48	24	2460	14	東捨場	RV156	8層1層	5-X	燧石	35.6	40.2	8.5	22.6	燧石			
48	25	2462	14	東捨場	RV154	8層1層	5-X	燧石	63.0	41.5	14.4	34.9	燧石			
48	26	38	18	2601	13	東捨場	RV152 プロット6	層上	5-X	黒輝石	69.6	16.1	10.5	7.0	石英質頁岩	
48	27	2459	14	東捨場	RV152	8層16層	5-X	燧石	87.4	41.7	13.0	41.2	燧石			
48	28	2211	14	東捨場	VA154	8層16層	5-X	燧石	43.0	26.2	8.6	8.6	燧石			
48	29	4711	14	東捨場	RV153 エッジナド	8層1層	5-X	燧石	36.3	127.53	6.3	13.83	燧石	アスファルト		
48	30	1993	14	東捨場	不明	不明	5-X	燧石	23.4	17.0	6.6	3.0	燧石	未製品?		
48	31	2517	13	東捨場	RV155	8層1層	5-X	燧石	53.7	34.1	10.2	23.8	燧石			
48	32	2516	14	東捨場	RV154	8層下層	5-X	二次加工燧石	79.2	28.9	9.0	15.0	燧石	燧石中にアスファルト		
48	33	2456	14	東捨場	RV153	8層1層上層	5-X	燧石	44.4	23.0	6.5	5.3	燧石			
48	34	2458	14	東捨場	VA153	8層1層	5-X	燧石	59.7	30.2	15.3	23.8	燧石			
48	35	5459	14	東捨場	VA152	8層2層	5-X	燧石	61.3	34.1	14.8	25.8	燧石			
48	36	2463	14	東捨場	VA153	8層2層	5-X	燧石	71.6	44.2	10.7	32.1	燧石			
48	37	4733	13	東捨場	RV151 東舎セクシオン	8層1層	5-X	二次加工燧石	64.0	53.9	28.7	103.3	燧石	石核?		
48	38	6660	13	東捨場	RV154	8層1層	5-X	石製円錐	135.80	135.43	9.3	113.03	燧石			
48	39	2322	13	東捨場	RV151 エッジナド	1層	5-X	燧石	24.3	19.1	8.2	2.3	燧石	石製燧石再加工?		
48	40	2320	13	東捨場	RV151 エッジナド	1層	5-X	燧石	42.9	48.1	10.0	13.7	燧石			
49	1	4763	14	東捨場	RV156	8層1層	5-X	黒輝石	17.0	8.0	3.0	0.3	燧石			
49	2	38	17	2210	14	東捨場	RV156	層1層	5-X	黒輝石	20.5	8.9	4.3	0.6	燧石	
49	3	4774	13	東捨場	RV153	8層1層	5-X	黒輝石	4.0	8.1	4.5	0.5	燧石			
49	4	38	16	1900	14	東捨場	RV153	8層1層	5-X	黒輝石	27.9	31.2	6.9	3.5	燧石	
49	5	4722	14	東捨場	VA153	1層	5-X	石核	44.8	56.9	36.1	62.8	燧石			
49	6	4741	14	東捨場	VA159	1層	5-X	燧石	82.3	75.5	26.1	238.1	燧石			
49	7	4727	14	東捨場	RV153	8層1下層	5-X	石核	105.7	94.7	62.4	499.4	燧石			
49	8	2602	14	東捨場	RV156	8層1層	5-X	石核	100.0	48.6	23.0	113.0	燧石	黒輝石		
49	9	38	19	5559	14	東捨場	RV151	層1層	5-X	燧石	51.0	38.0	12.0	13.4	燧石	燧石製片再加工



表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(4)

探検隊名	番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
09	10		4751	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石核	62.6	39.6	38.9	94.6	珩質頁岩		
09	11		5719	14 東拾場	V A53	A層1層	5-X	石核	146.4	57.5	30.7	227.6	珩質頁岩		
09	12		4736	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石核	63.0	45.7	28.0	53.6	珩質頁岩		
09	13		4737	14 東拾場	IV105	A層1層	5-X	石核	33.3	35.4	28.2	41.2	珩質頁岩		
09	14		4728	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石核	65.3	46.8	45.9	94.5	珩質頁岩		
09	15		4721	14 東拾場	V A52	A層1層	5-X	石核	65.7	66.9	26.1	133.1	珩質頁岩		
09	16		2083	14 東拾場	IV105	A層1層	特-2084	珩状角礫石	19.9	33.9	18.7	37.4	珩岩		
09	17		4742	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	石核	97.8	118.1	66.0	771.9	珩質頁岩		
09	18		4729	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	石核	64.5	70.4	47.6	210.1	珩質頁岩		
09	19		4735	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	珩状角礫石	96.1	48.8	27.6	87.6	珩質頁岩		
09	20		5351	14 東拾場	V A52	A層2層	5-X	珩状角礫石	39.7	36.3	37.6	85.3	珩質頁岩		
09	21		4730	14 東拾場	IV104	A層2層	5-X	石核	37.2	46.7	32.4	123.9	珩質頁岩		
09	22		4738	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	石核	65.2	42.6	42.5	96.7	珩質頁岩		
09	23		4730	14 東拾場	V A53	A層2層	5-X	石核	82.3	95.7	36.0	228.0	珩質頁岩		
50	1	39	6	2262	14 東拾場	IV A53	A層1下層	5-X	磨製石斧	54.9	35.4	25.0	83.4	緑色絹状岩	刃部欠損面を再加工し、側面の稜削、磨削、磨打整型。アスファルト
50	2		11915	14 東拾場	IV104-05 トレンチ2	不明	5-X	磨製石斧	82.4	28.9	11.8	36.0	緑色絹状岩		
50	3	39	4	2266	14 東拾場	IV106	A層1層	5-X	磨製石斧	90.2	42.1	20.6	121.7	珩岩	刃部欠損面を再加工し、側面の稜削
50	4	39	1	900	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨製石斧	104.6	45.8	25.0	205.5	角閃岩	刃部欠損、刃部面を再加工し、側面の稜削、磨打整型
50	5	39	5	2267	14 東拾場	IV105	A層1層	5-209	磨製石斧	63.0	46.2	24.6	116.2	珩状玄武岩	珩状玄武岩、側面の稜削
50	6	40	1	7062	東拾場	V A54	A層2層	5-273	磨製石斧	110.6	48.0	16.0	130.9	緑色絹状岩	扁平な形状の磨製石斧、側面稜削不明
50	7	39	3	7668	東拾場	V A53	A層1層	5-X	磨製石斧	99.0	49.0	28.0	232.8	珩岩	
50	8	39	2	2264	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨製石斧	88.9	45.6	25.0	168.1	緑色絹状岩	長辺を再加工し、側面の稜削、磨打整型
50	9	40	2	2265	14 東拾場	IV105	A層2層	5-X	磨製石斧	82.2	45.6	25.9	138.2	珩状玄武岩	刃部欠損、側面の稜削
50	10	39	7	2263	14 東拾場	IV A53	A層1下層	5-X	磨製石斧	63.0	42.1	21.8	98.1	珩状玄武岩	刃部欠損、側面の稜削、磨打整型
50	11		2610	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石製品	56.6	30.0	8.8	19.2	珩岩	石核断片一磨打	
50	12	40	3	5593	13 東拾場	IV109 トレンチ4	A層1層	5-X	磨製石斧	30.2	17.2	7.0	7.2	緑色絹	小形磨製石斧、側面の稜削
50	13		5446	13 東拾場	IV109	A層1層	5-X	磨石	80.2	64.4	37.8	223.0	珩岩		
50	14		2019	14 東拾場	IV106	1層	5-X	磨石	72.7	68.2	30.8	305.8	珩岩	磨打痕	
50	15		8259	14 平塚	V A58	1層	5-X	磨石	82.3	76.5	71.1	365.6	珩岩	報告書第1集第2巻第1巻第1巻	
50	16		8269	14 東拾場	IV103	1層	5-X	磨石	99.3	83.0	75.4	408.9	珩岩		
50	17		5451	13 東拾場	IV102 トレンチ2	層土	5-X	磨石	132.4	92.5	65.9	1239.2	珩状玄武岩		
50	18		5450	13 東拾場	IV102	A層1層	5-X	磨石	198.7	87.0	76.3	941.2	珩山岩		
50	19		5449	13 東拾場	IV102 トレンチ4	A層4層	5-X	磨石	101.6	71.9	53.6	362.8	珩山岩		
50	20		8271	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨石	994.9	95.4	86.6	975.4	珩岩		
50	21		5445	13 東拾場	IV104 東西セブ トレンチ	A層下層	5-X	磨石	72.9	67.3	47.4	303.5	珩山岩		
50	22		8279	14 東拾場	IV A53	A層1層	5-X	磨石	78.0	73.7	62.4	515.0	珩岩		
50	23		8278	14 東拾場	IV A54	A層1層	5-X	磨石	92.9	78.6	98.1	364.3	珩山岩		
50	24		8265	14 東拾場	V A52	A層1層	5-X	磨石	77.8	64.8	52.8	346.0	珩状玄武岩		
50	25		8270	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨石	95.3	83.8	54.7	609.2	珩岩		
50	26		8273	14 東拾場	IV A53	A層1層	5-X	磨石	100.5	87.9	55.8	758.4	珩山岩		
50	27		8266	14 東拾場	V A53	A層1層	5-X	磨石	81.6	68.0	36.8	493.7	珩山岩		
51	1		8275	14 東拾場	IV106	A層1層	5-X	磨石	107.0	94.3	65.6	835.3	珩岩		
51	2		8260	14 東拾場	IV A54	A層1層	5-X	磨石	102.0	62.8	45.0	346.0	緑色絹状岩		
51	3		8264	14 東拾場	IV A54	A層1層	5-X	磨石	114.2	62.5	53.1	522.6	珩山岩		
51	4		8276	14 東拾場	V A53	A層1層	5-X	磨石	128.4	85.8	86.6	1532.7	珩山岩		
51	5		8262	14 東拾場	IV A54	A層1層	5-X	磨石	134.8	85.3	64.7	1091.4	珩山岩		
51	6		8263	14 東拾場	IV A52	A層1層	5-X	磨石	104.2	85.7	65.1	828.3	珩山岩		
51	7		8267	14 東拾場	IV A53 トレンチ17	A層1層	5-X	磨石	106.2	101.8	60.2	716.6	珩山岩		
51	8		8272	14 東拾場	IV A52	A層1層	5-X	磨石	118.1	85.2	56.0	947.5	珩岩		
51	9		8264	14 東拾場	V A52	A層2層	5-X	磨石	130.6	99.3	60.4	1283.9	珩山岩		
51	10		8277	14 東拾場	V A53	A層1層	5-X	磨石	82.3	73.6	61.5	405.2	珩状玄武岩		
51	11		5432	13 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	103.6	73.4	34.9	329.0	珩岩		
51	12		5435	13 東拾場	IV109 トレンチ4	A層1層	5-X	磨石	115.7	88.6	72.4	996.2	珩岩	磨面	
51	13		5429	13 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	80.1	35.2	16.3	55.6	珩岩		
51	14		5434	目付溝遺	IV A53 トレンチ5	階へ9層	5-X	磨石	130.5	97.3	37.3	692.8	緑色絹状岩	報告書第1集第2巻第1巻第1巻	
51	15		5436	目付溝遺	IV A53 トレンチ5	階へ9層	5-X	磨石	146.9	14.4	35.3	345.9	珩岩	報告書第1集第2巻第1巻第1巻	
51	16		5433	13 東拾場	IV102 トレンチ4	A層1層	5-X	磨石	106.0	72.2	26.6	337.2	珩岩		
51	17		5663	13 東拾場	IV A53	A層1層	5-X	磨石	91.1	65.1	39.1	271.1	珩岩	石割欠損?	
51	18		5441	13 平塚	PI1027	層土	5-X	磨石	132.2	57.0	33.3	352.3	緑色絹状岩	報告書第1集第2巻第1巻第1巻	
51	19		5447	13 東拾場	IV102 トレンチ4	A層1層	5-X	磨石	87.6	81.3	38.4	398.6	珩岩		
51	20		5438	13 東拾場	IV102 トレンチ4	A層1層	5-X	磨石	111.5	86.0	28.0	338.5	珩岩	黄色の帯状の欠損、磨打痕	

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(5)

探検隊番号	番号	国庫番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5面/特番	図様	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
	21		5428	13 東捨場	IV154	A層2層	5-X	磨石	74.1	52.3	13.8	47.3	緑色凝灰岩	右側内側ノ	
	22		5666	14 東捨場	IV154	1層	5-X	石製円籠	52.6	56.0	13.9	42.8	緑色凝灰岩	彩色色料	
	2		5662	13 東捨場	IV152 ブロック2	礫土	5-X	磨石	71.3	62.7	16.5	60.1	凝灰岩		
	3		5661	13 東捨場	IV151 ブロック3	礫土	5-X	磨石	82.8	77.8	16.8	117.6	凝灰岩		
	4		5431	13 東捨場	IV153 ブロック4	礫土	5-X	磨石	131.5	34.6	31.7	196.7	凝灰岩		
	5		8309	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	118.8	65.4	32.7	305.6	凝灰岩		
	6		8374	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	104.9	91.9	42.8	809.2	緑色凝灰岩	緑色色料	
	7		8279	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	63.3	77.6	33.1	346.3	凝灰岩		
	8	41	3353	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	86.0	45.0	44.0	118.0	凝灰岩	表面係数付	
	9		5454	13 東捨場	IV151 ブロック4	礫土	5-X	磨石	203.5	81.0	32.1	111.4	凝灰岩		
	10		8296	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	103.9	94.9	26.7	291.2	緑色凝灰岩		
	11	80	7365	東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	94.0	83.0	54.0	363.0	凝灰岩	彩色色料、磨に黒点あり	
	12		8337	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	110.2	69.7	26.7	270.4	緑色凝灰岩		
	13		8367	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	127.1	96.2	44.0	717.7	凝灰岩		
	14		8342	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	133.3	57.3	62.7	413.2	緑色凝灰岩		
	15	48	7	5327	14 東捨場	IV155	1層	5-X	石製品ナ	164.5	86.0	80.0	1431.0	凝灰岩	前後確認、表面研削で面数あり、石製品生成品点
	16		8268	14 東捨場	IV152	A層2上層	5-X	磨石	124.5	86.3	55.3	602.9	凝灰岩		
	17		8343	14 東捨場	IV155	A層2層	5-X	磨石	99.9	49.4	33.4	308.2	緑色凝灰岩		
	18		3016	13 東捨場	IV155 ブロック4	A層2層	5-X	石製ナ	78.0	41.3	41.0	218.6	グライツナ	断片	
	19	88	6	5352	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	52.0	48.9	38.0	138.3	凝灰岩	
	20		8280	14 東捨場	V103	A層2層	5-X	磨石	78.1	60.5	55.0	313.3	緑色凝灰岩		
	21		5437	13 東捨場	IV152 ブロック2	礫土	5-X	磨石	112.0	69.6	28.2	325.0	凝灰岩		
	22		5444	13 東捨場	IV152 ブロック4	A層1層	5-X	磨石	135.9	81.7	37.0	530.3	凝灰岩		
	1		8298	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	84.4	66.1	46.2	287.0	緑色凝灰岩		
	2		8285	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	73.0	69.8	38.8	317.1	緑色凝灰岩		
	3		8299	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	103.6	88.0	27.1	273.3	緑色凝灰岩		
	4		8324	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	97.4	77.4	43.2	302.1	緑色凝灰岩		
	5	41	8290	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	65.3	80.0	31.0	174.1	緑色凝灰岩		
	6		8353	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	101.1	69.0	23.5	195.3	緑色凝灰岩		
	7		8281	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	111.2	85.5	38.2	439.2	凝灰岩		
	8		8286	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	81.3	73.9	28.7	187.7	緑色凝灰岩		
	9		8317	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	103.3	62.0	50.0	410.3	緑色凝灰岩		
	10		8288	14 東捨場	IV156	A層1層	5-X	磨石	97.3	75.6	42.2	360.9	緑色凝灰岩		
	11		8323	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	109.2	71.6	43.0	391.6	緑色凝灰岩		
	12		8297	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	123.0	89.0	40.2	556.9	緑色凝灰岩		
	13		8284	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	100.4	57.7	47.3	338.5	緑色凝灰岩		
	14		8326	14 東捨場	V152	A層1層	5-X	磨石	118.2	66.4	34.6	362.1	緑色凝灰岩		
	15		8328	14 東捨場	V152	A層1層	5-X	磨石	125.9	38.4	25.5	316.9	緑色凝灰岩		
	16		8250	14 東捨場	V152	A層1層	5-X	磨石	150.1	62.9	26.7	440.7	緑色凝灰岩		
	17		8282	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	135.7	42.1	37.4	450.0	緑色凝灰岩		
	18		8321	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	141.2	66.6	22.7	290.4	緑色凝灰岩		
	19		8320	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	127.7	75.4	27.8	339.6	緑色凝灰岩		
	20		8283	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	119.3	78.5	41.1	430.4	緑色凝灰岩		
	21		8332	14 東捨場	IV154	A層1層	5-263	磨石	149.3	129.4	64.3	1148.5	緑色凝灰岩		
	22		8291	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	132.1	86.9	57.3	615.1	緑色凝灰岩		
	23		5170	13 東捨場	IV152 ブロック4	A層1層	5-X	磨石	161.2	79.4	38.6	780.0	凝灰岩	磨削に黒点痕	
	24		8295	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	176.6	71.0	34.1	636.6	凝灰岩		
	1	80	7360	東捨場	IV156	A層1層	5-X	磨石	64.0	52.6	51.0	158.9	凝灰岩		
	2		8340	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	81.8	57.9	31.1	482.3	凝灰岩		
	3		8339	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	92.0	75.3	47.6	414.2	凝灰岩		
	4		8313	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	89.8	68.2	44.3	291.1	緑色凝灰岩		
	5		8335	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	115.3	54.8	41.5	262.2	緑色凝灰岩		
	6		8338	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	122.0	83.8	46.1	371.4	凝灰岩		
	7		8284	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	131.0	80.0	30.2	470.2	緑色凝灰岩		
	8		8314	14 東捨場	IV154	A層1層	5-X	磨石	117.9	48.3	31.0	253.5	緑色凝灰岩		
	9		8303	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	115.9	56.8	26.2	239.1	緑色凝灰岩		
	10		8344	14 東捨場	V152	A層1層	5-X	磨石	111.6	67.3	25.9	316.7	緑色凝灰岩		
	11		8331	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	93.9	67.5	64.1	438.0	緑色凝灰岩		
	12		8325	14 東捨場	IV156	A層1層	5-X	磨石	127.2	78.2	25.1	297.3	緑色凝灰岩		
	13		8329	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	113.7	74.9	41.7	465.8	緑色凝灰岩		
	14		8348	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	143.3	69.8	37.3	522.7	緑色凝灰岩		
	15		8345	14 東捨場	IV155	A層1層	5-X	磨石	150.4	64.9	28.5	325.9	凝灰岩		
	16		8322	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	148.7	63.4	41.0	528.5	緑色凝灰岩		
	17		8306	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	140.5	64.4	32.3	380.8	凝灰岩		
	18		8346	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	191.7	78.5	29.1	442.9	緑色凝灰岩		
	19		5325	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	156.6	42.9	35.3	335.1	凝灰岩		
	20		8330	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	113.7	74.9	41.7	469.8	緑色凝灰岩		
	21		5142	13 東捨場	IV149	A層1下層	5-X	磨石	92.6	88.9	61.5	626.3	凝灰岩		
	22		5166	13 東捨場	IV155	A層1層7層	5-X	磨石	103.3	74.6	43.6	322.0	凝灰岩		
	23		8319	14 東捨場	IV152	A層1層	5-X	磨石	102.7	75.1	37.8	372.9	凝灰岩		
	24		8308	14 東捨場	IV152	A層1層	5-X	磨石	108.1	57.9	40.4	357.0	凝灰岩		
	25		8334	14 東捨場	IV152	A層1層	5-X	磨石	123.0	87.2	26.0	439.2	緑色凝灰岩		
	26		8304	14 東捨場	IV153	A層1層	5-X	磨石	137.9	83.5	38.9	387.3	緑色凝灰岩		

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(6)

図録 番号	発掘 番号	国庫 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番号/特番	種類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
50	1		8316	14 東拾場	IV32	A層1下層	S-X	両石	92.8	65.8	36.6	225.9	緑色凝灰岩	
50	2		8338	14 東拾場	IV32	A層1下層	S-X	両石	108.6	65.9	50.9	272.2	両石	
50	3		8315	14 東拾場	IV32	A層1下層	S-X	両石	116.3	76.2	25.6	238.3	緑色凝灰岩	
50	4		8327	14 東拾場	IV32	A層1下層	S-X	両石	125.2	71.6	31.0	329.5	緑色凝灰岩	
50	5		8300	14 東拾場	V432	A層2層	S-X	両石	114.0	59.4	24.5	303.9	凝灰岩	
50	6		8292	14 東拾場	V432	A層2層	S-X	両石	107.9	52.3	24.3	218.8	緑色凝灰岩	
50	7		8289	14 東拾場	V432	A層2層	S-X	両石	127.0	63.4	36.1	261.8	凝灰岩	
50	8		8347	14 東拾場	IV32	A層2層	S-X	両石	141.6	40.3	52.6	632.0	緑色凝灰岩	
50	9		8297	14 東拾場	IV32	A層2層	S-X	両石	103.7	74.1	21.9	233.7	緑色凝灰岩	
50	10		8305	14 東拾場	V432	A層2層	S-X	両石	93.4	88.8	24.3	311.4	緑色凝灰岩	
50	11		5440	13 東拾場	IV34	A層2層	S-X	両石	107.0	73.8	37.4	623.3	凝灰岩	
50	12		8312	14 東拾場	IV32	A層2層	S-X	両石	81.1	86.8	24.4	260.0	凝灰岩	
50	13		8293	14 東拾場	IV32	A層2上層	S-X	両石	81.4	86.8	24.4	261.8	凝灰岩	
50	14		8341	14 東拾場	IV32	A層2上層	S-X	両石	73.4	72.5	27.8	252.0	片岩	
50	15		4221	14 東拾場	V434	1層	S-X	石鏡	175.0	113.9	64.0	1360.9	片岩	器体中に滑らかな磨痕
50	16	42	3205	13 東拾場	IV49 ブロンズA	B層C層	S-X	鋳物片	147.0	70.9	96.0	446.3	凝灰岩	
50	17	41	4161	14 東拾場	V434	1層	S-X	石鏡	214.0	199.0	84.0	1960.9	砂質凝灰岩	片岩中葉、片岩線行
50	18		4221	14 東拾場	V434	1層	S-X	石鏡	116.0	353.0	111.0	1650.0	緑色凝灰岩	
50	19		8311	14 東拾場	IV32	A層2層	S-X	石鏡	86.7	392.0	65.0	7720.0	相馬安山岩	表面磨痕
50	20		4256	14 東拾場	IV32	A層2上層	S-X	石鏡	226.0	201.0	85.0	3680.0	緑色凝灰岩	素材中に滑らかな磨痕あり
50	21		4073	14 東拾場	IV34	A層2層	S-X	石鏡	400.0	397.0	129.0	20200.0	相馬安山岩	表面磨痕
50	22	42	1169	14 東拾場	V432	A層2上層	S-205	石鏡	388.0	300.0	130.0	11920.0	緑色凝灰岩	
50	23		4167	14 東拾場	IV32	A層2層	S-X	石鏡	319.0	485.0	26.0	1312.0	相馬安山岩	縦溝、上部に削られる
50	24		4263	13 東拾場	IV49	B層下層	S-206	石鏡	400.0	338.0	90.0	14000.0	緑色凝灰岩	表面磨痕、正面赤色磨痕
50	25		4024	13 東拾場	IV41 ブロンズA	層土	S-X	石鏡	322.0	336.0	96.0	13800.0	緑色凝灰岩	表面磨痕
50	26		4316	13 東拾場	IV49 ブロンズA	S-223	石鏡	378.0	270.0	94.0	11200.0	両石	正面にさかつかの表面磨痕の磨痕、磨面に滑らかな磨痕	
50	27		4059	14 東拾場	IV34	A層1層	S-X	石鏡	322.0	425.0	172.0	23920.0	安山岩	中央部より部分を中心に磨痕
50	28		4253	14 東拾場	IV32	A層1下層	S-X	石鏡	233.0	183.0	61.0	3280.0	緑色凝灰岩	扁平磨痕
50	29		4270	14 東拾場	IV34	A層1層	S-X	石鏡	252.0	231.0	77.0	4660.0	相馬安山岩	縦溝に上り赤色化
50	30		5207	14 東拾場	V432	A層1層	S-X	自然磨	87.6	58.8	28.0	137.5	凝灰岩	有孔
50	31		2018	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	自然磨	59.1	43.9	33.2	110.4	メノウ	磁石
50	32		4262	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	自然磨	52.5	26.2	20.8	75.5	片岩	自然磨
50	33		2896	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	自然磨	73.4	21.6	36.4	29.2	凝灰岩	横溝、縦溝
50	34		4268	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	自然磨	68.2	97.4	26.7	481.3	凝灰岩	中央部に
50	35		2020	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	自然磨	103.6	66.9	18.6	207.8	両石	持ち高あり
50	36		4245	14 東拾場	IV34	A層1層	S-X	石鏡	353.2	182.2	41.7	2300.0	相馬安山岩	表面磨痕、正面赤色磨痕
50	37		4248	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	278.0	296.0	69.0	6380.0	凝灰岩	中央部に若干磨痕、滑らかな磨痕、赤色磨痕
50	38	42	4247	15 東拾場	IV32	A層2上層	S-X	自然磨	122.2	93.1	25.7	417.1	凝灰岩	横溝縁の黒色部分に白い磨け残りあり
50	39		4267	14 東拾場	IV34	A層1層	S-X	石鏡	227.0	117.9	46.0	1900.0	両石	縦溝により赤色化
50	40	42	4249	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	145.0	120.9	46.0	1300.0	緑色凝灰岩	
50	41		4251	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	163.0	136.0	28.0	680.0	両石凝灰岩	両端部の縦溝材より磨痕あり、凹溝状の磨痕あり
50	42	43	3141	14 東拾場	IV34	A層1層	特-254	石鏡	129.0	36.0	21.5	160.6	両石	アスファルトで接合している。整理番号514で東奥蔵あり。横溝に上文字眼やチープ
50	43	43	3138	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	94.4	26.2	19.4	58.7	両石凝灰岩	横溝のみ、或磨がらみ入込込2磨き
50	44	43	3023	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	161.8	30.6	16.6	138.7	両石	横溝に沈溝
50	45	43	3147	14 東拾場	IV36	A層2層	S-203	石鏡	306.7	21.0	11.0	193.0	両石	表面磨痕
50	46	43	3137	14 東拾場	IV32	A層1層	S-267	石鏡	178.0	29.0	16.0	138.0	両石	横溝に上文字眼の沈溝
50	47	43	3136	14 東拾場	IV34	A層1層	特-261	石鏡	83.6	34.3	26.0	82.2	凝灰岩	体面中央部についで横溝に沈溝あり
50	48	44	3145	14 東拾場	IV32	A層2上層	特-257	石鏡	106.0	23.8	17.0	61.6	凝灰岩	横溝に突起、沈溝、溝縁による文様
50	49	44	3142	14 東拾場	IV34	A層1層	特-272	石鏡	163.2	28.0	27.0	80.9	両石凝灰岩	先端部のみ、縦溝
50	50	44	3146	14 東拾場	V434	A層1層	S-X	石鏡	127.0	32.0	18.0	99.4	両石凝灰岩	三角形の横溝、先端部先端
50	51	43	3141	14 東拾場	IV34	A層1層	特-243	石鏡	74.6	29.0	17.9	58.6	凝灰岩	横溝部のみ、文様なし
50	52	44	3140	14 東拾場	IV36	A層2層	S-X	石鏡	56.4	34.5	10.4	38.3	凝灰岩	横溝部のみ、上文字眼あり
50	53	44	3136	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	229.0	33.0	15.0	191.7	凝灰岩	表面磨痕
50	54	43	3146	14 東拾場	IV32	A層1層	S-X	石鏡	69.6	8.8	8.6	7.2	凝灰岩	先端部
50	55	43	2821	14 東拾場	V432	A層2層	特-239-240	石鏡	190.0	25.0	10.1	90.2	緑色凝灰岩	断面
50	56	42	46	14 東拾場	IV36	A層1層	S-258	石鏡	130.0	100.0	12.0	202.9	凝灰岩	
50	57	45	6115	14 東拾場	IV36	A層1層	S-257	石鏡	41.2	67.2	23.5	88.8	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	58	45	6106	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	59	45	6108	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	60	45	6109	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	61	45	6107	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	62	45	6108	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	63	45	6109	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	64	45	6110	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	65	45	6111	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	66	45	6112	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	67	45	6113	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	68	45	6114	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	69	45	6115	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	70	45	6116	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	71	45	6117	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	72	45	6118	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	73	45	6119	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	74	45	6120	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	75	45	6121	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	76	45	6122	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	77	45	6123	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	78	45	6124	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	79	45	6125	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	80	45	6126	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	81	45	6127	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	82	45	6128	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	83	45	6129	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	84	45	6130	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	85	45	6131	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	86	45	6132	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	87	45	6133	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	88	45	6134	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	89	45	6135	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	90	45	6136	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	91	45	6137	14 東拾場	IV32	A層1層	特-262	石鏡	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	縦溝中に赤色磨痕
50	92	45												

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(7)

図録 番号	番号	図録 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特番	部類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
60	8		4763	14 東捨場	不明	1層	S-X	打物	69.0	26.7	5.9	7.2	凝灰岩		
60	9	45	4	6109	14 東捨場	IV455	5層1層	特-212	打物	80.0	56.0	16.0	26.0	凝灰岩	
60	10	45	2	6113	14 東捨場	IV355	5層1層	S-200	打物	42.0	45.0	11.0	20.0	凝灰岩	
60	11	45	10	6114	14 東捨場	IV353	5層1層	特-218	打物	64.0	52.0	17.0	28.0	砂質凝灰岩	
61	1	86	3	6163	14 東捨場	IV352	5層1層	S-X	打物	78.0	150.0	12.0	236.5	凝灰岩	
61	2	86	4	6162	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	打物	116.0	112.0	32.0	309.9	緑色凝灰岩	
61	3	45	8	6110	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	打物	47.0	28.0	5.0	14.1	凝灰岩	
61	4	46	2	6101	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製品	82.0	35.0	7.0	27.1	砂質凝灰岩	
61	5	47	5	1553	14東捨場	IV355	5層1層	S-X	打物	105.0	36.7	22.1	88.3	凝灰岩	
61	6	48	3	4777	13 東捨場	IV404	5層2層	S-X	石製品	91.0	37.0	23.0	144.1	凝灰岩	
61	7	50	5	5652	14 東捨場	IV352	5層1層	S-X	石製品	67.0	66.0	22.0	224.9	相馬玄武岩	
61	8	47	7	896	14 東捨場	IV154-55 西側トレンチ	不明	S-X	鎌形鏝	91.9	62.5	34.3	238.3	緑色凝灰岩	下半部を焼削
62	1	45	3	6107	13 東捨場	IV104	5層下層	S-X	打物	45.0	75.0	7.0	36.4	凝灰岩	
62	2		8653	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	打物	—	—	—	—	凝灰岩		
62	3	89	6	862	14 東捨場	IV355	1層	S-X	石製内器	20.0	18.0	7.0	3.3	凝灰岩	
62	4		862	東捨場	IV355	5層下層	S-203	打物	73.0	65.0	20.0	61.4	凝灰岩	鏡面部分に赤銅焼色	
62	5	89	7	11974	東捨場	IV352 ポイント2	埋土	S-X	石製内器	34.0	34.0	8.0	14.7	凝灰岩	
62	6	8208	14 東捨場	IV354	1層	S-X	石製内器	17.5	42.2	18.1	30.5	15.0	34.0	アイオサイト	アスファルト
62	7	8194	14 東捨場	IV353	1層	S-X	石製内器	52.0	41.0	10.1	30.4	凝灰岩			
62	8	8668	14 東捨場	IV355	1層	S-X	石製内器	68.0	30.8	14.0	30.2	凝灰岩			
62	9	812	14 東捨場	IV353	1層	S-X	石製内器	29.0	28.7	16.4	11.6	凝灰岩			
62	10	810	14 東捨場	V453	1層	S-X	石製内器	38.8	36.2	8.1	23.8	凝灰岩			
62	11	8368	14 東捨場	V453	1層	S-X	石製内器	35.6	35.4	36.4	37.9	花崗岩			
62	12	8328	14 東捨場	V353	1層	S-X	石製内器	52.0	46.0	17.8	68.8	凝灰岩	アスファルト		
62	13	8196	14 東捨場	V353	1層	S-X	石製内器	56.4	43.9	22.7	71.6	アイオサイト			
62	14	8670	14 東捨場	V454	1層	S-X	石製内器	89.1	49.2	9.2	33.9	凝灰岩			
62	15	8241	14 東捨場	不明	1層	S-X	石製内器	82.0	57.0	18.8	47.4	アイオサイト			
62	16	8667	14 東捨場	IV314	1層	S-X	石製内器	71.6	66.2	28.8	213.8	相馬玄武岩			
62	17	8214	14 東捨場	IV355	1層	S-X	石製内器	72.7	67.8	26.1	80.4	2相馬玄武岩	アスファルト		
62	18	8410	14 東捨場	IV353	1層	S-X	石製内器	75.9	70.6	30.3	207.1	緑色凝灰岩			
62	19	8664	14 東捨場	V453	1層	S-X	石製内器	59.9	46.5	17.6	45.3	頁岩			
62	20	8267	14 東捨場	V353	1層	S-X	石製内器	58.2	50.1	21.1	84.1	アイオサイト			
62	21	8865	14 東捨場	不明	1層	S-X	石製内器	119.1	91.8	24.3	292.8	花崗岩			
62	22	40	10	8627	東捨場	IV354	不明	S-X	石製内器	56.0	47.0	14.0	49.4	緑色凝灰岩	石鏝?
63	1	8658	13 東捨場	IV100	5層1層	S-X	石製内器	96.8	44.1	7.4	17.1	頁岩			
63	2	8309	東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	54.7	53.2	15.7	39.9	凝灰岩			
63	3	8507	東捨場	IV355	5層1層	S-223	石製内器	79.3	91.8	31.0	294.5	花崗岩			
63	4	8308	東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製内器	97.4	75.7	37.5	809.5	アイオサイト			
63	5	8357	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	95.5	94.2	38.9	527.0	1本鑑定			
63	6	8659	13 東捨場	IV314	5層1層	S-X	石製内器	67.8	61.1	15.8	86.0	頁岩			
63	7	89	4	1365	13 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	65.7	62.7	31.6	189.0	結實頁岩を剥離後、縁辺を磨削	
63	8	89	5	7749	東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製内器	43.5	45.9	11.0	24.2	凝灰岩	
63	9	8228	14 東捨場	V454	5層1層	S-X	石製内器	88.6	45.1	15.0	30.2	凝灰岩			
63	10	8227	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	51.2	49.6	11.5	39.2	アイオサイト			
63	11	8466	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	56.7	44.3	12.7	57.8	相馬玄武岩			
63	12	8498	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	59.7	54.8	23.1	107.2	相馬玄武岩			
63	13	8586	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	79.1	70.5	19.8	132.0	凝灰岩			
63	14	8205	14 東捨場	IV396	5層1層	S-X	石製内器	66.3	60.4	19.5	105.7	凝灰岩	アスファルト		
63	15	8282	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	64.7	56.7	21.5	122.3	アイオサイト	アスファルト		
63	16	8223	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	53.1	48.4	7.4	23.3	凝灰岩			
63	17	8288	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	44.4	40.2	19.9	53.2	緑色凝灰岩			
63	18	841	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	56.7	36.6	7.7	15.8	凝灰岩			
63	19	814	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製内器	34.9	30.5	3.4	5.1	凝灰岩			
63	20	8264	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	89.0	79.3	12.4	103.2	凝灰岩			
63	21	8291	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	92.6	90.5	24.6	332.4	凝灰岩			
63	22	8380	14 東捨場	IV314	5層1層	S-X	石製内器	88.8	71.3	15.4	165.7	1本鑑定			
63	23	8386	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	68.0	43.2	13.4	29.6	凝灰岩			
63	24	8232	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	86.2	41.4	15.1	89.2	緑色凝灰岩	アスファルト		
64	3	8123	15 西捨場	IV-28	埋土上	S-X	石製内器	45.3	46.9	16.6	55.9	花崗岩	アスファルト、鏡面磨削、第1層第2層第1層第3層第4層		
64	4	8351	14 東捨場	V454	5層1層	S-X	石製内器	52.5	48.6	15.2	64.2	花崗岩	アスファルト		
64	5	8358	14 東捨場	V454	5層1層	S-X	石製内器	53.5	45.9	18.0	72.1	1本鑑定	鏡面アスファルト		
64	6	8463	14 東捨場	IV396	5層1層	S-X	石製内器	31.2	48.7	30.3	20.2	1本鑑定			
64	7	8288	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	51.0	45.7	15.4	43.5	1本鑑定			
64	8	8272	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	59.7	52.2	11.7	39.4	頁岩	アスファルト?		
64	9	8280	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	56.4	50.9	20.0	95.3	花崗岩	アスファルト		
64	10	8500	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	59.0	55.6	20.3	113.2	アイオサイト			
64	11	8221	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製内器	57.6	55.0	16.5	77.1	凝灰岩			
64	12	8209	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製内器	61.1	56.6	21.2	119.6	相馬玄武岩	アスファルト		
64	13	8193	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	68.6	68.1	21.8	148.3	凝灰岩	アスファルト		
64	14	8361	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	63.9	55.8	19.3	79.2	1本鑑定			
64	15	8402	14 東捨場	IV353	5層1層	S-X	石製内器	65.5	61.6	12.9	15.1	アイオサイト	アスファルト		
64	16	8291	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	60.7	60.4	14.6	89.1	相馬玄武岩			
64	17	8503	14 東捨場	IV355	5層1層	S-X	石製内器	62.1	62.1	17.7	90.8	凝灰岩			
64	18	8243	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	69.4	60.0	41.5	233.1	1本鑑定			
64	19	8206	14 東捨場	IV354	5層1層	S-X	石製内器	66.6	66.0	33.5	123.7	1本鑑定			
64	20	8190	14 東捨場	IV314	5層1層	S-X	石製内器	—	—	—	117.2	緑色凝灰岩			

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(8)

国指定 種別	番号	国指定 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特番	図様	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
60	21	6256	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	71.8	68.3	31.0	192.9	緑色凝灰岩	アヌフアルト	
61	22	6199	14 東拾場	IV333	5.8層1階	5-X		石製円盤	74.9	67.0	15.8	106.1	6.13	アヌフアルト	
64	23	6217	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	81.1	76.0	24.6	240.7	6.13		
64	24	6252	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	89.1	85.4	12.9	136.1	6.13		
64	25	6297	14 東拾場	IV334	5.8層1階下層	5-X		石製円盤	67.8	83.5	29.5	288.0	6.13		
64	26	6441	14 東拾場	IV334	5.8層2階	5-X		石製円盤	94.0	88.4	31.3	302.3	6.13		
64	27	6675	14 東拾場	IV333	5.8層2階	5-X		石製円盤	82.1	86.2	8.6	98.2	6.13		
64	2	6678	14 東拾場	IV336	5.8層2階	5-X		石製円盤	80.7	22.3	7.7	1.4	6.13		
64	3	6669	14 東拾場	IV335	5.8層1階	5-X		石製円盤	63.0	41.0	9.1	18.4	6.13		
64	4	6238	14 東拾場	IV335	5.8層1階	5-X		石製円盤	86.8	47.3	11.1	31.7	6.13		
64	5	6272	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	81.7	44.0	7.3	27.3	6.13		
64	6	6665	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	61.9	41.7	8.4	23.7	6.13		
64	7	9671	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	58.3	53.0	6.4	18.1	6.13		
64	8	1427	14 東拾場	IV333	5.8層下層	5-X		石製円盤	63.9	57.7	22.2	136.7	6.13		
64	9	6231	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	74.3	37.1	12.7	78.4	6.13		
64	10	6290	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	62.1	59.6	18.2	83.2	6.13		
64	11	6	7321	東拾場	IV332 フロンツ	5.8層1階	5-X	石製円盤	119.0	145.0	13.0	248.4	6.13		
64	12	6290	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	88.2	49.1	6.9	34.8	6.13		
64	13	9679	14 東拾場	IV336	5.8層1階	5-X		石製円盤	86.8	63.7	10.2	96.2	6.13		
64	14	6233	14 東拾場	IV333	5.8層1階	5-X		石製円盤	81.1	71.8	28.4	213.4	6.13		
64	15	6369	14 東拾場	IV333	5.8層1階下層	5-X		石製円盤	71.8	52.6	19.3	41.8	6.13		
64	16	5332	13 東拾場	IV334 サナリヤ4	5.8層2階	5-X		石製円盤	62.3	34.6	8.7	19.9	6.13		
64	17	5335	東拾場	V433	5.8層1階	5-X		石製円盤	86.4	79.2	14.9	81.3	6.13		
64	18	6279	14 東拾場	IV333	5.8層1階	5-X		石製円盤	58.6	55.9	25.1	84.7	6.13		
64	19	5278	14 東拾場	IV333	5.8層1階	5-X		石製円盤	53.1	36.0	18.1	63.0	6.13		
64	20	5280	14 東拾場	IV333	5.8層1階	5-X		石製円盤	53.9	52.9	18.3	77.2	6.13		
64	21	6	822	14 東拾場	V433	5.8層2階	5-X	石製円盤	41.0	39.0	14.0	31.3	6.13		
64	22	6231	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X		石製円盤	80.7	33.0	9.7	14.7	6.13		
64	23	6475	14 東拾場	IV334	5.8層2階	5-X		石製円盤	52.2	46.0	11.2	44.4	6.13		
64	24	6415	14 東拾場	IV333	5.8層2階	5-X		石製円盤	58.2	49.4	21.0	102.7	6.13		
64	25	6414	14 東拾場	IV334	5.8層2階	5-X		石製円盤	62.6	60.2	26.1	135.1	6.13		
66	1	6343	14 東拾場	不明	1階	5-X		石製円盤	37.1	36.1	14.4	29.8	6.13		
66	2	6259	14 東拾場	IV343-55 トランプ	不明	5-X		石製円盤	90.0	35.0	12.3	21.8	6.13		
66	3	635	14 東拾場	IV32	5.8層2階	5-X		石製円盤	67.2	58.7	11.9	50.1	6.13		
66	4	9684	14 西拾場	VI-26	埋藏中	5-X		石製円盤	60.8	31.0	12.0	28.6	6.13		
66	5	6	4720	13 東拾場	IV354	5.8層下層	5-X	石製品	34.0	6.5	6.0	1.4	6.13		
66	6	9	4726	13 東拾場	IV354	5.8層下層	5-X	石製品	85.0	8.0	8.0	4.4	6.13		
66	7	8002	14 東拾場	V433	5.8層1階	5-X		石製品	141.4	71.2	60.5	1051.3	6.13		
66	8	6	7589	東拾場	IV333	5.8層1階	特-211	石製品	56.0	32.0	18.0	14.6	6.13		
66	9	2576	14 東拾場	IV334	5.8層1階	特-236	玉素材	13.8	10.7	9.9	0.8	6.13			
66	10	2432	14 東拾場	IV333	5.8層2階	5-X		磨砕	41.3	37.0	10.0	17.4	6.13		
66	11	6	1952	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X	玉素材	39.0	13.0	8.5	3.3	6.13		
66	12	50	7	7320	東拾場	IV335	5.8層2階	特-217	磨砕	78.0	45.9	28.0	82.8	6.13	
66	13	51	1	5564	14 東拾場	IV332	5.8層1階	5-X	石製品	91.7	88.2	37.8	433.2	6.13	
67	1	6	9	2579	14 東拾場	IV332	5.8層1階	5-X	磨砕	22.4	30.1	13.2	11.9	6.13	
67	2	6	8	2577	14 東拾場	IV336	5.8層1階	5-X	磨砕	39.3	41.9	6.9	11.7	6.13	
67	3	47	3	5417	14 東拾場	V433 フロンツ	5.8層2階	特-258	磨砕	75.9	48.6	8.2	27.4	6.13	
67	4	47	2	5418	14 東拾場	IV334	5.8層2階	5-X	磨砕	84.3	77.4	12.9	106.0	6.13	
67	5	47	1	5204	14 東拾場	V432 フロンツ	5.8層2階	特-273	磨砕	36.9	57.3	24.3	123.2	6.13	
67	6	47	6	5419	14 東拾場	IV332	5.8層2階	5-X	磨砕	47.3	76.6	13.6	120.1	6.13	
67	7	6	6	5298	13 東拾場	IV334	5.8層2階	5-X	磨砕	77.0	62.0	42.0	29.6	6.13	
67	8	6	7	7589	東拾場	IV333	5.8層1階	5-266	磨砕	33.0	38.0	16.0	29.4	6.13	
67	9	6	5	7588	東拾場	IV336	5.8層1階	5-X	石製品	41.0	33.0	8.0	17.1	6.13	
67	10	41	3	5647	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X	石製品	84.0	69.0	30.0	320.9	6.13	
67	11	41	1	698	14 東拾場	IV333	5.8層1階	特-214	磨砕	56.8	73.8	17.1	89.1	6.13	
67	12	47	8	899	14 東拾場	IV334	5.8層1階	5-X	磨砕	74.2	56.3	16.0	103.5	6.13	
67	13	47	4	2108	東拾場	IV336 埋3-19	不明	5-X	磨砕	116.2	88.2	28.7	342.0	6.13	
70	1	28	7	5617	15 村道	IV337	埋藏中	5-X	石質	49.7	28.3	13.6	27.3	6.13	
70	2	1952	15 村道	IV337	埋藏中	5-X		石質	53.9	31.9	10.9	7.6	6.13		
70	3	5505	15 村道	IV339	埋藏中	5-X		石質	50.0	34.3	11.8	16.2	6.13		
70	4	11046	15 村道	IV336	埋藏中	5-X		石質	45.0	47.2	12.6	21.7	6.13		
70	5	11048	15 村道	IV337	埋藏中	5-X		石質	60.3	65.8	10.1	31.6	6.13		
70	6	1179	15 村道	IV339	埋藏中	5-X		磨砕	60.2	42.6	6.2	16.9	6.13		
70	7	2862	15 村道	IV338	埋藏中	5-X		磨砕	85.0	85.7	13.1	44.8	6.13		
70	8	1177	15 村道	IV339	埋藏中	5-X		磨砕	24.0	52.9	8.0	2.4	6.13		
70	9	1178	15 村道	IV337	埋藏中	5-X		磨砕	84.1	29.3	9.0	15.8	6.13		
70	10	1973	15 村道	IV336	不明	5-X		磨砕	55.2	28.2	11.0	14.2	6.13		
70	11	2000	15 村道	IV339	埋藏中	5-X		原石	34.7	20.4	18.3	16.5	6.13		
70	12	40	5	1307	15 村道	IV338	埋藏中	5-X	磨砕石片	52.1	24.6	10.0	21.4	6.13	
70	13	40	4	1732	15 村道	IV339	埋藏中	5-X	磨砕石片	85.0	45.3	23.0	292.8	6.13	
70	14	44	2	2439	東拾場	IV337	埋藏中	特-279	石片	65.8	54.7	10.7	107.7	6.13	
70	15	64	1	7754	15 村道	IV337	埋藏中	5-X	石製円盤	73.0	62.0	17.0	120.6	6.13	
70	16	64	1	1305	15 村道	IV336	埋藏中	5-X	石製円盤	72.8	67.7	16.5	104.7	6.13	

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(9)

写真番号	番号	図面番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S産・特産	図様	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
	17		6260	15 付道	IV107	Ⅱ層	S-K	石製内包	75.1	73.0	22.5	134.7	緑泥岩	
70	18	49	2090	15 付道	IV356	Ⅱ層	特-277	石製内包	39.0	36.0	9.0	17.1	緑泥岩	
70	19	50	2760	15 付道	IV359	I層	S-K	石製内包	49.0	50.0	20.0	73.2	緑泥岩	アスファルト
70	20	50	2746	15 付道	IV356	Ⅱ層	S-K	石製内包	55.0	52.0	14.0	64.4	緑泥岩	
70	21	50	4767	15 付道	IV356	Ⅱ層	特-278	石製品	52.0	54.0	35.0	107.3	緑泥岩	
70	22	49	12 2061	15 付道	IV107	Ⅱ層	S-K	石製品	34.0	34.0	16.0	9.7	灰岩	磨下産
70	23	49	11660	15 付道	IV156	Ⅱ層	S-K	石製品	329.0	328.0	108.0	6020.0	緑泥岩	
	48	2	7567	東捨場	IV165	Ⅱ層1層	特-263	石製品	63.0	37.0	8.0	9.0	緑泥岩	
	49	8	4753	14 東捨場	不明	Ⅱ層付	S-K	石製品	30.0	22.0	0.0	5.4	緑泥岩	
	49	10	4769	13 東捨場	IV106 S-273+4	Ⅱ層1層	S-K	石製品	15.0	15.0	5.0	0.7	緑泥岩	
写真1	1		8350	東捨場	V454	I層	S-K	圓石	112.0	62.0	35.6	217.4	緑泥岩	

表11 東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(1)

写真	番号	整理番号	出土地点	層・備考	長さ(mm)
円盤1					
400-1	2	1021	IV353	Ⅱ層1層	175.0
400-1	2	1217	IV353	Ⅱ層1層	179.0
400-1	3	1112	IV353	Ⅱ層1層	160.0
400-1	4	1022	IV353	Ⅱ層1層	160.0
400-1	5	1107	IV353	Ⅱ層1層	150.0
400-1	6	1020	IV353	Ⅱ層1層	149.0
400-1	7	1018	IV353	Ⅱ層1層	143.0
400-1	8	1019	IV353	Ⅱ層1層	137.0
400-1	9	1020	IV353	Ⅱ層1層	135.0
400-1	10	1021	IV353	Ⅱ層1層	132.0
400-1	11	1021	IV353	Ⅱ層1層	129.0
400-1	12	1021	IV353	Ⅱ層1層	126.0
400-1	13	1021	IV353	Ⅱ層1層	121.0
400-1	14	1021	IV353	Ⅱ層1層	117.0
400-1	15	1021	IV353	Ⅱ層1層	113.0
400-1	16	1021	IV353	Ⅱ層1層	109.0
400-1	17	1021	IV353	Ⅱ層1層	105.0
400-1	18	1021	IV353	Ⅱ層1層	101.0
400-1	19	1021	IV353	Ⅱ層1層	97.0
400-1	20	1021	IV353	Ⅱ層1層	93.0
400-1	21	1021	IV353	Ⅱ層1層	89.0
400-1	22	1021	IV353	Ⅱ層1層	85.0
400-1	23	1021	IV353	Ⅱ層1層	81.0
400-1	24	1021	IV353	Ⅱ層1層	77.0
400-1	25	1021	IV353	Ⅱ層1層	73.0
400-1	26	1021	IV353	Ⅱ層1層	69.0
400-1	27	1021	IV353	Ⅱ層1層	65.0
400-1	28	1021	IV353	Ⅱ層1層	61.0
400-1	29	1021	IV353	Ⅱ層1層	57.0
400-1	30	1021	IV353	Ⅱ層1層	53.0
400-1	31	1021	IV353	Ⅱ層1層	49.0
400-1	32	1021	IV353	Ⅱ層1層	45.0
400-1	33	1021	IV353	Ⅱ層1層	41.0
400-1	34	1021	IV353	Ⅱ層1層	37.0
400-1	35	1021	IV353	Ⅱ層1層	33.0
400-1	36	1021	IV353	Ⅱ層1層	29.0
400-1	37	1021	IV353	Ⅱ層1層	25.0
400-1	38	1021	IV353	Ⅱ層1層	21.0
400-1	39	1021	IV353	Ⅱ層1層	17.0
400-1	40	1021	IV353	Ⅱ層1層	13.0
400-1	41	1021	IV353	Ⅱ層1層	9.0
400-1	42	1021	IV353	Ⅱ層1層	5.0
400-1	43	1021	IV353	Ⅱ層1層	1.0
400-1	44	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.5
400-1	45	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.2
400-1	46	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.1
400-1	47	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	48	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	49	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	50	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	51	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	52	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	53	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	54	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	55	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	56	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	57	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	58	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	59	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	60	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	61	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	62	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	63	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	64	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	65	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	66	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	67	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	68	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	69	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	70	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	71	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	72	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	73	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	74	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	75	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	76	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	77	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	78	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	79	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	80	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	81	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	82	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	83	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	84	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	85	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	86	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	87	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	88	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	89	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	90	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	91	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	92	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	93	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	94	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	95	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	96	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	97	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	98	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	99	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	100	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	101	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	102	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	103	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	104	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	105	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	106	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	107	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	108	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	109	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	110	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	111	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	112	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	113	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	114	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	115	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	116	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	117	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	118	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	119	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	120	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	121	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	122	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	123	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	124	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	125	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	126	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	127	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	128	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	129	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	130	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	131	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	132	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	133	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	134	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	135	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	136	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	137	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	138	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	139	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	140	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	141	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	142	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	143	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	144	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	145	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	146	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	147	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	148	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	149	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	150	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	151	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	152	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	153	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	154	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	155	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	156	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	157	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	158	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	159	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	160	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	161	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	162	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	163	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	164	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	165	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	166	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	167	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	168	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	169	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	170	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	171	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	172	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	173	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	174	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	175	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	176	1021	IV353	Ⅱ層1層	0.0
400-1	177	1021	IV35		

表11 東拾場地区 石製円盤集合写真観察表(2)

写真番号	種類	出土地点	層・備考	写真	写真番号	種類	出土地点	層・備考	写真	写真番号	種類	出土地点	層・備考	写真
P17														
400-1	2	403	P073	土層下層	122	4	22	P010	土層下層	400-2	1	403	P073	土層下層
400-2	3	405	P063	土層下層	123	5	24	P010	土層下層	400-3	2	404	P010	土層下層
400-3	4	410	P010	土層下層	124	6	25	P010	土層下層	400-4	3	410	P010	土層下層
400-4	5	415	P010	土層下層	125	7	26	P010	土層下層	400-5	4	415	P010	土層下層
400-5	6	420	P010	土層下層	126	8	27	P010	土層下層	400-6	5	420	P010	土層下層
400-6	7	425	P010	土層下層	127	9	28	P010	土層下層	400-7	6	425	P010	土層下層
400-7	8	430	P010	土層下層	128	10	29	P010	土層下層	400-8	7	430	P010	土層下層
400-8	9	435	P010	土層下層	129	11	30	P010	土層下層	400-9	8	435	P010	土層下層
400-9	10	440	P010	土層下層	130	12	31	P010	土層下層	400-10	9	440	P010	土層下層
400-10	11	445	P010	土層下層	131	13	32	P010	土層下層	400-11	10	445	P010	土層下層
400-11	12	450	P010	土層下層	132	14	33	P010	土層下層	400-12	11	450	P010	土層下層
400-12	13	455	P010	土層下層	133	15	34	P010	土層下層	400-13	12	455	P010	土層下層
400-13	14	460	P010	土層下層	134	16	35	P010	土層下層	400-14	13	460	P010	土層下層
400-14	15	465	P010	土層下層	135	17	36	P010	土層下層	400-15	14	465	P010	土層下層
400-15	16	470	P010	土層下層	136	18	37	P010	土層下層	400-16	15	470	P010	土層下層
400-16	17	475	P010	土層下層	137	19	38	P010	土層下層	400-17	16	475	P010	土層下層
400-17	18	480	P010	土層下層	138	20	39	P010	土層下層	400-18	17	480	P010	土層下層
400-18	19	485	P010	土層下層	139	21	40	P010	土層下層	400-19	18	485	P010	土層下層
400-19	20	490	P010	土層下層	140	22	41	P010	土層下層	400-20	19	490	P010	土層下層
400-20	21	495	P010	土層下層	141	23	42	P010	土層下層	400-21	20	495	P010	土層下層
400-21	22	500	P010	土層下層	142	24	43	P010	土層下層	400-22	21	500	P010	土層下層
400-22	23	505	P010	土層下層	143	25	44	P010	土層下層	400-23	22	505	P010	土層下層
400-23	24	510	P010	土層下層	144	26	45	P010	土層下層	400-24	23	510	P010	土層下層
400-24	25	515	P010	土層下層	145	27	46	P010	土層下層	400-25	24	515	P010	土層下層
400-25	26	520	P010	土層下層	146	28	47	P010	土層下層	400-26	25	520	P010	土層下層
400-26	27	525	P010	土層下層	147	29	48	P010	土層下層	400-27	26	525	P010	土層下層
400-27	28	530	P010	土層下層	148	30	49	P010	土層下層	400-28	27	530	P010	土層下層
400-28	29	535	P010	土層下層	149	31	50	P010	土層下層	400-29	28	535	P010	土層下層
400-29	30	540	P010	土層下層	150	32	51	P010	土層下層	400-30	29	540	P010	土層下層
400-30	31	545	P010	土層下層	151	33	52	P010	土層下層	400-31	30	545	P010	土層下層
400-31	32	550	P010	土層下層	152	34	53	P010	土層下層	400-32	31	550	P010	土層下層
400-32	33	555	P010	土層下層	153	35	54	P010	土層下層	400-33	32	555	P010	土層下層
400-33	34	560	P010	土層下層	154	36	55	P010	土層下層	400-34	33	560	P010	土層下層
400-34	35	565	P010	土層下層	155	37	56	P010	土層下層	400-35	34	565	P010	土層下層
400-35	36	570	P010	土層下層	156	38	57	P010	土層下層	400-36	35	570	P010	土層下層
400-36	37	575	P010	土層下層	157	39	58	P010	土層下層	400-37	36	575	P010	土層下層
400-37	38	580	P010	土層下層	158	40	59	P010	土層下層	400-38	37	580	P010	土層下層
400-38	39	585	P010	土層下層	159	41	60	P010	土層下層	400-39	38	585	P010	土層下層
400-39	40	590	P010	土層下層	160	42	61	P010	土層下層	400-40	39	590	P010	土層下層
400-40	41	595	P010	土層下層	161	43	62	P010	土層下層	400-41	40	595	P010	土層下層
400-41	42	600	P010	土層下層	162	44	63	P010	土層下層	400-42	41	600	P010	土層下層
400-42	43	605	P010	土層下層	163	45	64	P010	土層下層	400-43	42	605	P010	土層下層
400-43	44	610	P010	土層下層	164	46	65	P010	土層下層	400-44	43	610	P010	土層下層
400-44	45	615	P010	土層下層	165	47	66	P010	土層下層	400-45	44	615	P010	土層下層
400-45	46	620	P010	土層下層	166	48	67	P010	土層下層	400-46	45	620	P010	土層下層
400-46	47	625	P010	土層下層	167	49	68	P010	土層下層	400-47	46	625	P010	土層下層
400-47	48	630	P010	土層下層	168	50	69	P010	土層下層	400-48	47	630	P010	土層下層
400-48	49	635	P010	土層下層	169	51	70	P010	土層下層	400-49	48	635	P010	土層下層
400-49	50	640	P010	土層下層	170	52	71	P010	土層下層	400-50	49	640	P010	土層下層
400-50	51	645	P010	土層下層	171	53	72	P010	土層下層	400-51	50	645	P010	土層下層
400-51	52	650	P010	土層下層	172	54	73	P010	土層下層	400-52	51	650	P010	土層下層
400-52	53	655	P010	土層下層	173	55	74	P010	土層下層	400-53	52	655	P010	土層下層
400-53	54	660	P010	土層下層	174	56	75	P010	土層下層	400-54	53	660	P010	土層下層
400-54	55	665	P010	土層下層	175	57	76	P010	土層下層	400-55	54	665	P010	土層下層
400-55	56	670	P010	土層下層	176	58	77	P010	土層下層	400-56	55	670	P010	土層下層
400-56	57	675	P010	土層下層	177	59	78	P010	土層下層	400-57	56	675	P010	土層下層
400-57	58	680	P010	土層下層	178	60	79	P010	土層下層	400-58	57	680	P010	土層下層
400-58	59	685	P010	土層下層	179	61	80	P010	土層下層	400-59	58	685	P010	土層下層
400-59	60	690	P010	土層下層	180	62	81	P010	土層下層	400-60	59	690	P010	土層下層
400-60	61	695	P010	土層下層	181	63	82	P010	土層下層	400-61	60	695	P010	土層下層
400-61	62	700	P010	土層下層	182	64	83	P010	土層下層	400-62	61	700	P010	土層下層
400-62	63	705	P010	土層下層	183	65	84	P010	土層下層	400-63	62	705	P010	土層下層
400-63	64	710	P010	土層下層	184	66	85	P010	土層下層	400-64	63	710	P010	土層下層
400-64	65	715	P010	土層下層	185	67	86	P010	土層下層	400-65	64	715	P010	土層下層
400-65	66	720	P010	土層下層	186	68	87	P010	土層下層	400-66	65	720	P010	土層下層
400-66	67	725	P010	土層下層	187	69	88	P010	土層下層	400-67	66	725	P010	土層下層
400-67	68	730	P010	土層下層	188	70	89	P010	土層下層	400-68	67	730	P010	土層下層
400-68	69	735	P010	土層下層	189	71	90	P010	土層下層	400-69	68	735	P010	土層下層
400-69	70	740	P010	土層下層	190	72	91	P010	土層下層	400-70	69	740	P010	土層下層
400-70	71	745	P010	土層下層	191	73	92	P010	土層下層	400-71	70	745	P010	土層下層
400-71	72	750	P010	土層下層	192	74	93	P010	土層下層	400-72	71	750	P010	土層下層
400-72	73	755	P010	土層下層	193	75	94	P010	土層下層	400-73	72	755	P010	土層下層
400-73	74	760	P010	土層下層	194	76	95	P010	土層下層	400-74	73	760	P010	土層下層
400-74	75	765	P010	土層下層	195	77	96	P010	土層下層	400-75	74	765	P010	土層下層
400-75	76	770	P010	土層下層	196	78	97	P010	土層下層	400-76	75	770	P010	土層下層
400-76	77	775	P010	土層下層	197	79	98	P010	土層下層	400-77	76	775	P010	土層下層
400-77	78	780	P010	土層下層	198	80	99	P010	土層下層	400-78	77	780	P010	土層下層
400-78	79	785	P010	土層下層	199	81	100	P010	土層下層	400-79	78	785	P010	土層下層
400-79	80	790	P010	土層下層	200	82	101	P010	土層下層	400-80	79	790	P010	土層下層
400-80	81	795	P010	土層下層	201	83	102	P010	土層下層	400-81	80	795	P010	土層下層
400-81	82	800	P010	土層下層	202	84	103	P010	土層下層	400-82	81	800	P010	土層下層
400-82	83	805	P010	土層下層	203	85	104	P010	土層下層	400-83	82	805	P010	土層下層
400-83	84	810	P010	土層下層	204	86	105	P010	土層下層	400-84	83	810	P010	土層下層
400-84	85	815	P010	土層下層	205	87	106	P010	土層下層	400-85	84	815	P010	土層下層
400-85	86	820	P010	土層下層	206	88	107	P010	土層下層	400-86	85	820	P010	土層下層
400-86	87	825	P010	土層下層	207	89	108	P010	土層下層	400-87	86	825	P010	土層下層
400-87	88	830	P010	土層下層	208	90	109	P010	土層下層	400-88	87	830	P010	土層下層
400-88	89	835	P010	土層下層	209	91	110	P010	土層下層	400-89	88	835	P010	土層下層
400-89	90	840	P010	土層下層	210	92	111	P010	土層下層	400-90	89	840	P010	土層下層
400-90	91	845	P010	土層下層	211	93	112	P010	土層下層	400-91	90	845	P010	土層下層
400-91	92	850	P010	土層下層	212	94	113	P010	土層下層	400-92	91	850	P010	土層下層
400-92	93	855	P010	土層下層	213	95	114	P010	土層下層	400-93	92	855	P010	土層下層
400-93	94	860	P010	土層下層	214	96	115	P010	土層下層	400-94	93	860	P010	土層下層
400-94	95	865	P010											

表12 東捨場地区 その他遺物観察表

写真 図説 図版	写真 番号	出土地点	部位	品類	時期	出土層・加工層・取捨層	備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	整理 番号
—	—	IV356 モリシオン4	瓦葺1層	浮製品	佐野塚遺構へ取捨	浮製品	—	—	—	—	—
—	—	IV321 特224	瓦葺2上層	浮製品 轆	佐野塚遺構へ取捨	浮製品	佐野塚遺構平代層3.600± 2019P( KARU11) -100	(1.76)	(1.49)	—	IV40101
17	—	IV353	瓦葺2上層	浮製品 轆	佐野塚遺構へ取捨	浮製品	佐野塚遺構平代層3.650± 2019P( KARU11) -109	—	—	—	IV40102
20	24	IV353	瓦葺2上層	アスファルト	佐野塚遺構へ取捨			3.57	3.55	1.85	IV40103
20	25	IV356	1層	アスファルト	佐野塚遺構へ取捨			4.03	2.79	1.30	IV311
20	26	IV355	瓦葺1層	アスファルト	佐野塚遺構へ取捨			3.47	3.42	1.33	IV310





表13 北東拾遺地区 土器観察表(2)

調査 番号	瓦器 図版	瓦器 番号	所在地 (出土層)	層名	形状	時期	特徴・外観と文様など	内面特徴	付着物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	調査 番号
—	195	4	V147 F1091 F1092-1094	TE2-10層	深鉢	弥生前期	小底が口縁、口唇に面取なし。外面：口縁部～体部上半に点線文。		灰化跡(内面)		206.0	—	114.0	北東-土器 10105
84	195	5	V147 F1095 F1096	TE2-10層	行付鉢	弥生中期	底平縁、口唇に面取る外縁、外面に面取の2条、腹面を自然発着縁に1 半位の、外縁部を2条、底面を1条、口唇部、口唇部以上		灰化跡(内・外面) 粘土分粒0.26		226.0	6.4	18.6	北東-土器 10106
84	195	6	V147 F1098	TE2-10層	盆	弥生4	外面に面取の2条、口唇部以下に面取、外面に面取、口唇部以上		赤土(外面、内面) 口唇部以上		—	3.0	114.0	北東-土器 10107
—	195	7	V147 F1099 F1100	TE2-10層	盆	弥生3	平口縁、口唇に面取なし。外面に面取る外縁、外面に面取、口唇部以上		赤土(外面)		117.0	0.0	6.6	北東-土器 10108
85	195	8	V146+47 F1098+F1099	TE2-3層	鉢	弥生3	平口縁、口唇に面取る外縁、外面に面取の2条、口唇部以上		内・外面入土		30.3	—	114.7	北東-土器 10109
85	195	9	V147 F1101	TE2-3層	深鉢	弥生	平口縁、二山発着1単位、口唇部以下に面取、外面に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面) 粘土分粒0.21		224.0	8.0	12.6	北東-土器 10110
—	196	1	V145 F1100 F1102-1104	TE1-9層	盆	弥生3	外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		面取跡2.4cm		—	—	—	北東-土器 10111
—	196	2	V146+47 F1102-F1103	TE2-3層	深鉢	弥生3	外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面)		226.0	—	117.0	北東-土器 10112
85	196	3	V147 F1120	TE2-3層	盆	弥生中期 ～ 前期	平口縁、口唇に面取(平口)、外面に面取(平口)、口唇部以下に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面)		7.0	5.0	14.0	北東-土器 10100
—	196	4	V147 F1121	TE2-3層	盆	弥生	外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		—		—	6.0	111.0	北東-土器 10101
85	196	5	V147 F1122 F1123	TE2-3層	鉢	弥生4	平口縁、口唇に面取なし。二山発着外縁に斜行点線、外面に面取(平口)、口唇部以下に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面)		226.0	5.7	13.7	北東-土器 10113
85	196	6	V147 F1124	TE2-3層	行付鉢	弥生4	平口縁、口唇に面取なし。外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面)		12.0	—	9.5	北東-土器 10104
85	196	7	V147 F1125	TE2-3層	盆	弥生4～5	平口縁、口唇に面取なし。外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面)		8.2	—	111.0	北東-土器 10109
—	196	8	V145 F1126	TE1-10層	行付鉢	弥生1b	小底平縁、外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		粘土分粒0.20		113.0	—	11.0	北東-土器 10114
85	196	9	V145 F1127	TE1-10層	盆小	弥生2小	外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		灰化跡(内・外面)		—	—	7.8	北東-土器 10116
85	197	1	V147 F1129	TE2-7層	深鉢	弥生	平口縁、口唇に面取、外面に面取の2条、口唇部以下に面取、口唇部以上		内面下部～外面 入土		28.2	10.0	20.3	北東-土器 10111
86	197	2	V146 F1130	TE1-10層	深鉢	弥生	平口縁、外縁1単位、口唇に面取なし。口唇部～底部に点線文、底面を面取、口唇部以上		内・外面入土		18.2	6.4	16.8	北東-土器 10112





表13 北東埼玉地区 土器観察表(5)

調査 番号	調査 年度	調査 場所	所在地 (出土層等)	層名	形状	時期	特徴・外観と類似之	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号	
87	110	10	V106 P132 フロッツ0036	T01-10B	浅鉢	弥生3	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	ミナモト	赤土(内・外周)	胎土分削付	12.2	4.0	4.2	北東-土器 1013
88	111	1	V115 P125・P133 フロッツ0011	T01-20B	浅盆蓋 浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(外周)	胎土; 砂漉	30.4	—	—	北東-土器 1017
88	111	2	V115 P132 フロッツ0011	T01-30B	浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土; 砂漉	30.0	—	—	北東-土器 1014
88	111	3	V115 P132・P133 フロッツ0011	T01-20B	浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(外周)	胎土; 砂漉	17.5	6.6	10.3	北東-土器 1015
88	111	4	V116 P131 フロッツ0011	T01-10B	浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土; 砂漉	19.0	6.8	10.3	北東-土器 1014
88	111	5	V116 P131・P132 フロッツ0011	T01-10B	浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(外周)	胎土; 砂漉	30.0	—	12.0	北東-土器 1015
—	111	6	V132 P132・P133 フロッツ0011	T01-10B	鉢	弥生2	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土	11.6	—	10.3	北東-土器 1019
88	112	1	V106 P136 フロッツ0012	T01-10B	浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内周)	胎土	30.0	7.0	22.2	北東-土器 1015
89	112	2	V106 P132・P133 フロッツ0012	T01-10B	浅鉢	弥生3	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土	32.6	—	—	北東-土器 1014
—	112	3	V106 P130 フロッツ0012	T01-10B	浅鉢小蓋 浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内周)	胎土	8.2 40.5(分弁)	—	10.3	北東-土器 1015
89	112	4	V127・P136 P132 フロッツ0012	T01-10B	浅鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土	17.2	6.0	20.6	北東-土器 1017
—	112	5	V106 P132 フロッツ0012	T01-10B	浅鉢	弥生3	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内周)	胎土	10.5	6.2	9.3	北東-土器 1016
89	112	6	V106 P131 フロッツ0012	T01-10B	鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内周)	胎土	10.0	5.6	15.0	北東-土器 1015
—	112	7	V106 P132 フロッツ0012	T01-10B	鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土	32.0	—	32.2	北東-土器 1016
—	113	1	V111 P137 フロッツ0033	T00-20-薄	鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土	12.0	—	—	北東-土器 1015
—	113	2	V111 P138 フロッツ0033	T00-20-薄	鉢	弥生4	平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。 平口縁。口唇に面影なし。外周に横位瓦筋3条。体部上下外、底部に3道筋。	平口	赤土(内・外周)	胎土	30.0	—	—	北東-土器 1015



表13 北東拾遺地区 土器観察表(7)

調査 番号	調査 区画 番号	発見 層位	所在地 (地上座標)	層名	遺構	時期	形状・外観と文様化	内面特徴	付随物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
—	115	1	V147 F14120 F14162・163	段14	段14	前期	平口鉢、二山突起1単位、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に口縁文、底面：平底。	平口	灰化土(内・外面) 灰土・小礫	灰土面に灰化土 灰土・小礫	(18.0)	—	北東-土器 4711
—	115	2	V147 F14164	段14	段14	後期後葉 ～前期	平口鉢、口唇1重突起(平底)、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	(24.0)	—	北東-土器 4718
—	115	3	V147 F14165	段14	段14	前期	平口鉢、突起1単位(突起2重～1重)、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	灰化土(外面) 赤土系灰土	灰化土(外面) 赤土系灰土	(24.0)	—	北東-土器 4719
89	115	4	V147・46 F14166・F14167 F14168・F14169 F14170	段14	段14	前期	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に口縁文、底面：平底。	平口	灰化土(内・外面)	灰土面に灰化土 灰土・小礫	(24.0)	126.7	北東-土器 4710
—	115	5	V147 F14171	段14	段14	前期3～4	片口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	(14.0)	12.0	北東-土器 4714
89	115	6	V147 F14172	段14	段14	前期4	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	25.6	5.5	北東-土器 4707
—	115	7	V147 F14173	段14	段14	前期3	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	(26.0)	5.0	北東-土器 4713
90	116	1	V147 F14174	段14	段14	後期後葉 ～前期	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	灰土・小礫(中) 赤土系灰土	(26.0)	—	北東-土器 4517
90	116	2	V147 F14175	段14	段14	前期4	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	(24.0)	—	北東-土器 4516
90	116	3	V147 F14176	段14	段14	前期4～5	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	17.6	4.5	北東-土器 4702
—	116	4	V146 F14177	段14	段14	前期3	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	16.0	—	北東-土器 4707
—	116	5	V146 F14178	段14	段14	前期3	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	9.6	2.0	北東-土器 4706
—	116	6	V146 F14179	段14	段14	後期後葉 ～前期後葉	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	16.8	8.4	北東-土器 4713
90	116	7	V146 F14180	段14	段14	前期4～5	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	6.5	4.8	北東-土器 4708
—	116	8	V146 F14181	段14	段14	後期後葉	平口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	—	2.2	北東-土器 4703
90	117	1	V147 F14182	段14	段14	前期3	片口鉢、口唇1重突起、外面：口縁部～唇部に半口縁文、底面：平底。	平口	赤土系灰土	赤土系灰土	(27.0)	—	北東-土器 4728

表13 北東拾地区 土器観察表(8)

調査 番号	調査 区画 番号	調査 区画 名称	出土 位置 番号	層名	調査 時期	形状・用途と類似之 土器	内装特徴	付随物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
—	117	2	V406・47 F4521・F4527 F4529・F4531	III-1層	縄文中葉	厚口縁小、二山縁付蓋付有外、横位浅鉢4条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面		—	—	126.3	北東-土器 6094
—	117	3	V406 F4519・F4520 F4521・F4522	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	外縁ヌメ	紐上、砂粒付存	125.0	—	126.8	北東-土器 6042
90	117	4	V406・47 F4519・F4520 F4521・F4522	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面		24.2	17.8	26.3	北東-土器 6025
—	117	5	V406 F4521・F4522 F4523・F4524	III-1層	縄中3	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面 外縁ヌメ		12.2	—	9.8	北東-土器 6018
90	117	6	V406 F4521・F4522 F4523・F4524	III-1層	縄中3	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面 外縁ヌメ	北東-土器の紐上 同一個体。	126.0	—	—	北東-土器 6015
90	117	7	V406 F4521・F4522 F4523・F4524	III-1層	行付縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面		(13.7)	—	13.9	北東-土器 6011
90	117	8	V406 F4519・F4520 F4521・F4522	III-1層	縄中3	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面		—	—	—	北東-土器 6732
—	118	1	V406・47 F4519・F4520 F4521・F4522	III-1層	行付縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	内・外縁ヌメ		19.8	—	16.3	北東-土器 6021
—	118	2	V406 F4527 F4529・F4531	III-1層	縄中3	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	灰化物(内・外)面 外縁ヌメ		(12.0)	6.0	16.4	北東-土器 6733
—	118	3	V406 F4527 F4529・F4531	III-1層	縄中3	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。			(26.0)	(18.0)	(6.1)	北東-土器 6997
—	118	4	V406 F4533・F4534 F4535・F4536	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平口縁、平縁付蓋付有外 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。		(14.0)	2.0	9.1	北東-土器 6731
90	118	5	V406 F4533・F4534 F4535・F4536	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平口縁、平縁付蓋付有外 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。		(6.0)	—	—	北東-土器 6622
—	118	6	V407 F4511・F4512 F4513・F4514	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	厚口縁、平縁付蓋付有外 厚口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。		14.2	—	(16.0)	北東-土器 6990
—	118	7	V406 F4533・F4534 F4535・F4536	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	外縁ヌメ		11.0	—	(11.0)	北東-土器 6727
—	118	8	V407 F4511・F4512 F4513・F4514	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	外縁ヌメ		—	—	13.7	北東-土器 6624
—	119	1	V406 F4530 F4531・F4532	III-1層	縄中	厚口縁、平縁付蓋付有外、横位浅鉢2条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	平足 平口縁、平縁付蓋付有外(平縁付蓋付有外) 1条、平位の3条の浅鉢に 同形付存。5条平縁浅文なし。全部平縁口縁出流式。	外縁ヌメ		(23.3)	—	—	北東-土器 6730



表13 北東埼玉地区 土器観察表(9)

調査 番号	調査 年度	調査 区画	所在地 (東上層等)	層名	調査 時期	特徴・外観と文様化之	内容特徴	付随物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号	
—	119	2	V16 F058 F077・F082-1	付1層	焼物山	小底が口縁、外面：丸底文、底面文(三角底文)、横位文(直線1条、帯状底文(直線2条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条))	十字	炭化物(内外面)	普通陶土製(斜一帯)	22.6	—	北東-土器 付1層	
—	119	3	V16 F059	付1-4層	焼物山	外面：口縁文、底面平直。	十字	炭化物(内外面)	—	—	3.0	—	北東-土器 付1層
—	119	4	V16 F060	付1-4層	焼物山	外面：横位文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	—	2.0	12.4	北東-土器 付1層
—	119	5	V16 F061 F077・F082-1	付1-4層	焼物山	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	(16.0)	—	(13.3)	北東-土器 付1層
—	119	6	V16 F062	付1-4層	焼物山	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	—	7.0	(18.3)	北東-土器 付1層
91	119	7	V15 F079・F077 F077・F082-1	付1-5層	付1層	中底が口縁、口唇：直線1条、外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	(17.0)	6.6	11.7	北東-土器 付1層
—	119	8	V15 F079・F077 F077・F082-1	付1-5層	付1層	口唇：直線1条、外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	8.4	7.8	—	北東-土器 付1層
—	120	1	V16 F063	付1-5層	焼物山	外面：口縁文、底面平直。	十字	炭化物(内外面)	—	—	5.5	—	北東-土器 付1層
—	120	2	V15 F064	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	付1層に丸文	—	—	—	(15.9)	北東-土器 付1層
91	120	3	V15 F077・F082-1	付1-5層	付1層	小底が口縁、口唇：直線1条、外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	—	—	—	北東-土器 付1層
91	120	4	V16 F065	付1-5層	焼物山	口唇：直線1条、外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	18.2	8.2	18.6	北東-土器 付1層
—	120	5	V16 F066	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	(16.0)	7.2	12.8	北東-土器 付1層
91	120	6	V15 F079・F077 F077・F082-1	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	—	8.6	(12.3)	北東-土器 付1層
—	120	7	V16 F067	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	(17.0)	—	—	北東-土器 付1層
91	120	8	V16 F079・F077 F077・F082-1	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	(17.0)	—	—	北東-土器 付1層
91	120	9	V16 F079・F077 F077・F082-1	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	(13.0)	—	28.6	北東-土器 付1層
91	120	9	V16 F079・F077 F077・F082-1	付1-5層	付1層	外面：口縁文(直線1条、帯1条)の横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)、横位文(直線1条、帯1条)、斜位文(直線1条、帯1条)	十字	炭化物(内外面)	—	—	—	(13.0)	北東-土器 付1層



表13 北東拾遺地区 土器観察表(11)

調査 番号	調査 区画 番号	調査 区画 形状	調査 区画 面積 (㎡)	所在地 (北東拾遺)	層名	遺種	時期	形制・外観と文様之	内面特徴	付随物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号	
—	123	4	V1・M7 F061・F060 F061・F060	楕円山	林	弥生山1	弥生山1	平山縁、帯状突起4単位(2単位西側、2単位東側)形似小口甕、肩直、外縁山縁突起下に横状溝化した人頭文、入頭文、三叉文、横状直溝1条(長さ2.5単位)、横状直溝2条、横状直溝文、口縁文。	平字	炭化物(外函)	—	306.0	—	北東-土器 0114	
92	123	5	F065 V147	行付塚	行付塚	弥生山8	弥生山8	平山縁、帯状突起2条・残存6単位(頂部直下1条、口縁直下1条)、外底：山形突起(中心上)同様の突起部、横状直溝1条、口縁文、肩直文、此、横状直溝2条(部分)・横状直溝2条、横状直溝文。	平字	山形付足×2ス	—	14.0	6.2	12.8	北東-土器 0522
—	123	6	V17 F065	窪1	窪1	弥生山6	弥生山6	平山縁、外縁山縁部→底縁字子、往口三叉文、基部に二横状の筋小、横状直溝文。	平字	—	—	111.0	8.6	119.0	北東-土器 0523
—	123	7	V1・M7 F061・F060 F061・F060	楕円山	林	弥生山6	弥生山6	小帯状口縁、口縁文、横状直溝1条、入頭文、横状直溝2条、支脚部横状直溝文、横状直溝文、横状直溝文。	平字	炭化物(外函)	—	132.0	—	—	北東-土器 0523
—	124	1	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	—	—	117.0	—	133.0	北東-土器 0916
—	124	2	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	外縁山縁部、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	内函×ス	—	—	7.8	118.3	北東-土器 0916
—	124	3	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(外函)	—	134.0	—	—	北東-土器 0914
—	124	4	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(外・外函)	—	286.0	—	—	北東-土器 0916
—	124	5	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(内・外函)	—	124.0	—	—	北東-土器 0928
—	124	6	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	内・外函×ス	—	26.4	8.2	28.0	0915
—	124	7	V16 F066	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	内・外函×ス	—	24.2	8.0	28.0	0911
—	125	1	V16 F067	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(内・外函)	—	13.0	—	—	北東-土器 0923
—	125	2	V16 F067	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(外・外函)	—	—	—	—	0928
—	125	3	V16 F067	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(外・外函)	—	—	—	—	北東-土器 0911
92	125	4	V16 F067	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	内・外函×ス	—	—	—	—	北東-土器 0915
—	125	5	V16 F067	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(外函)	—	—	—	—	北東-土器 0918
92	125	6	V16 F067	窪1	窪1	弥生山	弥生山	平山縁、口唇山縁付、外縁山縁部、横状直溝字子(横状)、粘土結核状突起部。	平字	炭化物(内・外函)	—	—	—	—	北東-土器 0914

表13 北東拾遺地区 土器観察表(12)

調査番号	瓦器形状	瓦器番号	採集場所(出土層等)	層名	形状	時期	特徴・外周文化種之	内周特徴	付随物	備考	口径 (mm)	高さ (mm)	数量	調査番号
—	125	7	V46 F0415 F0416 F0417	III-1層	鉢	晩葉3	平口縁。有灰吹存4単位。口管・肩目。外周：横位瓦線3条・上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	(13.6)	—	—	北東-土器 0521
—	125	8	V46 F0418 F0419 F0420	III-1層	鉢	晩葉3	平口縁。有灰吹存4単位。口管・肩目。外周：横位瓦線3条・区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	(25.0)	—	—	北東-土器 0526
—	125	9	V46 F0421 F0422 F0423	III-1層	鉢	晩葉3	横位した3条の区画に上下交互の横位瓦文。外周：横位瓦線4条・区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に瓦線1条	炭化物(内・外周)	北東-土器 付随物 土器一断面。	(26.0)	—	—	北東-土器 0529
—	125	10	V47 F0424 F0425	付随物	付随物	晩葉3	平口縁。有灰吹存5単位。口管・肩目。外周：横位瓦線3～4条・上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に瓦線1条	炭化物(外周)	—	(16.6)	6.3	—	北東-土器 0532
—	125	11	V46 F0426 F0427	III-2層	段鉢	晩葉3	平口縁。口管・肩目。外周：横位瓦線に瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	(26.0)	—	—	北東-土器 0531
—	126	1	V46 F0428 F0429 F0430	III-1層	鉢	晩葉3	口縁に横位する有灰吹存5単位。口管・肩目なし。外周：横位瓦線3条・区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	12.8	—	—	北東-土器 0506
—	126	2	V46 F0431 F0432 F0433	III-1層	鉢	晩葉3	横位する2区画の区画に上下交互の横位瓦文。外周：横位瓦線2条・区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線2条	炭化物(内・外周)	—	(15.0)	—	—	北東-土器 0508
—	126	3	V46 F0434 F0435 F0436	III-1層	鉢	晩葉3	平口縁。有灰吹存4単位。口管・肩目。外周：横位瓦線4条・上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	(15.0)	—	—	北東-土器 0503
—	126	4	V46 F0437 F0438 F0439	III-1層	付随物	晩葉3	区画に横位した3条の区画に上下交互の横位瓦文。外周：横位瓦線3条・区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	(12.4)	6.0	12.3	北東-土器 0500
—	126	5	V46 F0440 F0441 F0442	III-1層	付随物	晩葉中葉少	外周：横位に瓦文。	平口 口縁に横位瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	—	—	—	北東-土器 0500
—	126	6	V46 F0443 F0444 F0445	III-1層	段鉢	晩葉3	平口縁。外周：横位瓦線に肩目1条。横位瓦線2条。肩目5条区画形式。頸部口縁瓦文。	平口 口縁に横位瓦線1条	赤漆(内・外周)	—	(16.0)	—	—	北東-土器 0306
92	126	7	V46 F0446 F0447 F0448	III-1層	段鉢	晩葉3	平口縁。口管・肩目なし。外周：横位瓦線3条。肩目3条。区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	赤漆(内・外周)	外周に赤漆・黒漆	18.7	4.0	6.1	北東-土器 0507
—	126	8	V46 F0449 F0450 F0451	III-1層	段	晩葉中葉	平口縁。炭化1単位・肩1単位・横位瓦線1条。外周：肩目3条。区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	赤漆(内・外周)	—	(23.0)	—	—	北東-土器 0504
—	126	9	V46 F0452 F0453 F0454	III-1層	段鉢	晩葉3	外周：横位瓦線3条。区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	赤漆(内・外周)	赤漆(内・外周)	—	5.0	(9.3)	北東-土器 0523
—	126	10	V47 F0455 F0456 F0457	III-2層	段鉢	晩葉中葉 ～晩葉前葉	外周：横位瓦線3条。区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	赤漆(内・外周)	赤漆(内・外周)	(26.0)	—	—	北東-土器 0506
—	127	1	V45 F0458 F0459 F0460	III-1土層	段鉢	晩葉前葉 ～晩葉	平口縁。口管・肩目。外周：口縁に横位した3条の区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	炭化物(内・外周)	—	(26.0)	—	—	北東-土器 0500
—	127	2	V45 F0461 F0462 F0463	III-1土層	段鉢	晩葉前葉 ～晩葉	平口縁。口管・肩目なし。外周：口縁に横位した3条の区画に上位2条の区画に上下交互に各一単位・肩一単位・横位瓦文。体部瓦文なし。	平口 口縁に横位瓦線1条	赤漆(外周)	赤漆(外周)	(14.0)	—	(0.3)	北東-土器 0504

表13 北東拾遺地区 土器観察表(13)

調査 番号	調査 区画 番号	調査 区画 名称	所在地 (地上座号)	層名	遺構	時期	形制・外観と文様化之	内容特徴	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	重量 (g)	調査 番号
93	127	3	V1.65 F1050 F1050a F1050b	III-5B	行付鉢	晩期IIa	小股取口縁、口唇・面取なし、外面・口縁部に施した上向き小の立派な瓦葺文、 底面部に短直線1条、入底文、底面に短直線1条、帯内面文、体部に口縁文、 底面、耳・面取ナシ、	十字	炭化物(内外面)	17.2	19.4	8.2	—	北東-土器 1023
—	127	4	V1.67 F1051 F1051a F1051b	III-4B	豆口	晩期IIa	外面・口唇・面取なし、体部・口唇部に施文、底面・口唇部、 瓦底、	七字	北山内面・外	—	(1.6)	—	—	北東-土器 1096
—	128	1	V1.65 F1052 F1052a F1052b	III-5B	段鉢	晩期IIa ~ 晩期IIa	厚口縁、口唇・面取、外面・口縁部に施文、	十字	炭化物(外面)	(26.0)	—	—	—	北東-土器 1063
—	128	2	V1.65 F1052 F1052a F1052b	III-5B	鉢	晩期IIa	小股取口縁、口唇・面取なし、外面・口縁部に施文、口唇部と上縁部と三 角状文、底面に短直線1条、肩文・面取文、一帯内面、体部に口縁文、 体部上に口縁文、	十字	炭化物(内外面)	(26.0)	—	—	—	北東-土器 1090
—	128	3	V1.67 F1053 F1053a F1053b	III-5B	鉢	晩期IIa	小股取口縁、口唇・面取なし、体部・口唇部、底面短直線1条、肩文、 体部上に口縁文、	十字	炭化物(内外面)	(26.0)	—	—	—	北東-土器 1062
—	128	4	V1.66 F1053 F1053a F1053b	III-2B	段鉢	晩期IIa ~ 晩期IIa	厚口縁、口唇・面取なし、外面・口唇部と上縁部に口縁文、	十字	炭化物(外面)	(26.0)	—	—	—	北東-土器 1090
—	128	5	V1.66 F1061・ F1061a F1061b F1061c F1061d	III-2B	鉢	晩期IIa	小股取口縁、外面・口唇部短直線1条、入底文、底面部に短直線1条、肩文、体 部に口縁文、	十字	炭化物(外面)	—	—	—	—	北東-土器 1051
93	128	6	V1.66 F1062 F1062a F1062b	III-4~7B	段鉢	晩期IIa	厚口縁、口唇・面取なし、外面・口縁部に施文、	十字	外底・外底	(24.0)	—	(24.0)	—	北東-土器 1032
93	128	7	V1.66 F1065 F1065a F1065b	III-4~7B	行付鉢	晩期IIa	小股取口縁、外面・面取短直線1条、底面・面取短直線、口唇・面取なし、 外面・2本の短直線間に短直線(部分の三文字)、部分の短直線、体部に口 縁文、底面・耳・面取ナシ、	十字	外底・外底	15.4	15.0	7.5	—	北東-土器 1045
—	128	8	V1.67 F1062 F1062a F1062b	III-2B	鉢	晩期IIa	厚口縁、二山突起形突起部付1単位、口唇・面取(平山)、外面・底面短直線2 単位、二山突起形突起部付1単位、口唇・面取(平山)、二山突起形突起部付1 単位、体部短直線ナシ、	十字	炭化物(内外面)	—	—	—	—	北東-土器 1001
93	129	1	V1.67 F1063 F1063a F1063b	III-2B	豆	晩期IIa~2	厚口縁、口唇・面取(平山)短直線1条、外面・口唇部、肩文、底面短直線、 底面短直線ナシ、	十字	炭化物(内面) 口唇部・底面内面 二山突起形突起部 一単位	長軸0.3 短軸0.1	(1.6)	—	—	北東-土器 1028
93	129	2	V1.66 F1063 F1063a F1063b	III-4.5~1.5	豆	晩期IIa	厚口縁、口唇・面取なし、外面・口唇部ナシ、体部に短直線、底面・底面短直線 (面ナシ)、	十字	同上計測台	(6.0)	26.2	6.8	—	北東-土器 1098
93	129	3	V1.68 F1062 F1062a F1062b	III-4.5~1.5	豆	晩期IIa	外面・面取と体部の間に短直線、口唇部、口唇部、口唇部・口唇部・口唇部・口唇部・ 口唇部、底面・瓦底、	十字	軸上分判001	—	19.2	8.6	—	北東-土器 1045
—	129	4	V1.67 F1063 F1063a F1063b	III-4B	鉢	晩期IIa	厚口縁、二山突起と短直線1本の小突起付平山突起、二山突起部短直線有る もの上へ小の突起付、口唇・面取(平山)、外面・二山突起部に短直線と瓦底、 底面短直線2条、入底文、底面短直線2条、2個一組の突起(口縁・二山突起)に對 応して瓦葺、肩文、体部に口縁文、	十字	外底・外底	(24.0)	—	—	—	北東-土器 1053
—	129	5	V1.68 F1063 F1063a F1063b	III-4B	段鉢	晩期IIa ~ 晩期IIa	厚口縁、口唇・面取(平山)、外面・口唇部・体部と上縁部に口縁文、	十字	炭化物(内外面)	—	—	—	—	北東-土器 1047
94	129	6	V1.66 F1065 F1065a F1065b	III-4B	豆	晩期IIa~1b	外面・短直線と体部の間に短直線2条、底面短直線1単位、体部と上縁部に短直線、	十字	口唇部(外面) 外面に短直線付 肩文付	—	—	—	—	北東-土器 1010

表13 北東拾遺地区 土器観察表(14)

調査 番号	調査 図版	調査 番号	所在地 (出土層)	層名	形状	時期	特徴・外観文様化之点	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	調査 番号
—	129	7	V1.0 F062 F072	TE3-1層上 TE3-1層下	注11	形状は小 ～中型	平口縁、口唇に縁筋なし、外縁に口縁筋と縁文字ナシ。注11欠陥。底唇に水痕。 外縁に口唇に動物顔面を模した突起がくっつき、溝部が1箇所、通小孔。	ナシ	注11内径0.8cm	—	15.2	8.6	11.2	北東-土器 1011
—	129	8	V1.0 F062 F072	TE3-1層の 香炉	図14	図17-1	外縁に、山形突起(西向き3単位、高低の突起なし)。口唇に縁筋(平口縁)。外縁に、低い縁筋突起に下向き3単位、高低の突起なし(突起は上向き3単位)。底唇に縁筋3～4条、口唇筋に対して上向き3単位(口唇筋と縁筋との間に縁筋3～4条、唇間筋2条、縁筋2条)ナシ。底唇に縁筋2条ナシ。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1012
94	130	1	V1.0 F068 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	34.2	7.4	34.5	北東-土器 1017
—	130	2	V1.0 F069 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	36.0	9.4	28.7	北東-土器 1014
—	130	3	V1.0 F069 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	17.8	—	—	北東-土器 1013
—	130	4	V1.0 F069 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1015
—	130	5	V1.0 F069 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1016
94	130	6	V1.0 F068 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	9.2	—	—	北東-土器 1011
—	130	7	V1.0 F069 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1015
—	130	8	V1.0 F070 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1016
94	131	1	V1.0 F070 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1016
94	131	2	V1.0 F070 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1016
—	131	3	V1.0 F070 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1016
94	131	4	V1.0 F070 F072	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1016
—	132	1	V1.0 F073 F074	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1011
—	132	2	V1.0 F073 F074	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1011
—	132	3	V1.0 F073 F074	TE3-1層	図14	図17-4	平口縁、口唇に縁筋(平口)。外縁に口唇筋と縁筋に口縁筋、底唇ナシ。底唇に水痕。	ナシ	—	—	—	—	—	北東-土器 1011

表13 北東拾遺地区 土器観察表(15)

調査 番号	宮城 番号	宮城 番号	所在地 (出土場所)	層位	時期	形状・外観と文様之 特徴	内装特徴	付随物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
—	132	4	V16 P117	III-C	晩期中世 外周に黒い土着	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、体部に口縁文、底文；平底、外周に黒い土着	文字	—	—	6.7	17.1	14.5	北東-土器 1030
—	132	5	V16 P115	III-C-2-a)内	晩世	平口鉢、口管、面取なし、外周に部分の口縁文、器底面取	文字	灰色胎(外面)	—	26.0	—	—	北東-土器 1109
—	132	6	V16 P117	III-C-2-a)外	晩世中葉 ～晩世	平口鉢、外周に体部上半に口縁文(頂上)、口縁部文字	文字 口縁に口縁部1条	—	—	9.2	—	(16.2)	北東-土器 1219
95	132	7	V16 P117	III-C-4)内	晩世中葉	平口鉢、口管、肩付、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1215
95	132	8	V16 P117	III-C-4)外	晩世中葉	平口鉢、口管、肩付、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1216
—	132	9	V16 P117	III-C-4)内	晩世中葉	平口鉢、口管、肩付、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1217
95	132	10	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1218
—	133	1	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	外周に口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1219
95	133	2	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1220
—	133	3	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1221
—	133	4	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1222
—	133	5	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1223
—	133	6	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1224
—	133	7	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1225
—	133	8	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1226
—	133	9	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1227
95	134	1	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1228
95	134	2	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1229
—	134	3	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1230
—	134	4	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1231
—	134	5	V16 P117	III-C-3-1)内	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1232
—	134	6	V16 P117	III-C-3-1)外	晩世中葉	平口鉢、口管、面取なし、外周に口縁部文字、文様帯底文なし、	文字	赤土、口縁に口縁部1条	—	—	—	—	北東-土器 1233

表13 北東拾地区 土器観察表(16)

調査 番号	調査 区画 番号	調査 区画 名称	所在地 (段上層番号)	層名	遺種	時期	形状・外観と文様之点	内面特徴	付着物	備考	口径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号	
95	134	7	V166 F149	T2-7層	灰鉢	前期	平口縁、底径1単位(10.5cm)程度、2斜角付、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	内・外面スス		17.2	6.4	北東-土器 1109	
—	134	8	V166 F149	T2-7層	付付鉢	前期	平口縁、口管1単位、外面：山縁部～底縁に浅い横文、文様無縁なし、体部には横文、付着：平直、底縁：平直(底縁取)	平口	灰化物(内・外面)		16.0	5.8	北東-土器 1108	
—	134	9	V167 F166	T2-7層	灰鉢	前期3	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		16.0	—	北東-土器 1033	
—	134	10	V168 F155	T2-8層	灰鉢	前期4～5	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		13.0	6.4	北東-土器 1254	
—	134	11	V167 F162	T2-8層	付付鉢	前期3～4	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		13.0	—	北東-土器 1109	
96	134	12	V167 F156	T2-7層	鉢	前期4	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		—	—	北東-土器 1629	
—	134	13	V167 F146	T2-7上層	鉢	前期3	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		15.0	—	北東-土器 1609	
—	135	1	V167 F148	T2-8層	香炉	前期後葉	口管短、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		15.0	—	北東-土器 1525	
—	135	2	V168 F150	T2-8層	香炉	前期後葉小	口管短、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		—	—	北東-土器 1523	
96	135	3	V167 F128	T2-9層	注11	後期7-1	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		14.5	14.5	北東-土器 1232	
96	135	4	V168 F129	T2-9層	注13	後期7-1～8	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		7.6	3.0	北東-土器 1032	
—	135	5	V167 F115	T2-9層小	鉢	前期後葉 ～前期	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		16.8	—	北東-土器 1214	
96	135	6	V167 F123	T2-9層小	灰鉢	前期後葉	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		20.6	—	北東-土器 1527	
—	135	7	V167 F114	T2-9層小	付付鉢	後期7-1	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	内面スス		—	—	北東-土器 1292	
96	135	8	V167 F116	T2-9層小	付付鉢鉢	後期7-1	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	内・外面スス		32.5	22.4	北東-土器 1017	
—	136	1	V168 F103	T2-10層	鉢	前期4	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		13.0	—	北東-土器 1216	
—	136	2	V168 F104	T2-10層	鉢	前期中葉	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		—	6.1	14.3	北東-土器 1215
—	136	3	V165 F105	T2-10層	鉢	前期2～3	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		16.0	—	北東-土器 1013	
—	136	4	V145 F115	T2-3層	付付鉢	前期10小	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	内面スス		10.8	7.4	北東-土器 1291	
96	136	5	V168 F109	不明	鉢	前期	平口縁、口管1単位(10.5cm)程度、口管：面取なし、外面：山縁部～底縁に浅い横文、底縁：平直。	平口	灰化物(内・外面)		16.3	5.0	北東-土器 1239	



表13 北東拾遺地区 土器観察表(17)

調査 番号	瓦葺 原形	瓦葺 番号	出土状況 (出土番号)	原形	時期	形状・外周文様など	内面特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
96	136	6	V145	TH-4~4(器)段鉢	晩期	平山縁、外周に瓦葺文。	十字		胎土・砂粒 貫通1粒 灰土土粒	—	—	—	北東-1路 15141
—	136	7	V146	TH-5~5(器)不明	晩期	外周に不明。	十字		胎土土粒	—	—	—	北東-1路 15148
96	136	8	V147	TH-6~6(器)位不明	晩期	外周に瓦葺文。	十字		胎土土粒	—	—	—	北東-1路 15156
—	136	9	V148	TH-7~7(器)不明	晩期	外周に瓦葺文。	十字		胎土土粒	—	—	—	北東-1路 15220
—	136	10	V149	不明	晩期	外周に不明。	十字		胎土土粒	—	—	—	北東-1路 15228
—	136	11	V150	TH-8~8(器)段鉢	上層山	平山縁、口唇に横溝状肥厚、肥厚部に瓦葺文、断面が凸角土粒散在。外周に胎土細散在。胎土粗粒文(山)	十字			—	—	—	北東-1路 15330
—	136	13	V152	TH-9~9(器)段鉢	上層山	横溝口縁、口唇に横溝状肥厚、外周に胎土粗粒散在。胎土粗粒文(山)	十字	同位物(内)		—	—	—	北東-1路 15331

表14 北東捨場地区 土製品観察表

図面番号	写真番号	分類	出土位置	部位	取上番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	器物番号
95-1	137-1	土塊	トレンチP2-9	不明		(66)	(23)	3	17.8	中央、側面、口縁部。	北東土-807
95-2	137-2	土塊	VI17	III-1層	特-807	(58)	(39)	2	22.1	中央、下部の口土塊、体底、口縁部。	北東土-8021
95-3	137-3	土塊	トレンチP3-1	III-1層	特-8012	(62)	(53)	21.2	中央、下部の口土塊、口縁部。	北東土-8023	
95-4	137-4	土塊	トレンチP3-9	I層	特-801	(58)	(50)	30	26.1	中央、側面、口縁部、胴部面にアスファルト付着。	北東土-8022
95-5	137-5	土塊	5-6-5ト	III-1層	土塊-X	(38)	47	16	33.8	中央、ラッパ土塊、胴部中心、体底土塊。	北東土-8022
95-6	137-6	土塊	VH6 1.5-6ト	III-1層	特-8032	(33)	(37)	4	111.8	中央、腹状土塊、右側面、胴部口縁部後部。	北東土-8018
95-7	137-7	土塊	VI46	III-1層	特-8028	(28)	15	14	6.9	腹土、上部穴縁、穿孔、胴部口縁。	北東土-8038
95-8	137-8	土製品	プロットP684内	III-1層	特-8033	16	16	12	3.8	胴部口縁、胴縁に短欠、赤色顔料付着。	北東土-8039
95-9	137-9	土製品	VH6	III-1層	特-8023	20	16	15	4.7	胴部口縁、胴縁に短欠の口縁、赤色顔料付着。	北東土-8039
95-10	137-10	土塊	VH6	III-1層	特-8024	(60)	(58)	(17)	26.8	中央、側面、口縁部。	北東土-8039
95-11	137-11	土塊	5-6-13-7	III-1層	特-8031	(72)	(50)	26	122.3	中央、胴部口縁、赤色顔料付着、アスファルト付着。	北東土-8019
95-12	137-12	土製品	VI17	III-1層	特-8023	20	31	20	28.0	胴部口縁、胴縁に短欠、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8039
95-13	137-13	土塊	トレンチP9内	III-1層	特-8002	36	31	10	17.4	胴部口縁部、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8006
95-14	137-14	土塊	VI17	III-1層	特-8034	24	29	17	8.2	腹土。	北東土-8023
95-15	137-15	土塊	第135-6土層内土塊	III-1層	特-8034	15	14	11	1.2	胴部口縁、赤色顔料付着、等135-6土層内に短欠。	北東土-8035
95-16	137-16	土製品	プロットP402-1	III-1層	特-8016	(38)	6	6	11.5	胴部口縁、片方だけ短欠、腹土。	北東土-8027
95-17	137-17	赤褐色土塊	VI17 5-6-13-3	III-1層	特-8015	41	20	17	12.7	腹土。	北東土-8017
95-18	137-18	土塊	VI17	III-1層	特-8036	(67)	(45)	25	150.2	中央、胴部の胴部口縁、赤色顔料の上面に赤色顔料付着。	北東土-8029
95-19	137-19	赤褐色土塊	VI17 5-6-13-5	III-1層	特-X	47	52	16	118.4	腹土、胴部口縁。	北東土-8013
95-20	137-20	赤褐色土塊	トレンチP2-7	III-1層	特-X	44	43	29	19.1	腹土、胴部口縁。	北東土-8016
95-21	137-21	赤褐色土塊	5-6-13-2-9	III-1層	特-X	21	12	11	2.3	腹土、胴部口縁。	北東土-8011
95-22	137-22	白磁器土製品	VI46	III-1層	特-X	42	50	8	19.0	胴部口縁の胴部口縁、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8011
95-23	137-23	白磁器土製品	VI17	III-1層	特-X	45	47	7	15.3	胴部口縁の胴部口縁、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8018
95-24	137-24	白磁器土製品	VI17	III-1層	特-X	40	42	5	15.6	胴部口縁の胴部口縁、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8013
95-25	138-25	白磁器土製品	5-6-13-7	III-1層	特-X	25	35	4	8.5	胴部口縁の胴部口縁、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8032
95-26	137-26	白磁器土製品	プロットP402-6	III-1層	特-8012	28	50	4	12.8	胴部口縁の胴部口縁、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8032
95-27	137-27	白磁器土製品	VH65	III-1層	特-X	34	33	6	8.1	胴部口縁の胴部口縁、口縁部、赤色顔料付着。	北東土-8017
-	138-31	赤土塊	VI46	不明	-	6.1	6.0	1.6	36.9	中央、胴部口縁。	北東土-8029
-	138-44	土塊	胴部		特-X	40	30	25	14.4	中央、胴部口縁。	北東土-8019

表15 北東拾遺地区 ミニチュア・小型土器総覧表

図号 番号	発見 位置	図様	出土位置	部位	出土番号	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	時期	備考	整理番号
86-28	138-28	柱II	3.5×6.5 付	311-5-3-4層	P-X	-	4.0	4.5	晩新石器	外面：平口、底辺：平底、内面：平口、口部欠損。	北東土-4002
86-29	138-29	柱II	5.5×6.5 付	311-4層	特035	3.3	3.0	4.5	晩新石器	外面：平口様、平口、底辺：丸底平高、内面：平口、口部欠損。	北東土-4003
86-30	138-30	柱	V1.66 プロット030	311-4層	P-309	10.0	4.9	6.3	晩新石器	外面：平口様、外面：胴部と体部の間に縦位の溝2条、体部は縦溝1条、内面：平口、口部に縦溝1条、底辺：船型分厚0.5。	北東土-4009
86-31	138-31	254	V1.66	311-2-2-4層	P14.6	9.7	4.1	9.4	晩新	外面：平口様、外面：口縁部～底辺に縦溝2条、底辺：平底、内面：平口、縦溝。	北東土-4003
86-32	138-32	付付様	V1.47 プロット077	312-42層	P87.8	18.2	3.8	7.7	晩新石器	外面：小袋状口縁、外面：口縁部～体部に口縁文、底辺：平底、内面：平口、縦溝。	北東土-4002
86-33	138-33	254	V1.47 プロット015	312-7層	P14.6	16.0	-	10.2	晩新石器	外面：平口様、平口、底辺の縁より縁を結ぶ縁線と縁線との間に、外面：縦位の溝1条、胴部有縁（口部欠損）、体部に口縁文、内面：平口、口部に縦溝1条、底辺：平底、縦溝。	北東土-4026
86-34	138-34	付付様	V1.45	311-5-4層	P-X	4.8	3.0	7.6	晩新石	外面：縦位の口縁に縁文、底辺：一山底状平底、外面：人型文字文、縦位の縦溝、体部に縦溝、底辺に口縁文、底辺：丸、台座と平口、内面：平口様、平口、底辺：平底、縦溝。	北東土-4004
86-35	138-35	付付様	V8.06 プロット052-3	311-4層	P42.7	13.7	3.0	8.0	晩新石	外面：平口様、一山底状平底1単位、口部：溝様字の痕跡、口部：外面（体部）に口縁文、底辺：平底、内面：平口、口部欠損、内面：平口、底辺：平底、縦溝。	北東土-4006
86-36	-	付付様	トレ1-2	311-7層	P-X	4.0	4.0	3.8	晩新	外面：平口様、底文。	北東土-4011
86-37	138-37	254	V8.06 プロット066	311-4層	P6.1	7.4	3.9	3.5	晩新石器	外面：平口様、口部：面取なし、外面：口縁部～底辺平口、底辺：平底、内面：平口、縦溝。	北東土-4014
86-38	138-38	遺	V1.45 プロット15	311-4層	P43.7	6.7	4.0	7.2	晩新石	外面：縦位の口縁1単位（口部欠損1単位）、体部～底辺に平口、底辺：丸底、内面：平口、底辺：平底、縦溝、最大径6.0cm。	北東土-4025
86-39	138-39	遺	V8-X.68	311-5-1-7層	P-X	3.8	3.6	7.4	晩新石器	外面：縦位の口縁1単位（口部欠損1単位）、体部～底辺に縦溝1条、体部～底辺に口縁文、底辺：平底、内面：平口、底辺：平底、縦溝、最大径6.0cm。	北東土-4025
86-40	138-40	遺	V8.06 プロット030	311-4層	P43.2	6.7	4.0	8.6	晩新石	外面：平口様、外面：胴部と体部の間に縦位の溝2条、縦位の溝（口部欠損）、縦溝文、底辺：平底、内面：平口、底辺：平底、縦溝、最大径6.5cm、口部欠損。	北東土-4025
86-41	138-41	遺	ベムド2-4 11-6	312-42層	P47.6	-	5.3	10.4	晩新石器	外面：胴部と体部の間に縦位の溝2条、体部～底辺に平口、底辺：丸底、内面：平口、底辺：平底、縦溝、最大径6.5cm。	北東土-4022
86-42	138-42	遺	V8.06 プロット015(1)	311-4層	P42.6-2	-	2.5	17.4	晩新石	外面：胴部と体部の間に縦位の溝2条、体部～底辺に平口、底辺：平底、内面：平口、外面に赤色顔料付着、最大径6.6cm。	北東土-4027
86-43	138-43	柱II	V4.7 プロット064	312-4-4層	P63.0	4.0	3.3	9.6	晩新	外面：平口様、外面：平口、口部欠損、底辺：丸底、内面：平口、口部欠損、縦溝。	北東土-4001

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(1)

探検隊 隊番号	番号	回収 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
130	3		8994	14 北東	31905	遺層	5-X	石蓋	(109.4)	135.9	16.0	(242.4)	花山岩	報告書第1編第2章 第1節参照	
130	1		1081	14 北東	V815	遺層	5-X	石鏃	26.3	9.7	4.3	(60.8)	珉質頁岩	経熱表面剥落	
130	2		1083	14 北東	V806	TR1-6層	5-X	石鏃	24.6	14.7	4.9	1.2	珉質頁岩		
130	3		1521	14 北東	V815	TR1-5層	5-X	石鏃	31.9	10.8	4.9	1.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	4		1548	14 北東	1-2-7	TR1-4層	5-X	石鏃	(15.4)	9.9	3.8	(65.9)	珉質頁岩	アスファルト、基部に包	
130	5		1087	14 北東	V146	TR1-4層	5-X	石鏃	37.4	15.5	4.9	1.5	珉質頁岩		
130	6		1088	14 北東	1-2-7	TR1-4層	5-X	石鏃	40.7	13.1	6.2	2.3	珉質頁岩		
130	7		1530	14 北東	1-2-7	TR1-3層	5-X	石鏃	43.3	14.0	4.7	2.0	珉質頁岩	アスファルト	
130	8	100	1091	14 北東	V806	TR1-4層	5-X	石鏃	45.6	16.5	4.7	2.6	珉質頁岩	アスファルト	
130	9		1530	14 北東	1-2-5 ブロック 8053-2	TR1-5層	5-X	石鏃	25.2	13.0	4.9	1.2	玉髄	アスファルト	
130	10		1348	14 北東	1-2-7	TR1-5層	5-X	石鏃	(29.9)	11.9	4.0	(1.5)	玉髄	アスファルト	
130	11		1522	14 北東	1-2-7	TR1-5層	5-X	石鏃	35.0	13.0	4.4	1.4	珉質頁岩	アスファルト	
130	12		1526	14 北東	1-2-5 ブロック 4053-1	TR1-5層	5-0274	石鏃	37.4	16.9	6.7	3.3	珉質頁岩		
130	13		1550	14 北東	1-2-5 ブロック 4053-2	TR1-5層	5-0276	石鏃	(37.5)	14.7	5.0	(1.9)	珉質頁岩	アスファルト	
130	14	100	1090	14 北東	1-2-5 ブロック 4053-1	TR1-5層	5-X	石鏃	37.9	16.6	5.3	2.0	珉質頁岩		
130	15		1525	14 北東	1-2-7 ブロック 8073	TR1-4層	5-0220	石鏃	39.4	17.9	5.3	2.6	珉質頁岩	基部加工少ない	
130	16		1080	14 北東	1-2-7	TR1-7層	5-X	石鏃	22.0	11.3	3.2	0.6	珉質頁岩		
130	17		1527	14 北東	1-2-7	TR1-6層	5-X	石鏃	36.8	4.1	4.1	0.9	珉質頁岩	アスファルト	
130	18		1084	14 北東	1-2-7	TR1-5層	5-X	石鏃	33.1	14.6	5.0	2.3	珉質頁岩		
130	19		1430	14 北東	1-2-7	TR1-6層	5-X	石鏃	48.8	12.6	5.3	2.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	20		1544	14 北東	1-2-7	TR1-6層	5-X	石鏃	29.3	9.4	4.7	1.0	珉質頁岩	アスファルト	
130	21		1079	14 北東	V806	TR1-3層	5-X	石鏃	34.1	16.8	9.4	6.8	珉質頁岩	アスファルト	
130	22		4889	14 北東	1-2-5	TR1-4層	5-X	石鏃	17.7	14.4	4.5	1.6	珉質頁岩	アスファルト	
130	23		1528	14 北東	V847	TR1-2層	5-X	石鏃	34.1	15.0	4.5	1.4	珉質頁岩	アスファルト	
130	24		1533	14 北東	V146	TR2-1層 2-2層	5-X	石鏃	39.3	16.0	5.5	1.9	珉質頁岩	アスファルト	
130	25		1527	14 北東	1-2-7	TR2-2層	5-X	石鏃	33.1	10.9	4.3	1.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	26	100	3	1541	14 北東	V847	TR2-3層	5-X	石鏃	19.5	10.9	4.0	0.6	珉質頁岩	アスファルト
130	27		1535	14 北東	V146	TR2-3層	5-X	石鏃	31.1	14.2	4.8	1.3	珉質頁岩	アスファルト	
130	28		1549	14 北東	1-2-7	TR2-3層	5-8012	石鏃	(32.1)	15.0	5.2	(1.5)	珉質頁岩	アスファルト、基部に包	
130	29		1350	14 北東	1-2-7	TR2-3層	5-X	石鏃	35.1	16.9	4.1	2.2	珉質頁岩		
130	30		1086	14 北東	V847	TR2-3層	5-X	石鏃	37.2	13.0	4.7	1.4	珉質頁岩		
130	31		1534	14 北東	1-2-5	TR2-3層	5-X	石鏃	27.1	8.2	3.6	0.7	珉質頁岩	アスファルト	
130	32		1531	14 北東	V806 大塚集積	TR3-3層	5-0221	石鏃	23.4	10.4	4.1	0.7	珉質頁岩		
130	33		1082	14 北東	V847	TR3-4層	5-X	石鏃	29.7	3.6	4.9	1.0	珉質頁岩		
130	34		1523	14 北東	V806	TR3-4層	5-X	石鏃	29.3	9.7	5.1	1.2	珉質頁岩		
130	35		248	14 北東	1-2-5	TR3-4層	5-X	石鏃	32.3	10.6	4.6	0.7	珉質頁岩	アスファルト	
130	36		1543	14 北東	1-2-7	TR3-4層	5-X	石鏃	22.8	8.9	4.9	0.8	珉質頁岩	アスファルト	
130	37		1529	14 北東	V147	TR3-4層	5-X	石鏃	33.9	13.4	4.1	1.7	珉質頁岩	アスファルト、基部に包	
130	38		4890	14 北東	V148	TR3-4層	5-X	石鏃	50.0	14.1	4.0	1.9	珉質頁岩		
130	39	100	4	1543	14 北東	1-2-5	TR3-上層	5-X	石鏃	19.0	10.9	4.0	0.4	珉質頁岩	アスファルト
130	40		1547	14 北東	V147 1-2-5	TR3-下層	5-X	石鏃	24.8	10.2	5.3	1.0	珉質頁岩	アスファルト	
130	41	100	2	1540	14 北東	V847 1-2-5	TR3-6層	5-X	石鏃	43.2	22.6	5.2	3.8	珉質頁岩	アスファルト
130	42		1096	14 北東	1-2-5	TR3-6層	5-X	石鏃	33.8	15.1	10.2	7.6	珉質頁岩		
130	43		1532	14 北東	V848	TR3-7層	5-X	石鏃	36.0	14.1	4.3	1.4	珉質頁岩	アスファルト	
130	44		1542	14 北東	1-2-7	TR3-7層	5-X	石鏃	33.3	11.7	5.0	1.3	珉質頁岩	アスファルト	
130	45		1095	14 北東	V146	TR3-8層	5-X	石鏃	30.8	20.9	9.0	5.1	珉質頁岩		
130	46		1080	14 北東	V815	TR3-2層	5-X	石鏃	35.0	27.0	7.2	4.9	珉質頁岩	珉製品	
130	47		1349	14 北東	1-2-7	TR3-1層 6-2層	5-X	石鏃	21.8	14.8	4.8	0.9	珉質頁岩	先端から剥離	
130	48		1536	14 北東	1-2-7	TR3-1層 6-2層	5-X	石鏃	30.0	13.0	3.9	1.1	珉質頁岩	アスファルト	
130	49		1538	14 北東	1-2-7	TR3-7層	5-91	石鏃	30.3	10.7	4.8	1.1	珉質頁岩	アスファルト	
130	50		1546	14 北東	1-2-7	不明	5-X	石鏃	36.3	11.6	5.8	1.6	珉質頁岩	アスファルト	
130	51		1073	14 北東	1-2-7	TR3-6層	5-X	石鏃	37.1	(7.5)	5.5	(1.7)	珉質頁岩	組織により一側縁欠損	
130	52		1076	14 北東	1-2-7	TR3-1層 1-7層	5-X	石鏃	54.9	10.9	8.4	4.0	珉質頁岩		
130	53		1954	14 北東	1-2-7	TR3-6層 1-8層	5-X	石鏃	36.0	11.5	6.6	2.0	珉質頁岩		
130	54		1077	14 北東	1-2-7	TR3-6層 1-8層	5-X	石鏃	46.2	16.7	7.8	3.7	珉質頁岩		

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(2)

発掘調査年度	番号	図録番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
130	55			1075	14 北東捨	トロンパ4	TR1-6層	5-X	石鏟	68.6	16.1	6.6	3.9	珸質頁岩		
130	56			1455	14 北東捨	トロンパ4	TR1-6層	5-X	石鏟	59.9	20.9	10.5	6.3	珸質頁岩		
130	57			1465	14 北東捨	V806	TR1-6層	5-X	石鏟	96.0	11.4	7.5	3.8	珸質頁岩		
130	58			1466	14 北東捨	トロンパ1 トロンパ2	TR1-6層	5-X	石鏟	41.1	8.2	6.9	3.1	珸質頁岩		
130	59			1551	14 北東捨	トロンパ2 2ホウ9 ブロック	TR2-9層	5-8025	石鏟	41.1	18.4	5.7	2.1	珸質頁岩		
130	60			1074	14 北東捨	V186	TR2-1層	5-X	石鏟	47.9	12.4	8.0	3.5	珸質頁岩		
130	61			1072	14 北東捨	V1575-1	TR2-6層	5-X	石鏟	41.4	13.2	8.1	3.2	珸質頁岩		
130	62			1552	14 北東捨	トロンパ4	TR2-9層	5-4303	石鏟	68.6	30.3	12.7	7.1	珸質頁岩		
130	63			4116	14 北東捨	V632-5	TR3-6層	5-X	石鏟	55.3	21.3	10.3	5.3	珸質頁岩		
130	64	100	8	1078	14 北東捨	V1575-1	TR2-6層	5-X	石鏟	41.8	14.9	6.3	3.3	珸質頁岩		
130	65			1085	14 北東捨	V145	TR5-2層	5-X	石鏟	56.7	8.6	5.6	1.2	珸質頁岩		
130	66			1071	14 北東捨	V145	TR5-2層	5-X	石鏟	58.9	10.1	7.6	2.2	珸質頁岩		
130	67			1069	14 北東捨	V145	TR5-1層	5-X	石鏟	42.7	9.2	4.1	1.4	珸質頁岩		
130	68	100	7	1094	14 北東捨	V145	TR5-2層	5-X	石鏟	41.8	15.0	5.2	2.6	珸質頁岩	アスファルト、左端部削	
130	69			1061	14 北東捨	V139 トロンパ5	TR5-2層	5-X	石鏟	47.2	23.5	9.4	5.4	珸質頁岩	削跡?	
130	70			1402	14 北東捨	V186	TR1-4層 V230	5-X	石鏟	45.4	50.1	16.8	20.8	珸質頁岩		
130	71			1098	14 北東捨	V64ト1 トロンパ8	TR1-1層 1-3層	5-X	石鏟	75.0	32.9	13.2	28.5	珸質頁岩		
130	72			1439	14 北東捨	ブロック 1053-1	TR1-5層	5-4270	石鏟	103.4	44.1	18.9	66.1	珸質頁岩		
130	73	100	5	1099	14 北東捨	トロンパ4	TR1-6層 1-7層	5-X	石鏟	96.1	29.8	16.1	47.8	珸質頁岩		
130	74			1554	14 北東捨	不明	TR5-2層	5-X	石鏟	105.0	36.7	22.1	73.5	珸質頁岩	正面部中央部磨耗、凹 痕あり	
130	75			2727	14 北東捨	V145	TR5-2層	5-X	石鏟	46.8	37.8	15.4	42.9	珸質頁岩		
140	1			1420	14 北東捨	V145	1層	5-X	石鏟	41.6	27.5	12.3	46.4	珸質頁岩		
140	2			1063	14 北東捨	トロンパ4	1層	5-X	石鏟	45.7	56.5	10.4	25.1	珸質頁岩	アスファルト、刃部欠	
140	3			1431	14 北東捨	不明	TR1-1層 1-3層	5-X	石鏟	53.9	73.5	17.2	39.1	珸質頁岩		
140	4			1061	14 北東捨	V64ト1-5	TR1-1層 1-3層	5-X	石鏟	49.1	46.4	12.4	46.5	珸質頁岩	アスファルト	
140	5			1437	14 北東捨	V64ト1-1 1-3層	TR1-1層 1-3層	5-X	石鏟	56.5	43.1	16.5	14.1	珸質頁岩		
140	6			1059	14 北東捨	V64ト9	TR1-1層 1-3層	5-X	石鏟	36.2	64.5	8.2	11.6	珸質頁岩	アスファルト、刃部欠	
140	7			1433	14 北東捨	V186 ブロック 1052-1	TR1-4層	5-1139	石鏟	53.4	57.6	13.5	34.2	珸質頁岩	アスファルト	
140	8			1412	14 北東捨	V145	TR1-6層	5-X	石鏟	56.6	26.4	9.3	7.1	珸質頁岩		
140	9			1430	14 北東捨	V64ト1-2	TR1-1層 1-4層	5-X	石鏟	64.7	30.2	15.1	21.0	珸質頁岩		
140	10			1426	14 北東捨	V64ト1-4	TR1-4層 1-4層	5-X	石鏟	31.4	57.9	16.4	9.6	珸質頁岩		
140	11			1427	14 北東捨	V64ト1-4	TR1-4層 1-4層	5-X	石鏟	44.0	54.8	9.8	23.5	珸質頁岩		
140	12			1423	14 北東捨	トロンパ4	TR1-4層 1-7層	5-X	石鏟	43.4	48.9	10.0	13.7	珸質頁岩		
140	13			1411	14 北東捨	ブロック 1072	TR1-5層	5-4314	石鏟	60.2	56.8	8.4	14.8	珸質頁岩		
140	14			1407	14 北東捨	V186	TR1-6層	5-X	石鏟	55.2	73.6	14.0	36.3	珸質頁岩		
140	15			1424	14 北東捨	ブロック トロンパ4	1072	TR1-5層	5-4315	石鏟	60.5	35.6	6.7	14.1	珸質頁岩	
140	16			1327	14 北東捨	トロンパ2 1ホウ5 ブロック	TR1-5層	5-X	石鏟	59.0	23.6	5.6	5.1	珸質頁岩		
140	17			1415	14 北東捨	トロンパ4	TR1-5層 1-7層	5-X	石鏟	52.2	24.6	9.1	6.7	珸質頁岩		
140	18			1404	14 北東捨	トロンパ5	TR1-5層 1-7層	5-X	石鏟	60.6	66.5	13.2	14.9	珸質頁岩		
140	19			1417	14 北東捨	V145	TR1-5層 2-6層	5-X	石鏟	39.2	66.9	6.6	10.2	珸質頁岩		
140	20			1440	14 北東捨	V145	TR1-5層 2-6層	5-X	石鏟	42.3	41.6	12.2	22.5	珸質頁岩		
140	21			1414	14 北東捨	V145	TR1-6層 2-6層	5-X	石鏟	25.4	52.0	6.8	5.9	珸質頁岩		
140	22			1425	14 北東捨	トロンパ3 ブロック 1073	TR1-6層	5-4321	石鏟	74.4	28.7	9.2	12.3	珸質頁岩		
140	23			1438	14 北東捨	V186	TR1-6層	5-X	石鏟	30.0	24.1	4.9	1.6	珸質頁岩		
140	24			1401	14 北東捨	V186	TR1-7層 3-9層	5-X	石鏟	41.8	30.3	13.0	9.7	珸質頁岩		
140	25			1058	14 北東捨	トロンパ2; ブロック 1061	TR2-1層	5-X	石鏟	36.2	47.3	9.7	13.3	珸質頁岩	アスファルト	
140	26			1400	14 北東捨	トロンパ2	TR2-1層	5-X	石鏟	66.9	67.4	11.8	20.7	珸質頁岩		
140	27			1064	14 北東捨	トロンパ4	TR2-4層	5-X	石鏟	60.0	54.2	15.2	31.4	珸質頁岩	アスファルト、左端部 削跡あり	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(3)

探検隊番号	番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特命	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
140	28		4409	14 北東捨	トロンパ2 4	TR2-1層	5-X	石製	44.0	19.4	6.9	3.1	積層頁岩	
140	29		4446	14 北東捨	5-6トロンパ	TR2-1層	5-X	石製	85.3	28.8	10.6	18.8	積層頁岩	素材確認調査?石刀状割片
140	30		4413	14 北東捨	V447 5-6トロンパ	TR2-1層	5-X	石製	73.8	33.4	16.7	25.4	積層頁岩	
140	31		1067	14 北東捨	トロンパ2	TR2-5層	5-X	石製	57.8	36.4	12.1	29.8	積層頁岩	アスファルト
140	32	100-9	1068	14 北東捨	V445	TR2-5層	5-X	石製	34.0	64.5	11.0	30.7	積層頁岩	
140	33		1069	14 北東捨	V146	TR2-5層	5-X	石製	47.7	30.7	11.5	14.7	積層頁岩	アスファルト
140	34		4326	14 北東捨	V146	TR2-2層	5-X	石製	55.5	50.5	12.0	20.2	積層頁岩	
140	35		4447	14 北東捨	V146	TR2-2層	5-X	石製	52.4	40.2	8.1	7.8	積層頁岩	
141	1		1060	14 北東捨	V447	TR2-5層	5-X	石製	45.3	52.4	8.9	13.7	積層頁岩	
141	2		4329	14 北東捨	V146	TR3-5層	5-X	石製	43.2	50.7	9.0	14.2	積層頁岩	片部欠損
141	3		4410	14 北東捨	トロンパ1 ブロック	TR3-5層	5-X	石製	40.5	31.2	8.1	8.2	積層頁岩	石磨?
141	4		4334	14 北東捨	ペルト 3-5	TR3-5層	5-X	石製	29.3	62.5	8.3	7.7	積層頁岩	
141	5		1062	14 北東捨	ペルト 3-5	TR3-5層	5-X	石製	32.1	61.6	12.9	12.9	積層頁岩	アスファルト
141	6		4403	14 北東捨	V146 ブロック 6055	TR3-6層	5-X	石製	45.0	28.7	6.0	5.1	積層頁岩	
141	7		4432	14 北東捨	トロンパ 2-3-4	TR3-6層	5-X	石製	50.0	79.1	12.5	29.3	積層頁岩	
141	8		4414	14 北東捨	5-6トロンパ	TR3-6層	5-X	石製	37.2	33.4	6.3	3.8	積層頁岩	
141	9		4415	14 北東捨	V146	TR3-6層	5-X	石製	30.4	55.5	10.5	11.2	分層頁岩	
141	10		1063	14 北東捨	V145	5-1層	5-X	石製	42.6	57.7	13.0	40.1	積層頁岩	アスファルト、対照表、心出部有
141	11		4421	14 北東捨	5-6トロンパ	TR3-1層	5-X	石製	47.0	61.8	12.1	29.6	積層頁岩	
141	12		4408	14 北東捨	V445	TR3-3層	5-X	石製	41.4	15.7	5.1	2.3	積層頁岩	
141	13	100-10	1066	14 北東捨	トロンパ1	TR3-1層	5-X	石製	49.7	49.2	13.3	31.9	積層頁岩	アスファルト
141	14		4422	14 北東捨	V144	TR3-3層	5-X	石製	32.2	50.1	7.0	13.6	積層頁岩	
141	15		1070	14 北東捨	トロンパ2	5-6層	5-X	石製	46.8	42.2	14.4	29.9	積層頁岩	アスファルト
141	16		4418	14 北東捨	トロンパ 2-3-4層	TR3-4層	5-X	石製	48.2	24.3	11.4	10.4	積層頁岩	
141	17		4406	14 北東捨	V441 ブロック 4035	確認層	5-672	石製	106.8	53.2	33.6	316.0	積層頁岩	二次加工割片?
141	18		4352	14 北東捨	トロンパ1	TR3-5層	5-X	削片	42.7	20.7	7.8	7.5	積層頁岩	石製未製品?
141	19		1097	14 北東捨	5-6トロンパ	TR3-5層	5-X	削片	58.2	26.8	9.0	12.8	積層頁岩	
141	20		1419	14 北東捨	V447 5-6トロンパ	TR3-5層	5-X	削片	41.2	24.7	9.1	7.0	積層頁岩	石磨?
141	21		1351	14 北東捨	V147 5-6トロンパ	TR3-5層	5-X	削片	37.2	20.3	10.1	5.5	積層頁岩	
141	22		1093	14 北東捨	V147 5-6トロンパ	TR3-上層	5-X	削片	44.5	21.4	4.0	3.4	積層頁岩	
141	23	100-11	4047	14 北東捨	V146	1層		黒石石磨	28.4	32.4	10.5	8.4	黒石	本場出土品
141	24		4463	14 北東捨	V446	2層	5-X	石臼軸用磨石	44.2	76.5	27.1	96.8	積層頁岩	
141	25		2471	14 北東捨	V445	2層	5-X	削片	40.2	20.0	10.3	13.3	積層頁岩	
141	26		4449	14 北東捨	V444	1-1層	5-X	石臼	93.6	77.7	36.8	311.5	積層頁岩	
141	27	100-13	3501	14 北東捨	トロンパ1	TR1-4層	5-X	黒石石磨	30.3	49.0	11.1	7.1	積層頁岩	
141	28		4459	14 北東捨	V146	TR1-4層	5-X	石臼	46.0	37.7	42.3	303.9	積層頁岩	
141	29		2098	14 北東捨	V546	TR1-4層	5-X	黒石石磨	155.0	114.3	16.40	17.0	積層頁岩	
141	30		5278	14 北東捨	トロンパ1 ブロック	TR1-4層	5-X	石臼	168.2	126.8	42.1	700.5	積層頁岩	
141	31	100-13	4056	14 北東捨	トロンパ2	TR1-1層	5-X	黒石石磨	28.0	22.0	6.5	2.4	積層頁岩	
141	32		4452	14 北東捨	トロンパ5	TR1-1層	5-X	石臼軸用磨石	55.5	42.2	41.4	112.3	積層頁岩	
141	33		4447	14 北東捨	ペルト 1-3層	TR1-1層	5-X	石臼軸用磨石	48.2	53.9	42.1	113.9	積層頁岩	
141	34		4457	14 北東捨	V447	TR1-4層	5-X	石臼軸用磨石	90.4	65.8	46.3	329.7	積層頁岩	
142	1		4485	14 北東捨	V146	TR1-4層	5-X	石臼	78.6	86.4	37.4	224.7	積層頁岩	
142	2		4454	14 北東捨	V146	TR1-4層	5-X	石臼	102.3	66.4	47.9	274.4	積層頁岩	
142	3		4460	14 北東捨	V146	TR1-4層	5-X	石臼	61.1	54.4	27.8	76.7	積層頁岩	
142	4		2465	14 北東捨	V146	TR1-5層	5-X	削片	82.9	50.6	21.1	43.2	積層頁岩	
142	5		3713	14 北東捨	トロンパ2	TR1-5層	5-X	石臼	162.0	56.5	52.4	437.3	積層頁岩	
142	6		3720	14 北東捨	トロンパ3	TR1-5層	5-X	石臼	122.5	64.9	54.2	359.0	積層頁岩	
142	7		2467	14 北東捨	5-6トロンパ	1-5層	5-X	削片	71.5	46.3	1.9	47.0	積層頁岩	
142	8		4455	14 北東捨	V447	TR1-5層	5-X	石臼軸用磨石	51.5	48.1	40.0	194.3	積層頁岩	
142	9		4453	14 北東捨	トロンパ3	TR1-6層	5-X	石臼	54.0	54.4	28.9	96.9	積層頁岩	
142	10		2468	14 北東捨	V146	TR1-7層	5-X	削片	67.0	32.3	15.3	32.1	積層頁岩	
142	11		2461	14 北東捨	トロンパ2	TR1-6層	5-X	黒石石磨	30.8	8.7	3.9	4.3	積層頁岩	
142	12		2466	14 北東捨	5-6トロンパ 2-4層	TR2-1層	5-X	削片	48.7	37.7	11.8	21.4	積層頁岩	
142	13		4448	14 北東捨	トロンパ 2-3-4層	TR2-1層	5-X	石臼	56.8	53.1	36.2	114.4	積層頁岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(4)

探検隊番号	番号	図説番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	分類・時期	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
142	14		2172	14 北東捨場	V6-32-4	TR2-2層	S-3	燧石	83.1	61.8	10.4	68.9	珩質頁岩		
142	15		4151	14 北東捨場	V166	TR2-2層	S-3	石核	51.3	57.2	40.3	94.9	珩質頁岩		
142	16		4149	14 北東捨場	V147	TR2-2層	S-3	燧石	36.6	34.2	14.0	15.5	珩質頁岩	石造?	
142	17		2170	14 北東捨場	V67	TR2-2層	S-3	燧石	33.3	26.1	6.1	6.2	珩質頁岩		
142	18		4162	14 北東捨場	11-3-72-9	TR2-2層	S-3	石核	15.0	19.2	8.6	2.2	燧石	厚薄不均山崎、高橋石核	
142	19	100	14	2827	14 北東捨場	11-3-71-7	TR2-2層	S-3	燧石	23.1	16.9	4.0	1.3	珩質頁岩	
142	20	100	12	1100	14 北東捨場	11-3-72-7	S-3	黒石	39.5	41.0	16.0	41.4	燧石		
142	21		2171	14 北東捨場	V68	TR3-1層	S-3	燧石	36.7	43.4	17.6	49.8	珩質頁岩		
142	22		2469	14 北東捨場	V6-32-8	TR2-1(7)層 11-3-71-8	S-3	燧石	66.5	30.9	16.4	48.4	珩質頁岩		
143	23		2051	14 北東捨場	V42	TR2-2層	S-3	転用燧石	43.2	73.2	54.0	478.4	S-1層		
143	1		2175	14 北東捨場	V42	TR3-6層	S-3	燧石	66.9	36.6	17.4	33.7	珩質頁岩		
143	2		4461	14 北東捨場	V147 V6-32-5	TR3-6層	S-3	石核	64.5	56.8	35.3	207.3	珩質頁岩		
143	3		4466	14 北東捨場	V147 V6-32-5	TR3-6層	S-3	石核	125.1	102.4	68.5	717.5	珩質頁岩		
143	4		2173	14 北東捨場	V47	TR3-6層	S-3	燧石	40.3	24.0	14.9	34.2	珩質頁岩		
143	5		2220	14 北東捨場	11-3-71-9	TR3-6層	S-3	燧石	108.7	70.9	15.3	132.0	珩質頁岩		
143	6		2175	14 北東捨場	V48	TR3-6層	S-3	燧石	94.1	67.4	16.7	79.7	珩質頁岩		
143	7		4467	14 北東捨場	11-3-71-2	TR3-6層	S-3	石核	33.0	25.5	22.5	23.2	燧石		
143	8		4132	14 北東捨場	V45	TR3-2層	S-3	転用燧石	51.9	66.3	42.5	295.5	珩質頁岩	石製器?	
143	9		3225	14 北東捨場	V46	TR3-2層	S-3	転用燧石	74.9	72.3	54.3	321.5	珩質頁岩		
143	10		4450	14 北東捨場	V45	TR3-2層	S-3	転用燧石	79.2	56.7	45.7	348.0	珩質頁岩		
143	11		4481	14 北東捨場	V45 7-6-7-10	TR3-2層	S-3	燧石	22.6	17.6	6.1	2.4	燧石	木造出来品 石製石製品?	
143	12		4492	14 北東捨場	V145	TR3-2層	S-3	燧石	31.9	23.9	5.0	3.2	珩質頁岩		
143	13		4458	14 北東捨場	V45	TR3-2層	S-3	転用燧石	56.0	36.4	53.6	104.2	珩質頁岩		
143	14		4461	14 北東捨場	V145	TR3-2層	S-3	燧石	46.3	48.9	31.3	213.2	珩質頁岩		
143	15		4179	川原平(1)遺 北	V48 V6-4-1-1	20層	S-3	石核	35.7	31.5	22.0	23.7	燧石	木造出来品 報告書巻第1編第1章第 1節参照	
143	16		4456	14 北東捨場	V144	燧石層 TR3-2層	S-3	転用燧石	37.1	47.4	33.1	118.3	S-1層		
143	17		4484	14 北東捨場	11-3-71-2	TR3-2層	S-3	石核	83.3	41.5	28.4	121.0	珩質頁岩		
143	18		4465	14 北東捨場	11-3-71-2	TR3-2層	S-3	石核	71.0	55.3	38.2	161.2	珩質頁岩		
143	19		3709	14 北東捨場	11-3-71-5	TR3-2層	S-3	石核	108.9	43.0	40.2	266.1	珩質頁岩	黒石不詳?	
143	20	101	2	2209	14 北東捨場	11-3-71-9	TR1-4層	S-3	燧石	142.2	54.1	20.0	200.5	珩質頁岩	同様の石製器あり、燧 石核不詳
143	21	101	1	1355	14 北東捨場	V45	TR3-2層	S-3	燧石	91.6	46.8	22.1	118.4	火山岩	
143	22	104	3	2268	14 北東捨場	V147 V6-32-5 の裏面	TR2-1層	S-3	燧石	47.8	38.0	22.7	119.5	褐色石	北東-102、黒部欠損、燧 石の燧石製、燧石製
143	23		4480	14 北東捨場	V6-32-1	TR2-1層	S-3	石核	33.5	47.3	20.2	34.6	燧石	木造出来品	
144	1	101	1	A	14 北東捨場	削片集中?	不明	特4005	珩質頁岩	141.1	131.5	101.9	846.2	珩質頁岩	削片・石核等点接合 A~D上同一個体
145	1	103	3	B	14 北東捨場	削片集中?	不明	特4005	珩質頁岩	110.2	115.9	86.2	243.2	珩質頁岩	削片点接合 A~D上同一個体
145	2	103	4	C	14 北東捨場	削片集中?	不明	特4005	珩質頁岩	91.2	88.3	36.3	110.3	珩質頁岩	削片点接合、正面、 側面・裏面 A~D上同一個体
146	1	103	5	D	14 北東捨場	削片集中?	不明	特4005	珩質頁岩	94.9	65.2	26.1	107.4	珩質頁岩	削片点接合、正面、 側面・裏面 A~D上同一個体
147	1		E-1	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	珩質頁岩	37.3	37.8	32.4	64.0	珩質頁岩	削片点接合 A~D上同一個体	
147	2		E-2	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	珩質頁岩	52.5	84.9	23.1	71.1	珩質頁岩	削片点接合 A~D上同一個体	
147	3		E-2	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	珩質頁岩	47.5	31.1	18.0	17.6	珩質頁岩	削片点接合 A~D上同一個体	
147	4		E-3	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	珩質頁岩	36.1	49.5	19.0	36.6	珩質頁岩	削片点接合 A~D上同一個体	
147	5		E-4	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	珩質頁岩	42.4	53.8	18.7	33.1	珩質頁岩	削片点接合 A~D上同一個体	
147	6		E-2	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	36.2	46.6	22.5	71.2	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	7		E-4	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	33.7	41.9	12.6	42.1	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	8		E-3	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	31.3	45.8	12.9	39.9	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	9		E-8	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	45.3	70.5	18.5	35.2	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	10		E-3	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	36.6	63.9	12.9	36.6	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	11		E-10	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	44.4	33.8	16.2	31.6	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	12		E-5	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	36.3	46.2	30.8	11.9	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	13		E-6	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	46.4	28.5	11.2	15.7	珩質頁岩	A~D上同一個体	
147	14		E-1	北東捨場	削片集中?	不明	S-3	燧石	38.9	40.2	12.5	33.0	珩質頁岩	A~D上同一個体	
148	1		4039	14 北東捨場	11-3-71-1(1) 11-3-71-2	S-3層	S-3	燧石	84.6	68.1	48.6	395.9	S-1層		
148	2		4052	14 北東捨場	V43	1層	S-3	燧石	93.4	78.4	51.9	642.9	花崗岩		
148	3		4050	14 北東捨場	V145	2層	S-3	燧石	96.2	80.3	56.6	461.5	S-1層		
148	4		3728	14 北東捨場	V145	S-1層	S-3	燧石	111.2	97.9	62.5	498.9	燧石		
148	5		4031	14 北東捨場	V6-32-5 ブロッ ク50	TR2-1層	S-3	燧石	127.2	99.3	68.2	1206.1	燧石	赤色顔料	
148	6		4016	14 北東捨場	V46 ブロック 4062-2	TR1-4層	S-3	燧石	122.0	92.3	61.6	1018.3	火山岩		

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(5)

探検隊番号	番号	図例番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番号/時期	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
148	7		8060	14 北東捨	トロンテ 1-3-5 ブロック 0059	TR-1-5層	S-8049	礫石	194.0	101.9	68.3	134.5	花崗岩	
148	8		8046	14 北東捨	V146	TR-1-3層	S-X	礫石	103.9	85.7	66.3	845.9	緑色凝灰岩	
148	9		8014	14 北東捨	V406	TR-1-6層	S-X	礫石	107.0	76.4	52.3	711.5	粗粒玄武岩	
148	10		8020	14 北東捨	トロンテ 1-7層	TR-1-7層	S-X	礫石	116.3	84.6	68.8	1007.4	火山岩	
148	11		8019	14 北東捨	へら1-1	TR-1-8層	S-X	礫石	108.1	97.4	71.5	1074.5	粗粒玄武岩	
148	12		8044	14 北東捨	へら1-1	TR-1-8層	S-X	礫石	99.2	78.5	54.9	632.2	花崗岩	
148	13		8018	14 北東捨	トロンテ 1-10 ブロック 0038	TR-1層	S-8190	礫石	75.7	58.4	38.5	302.9	花崗岩	赤色顔料
148	14		8012	14 北東捨	トロンテ 1-10層	TR-1-10層	S-X	礫石	128.9	63.3	43.3	405.7	凝灰岩	
148	15		8045	14 北東捨	トロンテ 2-6-7	TR-2層	S-X	礫石	79.1	64.8	34.3	323.7	粗粒玄武岩	
148	16		8026	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	103.7	95.7	66.7	924.5	凝灰岩	
148	17		8031	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	73.5	69.5	63.7	321.8	凝灰岩	
148	18		8038	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	99.8	73.8	63.3	634.2	花崗岩	
148	19		8038	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	86.7	80.9	67.1	703.1	粗粒玄武岩	
148	20		8028	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	143.0	83.0	54.1	1059.3	凝灰岩	
148	21		8042	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	123.8	81.1	67.6	906.3	凝灰岩	
148	22		8043	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	85.7	84.9	58.2	797.3	花崗岩	
148	23		8037	14 北東捨	V447 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	93.6	64.7	54.8	511.2	花崗岩	
148	24		8022	14 北東捨	へら12.5 ブロック 4046	TR-2層	S-X	礫石	98.2	77.2	55.2	597.6	花崗岩	
149	1		8035	14 北東捨	ブロック 8026	TR-1層	S-8096	礫石	74.6	62.3	62.5	438.0	木炭	
149	2		8029	14 北東捨	V446 TR-1-2層	TR-1-2層	S-X	礫石	120.2	86.9	68.2	1009.3	凝灰岩	
149	3		8011	14 北東捨	へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	99.7	84.7	54.3	520.2	凝灰岩	
149	4		8047	14 北東捨	へら12.5 ブロック 4026	TR-2層	S-8211	礫石	121.6	119.2	88.4	908.3	花崗岩	
149	5		5747	14 北東捨	へら12.5 ブロック 8030	TR-2層	S-8212	礫石	91.7	88.7	55.1	488.1	凝灰岩	
149	6		8036	14 北東捨	V147 トロンテ 2-10	TR-2層	S-X	礫石	142.0	78.9	62.8	1036.4	粗粒玄武岩	
149	7		8054	14 北東捨	トロンテ 2-10	TR-2層	S-X	礫石	104.9	85.1	66.9	626.6	凝灰岩	
149	8		8055	14 北東捨	V147 トロンテ 2-10	TR-2層	S-X	礫石	108.0	95.8	69.0	830.3	花崗岩	
149	9		8051	14 北東捨	V148 TR-1-4層	TR-1-4層	S-X	礫石	70.2	60.3	38.3	245.9	花崗岩	
149	10		8015	14 北東捨	V148 TR-1-4層	TR-1-4層	S-X	礫石	111.8	80.9	68.8	812.2	火山岩	
149	11		5749	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	136.1	70.5	52.5	365.7	粗粒玄武岩	
149	12		8041	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	126.7	90.8	67.9	1010.9	粗粒玄武岩	
149	13		8027	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	116.3	73.7	56.5	740.6	火山岩	
149	14		8061	14 北東捨	へら13.6	TR-2層	S-X	礫石	105.0	79.5	62.1	730.2	凝灰岩	
149	15		8040	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	100.5	75.8	56.5	369.6	花崗岩	
149	16		8021	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	83.7	80.8	63.8	472.4	凝灰岩	
149	17		5741	14 北東捨	V448 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	105.2	86.3	66.9	719.7	木炭	
149	18		8023	14 北東捨	V147 へら12.5	TR-2層	S-X	礫石	106.8	74.6	54.8	398.6	粗粒玄武岩	
149	19		8025	14 北東捨	トロンテ 2-10	TR-2層	S-X	礫石	95.1	90.7	68.9	847.8	火山岩	
149	20		8010	14 北東捨	トロンテ 2-10	TR-2層	S-X	礫石	92.1	71.6	63.7	5078.6	花崗岩	
149	21		8032	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	110.9	86.1	61.1	582.0	木炭	
149	22		8030	14 北東捨	V447 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	94.4	84.6	68.2	638.6	凝灰岩	
149	23		8095	14 北東捨	へら13.6 ブロック 4081	TR-2層	S-8236	礫石	85.4	62.3	60.9	300.8	凝灰岩	
149	24		8058	14 北東捨	V448 TR-1-7層	TR-1-7層	S-X	礫石	74.7	68.6	45.3	305.5	粗粒玄武岩	
149	25		8047	14 北東捨	S-80 TR-1-7層	TR-1-7層	S-8157	礫石	122.6	90.7	66.9	1421.9	花崗岩	赤色顔料
150	1		5761	14 北東捨	V147 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	126.7	69.0	34.7	436.6	花崗岩	赤色顔料
150	2		8036	14 北東捨	V148 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	81.2	83.5	68.8	725.5	凝灰岩	
150	3		8013	14 北東捨	S-80 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	102.8	79.8	64.9	753.7	花崗岩	
150	4		8033	14 北東捨	V148 TR-1-6層	TR-1-6層	S-X	礫石	109.3	102.0	64.9	1060.2	花崗岩	
150	5		8059	14 北東捨	トロンテ 2-10	TR-2層	S-X	礫石	151.2	83.8	56.9	96.5	木炭	
150	6		8024	14 北東捨	ブロック 4042	TR-1-6層	S-8214	礫石	109.9	85.3	51.6	496.7	木炭	
150	7		8049	14 北東捨	粗粒トロンテ 2-10	不明	S-X	礫石	91.8	81.4	68.1	700.9	木炭	
150	8		8101	14 北東捨	トロンテ 2-10	不明	S-X	礫石	112.4	68.7	31.4	285.5	木炭	



表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(6)

探検隊 番号	番号	図例 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
150	9		2053	14 北東捨	べら3-2-6	TR3-a層	S-X	磁石	56.0	69.1	29.5	396.3	火山岩	右製問題?	
150	10		8004	14 北東捨	V167	TR1-3a層	S-X	磁石	99.9	59.4	24.2	195.5	磁石		
150	11		5765	14 北東捨	トロンパ4	TR1-4層	S-X	磁石	100.3	81.6	66.7	572.3	緑色凝灰岩		
150	12		5729	14 北東捨	トロンパ5	TR1-5層	S-X	磁石	115.0	96.2	69.1	607.0	花崗岩		
150	13		5742	14 北東捨	V166	TR1-5a層	S-X	磁石	110.3	100.5	56.7	626.1	火山岩		
150	14		577-579	14 北東捨	V168a	TR1-5a層	S-X	磁石	202.0	62.8	54.1	853.1	磁石	1層位579号、下層位577号	
150	15		8090	14 北東捨	べら1-1	TR1-6層	S-X	磁石	109.9	61.5	36.4	376.3	磁石		
150	16		8005	14 北東捨	V167	TR1-5b層	S-X	磁石	84.1	67.8	56.0	421.7	磁石		
150	17		5738	14 北東捨	トロンパ1	TR1-6層	S-X	磁石	87.8	60.4	26.6	107.0	磁石		
150	18		8112	14 北東捨	V166	トロンパ4	TR1-6層	S-X	磁石	102.4	72.1	36.5	347.0	磁石	
150	19		5723	14 北東捨	トロンパ7	TR1-6層	S-X	磁石	97.2	57.7	33.7	267.3	火山岩		
150	20		5752	14 北東捨	トロンパ1-7	TR1-6層	S-X	磁石	100.6	74.6	66.2	430.6	磁石		
150	21	133	7	5743	14 北東捨	トロンパ10	TR1-6層	S-X	磁石	78.0	57.0	13.0	61.9	磁石	右製問題?
150	22		7739	15 北東捨	V147 べら3-2-5	TR2-1層	S-X	磁石	180.4	74.2	26.3	236.3	緑色凝灰岩	右製問題?	
150	23		8085	14 北東捨	V147 ブロック 0159	TR2-1層	S-X	磁石	69.4	77.0	31.0	183.8	磁石		
150	24		8007	14 北東捨	トロンパ2	TR2-1層	S-X	磁石	104.3	69.8	46.7	483.7	磁石		
150	25		5751	14 北東捨	トロンパ7	TR2-2層	S-X	磁石	116.0	51.9	27.1	120.4	火山岩		
151	1		5732	14 北東捨	V147 べら3-2-5	TR2-2層	S-X	磁石	130.5	70.6	23.4	305.0	磁石		
151	2	104	5	7688	14 北東捨	V147	TR2-2層	S-X	磁石	109.0	104.0	26.0	431.0	磁石	右製問題?
151	3		5746	14 北東捨	V147	TR2-2層	S-X	磁石	98.5	86.3	68.5	843.5	黒曜石玄武岩		
151	4		8000	14 北東捨	V147 べら3-2-5	TR2-2層	S-X	磁石	104.1	84.8	62.1	396.9	磁石		
151	5		8009	14 北東捨	V147 べら3-2-5	TR2-2層	S-X	磁石	103.7	89.8	55.4	743.2	未鑑定		
151	6		5762	14 北東捨	トロンパ7	TR2-a層	S-X	磁石	99.4	86.0	27.6	221.7	磁石		
151	7		5743	14 北東捨	V147	TR2-a層	S-X	磁石	112.6	69.4	34.9	299.2	磁石		
151	8		2015	14 北東捨	V147	TR2-b層	S-X	磁石	128.2	52.7	24.2	265.6	磁石		
151	9		8008	14 北東捨	トロンパ1	TR2-b層	S-X	磁石	159.0	52.3	41.7	626.1	磁石		
151	10		5766	14 北東捨	V147	TR2-b層	S-X	磁石	159.0	38.6	73.4	1566.4	緑色凝灰岩		
151	11		5760	14 北東捨	V138	TR2-c層	S-X	磁石	105.3	55.0	46.7	480.5	花崗岩		
151	12	104	6	10132	14 北東捨	V147 べら3-2-7	TR2-c層	S-X	磁石	151.9	61.0	23.0	215.1	磁石	赤色顔料
151	13		5757	14 北東捨	V147	TR2-d層	S-X	磁石	101.4	71.2	66.1	538.2	磁石		
151	14		5750	14 北東捨	べら3-3-9	TR2-d層	S-X	磁石	103.4	69.1	46.7	369.7	磁石		
151	15		5761	14 北東捨	V147	TR2-d層	S-X	磁石	100.0	82.4	24.3	437.6	磁石		
151	16		5721	14 北東捨	V148	TR2-e層	S-X	磁石	100.3	86.6	69.7	591.2	磁石		
151	17		5763	14 北東捨	V147	TR2-e層	S-X	磁石	95.4	73.7	66.6	363.0	磁石		
151	18		8087	14 北東捨	S-08	TR2-f層	S-X	磁石	112.7	106.3	62.0	1034.3	磁石		
151	19		5748	14 北東捨	べら3-3-5	TR2-f層	S-0176	磁石	147.4	100.6	51.7	899.1	磁石		
151	20		5754	14 北東捨	べら3-2-9	TR2-g層	S-X	磁石	168.6	69.4	63.1	1300.3	磁石	赤色顔料	
151	21		5767	14 北東捨	V147	TR2-g層	S-X	磁石	136.0	68.1	55.7	894.6	磁石		
151	22		2659	14 北東捨	べら3-3-1	TR2-h層	S-X	磁石	130.4	64.9	18.9	248.2	磁石		
151	23		5740	14 北東捨	トロンパ4	TR2-i層	S-X	磁石	104.8	77.6	49.7	488.0	磁石		
151	24		5741	14 北東捨	V148	TR2-i層	S-X	磁石	88.0	92.1	58.0	628.8	磁石		
152	1		8006	14 北東捨	V166	TR3-2層	S-X	磁石	83.0	73.9	73.2	372.0	磁石		
152	2		2056	14 北東捨	トロンパ10	TR3-3層	S-X	磁石	118.3	86.0	27.5	407.0	磁石		
152	3		5732	14 北東捨	V144	TR3-a層	S-0213	磁石	76.9	72.0	19.2	156.0	黒曜石玄武岩		
152	4		8107	14 北東捨	トロンパ7	TR3-b層	S-X	磁石	81.8	72.7	43.0	269.3	磁石		
152	5		5439	14 北東捨	トロンパ7	TR3-b層	S-X	磁石	112.0	74.7	52.5	319.3	磁石		
152	6	106	1	8080	14 北東捨	S-08	1層	S-X	117.0	57.0	44.0	278.0	磁石		
152	7		8304	14 北東捨	V167 べら3-1-5	TR3-b層	S-X	磁石	105.4	82.2	86.3	511.5	火山岩		
152	8		8091	14 北東捨	V145	1-a層	S-X	磁石	87.1	63.5	36.1	228.1	磁石		
152	9		8096	14 北東捨	V146	TR1-1a層	S-X	磁石	103.0	92.2	41.6	575.6	磁石		
152	10		8128	14 北東捨	V145	TR1-1a層	S-X	磁石	99.9	69.4	39.0	256.7	磁石		
152	11		8127	14 北東捨	V167	TR1-4a層	S-X	磁石	101.2	92.9	32.0	363.3	磁石		
152	12		8128	14 北東捨	V146 ブロック 0022-2	TR1-4層	S-0130	磁石	135.0	69.6	34.7	116.0	磁石		
152	13	106	4	8095	14 北東捨	トロンパ7	TR1-5層	S-X	磁石	102.0	73.9	42.8	376.3	磁石	
152	14		8003	14 北東捨	V146	TR1-5a層	S-X	磁石	138.0	83.5	57.3	671.7	磁石		
152	15		8102	14 北東捨	トロンパ4	TR1-5層	S-X	磁石	110.0	63.8	35.4	407.1	磁石		
152	16		8092	14 北東捨	べら3-1-4	TR1-5層	S-X	磁石	88.2	69.4	33.0	285.2	磁石		
152	17	105	5	8078	14 北東捨	べら3-1-8	S-X	磁石	137.0	62.4	24.0	300.2	磁石		
152	18		8134	14 北東捨	トロンパ1-10	TR1-6層	S-X	磁石	121.4	107.7	22.8	335.6	磁石	右製問題?	
152	19		5731	14 北東捨	トロンパ4	TR1-6a層	S-X	磁石	94.1	71.0	35.5	267.7	磁石		
152	20		8122	14 北東捨	トロンパ9	TR1-6層	S-X	磁石	118.3	73.2	34.9	389.2	磁石		
152	21	105	3	7704	14 北東捨	トロンパ7 ブロック 0159	S-0009	磁石	105.0	92.0	25.0	285.6	磁石	円盤状に磨削	
152	22		8053	14 北東捨	トロンパ7	TR1-6層	S-X	磁石	92.1	81.1	52.0	636.0	磁石		

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(7)

探検隊 隊番号	番号	回収 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
152	23	106	3	8064	14 北東捨	ベルト 2-5-9	TR2-1層	5-X	顕石	91.0	77.0	42.0	144.7	黒川玄武岩	
153	1			8105	14 北東捨	Vk47	TR2-1層	5-X	顕石	47.0	43.6	41.5	206.5	緑色凝灰岩	
153	2			8753	14 北東捨	トロンツ 1-5-3	TR2-1層	5-X	顕石	93.0	62.2	32.7	311.1	凝灰岩	
153	3			8121	14 北東捨	トロンツ 1-5-3 プロック 4011	TR2-1層	5-8087	顕石	96.4	62.0	36.0	344.9	凝灰岩	
153	4	106	2	8075	14 北東捨	V106	TR2-1層	5-X	顕石	122.2	116.0	66.0	459.9	凝灰岩	
153	5			8117	14 北東捨	トロンツ 1-5-3	TR2-1層	5-X	顕石	113.1	88.4	66.0	528.1	凝灰岩	
153	6			8104	14 北東捨	ベルト 2-5-7	TR2-1層	5-X	顕石	111.0	60.9	68.8	511.3	凝灰岩	
153	7	105	6	8062	14 北東捨	Vk47	TR2-2層	5-X	顕石	133.0	46.0	35.0	305.2	凝灰岩	
153	8			8088	14 北東捨	Vk47	TR2-2層	5-X	顕石	118.4	47.1	30.4	318.1	凝灰岩	
153	9			8080	14 北東捨	V106	TR2-2層	5-X	顕石	110.0	83.0	27.9	305.5	凝灰岩	
153	10			8096	14 北東捨	Vk47	TR2-2層	5-X	顕石	112.6	95.6	54.7	554.2	凝灰岩	
153	11			8084	14 北東捨	Vk46	TR2-2層	5-X	顕石	78.0	72.9	64.0	459.0	凝灰岩	
153	12			8087	14 北東捨	V107	TR2-2 2-6層	5-X	顕石	137.2	63.0	27.9	376.6	凝灰岩	
153	13			8108	14 北東捨	Vk47	TR2-2層 (黒川玄武岩)	5-X	顕石	132.1	84.8	37.4	405.5	凝灰岩	
153	14			8089	14 北東捨	Vk47	TR2-2層 (黒川玄武岩) +土層	5-X	顕石	107.7	72.6	45.6	409.0	凝灰岩	
153	15			8123	14 北東捨	トロンツ 1-5-3	TR2-6層	5-X	顕石	93.2	76.6	38.5	324.6	凝灰岩	
153	16			8730	14 北東捨	Vk47	TR2-6層	5-X	顕石	93.0	81.1	32.5	338.5	凝灰岩	
153	17			8116	14 北東捨	Vk47	TR2-1層	5-X	顕石	88.1	72.9	36.3	402.2	凝灰岩	
153	18			8114	14 北東捨	Vk47	TR2-1層	5-X	顕石	113.1	85.0	32.1	422.0	凝灰岩	
153	19			8119	14 北東捨	トロンツ 1-5-3	TR2-1層	5-X	顕石	126.3	66.2	42.4	446.6	凝灰岩	
153	20			8110	14 北東捨	Vk47	TR2-1層	5-X	顕石	88.3	68.7	55.4	492.3	凝灰岩	
153	21			8071	14 北東捨	ベルト 2-5-2/9	TR2-7層	5-X	顕石	155.2	95.7	68.3	690.8	凝灰岩	
153	22			8077	14 北東捨	Vk46	TR2-8層	5-X	顕石	138.0	43.5	32.4	315.0	凝灰岩	
153	23	105	4	8072	14 北東捨	Vk48	TR2-8層	5-X	顕石	141.0	75.0	36.0	415.3	凝灰岩	
153	24			8063	14 北東捨	Vk47	TR2-8層	5-X	顕石	109.8	84.7	30.1	399.6	凝灰岩	
153	25	106	8	8069	14 北東捨	Vk47	TR2-8層	5-X	顕石	102.0	88.0	40.0	442.7	不鑑定	
153	26			8093	14 北東捨	V147	TR2-8層	5-X	顕石	109.4	72.2	37.8	339.7	凝灰岩	
153	27			8092	14 北東捨	V106	TR2-8層 +土層	5-X	顕石	120.6	78.9	37.7	471.1	凝灰岩	
154	1			8756	14 北東捨	トロンツ 1-5-3 プロック 4011	TR2-8層	5-X	顕石	123.2	58.1	54.0	430.7	凝灰岩	
154	2	106	7	8070	14 北東捨	トロンツ 1-5-3	TR2-8層	5-X	顕石	130.0	42.0	41.0	431.2	不鑑定	
154	3			8113	14 北東捨	V108	TR2-8層	5-X	顕石	92.0	66.7	34.2	259.0	凝灰岩	
154	4	104	4	8074	14 北東捨	トロンツ 1-5-6	TR2-8層	5-X	顕石	92.0	85.0	43.0	354.2	凝灰岩	
154	5			8068	14 北東捨	ベルト 1-4	TR2-8層	5-X	顕石	94.9	992.5	32.5	328.0	凝灰岩	
154	6			8118	14 北東捨	ベルト 1-4	TR2-8層	5-X	顕石	84.5	77.3	42.1	301.7	凝灰岩	
154	7	107	1	8079	14 北東捨	V108	TR2-8層 +土層	5-X	顕石	112.0	107.0	44.0	394.6	凝灰岩	
154	8			8735	14 北東捨	トロンツ 1-2	TR2-8層	5-X	顕石	127.1	66.7	35.6	305.2	凝灰岩	
154	9			8745	14 北東捨	ベルト 1-2	TR2-8層	5-X	顕石	105.3	87.1	44.1	412.6	凝灰岩	
154	10	106	5	8073	14 北東捨	Vk47	TR2-8層 2-6層	5-X	顕石	105.0	62.0	40.0	372.5	凝灰岩	
154	11			8120	14 北東捨	ベルト 1-7	TR2-8層	5-X	顕石	129.2	86.5	45.2	612.2	凝灰岩	
154	12			8115	14 北東捨	Vk48	TR2-8層	5-X	顕石	128.8	66.3	44.4	379.3	凝灰岩	
154	13			8061	14 北東捨	V146	TR2-8層	5-X	顕石	121.5	74.4	35.5	630.6	凝灰岩	
154	14			8087	14 北東捨	V145	TR2-8層	5-X	顕石	84.2	42.5	38.1	193.2	凝灰岩	
154	15			8076	14 北東捨	V146	5-9層	5-X	顕石	77.0	92.5	28.1	153.0	凝灰岩	
154	16			8111	14 北東捨	V845	TR2-8層	5-X	顕石	104.5	75.5	35.6	298.6	凝灰岩	
154	17			8083	14 北東捨	V845	TR2-8層	5-X	顕石	125.5	106.9	33.6	735.0	凝灰岩	
154	18	107	2	8067	14 北東捨	V145	TR2-8層	5-X	顕石	117.0	62.0	31.0	266.2	凝灰岩	
154	19			8125	14 北東捨	トロンツ 1-5-7	TR6-1層	5-X	顕石	113.4	74.9	61.4	809.7	灰山石	
154	20			8100	14 北東捨	トロンツ 1-5	TR6-1層 2層	5-X	顕石	104.1	68.4	35.1	322.0	凝灰岩	
154	21			8103	14 北東捨	トロンツ 1-6	TR6-1層 2層	5-X	顕石	131.0	63.7	43.1	519.7	凝灰岩	
154	22	105	2	8086	14 北東捨	V144	TR6-2層	5-X	顕石	309.0	48.0	36.0	289.0	凝灰岩	
154	23			8100	14 北東捨	V144	TR6-3層 1-6層	5-4272	顕石	108.1	83.7	56.0	677.3	凝灰岩	
154	24			8094	14 北東捨	V144 プロック 4011	TR6-3層 1-6層	5-X	顕石	122.5	74.6	46.6	309.9	凝灰岩	
154	25			2014	14 北東捨	トロンツ 1-4	不明	5-X	顕石	140.4	89.2	54.6	839.4	凝灰岩	
155	1	105	1	5307	14 北東捨	トロンツ 1-2	TR6-3層 45層	5-X	顕石	129.0	109.0	27.0	492.4	凝灰岩	青柳ともに中央に黒染

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(8)

発掘調査番号	番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
153	2		4222	14 北東路	トレンパ 1-1	TR1-1 1-7層	S-X	石蓋	190.0	154.9	86.0	2280.0	緑色凝灰岩	素材面中央部に凹み状の磨面、黒色物付着
153	3		7780	14 北捨	V406 セツ交点	黄土	S-X	石鐮	86.0	123.0	64.0		凝灰岩	石製品 報告書簿巻1編第2巻 第1部5頁
153	4		2030	14 北東路	トレンパ 1-1	TR1-1 1-7層	S-X	石鐮	73.8	68.7	26.3	141.1	凝灰岩	
153	5		4249	14 北東路	V453	8層1期	S-X	石蓋	145.0	120.9	65.0	1300.0	緑色凝灰岩	報告書簿巻1編第2巻 第1部5頁
153	6		4285	14 北東路	V146 ペルト 1-5	TR1-1 1-5層	S-X	石蓋	325.0	185.9	61.0	2920.0	凝灰岩	表面磨面、一部に磨灰面
153	7		4193	14 北東路	トレンパ 1-1	TR1-1 1-7層	S-X	鎌刃	171.0	128.9	27.2	863.4	緑色凝灰岩	
156	1		4194	14 北東路	トレンパ 1-1	TR1-1 1期	S-X	石蓋	127.0	146.0	27.0	300.0	凝灰岩	素材面の縁平小凸面 に磨面
156	2		4221	14 北東路	V147	北東路 埋没面	S-X	石蓋	220.0	177.9	47.0	2800.0	花岩	表面磨面
156	3		4197	14 北東路	V147	1期	S-X	石蓋	302.0	204.9	32.0	2540.0	凝灰岩	
156	4		4227	14 北東路	V145	1期	S-X	石蓋	273.2	188.2	34.1	5400.0	緑色凝灰岩	凹み磨面、凹み平小 凸面行状、購入自然石立
156	5		4213	14 北東路	V145	1-2層	S-X	石蓋	242.0	218.0	33.0	4886.0	緑色凝灰岩	華状の灰白色帯、表面 磨面
156	6		4147	14 北東路	V146 プロック 4032-2	TR1-1 4層	S-4132	石蓋	480.6	410.9	128.0	16680.0	ゲイサイト	縁付、鉄熱黒色化
156	7	108	4365	14 北東路	V406	TR1-4.5 層	S-4341	石蓋	223.0	152.0	86.0	3229.7	緑色凝灰岩	平裏
156	8	108	2 4366	15 北東路	東横トレン パ2	不明	S-4002	石蓋	223.0	163.0	82.0	3246.5	凝灰岩	平裏
157	1		4284	14 北東路	V405	TR1-1 4層	S-X	石蓋	240.0	278.9	36.0	2140.0	相馬火山岩	表面に磨面と赤色磨 面、表面は除磨面で大 きく剥離
157	2		4160	14 北東路	V407 プロック 4052-3	TR1-1 4層	S-4283	石蓋	340.0	200.9	78.0	3000.0	凝灰岩	鉄熱により赤色・黒色 化
157	3		4149	14 北東路	V406 ペルト 1-5	TR1-1 4.5層	S-X	石蓋	204.7	94.9	35.6	860.0	緑色凝灰岩	
157	4		4183	14 北東路	トレンパ 1-6	TR1-1 6層	S-X	石蓋	140.0	96.0	23.0	3000.0	凝灰岩	赤色面付着、機面 縁状痕
157	5		4185	14 北東路	トレンパ 1-6	TR1-2 層	S-X	石蓋	178.4	153.2	17.2	780.0	相馬火山岩	
157	6		4209	14 北東路	V406	TR1-1 4.5層	S-X	石蓋	234.0	293.0	36.0	12080.0	緑色凝灰岩	素材面の中央部に凹み を伴った磨面
158	1		4326	14 北東路	V145	2層	S-X	石蓋	492.0	257.9	117.0	14600.0	花岩	
158	2		8094	14 北東路	V147 ペルト 1-5	TR1-1 5層	S-X	石蓋	375.0	425.0	80.0	17840.0	相馬火山岩	表面に磨ら小凸磨面
158	3		4308	14 北東路	V147 プロック 4018	TR2-1 4層	S-4075	石蓋	288.0	172.0	68.0	2860.0	緑色凝灰岩	正歯縁付き
158	4		4175	14 北東路	ペルト 2-8	TR2-1 7層	S-X	石蓋	225.0	208.0	26.0	640.0	凝灰岩	
158	5		4157	14 北東路	V146	TR1-1 4層	S-4311	石蓋	—	—	—	6700.0	緑色凝灰岩	表面磨面、正面に5層 の砥面と磨面
158	6		4329	14 北東路	V447 ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-4254	石蓋	378.0	224.0	28.0	4740.0	凝灰岩	表面磨面
158	7		4328	14 北東路	V447 ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-4245	石蓋	340.0	172.0	28.0	2020.0	緑色凝灰岩	表面磨面
158	8		4297	14 北東路	V147 プロック 4050	TR2-1 1期	S-4288	石蓋	299.0	376.0	113.0	94200.0	凝灰岩	赤色面付着多量付着の ため剥離して写真
158	9		4219	14 北東路	トレンパ 2-4	TR2-1 2層	S-X	石蓋	257.0	200.0	700.0	4900.0	緑色凝灰岩	鉄熱による赤色・黒色 化、縁付剥離
158	10		4196	14 北東路	V406	TR2-1 1-2層	S-X	石蓋	244.0	240.0	14.0	620.0	相馬火山岩	4層結合
158	11		4310	14 北東路	トレンパ4 プロック 4005	TR2-1 4層	S-4045	石蓋	412.0	273.0	68.0	8020.0	緑色凝灰岩	縁付き、中央の機面 は磨ら小凸、表面に成 形時の縁付痕が凹みと して残る
159	1		4181	14 北東路	トレンパ 1-1	TR1-1 4層	S-X	石蓋	200.0	154.0	24.0	1360.0	相馬火山岩	表面磨面
159	2		4189	14 北東路	V147 ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-X	石蓋	184.0	98.0	21.0	300.0	相馬火山岩	3層結合、表面に磨面
159	3		4195	14 北東路	V447 ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-X	石蓋	200.0	137.4	36.4	940.0	緑色凝灰岩	縁付、唇状の凹み状 痕として使用か
159	4		4184	14 北東路	V447 ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-X	石蓋	150.0	161.0	15.0	300.0	凝灰岩	表面に赤色顔料
159	5		4192	14 北東路	ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-X	石蓋	180.0	120.0	33.0	600.0	相馬火山岩	赤色顔料
159	6		4210	14 北東路	トレンパ 1-2層	TR1-1 2層	S-X	石蓋	178.0	147.0	38.0	1120.0	緑色凝灰岩	表面磨面
159	7		4200	14 北東路	V147 ペルト 1-5	TR2-1 4層	S-X	石蓋	186.0	90.0	12.0	120.0	相馬火山岩	石製刃物?
159	8		4218	14 北東路	V148 プロック 1-4	TR2-1 4層	S-X	石蓋	225.0	134.0	45.0	1900.0	緑色凝灰岩	器体中央部を中心に磨面
159	9		4212	14 北東路	V447	TR2-1 4層	S-X	石蓋	223.0	145.0	31.0	860.0	凝灰岩	正歯磨面、表面磨面

表16 北東拾場地区 石器・石製品観察表(9)

探検隊番号	番号	回収番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図様	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
159	10		4217	14 北東拾	ベムト2.5 東塚付石	TR2-C層	S-4204	石蓋	302.0	97.0	36.0	1240.0	緑閃岩	両面磨面	
160	1		4305	14 北東拾	ベムト3-1	TR2-C層	S-X	石蓋	234.0	179.0	76.0	2760.0	砂質凝灰岩	両面磨面	
160	2		4188	14 北東拾	ベムト3-1	TR2-C層	S-X	石蓋	212.0	130.0	25.0	8200.0	相馬雲山岩	両面磨面	
160	3		4186	14 北東拾	V148	TR2-C層	S-X	石蓋	270.0	158.0	13.0	780.0	相馬雲山岩	両面磨面・磨面。一部微熱し黒色化	
160	4		4211	14 北東拾	V845	TR2-C層	S-X	石蓋	156.0	162.0	81.0	960.0	緑色凝灰岩	縁付	
160	5		4213	14 北東拾	V447	TR2-C層	S-X	石蓋	290.0	233.0	45.0	2760.0	緑閃岩	縁状磨み・磨面	
160	6		4159	14 北東拾	V145	TR2-C層	S-X	石蓋	181.0	189.0	78.0	1800.0	緑色凝灰岩	縁付。機産面に磨面した 厚い縁状磨み。並製品?	
160	7		4199	14 北東拾	両面トロンパ 1-2-9	不明	S-X	石蓋	83.0	62.0	16.0	300.0	緑閃岩	片断	
160	8		4187	14 北東拾	ベムト 1-2-9	不明	S-X	石蓋	156.0	119.0	20.0	3000.0	相馬雲山岩	強い磨面	
161	1		4215	14 北東拾	V447	TR2-C層	S-4206	石蓋	330.0	314.0	56.0	6300.0	緑閃岩	両面磨面	
161	2		4172	14 北東拾	ベムト3-3	TR2-C層	S-4303-1	石蓋	485.0	450.0	136.0	19660.0	安山岩	両面磨面、両面縁付	
161	3		4171	14 北東拾	ベムト3-3	TR2-C層	S-4303-2	石蓋	525.0	242.0	133.0	3960.0	安山岩		
161	4		4288	14 北東拾	ベムト3-2	TR2-C層	S-4305	石蓋	450.0	340.0	104.0	12760.0	緑閃岩	中央部付石に磨らな 磨面	
161	5		4331	14 北東拾	V147 ブロック 8011	TR2-C層	S-4056	石蓋	368.0	294.0	96.0	13000.0	緑閃岩		
161	6		4153	14 北東拾	V148 ブロック 8018	TR2-C層	S-4074	石蓋	(220.0)	(160.0)	55.0	2860.0	緑色凝灰岩	縁付、縁状磨	
161	7		4150	14 北東拾	ブロック 8017	TR2-C層	S-4072	石蓋	286.0	380.0	105.0	6860.0	緑色凝灰岩	縁付	
161	8		8060	14 北東拾	不明	TR2-C層	S-4326	石蓋	553.0	463.0	49.0	10220.0	相馬雲山岩		
162	1		4158	14 北東拾	トロンパ3 ブロック 8073	TR1-C層	S-4323	砥石	290.5	159.4	60.3	3460.0	緑色凝灰岩	磨紙研、両面使用	
162	2		4226	14 北東拾	トロンパ 3-8	TR1-C層	S-X	石蓋	318.0	204.0	36.0	3340.0	砂岩	磨面で黒色・赤色化。 磨らな磨面	
162	3		4225	14 北東拾	トロンパ 3-8	TR1-C層	S-4178	石蓋	363.0	390.0	82.0	13440.0	緑閃岩	縁付、磨らな磨面で 一部だけ磨面	
162	4		4309	14 北東拾	トロンパ3	不明	S-X	石蓋	456.0	296.0	109.0	10660.0	安山岩	上面からついた磨面。 表面に磨らな磨面	
162	5		4199	14 北東拾	トロンパ 4-5	TR1-C層	S-X	石蓋	170.0	130.0	25.0	600.0	相馬雲山岩	縁状磨面、両面使用	
162	6		4230	14 北東拾	V144	機産面 TR1-C層	S-4175	石蓋	464.0	338.0	43.0	7100.0	相馬雲山岩	両面磨面	
162	7		4232	14 北東拾	V150 両面トロン パ15	不明	S-X	石蓋	194.0	178.0	23.0	580.0	緑閃岩	両面に磨面及び縁状磨 ・磨面	
162	8		4223	14 北東拾	トロンパ 15	TR1-C層	S-X	石蓋	262.0	250.0	56.0	4760.0	緑色凝灰岩	石種キアスファルト	
162	9	107	4	7730	14 北東拾	V447 ベムト2.5	TR2-C層	S-X	152.0	169.0	34.0	1952.0	緑閃岩	石種?	
162	10	107	3	7741	14 北東拾	V447 トロンパ 1-7	TR2-1層	S-X	182.0	196.0	45.0	1867.5	緑閃岩	石種?	
162	11	114	5	7737	14 北東拾	トロンパ 2-6-1	TR2-1層	S-X	169.0	72.5	24.0	362.0	相馬雲山岩	破片、石製円盤?	
163	1	110	4	3042	14 北東拾 川原平(1)遺跡	V1-2層 S-X	S-328 S-X	石刀	351.0	32.8	14.6	198.2	緑閃岩質板岩	柄と切つ先欠損。刃部、 刃のミミに磨らな磨面。 凹面	
163	2	109	5	3135	14 北東拾	V447 ベムト 3-8	S-4048	石刺	292.0	31.0	18.0	305.0	点紅粒板岩	柄部欠損	
163	3	109	1	3043	14 北東拾	V447 ブロック 8073	TR2-C層 S-4336	石棒	314.0	34.0	27.0	478.8	点紅粒板岩	柄部欠損	
163	4	109	3	3128	14 北東拾	ベムト 2.5	TR2-C層 表面	S-X	石棒	314.7	33.0	24.2	412.9	緑閃岩	断片
163	5	109	4	3009	14 北東拾 15 西拾場	V123 トロンパ11 ブロック 8061	TR2-1層 磨面中	S-4291 S-X	石棒刺	185.0	33.2	18.5	106.1	緑閃岩質板岩	柄・切つ先欠損。平柄
163	6	109	7	3133	14 北東拾	トロンパ11 ブロック 8027	TR2-C層	S-4100	石刺	95.0	30.2	15.3	49.0	緑閃岩	両面と体部の間に2条 溝
163	7	110	2	3131	14 北東拾	トロンパ11	TR1-1層	S-4098	石刺	112.6	32.0	18.3	117.3	緑閃岩質板岩	両面と体部の間に2条 溝
163	8	109	6	3106	14 北東拾	V345 東塚1層	TR1-2層	S-4078	石刺	147.1	32.0	18.0	107.5	緑閃岩	柄部欠損文。平柄
163	9	110	3	3130	14 北東拾	トロンパ9	TR1-C層	S-X	石刺	161.5	30.0	16.0	103.5	点紅粒板岩	柄部と体部の間に2条 溝
163	10	108	2	3132	14 北東拾	ベムト14	TR1-C層	S-X	石刺	178.0	30.1	18.0	100.1	緑閃岩質板岩	柄部と体部の間に2条 溝
164	1		3014	14 北東拾	V145	TR1-C層	S-4163	石棒刺	165.0	28.4	14.3	91.0	緑閃岩質板岩	断片。刃部1条	
164	2		3129	14 北東拾	ベムト3-1	TR2-C層	S-4302	石棒	162.0	27.6	16.5	104.7	緑閃岩質板岩	先端磨片	
164	3		3134	14 北東拾	V446	TR2-C層	S-X	石棒	132.0	27.0	21.0	97.4	緑閃岩質板岩	先端磨片	
164	4	110	1	3005	14 北東拾 14 東拾場 14 北東拾	V147-48 磨面トロン パ1	TR2-1層 S-X TR-5108	石棒	136.7	32.5	27.4	197.0	緑閃岩	断片	
164	5	110	5	2102	14 北東拾	磨面トロン パ1	不明	S-X	石棒	107.0	77.0	70.0	832.1	安山岩	縁付で刃部欠損
164	6		823	14 北東拾	V147	TR2-C層	S-X	石製品	49.4	60.7	12.2	30.1	緑閃岩	正磨面片。赤色顔料付	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(10)

探検隊 隊番号	番号	図例 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特命	部類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
161	7		962	14 北東捨	V147	TR1-3層	S-X	石製凸	112.3	83.4	26.2	347.0	緑色頁岩		
161	7	111	3	6119	14 北東捨	トロンパ7	TR1-1層	S-X	石版	87.0	58.0	17.0	82.6	緑色頁岩	
161	7	111	7	6123	14 北東捨	V815	TR1-2層	S-X537	石版	78.0	67.0	25.0	150.5	緑色頁岩	
161	7	111	5	6123	14 北東捨	V145	緑地帯	S-8991	石版	80.6	56.0	32.0	138.3	緑色頁岩	
161	4	111	6	6120	14 北東捨	V196 アブツク 0521-1	TR1-4層	S-8134	石版	89.0	57.0	14.0	88.6	緑色頁岩	
161	5	111	1	6121	14 北東捨	ベムト1	TR1-3層	S-8158	石版	61.0	65.0	12.0	64.3	緑色頁岩	
161	6	112	2	6126	14 北東捨	トロンパ1 0119	TR1-4層	S-8996	石版	96.0	56.0	16.0	80.6	緑色頁岩	
161	7	111	9	6124	14 北東捨	V048	1層	S-X	石版	87.0	72.0	12.0	121.1	緑色凝灰岩	
161	8	111	2	6117	14 北東捨	トロンパ4	TR1-6層	S-X	石版	79.0	53.0	13.0	61.7	緑色頁岩	
161	9	111	8	6122	14 北東捨	トロンパ6	TR1-4層	S-X	石版	51.0	51.0	16.0	29.6	緑色頁岩	
161	10	112	5	6127	14 北東捨	トロンパ6	TR1-4層	S-X	石版	89.0	53.0	18.0	113.0	緑色頁岩	
161	11		6118	14 北東捨	ベムト5	TR1-4層	S-X	緑地帯	89.7	38.6	6.0	18.9	緑色頁岩		
161	12	111	4	6116	14 北東捨	V196	TR1-4.3層	S-X	石版	89.0	41.0	7.0	26.0	緑色頁岩	
161	1		6179	14 北東捨	V814	1層	S-X	石製円盤	54.6	48.0	21.0	77.2	水凝定	埋理面赤色	
161	2		6175	14 北東捨	トロンパ0	1層	S-X	石製円盤	67.7	59.6	22.6	121.7	水凝定	相馬堂山岩 アスファルト	
161	3		2019	14 北東捨	V816	1層	S-X	石製円盤	65.1	44.0	32.2	29.6	水凝定	アササイト	
161	4		5250	14 北東捨	V049	1層	S-X	石製円盤	69.4	61.0	24.3	154.0	緑色頁岩		
161	5		6148	14 北東捨	V147	1層	S-X	石製円盤	91.0	76.0	12.6	101.7	石灰岩		
161	6		6177	14 北東捨	トロンパ0	1層	S-X	石製円盤	142.0	124.6	23.1	701.3	アササイト		
161	7	112	8	6133	14 北東捨	V147	埋理	S-X	石製円盤	65.0	55.0	23.0	112.8	水凝定	アササイト
161	8		6174	14 北東捨	トロンパ2	不明	S-X	石製円盤	44.4	41.5	16.6	24.2	水凝定		
161	9		6181	14 北東捨	V145	1層-2層	S-X	石製円盤	50.0	46.7	13.1	54.2	緑色凝灰岩		
161	10		6173	14 北東捨	トロンパ4	TR1-2層	S-X	石製円盤	87.8	63.8	12.4	105.3	緑色凝灰岩		
161	11		2055	14 北東捨	ベムト2	TR1-6層	S-X	石製円盤	80.7	47.1	19.5	162.0	相馬堂山岩		
161	12	113	3	7718	14 北東捨	ベムト1	TR1-1層	S-X	石製円盤	77.0	74.0	26.0	211.7	アササイト	新産品用
161	13		6123	14 北東捨	トロンパ 1-3層-5	TR1-4層	S-8054	石製円盤	85.0	75.1	32.6	293.8	石灰岩		
161	14		6130	14 北東捨	ベムト1	TR1-1層	S-X	石製円盤	54.3	42.8	16.0	59.7	水凝定		
161	15		5242	14 北東捨	トロンパ 1-3層-5	TR1-4層	S-X	石製円盤	71.0	63.6	9.4	66.8	相馬堂山岩		
161	16		6144	14 北東捨	トロンパ1 アブツク 0066	TR1-4層	S-X	石製円盤	73.0	66.7	15.0	105.9	水凝定		
161	17	113	1	7722	14 北東捨	V196	TR1-4層	S-X	石製円盤	64.0	55.0	15.0	75.4	緑色頁岩	
161	18		6111	14 北東捨	V817 アブツク 0522	TR1-4層	S-4260	石製円盤	51.7	47.4	6.6	21.4	アササイト		
161	19	113	0	796	14 北東捨	V196	TR1-4層	S-X	石製円盤	91.7	55.2	12.8	88.3	緑色頁岩	磨削
161	20		6143	14 北東捨	ベムト1	TR1-1層	S-X	石製円盤	64.2	60.8	16.1	88.4	水凝定		
161	21		6120	14 北東捨	V816 アブツク 0521-1	TR1-4層	S-4256	石製円盤	54.8	52.4	20.5	85.9	水凝定		
161	22		6140	14 北東捨	V816	TR1-1層	S-X	石製円盤	50.9	48.1	15.4	96.1	アササイト		
161	23		6126	14 北東捨	V196	TR1-1層	S-X	石製円盤	65.0	61.3	18.8	90.8	緑色凝灰岩		
161	24		6170	14 北東捨	V196	TR1-1層	S-X	石製円盤	83.6	75.0	28.3	236.5	アササイト		
161	1		789	14 北東捨	V196	TR1-1層	S-X	石製円盤	56.2	62.1	22.7	120.6	水凝定	磨削定着物	
161	2		6168	14 北東捨	V816	TR1-6層	S-X	石製円盤	65.0	49.6	15.4	61.3	緑色凝灰岩		
161	3		6138	14 北東捨	トロンパ 1-7層-8	TR1-6層	S-X	石製円盤	59.6	59.4	13.6	73.4	相馬堂山岩		
161	4	113	4	7660	14 北東捨	トロンパ2	TR1-6層	S-X	石製円盤	34.0	32.0	15.0	96.5	緑色頁岩	
161	5		6131	14 北東捨	トロンパ2	TR1-6層	S-X	石製円盤	64.5	55.5	12.4	66.6	相馬堂山岩		
161	6		61209	14 北東捨	トロンパ 1-7層-8	TR1-6層	S-X	石製円盤	54.6	51.3	15.5	40.0	緑色凝灰岩		
161	7		4488	14 北東捨	トロンパ8	TR1-6層	S-X	石製円盤	43.1	43.4	17.2	11.1	緑色頁岩		
161	8		61209	14 北東捨	トロンパ 1-7層	TR1-6層	S-X	石製円盤	68.3	63.7	21.0	133.1	水凝定		
161	9		6148	14 北東捨	V196	TR1-1層	S-X	石製円盤	85.0	62.9	19.7	131.1	緑色凝灰岩		
161	10		6131	14 北東捨	トロンパ 1-6層-8	TR1-6層	S-X	石製円盤	77.9	67.6	26.0	107.6	緑色頁岩		
161	11		61180	14 北東捨	トロンパ 1-5	TR1-6層	S-X	石製円盤	72.0	63.1	17.4	90.7	石灰岩		
161	12		61252	14 北東捨	トロンパ 2-3	TR1-2層	S-X	石製円盤	66.5	62.8	21.2	110.9	緑色凝灰岩		
161	13		5338	15 北東捨	トロンパ 2層-7	TR1-1層	S-X	石製円盤	114.2	94.7	13.4	184.0	相馬堂山岩		
161	14		617	14 北東捨	トロンパ 2-4	TR1-1層	S-X	石製円盤	32.8	28.4	10.9	12.4	緑色頁岩		
161	15		6177	14 北東捨	V196	TR1-2層	S-X	石製円盤	45.2	43.5	8.7	24.9	相馬堂山岩		
161	16		6127	14 北東捨	V147	TR1-1層	S-X	石製円盤	53.4	51.0	16.3	62.5	緑色凝灰岩		
161	17		5388	14 北東捨	トロンパ 2層-6	TR1-2層	S-X	石製円盤	96.9	73.8	10.9	89.2	アササイト	手摺6角形、1辺磨削、 縦溝刻線、埋理面赤色	
161	18		5385	14 北東捨	トロンパ 2-2	TR1-2層	S-X	石製円盤	58.2	54.2	13.8	54.1	相馬堂山岩	手摺6角形、磨削	
161	19		5337	14 北東捨	ベムト 2-7	TR1-6層	S-X	石製円盤	107.9	84.9	23.8	194.2	相馬堂山岩		

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(11)

探検隊番号	番号	図帳番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
167	20		h335	14 北東捨	V147	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	72.6	65.2	23.8	136.6	デイサイト	
167	21		h352	14 北東捨	トレンゾ 2-4	TR2-b層	5-X	石製円盤	50.1	44.9	15.9	52.9	成山岩	黒色灰着物
167	22		h365	14 北東捨	V147	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	63.8	60.5	15.0	78.6	相馬堂山岩	アスファルト
167	23		h3331	14 北東捨	トレンゾ 2-6	TR2-b層	5-X	石製円盤	59.4	55.2	12.1	67.7	扇状岩	
167	24		h3260	14 北東捨	TR2-a <sup>+</sup> a2層	TR2-b <sup>+</sup> b2層	5-X	石製円盤	77.2	65.2	23.8	147.1	扇状岩	
167	25		h3188	14 北東捨	ペルト 2-3	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	72.4	62.2	27.9	140.7	デイサイト	
167	26		h3193	14 北東捨	ペルト 2-7	TR2-b層	5-X	石製円盤	56.4	71.4	24.3	101.3	緑色扇状岩	
168	1		h3289	14 北東捨	V147	TR2-b層	5-X	石製円盤	53.1	52.4	16.6	63.0	扇状岩	黒石武岩
168	2		h3292	14 北東捨	トレンゾ 2-5	TR2-b層	5-X	石製円盤	62.5	67.8	16.5	73.4	扇状岩	
168	3		h3155	14 北東捨	V147 ペルト 2-3	TR2-b層	5-X	石製円盤	60.7	46.1	15.2	70.1	デイサイト	
168	4		2046	14 北東捨	V146	TR2-b <sup>+</sup> b2層	5-X	石製円盤	32.6	38.5	7.1	8.8	扇状岩	
168	5		h3120	14 北東捨	トレンゾ 2-4	TR2-b層	5-X	石製円盤	73.4	66.3	25.6	183.3	成山岩	
168	6	113	7328	14 北東捨	V147 トレンゾ 2-3層	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	23.0	22.0	9.0	5.9	扇状岩	
168	7		h3162	14 北東捨	V147	TR2-b <sup>+</sup> b2層	5-X	石製円盤	47.0	47.3	13.9	39.8	未鑑定	
168	8		h3330	14 北東捨	トレンゾ 1-2	TR2-b <sup>+</sup> b2層	5-X	石製円盤	63.0	46.8	17.2	37.1	扇状岩	
168	9		5394	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	TR2-b層	5-X	石製円盤	103.4	95.3	36.4	139.3	扇状岩	不明円盤、3ヶ所で割 断加工、黒色
168	10		5681	14 北東捨	TR2-a <sup>+</sup> a2層	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	69.6	43.9	9.3	24.7	扇状岩	
168	11		h361	14 北東捨	TR2-a <sup>+</sup> a2層	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	68.2	58.2	25.2	136.3	成山岩	アスファルト
168	12		h3232	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	TR2-b層	5-X	石製円盤	99.6	92.7	26.2	217.6	扇状岩	
168	13		2298	14 北東捨	V146	TR2-b層	5-X	石製円盤	134.8	89.5	26.2	294.8	扇状岩	素材が磁石加工部分 少ない
168	14		h3257	14 北東捨	トレンゾ 2-1	TR2-a層	5-X	石製円盤	98.2	98.3	21.2	333.7	成山岩	
168	15		h315	14 北東捨	V147 ペルト 2-3	TR2-a層	5-X	石製円盤	75.6	68.2	24.3	192.4	成山岩	
168	16		h3289	14 北東捨	V147	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	67.8	62.3	22.6	137.1	成山岩	
168	17		h321	14 北東捨	V147	TR2-b層	5-X	石製円盤	53.7	52.9	24.0	60.4	緑色扇状岩	
168	18		h327	14 北東捨	V147	不明	5-X	石製円盤	53.4	51.1	17.5	63.3	デイサイト	アスファルト剥離部分 にも
168	19		h397	14 北東捨	V147	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	48.0	43.3	12.2	36.9	未鑑定	アスファルト
168	20		h3298	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	TR2-b層	5-X	石製円盤	58.1	54.9	16.3	144.2	未鑑定	
168	21		h3110	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	TR2-b層	5-X	石製円盤	60.5	38.5	14.9	27.0	デイサイト	
168	22		h3227	14 北東捨	ブロッコ 4027	TR2-b層	特-4013	石製円盤	63.8	44.5	17.4	27.7	扇状岩	
168	23		h3189	14 北東捨	V147	TR2-b層	5-X	石製円盤	51.8	42.9	24.4	36.7	成山岩	
168	24		h3190	14 北東捨	トレンゾ 1-4	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	73.9	60.8	37.5	349.1	未鑑定	
168	25		h351	14 北東捨	ペルト 1-3-6	TR2-a層	5-X	石製円盤	74.8	71.4	17.1	130.1	緑色扇状岩	
168	26		h3117	14 北東捨	ペルト 1-3-7	TR2-a層	5-X	石製円盤	69.3	63.7	21.3	163.3	成山岩	
168	27		h3170	14 北東捨	ペルト 1-3-6	TR2-a層	5-X	石製円盤	60.6	56.4	5.6	25.8	扇状岩	
168	28		h3330	14 北東捨	V146	TR2-a層	5-X	石製円盤	44.6	44.9	11.9	32.4	デイサイト	
169	1		h327	14 北東捨	V146	TR2-b層	5-X	石製円盤	67.4	63.4	18.8	101.9	成山岩	
169	2	113	h3158	14 北東捨	11-73-1	TR2-b <sup>+</sup> b2層	5-X	石製円盤	47.0	43.0	17.0	34.1	扇状岩	扇状
169	3		h356	14 北東捨	V145	TR2-a層	5-X	石製円盤	54.0	48.7	7.9	25.1	デイサイト	
169	4	113	h3167	14 北東捨	V145	TR2-a層	5-X	石製円盤	42.0	43.0	15.0	38.0	緑色扇状岩	
169	5		h3268	14 北東捨	ペルト 2-3	TR2-b層	5-X	石製円盤	84.6	82.5	25.0	251.2	デイサイト	
169	6		h3217	14 北東捨	TR2-a <sup>+</sup> a2層	TR2-b層	5-X	石製円盤	63.2	77.2	18.5	151.6	成山岩	
169	7		h3251	14 北東捨	V145	TR2-a層	5-X	石製円盤	64.5	58.5	23.1	115.0	緑色扇状岩	
169	8		h3315	14 北東捨	V145	TR2-a層	5-X	石製円盤	64.5	60.2	36.4	104.7	相馬堂山岩	
169	9		h346	14 北東捨	トレンゾ 1-5	TR2-b層	5-X	石製円盤	64.7	55.8	12.2	96.9	相馬堂山岩	赤色顔料付着、右端 部欠損
169	10		h3239	14 北東捨	V144	TR2-b層	5-X	石製円盤	44.0	38.7	8.6	25.1	扇状岩	
169	11		2057	14 北東捨	ペルト 1-2-6	TR2-b層	5-X	石製円盤	62.9	67.8	16.5	139.4	扇状岩	
169	12		h3149	14 北東捨	トレンゾ 1-1	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	70.8	55.1	34.1	122.6	成山岩	
169	13	112	9 7744	14 北東捨	トレンゾ 1-2	TR2-a <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	45.0	52.0	55.0	17.9	相馬堂山岩	
169	14		2048	14 北東捨	トレンゾ 1-1	TR2-b層	5-X	石製円盤	59.0	51.9	20.3	72.9	成山岩	
169	15		h376	14 北東捨	トレンゾ 1-1	TR2-b層	5-X	石製円盤	62.1	56.4	13.1	66.6	相馬堂山岩	赤色顔料付着、右端 部欠損

表16 北東拾場地区 石器・石製品観察表(12)

発掘 調査年	番号	国庫 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
100	16		h134	14 北東捨	トロンパ1	TR6-2層	S-X	石製円盤	101.1	94.3	20.7	300.0	緑色頁岩		
100	17		2016	14 北東捨	トロンパ2	不明	S-X	石製円盤	93.0	92.3	25.3	330.1	緑色頁岩		
100	18		2206	14 北東捨	トロンパ1	不明	S-X	石製円盤	81.4	77.3	23.1	190.4	緑色頁岩	石製5角形、風化	
100	19		h1204	14 北東捨	斜面トレン チン2	不明	S-X	石製円盤	100.8	92.6	23.2	338.5	アズワルト		
100	20		h1316	14 北東捨	トロンパ2	不明	S-X	石製円盤	87.3	56.5	9.0	86.1	アズワルト		
100	21		h171	14 北東捨	斜面トレン チン	不明	S-X	石製円盤	87.4	66.7	16.0	83.3	相馬安山岩		
100	22		786	14 北東捨	トロンパ1	不明	S-X	石製円盤	109.0	59.7	26.7	93.0	K鑑定		
170	1		h1065	14 北東捨	トロンパ1	不明	S-X	石製円盤	84.0	82.2	13.4	81.8	緑頁岩		
170	2		h138	14 北東捨	斜面トレン チン2	不明	S-X	石製円盤	87.1	61.8	18.6	104.9	アズワルト		
170	3		h1336	14 北東捨	V068	不明	S-X	石製円盤	68.2	57.5	23.0	136.7	緑頁岩	報告書簿第1編第2巻 第1巻巻頭	
170	4		10229	14 北東捨	V106	TR26~ I-4層	S-8000	自然産	126.3	120.4	65.4	1142.3	緑閃石		
170	5	114	3	7719	14 北東捨	トロンパ2 P025付着	TR3-6層	S-X	石製品	142.0	49.0	17.0	125.4	砂質緑頁岩	棒状で割離あり
170	6	112	3	2045	14 北東捨	トロンパ2	不明	S-X	石製品	37.8	35.5	7.3	7.6	緑閃石	破片、鏡面、赤色
170	7		2609	14 北東捨	V145	TR3-3層	S-X	石製品	15.6	10.2	10.6	7.0	シルト岩		
170	8		810	14 北東捨	V845	I層	S-X	石製品	15.6	14.0	8.3	10.2	緑閃石		
170	9		4707	14 北東捨	RV56	K1層I層	特-267	自然産	61.7	22.0	13.4	10.6	K鑑定	報告書簿第1編第2巻 第1巻巻頭	
170	10		2823	14 北東捨	V106 P022-1	TR1-4層	S-X	玉磨材	22.3	19.5	16.4	6.4	緑色凝灰岩		
170	11		805	14 北東捨	V107	緑泥岩	S-X	玉磨材	13.3	12.9	7.0	1.0	緑色凝灰岩		
170	12		6455	14 北東捨	V109	特-3064	玉磨材	14.3	16.0	8.0	1.8	緑色凝灰岩	報告書簿第1編第2巻 第1巻巻頭		
170	13	114	4	7776	14 北東捨	V145	TR3-3層	S-X	石製品	133.0	109.0	53.0	776.7	灰山岩	有孔
170	14	114	1	7520	14 北東捨	トロンパ 2層-4	TR3-6層	S-4238	石製品	51.0	50.0	14.0	26.2	灰山岩	
170	15	106	6	2053	14 北東捨	V847	TR2-ウ層	S-X	石製品	58.0	56.0	26.0	130.8	緑閃石	
170	16	112	6	2047	14 北東捨	V845	I層	P-X	緑泥岩	52.0	24.0	20.3	12.8	緑閃石	
170	17	112	6	7721	14 北東捨	トロンパ1	不明	S-X	緑泥岩	54.0	48.0	16.0	31.9	緑閃石	
170	18	112	2	2061	14 北東捨	V847	TR3-4層	S-4068	石製円盤	57.8	59.7	11.9	54.8	緑色凝灰岩	鏡面、アズワルト
170	19	114	2	2061	14 北東捨	トロンパ2 P022付着	TR1-4層	S-X	石製品	60.0	40.0	35.0	108.9	緑色凝灰岩	鏡面
171	1	114	6	2209	14 北東捨	V846	鏡面	S-X	緑泥岩	92.8	84.5	25.4	128.2	緑閃石	
171	2		5342	14 北東捨	トロンパ2	TR3-6層	S-X	緑泥岩	56.5	54.6	18.2	74.6	緑閃石		
171	3		5206	14 北東捨	V106	TR1-4層	S-X	緑泥岩	63.7	49.0	11.0	35.1	緑閃石		
171	4	112	4	2056	14 北東捨	トロンパ2 TR1-2層付	TR3-6層	S-X	緑泥岩	118.1	74.3	26.6	300.5	緑色凝灰岩	鏡面
171	5		6057	14 北東捨	トロンパ3	TR1-4層	S-X	石製品	81.4	94.4	23.0	205.3	灰山岩	赤色鏡面	
171	6	114	7	821	14 北東捨	トロンパ1	TR3-2層	S-4081	石製品	88.2	61.7	34.4	115.1	緑色凝灰岩	赤色の粒
171	7	112	1	5343	14 北東捨	トロンパ1	TR3-1層	S-X	緑泥岩	91.4	83.9	29.2	198.2	緑閃石	鏡面
171	8		4492	14 北東捨	トロンパ5	TR1-4層	S-X	緑泥岩	56.6	55.5	11.8	47.2	緑閃石		
171	9		2721	14 北東捨	トロンパ9	TR2-ウ層	S-X	緑泥岩	78.2	53.5	6.9	32.9	緑閃石		
171	10	112	2	7756	14 北東捨	トロンパ1	不明	S-X	緑泥岩	137.0	107.0	21.0	445.3	緑閃石	鏡面





表17 北東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(2)

写真番号	型別	出土地点	層・備考	直径
3734-1	31	111	石製	14.0
3734-2	31	111	石製	8.0
3734-3	29	112	鉄製	8.0
3734-4	8	114	不明	9.7
3734-5	8	V401	石製	11.0
3734-6	8	V411	石製	11.0
3734-7	10	V411	石製	14.0
3734-8	10	V421	石製	11.0
3734-9	10	V431	石製	14.0
3734-10	10	V441	石製	11.0
3734-11	10	V451	石製	11.0

P301

3735-1	1	141	V461	不明	102.7
3735-2	2	141	V461	石製	76.0
3735-3	3	368	V471	石製	140.0
3735-4	3	368	V471	石製	110.0
3735-5	3	368	V471	石製	94.0
3735-6	3	368	V471	石製	83.0
3735-7	4	142	V471	石製	80.0
3735-8	8	448	V481	石製	77.4
3735-9	8	361	V481	石製	47.0
3735-10	10	170	V491	石製	74.0
3735-11	11	261	V491	石製	63.0
3735-12	11	360	V491	石製	49.0
3735-13	11	360	V491	石製	49.0
3735-14	11	361	V491	石製	47.4
3735-15	11	43	V491	石製	74.0
3735-16	11	43	V491	石製	66.0
3735-17	11	43	V491	石製	53.0
3735-18	14	141	V501	石製	83.0
3735-19	14	141	V501	石製	79.0
3735-20	14	141	V501	石製	83.0
3735-21	14	141	V501	石製	83.0
3735-22	16	366	V511	石製	65.0
3735-23	16	493	V511	石製	33.0
3735-24	16	493	V511	石製	33.0
3735-25	16	493	V511	石製	54.0
3735-26	16	493	V511	石製	51.0
3735-27	16	493	V511	石製	51.0
3735-28	16	493	V511	石製	51.0
3735-29	16	493	V511	石製	51.0
3735-30	16	493	V511	石製	51.0
3735-31	16	493	V511	石製	51.0
3735-32	16	493	V511	石製	51.0
3735-33	16	493	V511	石製	51.0
3735-34	16	493	V511	石製	51.0
3735-35	16	493	V511	石製	51.0
3735-36	16	493	V511	石製	51.0
3735-37	16	493	V511	石製	51.0
3735-38	16	493	V511	石製	51.0
3735-39	16	493	V511	石製	51.0
3735-40	16	493	V511	石製	51.0
3735-41	16	493	V511	石製	51.0
3735-42	16	493	V511	石製	51.0
3735-43	16	493	V511	石製	51.0
3735-44	16	493	V511	石製	51.0
3735-45	16	493	V511	石製	51.0
3735-46	16	493	V511	石製	51.0
3735-47	16	493	V511	石製	51.0
3735-48	16	493	V511	石製	51.0
3735-49	16	493	V511	石製	51.0
3735-50	16	493	V511	石製	51.0
3735-51	16	493	V511	石製	51.0
3735-52	16	493	V511	石製	51.0
3735-53	16	493	V511	石製	51.0
3735-54	16	493	V511	石製	51.0
3735-55	16	493	V511	石製	51.0
3735-56	16	493	V511	石製	51.0
3735-57	16	493	V511	石製	51.0
3735-58	16	493	V511	石製	51.0
3735-59	16	493	V511	石製	51.0
3735-60	16	493	V511	石製	51.0
3735-61	16	493	V511	石製	51.0
3735-62	16	493	V511	石製	51.0
3735-63	16	493	V511	石製	51.0
3735-64	16	493	V511	石製	51.0
3735-65	16	493	V511	石製	51.0
3735-66	16	493	V511	石製	51.0
3735-67	16	493	V511	石製	51.0
3735-68	16	493	V511	石製	51.0
3735-69	16	493	V511	石製	51.0
3735-70	16	493	V511	石製	51.0
3735-71	16	493	V511	石製	51.0
3735-72	16	493	V511	石製	51.0
3735-73	16	493	V511	石製	51.0
3735-74	16	493	V511	石製	51.0
3735-75	16	493	V511	石製	51.0
3735-76	16	493	V511	石製	51.0
3735-77	16	493	V511	石製	51.0
3735-78	16	493	V511	石製	51.0
3735-79	16	493	V511	石製	51.0
3735-80	16	493	V511	石製	51.0
3735-81	16	493	V511	石製	51.0
3735-82	16	493	V511	石製	51.0
3735-83	16	493	V511	石製	51.0
3735-84	16	493	V511	石製	51.0
3735-85	16	493	V511	石製	51.0
3735-86	16	493	V511	石製	51.0
3735-87	16	493	V511	石製	51.0
3735-88	16	493	V511	石製	51.0
3735-89	16	493	V511	石製	51.0
3735-90	16	493	V511	石製	51.0
3735-91	16	493	V511	石製	51.0
3735-92	16	493	V511	石製	51.0
3735-93	16	493	V511	石製	51.0
3735-94	16	493	V511	石製	51.0
3735-95	16	493	V511	石製	51.0
3735-96	16	493	V511	石製	51.0
3735-97	16	493	V511	石製	51.0
3735-98	16	493	V511	石製	51.0
3735-99	16	493	V511	石製	51.0
3735-100	16	493	V511	石製	51.0

P301 (東部側の石製盤)

3735-1	1	141	V461	石製	124.0
3735-2	2	142	V471	石製	92.0
3735-3	2	142	V471	石製	81.0
3735-4	3	143	V481	石製	111.0
3735-5	3	143	V481	石製	107.0
3735-6	6	141	V491	石製	100.0
3735-7	7	142	V491	石製	90.0
3735-8	8	143	V491	石製	81.0
3735-9	9	141	V491	石製	80.0
3735-10	10	141	V491	石製	80.0
3735-11	11	148	V491	石製	114.4
3735-12	12	311	V501	石製	80.0
3735-13	13	410	V511	石製	80.0
3735-14	14	161	V521	石製	63.0
3735-15	15	161	V521	石製	50.0
3735-16	16	111	V531	石製	86.0
3735-17	17	141	V541	石製	16.0
3735-18	18	361	V551	石製	70.0
3735-19	19	361	V551	石製	41.0
3735-20	20	361	V551	石製	41.0
3735-21	21	361	V551	石製	41.0
3735-22	22	361	V551	石製	41.0

中央の写真には北東捨場地区・北東捨場地区出土の石製円盤を  
まわって撮影した。北東捨場地区 出土の石製円盤について注  
釈・備考欄に「北東捨場」を記した。

表18 北東拾遺場地区 その他遺物観察表

写真 図説 番号	出土地点	層位	品類	時期	使用例・加工例・装飾等	備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (mm)	標高 番号
174	1 VX-07 特-009	5-5明	漆製品	信濃国書～室置	漆器類		—	—	—	6-114
174	2 VX-07 特-010	7B2～2B3	漆製品(櫛)	信濃国書～室置	漆器類	漆器類あり、突起1部は残存、湖田に準じた漆器(櫛身径0.5cm)。	4.11	6.40	0.79	6-112
—	—	5-5明	漆製品	信濃国書～室置	漆器類		—	—	—	6-113
174	3 5-5明	不明	アスファルト	灰層			9.04	6.79	2.80	20112
174	4 VX10 7B2～2B3	7B2～2B3	アスファルト	灰層			4.83	3.83	1.33	20119
174	5 VX10 特-010	7B2～2B3	アスファルト	灰層	總計		—	—	—	20118

表19 東捨場延長地区 土器観察表(1)

調査 番号	発見 深さ (cm)	出土層 番号	所在地 (市町村)	時期	特徴	数量	形態	用途	内装特徴	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	重量 番号
119	179	3	IV339 P-X	縄文3	1個	1個	平山鉢、口沿、和形直口鉢、外面、3段彫刻に刻目外、横位区線1条、外縁部 地文なし、体部に上段山線文。	貯蔵・外食支障支之	十字			14.0	—	重量長一 土20042
119	179	3	IV337 P-X	縄文3	1個	1個	平山鉢、正面に有段縁2つ(突起部正立方位、腹存本脚形、突起部正立和形 同形あり)、口沿、前直なし、外面、横位区線3条、上段2条の区線間に2条 一部の刻目、口縁突起部2条、文様部直文なし、山線文。		十字			12.0	—	重量長一 土20052
—	179	4	IV337 P131	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、外面、横位区線2条、文様部直文なし、山線文、底直、平底。		十字		13.3	5.6	11.6	重量長一 土20061
—	179	5	IV339 P131	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、口沿、前直なし、外面、横位区線3条(口縁)、文様部直文なし、 山線文。		十字		13.0	5.1	11.8	重量長一 土20055
119	179	6	IV339 P131	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、口沿、前直なし、外面、横位区線3条、2割一組の突起(2割 の方向に2割に刻目)、横位区線3条、体部に上段山線文。		十字		13.0	—	—	重量長一 土20049
—	179	7	IV339 P145	縄文4~5	1個	1個	外面、横位区線4条(12条刻目に刻目)、前直なしに横位区線2条、横位区線2条、 山線分字、体部に外直文、平底。		十字		—	3.8	(1.2)	重量長一 土20016
119	179	8	IV337 P-X	縄文4	1個	1個	平山鉢、口沿、前直なし、外面、1口縁彫刻に外土器結合痕あり、口縁部、体 部に山線文。		十字		10.0	—	—	重量長一 土20045
—	179	9	IV362 P109	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、山形突起(1.4単位)、口沿、前直(平直)、底直、1.5段、外面直段有段 彫刻、文様部直文なし、体部に山線文。		十字		10.5	4.2	6.4	重量長一 土20002
119	179	10	IV339 P141	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、口沿、前直、外面、3段彫刻に上段直文、横位区線3条、突起、文様 部直文。		十字		13.2	—	(1.0)	重量長一 土20001
119	179	11	IV337 P-X	縄文4	1個	1個	平山鉢、口沿、前直、外面、横位区線3条、突起、横位区線3条、突起、横位区 線3条、横位区線3条(1.5単位)、山形突起(1.4単位)、口沿、前直、体部に 山線文。		十字		16.0	—	—	重量長一 土20003
—	179	12	IV362 P10	縄文4	1個	1個	平山鉢、口沿、前直、外面、横位区線3条、突起、横位区線3条、突起、横位区 線3条、横位区線3条(1.5単位)、山形突起(1.4単位)、口沿、前直、体部に 山線文。		十字		—	8.0	(11.0)	重量長一 土20011
—	179	13	IV339 P159	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、山形突起(1.4単位)、口沿、前直、外面、横位区線3条、突起、横位区 線3条、横位区線3条(1.5単位)、山形突起(1.4単位)、口沿、前直、体部に 山線文。		十字		14.3	—	(18.0)	重量長一 土20020
119	179	14	IV339 P160	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、口沿、山形突起(1.4単位)、口沿、前直(平直)、外面、横位区 線3条、横位区線3条(1.5単位)、文様部直文なし、山線文、底直、有 段、体部に山線文。		十字		—	7.4	9.5	重量長一 土20003
119	180	1	IV337 P-X	縄文3	1個	1個	和形の口縁、口沿、口縁彫刻(外縁、突起部刻目)、外面、前直なしに山線彫刻、 横位区線3条、底直上段に横位区線2条、文様部直文なし、山線文、底直。		十字			15.0	5.0	重量長一 土20050
119	180	2	IV362 P202	縄文4	1個	1個	平山鉢、口沿、山形突起(1.4単位)、口沿、前直(平直)、外面、横位区 線3条、横位区線3条(1.5単位)、山形突起(1.4単位)、口沿、前直、体部に 横位区線4条(口縁2条、底直上段2条)、文様部直文なし、山線文。		十字		(33.0)	(6.3)	(1.1)	重量長一 土20019
119	180	3	IV339 P-X	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、口沿、山形突起(1.4単位)、口沿、前直、外面、横位区線3 条、文様部直文なし、十字(体部上段に横位区線1条、突起部刻目)。		十字		18.8	—	(4.0)	重量長一 土20003
—	180	4	IV339 P193	縄文4~5	1個	1個	平山鉢、正面に山形突起、山形突起3単位(2.4単位突起)、外面、1口縁部、十字 山線文。		十字		10.2	—	(11.0)	重量長一 土20008
119	180	6	IV339 P166	縄文4	1個	1個	平山鉢、突起1.4単位、口沿、横位区線1条、山形突起(1.4単位)、外面、 横位区線1条、底直上段に横位区線1条、文様部直文なし、山線文、体部 一部に山線文、平底。		十字		10.2	—	—	重量長一 土20006

表19 東捨場延地区 土器観察表(2)

調査番号	発掘区画	発掘層分	住居跡表(出土層分)	器名	時期	形制・外観・文様之点	内装特徴	付着物	備考	口径(mm)	高さ(mm)	體積(立方cm)
—	181	1	IV327 P123	IIa-1層	IIa	平口縁、変長(横長)楕円(横長)短口鉢。口管1個目、外面(横長)楕円(変長)3条、変長(2個の小)楕円、口縁変長とは対応しない。文様帯は変長3条、変長(2個の小)楕円、口縁変長とは対応しない。平足。	高化物(内・外)面 口縁に施線1条	高化物(内・外)面		7.0	19.8	変長長一 土20042
—	181	2	IV337 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。外面1個目変長3条、文様帯変長なし、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(外)面		—	—	変長長一 土20049
—	181	3	IV337 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。外面1個目変長3条、文様帯変長なし、体長上下に施線なし。口管2個目あり。平足。	平口縁	高化物(外)面		2.8	6.3	変長長一 土20050
—	181	4	IV327 P123	IIa-1層	IIIa	平口縁、変長(横長)楕円(横長)短口鉢。口管1個目、外面(横長)楕円(変長)3条、変長(2個の小)楕円、口縁変長とは対応しない。平足。	平口縁	高化物(内・外)面		2.4	21.8	変長長一 土20052
—	181	5	IV327 P123	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。外面1個目変長3条、文様帯変長なし、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面		19.8	19.8	変長長一 土20044
—	181	6	IV327 P129	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。外面1個目変長3条、文様帯変長なし、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内)面		18.0	—	変長長一 土20046
—	181	8	IV327 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。口管1個目、外面(横長)楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面 口縁に施線1条		18.0	—	変長長一 土20053
—	181	9	IV327 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。口管1個目、外面(横長)楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面 口縁に施線1条		18.0	—	変長長一 土20050
—	181	10	IV327 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目あり。口管1個目、外面(横長)楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面 口縁に施線1条		18.0	—	変長長一 土20051
—	181	11	IV326 P126	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管2個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、文様帯変長なし、口縁変長3条、変長(2個)。	平口縁	高化物(内・外)面 外縁体長上下へ突起 底面はX字文	変長同位体長分	9.5	7.5	変長長一 土20061
—	181	12	IV326 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管2個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、文様帯変長なし、口縁変長3条、変長(2個)。	平口縁	口縁に施線1条		18.0	—	変長長一 土20058
—	181	13	IV322 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管2個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、文様帯変長なし、口縁変長3条、変長(2個)。	平口縁	口縁に施線1条		—	—	変長長一 土20051
—	181	14	IV327 P123	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面		—	—	変長長一 土20058
—	181	15	IV329 P233	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面		16.7	16.2	変長長一 土20052
—	181	16	IV331 P131	IIa-1層	IIIa	平口縁、変長(横長)楕円(横長)短口鉢。口管2個目あり。外面(横長)楕円(変長)3条、変長(2個の小)楕円、口縁変長とは対応しない。平足。	平口縁	高化物(内・外)面		17.5	18.1	変長長一 土20055
—	181	17	IV327 P121	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管1個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面 口縁に施線1条		15.0	—	変長長一 土20058
—	182	1	IV327 P140	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管2個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面 口縁に施線1条		13.6	16.3	変長長一 土20054
—	182	2	IV327 P-X	IIa-1層	IIIa	平口縁、口管2個目、外面(口縁部)に楕円(変長)3条、2個一組の突起(2個の5/8角形突起)、口縁変長(10個変長)、体長上下に施線なし。	平口縁	高化物(内・外)面 口縁に施線1条		11.6	17.0	変長長一 土20040



表19 東捨場延長地区 土器観察表(4)

観察番号	発掘区画	発掘層	位置(地上番号)	層名	段階	時期	形態・外観及破片之	内装特徴	付着物	備考	口径(mm)	底径(mm)	高さ(mm)	観察番号
121	193	4	IV159 P133	Ⅱa-2層	段	晩期3	平口縁、正面に二山形(朝雲起(1)縁取(左縁-相))、頂部短目(日本)、口唇油取なし、外側：朝雲と本筋の間に地位区線3条、3字外、底筋：短筋。	十字 区線1条	赤土(赤土層)～ 白土(赤土層)下平 に少(黒土層)の 付着		8.0	3.0	2.1	東延長- 土器007
121	193	5	IV158 P226	Ⅱa-2層	段	晩期4～5	平口縁、正面に5個の山(突起部)(横脊4個)、頂部十字、底部平乳。	十字 区線(口唇) 十字(底筋～高 部)	赤土(赤土層) 赤土(赤土層) 赤土(赤土層)		8.0	6.5	14.6	東延長- 土器010
121	193	6	IV158 P226	Ⅱa-2層	段	晩期2～3	平口縁、外側：入筋文(朝雲充期)、及朝雲地文なし。	十字			—	—	—	東延長- 土器034
—	193	9	不明 P226	Ⅱa-2層	段	晩期5	外側：地位区線3条、縦位区線。	十字			—	—	—	東延長- 土器035
—	193	12	IV157 P226	Ⅱa-1層	段の境 及2段	晩期5小	外側：区線文、及朝雲地文なし。	十字			—	—	—	東延長- 土器017

表20 東捨場延島地区 土製品 観察表

図番号	写真 図版	分類	出土位置	部位	取上げ番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	図番番号
20-22	47-22	亀形土鍋	IV177	1層		120	171	5	6.3	平底、横割取。	東長土5014
20-27	47-27	土器	IV177	1層		17	120	3	4.2	中央、方眼、横文。	東長土5015
20-28	47-28	亀形土鍋	IV177	1層		123	132	3	4.9	横割取の劣化。	東長土5015
121	182-10	土鍋	IV157	Ⅱa-1層		623	427	5	26.6	中央、割取(正足)、口縁文。	東長土5005
121	182-11	土鍋	IV161	Ⅱa-1層		156	82	16	116.6	中央、丸足部欠損、正午割二筋土蛇と溝縁部取、口の両側に縦文。	東長土5006
—	182-12	土鍋	IV137	Ⅱa-1層		27	25	13	3.8	中央、縦取。	東長土5010
121	182-13	円筒状土製品	IV138	Ⅱa-1層		25	24	5	3.3	横形土器割取片、口縁文。	東長土5008
123	182-14	円筒状土製品	IV162	Ⅱa-2層	土製品106	24	23	3	2.4	横形土器割取片、口縁文。	東長土5011
123	182-15	円筒状土製品	IV169	Ⅱa-1層		27	32	5	5.3	横形土器割取片、口縁文、×××取付化割片取。	東長土5009
123	182-17	円筒状土製品	IV160	Ⅱa-2上層		24	42	4	7.2	横形土器割取片、口縁文(膠取)、×××取付化割片取。	東長土5013
123	182-18	円筒状土製品	IV137	Ⅱa-2上層		27	36	5	5.0	横形土器割取片、口縁文(膠取)。	東長土5014
123-1	—	円筒状土製品	IV138	Ⅱa-1層		161	180	10	23.1	横形土器土器取片、横縁は行割取取。	東長土5014

表21 東捨場延島地区 ミニチュア・小型土器観察表

図番番号	写真 図版	分類	出土位置	部位	取上げ番号	口径 (mm)	底径 (mm)	高さ (mm)	時間	備考	図番番号
119	182-2	付付瓦鉢	IV139	1層		16.0	—	—	(1.1) 取寄 4	内面：小窪口縁、外底：彫刻1筋、取付十字、底足：付(1区取)、内面(十字)、取付(付・外底)	東長土5003
119	182-3	鉢	IV137	Ⅱa-1層	P-133	6.23	3.0	4.6	取寄取	外面：字口縁、口縁部～底部に横文、底部に縦取、内底：十字。	東長土5001
120	182-12	鉢	IV139	Ⅱa-1層	土製品105	2.8	2.1	3.5	取寄取	内面：平口縁、十字、底部：丸底、内面：十字。	東長土5007
121	182-7	中央土	IV137	Ⅱa-1層	P-N	—	—	—	他取	内底：十字。	東長土5004
121	182-8	皿	IV164	Ⅱ層	P-N	16.03	11.83	2.0	取寄	外面：平口縁、口唇(割取)、口縁部～底部に十字、底足、内面(十字)。	東長土5002

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(1)

発掘調査年度	番号	図面番号	整理番号	グラッド	層位	取上 高さ	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	備考
1981	1	1202	1	1807 西01	1層	5-3	石鏝	8.5	4.0	0.4	0.1	持原頁岩	
1981	2			5550 西01	1層	5-3	石鏝	19.5	9.0	3.1	0.3	持原頁岩	アスファルト
1981	3			1821 西01	1層	5-3	石鏝	29.4	8.1	3.0	0.7	持原頁岩	アスファルト
1981	4			1813 西01	1層	5-3	石鏝	127.3	14.0	3.0	11.33	持原頁岩	撥水、凹凸
1981	5			1831 西01	1層	5-3	石鏝	32.2	16.4	0.7	3.0	持原頁岩	生動物
1981	6			1823 西01	1層	5-3	石鏝	42.8	12.9	4.0	1.5	持原頁岩	アスファルト
1981	7			1817 西01	1層	5-3	石鏝	111.0	17.7	4.0	14.31	持原頁岩	アスファルト
1981	8			1830 西01	1層	5-3	石鏝	32.6	11.2	3.7	2.7	持原頁岩	
1981	9			6053 不明	跡上	5-3	石鏝	18.9	7.3	3.2	0.6	豊郷石	出土品
1981	10			1760 不明	II-a-1層	5-3	石鏝	46.4	8.2	3.1	0.3	持原頁岩	
1981	11			1829 西02	II-a-1層	5-3	石鏝	19.6	5.8	3.7	0.3	持原頁岩	
1981	12			1816 西01	II-a-1層	5-3	石鏝	119.2	6.4	13.41	10.33	持原頁岩	
1981	13	122	3	1816 西03	5-3	石鏝	19.5	9.6	3.5	0.6	持原頁岩		
1981	14			5529 西01	II-a-1層	5-3	石鏝	17.7	11.5	4.0	0.6	持原頁岩	アスファルト
1981	15	122	2	1811 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	9.0	3.3	4.2	0.3	持原頁岩	
1981	16			5525 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	26.2	9.0	3.6	0.5	持原頁岩	アスファルト
1981	17			5526 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	30.9	10.2	4.1	0.7	持原頁岩	曲線磨削
1981	18			1810 西01	II-a-1層	5-3	石鏝	121.5	9.0	3.9	10.41	持原頁岩	曲線磨削、石鏝用片
1981	19			1761 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	28.4	7.8	5.1	0.9	持原頁岩	生動物磨削、磨削用片
1981	20			1827 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	25.1	15.8	3.4	1.0	持原頁岩	アスファルト
1981	21			5527 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	36.9	12.3	3.8	1.1	持原頁岩	
1981	22			1811 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	127.4	10.6	3.3	10.91	持原頁岩	アスファルト
1981	23			1812 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	39.9	10.8	4.3	1.0	持原頁岩	
1981	24			1817 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	28.8	9.5	3.1	0.7	持原頁岩	片割加工
1981	25			5523 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	28.0	10.1	4.2	1.1	持原頁岩	
1981	26			5524 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	27.8	11.6	4.0	1.0	持原頁岩	曲線磨削加工、生動物
1981	27			5528 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	26.4	11.2	4.1	1.1	持原頁岩	凹面?
1981	28			5532 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	33.2	10.8	4.6	1.1	持原頁岩	
1981	29			1824 西02	II-a-1層	5-3	石鏝	37.2	11.4	4.0	1.0	持原頁岩	
1981	30			1829 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	130.3	11.4	5.0	14.63	持原頁岩	アスファルト
1981	31			1833 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	39.8	12.1	4.8	2.0	持原頁岩	アスファルト
1981	32			1825 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	44.3	11.3	5.2	1.8	持原頁岩	アスファルト
1981	33			1836 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	46.0	15.9	3.9	3.0	持原頁岩	
1981	34	122	4	1839 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	37.2	9.7	4.5	3.0	持原頁岩	
1981	35			1837 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	26.5	21.1	4.7	4.2	持原頁岩	
1981	36			1832 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	30.0	11.3	5.7	1.7	持原頁岩	
1981	37			1809 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	23.2	7.8	3.9	0.6	持原頁岩	アスファルト
1981	38			1806 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	18.4	10.8	3.1	0.5	持原頁岩	
1981	39			1819 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	29.0	11.7	3.3	0.9	持原頁岩	鏡、凸凹
1981	40			1812 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	121.0	10.1	4.1	10.71	持原頁岩	
1981	41			1808 西01	II-a-2層	5-3	石鏝	21.1	11.9	4.8	1.5	持原頁岩	アスファルト
1981	42			1820 西02	II-a-2層	5-3	石鏝	28.9	11.4	4.2	1.0	持原頁岩	アスファルト
1981	43			1831 西01	II-a-2層	5-3	石鏝	21.5	8.1	3.2	0.9	持原頁岩	アスファルト
1981	44			1831 西03	II-a-2層	5-3	石鏝	32.6	10.5	3.9	0.8	持原頁岩	
1981	45			1835 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	35.9	14.4	4.9	2.3	持原頁岩	
1981	46			1828 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	27.4	17.5	3.5	2.2	持原頁岩	
1981	47			1841 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	37.6	9.4	3.1	0.6	持原頁岩	
1981	48			1838 西01	II-a-2層	5-3	石鏝	40.9	20.1	9.2	5.2	持原頁岩	
1981	49			1843 西09	1層	5-3	石鏝	35.5	8.1	3.8	1.1	持原頁岩	
1981	50			5520 西09	1層	5-3	石鏝	25.2	21.1	4.9	3.7	持原頁岩	
1981	51			5519 西09	1層	5-3	石鏝	27.4	6.8	3.1	0.5	持原頁岩	
1981	52	122	6	1815 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	43.2	9.4	3.8	2.2	持原頁岩	
1981	53			5516 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	31.8	11.7	9.2	3.8	持原頁岩	
1981	54			1841 西01	II-a-1層	5-3	石鏝	96.7	10.9	2.2	4.1	持原頁岩	
1981	55	122	5	1842 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	42.0	9.5	4.1	3.1	持原頁岩	石鏝?
1981	56			1797 西01	II-a-2層	5-3	石鏝	52.1	7.9	4.7	1.9	持原頁岩	
1981	57			5553 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	24.6	11.0	5.1	1.2	持原頁岩	アスファルト、石鏝?
1981	58			5521 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	38.6	13.6	3.8	0.8	持原頁岩	
1981	59			5516 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	29.0	7.9	3.0	0.7	持原頁岩	
1981	60			5522 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	31.1	8.1	3.8	1.0	持原頁岩	生動物
1981	61			5515 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	44.2	22.6	10.2	14.6	持原頁岩	生動物
1981	62			5517 西09	II-a-2層	5-3	石鏝	23.2	31.0	4.7	5.2	持原頁岩	
1981	63			5512 西09	1層	5-3	石鏝	43.9	21.6	10.3	1.3	持原頁岩	
1981	64			5514 西09	1層	5-3	石鏝	49.2	27.4	14.8	8.1	持原頁岩	
1981	65			10025 西09	1層	5-3	石鏝	71.5	25.1	11.4	18.5	持原頁岩	
1981	66			10020 西09	1層	5-3	石鏝	41.5	11.0	3.1	0.9	持原頁岩	
1981	67			5513 西09	1層	5-3	石鏝	51.2	42.2	11.9	24.3	持原頁岩	アスファルト
1981	68			10015 西01	1層	5-3	石鏝	40.2	28.2	9.5	9.9	持原頁岩	
1981	69			1848 西02	II-a-1層	5-3	石鏝	44.3	25.7	10.4	9.3	持原頁岩	凹面磨削
1981	70			5520 西09	1層	5-3	石鏝	42.7	14.1	9.3	11.1	持原頁岩	アスファルト
1981	71			5532 西09	1層	5-3	石鏝	27.7	41.8	6.9	8.7	持原頁岩	
1981	72			5539 西09	1層	5-3	石鏝	45.0	47.0	17.7	31.2	持原頁岩	アスファルト
1981	73			5549 西09	1層	5-3	石鏝	41.0	18.1	7.1	5.0	持原頁岩	
1981	74			5545 西09	1層	5-3	石鏝	44.1	17.6	10.4	7.7	持原頁岩	
1981	75			1413 西09	1層	5-3	石鏝	51.3	36.6	10.8	22.1	持原頁岩	アスファルト、刃部磨削
1981	76			5540 西09	1層	5-3	石鏝	62.1	46.1	15.2	42.1	持原頁岩	
1981	77			5541 西01	1層	5-3	石鏝	63.0	39.6	10.8	13.5	持原頁岩	つまみ頭加工
1981	78			10020 西09	1層	5-3	石鏝	53.5	47.9	15.9	35.9	持原頁岩	
1981	79			1851 西02	II-a-1層	5-3	石鏝	39.0	30.2	6.1	4.5	持原頁岩	
1981	80			1851 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	50.1	37.0	6.5	19.2	持原頁岩	アスファルト、刃部磨削
1981	81			1852 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	41.5	18.2	10.0	9.8	持原頁岩	
1981	82			5541 西01	II-a-1層	5-3	石鏝	66.2	13.6	12.0	16.0	持原頁岩	
1981	83			5543 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	26.2	17.7	8.8	25.2	持原頁岩	アスファルト
1981	84			1852 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	37.8	42.0	11.5	17.0	持原頁岩	アスファルト、刃部磨削
1981	85			4751 西03	5-3	石鏝	44.9	44.0	10.6	14.2	持原頁岩	アスファルト	
1981	86			5542 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	44.9	14.7	7.8	3.3	持原頁岩	素材割れシジフクオチャウ
1981	87			4752 西09	II-a-1層	5-3	石鏝	78.5	34.9	9.9	27.3	持原頁岩	正面下面にもアスファルト
1981	88	122	7	1856 西01	II-a-1層	5-3	石鏝	51.7	77.3	14.2	28.3	持原頁岩	
1981	89			1857 西03	II-a-1層	5-3	石鏝	61.4	64.3	11.6	39.0	持原頁岩	
1981	90			4759 西01	II-a-2層	5-3	石鏝	38.6	44.7	7.2	8.2	持原頁岩	アスファルト部一箇所加工印にて確認、刃部磨削



表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(2)

発掘調査 年度	番号	国史 番号	整理番号	グラッド	層位	取上	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
1981	91		1850	BⅡ-2層	5-3	礫石	49.5	40.7	8.7	17.9	持原頁岩	アスファルト、刃部欠損	
1981	92	122	8	BⅡ-2層	5-3	礫石	36.1	38.7	13.2	28.3	持原頁岩		
1981	93		1843	BⅡ-2層	5-3	礫石	46.6	15.6	6.0	5.9	持原頁岩		
1981	94		1853	BⅡ-2層	5-3	礫石	31.4	111.0	12.2	15.0	持原頁岩		
1981	95		5515	BⅡ-1層	5-3	礫石	26.2	36.3	8.6	6.0	持原頁岩	つまみ取欠損後、正面に 断面作出、刃部欠損	
1981	96		5517	石皿	5-3	礫石	27.2	35.0	13.3	31.6	持原頁岩		
1981	97		5516	石皿	5-3	礫石	29.1	33.6	10.6	28.7	持原頁岩		
1981	98		10034	BⅡ-1下層	5-3	礫石	26.3	20.6	6.0	5.9	持原頁岩	アスファルト	
1981	9		10024	I層	5-3	礫石	27.0	19.3	7.6	4.1	持原頁岩		
1981	2		10030	I層	5-3	礫石	27.6	26.2	10.2	9.4	持原頁岩		
1981	3		10028	I層	5-3	礫石	29.7	28.1	12.1	13.8	持原頁岩		
1981	4		10029	I層	5-3	礫石	45.8	20.6	6.7	5.5	持原頁岩		
1981	5		10021	I層	5-3	礫石	25.3	14.2	18.9	48.7	持原頁岩		
1981	6		10027	I層	5-3	礫石	54.4	54.9	10.9	28.8	持原頁岩		
1981	7		10025	I層	5-3	礫石	61.5	32.3	8.9	17.2	持原頁岩		
1981	8		6051	BⅡ層	5-3	礫石	121.1	13.0	3.5	0.9	磨礫石	出土品	
1981	9		10022	BⅡ層	5-3	礫石	28.3	18.1	7.6	4.2	礫石		
1981	10		1846	BⅡ層	5-3	礫石	48.8	23.8	8.0	8.6	持原頁岩		
1981	11		1837	BⅡ-1層	5-3	礫石	29.3	18.2	8.0	4.3	持原頁岩	礫石アスファルト	
1981	12		5536	BⅡ-1層	5-3	礫石	46.9	13.5	6.3	3.1	持原頁岩	礫石アスファルト	
1981	13		5524	BⅡ-1層	5-3	礫石	35.1	13.3	5.5	2.1	持原頁岩		
1981	14		10019	BⅡ-1層	5-3	礫石	24.4	17.3	3.9	2.6	持原頁岩		
1981	15		1047	BⅡ-1層	5-3	礫石	26.6	22.5	11.4	8.2	持原頁岩		
1981	16		10020	BⅡ-1層	5-3	礫石	36.2	18.1	6.2	3.4	持原頁岩		
1981	17		10036	BⅡ-1層	5-3	礫石	29.1	18.7	7.9	5.7	持原頁岩		
1981	18		1044	BⅡ-1層	5-3	礫石	42.6	25.6	8.2	9.7	持原頁岩		
1981	19		10033	BⅡ-1層	5-3	礫石	45.2	22.3	8.6	8.7	持原頁岩		
1981	20		10037	BⅡ-1層	5-3	礫石	41.7	24.6	7.9	8.0	持原頁岩		
1981	21		10041	BⅡ-1層	5-3	礫石	74.0	42.0	16.0	41.7	持原頁岩		
1981	22		1845	BⅡ-1層	5-3	礫石	24.6	26.7	12.9	18.3	持原頁岩		
1981	23		1845	BⅡ-1下層	5-3	礫石	42.1	24.6	8.8	7.9	持原頁岩	石皿と疑ふ	
1981	24		10018	BⅡ-1下層	5-3	礫石	55.2	33.9	11.2	26.0	持原頁岩		
1981	25		10023	BⅡ-1下層	5-3	礫石	35.4	32.7	16.0	37.7	持原頁岩		
1981	26		10060	BⅡ-2層	5-3	礫石	23.4	19.8	8.2	4.1	持原頁岩		
1981	27		10022	BⅡ-2層	5-3	礫石	60.0	42.0	13.2	36.8	持原頁岩	石皿と疑ふ	
1981	28		10019	BⅡ-2層	5-3	礫石	36.3	35.3	13.4	23.6	持原頁岩		
1981	29		10014	BⅡ-2層	5-3	礫石	47.6	28.1	12.9	26.1	持原頁岩		
1981	30	122	9	BⅡ-2層	5-3	礫石	23.4	18.9	8.9	4.1	持原頁岩		
1981	31	122	10	礫石右群	22.9	14.9	4.0	1.2	磨礫石	石皿?			
1981	32		4767	BⅡ-1層	5-3	礫石	41.4	16.9	8.5	2.3	磨礫石	出土品	
1981	33		6043	BⅡ-1層	5-3	礫石	21.5	14.2	10.3	13.6	磨礫石	出土品	
1981	34		4766	BⅡ-1層	5-3	礫石	41.4	42.0	20.2	37.2	磨礫石	出土品	
1981	35		10023	BⅡ-1層	5-3	礫石	47.9	38.2	13.8	25.1	持原頁岩	大礫石	
1981	36		10017	BⅡ-1層	5-3	礫石	43.6	14.3	11.9	20.4	持原頁岩		
1981	37		10021	BⅡ-1層	5-3	礫石	63.1	62.0	13.2	47.8	持原頁岩		
1981	38		10013	BⅡ-1層	5-3	礫石	136.1	37.6	6.9	246.9	持原頁岩		
1981	39		5220	BⅡ-1層	5-3	礫石	180.7	62.0	12.4	448.5	持原頁岩		
1981	40		10009	BⅡ-1層	5-3	礫石	83.7	67.3	36.1	499.6	礫石	石製品?	
1981	41		10012	BⅡ-1層	5-3	礫石	77.6	67.6	31.1	416.0	礫石		
1981	42		10056	BⅡ-1層	5-3	礫石	27.8	66.7	33.1	335.2	緑色凝灰岩		
1981	43		10094	BⅡ-1層	5-3	礫石	56.0	46.4	31.0	170.8	火山岩		
1981	44		894	BⅡ層	5-3	礫石	36.2	33.3	21.7	38.0	礫石		
1981	45	122	12	BⅡ層	5-3	礫石	48.0	49.0	46.0	130.8	礫石		
1981	46	122	11	BⅡ-2層	5-3	礫石	45.0	42.0	39.0	117.0	礫石		
1981	47		10093	BⅡ-2層	5-3	礫石	73.6	66.0	61.0	322.6	礫石		
1981	48		10096	BⅡ-2層	5-3	礫石	96.9	64.0	37.6	294.9	礫石		
1981	49		10091	BⅡ-2層	5-3	礫石	110.4	68.2	53.6	325.3	礫石		
1981	50		10092	BⅡ-2層	5-3	礫石	140.4	68.2	53.6	725.3	礫石		
1981	51		10098	BⅡ-2層	5-3	礫石	181.4	66.7	58.2	1480.1	礫石		
1981	1		5648	BⅡ-1層	5-3	磨礫石	30.4	40.1	14.1	31.0	礫石		
1981	2		10087	BⅡ-1層	5-3	礫石	50.7	42.2	26.3	92.6	礫石		
1981	3		10113	BⅡ-2層	5-3	礫石	106.1	88.0	71.1	1041.7	礫石	赤色顔料	
1981	4		10098	BⅡ-1層	5-3	礫石	127.2	93.1	65.5	690.3	礫石		
1981	5		10090	I層	5-3	礫石	39.3	52.6	44.5	206.9	石製品		
1981	6		10012	北東捨場・V08	I層	5-3	礫石	26.3	76.8	69.0	474.1	礫石	礫石右群1編第2層第1層参照
1981	7		10095	BⅡ-1下層	5-3	礫石	54.6	43.2	26.4	116.9	石製品		
1981	8		10093	BⅡ-1層	5-3	礫石	72.0	60.2	36.1	185.3	礫石		
1981	9		10092	BⅡ-1層	5-3	礫石	148.4	61.5	43.7	446.2	礫石		
1981	10		10097	BⅡ-1層	5-3	礫石	164.1	58.1	33.7	1263.9	礫石		
1981	11		10094	BⅡ-2層	5-3	礫石	65.1	59.1	52.2	251.9	緑色凝灰岩		
1981	12		10096	石皿	5-3	礫石	84.3	75.3	49.8	41.6	火山岩		
1981	13		5673	BⅡ-2層	5-3	礫石	61.1	49.7	29.6	188.3	礫石		
1981	14		5675	BⅡ-2層	5-3	礫石	115.2	77.1	31.0	273.5	礫石		
1981	15		5672	BⅡ-2層	5-3	礫石	83.2	67.9	34.8	206.2	礫石		
1981	16		10055	BⅡ-1層	5-3	礫石	96.6	63.5	28.2	323.0	緑色凝灰岩		
1981	17		5662	石アズン	5-3	礫石	138.9	85.1	47.6	269.5	礫石		
1981	18		5994	BⅡ-1層	5-3	礫石	130.1	68.3	32.2	443.1	礫石		
1981	19		5663	BⅡ-1層	5-3	礫石	112.2	68.6	36.4	385.5	火山岩		
1981	20		5675	BⅡ-1層	5-3	礫石	87.1	58.5	24.9	165.1	礫石		
1981	21		10091	BⅡ-1層	5-3	礫石	94.2	52.7	35.0	161.8	緑色凝灰岩		
1981	22		5979	BⅡ-2層	5-3	礫石	106.2	60.8	44.1	543.7	礫石		
1981	23		5990	BⅡ-2層	5-3	礫石	54.1	36.7	26.4	105.4	礫石		
1981	24		5992	BⅡ-2層	5-3	礫石	66.6	32.1	43.2	285.7	礫石		
1981	25		10053	BⅡ-2層	5-3	礫石	125.7	66.8	42.7	522.9	礫石		
1981	26		5981	BⅡ-2層	5-3	礫石	106.2	106.7	67.1	1245.8	礫石		
1981	27		5983	BⅡ-2層	5-3	礫石	165.7	32.1	39.1	413.3	礫石		
1981	28		5997	BⅡ-2層	5-3	礫石	84.0	35.5	27.0	166.0	礫石		
1981	29		5984	BⅡ-2層	5-3	礫石	94.2	62.6	35.0	461.4	礫石		
1981	30		5992	黒粘土	5-3	礫石	123.4	66.7	31.3	255.8	礫石		
1981	4	8338	東捨場・NⅡ54	I層	5-3	礫石	119.1	66.0	36.7	361.4	緑色凝灰岩	報告書番号1編第2層第1層参照	
1981	5	10054	BⅡ-2層	I層	5-3	礫石	122.8	66.0	29.2	284.9	礫石		

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(3)

発掘調査年度	番号	図面番号	整理番号	グラッド	層位	取上 位置	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考	
187	7		5993	IV510	II-a-1下層	5-3	磨石	96.0	52.1	32.5	188.8	緑灰岩		
187	7		5983	IV502	II-a-1下層	5-3	磨石	101.8	53.1	30.0	309.6	緑灰岩		
187	8		10043	IV563	B層	5-3	磨石	82.8	46.1	33.0	537.7	緑灰岩		
187	9		5964	IV541	B層	5-3	磨石	124.7	77.2	53.0	331.3	緑灰岩		
187	10		5980	IV519	B層	5-3	磨石	136.4	76.0	33.5	444.9	緑灰岩		
187	11		10062	IV564	B層	5-3	磨石	127.9	71.0	30.4	720.6	赤土層		
187	12		10068	IV565	II-a-1層	5-3	磨石	138.1	84.3	28.4	216.2	緑灰岩		
187	13		5966	IV538	II-a-1層	5-3	磨石	132.6	82.1	27.7	256.8	緑灰岩		
187	14		5974	IV508	II-a-1層	5-3	磨石	61.7	46.8	39.7	98.2	緑灰岩		
187	15		5970	IV517	II-a-1層	5-3	磨石	77.8	42.1	33.3	155.5	緑灰岩		
187	16		10058	IV562	II-a-1層	5-3	磨石	20.4	48.2	22.3	105.6	緑灰岩		
187	17		10059	IV569	II-a-1層	5-3	磨石	30.8	55.7	22.4	183.5	緑灰岩		
187	18		5978	IV518	II-a-1層	5-3	磨石	83.8	48.7	43.7	209.6	緑灰岩		
187	19		6000	IV562	II-a-1層	5-3	磨石	85.3	51.0	29.2	211.2	緑灰岩		
187	20		5971	IV517	II-a-1層	5-3	磨石	111.6	72.1	29.3	261.8	緑灰岩		
187	21		5988	IV561	II-a-1層	5-3	磨石	103.4	78.3	36.4	315.9	緑灰岩		
187	22		5996	IV508	II-a-1層	5-3	磨石	153.1	55.0	23.1	269.1	緑灰岩		
187	23		5972	IV561	II-a-1下層	5-3	磨石	120.0	79.7	22.2	297.9	緑灰岩		
187	24		10062	IV562	II-a-1下層	5-3	磨石	132.3	107.3	28.8	471.3	緑灰岩		
187	25		10057	IV537	II-a-2層	5-3	磨石	74.0	43.0	27.7	110.6	緑灰岩		
187	26		10064	IV516	II-a-2層	5-3	磨石	71.3	51.0	39.9	133.8	緑灰岩		
187	27		10066	IV518	II-a-2層	5-3	磨石	84.1	60.8	23.8	229.2	粗粒玄武岩		
187	28		5979	IV581	II-a-2層	5-3	磨石	90.6	60.0	23.1	149.2	緑灰岩		
187	29		10040	IV519	II-a-2層	5-3	磨石	88.8	77.9	42.0	328.0	緑灰岩		
187	30		5975	不明	II-a-2層	5-3	磨石	110.2	89.6	53.6	963.9	緑灰岩		
187	31		8301	東捨場・IV545	X層1層	5-3	磨石	147.7	96.6	23.8	250.4	緑灰岩	報告書巻第1編第2章第1節参照	
187	32		8310	東捨場・IV516	X層1層	5-3	磨石	142.5	94.5	30.2	276.2	緑灰岩	報告書巻第1編第2章第1節参照	
188	1	124	1	7725	IV517	II-a-1層	5-3	石鏃	95.6	99.0	18.0	138.8	緑灰岩	石鏃?
188	2		5989	IV518	II-a-1層	5-3	石鏃	118.4	55.0	47.2	231.1	緑灰岩	直溝中央に窪みあり	
188	3		5987	IV518	II-a-1層	5-3	磨石	122.5	92.6	30.8	665.0	緑灰岩		
188	4		5961	IV569	II-a-2層	5-3	磨石	121.8	77.8	47.9	437.1	緑灰岩		
188	5		5992	IV518	II-a-2層	5-3	磨石	126.2	12.0	33.7	496.9	緑灰岩		
188	6		4162	V515(付近の川原平(4)層の剥離)	1層	5-3	若蕨	300.0	124.0	147.0	9300.6	緑色凝灰岩	標の底300×90mm 報告書巻第1編第2章第1節参照	
188	7	124	2	7748	IV569	II-a-2上層	石製品-20	石製品	34.0	51.5	25.0	33.6	緑灰岩	自然磨削・終上の研削
188	8	123	13	4891	IV569	II-a-2上層	石製品-20	石製品	47.0	44.8	25.0	147.7	緑灰岩	直溝中央に窪みあり
188	9		5999	不明	II-a-2層	5-3	磨石	126.5	72.8	39.8	520.7	緑灰岩		
188	10		2583	IV516	II-a-1層	5-109	自然磨	45.6	36.6	26.4	54.6	緑灰岩	直溝	
188	11		824	IV518	II-a-1層	5-3	自然磨	39.2	30.6	20.0	38.7	緑灰岩	直溝?	
188	12	123	2	8306	IV519	II-a-1層	5-3	磨石	83.7	28.0	18.1	47.0	緑灰岩	
188	13	123	3	6100	IV518	II-a-1層	5-3	磨石	69.0	43.9	14.0	29.0	緑灰岩	直溝内面に直溝
188	14	123	14	10026	IV517	II-a-1層	石製品-20	石片	29.0	31.9	9.8	40.4	緑灰岩	直溝面、磨削面
188	15	123	17	8321	IV569	II-a-2層	5-3	磨石	35.0	28.0	7.0	10.0	緑灰岩	
188	16	123	5	6112	IV569	II-a-2層	5-3	磨石	41.0	36.0	6.9	14.9	緑灰岩	
188	17	123	8	8337	IV518	II-a-1下層	5-3	磨石	26.2	39.7	20.1	100.4	緑灰岩	直溝、一直溝縦溝を斜溝した可成りあり
188	18		6183	IV561	1層	5-3	石製円筒	26.5	21.0	11.9	7.3	赤土層		
188	19		6143	IV561	1層	5-3	石製円筒	25.8	23.7	8.7	8.9	赤土層		
188	20		6190	IV561	1層	5-3	石製円筒	24.2	23.0	8.2	7.6	緑色凝灰岩	玄武ファット	
188	21		6148	IV562	1層	5-3	石製円筒	37.4	33.0	11.1	25.0	赤土層	玄武ファット	
188	22		6104	IV564	B層	5-3	石製円筒	51.3	49.1	13.1	42.1	緑色凝灰岩	玄武ファット	
188	23		5257	IV561	1層	5-3	石製円筒	41.8	44.1	13.2	17.8	棕色土層	玄武ファット	
188	24		5254	IV563	B層	5-3	石製円筒	56.9	54.9	23.0	113.0	赤土層	玄武ファット	
188	25		6142	不明	1層	5-3	石製円筒	58.7	47.0	23.8	92.8	赤土層		
188	26		3154	IV518	II-a-1層	5(4層)	石鏃	-	-	-	107.3	点紋粘板岩	洗滌片	
189	1	123	15	8300	IV502	II-a-1層	5-3	石製円筒	25.0	25.5	11.0	8.0	緑灰岩	磨削
189	2		5248	IV561	II-a-1層	石製品-18	石製円筒	32.3	21.2	24.1	21.0	緑灰岩		
189	3		5249	IV518	II-a-1層	石製品-20	石製円筒	34.7	24.3	11.3	20.5	緑灰岩		
189	4		6671	IV518	II-a-1層	5-3	磨石	41.5	38.0	12.4	25.7	緑灰岩		
189	5		6127	IV517	II-a-1層	5-332	石製円筒	40.3	42.3	26.4	82.0	緑色凝灰岩		
189	6	124	3	3827	IV517	II-a-1層	5-213	石製円筒	51.2	44.1	14.3	32.6	緑灰岩	
189	7		6106	IV569	II-a-1層	5-332	石製円筒	43.2	22.0	15.0	79.1	緑土層		
189	8		6672	IV519	II-a-1層	5-3	石製円筒	62.0	55.9	19.7	117.2	緑色凝灰岩		
189	9		5252	IV518	II-a-1層	石製品-20	石製円筒	60.8	56.6	20.4	106.6	赤土層		
189	10		646	IV516	II-a-1層	5-3	石製円筒	83.7	66.9	21.2	110.7	赤土層		
189	11		6173	IV562	II-a-1層	5-340	石製円筒	41.3	44.0	14.3	41.0	赤土層		
189	12		6174	IV562	II-a-1層	5-336	石製円筒	41.9	40.1	17.3	46.6	赤土層		
189	13		614	IV518	II-a-1層	5-3	石製品	42.1	41.0	6.8	19.0	赤土層	磨削	
189	14		6128	IV518	II-a-1層	5-299	石製円筒	52.6	48.6	12.7	20.7	アイオナイト		
189	15		6130	IV518	II-a-1層	石製品-20	石製円筒	54.1	41.0	18.0	68.5	粗粒玄武岩		
189	16		5243	IV569	II-a-2層	石製品-20	石製円筒	65.2	58.4	26.3	70.0	緑灰岩		
189	17	123	14	6311	IV569	II-a-2層	5-3	磨石	25.0	21.0	3.0	2.6	緑灰岩	
189	18		674	IV518	II-a-2層	5-333	石製円筒	35.1	39.6	38.0	402.9	緑色凝灰岩		
189	19		5360	IV560	II-a-2層	5-3	石製円筒	25.4	23.3	8.1	8.8	赤土層		
189	20		6141	IV561	5-298	石製円筒	30.7	29.3	13.3	17.8	赤土層			
189	21		6171	IV569	II-a-2層	5-3	石製円筒	46.6	31.0	8.3	19.9	粗粒玄武岩		
189	22		6179	IV569	II-a-2層	5-3	石製円筒	47.1	44.1	13.0	18.0	赤土層		
189	23		2213	IV519	II-a-2層	石製品-21	石製円筒	28.9	22.3	20.2	22.0	赤土層		
189	24		653	IV519	II-a-2上層	5-3	石製円筒	50.8	54.9	14.6	93.9	赤土層		
189	25		825	IV562	II-a-2上層	5-3	石製円筒	36.6	34.5	21.0	123.4	緑灰岩		
189	26	124	2	7713	IV561	II-a-2上層	5-3	石製円筒	69.2	58.5	16.9	70.8	粗粒玄武岩	直溝?
189	27	124	10	892	IV518	II-a-2上層	5-3	石製円筒	46.7	65.1	19.0	92.5	粗粒玄武岩	直溝面直溝、直溝面直溝、直溝面直溝
189	28	123	11	2378	IV562	II-a-2上層	5-292	石製円筒	27.0	27.0	10.0	11.9	緑灰岩	玄武ファット
189	29		5242	IV518	II-a-2上層	石製品-20	石製円筒	34.7	29.1	14.7	23.6	赤土層	玄武ファット	
189	30	123	6	9673	IV561	II-a-2上層	5-3	石製円筒	151.7	138.5	52.0	126.0	緑灰岩	直溝
189	31		6156	IV518	II-a-2上層	5-263	石製円筒	42.4	38.6	13.9	39.9	赤土層		
189	32		6183	IV518	II-a-2上層	5-3	石製円筒	47.6	41.5	19.9	26.0	赤土層		
189	33		617	IV561	II-a-2上層	5-295	石製円筒	-	-	-	221.1	赤土層		

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(4)

発掘調査番号	番号	図録番号	整理番号	グラッド	層位	取上番号	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考	
100-31			538	BV301	II a-2上層	S-209	石製刀鞘	67.3	63.9	31.9	136.9	緑色凝灰岩		
100-32			679	BV308	II a-2上層	S-210	石製刀鞘	65.3	53.1	23.2	126.7	アイサイト		
100-30			6610	BV360	II a-2上層	S-3	磨石	29.9	53.6	20.1	113.8	凝灰岩	石製刀鞘?	
100-1	123	4	833	BV305	I層	S-3	磨石	48.6	34.0	13.9	28.0	凝灰岩	磨石	
100-2	124	11	1696	BV337	II層	石製品-103	石製品	30.0	13.0	10.0	10.2	凝灰岩		
100-3			5649	V A39	II層	S-3	石製品	36.1	115.2	17.1	115.5	凝灰岩	穿孔	
100-4	124	12	7028	BV369	II a-1層	S-3	石製品	20.2	12.0	10.0	7.2	凝灰岩		
100-5	123	13	5500	BV332	II a-1層	S-3	石製品	48.0	66.5	23.0	60.0	凝灰岩		
100-6	123	7	839	BV337	II a-1層	S-3	磨石	95.1	71.4	19.4	85.5	凝灰岩	磨石	
100-7	124	5	4711	BV308	II a-1層	S-3	目押	19.0	13.0	10.0	3.6	緑色凝灰岩	玉磨材か	
100-8	124	4	2726	BV308	II a-1上層	石製品-294	玉磨材	9.0	9.0	8.0	0.3	緑色凝灰岩	玉磨材	
100-9	123	10	833	BV305	II a-1層	S-3	磨石	23.8	26.3	19.3	99.6	凝灰岩	磨石	
100-10	124	9	5656	BV308	II a-1層	S-3	石製品	91.0	83.0	26.0	270.3	凝灰岩	正造に類似	
100-11	124	8	833	BV362	II a-2層	S-3	石製品	35.0	29.0	8.0	7.1	凝灰岩		
100-12	124	6	7099	BV369	II a-2層	石製品-127	石	28.0	28.0	20.0	11.2	灰岩		
100-13	123	9	779	BV360	II a-2層	石製品-101	磨石	66.0	43.1	13.2	50.6	緑色凝灰岩	磨石、刃磨板	
100-14			4772	BV337	II a-1層	S-3	磨石	113.3	79.2	14.8	153.5	凝灰岩		
100-15			963	BV309	II a-1下層	石製品-102	石製品	105.9	92.1	40.0	222.4	凝灰岩		
-	-	123	13	1960	V D・E33	S-10	磨石	120.7	47.0	22.0	163.7	緑色凝灰岩		
-	-	123	1	3156	BV301	II a-1層	S(16製品)-184	石棒	423.0	28.0	22.0	429.5	粘板岩	調査の経緯、掘削整理 3155と3160は報告できた ため棒石棒として3155 に番号振り替えた。

表23 北東拾場延長地区 土器観察表

図録番号	家瓦図版	家瓦図版(取上部分)	出土位置	層名	図様	時期	形態・外面文様など	内面特徴	付着物	備考	口径(mm)	底径(mm)	高さ(mm)	整理番号
126	192	1	V109 P-X	1層	直	晩器3	地肌の凹凸は、口縁一帯は凹目、口縁部(内側)、外面一帯には土器型文、口縁部下2条の深溝部に凹目文、底面直線上に3条の深溝文、文様帯文など、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	普通土1個	31.2	4.8	5.0	北東延長-1 土20006
126	192	2	V108 P-X	1~2層	浅鉢	晩器4	平口縁、口縁高1単位(底面1単位)、外面、横位深溝(横位上縁部)の間に2条、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	凹目文、内面土色	(11.0)	-	(4.7)	北東延長-1 土20009
126	192	3	V108 P230	2a層	浅鉢	晩器3	口縁高2単位、外面一帯には土器型文、横位深溝(横位上縁部)の間に2条、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	-	(5.1)	(3.3)	北東延長-1 土20008
126	192	4	V107 P-X	2a層	付立鉢	晩器3	平口縁、横位高1、外面、横位高1単位、横位高2単位、口縁一帯は凹目文、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	17.6	9.6	10.2	北東延長-1 土20018
-	192	6	V108 P231	2a層	直	晩器中層~晩器3	横位深溝(横位上縁部)の間に1条、横位深溝(横位上縁部)の間に1条、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	-	-	(5.3)	北東延長-1 土20003
-	192	7	V108 P231	2a層	直	晩器3	外面、横位高2単位、底面直線上に1条、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	-	-	(13.0)	北東延長-1 土20004
-	192	8	V109 P-X	2a層	浅鉢	晩器3	外面、横位高1、外面、横位高1単位、横位高2単位、口縁一帯は凹目文、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	-	4.6	(5.1)	北東延長-1 土20005
-	192	10	V108 P-X	2・3層	直	晩器1~1b	外面、横位高1、外面、横位高1単位、横位高2単位、口縁一帯は凹目文、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	-	-	(11.6)	北東延長-1 土20017
-	192	11	V108・10	3層	直	晩器10~2	外面、横位高1、外面、横位高1単位、横位高2単位、口縁一帯は凹目文、底面直線上に2条、文様帯文など、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。	土器型文、凹目文、底面直線上に2条、底面直線上に1条、凹目文。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	赤褐色土質、外面に褐色付着物。	-	-	(7.0)	北東延長-1 土20007

表24 北東拾場延長地区 土製品 観察表

図録番号	家瓦図版	分形	出土位置	部位	出土層	高さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
121	185・16	円形土製品	PV30	皿+1層	28	30	3	3.5	鉢形土製品部片、非磨研品。	
128	187・12	土器	V1-18	1層	土器A	14	7	41.9	中完、底面土質、磨研品、赤色顔料塗布。	
128	187・13	土鉄	V1-18	2層	P-X	(52)	(46)	7	31.4	中完、底面土質、磨研品、非磨研品。

表25 北東拾場延長地区 ミニチュア・小型土器観察表

図録番号	家瓦図版	形態	出土位置	部位	出土層	口径(mm)	底径(mm)	高さ(mm)	時期	備考
126	182・3	直	V108	2a層	P229	(3.1)	2.4	(6.4)	晩器3	平口縁、内面、底面には土器型文、横位深溝(横位上縁部)の間に2条、底面直線上に2条、文様帯文、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。
126	182・9	直	V108	2a~2b層	P222	-	4.2	(6.1)	晩器中層~晩器3	外面、横位高1、外面、横位高1単位、横位高2単位、口縁一帯は凹目文、底面直線上に2条、文様帯文、底面直線上に1条、凹目文、口縁部一帯には土器型文、凹目文、底面直線上に1条、凹目文。

表26 北東拾得場延長地区 石器・石製品観察表(1)

発掘調査 番号	調査 番号	調査 年度	整理番号	出土位置	層位	取上 状況	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	備考	
193	1		9631	VP10	1層	5-3	石鏃	27.9	17.0	5.7	1.1	珸質灰岩		
193	2		9633	VP10	1層	5-3	石鏃	27.9	15.2	3.7	1.4	珸質灰岩		
193	3		9631	VP11	1層	5-3	石鏃	22.8	6.7	6.0	0.5	珸質灰岩	表面磨損	
193	4		9632	VP11	1層	5-3	石鏃	26.0	28.8	16.1	2.3	珸質灰岩	表面欠損	
193	5		9633	VP16	2層	5-3	石鏃	44.8	19.1	9.3	7.2	珸質灰岩		
193	6	127	1	V199	2層	5-3	石鏃	44.6	22.0	8.1	3.9	珸質灰岩		
193	7		9638	VQ10	1層	5-3	石鏃	25.1	18.1	7.1	14.4	珸質灰岩		
193	8		9640	VQ11	1層	5-3	石鏃	27.0	34.2	16.3	23.7	珸質灰岩		
193	9		5552	V155	1層	5-3	石鏃	45.6	17.4	7.8	18.2	珸質灰岩		
193	10		5556	V010	1層	5-3	石鏃	36.8	32.0	14.1	23.7	珸質灰岩	アスファルト	
193	11		5558	V010	1層	5-3	石鏃	62.1	46.4	4.6	12.9	珸質灰岩	表面欠損	
193	12		5555	V010	1層	5-3	石鏃	47.1	39.0	16.9	16.5	珸質灰岩	アスファルト下層表面露出 磨損	
193	13		5551	V010	1層	5-3	石鏃	52.0	57.1	13.9	21.4	珸質灰岩		
193	14		5557	V010	1層	5-3	石鏃	45.6	46.1	9.5	21.9	珸質灰岩		
193	15		1903	VP10	1層	5-3	石鏃	52.4	58.5	12.3	26.1	珸質灰岩	アスファルト	
193	16		5553	VP11	1層	5-3	石鏃	51.8	49.7	13.0	37.0	珸質灰岩		
193	17		9639	VQ10	1層	5-3	石鏃	106.0	14.0	21.2	96.0	珸質灰岩	表面・縁部・石質	
193	18		5551	VP10	2層	5-3	石鏃	40.2	21.1	8.0	7.9	珸質灰岩		
193	19		5550	VP10	2層	5-3	石鏃	40.7	40.3	5.7	16.7	珸質灰岩		
193	20		1804	VP10	2層	5-3	石鏃	63.3	57.4	12.1	30.1	珸質灰岩	アスファルト、表面露出	
193	21	127	2	1802	V010	2層	5-3	石鏃	73.0	20.0	6.0	6.7	珸質灰岩	
193	22		1808	V010	2層	5-3	石鏃	54.9	21.0	9.9	5.2	珸質灰岩		
193	23		9636	VP10	1層	5-3	石鏃	44.2	24.9	9.3	9.1	珸質灰岩		
193	24		9637	V010	1層	5-3	石鏃	52.0	45.7	11.2	23.5	珸質灰岩	つまみ前期磨り欠損	
193	25		9642	V010	1層	5-3	石鏃	46.0	58.3	10.5	26.4	珸質灰岩		
193	26	127	3	1801	V010	2層	5-3	石鏃	75.7	42.6	11.4	29.4	珸質灰岩	
193	27		9621	V010	2層	5-3	石鏃	70.9	41.0	12.3	123.0	珸質灰岩		
193	28		9623	V010	2層	5-3	石鏃	52.1	47.3	13.0	71.6	珸質灰岩	石製門下	
193	29		9625	V010	1層	5-3	石鏃	53.9	45.0	22.0	112.6	珸質灰岩		
193	30		9627	V010	1層	5-3	石鏃	43.6	40.7	15.7	38.4	珸質灰岩		
193	31		9630	V010	1層	5-3	石鏃	40.0	49.7	5.6	26.9	珸質灰岩		
193	32		9630	VP10	1層	5-3	石鏃	102.1	121.4	43.3	1294.6	珸質灰岩		
193	33		9627	VQ10	2層	5-3	石鏃	52.5	50.6	17.3	112.0	珸質灰岩		
193	34		1805	V010	2層	5-3	石鏃	64.4	46.1	12.1	83.9	珸質灰岩		
193	35		1800	V010	2層	5-3	石鏃	49.7	29.3	12.1	50.7	珸質灰岩		
193	4	127	4	2238	VP10	2層	5-3	石鏃	73.1	33.9	14.0	46.7	珸質灰岩	表面欠損、縁部不明瞭
193	5	127	5	2229	VP10 + 49	2層	5-3	石鏃	83.9	60.5	31.0	289.3	珸質灰岩	表面欠損、縁部不明瞭
193	6	127	6	2219	VQ10	2層	5-3	石鏃	124.0	58.0	35.3	450.7	珸質灰岩	表面欠損、縁部不明瞭
194	7	127	7	10109	VP10	1層	5-3	石鏃	72.7	55.3	46.3	234.6	珸質灰岩	
194	8		10002	V010	1層	5-3	石鏃	92.6	49.9	49.2	830.1	珸質灰岩		
194	9		10010	VQ10	1層	5-3	石鏃	94.2	85.9	23.4	749.4	珸質灰岩		
194	10		10108	VP10	1層	5-3	石鏃	125.6	91.0	40.2	1331.6	珸質灰岩		
194	11		10008	V010	1層	5-3	石鏃	152.1	65.3	40.7	462.8	珸質灰岩		
194	12		10103	VP10	1層	5-3	石鏃	83.3	79.4	52.5	481.9	珸質灰岩		
194	13		10106	VP10	1層	5-3	石鏃	83.2	74.3	28.0	406.4	珸質灰岩	断面欠損	
194	14		10107	VP10	1層	5-3	石鏃	102.0	79.8	41.6	470.8	珸質灰岩	断面欠損	
194	15		10101	VP10	2層	5-3	石鏃	110.2	85.0	60.5	636.5	珸質灰岩		
194	16		10006	VP10	2層	5-3	石鏃	119.5	105.6	82.0	1875.9	珸質灰岩		
194	17		10003	VP10	2層	5-3	石鏃	90.6	84.1	41.1	811.6	珸質灰岩		
194	18		10104	VP10	2層	5-3	石鏃	106.6	90.9	46.0	733.6	珸質灰岩		
194	19		10116	VP10	2層	5-3	石鏃	116.0	92.0	51.2	829.4	珸質灰岩		
194	20		10070	VP10	2層	5-3	石鏃	117.7	111.6	23.0	493.9	珸質灰岩		
194	21		10099	VP10	2層	5-3	石鏃	141.7	91.4	40.4	1343.8	珸質灰岩		
194	22		10001	VP10	2層	5-3	石鏃	118.5	78.6	23.4	317.6	珸質灰岩	断面欠損	
194	23		10105	VP10	2層	5-3	石鏃	126.2	85.2	43.1	1040.7	珸質灰岩		
195	1		10107	VP10	2層	5-3	石鏃	20.6	53.6	49.5	261.0	珸質灰岩		
195	2		10112	VP10 + 49	2層	5-3	石鏃	92.9	83.0	35.8	997.4	珸質灰岩		
195	3		10102	VP10	2層	5-3	石鏃	118.5	78.6	23.4	317.6	珸質灰岩		
195	4		10000	V010	2層	5-3	石鏃	127.5	76.6	52.2	666.5	珸質灰岩		
195	5		10106	VP10	2層	5-3	石鏃	124.4	81.0	56.0	811.8	珸質灰岩		
195	6		10001	V010	2層	5-3	石鏃	171.9	78.0	22.1	1118.4	珸質灰岩		
195	7		10009	V010	2層	5-3	石鏃	126.1	88.7	48.2	1332.1	珸質灰岩		
195	8		10011	V010	2層	5-3	石鏃	149.8	101.0	43.6	2207.8	珸質灰岩		
195	9		10051	VP10 + 49	2層	5-3	石鏃	111.2	67.4	31.4	215.2	珸質灰岩		
195	10		10013	VP10	2層	5-3	石鏃	101.6	68.4	28.0	422.1	珸質灰岩		
195	11		9550	V010	1層	5-3	石鏃	148.2	104.5	40.1	701.4	珸質灰岩		
195	12		10111	VP10	2 + 3層	5-3	石鏃	113.0	71.0	40.0	584.9	珸質灰岩		
195	13		10079	VP10	2 + 3層	5-3	石鏃	133.1	93.3	28.4	415.9	珸質灰岩		
195	14		9549	VP10	2 + 3層	5-3	石鏃	76.9	76.1	35.1	196.9	珸質灰岩		
195	15		9600	VP10	2 + 3層	5-3	石鏃	109.9	78.4	31.6	464.8	珸質灰岩		
195	16		10014	VP10	2 + 3層	5-3	石鏃	123.7	78.3	23.3	256.9	珸質灰岩		
195	17		10080	VP10	2 + 3層	5-3	石鏃	131.5	97.7	31.2	465.5	珸質灰岩		
195	18		10068	V010	2層	5-3	石鏃	161.9	91.3	75.1	176.4	珸質灰岩		
196	1		10081	VP11	20~22層	5-3	石鏃	108.2	96.0	39.1	457.5	珸質灰岩		
196	2		9559	VP10	2層	5-3	石鏃	61.0	47.0	27.1	109.8	珸質灰岩		
196	3		2032	V010	4層	5-3	石鏃	44.9	74.6	23.4	178.8	珸質灰岩		
196	4		10076	VP10	2層	5-3	石鏃	94.9	78.2	29.9	224.1	珸質灰岩		
196	5		10071	V010	2層	5-3	石鏃	94.8	85.1	21.4	207.6	珸質灰岩		
196	6		10077	VP10	2層	5-3	石鏃	100.7	64.2	39.8	601.8	珸質灰岩		
196	7		2021	VP10	2層	5-3	石鏃	106.9	60.0	40.1	264.3	珸質灰岩		
196	8		10114	V010	2層	5-3	石鏃	142.2	88.1	45.1	493.7	珸質灰岩		
196	9		9609	VP11	2層	5-3	石鏃	148.3	75.4	25.6	474.7	アサギ		
196	10		10072	VP10	1層	5-3	石鏃	135.4	72.0	40.4	508.7	珸質灰岩		
196	11		9611	VP10	1層	5-3	石鏃	120.1	72.0	40.1	413.6	珸質灰岩		
196	12		10086	VP10	2層	5-3	石鏃	96.3	80.4	56.2	92.7	珸質灰岩		
196	13		10042	V010	1層	5-3	石鏃	85.6	73.6	48.8	217.8	珸質灰岩		
196	14		10074	V010	1層	5-3	石鏃	162.4	94.7	29.0	451.4	珸質灰岩		
196	15		10067	東屋長・V163	1層	5-3	石鏃	153.6	104.3	95.4	2108.4	珸質灰岩	報告書巻末1編第2章第 1節表参照	
196	16		10048	V010	1層	5-3	石鏃	66.6	46.6	23.2	133.1	珸質灰岩		
196	17		10045	V010	1層	5-3	石鏃	71.0	53.0	25.1	130.0	珸質灰岩		
196	18		10043	V010	1層	5-3	石鏃	118.4	69.9	36.9	327.1	珸質灰岩		
196	19		9661	V010	1層	5-3	石鏃	126.1	84.3	29.5	226.6	珸質灰岩		

表26 北東拾場延長地区 石器・石製品観察表(2)

発掘調査年度	番号	国試番号	整理番号	出土位置	層位	取上 姿勢	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考	
196	20		10050	VF19	1層	5-3	磨石	152.9	96.2	43.7	673.1	緑色板状岩		
196	21		5062	V049	1層	5-3	磨石	151.7	70.0	54.4	593.9	板状岩		
197	1		10043	VF05	2a層	5-3	磨石	104.1	60.0	20.0	246.5	板状岩		
197	2		10053	V048	2a層	5-3	磨石	127.1	56.1	29.2	271.1	板状岩		
197	3		10053	VF12	2a層	5-3	磨石	116.2	101.9	26.8	361.4	板状岩		
197	4		10047	VF16	2a層	5-3	磨石	131.0	14.1	27.0	221.6	緑色板状岩		
197	5		10048	VF19	2a層	5-3	磨石	146.9	46.4	20.7	265.4	緑色板状岩		
197	6		10072	VF16	2a層	5-3	磨石	155.2	60.1	49.1	751.1	緑色板状岩		
197	7		5056	VF16	2層	5-3	磨石	21.6	17.0	27.2	1606.0	板状岩		
197	8		5057	VF16	2層	5-3	磨石	126.3	66.0	27.6	393.0	板状岩		
197	9		5058	V048	2a層	5-3	磨石	71.4	96.3	22.0	259.7	板状岩		
197	10		10075	V049	2a層	5-3	磨石	161.3	57.0	45.2	691.2	緑色板状岩		
197	11		10052	VF17	3層	5-3	磨石	124.7	55.6	19.1	208.0	板状岩		
197	12	127	7	2761	VF16	2a層	5-3	不詳	87.6	78.0	19.0	126.3	板状岩	石鏢?
197	13		1170	VF16	2 → 3層	5-3	不詳	222.0	219.0	66.0	4720.0	緑色板状岩		
197	14	126	1	5057	V049	1層	5-3	不詳	75.5	81.0	32.0	400.9	板状岩	両面磨削。被熱変色有
198	1	126	4	857	VF16 + 49	1層	5-3	石製品	27.0	27.0	6.5	4.4	板状岩	
198	2	126	2	7701	V046	1層	5-3	石製品	60.0	34.0	26.0	47.0	板状岩	
198	3		14449	V048	1層	5-3	石製品	47.7	14.0	16.4	23.0	板状岩		
198	4		5253	V055	1層	5-3	石製品	159.5	159.0	11.2	124.0	板状岩		
198	5		5241	V048	1層	5-3	石製品	50.6	49.7	18.0	109.0	不詳	アスファルト	
198	6		14490	VF19	1層	5-3	石製品	80.0	68.4	13.6	93.7	花崗岩		
198	7		14324	V048	1層	5-3	石製品	53.0	78.6	31.6	307.0	アイウイト		
198	8		14363	V048	1層	5-3	石製品	81.4	74.2	11.8	121.7	アイウイト		
198	9		14140	V117	1層	5-3	石製品	85.1	82.3	16.4	151.1	緑色板状岩		
198	10		14349	V047	1層	5-3	石製品	83.3	74.0	24.0	176.1	アイウイト		
198	11		14466	V048	1層	5-3	石製品	86.9	16.1	15.0	88.2	板状岩		
198	12		14171	VF19	1層	5-3	石製品	49.0	36.0	14.5	26.6	アイウイト		
198	13		14440	VF16 + 49	1層	5-3	石製品	36.2	46.0	22.9	87.3	アイウイト		
198	14		14367	VF16 + 49	1層	5-3	石製品	30.1	27.0	24.2	294.9	板状岩		
198	15		14435	V049	2層	5-3	石製品	54.9	51.1	11.5	40.1	アイウイト		
198	16		14384	VF16	2層	5-3	石製品	29.7	21.3	26.6	157.0	アイウイト		
198	17		14350	VF16	2a層	5-3	石製品	63.6	63.1	25.2	176.2	板状岩		
198	18		14252	VF16	2a層	5-3	石製品	63.4	55.5	11.2	66.2	アイウイト		
198	19		14463	VF16	2a層	5-3	石製品	53.4	14.1	12.4	26.6	緑色板状岩		
198	20		14354	VF19	1層	5-3	石製品	96.8	26.4	15.1	137.3	アイウイト		
198	21	126	3	10005	VF19	不明	5-3	石製品	52.6	47.0	29.0	100.0	花崗岩	磨蝕?
198	22		14425	V046	2 → 3層	5-3	石製品	116.0	112.0	40.6	812.4	粗面岩(山岳)		
198	23		14363	V049	2 → 3層	5-3	石製品	107.7	104.9	23.6	369.3	花崗岩		
198	24		14484	VF16	4層	5-3	石製品	55.1	56.3	23.1	78.6	板状岩		
198	25		14398	VF19	不明	5-3	石製品	57.5	53.4	30.2	133.8	花崗岩	アスファルト	
198	26		14432	VF19	不明	5-3	石製品	57.0	53.0	23.0	73.2	アイウイト		
198	27		14394	VF16	不明	5-3	石製品	46.3	36.1	16.3	95.0	アイウイト		
198	28		14393	VF19	不明	5-3	石製品	63.9	56.7	21.0	99.9	粗粒玄武岩		
198	29		14355	V048	不明	5-3	石製品	27.9	36.0	32.8	163.7	花崗岩		
198	30		14358	V048	不明	5-3	石製品	24.6	21.0	19.8	147.5	アイウイト		